設　計　書

工事名称　松戸市二十世紀が丘消防署建設工事

工事場所　松戸市二十世紀が丘梨元町１番、２番

期　　間　自　令和　８年　　月　　日
　　至　令和　９年　８月　２日

設計年月日　　令和　７年　８月　　日

（工事価格　　）

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参　考

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
昇降機設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
昇降機設備工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
消防署棟	1	式		
外構	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
昇降機設備工事	1	式		
計				

消防署棟

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
土工	1	式		
地業	1	式		
鉄筋	1	式		
コンクリート	1	式		
型枠	1	式		
鉄骨	1	式		
防水	1	式		
タイル	1	式		
木	1	式		
屋根及びとい	1	式		
金属	1	式		
左官	1	式		
建具	1	式		
塗装	1	式		
内外装	1	式		
ユニット及びその他	1	式		
計				

外構

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
土工	1	式		
舗装	1	式		
囲障	1	式		
排水	1	式		
植栽	1	式		
その他	1	式		
敷地外	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

昇降機設備工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
エレベーター設備	1	式		
計				

消防署棟

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業		1	式		
計					
鉄筋	躯体	1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
計					
型枠	躯体	1	式		
計					
鉄骨	屋上目隠しﾙｰﾊﾞｰ下地	1	式		
鉄骨	室外機架台	1	式		
計					
防水	外部	1	式		
防水	内部	1	式		
計					
タイル	外部	1	式		
タイル	内部	1	式		

消防署棟

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
木	内部	1	式		
計					
屋根及びとい	外部	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
金属	内部	1	式		
計					
左官	外部	1	式		
左官	内部	1	式		
計					
建具	アルミニウム製建具	1	式		
建具	鋼製建具	1	式		
建具	鋼製軽量建具	1	式		
建具	ステンレス製建具	1	式		
建具	木製建具	1	式		
建具	自動ドア開閉装置	1	式		
建具	シャッター	1	式		
建具	大型折れ戸	1	式		
建具	アルミパーテーション	1	式		

消防署棟

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
建具	ガラスパーテーション	1	式		
建具	スライディングウォール	1	式		
建具	トイレブース	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
塗装	外部	1	式		
塗装	内部	1	式		
計					
内外装	外部	1	式		
内外装	内部	1	式		
計					
ユニット及びその他	外部	1	式		
ユニット及びその他	内部	1	式		
計					

外構

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
土工		1	式		
計					
舗装		1	式		
計					
囲障		1	式		
計					
排水		1	式		
排水	屋外雨水設備	1	式		
計					
植栽		1	式		
計					
その他		1	式		
計					
敷地外	撤去	1	式		
敷地外	復旧	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

昇降機設備工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
エレベーター設備		1	式		
計					

消防署棟　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0001
墨出し		1	式			別紙 00-0002
養生		1	式			別紙 00-0003
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0004
地足場		1	式			別紙 00-0005
外部足場		1	式			別紙 00-0006
内部躯体足場		1	式			別紙 00-0007
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0008
災害防止		1	式			別紙 00-0009
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0010
計						

消防署棟		土工				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
(①山留施工時)						
山留め (材工共)	鋼矢板工法(自立型) Ⅲ型 圧入工法 存置6ｶ月	1,216	㎡			
(②地盤改良時)						
根切り	総掘り 自立山留め内	102	m3			
盛土撤去 (根切)	重機搬入スロープ	53.2	m3			
盛土(A種)	山砂の類 重機搬出スロープ	53.2	m3			
埋戻し(B種)	- 発生土 東側スロープ	63	m3			
建設発生土運搬		92.1	m3			
建設発生土処分		92.1	m3			
(③本体根切)						
盛土撤去 (根切)	重機搬入スロープ	53.2	m3			
根切り	ｵｲﾙﾀﾝｸ、ｽﾛｰﾌﾟ、傾斜拡大	94.7	m3			
根切り	総掘り 自立山留め内	722	m3			
床付け	総掘り	569	㎡			
建設発生土運搬		870	m3			
建設発生土処分		870	m3			
(⑤基礎工事後)						
埋戻し(A種)	- 山砂の類	84.3	m3			
埋戻し(A種)	- 山砂の類	149	m3			
埋戻し(A種)	- 山砂の類	194	m3			

消防署棟　土工

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(共通)						
土工機械運搬	根切り、埋戻し −	1	式			別紙 00-0011
計						

消防署棟　地業

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(一般地業)						
砂利地業	再生切込砕石	57.1	m3			
床下防湿層敷き	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚0.15	2.9	㎡			
土間下断熱材敷き	3種bA 厚さ45mm	2.9	㎡			
(地盤改良)						
消防署 地盤改良	Fc=1000kN/㎡ 改良径φ1200、掘削長7.3m 本数:341本	1	式			別紙 00-0012
載荷試験		1	か所			
地盤改良残土処分	運搬共　725㎥程度	1	式			
計						

消防署棟	鉄筋			躯体		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D10	11.4	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D13	128	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D16	23.7	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345　D19	17.5	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345　D22	18.6	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345　D25	74.4	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D10 防錆処理共 （構造ｽﾘｯﾄ接合筋）	0.1	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		▲1	式			別紙 00-0013
鉄筋加工組立	RCﾗｰﾒﾝ構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	264	t			
鉄筋運搬費	10ｔ車 30km程度	264	t			
鉄筋ｶﾞｽ圧接	D19 -D19	138	か所			
鉄筋ｶﾞｽ圧接	D22 -D22	416	か所			
鉄筋ｶﾞｽ圧接	D25 -D25	2,354	か所			
溶接金網敷	径6.0 100×100	462	㎡			
梁貫通孔補強筋	材工共	1	式			別紙 00-0014
計						

消防署棟		コンクリート		躯体		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
捨ｺﾝｸﾘｰﾄ	千葉北部地区　18N/mm2 ｽﾗﾝﾌﾟ15cm	28.9	m3			
基礎 躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	千葉北部地区　30N/mm2 ｽﾗﾝﾌﾟ18cm	801	m3			
地上 躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	千葉北部地区　30N/mm2 ｽﾗﾝﾌﾟ18cm	1,064	m3			
屋根 防水押えｺﾝｸﾘｰﾄ	千葉北部地区　18N/mm2 ｽﾗﾝﾌﾟ15cm	37.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間		1	式			別紙 00-0015
ﾎﾟﾝﾌﾟ圧送		1	式			別紙 00-0016
構造体強度補正		1	式			別紙 00-0017
計						

消防署棟	型枠	躯体				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
型枠（複合合板）	普通合板型枠　－ 基礎部　－	438	㎡			
型枠（複合合板）	普通合板型枠　ラーメン構造 地上軸部 標準階高	3,694	㎡			
型枠（複合合板）	打放合板型枠B種　ラーメン構造 基礎部　－	1,110	㎡			
型枠（複合合板）	打放合板型枠B種　ラーメン構造 地上軸部 標準階高	1,371	㎡			
型枠（複合合板）	打放合板型枠A種　ラーメン構造 地上軸部 標準階高	867	㎡			
雑用型枠	押えｺﾝ用/打放 （立上､基礎等）	0.9	㎡			
型枠運搬費	10ｔ車 30km程度 往復	7,481	㎡			
型枠目地棒	打継目地 幅20 ×深さ20程度	349	m			
型枠目地棒	誘発目地 幅20 ×深さ20程度	295	m			
打放し面補修	B 種　ｺｰﾝ処理 部分目違いばらい	1,371	㎡			
打放し面補修	A 種　ｺｰﾝ処理 目違いばらい無	867	㎡			
耐震ｽﾘｯﾄ	垂直 全貫通型 壁厚200 ｽﾘｯﾄ厚40	49.7	m			
耐震ｽﾘｯﾄ	水平 全貫通型 壁厚200 ｽﾘｯﾄ厚20	52.7	m			
止水板	据置式	100	m			
人通孔型枠	φ600xL400	3	か所			
人通孔型枠	φ600xL500	1	か所			
人通孔型枠	φ600xL600	9	か所			
人通孔型枠	φ600xL800	8	か所			
計						

消防署棟	鉄骨				屋上目隠しﾙｰﾊﾞｰ下地	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(鋼材)						
H形鋼（広幅系）	SS400H-175x175x7.5x11	0.4	t			
H形鋼（広幅系）	SS400H-150x150x7x10	0.8	t			
等辺山形鋼	SS400L-100x100x7	0.04	t			
鋼板	SS400PL-19	0.1	t			
鋼板	SS400PL-9	0.1	t			
高力ﾎﾞﾙﾄ	F8T　M16　L=50	50	本			
鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		▲1	式			別紙 00-0018
(加工組立建方)						
鉄骨加工組立	雑鉄骨	1.4	t			
鉄骨溶融 亜鉛めっき （材工共）		1.4	t			
鉄骨運搬	6t車	1.4	t			
鉄骨現場建方	低層(標準）建方機械別途	1.4	t			
JIS形 高力ﾎﾞﾙﾄ締付け	ﾋﾞﾙ鉄骨 1,000本未満 施工手間	48	本			
(その他)						
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ (材料)	SNR400B M20　L=400	20	本			
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ埋込み (B種)	径13～16(間柱等）取付手間	20	本			
柱底均しﾓﾙﾀﾙ	375x375 t30	5	か所			
水抜き穴加工	φ10	24	か所			
計						

消防署棟	鉄骨			室外機架台		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(鋼材)						
H形鋼（広幅系）	SS400H-150x150x7x10	0.6	t			
鋼板	SS400PL-9	0.1	t			
鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		▲1	式			別紙 00-0019
(加工組立建方)						
鉄骨加工組立	雑鉄骨	0.6	t			
鉄骨溶融 亜鉛めっき （材工共）		0.6	t			
鉄骨運搬	6t車	0.6	t			
鉄骨現場建方	低層(標準）建方機械別途	0.6	t			
(その他)						
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ (材料)	SNR400B ﾀﾞﾌﾞﾙﾅｯﾄ締め M20　L=400	48	本			
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ埋込み (B種)	径13～16(間柱等）取付手間	48	本			
柱底均しﾓﾙﾀﾙ	200x200 t30	12	か所			
計						

消防署棟	防水	外部				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｱｽﾌｧﾙﾄ防水	AI-2(保護密着断熱) 平場 絶縁ｼｰﾄ含 押出ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ3種bAｽｷﾝ付	491	㎡			
ｱｽﾌｧﾙﾄ防水	AI-2(保護密着断熱) 立上り部 -　　-	117	㎡			
伸縮目地	成形伸縮目地材 25×80 付着層ﾀｲﾌﾟ	310	m			
防水入隅処理 (ﾓﾙﾀﾙ)	立上り入隅面取り 幅70mm程度	240	m			
成形緩衝材		240	m			
防水押え金物	ｱﾙﾐ製 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水用	240	m			
乾式保護板	t15 H260~460 RCｱｺﾞ用	186	m			
乾式保護板出隅ｺｰﾅｰ	H260~460 RCｱｺﾞ用	78	か所			
乾式保護板入隅ｺｰﾅｰ	H260~460 RCｱｺﾞ用	10	か所			
乾式保護板	t15 H260~360 RCｱｺﾞ用	53.7	m			
乾式保護板入隅ｺｰﾅｰ	H260~360 RCｱｺﾞ用	4	か所			
乾式保護板	t15 H260~360 金属笠木用	22.4	m			
庇 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ﾒｰｶｰ標準色	56.5	㎡			
笠木 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　立上り 表面塗装ﾒｰｶｰ標準色	59.5	㎡			
排水溝 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　立上り 表面塗装ﾒｰｶｰ標準色	0.5	㎡			
立上り 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　立上り 表面塗装ﾒｰｶｰ標準色	34	㎡			
基礎天端 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ﾒｰｶｰ標準色	21.4	㎡			
ﾊﾄ小屋天端 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ﾒｰｶｰ標準色	55.2	㎡			
ﾎｰｽ洗浄放水訓練 天端 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ﾒｰｶｰ標準色	2.7	㎡			
ﾎｰｽ洗浄放水訓練 床 ｹｲ酸質系塗布防水		1.9	㎡			

消防署棟		防水			外部	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾎｰｽ洗浄放水訓練 壁 ｹｲ酸質系塗布防水		3	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 20×10	349	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 20×10	295	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 10×10	49.7	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 15×10	412	m			
計						

消防署棟	防水	内部				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
雨水貯留槽・防火水槽床塗膜防水	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系	77.2	㎡			
雨水貯留槽・防火水槽壁塗膜防水	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系	190	㎡			
雨水貯留槽・防火水槽天井塗膜防水	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系	77.2	㎡			
EVﾋﾟｯﾄ床塗布防水	ｹｲ酸質系 C-SUI	4.3	㎡			
EVﾋﾟｯﾄ壁塗布防水	ｹｲ酸質系 C-SUI	10.5	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 10×10	4.1	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ｼﾘｺｰﾝ系(SR-1) 10×10	17.9	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 30×15	2.9	m			
計						

消防署棟	タイル			外部		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床 磁器質ﾀｲﾙ	Ⅰ類 施釉 標準色 耐凍害性 耐滑り性 597×597×t10 下地ﾓﾙﾀﾙ共	15.1	㎡			
屋外階段 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ	150×60×10	69.2	m			
計						

消防署棟	タイル			内部		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床 汚垂ﾀｲﾙ	ｾﾗﾐｯｸ t6 D600	4.1	m			
床 ﾀｲﾙ	磁器質 耐凍害性･耐滑り性 t10 597×597	64.3	㎡			
巾木 ﾀｲﾙ	磁器質 耐凍害性･耐滑り性 t10 H60 597×597	24.7	m			
巾木 ﾀｲﾙ	磁器質 耐凍害性･耐滑り性 t10 H60 597×597 ﾎﾞｰﾄﾞ面接着張	10.1	m			
計						

消防署棟	木			内部		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1F脱衣洗濯 床組	杉 H200 根太:45×60 @300 大引:100×120 @900 (A-063図)	2.3	㎡			
2F脱衣室 床組	杉 H200 根太:45×60 @310 大引:100×120 @680 (A-063図)	5.2	㎡			
脱衣室 上り框	米栂集成材 60×180:0.6x0.18x1.363=0.0147 (A-063図)	6.6	m			
額縁	米栂集成材 100×25	227	m			
ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	米栂集成材 t24 150×120 ｺ型 (A-067図)	19.5	m			
ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ	米栂集成材 t24 150×120 ｺ型 (A-067図)	33	m			
2F脱衣室 ｶｳﾝﾀｰ	米栂集成材 t25 W550×D220 (A-021図)	1	か所			
F-07 洗面棚（造作家具 ）	米栂集成材　SOP W1490×D300×H1800 (A-078図)	1	か所			
計						

消防署棟	屋根及びとい		外部			
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ	横形ろく屋根用 ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｼｰﾄ防水用 SGP 80A　張掛け幅 100	9	か所			
中継ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製 80φ	1	か所			
竪樋	ｽﾃﾝﾚｽ HL 80φ	80.7	m			
飾ります	ｽﾃﾝﾚｽ 80φ用	9	か所			
計						

消防署棟	金属			外部		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
笠木	ｱﾙﾐ既製品 W200 水切笠木ﾌﾞﾗｹｯﾄ共 (A-061図)	22.4	m			
ﾃﾗｽ笠木 下地金物	ｽﾁｰﾙ L-40×40×5 (A-061図)	22.4	m			
屋外階段 手摺	68型2段笠木手摺 ｱﾙﾐ H1050 水平部	6.6	m			
屋外階段 手摺	68型2段笠木手摺 ｱﾙﾐ H1050 斜部	6.2	m			
屋外階段 手摺	68型2段笠木手摺 ｱﾙﾐ H1150 水平部	2.9	m			
屋外階段 手摺	68型2段笠木手摺 ｱﾙﾐ H1150 斜部	7.7	m			
屋外階段 手摺	68型2段笠木手摺 ｱﾙﾐ H1050 水平部	8.7	m			
屋外階段 壁付手摺	ｽﾁｰﾙ　溶融亜鉛ﾒｯｷ 42.7φ	3.8	m			
ﾃﾗｽ 訓練用梯子掛け	ｽﾁｰﾙ　溶融亜鉛ﾒｯｷ 42.7φ W1000×D150	1	か所			
管理扉	ｱﾙﾐ製 W1000×H1100 片開き 取付金物共	1	か所			
ﾃﾗｽ門扉	ｱﾙﾐ既製品 W800×H600 片開き 支柱､取付金物共 (A-068図)	1	か所			
目隠しﾙｰﾊﾞｰ	ｱﾙﾐ @90 シルバー 小口ﾌﾀ､ｽﾄﾘﾝｶﾞｰ､取付金物共 (A-063図)	20.7	㎡			
目隠しﾙｰﾊﾞｰ 縦胴縁	ｽﾁｰﾙ 溶融亜鉛ﾒｯｷ L-90×90×7	24.1	m			
軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) ふところ1.0m未満 下地張りなし @300 ｲﾝｻｰﾄ別途	5.4	㎡			
軽量鉄骨下がり壁 下地	25形(屋外) H300～500程度	3.4	m			
天井ｲﾝｻｰﾄ	一般用	5.4	㎡			
屋外階段 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｽﾃﾝﾚｽ ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ 歩行用 W100	3	m			
水抜きﾊﾟｲﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ HL 80φ L950 (A-061図)	2	か所			
水抜きﾊﾟｲﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ HL 80φ L500 (A-061図)	2	か所			
計						

消防署棟	金属			内部		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	581	㎡			
軽量鉄骨壁下地	90形 下地張りあり @450	287	㎡			
軽量鉄骨壁 開口部補強		1	式			別紙 00-0020
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 ｲﾝｻｰﾄ別途	120	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @225 ｲﾝｻｰﾄ別途	156	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 ｲﾝｻｰﾄ別途	351	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @300 ｲﾝｻｰﾄ別途	3.2	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 ｲﾝｻｰﾄ別途	390	㎡			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H300～500程度	6.9	m			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H550	3.8	m			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H650	3.8	m			
軽鉄天井下地開口 補強		1	式			別紙 00-0021
天井ｲﾝｻｰﾄ	一般用	1,020	㎡			
階段 手摺	ｽﾁｰﾙ　溶融亜鉛ﾒｯｷ H1380 平部 手摺:φ50 支柱:50×12 @300 手摺受:40×12 支柱受:40×12 枠:30×9 取付金物共 (A-023図)	6.6	m			
階段 手摺	ｽﾁｰﾙ　溶融亜鉛ﾒｯｷ H1380 斜部 手摺:φ50 支柱:50×12 @300 手摺受:40×12 支柱受:40×12 枠:30×9 取付金物共 (A-023図)	14.6	m			
2Fｷｬｯﾄｳｫｰｸ 手摺	ｽﾁｰﾙ　溶融亜鉛ﾒｯｷ H1100 手摺:50角 支柱:45角 @1200 手摺子:30角 @120 手摺子受:36角 梯子受:φ50 取付金物共 (A-062図)	17.4	m			
階段 壁付手摺	ｽﾁｰﾙ　溶融亜鉛ﾒｯｷ φ34 ﾌﾞﾗｹｯﾄ共	28	m			

消防署棟	金属			内部		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
一方枠	SUS製　W135	7.5	m			
ﾋﾟｯﾄ ﾀﾗｯﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ ｽﾘｯﾌﾟ止め加工 φ19 W400×D200 (A-069図)	78	か所			
人通口掴み金物	ｽﾃﾝﾚｽ ｽﾘｯﾌﾟ止め加工 φ19 W400	42	か所			
ﾏﾝﾎｰﾙ蓋	鋳鉄製 密閉型 φ600 (A-069図)	5	か所			
床点検口	ｽﾃﾝﾚｽ 密閉型 屋内用 600×600 鍵付 (A-069図)	4	か所			
天井点検口	一般ﾀｲﾌﾟ ｱﾙﾐ製 内外枠共目地 450角	67	か所			
EVｼｬﾌﾄ用 壁 点検扉	ｽﾁｰﾙ t1.6 W150×H150 (A-071図)	1	か所			
脱衣室 上り框	ｽﾃﾝﾚｽ角ﾊﾟｲﾌﾟ 40×25×2 (A-063図)	6.6	m			
ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ金物	ｽﾃﾝﾚｽ 接着工法 W35 ﾀｲﾔ型 ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ	70	m			
床目地棒	ｽﾃﾝﾚｽ FB-4 (A-023図)	5.5	m			
踏面蹴上端部 見切縁	ｽﾃﾝﾚｽ HL 50×25 (A-023図)	29	m			
RC立上取合部 水切り	ｱﾙﾐ W30 (A-067図)	4.1	m			
天井 ﾙｰﾊﾞｰ	ｱﾙﾐ 25×25	16.3	㎡			
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ	ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 手引き 引分け 重量用(10-90)	19.5	m			
ｻｯｼｭ取合方立	ｽﾁｰﾙﾊﾟﾈﾙ t40 W365×D480~610 下地:PL-40×30×3､50×50×3 (A-063図)	2.7	m			
1F風除室 引込防止柵	ｽﾃﾝﾚｽ φ34 W800×H900	2	か所			
1F風除室 引込防止柵	ｽﾃﾝﾚｽ φ34 W1100×H900	2	か所			
2Fﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｺｰﾄ 丸柱	ｽﾃﾝﾚｽ HL t2 φ250 H2500 (A-062図)	1	か所			
2Fﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｺｰﾄ 懸垂ﾊﾞｰ	ｽﾃﾝﾚｽ φ34 W600×D450 (A-033図)	1	か所			
2F乾燥室 物干し	ｽﾃﾝﾚｽ t1.5 φ38 W1600×H1300 座金､取付金物共 (A-068図)	1	か所			

消防署棟	金属			内部		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
3F会議室 ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ	ｱﾙﾐ W200×H206 L2550 (A-067図)	1	か所			
1F車庫 ﾎｰｽ保管棚	W3750×D500 ｽﾁｰﾙ溶融亜鉛ﾒｯｷﾊﾟｲﾌﾟ：φ34 3本 ｽﾁｰﾙ溶融亜鉛ﾒｯｷﾌﾟﾚｰﾄ：t9 W500×H200 @1250 取付金物共 (A-061図)	1	か所			
EVｼｬﾌﾄ 吊ﾌｯｸ	20kN	1	か所			
ｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰ 下地金物	C-38×12×1.6 @850 (A-022図)	11	㎡			
ｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰ 下地金物	C-38×12×1.6 @900 (A-023図)	5.3	㎡			
丸柱 取付下地	H-125×125×6.5×9 L3520 取付金物共 (A-062図)	1	か所			
ｶｰﾃﾝ･ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ 取付下地金物	FB-3×30 延L348 @900 L-30×30×3 吊ﾎﾞﾙﾄ､ｲﾝｻｰﾄ共 (A-067図)	52.5	m			
3F吹抜ｺｰﾅｰ建具取合部 ｽﾁｰﾙﾊﾟﾈﾙ	ｽﾁｰﾙ t1.6 W130×D130 (A-061図)	2.7	m			
ｽﾁｰﾙﾊﾟﾈﾙ 取付下地金物	2C-60×30×10×2.3 (A-061図)	2.7	m			
SLW 取付下地金物	H1400 吊材：C-100×50×20×2.3 @500 振止：L-30×30×3 @1820 通材：□-100×100×2.3 (A-060図)	3.9	m			
防煙垂壁 取付下地金物	H1400 吊材：吊ﾎﾞﾙﾄM6 @900 通材：2C-60×30×10×2.3 振止：[-38×12×1.6 @1800 取付金物共 (A-067図)	10.5	m			
SS3 取付下地金物	□-100×100×3.2	5.1	m			
計						

消防署棟		左官			外部	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
屋上 ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	462	㎡			
屋上 ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 防水下地	491	㎡			
笠木天端ｺﾝｸﾘｰﾄ 直均し仕上げ	金ごて 幅300	191	m			
笠木 ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 防水下地	17.3	㎡			
庇 ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 防水下地	56.5	㎡			
基礎天端 ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 防水下地	21.4	㎡			
ﾊﾄ小屋天端 ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 防水下地	55.2	㎡			
外部床 ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	10.2	㎡			
屋上手摺架台 ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	0.4	㎡			
ﾎｰｽ洗浄放水訓練 床 ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 防水下地	1.9	㎡			
ﾎｰｽ洗浄放水訓練 天端 ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 防水下地	2.7	㎡			
笠木 ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて	24.7	m			
壁ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 外壁　　厚25	8.2	㎡			
屋外階段 ﾓﾙﾀﾙ巾木	金ごて 出幅木 高さ150	17.4	m			
屋外階段 ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 塗仕上下地　　厚30	46	㎡			
側溝ﾓﾙﾀﾙ	金ごて W100	62	m			
排水溝防水ﾓﾙﾀﾙ	厚さ20	28.9	㎡			
外壁 外装薄塗材E	着色骨材砂壁状 ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整（C-1）共	534	㎡			

消防署棟		左官			外部	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
天然石調仕上塗材	外壁、笠木（406㎡） 化粧目地	406	㎡			
天然石調仕上塗材	軒天（18.3㎡） 化粧目地含む	18.3	㎡			
天然石調仕上塗材	運搬諸経費	1	式			
軒天 外装薄塗材E	着色骨材砂壁状 ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整（C-1）共	59	㎡			
軒天 外装薄塗材E	着色骨材砂壁状 ｹｲｶﾙ面 素地ごしらえB種共	7	㎡			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	412	m			
計						

消防署棟	左官			内部		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	19.1	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 薄張物下地	317	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 厚張物下地	102	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 塗床下地	21.6	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて ｺﾝｸﾘｰﾄ表面強化材下地	335	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて OAﾌﾛｱ下地	170	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 乾式二重床下地	111	㎡			
ﾋﾟｯﾄ 床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	282	㎡			
EVﾋﾟｯﾄ 床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 塗膜防水下地	4.3	㎡			
雨水貯留槽･防火水槽 床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 塗布防水下地	77.2	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	木ごて 一般ﾀｲﾙ下地　厚37	66.8	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾋﾞﾆﾙ系床材下地 厚46	13.3	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾋﾞﾆﾙ系床材下地 厚47.5	16.7	㎡			
踊場 ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾋﾞﾆﾙ系床材下地 厚47.5	12.9	㎡			
踏面蹴上 ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾋﾞﾆﾙ系床材下地 厚47.5	31.2	㎡			
壁ﾓﾙﾀﾙ塗り	木ごて 内装ﾀｲﾙ改良積上張り下地 -	1.5	㎡			
1F車庫 床 ｶｯﾀｰ目地	ｺﾝｸﾘｰﾄ面	98.5	m			
壁 外装薄塗材E	着色骨材砂壁状 吹付 ﾎﾞｰﾄﾞ面	29.7				
外壁 外装薄塗材E	着色骨材砂壁状 ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整（C-1）共	9.2	㎡			

消防署棟		左官			内部	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
天井 外装薄塗材E	着色骨材砂壁状 吹付 ｹｲｶﾙ板面	23.6	㎡			
EV開口枠廻り ﾓﾙﾀﾙ充填		15	m			
建具周囲 ﾓﾙﾀﾙ充填	内部建具	283	m			
計						

消防署棟	建具			アルミニウム製建具		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	特記以外 枠見込70、 建具種別:C種 表面処理:BB-2種(標準色) 結露水処理:排水式 水切、建具金物共					
AG1 2連ｶﾞﾗﾘ	W2000×H400 ｽﾃﾝﾚｽ防虫網	2	か所			
AG2 3連ｶﾞﾗﾘ	W4000×H400 ｽﾃﾝﾚｽ防虫網	1	か所			
AG3 ｶﾞﾗﾘ	W1000×H1000 ｽﾃﾝﾚｽ防虫網	1	か所			
AW1 嵌殺し縦2連窓	W565×H3288	1	か所			
AW2 嵌殺し縦2連窓	W565×H5295	1	か所			
AW3 嵌殺し縦2連窓	W565×H3341	2	か所			
AW3' 嵌殺し縦2連窓	W565×H3775	1	か所			
AW4 引違い8連窓	W16098×H1565	1	か所			
AW5 外倒し窓	W1300×H1000 換気用ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ(隠蔽式)	2	か所			
AW5' 外倒し窓	W1300×H900 換気用ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ(隠蔽式)	2				
AW6 外倒し2排煙連窓	W2730×H1000 排煙用ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ(隠蔽式)	1	か所			
AW7 外倒し窓	W1000×H900 換気用ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ(隠蔽式)	1	か所			
AW8 縦辷出し窓	W600×H900	20	か所			
AW8' 縦辷出し窓	W600×H900 防火設備	1	か所			
AW9 嵌殺し2連窓	枠見込100 W2160×H2450 防火設備 水切なし	1	か所			
AW10 嵌殺し2連窓付引違い窓	W4360×H2450 水切なし	1	か所			
AW11 嵌殺し2連窓付引違い窓	W4410×H2450 水切なし	1	か所			
AW12 嵌殺し3連窓付両袖引違い窓	W7210×H2450 水切なし	1	か所			

消防署棟	建具			アルミニウム製建具		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
AW13 嵌殺しｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ	W2110×H700 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt3:硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑt=35吹付共 設備穴あけ加工	1	か所			
AW14 嵌殺しｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ	W1120×H700 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt3:硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑt=35吹付共 設備穴あけ加工	1	か所			
AW15 4連嵌殺しｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ	W3430×H800 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt3:硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑt=35吹付共 設備穴あけ加工	1	か所			
AW16 嵌殺しｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ	W1000×H900 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt3:硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑt=35吹付共 設備穴あけ加工	1	か所			
AW17 嵌殺し窓	W565×H1850	1	か所			
AW18 3連嵌殺しｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ	W3830×H300 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt3:硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑt=35吹付共 設備穴あけ加工	1	か所			
計						

消防署棟	建具			鋼製建具		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	特記以外 建具金物共					
SD1 片開きﾌﾗｯｼｭ戸	枠見込100 W800×H2000 電気錠(ﾃﾝｷｰ)、DP塗装下地 沓摺共	3	か所			
SD1’欄間外倒し排煙窓付額入り片開きﾌﾗｯｼｭ戸	枠見込100 W800×H3190 電気錠(ﾃﾝｷｰ) 排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ ｽﾁｰﾙPL:断熱材裏打 DP塗装下地 沓摺共	1	か所			
SD2 片開き防火戸	枠見込100 W1300×H2000 防火設備、随時閉鎖式防火戸 煙感知器連動 戸袋枠、沓摺共	1	か所			
SD2’ 片開き防火戸	枠見込100 W1250×H2000 防火設備、随時閉鎖式防火戸 煙感知器連動 戸袋枠、沓摺共	1	か所			
SD3 片開き防火戸	枠見込110 W1135×H2000 防火設備、随時閉鎖式防火戸 煙感知器連動 戸袋枠、沓摺共	1	か所			
SD4 潜戸付片開き防火戸	枠見込140 W1585×H2460 防火設備、随時閉鎖式防火戸 煙感知器連動 戸袋枠、沓摺共	1	か所			
SD5 潜戸付片開き折れ戸	枠見込200 W3040×H2200 防火設備、随時閉鎖式防火戸 煙感知器連動 戸袋枠、沓摺共	1	か所			
SD6 潜戸付片開き折れ戸	枠見込200 W2190×H2200 防火設備、随時閉鎖式防火戸 煙感知器連動 戸袋枠、沓摺共	1	か所			
SD7 欄間ｽﾁｰﾙﾊﾟﾈﾙ付片開きﾌﾗｯｼｭ戸	枠見込100 W800×H2460 特定防火設備 沓摺共	2	か所			
SD8 両開きﾌﾗｯｼｭ戸	枠見込100 W1600×H2000 電気錠(ﾃﾝｷｰ) 沓摺共	2	か所			
SG1 ｶﾞﾗﾘ	枠見込70 W950×H400 特定防火設備 温度ﾋｭｰｽﾞ付防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	2	か所			
SWA 片開きﾌﾗｯｼｭ戸	枠見込120 W750×H1200 防火設備、SAT DP塗装下地、ｽﾃﾝﾚｽ水切	2	か所			

消防署棟	建具			鋼製建具		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
SW1 嵌殺し窓	枠見込80 W900×H900 特定防火設備 耐熱強化ｶﾞﾗｽt8､水切共	2	か所			
SW2 嵌殺し2連窓	枠見込140 W2275×H2450 特定防火設備 耐熱強化ｶﾞﾗｽt8共	1	か所			
SW3 嵌殺し5連窓	枠見込70 W5135×H2700 防火設備	1	か所			
SW4 嵌殺し2連窓	枠見込70 W2200×H2700 防火設備	1	か所			
SW5 嵌殺し窓付両袖片引き窓	枠見込70 W4890×H1560 ｽﾃﾝﾚｽ水切共	1	か所			
計						

消防署棟	建具			鋼製軽量建具		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	特記以外 材料:亜鉛ﾒｯｷ鋼板 焼付塗装、建具金物共					
LSD1 親子開き框戸	枠見込110 W1300×H2000 防火設備	1	か所			
LSD2 額入り片引きﾊﾝｶﾞｰ戸	枠見込440 W1030×H2000 防火設備 沓摺共	1	か所			
LSD3 額入り両引きﾊﾝｶﾞｰ戸	枠見込360 W1800×H2000 特定防火設備 耐熱強化ｶﾞﾗｽ t5 沓摺共	2	か所			
LSD4 3連両開きﾌﾗｯｼｭ戸	W3270×H2500	1	か所			
LSD5 片引きﾊﾝｶﾞｰ戸	枠見込400 W1080×H2000 特定防火設備 沓摺共	1	か所			
LSD6 両引きﾊﾝｶﾞｰ戸	枠見込360 W1630×H2000 特定防火設備 沓摺共	1	か所			
LSD7 小窓付片引きﾊﾝｶﾞｰ戸	枠見込135 W950×H2000 沓摺共	1	か所			
LSD8 ｶﾞﾗﾘ付き片引きﾊﾝｶﾞｰ戸	枠見込135 W950×H2000	2	か所			
LSD8' ｶﾞﾗﾘ付き片引きﾊﾝｶﾞｰ戸	枠見込135 W950×H2200	1	か所			
LSD9 両開きﾌﾗｯｼｭ戸	枠見込142 W1000×H2000 沓摺共	1	か所			
LSD10 ｶﾞﾗﾘ付き片開きﾌﾗｯｼｭ戸	枠見込110 W800×H2000 特定防火設備 温度ﾋｭｰｽﾞ防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ付ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ 沓摺共	1	か所			
LSD11 ｶﾞﾗﾘ付き片開きﾌﾗｯｼｭ戸	枠見込110 W750×H2000 特定防火設備 温度ﾋｭｰｽﾞ防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ付ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ 沓摺共	1	か所			
LSD12 ｶﾞﾗﾘ付き額入り片開きﾌﾗｯｼｭ戸	枠見込110 W700×H2000 沓摺共	2	か所			
LSD13 ｶﾞﾗﾘ・小窓付き片開きﾌﾗｯｼｭ戸	枠見込110 W800×H2000 沓摺共	1	か所			
LSD14 ｶﾞﾗﾘ付き額入り片引きﾊﾝｶﾞｰ戸	枠見込135 W905×H2000 沓摺共	1	か所			
LSD15 両開きﾌﾗｯｼｭ戸	W1200×H2500	1	か所			
LSD16 片開きﾌﾗｯｼｭ戸	W400×H2500	1	か所			

消防署棟	建具			鋼製軽量建具		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
LSD17 小窓付き片引きﾊﾝｶﾞｰ戸	枠見込135 W905×H2000 沓摺共	1	か所			
LSD18 欄間ﾊﾟﾈﾙ付き片開きﾌﾗｯｼｭ戸	W800×H3000 欄間ﾊﾟﾈﾙ:軽量ｽﾁｰﾙ	1	か所			
LSD19 ｶﾞﾗﾘ付き片開きﾌﾗｯｼｭ戸	枠見込135 W900×H2000 沓摺共	1	か所			
LSD20 小窓付き片引きﾊﾝｶﾞｰ戸	枠見込135 W950×H2000 ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄ H=30 沓摺共	19	か所			
LSD20' 小窓付き片引きﾊﾝｶﾞｰ戸	枠見込135 W900×H2000 ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄ H=30 沓摺共	1	か所			
LSD21 小窓付片開きﾌﾗｯｼｭ戸	枠見込135 W600×H2000 ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄ H=30 沓摺共	3	か所			
LSD22 ｶﾞﾗﾘ・小窓付き片引きﾊﾝｶﾞｰ戸	枠見込135 W950×H2000 沓摺共	3	か所			
LSD23 片引きﾊﾝｶﾞｰ框戸	枠見込135 W950×H2000 沓摺共	1	か所			
LSD24 片引きﾊﾝｶﾞｰ框戸	枠見込440 W1080×H2000 防火設備 沓摺共	1	か所			
LSD25 3連両開きﾌﾗｯｼｭ戸	W5570×H2200 防火設備	1	か所			
LSD26 3連両開きﾌﾗｯｼｭ戸	W3720×H2500	1	か所			
LSD27 3連両開きﾌﾗｯｼｭ戸	W5100×H2700	1	か所			
LSD28 片開きﾌﾗｯｼｭ戸	W600×H3000	1	か所			
LSD29 片開きﾌﾗｯｼｭ戸	W800×H2700	1	か所			
LSD30 片開きﾌﾗｯｼｭ戸	W600×H2700	1	か所			
計						

消防署棟	建具			ステンレス製建具		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	特記以外 枠見込180 HL仕上げ、普通曲げ 建具金物共					
SSD1 嵌殺し窓付引分け 自動ﾄﾞｱ	W3606×H2985	1	か所			
SSD2 嵌殺し窓付引分け 自動ﾄﾞｱ	W3606×H2985	1	か所			
計						

消防署棟		建具			木製建具	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	特記以外 枠見込140 米栂集成材					
WW1 三方枠	W800×H2200　米栂集成材	1	か所			
WW2 三方枠	W1198×H2200　米栂集成材	2	か所			
WW3 三方枠	W1397×H2200　米栂集成材	2	か所			
計						

消防署棟		建具			自動ドア開閉装置	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
SSD1 引分け用ｴﾝｼﾞﾝ装置	W1550×H2985 近赤外線反射方式 駆動装置､検出装置 ﾊﾟﾆｯｸｵｰﾌﾟﾝ	1	か所			
SSD2 引分け用ｴﾝｼﾞﾝ装置	W1550×H2985 近赤外線反射方式 駆動装置､検出装置 ﾊﾟﾆｯｸｵｰﾌﾟﾝ	1	か所			
計						

消防署棟		建具			シャッター	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	特記以外 ｽﾁｰﾙ t=1.6 障害物感知､ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ ｽﾗｯﾄ･ｼｬｯﾀｰｹｰｽ: 塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯 建具金物共					
SS1 電動ｼｬｯﾀｰ	W7050×H3295 水圧開放 ｼｬｯﾀｰﾎﾞｯｸｽ:露出ﾎﾞｯｸｽ DP塗装下地共	1	か所			
SS2 電動防火防煙ｼｬｯﾀｰ	W4970×H2500 特定防火設備 煙感知連動	1	か所			
SS3 電動防火防煙ｼｬｯﾀｰ	W5065×H2500 防火設備 煙感知連動	1	か所			
SS4 片開き袖扉連動防火防煙ｼｬｯﾀｰ	W5180×H2700 防火設備 煙感知連動	1	か所			
計						

消防署棟		建具			大型折れ戸	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	特記以外 DP塗装下地、建具金物共 (A-057、057、059図)					
大型折れ戸	S1　W7875×H4000　1基 S2　W7565×H4000　1基	1	式			
計						

消防署棟		建具			アルミパーテーション	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	特記以外 ｱﾙﾐ枠40､ﾒﾗﾐﾝ樹脂版 巾木ﾀｲﾌﾟ､付属金物共					
APT1 ｱﾙﾐﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	W1795×H2000	1	か所			
APT2 ｱﾙﾐﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	W750×H2500	1	か所			
APT3 ｱﾙﾐﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	W1055×H2500	1	か所			
APT4 ｱﾙﾐﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	W2565×H2500	1	か所			
計						

消防署棟		建具			ガラスパーテーション	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	特記以外　枠見込70､焼付塗装 ｶﾞﾗｽﾌﾚｰﾑ:ｱﾙﾐ ﾄﾞｱ枠:ｽﾁｰﾙ ﾄﾞｱﾊﾟﾈﾙ:ｽﾁｰﾙt=0.6 樹脂ｸﾘｱ(目地) 建具金物共					
GPT1 両開き戸付ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	W8670×H2700	1	か所			
GPT2 片開き戸付ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	W3695×H2700	1	か所			
計						

消防署棟		建具			スライディングウォール	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
SLW1 5連可動間仕切り	枠見込73 W4510×H2700 焼付塗装、遮音ﾀｲﾌﾟ 扉内:ﾛｯｸｳｰﾙ充填(80kg/m3) 建具金物共 (A-060図)	1	か所			
計						

消防署棟		建具			トイレブース	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	特記以外 ﾒﾗﾐﾝ樹脂板 ｱﾙﾐｴｯｼﾞ、巾木ﾀｲﾌﾟ、建具金物共					
TP1 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W950×H2000 片開き戸 W600×H2000 1ヶ所	1	か所			
TP2 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W3440×H2000 片開き戸 W600×H2000 2ヶ所	1	か所			
TP3 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W660×H2000 片開き戸 W490×H2000 1ヶ所	1	か所			
TP4 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W880×H2000 片開き戸 W630×H2000 1ヶ所	1	か所			
TP5 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W730×H2000 片開き戸 W500×H2000	1	か所			
TP6 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	延L5893×H2000 片開き戸 W600×H2000 3ヶ所	1	か所			
TP7 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W3580×H2000 片開き戸 W600×H2000	1	か所			
TP8 隔て板	W600×H2000	2	か所			
TP9 隔て板	W1280×H2000	1	か所			
TP10 隔て板	W490×H2000	1	か所			
計						

消防署棟	建具	ガラス				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
型板ｶﾞﾗｽ	厚さ6　特寸 2.18㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	0.1	㎡			
網入磨き板ｶﾞﾗｽ	厚さ6.8 特寸 2.18㎡以下 ひ し ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	3.9	㎡			
網入磨き板ｶﾞﾗｽ	厚さ6.8 特寸 4.45㎡以下 ひ し ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	19.8	㎡			
網入型板ｶﾞﾗｽ	厚さ6.8 特寸 2.18㎡以下 ひし ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	0.5	㎡			
型板ｶﾞﾗｽ	厚さ 4mm W150×H150 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共 (LSD-7､13､17､20､20'､21､22)	29	枚			
型板ｶﾞﾗｽ	厚さ 4mm W150×H600 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共 (LSD-12､14)	3	枚			
強化ｶﾞﾗｽ (ｶﾞﾗｽ清掃共) (材工共)	特寸1.8㎡以下 厚さ4（学校、住宅向け） ｼｰﾘﾝｸﾞ	1	㎡			
強化ｶﾞﾗｽ	厚さ 5mm　特寸 2.0㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	2.7	㎡			
強化ｶﾞﾗｽ	厚さ 6mm　特寸 6.00㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共 (SW-5)	4.6	㎡			
強化ｶﾞﾗｽ	厚さ 8mm　特寸 2.0㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	36.7	㎡			
強化ｶﾞﾗｽ	厚さ 10mm 特寸 4.0㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	25.6	㎡			
強化ｶﾞﾗｽ	厚さ 12mm　特寸 2.0㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	1.2	㎡			
強化ｶﾞﾗｽ	厚さ 12mm 特寸 4.0㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	18	㎡			
複層ｶﾞﾗｽ	Low-EFL5+A6+FL5 特寸 2.00㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	56.8	㎡			
複層ｶﾞﾗｽ	Low-EFL5+A6+FL5 特寸 4.00㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	39.1	㎡			
複層ｶﾞﾗｽ	Low-EFL5+A6+PW6.8特寸 2.00㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共 (AW-8')	0.5	㎡			
複層ｶﾞﾗｽ	Low-EFL5+A6+PW6.8特寸 4.00㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共 (AW-9)	5.3	㎡			
透明飛散防止ﾌｨﾙﾑ		25.6	㎡			
衝突防止金物	ｽﾃﾝﾚｽHL φ30 両面 @450	29	組			
代替進入口	▼	7	組			

消防署棟	建具	ガラス				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
非常用進入口	▽	1	組			
計						

消防署棟	塗装	外部				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外壁 浸透性吸水防止材	ｺﾝｸﾘｰﾄ面	429	㎡			
軒天 浸透性吸水防止材	ｺﾝｸﾘｰﾄ面	62	㎡			
ＳＯＰ塗り	鋼製建具面 -　塗料1種 錆止塗料A種　現場2回目 1回目別途	16.6	㎡			
ＤＰ塗り	鋼製建具面　1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	215	㎡			
計						

消防署棟	塗装	内部				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ＳＯＰ塗り	鉄鋼面　工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料A(鉛・ｸﾛﾑﾌﾘｰ1種)	9.4	㎡			
ＳＯＰ塗り (糸幅300㎜以下)	木部　工程B種(屋内) 素地A種	1	m			
ＵＣ塗り	工程B種 1液形 素地B種	23.1	㎡			
ＵＣ塗り	木部 糸幅300以下 工程B種 素地B種	241	m			
ＥＰ－Ｇ塗り	ﾎﾞｰﾄﾞ面(継目)　工程B種(一般) 素地A種	1,004	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　工程B種(一般) 素地B種	158	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り	ﾎﾞｰﾄﾞ面(継目)　工程B種(見上) 素地A種	9.4	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　工程B種(見上) 素地B種	36.3	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り	けい酸ｶﾙｼｳﾑ板面　工程B種(見上) 素地B種	199	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り	不燃断熱材面　工程B種(見上) 素地B種	154	㎡			
ＳＯＰ塗り	鋼製建具面 －　塗料1種 錆止塗料A種　現場2回目 1回目別途	285	㎡			
ＵＣ塗り	木製建具枠面 －　工程B種 1液形 素地B種共	28	m			
計						

消防署棟	内外装			外部		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
笠木 合成樹脂塗床	厚膜型塗床材弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床 防滑仕上 ﾓﾙﾀﾙ面	3.7	㎡			
立上り 合成樹脂塗床	厚膜型塗床材弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床 防滑仕上 ｺﾝｸﾘｰﾄ面	8.2	㎡			
排水溝 合成樹脂塗床	厚膜型塗床材弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床 防滑仕上 ﾓﾙﾀﾙ面	5.8	㎡			
屋外階段 合成樹脂塗床	厚膜型塗床材弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床 防滑仕上 ｺﾝｸﾘｰﾄ面	46	㎡			
天井　けい酸 ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚 6 目透かし	7	㎡			
軒天 断熱材打込	t50 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ 3種bA	2.5	㎡			
天井廻縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	16.2	m			
下り壁見切縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	3.4	m			
計						

消防署棟	内外装	内部				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(床)						
ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	厚さ2.0 ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙKT 一般床 帯電防止	342	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.5 多湿部 熱溶接工法 防汚仕様	50.1	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.5 一般床 熱溶接工法 防滑仕様	236	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.5 多湿部 熱溶接工法 防滑仕様	7.5	㎡			
踊場 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.5 一般床 熱溶接工法 防滑仕様	12.9	㎡			
踏面蹴上 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.5 防滑仕様	31.2	㎡			
床ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	総厚6.5 500角	102	㎡			
床 合成樹脂塗床	厚膜型弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系 防滑仕上	18.6	㎡			
床 合成樹脂塗床	厚膜型ｴﾎﾟｷｼ樹脂系 流しのべ工法 平滑仕上	3	㎡			
床 ｺﾝｸﾘｰﾄ表面強化材	ｹｲ酸塩系	319	㎡			
床 OAﾌﾛｱｰ	ｽﾁｰﾙ H100ボーダー費用共	170	㎡			
床 乾式二重床	H100	111	㎡			
際根太	H100	64.2	m			
床 構造用合板	針葉樹 特類 t12+12	118	㎡			
(幅木)						
ﾋﾞﾆﾙ幅木	高さ60	586	m			
階段ﾋﾞﾆﾙ幅木	ささら 高さ330	14.5	m			
巾木 合成樹脂塗床立上	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系 流しのべ工法 平滑仕上 H60	6.1	m			
(壁)						

消防署棟	内外装			内部		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚 9.5　準不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け -　-　-	3.3	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け -　-　-	18.5	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 RC､CB直張り　突付け -　-　-	13	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 RC､CB直張り　下地張り -　-　-	36.7	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 -　-　-	78.5	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 RC､CB直張り　継目処理 -　-　-	670	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け 下張GB-R　厚12.5共	15.9	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 下地張り 下張GB-R　厚12.5共	7.7	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 下張GB-R　厚12.5共	581	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 RC､CB直張り　継目処理 下張GB-R　厚12.5共	5.3	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け -　-　-	2.6	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 下地張り -　-　-	110	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 RC､CB直張り　継目処理 -　-　-	34.6	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 RC､CB直張り　下地張り -　-　-	8.4	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け 下張GB-S　厚12.5共	4.7	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 下張GB-S　厚12.5共	126	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 下地張り 下張GB-S　厚12.5共	10.5	㎡			
壁　強化せっこう ﾎﾞｰﾄﾞ張り(GB-F)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 下張GB-F　厚12.5共	4.2	㎡			
耐火間仕切四周処理（片面）		46.6	m			
壁 化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板	t6 ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共	163	㎡			

消防署棟	内外装			内部		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾒﾗﾐﾝ化粧板	不燃 t3	13.7	㎡			
壁 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	ﾎﾞｰﾄﾞ面	32.8	㎡			
壁 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	不燃 ﾎﾞｰﾄﾞ面	473	㎡			
壁 構造用合板	針葉樹 特類 t12+12	34.6	㎡			
衛生機器 構造用下地合板	針葉樹 特類 t12+12	4.1	㎡			
壁 防湿ｼｰﾄ	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ t0.15 (A-067図)	15.3	㎡			
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 継目処理	継目処理工法(ﾍﾞﾍﾞﾙｴｯｼﾞ)	42.8	㎡			
間仕切 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填	t50 24kg/m3	423	㎡			
壁 振動吸収目地	樹脂製	304	m			
壁化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ 板出隅 見切縁	ｱﾙﾐ	10	m			
ｺｰﾅｰﾋﾞｰﾄﾞ	塩ビ製　ﾓﾙﾀﾙ用	128	m			
下り壁見切縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	23.9	m			
(天井)						
天井 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃　突付け	2.7	㎡			
天井 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃　継目処理	124	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け 下張GB-R　厚12.5共	14.1	㎡			
天井 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 RC､CB直張り　継目処理	1.4	㎡			
天井 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃　継目処理 下張GB-R　厚12.5共	8	㎡			
天井　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃　継目処理	5.5	㎡			
天井　化粧 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-D)	厚 9.5　準不燃 ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ 突付け	273	㎡			

消防署棟	内外装			内部		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
天井　けい酸 ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚 6 目透かし	208	㎡			
天井　ﾛｯｸｳｰﾙ 化粧吸音板張り (DR)	ﾌﾗｯﾄ内部用 厚 9　不燃 下張GB-R　厚 9.5共	390	㎡			
天井 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	ﾎﾞｰﾄﾞ面	5.3	㎡			
天井 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	不燃 ﾎﾞｰﾄﾞ面	124	㎡			
天井廻縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	917	m			
天井 ﾊﾞｽﾘﾌﾞ	塩ﾋﾞ廻り縁共	3	㎡			
天井 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ敷	t50 24kg/m3	148	㎡			
(間仕切)						
片面耐火間仕切	1時間耐火 t132 LGS90型 GBFt21+21 片面	45.7	㎡			
耐火間仕切四周処理（片面）		33.6	m			
(断熱材)						
壁 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付	A種1H t35	1,090	㎡			
天井 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付	A種1H t20	26.9	㎡			
天井 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付	A種1H t35	186	㎡			
天井 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付	A種1H t45	279	㎡			
天井 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付	A種1H t70	27.5	㎡			
天井 ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 打込	不燃 t30 後付接着工法	154	㎡			
ﾋﾟｯﾄ天井 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材打込	3種bA t45	171	㎡			
3F吹抜ｺｰﾅｰ建具取合部 半乾式吹付ﾛｯｸｰﾙ	0.28以上	1.5	㎡			
計						

消防署棟	ユニット及びその他	外部				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
視覚障害者用点字鋲	ｽﾃﾝﾚｽ HL 注意喚起用 φ22 25個/か所 (A-067図)	16	か所			
視覚障害者用点字鋲	ｽﾃﾝﾚｽ HL 誘導用 4本/か所 (A-067図)	10	か所			
S-1 室名ｻｲﾝ	H50 ﾏｰｷﾝｸﾞﾌｨﾙﾑ (A-081図)	4	か所			
S-7 館名板	D30×H250 ｽﾃﾝﾚｽ箱文字 HL t1.2 (A-081図)	1	か所			
ﾍﾘｻｲﾝ	4m×4m 6文字、蛍光塗料 下地清掃、下地調整、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）、伸縮目地撤去、撤去部処理共	1	式			
ﾎｰｽﾀﾜｰ	W1825×H12259 ﾎｰｽ掛数:20本､本体重量:約1420kg 全高:12259mm､巻取方式:電動式 安全装置､操作箱､取付金物共 (A-092,093図)	1	式			
計						

消防署棟	ユニット及びその他		内部			
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(雑)						
鍵箱	100組用	1	か所			
消火器ﾎﾞｯｸｽ	埋込型 ｽﾁｰﾙ W280×D192×H775	3	か所			
通水管	VP φ100半割 L400	6	か所			
通水管	VP φ100半割 L500	2	か所			
通水管	VP φ100半割 L600	20	か所			
通水管	VP φ100半割 L800	16	か所			
通気管	VP φ75 L400	6	か所			
通気管	VP φ75 L500	2	か所			
通気管	VP φ75 L600	20	か所			
通気管	VP φ75 L800	16	か所			
視覚障害者用点字鋲	ｽﾃﾝﾚｽ HL 注意喚起用 φ22 25個/か所 (A-067図)	35	か所			
視覚障害者用点字鋲	ｽﾃﾝﾚｽ HL 誘導用 4本/か所 (A-067図)	3	か所			
防煙垂壁	固定式 網入り底板ｶﾞﾗｽ t6.8 H700 ｱﾙﾐ枠共 (A-067図)	10.5	m			
2F洗面室 物干し	W1740	1	か所			
(水回り)						
SK ﾌｯｸ	ｽﾃﾝﾚｽ	25	か所			
ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ	0812ﾀｲﾌﾟ (A-068図)	6	か所			
(家具)						
3F書庫 移動式書庫	W2210×D1915×H2370 (A-082図)	1	か所			

消防署棟		ユニット及びその他		内部		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
F-02 ｶｳﾝﾀｰ	W990×D450×H80 (A-077図)	1	か所			
F-03a 洗面ｶｳﾝﾀｰ	W1940×D550×H900 (A-077図)	1	か所			
F-03b 洗面ｶｳﾝﾀｰ	W2920×D550×H900 (A-077図)	1	か所			
F-04 流し台	W1800×D600×H950 (A-077図)	1	か所			
F-05 洗面ｶｳﾝﾀｰ	W1030×D500×H850 (A-077図)	1	か所			
F-06a 洗面ｶｳﾝﾀｰ	W800×D500×H850 (A-077図)	1	か所			
F-06b 洗面ｶｳﾝﾀｰ	W1600×D500×H850 (A-077図)	1	か所			
F-06c 洗面ｶｳﾝﾀｰ	W1800×D500×H850 (A-077図)	2	か所			
F-09 流し台	W860×D590×H1000 (A-078図)	1	か所			
L-01 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W900×D150 (A-078図)	1	か所			
L-02 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W950×D150 (A-078図)	1	か所			
L-03 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W950×D150 (A-078図)	2	か所			
L-04 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W2050×D180 (A-078図)	1	か所			
L-05 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W1250×D150 (A-078図)	1	か所			
L-06 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W4000×D150 (A-078図)	1	か所			
L-07 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W2100+1058×D150/400 L型 (A-078図)	1	か所			
L-08 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W780×D150 (A-078図)	1	か所			
L-09 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W1770+680×D90/150 L型 (A-078図)	1	か所			
L-10 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W665+955×D150 L型 (A-078図)	1	か所			
L-11 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W945×D150 (A-078図)	1	か所			

消防署棟	ユニット及びその他			内部		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
L-11a ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W790×D150 (A-078図)	1	か所			
L-12 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W700×D150 (A-078図)	1	か所			
L-13 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W950×D150 (A-078図)	4	か所			
L-14 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W2080×D180 (A-078図)	1	か所			
L-15 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W585+690×D150 L型 (A-078図)	1	か所			
3Fﾄｲﾚ(女) ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t20 W1000×D150 L型 (A-078図)	1	か所			
(ｻｲﾝ)						
S-1 室名ｻｲﾝ	H50 ﾏｰｷﾝｸﾞﾌｨﾙﾑ (A-081図)	27	か所			
S-3 突出型ｻｲﾝ	W15×H16.5 ｱｸﾘﾙt3 (A-081図)	7	か所			
S-4b 平付型仮眠室ｻｲﾝ	W200×H200 表示基板:透明ｱｸﾘﾙt2 木目調UV印刷 ﾍﾞｰｽ:ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ機構脱着式 ﾍﾞｰｽ板:ｱｸﾘﾙﾏｯﾄ板t5 差し替えﾌﾟﾚｰﾄ:ｱｸﾘﾙ板t1.5 (A-081図)	20	か所			
計						

外構		土工				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
根切り	工作物等	114	m3			
すきとり	積み込み共 H300程度	18.5	m3			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	31.9	m3			
客土	現場発生土の良質土	47.2	m3			
建設発生土運搬		53.2	m3			
建設発生土処分		53.2	m3			
計						

外構		舗装				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
E-3 地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	地先境界ﾌﾞﾛｯｸC W150xH150xL600 敷ﾓﾙﾀﾙ、捨ｺﾝ、再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共	49.5	m			
CO-1 ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	C-15-15 ｶｯﾀｰ目地@4000 深さ20mm	356	㎡			
J-1 砂利敷き	ｸﾗｯｼｬﾗﾝt150	1.5	㎡			
L-1 白線引き	W150	5	m			
L-1 白線引き	W300	7.8	m			
車止め	PCﾌﾞﾛｯｸ 既製品 600x200x120 ｱﾝｶｰ共	4	か所			
ｴﾝﾄﾗﾝｽ斜路 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ	W2700xD8400 t150	1	か所			
ｴﾝﾄﾗﾝｽ斜路床 磁器質ﾀｲﾙ	597×597×t10 下地ﾓﾙﾀﾙ共	22.7	㎡			
ｴﾝﾄﾗﾝｽ斜路立上り 磁器質ﾀｲﾙ	597×597×t10 下地ﾓﾙﾀﾙ共	6.5	㎡			
ｴﾝﾄﾗﾝｽ斜路床 視覚障害者用点字鋲	ｽﾃﾝﾚｽ HL 注意喚起用 φ22 25個/か所	3	か所			
ｴﾝﾄﾗﾝｽ斜路床 視覚障害者用点字鋲	ｽﾃﾝﾚｽ HL 誘導用 4本/か所	27	か所			
ｴﾝﾄﾗﾝｽ斜路床 ｽﾃﾝﾚｽ目地	W4	5.4	m			
計						

外構		囲障				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
F-2 ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ	H1200 RC基礎上	3.2	m			
F-3 ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ	H1800 独立基礎共	35.9	m			
F-3 既存RC立上り 仕上改修	W150xH900 壁:複層塗材E(洗浄・下地調整共) 天端:ﾓﾙﾀﾙ金ごて	35.9	m			
F-4 ﾊﾞﾘｶｰ	ｽﾃﾝﾚｽHL φ140xH850 ｽﾃﾝﾚｽ鎖内蔵、基礎共	11	か所			
F-4 ﾊﾞﾘｶｰ	ｽﾃﾝﾚｽHL φ140xH850 端部用、基礎共	2	か所			
計						

外構		排水				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
S-3 現場打ちU字溝	ｺﾝｸﾘｰﾄ製 W200xH200 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共	2.3	m			
S-3 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	溶融亜鉛ﾒｯｷ W300(溝幅200) 細目 T-2 落ち蓋式	2.3	m			
S-4 現場打ちU字溝	ｺﾝｸﾘｰﾄ製 W200xH200 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共	12.1	m			
S-4 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	溶融亜鉛ﾒｯｷ W300(溝幅200) 細目 T-14 落ち蓋式	12.1	m			
S-4 側溝部分RC立上り	W150xH300 天端:ｺﾝｸﾘｰﾄ金ごて 立上り:打放補修	12.1	m			
S-5 現場打ちU字溝	W300xH300 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共	71.5	m			
S-5 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	溶融亜鉛ﾒｯｷ W400(溝幅300) 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ T-25　ボルト固定	71.5	m			
S-6 U型ｶﾙﾊﾞｰﾄ	W600xH600 敷ﾓﾙﾀﾙ、捨ｺﾝ、再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共 太平洋ｺﾝｸﾘｰﾄ工業:UCS1	19	m			
S-6 ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	W730xL998(溝幅600) T-14 太平洋ｺﾝｸﾘｰﾄ工業:UCS1ｽﾗﾌﾞ	19	m			
S-7 U字溝	U300　W300xH300xL2000 基礎ｺﾝ、再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共	16.1	m			
S-7 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	溶融亜鉛ﾒｯｷ W400xL995(溝幅300) 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定 ｶﾈｿｳ:QXBL 84044	16.1	m			
K-1 集水桝	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ 500x500xH550 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共	8	か所			
K-1 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	溶融亜鉛ﾒｯｷ 500x600(500角用) 細目 T-25	8	か所			
計						

外構	排水				屋外雨水設備	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)	地中配管　　100A	32	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)	地中配管　　150A	37	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ有孔管(VP)	地中配管　　150A	22	m			
ため桝	機 械 RC-1(400H)　MHB	5	組			
ため桝	機 械 RC-3(400H)　MHB	1	組			
ため桝	機 械 RC-3(700H)　MHB	4	組			
塩ﾋﾞ浸透桝	350φ×600H 防護蓋T-25	4	組			
雨水口ﾌｨﾙﾀｰ	100	2	個			
土工事		1	式			別紙 00-0022
計						

外構		植栽				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
芝張り	こうらい芝 目地張り －	142	㎡			
低木 ｻﾂｷ	H0.4　W0.5	145	本			
中木a ｿﾖｺﾞ	H2.5　株立	7	本			
高木A ｼﾏﾄﾈﾘｺ	H3.0　C0.12　W0.8	9	本			
高木B ﾔﾏﾎﾞｳｼ	H3.0　C0.15　W1.5	3	本			
生垣 ﾚｯﾄﾞﾛﾋﾞﾝ	H1.5　W0.4　(3本/m)	54	本			
支柱	二脚鳥居（添木付）	19	本			
生垣支柱	H1.0程度	18.1	m			
計						

外構		その他				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｴﾝﾄﾗﾝｽ斜路 手摺	ｽﾃﾝﾚｽ製 L7870xH700 手摺:φ42.7x2段､手摺受:φ12 支柱:φ34@1100（図A-63）	1	か所			
ｵｲﾙﾀﾝｸ躯体	4450x2450xH2400	1	か所			
受水槽基礎	3700x1900xH800+600	1	か所			
ﾎﾟﾝﾌﾟ基礎	1000x1200xH400	1	か所			
ﾌﾗｯｸﾞﾎﾟｰﾙ	H6700	2	か所			
ﾌﾗｯｸﾞﾎﾟｰﾙ基礎	1000x1000xH800	2	か所			
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｻｲﾈｰｼﾞ	1100×2500	1	か所			
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｻｲﾈｰｼﾞ基礎	800x1400xH600	1	か所			
消火栓標識	φ600 支柱共	1	か所			
消火栓標識基礎	300x300xH500	1	か所			
防火水槽標識	φ600 壁貼り 金属系ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ共	1	か所			
ごみ置き場	W1800xD750xH1000 ﾀﾞｲｹﾝ:CKM-1800R同等	1	か所			
計						

外構		敷地外			撤去	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
E-1 片面歩車道境界 ﾌﾞﾛｯｸ撤去	PC製 W180/205xH250 集積・積込共	14.3	m			
E-2 片面歩車道境界 ﾌﾞﾛｯｸ撤去	PC製 W180/205xH100 集積・積込共（乗入れ部）	9.6	m			
E-2 片面歩車道境界 ﾌﾞﾛｯｸ撤去	PC製 W180/205xH250/100 集積・積込共（乗入れ部）	2.4	m			
E-3 植栽帯ﾌﾞﾛｯｸ撤去	PC製 W150xH150 集積・積込共	14.2	m			
E-4 地先境界ﾌﾞﾛｯｸ撤去	PC製 W120xH120 集積・積込共	3.5	m			
F-1 横断防止柵撤去	H800　基礎共 集積共	4.8	m			
S-1 U字溝撤去	CH25-30-50 W300xH500xL2000 ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋共　集積・積込共	33.2	m			
S-2 ﾎﾞｯｸｽ暗渠撤去	W300 集積・積込共	23.3	m			
S-3 U字溝撤去	U240 ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋共　集積・積込共	38.9	m			
S-4 U字溝撤去	U300B ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋W300共　集積・積込共	20	m			
K-1 集水桝撤去	450角程度 鉄蓋共　集積・積込共	1	か所			
AS-1 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	A-5-5 集積・積込共	65.7	㎡			
AS-2 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	A-5 集積・積込共	31.6	㎡			
AS-2a ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	A-5 集積・積込共	106	㎡			
AS-3 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	A-5 集積・積込共	105	㎡			
AS-4 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	A-5 集積・積込共	51.3	㎡			
道路境界 ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	W330xH400 集積・積込共	7.5	m			
工作物 捨ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	集積・積込共	3.1	m3			
工作物､舗装 砕石撤去	集積・積込共	60.8	m3			
ｶｯﾀｰ入れ	ｱｽﾌｧﾙﾄ面	70.9	m			

外構		敷地外			撤去	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
土工機械運搬		1	式			別紙 00-0023
計						

外構		敷地外			復旧	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
E-1 片面歩車道境界 ﾌﾞﾛｯｸ	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸB W180/205xH250xL600 敷ﾓﾙﾀﾙ共	10.6	m			
E-2 片面歩車道境界 ﾌﾞﾛｯｸ(乗入れ部)	千葉県型 歩車道B用切下げ W180/205xH100xL600 敷ﾓﾙﾀﾙ共	13.8	m			
E-2 片面歩車道境界 ﾌﾞﾛｯｸ(乗入れ部)	千葉県型 歩車道B用1段すり付け W180/205xH250/100xL600 敷ﾓﾙﾀﾙ共	1.8	m			
F-1 横断防止柵	H800 横格子3段 基礎共 ﾋﾞｰﾑﾊﾟｲﾌﾟ：φ42.7xt2.3 支柱：φ60.5xt3.2 @3000	9.2	m			
S-1 耐重用側溝	T-25　300B　W300xH400xL2000 敷ﾓﾙﾀﾙ、基礎ｺﾝ、再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共	15	m			
S-1 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	溶融亜鉛ﾒｯｷ W400xL995(溝幅300) 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ T-25 ﾎﾞﾙﾄ固定 ｶﾈｿｳ:QXBL 84044	15	m			
S-2 千葉県型ﾛﾝｸﾞU字 溝	CH25-30-50 W300xH500xL2000 底打ちｺﾝ、再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共	15.6	m			
S-2 千葉県型側溝蓋	CHL25-30 W390xL495 落ち蓋式	15.6	m			
S-8 U字溝	U240 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共	24.5	m			
S-8 ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	W330xL550xt100(U240用) 落ち蓋式	24.5	m			
S-9 千葉県型ﾛﾝｸﾞU字 溝	CH25-30-30 W300xH300xL2000 基礎ｺﾝ、再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共	58	m			
S-9 千葉県型側溝蓋	CHL25-30 W390xL495 落ち蓋式	58	m			
S-10 重耐用側溝	T-25　250A　W240xH340xL2000 敷ﾓﾙﾀﾙ、基礎ｺﾝ、再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共	6	m			
S-10 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	溶融亜鉛ﾒｯｷ　W360xL995（溝幅240 ）細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ　T-25　ﾎﾞﾙﾄ固定 ｶﾈｿｳ:QXBL　83544	6	m			
K-2 集水桝	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ 500x500xH750 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共	1	か所			
K-2 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	溶融亜鉛ﾒｯｷ 500x600(500角用) 細目 T-25	1	か所			
K-3 集水桝	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ 400x400xH500 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共	1	か所			
K-3 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	溶融亜鉛ﾒｯｷ 500x600(500角用) 細目 T-25	1	か所			
AS-1 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	A-5-5-5-25-25 松戸市主-1(N5)	57.4	㎡			
AS-2 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	A-5-10-15 松戸市一般	27.8	㎡			

外構		敷地外			復旧	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
AS-2a ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	A-5（表層のみ） 松戸市一般	108	㎡			
AS-3 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	A-4-10-5(砂) 松戸市普通歩道(一般部)	116	㎡			
AS-4 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	A-4（表層のみ） 松戸市普通歩道(一般部)	52.3	㎡			
L-1 白線引き	W150	87.4	m			
L-2 赤線引き	W150（駐停車禁止ｴﾘｱ）	68	m			
舗装機械運搬		1	式			別紙 00-0024
計						

外構	発生材処理			運搬		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	※ｺﾝｸﾘｰﾄ類の積込みは、撤去単価に含む					
発生材積込み	金属くず	0.4	m3			
撤去材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ類	96.8	m3			
撤去材運搬	金属くず	0.4	m3			
計						

外構		発生材処理			処分	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
建設廃材処分費	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材	9.6	t			
建設廃材処分費	無筋２次製品廃材	25.2	t			
建設廃材処分費	ｱｽﾌｧﾙﾄ	50	t			
建設廃材処分費	路盤	122	t			
建設廃材処分費	金属くず	0.4	m3			
建設廃材処分費	ｶｯﾀｰ汚水	1	m3			
計						

昇降機設備工事		エレベーター設備				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
昇降機	用途:乗用(車いす用) 積載量:750kg 11名 定格速度:45m/min 停止数:3か所(1~3F) (A-070~073図)	1	式			
計						

消防署棟		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
遣方		1	式			別紙 00-0001
遣方	一 般	576	㎡			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0002
墨出し	一 般　RC･SRC造 地上階	1,310	㎡			
墨出し	一 般　RC･SRC造 ﾊﾞﾙｺﾆｰ	95.2	㎡			
墨出し	一 般　RC･SRC造 外部階段	37.9	㎡			
墨出し	一 般　RC･SRC造 ﾋﾟﾛﾃｨｰ	15.5	㎡			
墨出し	一 般　RC･SRC造 外部廊下	10.2	㎡			
墨出し	一 般　RC･SRC造 ﾋﾟｯﾄ	538	㎡			
計						

消防署棟　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生		1	式			別紙 00-0003
養生	一 般　RC・SRC造 地上階	1,310	㎡			
養生	一 般　RC・SRC造 ﾊﾞﾙｺﾆｰ	95.2	㎡			
養生	一 般　RC・SRC造 外部階段	37.9	㎡			
養生	一 般　RC・SRC造 ﾋﾟﾛﾃｨｰ	15.5	㎡			
養生	一 般　RC・SRC造 外部廊下	10.2	㎡			
養生	一 般　RC・SRC造 ﾋﾟｯﾄ	538	㎡			
計						
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0004
整理清掃 後片付け	一 般　RC・SRC造 地上階	1,310	㎡			
整理清掃 後片付け	一 般　RC・SRC造 ﾊﾞﾙｺﾆｰ	95.2	㎡			
整理清掃 後片付け	一 般　RC・SRC造 外部階段	37.9	㎡			
整理清掃 後片付け	一 般　RC・SRC造 ﾋﾟﾛﾃｨｰ	15.5	㎡			
整理清掃 後片付け	一 般　RC・SRC造 外部廊下	10.2	㎡			
整理清掃 後片付け	一 般　RC・SRC造 ﾋﾟｯﾄ	538	㎡			
計						

消防署棟		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
地足場		1	式			別紙 00-0005
地足場	RC造標準日数 修理費含む	576	㎡			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0006
外部足場	単管ﾌﾞﾗｹｯﾄ足場 H10m未満 W300 存置期間6か月	27.9	㎡			
外部足場	手摺先行枠組本足場 H22m未満 W900 存置期間6か月	1,403	㎡			
安全手摺	手摺先行足場用 存置期間6か月	126	m			
外部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　　転用数 2	85.1	㎡			
外部仕上足場 (簡易型移動式足場)	RC造標準日数 修理費含む 階高4.0m超5.0m未満	19.7	㎡			
外部仕上足場 (簡易型移動式足場)	RC造標準日数 修理費含む 階高7.4m以上9.1m未満	9	㎡			
外部仕上足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高9.1m以上10.8m未満　転用数 2	3.9	㎡			
外部仕上足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高12.5m以上14.2m未満 転用数 2	4.3	㎡			
計						

消防署棟　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
内部躯体足場		1	式			別紙 00-0007
内部躯体足場	RC造標準日数 修理費含む 鉄筋･型枠足場 階高4.0m以下　－	154	㎡			
内部躯体足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 鉄筋･型枠足場 階高4.0m超5.0m未満　転用数 2	947	㎡			
内部躯体足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 躯体支保工 階高7.4m以上9.1m未満　転用数 2	193	㎡			
内部躯体足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 躯体支保工 階高9.1m以上10.8m未満　転用数 2	11.3	㎡			
内部躯体足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 躯体支保工 階高14.2m以上15.9m未満 平家用	5.3	㎡			
計						
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0008
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　転用数 2	123	㎡			
内部仕上足場 (簡易型移動式足場)	RC造標準日数 修理費含む 階高4.0m超5.0m未満	902	㎡			
内部仕上足場 (簡易型移動式足場)	RC造標準日数 修理費含む 階高7.4m以上9.1m未満	193	㎡			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高9.1m以上10.8m未満　平家用	11.3	㎡			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高14.2m以上15.9m未満 平家用	5.3	㎡			
ｼｬﾌﾄ内足場	RC造標準日数 修理費含む	23.4	㎡			
内部階段仕上足場	RC造標準日数 修理費含む	52.5	㎡			
計						

消防署棟		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
災害防止		1	式			別紙 00-0009
災害防止	ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ 存置期間6か月	1,380	㎡			
計						

消防署棟		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0010
仮設材運搬 (単管抱足場)		27.9	㎡			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	1,403	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	126	m			
仮設材運搬 (外部仕上足場 脚立足場)	3階建	85.1	㎡			
仮設材運搬 (外部仕上足場 簡易型移動式)	4.0m超5.0m未満(2段)	19.7	㎡			
仮設材運搬 (外部仕上足場 簡易型移動式)	7.4m以上9.1m未満(5段)	9	㎡			
仮設材運搬(外部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	9.1m以上10.8m未満	3.9	㎡			
仮設材運搬(外部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	12.5m以上14.2m未満	4.3	㎡			
仮設材運搬 (内部躯体足場) (手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満	947	㎡			
仮設材運搬 (内部躯体足場) (手すり先行方式)	7.4m以上9.1m未満	193	㎡			
仮設材運搬 (内部躯体足場) (手すり先行方式)	9.1m以上10.8m未満	11.3	㎡			
仮設材運搬 (内部躯体足場) (手すり先行方式)	14.2m以上15.9m未満	5.3	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	3階建	123	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 簡易型移動式)	4.0m超5.0m未満(2段)	902	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 簡易型移動式)	7.4m以上9.1m未満(5段)	193	㎡			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	9.1m以上10.8m未満	11.3	㎡			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	14.2m以上15.9m未満	5.3	㎡			
仮設材運搬 (ｼｬﾌﾄ内足場)		23.4	㎡			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		52.5	㎡			

消防署棟		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0010
仮設材運搬 (ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ類)		1,380	㎡			
計						

消防署棟		土工				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
土工機械運搬	根切り、埋戻し －	1	式			別紙 00-0011
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
計						

消防署棟		地業				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
消防署 地盤改良	Fc=1000kN/㎡ 改良径φ1200、掘削長7.3m 本数:341本	1	式			別紙 00-0012
消防署 地盤改良	Fc=1000kN/㎡ 改良径φ1200、掘削長7.3m 本数:341本	1	式			
計						

消防署棟		鉄筋			躯体	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		▲1	式			別紙 00-0013
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	ヘビーＨ２（鉄筋）	7.4	t			
計						
梁貫通孔補強筋	材工共	1	式			別紙 00-0014
梁貫通補強筋 （材料費）	既製品 φ150	28	枚			
梁貫通補強筋 （材料費）	既製品 φ200	8	枚			
梁貫通補強筋 （材料費）	既製品 φ250	18	枚			
梁貫通補強筋 （材料費）	既製品 φ600	42	枚			
梁貫通補強 取付手間	φ600	48	か所			
計						

消防署棟	コンクリート			躯体		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間		1	式			別紙 00-0015
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 30m3/回程度　S15～S18 -　圧送費､基本料別途	28.9	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	基礎部　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 100m3/回以上　S15～S18 -　圧送費､基本料別途	801	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	躯体　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 100m3/回以上　S15～S18 標準階高 圧送費､基本料別途	327	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	躯体　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 100m3/回以上　S15～S18 標準階高 圧送費､基本料別途	360	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	躯体　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 100m3/回以上　S15～S18 標準階高 圧送費､基本料別途	349	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	躯体　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満　S15～S18 標準階高 圧送費､基本料別途	28.3	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	防水保護ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回程度　S15～S18 -　圧送費､基本料別途	37.1	m3			
計						
ﾎﾟﾝﾌﾟ圧送		1	式			別紙 00-0016
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送	100m3/回以上 基本料金別途加算	1,837	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送基本料金	100m3/回以上	16	回			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送基本料金	30m3以上 50m3/回未満	3	回			
計						
構造体強度補正		1	式			別紙 00-0017
強度補正値（普通ｺﾝｸﾘｰﾄ）（材料）	3N/mm2 千葉北部地区　30N/mm2 ｽﾗﾝﾌﾟ18cm）	1,178	m3			
強度補正値（普通ｺﾝｸﾘｰﾄ）（材料）	6N/mm2 千葉北部地区　30N/mm2 ｽﾗﾝﾌﾟ18cm）	687	m3			
計						

消防署棟		鉄骨			屋上目隠しﾙｰﾊﾞｰ下地	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		▲1	式			別紙 00-0018
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	鉄（ヘビーＨ１）	0.04	t			
計						

消防署棟		鉄骨			室外機架台	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		▲1	式			別紙 00-0019
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	鉄（ヘビーＨ１）	0.02	t			
計						

消防署棟		金属			内部	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
軽量鉄骨壁 開口部補強		1	式			別紙 00-0020
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	13	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1200×2000mm程度	5	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1800×2000mm程度	22	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ﾀﾞｸﾄ等四方補強 300×　600mm程度	2	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	90形 扉等三方補強 900×2000mm程度	6	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	90形 扉等三方補強 1800×2000mm程度	5	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	90形 ﾀﾞｸﾄ等四方補強 300×　600mm程度	1	か所			
計						

消防署棟		金属			内部	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
軽鉄天井下地開口補強		1	式			別紙 00-0021
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内)　200×　200mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	10	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内)　250×　250mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	5	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内)　300×　300mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	4	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内)　400×　400mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	2	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内)　450×　450mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	67	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内)　500×　500mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	1	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内)　600×　300mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	20	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内)　800×　800mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	13	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 1235×　150mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	53	か所			
計						

外構	排水				屋外雨水設備	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
土工事		1	式			別紙 00-0022
根切り(機械)	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	30	m3			
埋戻し	機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	14	m3			
山砂		16	m3			
建設発生土処理	人 力 構内敷ならし	16	m3			
計						

外構		敷地外			撤去	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
土工機械運搬		1	式			別紙 00-0023
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	1	往復			
計						

外構		敷地外			復旧	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
舗装機械運搬		1	式			別紙 00-0024
舗装機械運搬 (振動ﾛｰﾗ)		1	往復			
舗装機械運搬 (ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ)		1	往復			
舗装機械運搬 (ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ)		1	往復			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
仮囲い	成型鋼板 H3000 存置14ｶ月	114	m			
ﾊﾟﾈﾙｹﾞｰﾄ	W6000×H1800 存置14ｶ月	3	か所			
ﾊﾟﾈﾙｹﾞｰﾄ	W3000×H1800 存置14ｶ月	1	か所			
仮設鉄板敷		1	式			別紙 00-0025
歩道切下げ部 簡易舗装		67.5	㎡			
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	558	人			
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転		1	式			別紙 00-0026
土壌分析費		1	式			別紙 00-0027
化学物質濃度測定		1	式			別紙 00-0028
駐車場代	14ヵ月　10台分	1	式			
現場事務所	近隣マンション（35㎡程度） 14カ月	1	式			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
仮設鉄板敷		1	式			別紙 00-0025
仮設鉄板敷	1500x6000xt22 存置0.5ヵ月(①)	126	㎡			
仮設鉄板敷	1500x6000xt22 存置2.5ヵ月(①～③西ｽﾛｰﾌﾟ) 盛替え2回共	36	㎡			
仮設鉄板敷	1500x3000xt22 存置12.5ヵ月(②～⑧)	18	㎡			
仮設鉄板敷	1500x3000xt22 存置12.5ヵ月(②～⑧北･東ｽﾛｰﾌﾟ) 盛替え1回共	18	㎡			
仮設鉄板敷	1500x3000xt22 存置12.5ヵ月(②～⑧北ｽﾛｰﾌﾟ他) 盛替え2回共	72	㎡			
仮設鉄板敷	1500x3000xt22 存置3.5ヵ月(②～④北･東ｽﾛｰﾌﾟ) 盛替え1回共	72	㎡			
仮設鉄板敷	1500x3000xt22 存置8.5ヵ月(⑥～⑧)	180	㎡			
仮設鉄板敷	1500x3000xt22 存置8ヵ月(⑦～⑧)	144	㎡			
仮設鉄板敷	1500x3000xt22 存置1.5ヵ月(②北ｽﾛｰﾌﾟ)	18	㎡			
仮設鉄板敷	1500x3000xt22 存置2.5ヵ月(①～③西ｽﾛｰﾌﾟ) 盛替え2回共	18	㎡			
仮設鉄板敷	1500x3000xt22 存置12.5ヵ月(②～⑧)	27	㎡			
仮設鉄板敷	1500x3000xt22 存置3.5月(②～④)	13.5	㎡			
仮設鉄板敷	1500x3000xt22 存置3.5ヵ月(②～④北ｽﾛｰﾌﾟ) 盛替え1回共	27	㎡			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転		1	式			別紙 00-0026
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転 (油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)	25t吊り　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き 賃料 標準	8	日			
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転 (油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)	25t吊り　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き 賃料 標準	26	日			
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転 (油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)	50t吊り　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き 賃料 標準	8	日			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
土壌分析費		1	式			別紙 00-0027
土壌分析試験	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	1	検体			
土壌分析試験	ｱﾙｷﾙ水銀	1	検体			
土壌分析試験	総水銀	1	検体			
土壌分析試験	ひ素	1	検体			
土壌分析試験	鉛	1	検体			
土壌分析試験	銅	1	検体			
土壌分析試験	有機ﾘﾝ	1	検体			
土壌分析試験	ｼｱﾝ	1	検体			
土壌分析試験	ほう素	1	検体			
土壌分析試験	ふっ素	1	検体			
土壌分析試験	PCB	1	検体			
土壌分析試験	ﾁｳﾗﾑ	1	検体			
土壌分析試験	ｼﾏｼﾞﾝ	1	検体			
土壌分析試験	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	1	検体			
土壌分析試験	ｾﾚﾝ	1	検体			
土壌分析試験	ｸﾛﾑ	1	検体			
土壌分析試験	六価ｸﾛﾑ	1	検体			
土壌分析試験	ﾏﾝｶﾞﾝ	1	検体			
土壌分析試験	亜鉛	1	検体			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
土壌分析費		1	式			別紙 00-0027
土壌分析試験	全窒素	1	検体			
土壌分析試験	全リン	1	検体			
土壌分析試験	ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	1	検体			
土壌分析試験	ﾆｯｹﾙ	1	検体			
土壌分析試験	ﾊﾞﾅｼﾞｳﾑ	1	検体			
土壌分析試験	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類	1	検体			
土壌分析試験	有機リン	1	検体			
土壌分析試験	有機塩素化合物	1	検体			
土壌分析試験	1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	1	検体			
計						
化学物質濃度測定		1	式			別紙 00-0028
化学物質測定費	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等６品目	8	か所			
計						

現場説明書

1. 工事名称　　松戸市二十世紀が丘消防署建設工事
2. 工事場所　　松戸市二十世紀が丘梨元町１番、２番
3. 説明事項

＜一般事項＞

・ 工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
・ 契約後、各施工計画書及び施工図等は遅滞なく作成し承諾を得ること。
・ 騒音、振動が発生する作業を行う場合は、周辺への配慮を怠らないこと。
・ 関連法規を遵守し、安全に対して最大限に配慮し工事中の事故防止に努めること。
・ 別途、電気設備工事・機械設備工事が発注されるため、工程及び資材置場等の調整を図ること。
・ 関係官公署への届出は、遅滞なく行うこと。

＜特記事項＞

・ 本工事場所周辺は住宅街であり、東側には共同住宅が隣接しているため安全に十分配慮した上で、周辺環境への柔軟な対応をすること。
・ 近隣には小学校や公園があり、周辺道路は通学路となっているため工事車両の搬出入時間帯の要望等には、誠心誠意対応すること。

＜工程について＞

・ 工事の日程等は、事前に調整し周知を図ること。

＜共通仮設について＞

・ 工事関係車両の搬出入時は、交通誘導員等を必ず配置し、通行人等の安全確保や交通の妨げにならないよう努めること。
・ 周辺住民及び歩行者への安全や動線に配慮した仮設計画とし、安全管理を十分に行うこと。

＜週休２日制適用工事について＞

・ 本工事は、週休２日工事（発注者指定方式）である。
・ 受注者は、現場閉所（休息）による週休２日工事として取り組むこと。
なお、予定価格には４週８休達成相当の経費を補正している。
・ 週休２日制の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休２日工事試行実施要領」に基づき行うこと。

＜注意事項＞

提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。
検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。
落札者は契約締結後、書式データ・図面データ等をお渡しするのでCD-RW等を
建築保全課へ持参すること。

松戸市二十世紀が丘消防署建設工事

記号	図面名	記号	図面名	記号	図面名	記号	図面名
A-001	表紙・図面リスト	A-041	3階展開図(14)	A-081	サイン詳細図	S-001	特記仕様書（構造関係その１）
A-002	特記仕様書(1)	A-042	3階展開図(15)	A-082	移動式書庫詳細図（参考）	S-002	特記仕様書（構造関係その２）
A-003	特記仕様書(2)	A-043	R階平面詳細図	A-083		S-003	構造関係共通図（配筋標準図その１）
A-004	特記仕様書(3)	A-044	トイレ廻り詳細図	A-084	移動間仕切、防火戸詳細図（参考）	S-004	構造関係共通図（配筋標準図その２）
A-005	特記仕様書(4)	A-045	1階天井伏図	A-085	シャッター詳細図（参考）	S-005	構造関係共通図（配筋標準図その３）
A-006	特記仕様書(5)	A-046	2階天井伏図	A-086	外構図	S-006	構造関係共通図（配筋標準図その４）
A-007	特記仕様書(6)	A-047	3階天井伏図	A-087	外構図（道路工事）	S-007	構造関係共通図（鉄骨標準図）
A-008	特記仕様書(7)	A-048	R階天井伏図	A-088	外構詳細図（雨水関係）	S-008	地盤改良事業特記仕様書
A-009	特記仕様書(8)	A-049	1階建具配置図、2階建具配置図	A-089	外構詳細図（1）	S-009	地盤改良図
A-010	工事区分表	A-050	3階建具配置図、屋上建具配置図	A-090	外構詳細図（2）	S-010	基礎伏図
A-011	案内図・配置図・概要（縮尺150）	A-051	建具表(1)	A-091	外構詳細図（3）	S-011	１階床伏図
A-012	敷地求積図、平均地盤算定図	A-052	建具表(2)	A-092	ホースタワー平面詳細図	S-012	２階床伏図
A-013	建築面積算定図、床面積算定図	A-053	建具表(3)	A-093	ホースタワー立、断面詳細図	S-013	３階床伏図
A-014	仕上表(1)	A-054	建具表(4)	A-094	外構撤去図	S-014	R階・PR階床伏図
A-015	仕上表(2)	A-055	建具表(5)	A-095	仮設計画図（1）（参考）	S-015	軸組図（１）
A-016	1、2階平面図	A-056	建具表(6)	A-096	仮設計画図（2）（参考）	S-016	軸組図（２）
A-017	3、R階平面図	A-057	建具詳細図(1)(大型折戸)	A-097	仮設計画図（3）（参考）	S-017	軸組図（３）
A-018	立面図(1)	A-058	建具詳細図(2)(大型折戸)	A-098	仮設計画図（4）（参考）	S-018	軸組図（４）
A-019	立面図(2)	A-059	建具詳細図(3)(大型折戸)	A-099	仮設計画図（5）（参考）	S-019	軸組図（５）
A-020	断面図(1)	A-060	建具詳細図(4)(移動間仕切)			S-020	基礎大梁断面リスト
A-021	矩計図(1)	A-061	部分詳細図(1)(エントランスホール)			S-021	基礎小梁・耐圧スラブ断面リスト
A-022	矩計図(2)	A-062	部分詳細図(2)(階段、トイレ、鳩小屋、手すり他)			S-022	柱・壁断面リスト
A-023	屋内階段詳細図、手摺詳細図	A-063	部分詳細図(3)(スロープ、目隠しルーバー、建具他)			S-023	大梁断面リスト（１）
A-024	屋外階段詳細図	A-064				S-024	大梁断面リスト（２），RC階段配筋詳細図
A-025	ピット階平面図、(XY断面図)	A-065	部分詳細図(5)(屋上ルーバー)			S-025	小梁・スラブ断面リスト
A-026	1階平面詳細図	A-066				S-026	配筋詳細図
A-027	1階展開図(1)	A-067	雑詳細図(1)			S-027	屋上目隠し鉄骨詳細図
A-028	1階展開図(2)	A-068	雑詳細図(2)			S-028	雑配筋詳細図（１）
A-029	1階展開図(3)	A-069	雑詳細図(3)			S-029	雑配筋詳細図（２）
A-030	1階展開図(4)	A-070	昇降機詳細図(1)			S-030	地下オイルタンク配筋詳細図
A-031	2階平面詳細図	A-071	昇降機詳細図(2)			S-031	既存柱状図
A-032	2階展開図(6)	A-072	昇降機詳細図(3)				
A-033	2階展開図(7)	A-073	昇降機詳細図(4)				
A-034	2階展開図(8)	A-074	1,2階家具キープラン				
A-035	2階展開図(9)	A-075	3、R階家具キープラン				
A-036	2階展開図(10)	A-076					
A-037	2階展開図(11)	A-077	家具詳細図(2)				
A-038	3階平面詳細図	A-078	家具詳細図(3)				
A-039	3階展開図(12)	A-079	1、2階サインキープラン				
A-040	3階展開図(13)	A-080	3、R階サインキープラン				

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	---	図面番号	A-001
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市二十世紀が丘消防署建設工事　設計図

令和7年03月14日

特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1. 工事場所　松戸市二十世紀が丘梨元町1番、2番

2. 敷地面積　1,175.67㎡

3. 工事種目　(1) 消防署　鉄筋コンクリート造　3階建　新築　1棟

建築面積	576.11 ㎡（建築基準法による）
延べ面積	1309.82 ㎡（建築基準法による）
1階	528.25 ㎡
2階	351.80 ㎡
3階	429.77 ㎡

(2) 屋外排水設備		新設　一式
(3) 構内舗装	コンクリート舗装	新設　一式
(4) 道路舗装	アスファルト舗装	新設　一式
(5) 雑工作物		
イ　デジタルサイネージ		新設　1箇所
ロ　掲揚ポール		新設　1箇所
ハ　ホースタワー		新設　1箇所
ニ　地下タンク		新設　1箇所
ホ　受水槽		新設　1箇所
ヘ　放水訓練板、ホース洗浄漕		新設　1箇所
(6) メッシュフェンス		新設　一式
(10) 樹木		新植　一式
(11) 芝張り		新植　一式

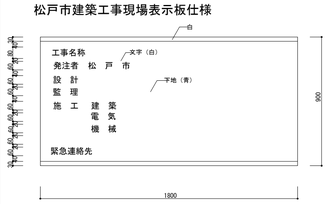
4. 指定部分　・有　(・)無　対象部分（　　）
　指定部分工期　　年　月　日

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち＿＿＿＿＿＿の工事範囲は下記表のとおりとする。
　ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2章　仮設工事	全て
3章　土工事	全て
4章　地業工事	全て
5章　鉄筋工事	全て
6章　コンクリート工事	全て
7章　鉄骨工事	全て
8章　ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCパネル・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	
9章　防水工事	全て
10章　石工事	
11章　タイル工事	全て
12章　木工事	全て
13章　屋根及びとい工事	全て
14章　金属工事	全て
15章　左官工事	全て
16章　建具工事	全て
17章　カーテンウォール工事	
18章　塗装工事	全て
19章　内装工事	全て
20章　ユニット及びその他の工事	全て

松戸市建築工事現場表示板仕様



（１）材料
１）耐水合板（ラワン厚12mm　SOP仕上げ）

２）枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

（２）注意事項
１）表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し、公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

Ⅱ　建築工事仕様

1. 共通仕様
（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標仕」という。）及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」による。

2. 特記仕様
（1）項目は、番号に ◯ 印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、(・) 印の付いたものを適用する。
　(・) 印のかない場合は、※印のついたものを適用する。
　(・) 印と (※) 印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）特記事項に記載の（別　　）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
（5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。
（6）Ⓖ 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	① 適用基準等	(・) 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版） (・) 工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） (・) 建築工事安全施工技術指針・同解説　（建設大臣官房官庁営繕部監修） (・) 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）　国土交通省住宅局建築指導課監修 (・) 建築工事における建設副産物管理マニュアル・同解説 国土交通大臣官房官庁営繕部設備・環境課営繕対策室監修（最新版） (・) 建築物解体工事共通仕様書・同解説　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版） (・) 松戸市建築工事に関する提出書類
	② 工事実績情報の登録	※適用する　(1.1.4)
	③ 適用区分	・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 ※風速（Vo＝３４m／ｓ　） ※地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　(・)Ⅲ　・Ⅳ） ・積雪区分　建告示第1455号　別表（　２４　）
	④ 電気保安技術者	工事現場において電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　(1.3.3) (・)要　・不要
	5 条件明示項目	(1.3.5)
	⑥ 発生材の処理等	※現場説明書による　(・)構外搬出適切処理　(1.3.11)
	⑦ 環境への配慮	(1.4.1) 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、 パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	⑧ 材料の品質等	(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有するべき品質及び性能を有するものとする。　(1.4.2) (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該製品または同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち（5）に指定する材料の製造業者は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 ①品質及び性能に関する試験データが整備されていること ②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③安定的な供給が可能であること ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 無収縮グラフト材、乾式保護材、既調合モルタル、既調合目地材、防水剤、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り上げ引き戸機構、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、移動間仕切、トイレブース、煙突用成型ランニング材、天井点検口、床点検口、錆鉄ふた、グレーチング、屋上緑化システム、ポリマーセメントモルタル、床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、ルーフドレン、吸水調整材、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、可動間仕切り、トップライト
	⑨ 技能士	(1.5.2)

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	(・)鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	(・)型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	(・)アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 (・)塗膜防水工事作業　(・)シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	(・)タイル張り
木工事	(・)建築大工
屋根及びとい工事	(・)建築板金（内外装板金作業）
金属工事	(・)内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	(・)左官
建具工事	(・)サッシ施工　(・)ガラス施工　(・)自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	(・)塗装（建築塗装作業）
内装工事	(・)プラスチック系床仕上げ工事作業 (・)ボード仕上げ工事作業　・表装（壁装作業）

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	⑪ 化学物質の濃度測定	(1.5.9) 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　(・)防火衣室、仮眠室（２箇所）、事務室、小会議室 測定箇所数　(・)５箇所 報告の様式等については、現場説明書による。
	⑫ 完成図等	(・)作成する　・作成しない　(1.7.1～3)（表1.7.1） ※完成図　提出部数　・現場製本図　2部 ・黒　金文字製本図　1部 (・)ＰＤＦ、ＣＡＤデータ　2部 ・施工図　提出部数　※　2部
	⑬ 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ（mm）
(・)カラー ※キャビネ版 ・ベた焼 （他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）	外部（　4　）内部（各室）	※1　(・)2	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400（mm）	外部（　　）内部（　　）	※2	
(・)電子データ	外部（　4　）内部（各室）	※2	※6000px×4200px以上 （Web用も作成すること）

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめベた焼を提出し確認を受ける。
電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 (・) 工事区分表参照
	⑮ 設計ＧＬ	※図示（配置図）　・設計ＧＬ＝現状ＧＬ
	⑯ 工事写真	※工事工程写真　着工前、完成及び立会写真　2部（提出時期は監督職員と協議する。）
	⑰ その他	工事車両の出入りする出入口には必要に応じて交通誘導員を配置し、大型車両搬入時は随時交通誘導員を配置すること。
	⑱ 保険等	※本工事の完成引渡しまで工事目的物及び工事材料を火災保険、建設工事保険その他の保険に付すること。 ※「建設業退職金共済制度」に基づき「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」を工事契約締結後、1か月以内に提出すること。
	⑲ ワンデーレスポンス	・ 別紙施工条件の明示による。 (・) 本工事は、ワンデーレスポンス対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは、受注者からの質問、協議への回答は基本的に「その日のうち（２４時間以内）」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者に確認の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 １）受注者は、施工計画に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら施工すること。 ２）受注者は、工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じる恐れがある場合は、原因を究明すると共に速やかに文書にて監督職員へ報告すること。
2 仮設工事	1 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による　(2.3.1)
	② 工事用水	構内既存の施設　(・)利用できない　・利用できる（※有償　・無償）　(2.3.1)
	③ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）　(2.3.1)
3 土工事	① 埋戻し及び盛土	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(3.2.3)（表3.2.1） ・建設汚泥から再生した処理土　Ⓖ
	② 建設発生土の処理	※現場説明書による　(・)構外搬出適切処理　(3.2.5) ・構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に散き均し 建設発生土は、鎌ヶ谷市初富808、片道運搬距離12.1kmの三信建設（株）に搬出するものとする。 工事発注後、上記の指定処理により難い場合は、監督職員と協議するものとする。 片道運搬距離は積算上処理分区ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じる場合においては、設計変更の対象としない。 搬出の際は、平成３年環境庁告示第４６号付表に定める方法により検液を作成し、計量した結果の結果証明書を提出しなければならない。なお、計量する対象は、付表に定める溶出試験２８項目、含有量試験２項目とする。
4 ～ 7		特記仕様書（構造関係）による 4章　地業工事 5章　鉄筋工事 6章　コンクリート工事 7章　鉄骨工事
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造	※空洞ブロック16　・空洞ブロック16－Ｗ　(8.2.2)
	2 コンクリートブロック帳壁及び塀	※標仕表8.3.1及び下表による　(8.3.2)

適用箇所		厚さ（mm）
・間仕切壁　・地下二重壁　・外壁		・120
・塀	高さ２ｍ以下	・120
	高さ２ｍを超える	・150
・衛生配管用裏積みブロック		・100 ・

3 ＡＬＣパネル				(8.4.2～6)（表8.4.3～4)
種　類	単位荷重（N／m²）	厚さ（mm）	取付け工法種別	
・外壁パネル	・1180　・1960	※100　・50	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種	
・間仕切壁パネル		※100　・	・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種	
・屋根パネル	・980	※100　・	※標仕8.4.6による	
・床パネル	・2380　・3530	・100　・150		
・床パネルの耐火性能	（・1時間　・2時間）			

4 押出成形セメント板（ECP）					(8.5.2～6)（表8.5.1～2)
種　類	表面形状	厚さ（mm）	幅（mm）	工法種別	
・外壁パネル	※Ｆ　・Ｆ－Ｒ			・Ａ種 ・Ｂ種	
	・Ｄ　・Ｄ－Ｒ				
	・Ｔ　・Ｔ－Ｒ				
・間仕切パネル	※Ｆ　・Ｆ－Ｒ			・Ｂ種 ・Ｃ種	
	・Ｄ　・Ｄ－Ｒ				
	・Ｔ　・Ｔ－Ｒ				

耐火性能　・有り（　　）
　・無し

章	項　目	特　記　事　項
9 防水工事	(・) アスファルト防水	屋根保護防水　(9.2.2～5)（表 9.2.3～9） 防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・A-1			※ポリエチレンフィルム　厚さ0.15mm以上又はプラスチックシロス70g/㎡程度 ・
・A-2			
・A-3			
・B-1			
・B-2			
・AI-1		（種類） ・	※プラスチックシロス　70g/㎡程度 ・
(・)AI-2	屋根、３階テラス	※JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き）	
・AI-3		（厚さ）(mm) ・	
・BI-1			
・BI-2		(・)60	

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料による区分　※R種
　厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料による区分　※R種
　厚さ（　　）mm以上
立上り部への断熱材及び絶縁用シート
※設置しない　・設置する
平場の保護コンクリートの厚さ
　こて仕上げ　※水下　80mm以上
　床タイル張り　※水下　60mm以上
立上り部の保護方法
(・)乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
　押出成形セメント板　厚さ（　15　）mm
・れんが押え（※JIS R 1250　・　　）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）

屋根露出防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材 Ⓖ	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率 防水 Ⓖ
・D-1			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	・適用する
・D-2					・適用する
・DI-1		標準仕様書9.2.2(9)（種類） ・			・適用する
・DI-2		（厚さ）(mm) ・			・適用する

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料による区分　※R種
　厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料による区分　※R種
　厚さ（　　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・（　　）個

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層
・設ける（※図示による　・　　）
・設けない
E-1の行程3を行う部位
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位
・

防水層の下地の立上り
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
・
防水層の下地のモルタル塗り
・適用する（施工範囲　※図示による　・　　）
・適用しない
屋根排水溝
※図示による　・

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	特記仕様書(1)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	---	図面番号	A-002
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

・改質アスファルトシート防水

屋根露出防水　(9.3.2、3)(表 9.3.1～3)

防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材 G	防湿用シート	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G
・AS-T1				・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する
・AS-T2						・適用する
・AS-T3						・適用する
・AS-T4						・適用する
・AS-J1						・適用する
・ASI-T1		標準仕様書9.3.2(3)(ｳ)(種類) ・(厚さ)(mm) ・	・設ける（改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様） ・設けない			・適用する
・ASI-J1						・適用する

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・（　　）個

・合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別　(9.4.2～4)（表 9.4.1～3）

種別	施工箇所	可塑剤移行防止ｼｰﾄの材質	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G
・S-F1				・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する
・S-F2						・適用する
・S-M1				・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する
・S-M2						・適用する
・SI-F1			標準仕様書9.4.2(3)(ｴ)(b)(種類) ・(厚さ)(mm) ・	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する
・SI-F2						・適用する
・SI-M1			標準仕様書9.4.2(3)(ｴ)(a)(種類) ・	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する
・SI-M2		※発泡ｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・	(厚さ)(mm) ・			・適用する

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・設置する　・設置しない

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗厚	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・S-C1		・	※7mm以下 ・

平場のモルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2㎡程度、最大目地感覚3m程度
・
目地の種類
※押し目地　・

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類　・
厚さ　・（　　）mm以上

固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・（　　）個
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示による　・　　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う（・図示による　・　　）
・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の（・1　・　　）倍の風圧力に対応した工法

⊙塗膜防水

防水層の種別　(9.5.3)（表 9.5.1、2）

種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層	高日射反射率防水 G
・X-1		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・		・適用する
⊙X-2	庇、笠木、鳩小屋、ハイサイドライト屋根、基礎天端、外階段、入口屋根	⊙主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・		・適用する
・Y-1	※地下外壁防水 ・				
・Y-2	※屋内防水 ・			・適用する ・適用しない	

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※主材料の製造所の仕様
・
設置数量
※主材料の製造所の仕様
・（　　）個

⊙ケイ酸質系塗布防水

防水層の下地　(9.6.4)（表9.6.1）
壁
※コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4　B種）
・
天井部
※コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4　B種）
・
下地処理
コンクリートの打継ぎ箇所の処理
※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。
・図示による
・
標準仕様書9.6.4(2)の(ｲ)、(ｳ) 以外の下地処理
⊙図示による　・

⊙シーリング

下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による。　(9.7.2、3、5)(表 9.7.1)
ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
金属製建具廻り	MS-2
コンクリートひび割れ誘発目地、打継目地	PU-2

仕上げを行わない施工箇所（・図示による　・　　）
シーリング材の目地寸法
※標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
・図示による
・
接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

10 石工事

1　天然石張り　(10.2.1)（表10.2.1～2）

施工箇所	種　類	産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類

2　テラゾ張り　(10.2.1)（表10.2.2）
種石の種類　※大理石　・
表面仕上げ　※本磨き　・
形状・寸法　※図示

3　壁の石張り工法
外壁石張り　(10.3.2～3)（10.5.2～3）
工法
・外壁湿式工法（※流し筋工法　・　　）
・乾式工法
石裏面処理　・行う（・小口共）
裏打ち処理　・行う
ドレインパイプ　※ステンレスSUS304　・
内壁石張り　(10.4.2～3)（10.5.2～3）
工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法）
・乾式工法
裏打ち処理　・行う

4　床及び階段の石張り
床石張りの裏面処理　・行う　(10.6.2)
屋内のワックス掛け　・行う　(10.1.5)

⑪ タイル工事

・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置　(11.1.3)(表11.1.1)
※標準仕様書表11.1.1による
・図示による
目地寸法
・図示による

・見本焼き 試験施工
見本焼き　(11.1.4)
・行う（施工箇所：　　）　・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない

⊙セメントモルタルによるタイル張り
タイルの形状、寸法等　(11.2.2、6)

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
床		597x597x10	・	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	⊙	・	⊙	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

※床：ピエトレナチュラーレ コール（グリップ）-アドバン同等品
標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

既調合モルタル（品質・性能、試験方法は別表による）
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

既調合目地材（品質・性能、試験方法は別表による）

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
※目荒し工法（高圧水洗処理）
・MCR工法
・
壁タイル張りの工法
内外装タイル
・密着張り
・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り
・モザイクタイル張り

・有機系接着剤によるタイル張り
タイルの形状、寸法等　(11.3.2～5)

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
目地のシーリング材
打継ぎ目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
伸縮調整目地及びその他の目地
※変成シリコーン系シーリング材
・

下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理
※目荒し工法（高圧水洗処理）
・MCR工法
・
外装タイルの目地詰め
・行う　・行わない

⑫ 木工事

⊙施工一般
材料のホルムアルデヒド放散量　(12.2.1)
⊙F☆☆☆☆

・製材 G　(12.2.1)（12.4.1）(12.5.1)（12.6.1）(12.7.1)

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級 ・	※A種　・B種　・		・
		※2級 ・	※A種　・B種　・		・
		※2級 ・	※A種　・B種　・		・

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節 ・	※A種　・B種　・		・
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種　・B種　・		・
			※A種　・B種　・		・

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等 ・	※10%以下 ・A種　・B種　・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種　・B種　・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種　・B種　・		・

⊙造作用集成材 G
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等 ・2等	・
					※1等 ・2等	・
					※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・

⊙「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
額縁	米ツガ	図示		※15%以下 ・	・
カーテンボックス	米ツガ	図示		※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・

・造作用単板積層材 G
・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材　(12.2.1)

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・
				・適用する ・適用しない	・
				・適用する ・適用しない	・

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・

・JAS 3079 に基づく直交集成板 G

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・
							・

⊙合板等
・「合板の日本農林規格」による普通合板 G　(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・
						・
						・

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	特記仕様書(2)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	---	図面番号	A-003
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ（mm）	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
小便器ライニング壁、乾式二重床（耐水合板図示範囲）	※2級以上・1級	針葉樹	※1類 ⊙特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ○適用しない	・適用する（ ） ⊙適用しない	・
								・
								・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない	・
					・
					・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（mm）
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法（mm）

・MDF G

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

・ 接合具等　(12.2.2)
造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（標準仕様書表12.2.3～5に示す程度の市販品　表14.2.2のF種程度）
・　（形状：　寸法：　材質：　）

⊙ 接着剤　(12.2.2、3)
接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆　・

・ 防腐・防蟻処理　(12.3.1、2)
・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位：（　）
・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（　）
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位（　）

⊙ 内部間仕切軸組及び床組み　(12.4.1)
・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松　・
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松　・

・ 窓、出入口その他　(12.5.1)
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

・ 床板張り　(12.6.1)
・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※ひのき　・

・ 壁及び天井下地　(12.7.1)
・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松　・

⑬ 屋根及びとい工事

・ 長尺金属板葺　(13.2.2、3)

施工箇所	板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ（mm）	屋根葺形式	備考
	※JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・蟠掛葺 ・横葺 ・	

下葺材料
・アスファルトルーフィング 940
・ 改質アスファルトルーフィング下葺材
（・一般タイプ　・複層基材タイプ　・粘着層付タイプ）
横葺きの場合のけらば納め
・つかみ込み納め　・包み納め
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
雪止め
・設置する　（形状及び施工箇所　・図示による　・　）
・設置しない

・ 折板葺　(13.2.2)(13.3.2,)(表 13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高	山ﾋﾟｯﾁ	耐力による区分	材料による区分	厚さ（mm）	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かな合形			（　）種	※鋼板製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・			・	・			

材料
鋼板の種類（※JIS G 3302　・　）
塗膜の種類（　）
断熱材張り
・行う　（断熱材の種別：　厚さ(mm)：　防火性能：　）
・行わない
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に対応した工法の適用
・適用する　・適用しない
折板のけらば納め
※けらば包みによる方法
雪止め
・設置する　（形状及び施工箇所　・図示による　・　）
・設置しない

・ 粘土瓦葺　(13.4.2、3)

施工箇所	種類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
						・適用する ・適用しない
						・適用する ・適用しない

桟瓦の防災瓦の使用　・適用する　・適用しない
JISA5208に基づく凍害試験等
・行う　・行わない
瓦桟木
材質
※杉　・
寸法
※幅21×高さ15(mm)以上
・
棟補強用心材
材質
※杉　・
寸法
※幅40×高さ30(mm)
・
瓦緊結用釘及びねじ
種類（　）　径（　）　長さ（　）
棟補強等に使用する金物等
材質
・ステンレス製
・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状、寸法及び留付け方法
※図示による　・
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等
※図示による　・
瓦桟木の留付け工法
※図示による　・
棟の工法
・7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟
・のし積み棟
・
面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル　・瓦葺き用しっくい

⊙ とい　(13.5.2、3)(表 13.5.4)
といその他の材種
・配管用鋼管
・硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフドレン
⊙ ステンレス
とい受金物
材種
※標準仕様書表13.5.2による　(溶融亜鉛めっきを行ったもの)
⊙ バンドレス
形状
※市販品（とい径 100 以下）
・25×4.5(mm)以上（とい径 100 を超えるもの）
・
取付け間隔
※標準仕様書13.5.2による
⊙ 製品仕様
足金物
材種
※標準仕様書表13.5.2による　(溶融亜鉛めっきを行ったもの)
・
形状
※市販品　・
取付け間隔
※標準仕様書13.5.2による
・
多雪地域
・適用する　⊙適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
鋼管製といの防露巻き
※標準仕様書表13.5.4による
・
ルーフドレンの種類及び呼び

種別		呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100 ・125　・150	
⊙ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	⊙80　・100 ・125　・150	屋根、テラス
⊙バルコニー中継用	⊙ねじ込み式	・50　⊙80　・100	外階段
	・差し込み式	・50　・75　・100	
・バルコニー用	・ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	

⑭ 金属工事

・ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　(14.2.1)(表 14.2.1)

種類	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）

陽極酸化皮膜の着色方法
※二次電解着色
・三次電解着色

⊙ 鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.2)(表 14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
⊙ 溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	⊙C種	小会議室、事務室　間仕切り塞ぎ
・ 電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

⊙ 軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類　(14.4.2～4)(表14.4.1)
屋外
※25形　・19形
屋内
※19形　・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示による　・
周辺部の端からの間隔　・図示による　・
野縁の間隔　・図示による　・
⊙吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法　※図示による　・　）
・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法　※図示による　・　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所　・図示による　・　）
（補強方法　※図示による　・　）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⊙ 軽量鉄骨壁下地　(14.5.3、4)(表 14.5.1)
スタッド、ランナの種類
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※標準仕様書14.5.4.(5)による
・

・ 金属成形板張り　(14.6.2、3)(表 14.2.1)

種別	製法	形状	板幅（mm）	板厚（mm）	表面処理 種別	表面処理 色合い等
・アルミニウム	・押出し ・ロール	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形				
	・プレス ・	パネル形				

・ アルミニウム製笠木　(14.7.2、3)(表 14.2.1)(表 14.7.1)
種類
・250形　・300形　・350形
表面処理
種別（　）種　（　）
色合等　・標準色（　）　・特注色（　）
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
取付け用下地
※標準仕様書14.4による
・図示による
伸縮調整継手
・設ける
（施工箇所　・図示による　・　）
・設けない
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑮ 左官工事

⊙ モルタル塗り　(15.3.2、5)
モルタル
・現場調合材料
⊙既調合材料
既製目地材
・設ける
施工箇所（　）　形状（※図示による　・　）
⊙設けない
床の目地
・設ける
目地割り
※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）
・
目地の種類
※押し目地
・
⊙設けない
屋外のタイル張り下地及び屋内の吹抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・適用する　⊙適用しない
防水剤（品質・性能、試験方法は別表による）

・ ラス系下地　(15.2.4)
ラス系下地
・二層下地通気構法
・単層下地通気構法
換気口部の措置　（※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3.(2)(ｳ)　・　）
・直張りラスモルタル下地
・直張りラスシートモルタル下地
ラスの材料
種類及び記号　（　）
単位面積当たりの質量（　）
ラスシートの材料
ラス目による区分（※M　・　）
山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分
（・LS4(建築基準法に基づく耐力壁)　・　）
ステープルの形状及び寸法（　）
直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工
（　）

⊙ せっこうボード その他のボード下地　(15.2.5)
せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ
種類 ⊙GB-R　・GB-L　・　）　厚さ（12.5　mm）
木質系セメント板の種類及び厚さ
種類（・　）　厚さ（　mm）

・ こまい下地　(15.2.6)
建築基準法に基づく耐力壁の指定（・あり　・なし）

・ 木ずり下地　(15.2.7)
木ずり用小幅板の種類（※すぎ(心去り材)　・　）

⊙ 仕上塗材仕上げ　(15.6.2)
内装仕上げに用いる塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
仕上塗材の種類
⊙薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
⊙天然石調仕上塗材		こて	・適用する	・
⊙外装薄塗材E	着色骨材砂壁状	吹付	・適用する	・

※天然石調仕上塗材：アイワテック　アドグラみかげ同等品
・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料
・			・適用する	・適用する	・
・			・適用する	・適用する	・

・複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・			樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
・	・	・	・	・	・

・軽量骨材仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料
・	
・	

・ マスチック塗材塗り　(15.7.2)
種別
・A種　・B種

・ ロックウール吹付け　(15.12.2、3)
ロックウールのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
仕上げ吹付け厚さ
・図示による
・25mm
・

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	特記仕様書(3)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	---	図面番号	A-004
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

・ しっくい塗り

しっくい (15.10.2～4)
・既調合材料
色しっくい ・適用する ・適用しない
・現場調合材料
下地
・せっこうボード ・せっこうラスボード ・モルタル塗り ・木ずり
・こまい ・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合
・
既調合しっくいの調合
・せっこうボード下地 ※標準仕様書表15.10.1 ・
・モルタル塗り下地 ※標準仕様書表15.10.2 ・
・せっこうラスボード下地 ※製造所の仕様による ・
現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚
・木ずり下地 ※標準仕様書表15.10.3 ・
・せっこうプラスター下地、こまい下地 ※標準仕様書表15.10.4 ・
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
・撫で切り仕上 ・パターン

・ こまい壁塗り

のり (15.11.2～5、7、8)
・土壁用ののり
※つのまた
・ふのり
・ぎんなんそう
・粉末海藻
・
・砂壁用ののり
※ふのり
・つのまた
・こんにゃくのり
・にかわ
・合成高分子系混和剤
・
色土
・土物仕上げに用いる色土の種類（ ）
・大津仕上げに用いる色土の種類（ ）
色砂の種類
・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
下塗りの調合
※標準仕様書表15.11.2
・
塗厚
※標準仕様書表15.11.8による
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合（ ）
・
こまい壁の工程
※A種 ・B種
こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類
・土物仕上げ工法
・水ごね土物1工法
・水ごね土物2工法
・のりさし土物工法
・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類
・普通大津仕上げ工法
・大津みがき仕上げ工法
ちりじゃくり
・図示による ・

⑯ 建具工事

⊙ 防火戸

⊙建具表による (16.1.3)
・

・ 見本の製作等

建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） (16.1.4)
・行わない
建具見本製作の目的等 ・
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ）
・行わない

・ 防犯建物部品

・適用する（・建具表による ・ ） (16.1.6)
・適用しない

⊙ アルミニウム製建具

性能値等 (16.2.2、4、5)（表14.2.1）（表16.2.1、2）
耐風圧性の等級（⊙S-6 ）
（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
気密性の等級（⊙A-4 ）
（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
水密性の等級（⊙W-5 ）
（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・B種（建具符号 ・建具表による ・ ）
⊙C種（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
・D種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・E種（建具符号 ・建具表による ・ ）
枠の見込み寸法 ⊙建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL ・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
・BB-1 ⊙BB-2 （標準仕様書表14.2.1）
着色（ブラック）
⊙標準色 ・特注色
屋内の建具
種別
・BC-1 ・BC-2 （標準仕様書表14.2.1）
着色
・標準色 ・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式 ⊙排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による ・
木下地の場合の内付け建具
・適用しない ・適用する

・ 網戸等

(16.2.3)

種類	材質	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

・ 樹脂製建具

性能値等 (16.2.5)（16.3.2～5）（表16.3.1～3）
耐風圧性の等級（ ）
気密性の等級 （ ）
水密性の等級 （ ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・B種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・C種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・D種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・E種（建具符号 ・建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・T-1 ・T-2 ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（・H-4 ・H-5 ・H-6 ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
外部 に面する建具の日射熱取得性の等級 ・
枠の見込み寸法 ・建具表による ・
材料
ガラス
※複層ガラス（組合せは建具表による）
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL ・
形状及び仕上げ
表面色 ・標準色 ・特注色
工法
水切り板、ぜん板 ※図示による ・
木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する

⊙ 鋼製建具

性能値等 (16.2.2)（16.4.2～4）(16.4.6) （表16.4.2）
簡易気密型ドアセット
⊙適用する
（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 （・ ）
（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※標準仕様書表16.4.2による
・ 使用箇所（ ）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による ・

⊙ 鋼製軽量建具

性能値等 (16.2.2) (16.5.2～4)(16.5.6)(表16.5.1)
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号 ・建具表による ・ ）
⊙適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
鋼板
⊙亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
召合わせ、縦小口包み板の性質
※鋼板 ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ（㎜）
※標準仕様書表16.5.1による
・
使用箇所（ ）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による ・

⊙ ステンレス製建具

性能値等 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号 ・建具表による ・ ）
⊙適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・ ）
（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシG
断熱性の等級（ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL ・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL ・鏡面仕上げ ・
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ ・角出し曲げ ・

・ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 (16.7.2～4)
※A種 ・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※標準仕様書16.7.2(2)(f)(a)による ・
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板G	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・天然木 化粧合板G	樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・特殊加工 化粧合板G	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・MDF G		

表面板の厚さ
※表16.7.6による ・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない ・適用する
・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子
・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁
・生地縁（素地）
・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・
・戸ぶすま
表面板の仕上 ・建具表による
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・
・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・

枠、くつずりの材料
・建具表による ・

⊙ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等 (16.8.2、3)(表16.8.1～5)
※標準仕様書16.8.1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書表16.8.5による
・建具表による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
⊙建具表による
・
シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠（品質・性能、試験方法は別表による）
クローザ類（品質・性能、試験方法は別表による）

⊙ 鍵

マスターキー (16.8.4)
⊙製作する ・製作しない
鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き） ・
鍵箱
※有り ・無し
杉田エース KC-100WG同等品 100組

⊙ 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 (16.9.2、3)
⊙建具表による ・
⊙引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書表16.9.1 （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式 （ ）
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
・車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書表16.9.2 （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
⊙引き戸用検出装置
性能値
※標準仕様書表16.9.3 （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
防錆 （ ）
防滴 （ ）
電源 （ ）
引き戸用検出装置の種類 標準仕様書表16.9.4
⊙建具表による ・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大型押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う ⊙行わない

⊙ 自閉式上吊り引戸装置

性能値等 (16.10.3)（表16.10.1）
※標準仕様書表16.10.1
・以下による
手動開き力 （ ）
手動閉じ力 （ ）
閉じ速度の調整 （ ）
制動区間 （ ）
開閉繰返し （ ）
耐衝撃性 （ ）

⊙ 重量シャッター

シャッターの種類 (16.11.2、3)
⊙管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
⊙屋内用防火シャッター
⊙防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）pa
開閉方式の種類
※電動式（手動併用） ・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
※設ける （設置箇所 ⊙建具表による ・ ）
・設けない（設置箇所 ・建具表による ・ ）
電動式シャッターの障害物感知装置
※設ける （設置箇所 ⊙建具表による ・ ）
・設けない（設置箇所 ・建具表による ・ ）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
※設ける （設置箇所 ⊙建具表による ・ ）
・設けない（設置箇所 ・建具表による ・ ）
管理用シャッターのシャッターケース
⊙設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
⊙JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯）
めっきの付着量
※Z12又はF12
・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・

・ 軽量シャッター

開閉方式の種類 (16.12.2～4)
※手動式
・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（ ）pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
※設ける （設置箇所 ・建具表による ・ ）
・設けない（設置箇所 ・建具表による ・ ）
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	特記仕様書(4)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	---	図面番号	A-005
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

・オーバーヘッドドア

(16.13.2、3)

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドアの障害物感知装置
※設ける　(設置箇所　・建具表による　・　　)
・設けない (設置箇所　・建具表による　・　　)

ⓞガラス

ⓞフロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類　(9.7)(16.14.2~4)(図16.14.1)
ⓞ建具表による
・

ⓞ型板ガラスの厚さによる種類
ⓞ建具表による
・

ⓞ網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
ⓞ建具表による
・
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・建具表による
・
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類

ⓞ強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
ⓞ建具表による
・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　ⓞⅢ類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による
・
性能による種類
・1種　・2種

ⓞ複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
ⓞ建具表による
・
断熱性による区分
・T1　ⓞT2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分
ⓞG　・S
乾燥気体の種類
ⓞ空気　・アルゴン　・
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・
日射熱遮へい性による区分
・1種　・2種　・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・A類　・B類
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・

ガラスの留め材及び溝の大きさ　(16.14.2)(9.7)

建具の種類	ガラス留め材の種類	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	ⓞシーリング材 ・グレイジングガスケット ・	・図示による ⓞ建具製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	ⓞシーリング材 ・	・図示による ⓞ建具製造所の仕様による ・
ステンレス製	ⓞシーリング材 ・	・図示による ⓞ建具製造所の仕様による ・
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	・図示による ・建具製造所の仕様による ・

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。　(16.14.5)

・ガラスブロック積み

呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	目地幅（mm）	伸縮調整目地位置（mm）	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
※図示による　・
力骨
材質
※ステンレス鋼(SUS304)　・
寸法
※径5.5mm　・
形状
※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色（・白　・グレー）
シーリングの種類　（・SR-1　・PS-1）
金属製化粧カバー
材質
・ステンレス製　・アルミニウム製　・
寸法
※図示による　・
形状
※図示による　・
木下地の場合のアンカー等の取付け間隔
・図示による　・
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

17 カーテンウォール工事

1 メタルカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
カーテンウォール材料の種類　(17.2.2)

種類	規格等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式
・方立方式
・バックマリオン方式　（・単純２辺支持構法　・ＳＳＧ構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式　（・ノックダウン方式　・ユニット方式）
シーリング材及びガラス取付け材料
下記以外は標仕表9.6.1による　(9.6.2)　(17.2.2)　(表9.6.1)

被着体の組合せ		シーリング材の種別			
		記　号	主成分による区分	耐久性による区分	
金属	ガラス				
	石、タイル				
ガラス	ガラス				

構造用ガスケット　※適用しない　(17.2.2)
・適用する（施工箇所：図示　・
断熱材　※適用しない　(17.2.2)
・適用する（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所※図示　）
製品の寸法許容差　※標仕表17.2.1による　(17.2.3)　(表17.2.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による
アルミニウムの表面処理　(17.2.3)　(表14.2.1)

種別	色彩等
・A－1種　・B－1種	無着色
・A－2種　・B－2種	※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー　・
・着色塗膜	塗装材料（　　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク

耐風圧性能　(17.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²以上及び負圧　N/m²以上に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状態
※4m以下	※±（1/150）×h かつ絶対量20mm以下	※各部の破損、残留変形有害な変形が起こらないこと
・4mを超える	・	

耐震性能　(17.1.3)
設計用震度　水平方向（Kh）　※1.0　・
垂直方向（Kv）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上 ・	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないシーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上 ・	

水密性　・W－4　・W－5　・　(17.1.3)
気密性　・A－3　・A－4　・　(17.1.3)
耐火性能　※適用しない　・適用する（　　時間、施工箇所：図示）
映像調整　※行わない　・行う（建具業による）
製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

2 PCカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS 14による。
コンクリートの種類及び品質　(17.3.2)
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Ｆc）	所要スランプ（cm）

鉄筋　※SD295A　・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質　(14.2.3)　(表14.2.2)

金物種類及び部位	内　部	外　部
ＰＣ版打込み金物	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
ＰＣ版打込み取付けボルト	※Ｅ種　・	※ステンレスボルト
２次ファスナー	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
取付けボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
レベル調整ボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
	・	・

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料
下記以外は標仕表9.6.1による　(9.6.2)　(17.3.2)　(表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種別		
	記　号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材　※適用しない
・適用する　（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所　※図示）
製品の寸法許容差　※標仕表17.3.1による　(17.3.3)　(表17.3.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ　（　　）

耐火材料

施工部位	種　別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能　(17.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²以上及び負圧　N/m²以上に対して安全であること。
耐震性能　(17.1.3)
設計用震度　水平方向（Kh）　※1.0　・
垂直方向（Kv）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上 ・	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。ガラス等の破損もない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上 ・	

18 塗装工事

ⓞ材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　(18.1.3)
※F☆☆☆☆　・
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・以下の箇所を除き防火材料とする。
（箇所：　　）

ⓞ素地ごしらえ　(18.2.2~7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面（DP以外）		※B種　・A種　・B種
鉄鋼面（DPのみ）		※B種　・A種　・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　ⓞB種
モルタル面及びプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種　・A種
押出成形セメント板面		※B種　・A種
コンクリート面（DPのみ）		※A種　・B種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	※A種　・B種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

ⓞ錆止め塗料塗り　(18.3.2、3)

下地面	塗料の種別	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
	DP	C種及びD種	表18.3.4
	EP-G	※B種　・A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	・A種　・B種 ※鋼製建具等：A種 上記以外：B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種
	DP	B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種
	EP-G	C種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種

ⓞ塗装　(18.4.1~18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類	高日射反射率塗料 G
ⓞ合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種　・B種	―	―
	木部屋内	※B種　・A種		―
	鉄鋼面	※B種　・A種		・適用する
	亜鉛めっき鋼面	―		・適用する
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種　・A種	―	―
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	―	―
ⓞ耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	―	上塗り塗料の等級（３）級	・適用する
	亜鉛めっき鋼面	―	上塗り塗料の等級（３）級	―
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種　・B種 ・C種	―	―
ⓞつや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 ﾓﾙﾀﾙ面 ﾌﾟﾗｽﾀｰ面 ぜっこうﾎﾞｰﾄﾞ面 その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等	※B種　・A種	―	―
	屋内の鉄鋼面	※B種　・A種	―	―
ⓞ合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・A種	―	―
ⓞウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種　・A種	―	―
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	―	―
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	―	―

高日射反射率塗装 G を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。
クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する(着色剤：・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の適用
・適用する
ⓞ適用しない
オイルステン塗りの工程等
・

19 内装工事

ⓞ接着剤

ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量　(19.2.2)
※F☆☆☆☆　・
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による　・

ⓞ下地の工法

標準仕様書19.2.3(ｱ)～(ｳ)以外の下地の工法　(19.2.3)
ⓞ図示による　・

・ビニル床シート G

(19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・	

目地処理する場合の工法
※熱溶接工法　・

・ビニル床タイル G

(19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
・TT ・FT ※KT ・F0A ・F0B	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500 ・	※2.0 ・2.5 ・3.0 ・	

ⓞ特殊機能床材

・帯電防止床シート　(19.2.2)
種類　（　　）
性能　（　　）
厚さ(mm)（　　）

ⓞ帯電防止床タイル
種類　（F0A　）
性能　（帯電防止　）
寸法(mm)（500　×　500　）
厚さ(mm)（4.0　）

・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類　（　　）
形状　（　　）

・耐動荷重性床シート
種類　（　　）
厚さ(mm)（　　）

ⓞ防滑性床シート（1階：マーブル柄、2,3階：木目柄）
種類　（FS　）
厚さ(mm)（2.5　）
※防滑性：NSシート NS800　－　東リ同等品
※防汚性：消臭NSトワレNW　－　東リ同等品
・防滑性床タイル
種類　（　　）
寸法(mm)（　×　）
厚さ(mm)（　　）

ⓞビニル幅木

材質の種類　(19.2.2)
ⓞ軟質　・硬質
高さ(mm)
※60　・75　・100
厚さ(mm)
※1.5以上　・

・ゴム床タイル

種類　(19.2.2)
・単層品　・積層品
色柄（　　）
厚さ(mm)
・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（　×　）

ⓞカーペット敷き G

・織じゅうたん　(19.3.2、3)(表19.3.1)(表19.3.2)

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット	・カットパイル
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループパイル

色柄
※模様のない無地　・
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
・
帯電性
・適用する　・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm
・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ（mm）	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7　・	・全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・4～6　・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

ⓞタイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	仮眠室	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	特記仕様書(5)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	---	図面番号	A-006
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質（ SUS　　）
種類（　　）
形状等
※図示による　・

○ 合成樹脂塗床　(19.4.2、3)(表19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
○厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床	外階段、廊下、キャットウォーク		※平滑仕上げ ○防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
○厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床	乾燥室	○薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	○平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

・ フローリング張り G　フローリングのホルムアルデヒドの放散量等　(19.5.2～5)(表19.5.1～6)
※標準仕様書19.5.2(2)の(ｱ)～(ｵ)のいずれか
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆　・

・単層フローリング　(フローリングボード1等)
工法
・釘留め工法（・根太張り　・直張り ）
・接着工法
樹種
※なら　・
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

・単層フローリング　(フローリングブロック1等)
樹種
・
厚さ（mm）
・
大きさ
・
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

・複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り　・直張り ）
・接着工法
樹種
※なら　・
種別
・A種　・B種　・C種
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・

・ 畳敷き　種別　(19.6.2)(表 19.6.1)
・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）
下地の種類
・標準仕様書12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロ G ）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和型畳　(畳表：・C1　・C2)

○ せっこうボード、その他のボード及び合板張り　(19.7.2、3)(表 19.7.1)
MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
合板のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書19.7.2(3)(ｲ)の(a)～(d)のいずれか　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板 G	
・木毛セメント板 ・硬質(HW) ・中質(MW) ・普通(NW)	※図示による　・15　・20　・25
・木片セメント板 ・硬質(HF) ・普通(NF)	※図示による　・12　・15　・18　・21　・30
繊維強化セメント板	
○けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK	※図示による　○6　・8
火山性ガラス質複層板	
・火山性ガラス質複層板 種類　※図示による　・	※図示による　・
繊維板 G	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による　・3　・7　・9　・12　・
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（無処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DI) ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DE)	※図示による　・2.5　・3.5　・5　・7　・
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ（A-IB） ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による　・9　・12　・15　・18
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ G	
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板（VN） ・研磨板（VS）	※図示による　・10　・12　・15　・18　・
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DV） ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DO） ・塗装（DC）	※図示による　・10（難燃）　・12（難燃）　・
吸音材料	
○ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（DR） ○ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ・凹凸ﾀｲﾌﾟ	○9（不燃）　・12（不燃） ・12（不燃）　・15（不燃）
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（1号）	※図示による　・25　・
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（32K）	・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み）　・
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	
○せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R）	※12.5（不燃）　・15（不燃）　○9.5（準不燃）
○ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S）	○12.5　○不燃　・準不燃）
○強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-F）	・12.5（不燃）　・15（不燃）　○21（不燃）
○化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-D） ・木目（幅440mm程度）	—
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ（GB-L）	・9.5
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-NC） ・化粧無し（下地張り用） ・化粧有り（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	・9.5（不燃）
合板類	
・普通合板 G 表板の樹種名： 板面品質： 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・
・天然木化粧合板 G 化粧板の樹種名： 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・
・特殊加工化粧合板 G 化粧加工の方法 ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装　・ 表面性能 ・ 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※図示による　・
合板類の張付け
・A種　・B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類　※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ベベルエッジ　○スクエアエッジ

20 ユニット及びその他の工事

○ 壁紙張り　ホルムアルデヒド放散量　(19.8.2、3)
※F☆☆☆☆　・

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	塩化ビル	プラスチック	無機質	その他	防火性能	備考
仮眠室	・	・	・	○	・	・	○不燃　・準不燃	
女子エリア	・	・	・	○	・	・	○不燃　・準不燃	
2階トイレ（男）	・	・	・	○	・	・	・不燃　・準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	

モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
せっこうボード面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種

○ 断熱材 G　フェノールフォーム断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量　(19.9.2～4)
※F☆☆☆☆　・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
○断熱材打込み工法

種類	厚さ（mm）	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 （・　）	・	
○押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし） （・2種bA　○3種bA　・3種bC　・3種bD ）	○45　○60 ○50	ビット、車庫天井スラブ 女子仮眠室軒天
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	
○フェノールフォーム断熱材（後付接着工法）	○30	車庫、救急油庫直天井

○断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
・A種1　○A種1H　・
吹付け厚さ（mm）
○35　○70
施工箇所
○図示による　○ハイサイドライト屋根（70）、その他（35）

○ フリーアクセスフロア　(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法（mm）	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	備考
3階事務室 食堂、小会議室、会議室	・置敷式 ○支柱調整式	○500×500 ・	100	○1.0G ・0.6G	・3,000N ○5,000N ・	○帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
・以下による
パネルの長さの寸法精度
（　）
パネルの平面形状（角度）の寸法精度
（　）
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
（　）
帯電防止性能
・評価値（U）≧0.6以上
・評価値（U）≧1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗（R）≧1×10⁶Ω
(品質・性能、試験方法は別表による)

・ 可動間仕切　(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類 ｽﾀｯﾄﾞ	ﾊﾟﾈﾙ	パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式			・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具
・有り（※図示による　・　）
・無し
パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
※F☆☆☆☆　・

○ 移動間仕切　(20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材 材質	仕上げ	遮音性(dB/500Hz)
○平行方向 移動式 ・二方向 移動式	○手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ○ギヤ式	73	○鋼板 ・	○焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ○36以上

パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
○図示による
パネルをランナに取り付ける部品
※ランナに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
・

ハンガーレール及びランナ
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
・

○ トイレブース　(20.2.5)

表面材の材料	脚部 種類	ドアエッジ 材質
○ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製

○ 手すり　材料の種類及び仕上げ　(20.2.6)
○SUS304（表面処理　※HL程度　・　）　※スロープ手摺
○鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき　※内部階段、キャットウォーク
(※標準仕様書表14.2.2による種別（・　A 種））
○アルミニウム 表面処理　※外部階段
種別（　）種（　）
色合等 ○標準色（シルバー　）　・特注色（　）
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材 （材種：　）	・クリアラッカー ・	・35程度 ・45程度 ・		
・ビニル製		・35程度 ・45程度 ・		

○図示

○ 階段滑り止め　材種　(20.2.7)
・ステンレス製
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材
○ノンスリップタイル
形状
※タイヤ型(タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等)
・タイヤレス型
端部の形状
○フラットエンドあり
・フラットエンドなし
寸法(幅)
○35mm程度　・40mm程度　・50mm程度
取付け工法
※接着工法
・埋込み工法

・ 黒板及びホワイトボード G　(20.2.9)
・黒板
区分
※焼き付け　・
種類
・鋼製黒板
・ほうろう黒板
・
色
※緑　・
・ホワイトボード

・ 鏡　取付け箇所（　）　(20.2.10)
寸法（mm）
・図示による　・
厚さ（mm）
※5　・

○ 表示　衝突防止表示　(20.2.11)
○設置する
形状・寸法（○30φ　・　）
材質　（○ステンレス製　・　）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品　・
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による

○ タラップ　材質及び仕上げ　(20.2.12)
○SUS304（スリップ止め加工　※あり　・なし ）
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表14.2.2による種別（※C種　・　種））

・ 煙突ライニング　適用安全使用温度　(20.2.13)
・
工法
※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)
・

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	特記仕様書(6)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	---	図面番号	A-007
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

・ ブラインド

(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	ｽﾗｯﾄの種類	ｽﾗｯﾄ幅	ｷﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
・横形	・手動	※ギヤ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 G ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示による ・
	・電動	ー				
・縦形	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	・図示による ・
	・電動	ー				

縦型ブラインドのスラットの材質
・アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
・クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はGとする

・ ロールスクリーン

(20.2.15)

操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による ・	・

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はGとする

・ カーテン

(20.2.16)

形式		開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考
・ｼﾝｸﾞﾙ ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ		・図示による ・	

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はGとする
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300mm以上
・

・ カーテンレール

(20.2.16)

材料による区分
※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
強さによる区分
※10-90　・
仕上げ
※アルマイト　・
形状
※角形　・

・ ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ（mm）
・90×150　・120×80
・120×150　・150×80
・図示による
材種
・集成材（仕上げ：米栂集成材UC）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
種別（標準仕様書表14.2.1）
・BC-1　・BC-2　・
色合い
・標準色（　　）　・特注色（　　）
・鋼製（仕上げ：　　）

・ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
・アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・気密形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ・目地タイプ

・ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

・ 耐震スリット

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直	・25 ・40	・完全（全貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	
・水平	・25 ・20				

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・シーリング材(見え掛かり部のみ) ・	・シーリング材(見え掛かり部のみ) ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	・スリット幅×深さ10 ・	・スリット幅×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

・ 止水板

形式
・差込式　・据置式　・壁張り式
施工箇所
・図示による　・

・ エキスパンションジョイント金物

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

・ くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

・ 流し台ユニット

材種	寸法（mm） W	D	H	備考
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	ー	ー	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

品質・性能
外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1 による。
構成材は、JIS A 4420 の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。
形状
※図示による　・

・ 旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式	7	・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

・ 旗竿受金物

材種
・ステンレス製（SUS 304）
・

・ 車止めさく

形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・固定式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・76.3　t2.0	・850
・				

・ フェンス

フェンスの種類
・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ
・図示による　・

・ プレキャストコンクリート

コンクリートの設計基準強度　(20.3.3、4)
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する調合強度
・図示による
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する
・図示による
取付け方法
※図示による　・

・ 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

(20.4.2、3)

材種	種類	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	ー	ー	
・コンクリート間知ブロック	ー		・A ・B	

積み方
※谷積み　・布積み
目塗り
・図示による　・
伸縮調整目地
材種
・図示による　・
厚さ
・図示による　・

・ 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種　・2種　・3種 ・4種　・5種　・6種

・移動式書架（図示）

・ 屋内掲示板

枠の材質
※アルミニウム製
・
表面の材質
※塩ビ発泡シート張り
・

・ 洗面カウンター

材種
・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）
・人工大理石
奥行き(mm)
・約450　・約600　・約500

・ 防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き
線入り磨板ガラス	・	700	・

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※ 天井材張り ・

降下機構
煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

・ 屋外掲示板

照明器具
※有り　・無し
施錠
※有り　・無し
製造所
・

・ 収納家具

材質、形状、寸法
※図示による　・
合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・

21 排水工事

・ 屋外雨水排水

材料　(21.2.1、2)(表 21.2.1、2)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・ 遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	・B形管 ・	・図示による ・	
・ 硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VP G		・図示による ・	
	・RS-VU G		・図示による ・	
	・VP		・図示による ・	
	・VU		・図示による ・	

基床の厚さ及び種類
・図示による　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料
※接着剤　・
側塊の形状及び寸法
・図示による　・
排水桝の種類
・図示による　・
砂地業に用いる材料
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
・再生クラッシャラン G
・切込砂利又は切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度(N/mm2)
※18　・
スランプ(cm)
※15又は18　・
・現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
※SD295　・
・排水桝が現場打ちの場合の足掛け金物
※標準仕様書21.2.2(6)(オ)
材質
・ステンレス製
・鋼製
・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料
・
（砂を用いる場合の粒度試験）
・行う　・行わない

・ 鋳鉄製ふた

(21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（ﾊﾟｯｷﾝ式） ・密閉形（ﾃｰﾊﾟ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・中ふた付き密閉形（ﾃｰﾊﾟ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による。

・ グレーチング

(21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｯｼｭﾊﾟｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
・鋼製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目	・ （　）	・凹凸形 ・平形 ・
・ｽﾃﾝﾚｽ製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目	ー	・凹凸形 ・平形 ・ノンスリップ

・ 街きょ、縁石及び側溝

街きょ、縁石、側溝　(21.3.1、2)(表21.3.1)

種類	形状・寸法
・縁石	・図示による　・
・L形側溝	・図示による　・
・U形側溝	・図示による　・
・U形側溝ふた	・図示による　・
・	・図示による　・

砂地業に用いる材料
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
・再生クラッシャラン G　・切込砂利又は切込砕石
砂利地業の厚さ（mm）
※100　・図示による
・現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度（N/mm）
※18　・
スランプ（cm）
※15又は18　・
・現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
※SD295
凍上抑制層に用いる材料
・
（砂を用いる場合の粒度試験）
・行う　・行わない

・ 埋戻し土

※B種　・　(21.2.1)

22 舗装工事

・ 路床

路床の材料　(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示による ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂	・図示による ・
・フィルター層	※砂 ・	・図示による ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ）
・行う
・行わない
・路床安定処理
安定処理の方法
・置き換え工法
・安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類
・普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号　・1号）
・消石灰（・特号　・1号）
添加量
・　kg/m³（CBR　・3以上　・　）
・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/m²以上　・
厚さ(mm)
・0.5～1.0　・
引張強さ
・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数
・1.5×10⁻²cm/sec以上　・

試験
路床土の支持力比（CBR）試験
・行う　・行わない
路床締固め度の試験
・行う　・行わない
現場CBR試験
・行う　・行わない

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	特記仕様書(7)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	---	図面番号	A-008
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

⊙ 路盤

路盤の厚さ (22.3.2、3)(表 22.3.1)
⊙図示による ・
路盤材料（標準仕様書表22.3.1による種別）
⊙クラッシャラン
・粒度調整砕石
・再生クラッシャラン G
・再生粒度調整砕石 G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G
・粒度調整鉄鋼スラグ G
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G

⊙ アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2～6)(表 22.4.4)
※図示による ・
材料
アスファルト
・再生アスファルト G
（標準仕様書表22.4.1による種類： ・60～80 ・80～100）
⊙ストレートアスファルト
骨材
⊙道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G
加熱アスファルト混合物等の種類
⊙密粒度アスファルト混合物(13)
・細粒度アスファルト混合物(13)
・密粒度アスファルト混合物(13F)
シールコートの乳剤の種別
⊙PK-1 ・PK-2
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・
試験
アスファルト混合物等の抽出試験
・行う
⊙行わない

⊙ コンクリート舗装

コンクリート舗装の構成及び厚さ (22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場	⊙図示による	⊙図示による ・
	歩行者用通路	・図示による	※70 ・

材料
コンクリート
※普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による
・以下による
コンクリートの種類 （ ）
設計基準強度（N/㎟） （ ）
所定のスランプ（cm） （※8 ・ ）
粗骨材の最大寸法（mm） （ ）
早強ポルトランドセメント
・使用する ⊙使用しない
注入目地材料
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ
目地
※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による
・以下による
種類 ・
間隔 ・（)m程度ごと
構造 ・図示による
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

・ カラー舗装

・加熱系カラー舗装 (22.6.2～4)
構成・厚さ
・図示による ・
加熱系混合物の結合材
・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物 顔料の添加量（ %）
添加材
着色骨材（ ）
自然石 （ ）
・常温系カラー舗装
工法
・ニート工法（配合その他： ）
・塗布工法 （配合その他： ）
着色部の下部
・アスファルト舗装
・コンクリート舗装
・
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

・ 透水性アスファルト舗装

舗装の構成 (22.7.2、3、6)
・図示による ・
材料
骨材
・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G
（標準仕様書表22.4.1による種類： ・60～80 ・80～100）
舗装の平たん性
※著しい不陸がないもの
試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
・行う
・行わない

・ ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 G (22.8.2、3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・	※60 ・	※砂 ・ﾓﾙﾀﾙ	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

クッション材
※砂 ・空練りモルタル
普通平板は G（再生材1料を用いた舗装用ブロック）、透水平板は G（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。
・

・インターロッキングブロック舗装 G

種類	部位	形状 寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/㎟)	備考
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路	・図示による ・	※80 ・	※5.0 ・	表面加工 ・
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・図示による ・	※60 ・	※3.0 ・	

クッション材
※砂 ・空練りモルタル
歩行者用通路に使用する普通ブロックは G（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水性ブロックは G（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ間の段差は3mm以内とする。
・

・舗石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)
・花こう岩 ・	・割石 ・図示による ・	・	・	・ｺﾝｸﾘｰﾄ版 ・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	※70 ・ ※70 ・

クッション材
※砂 ・空練りモルタル
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。
・

・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/㎡以上 ・
厚さ(mm)
・0.5～1.0 ・
引張強さ
・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 ・
透水係数
・1.5×10⁻²cm/sec以上 ・

⊙ 砂利敷き

種別 (22.9.2)
・A種（施工範囲： ・図示による ・通路 ・ ）
⊙B種（施工範囲： ⊙図示による ・建物周囲その他 ・ ）

⊙ 路面標示用塗料

路面標示用塗料はJIS K 5665による。

種類	施工	適用	色	幅（mm）	塗布厚さ(mm)
※3種1号	溶融	粉体状	⊙白 ⊙赤	⊙100 ⊙150	⊙1.0 ・
・1種 G	常温	液状			
・2種 G	加熱				

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 G

㉓ 植栽及び屋上緑化工事

・ 植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験 (23.1.3)
・行う ・行わない
電気伝導度（EC）の試験
・行う ・行わない

⊙ 植栽基盤の整備 (23.2.2、4)

樹木の植栽基盤の整備
⊙適用する ・適用しない

植栽	工法	有効土層の厚さ（mm）	整備範囲	土壌改良材
⊙樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100 ・120 ・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80 ・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60 ・80） 樹高3m未満 （※50 ・60）	・葉張り部分 ⊙植栽部分 ・図示による ・	・適用する ⊙適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	⊙植栽部分 ・図示による ・	・適用する ⊙適用しない

植栽基盤の排水設備
・設ける（※図示による ・ ）
⊙設けない

⊙ 植込み用土

⊙現場発生土の良質土 (23.2.3)
・客土

・ 土壌改良材

種類及び指定量等 (23.2.3)
・バーク堆肥 G
施工箇所
※植栽範囲 ・図示による
使用量
植栽基盤面積1㎡あたり（ ・50L ・ ）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）G
施工箇所
※植栽範囲 ・図示による
使用量
植栽基盤面積1㎡あたり（ ・10L ・ ）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。
・

⊙ 樹木

樹種、寸法、株立数等 (23.3.2)
※図示による ・

⊙ 支柱

支柱材 (23.3.2、3)
※丸太（間伐材） G ・真竹 ・
防腐処理方法
※加圧式防腐処理丸太材 ・
形式
⊙図示による ・

⊙ 幹巻き用材料

材料 (23.3.2)
※幹巻き用テープ ・わら及びこも

⊙ 芝

種類 (23.4.2、3)
※コウライシバ ・ノシバ ・
芝張りの工法
平地
※目地張り ・べた張り
法面
※べた張り法面 ・目地張り

・ 吹付けは種

(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備考
※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上		
・	・		

・ 地被類

(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・	・	・	・

・ 新植、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置

新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間 (23.3.4、6) (23.4.7)(23.5.5)
※引渡しの日から1年 ・無し ・
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から1年 ・無し ・

・ 屋上緑化 G

植栽基盤及び材料 (23.5.2～4)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ
・図示による ・
排水層
・軽量骨材（層の厚さ： ）
・板状成形品
植込み用土
※改良土
・人工軽量土
樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等
※図示による ・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
※図示による ・
（品質・性能、試験方法は別表による）
支柱
・設置する
・設置しない
形式
・図示による
・
かん水装置
・設置する
・設置しない
種類
・図示による
・
工法
「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」（平成12年5月31日 建設省告示第1458号）に基づく風圧力に対応した工法
・図示による
・

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	特記仕様書(8)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	---	図面番号	A-009
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

工事区分

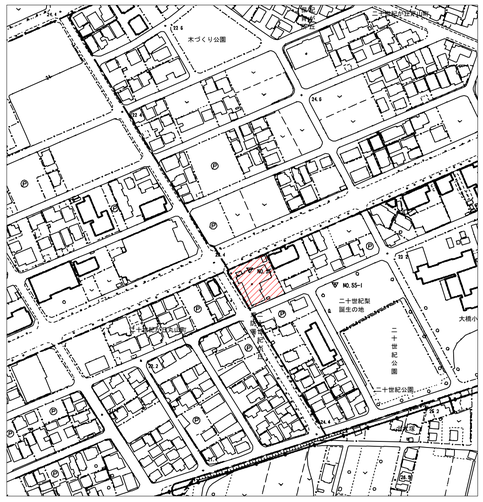
a 設計図による他、下記を工事区分とする。
b ○印を適用するが、疑義を生じた場合は事前に質問回答書をもって確認する。

	工事内容	建築	空調	衛生	電気	昇降	別途	
	躯体の開口、スリーブ工事							
1	スリーブ、開口の為の墨出し（ＲＣ）（各関連工事）	○	○	○	○			
2	床、壁、梁の貫通スリーブ（ＲＣ）（各関連工事）	○	○	○	○			
3	床、壁、梁の開口並びに貫通部の補強及び型枠（ＲＣ）	○						
4	スリーブ、開口廻りの穴埋め（ＲＣ）（防火、防煙区画及び遮音壁の穴埋めを含む各関連工事）	○	○	○	○			
5	鉄骨部の貫通スリーブ及び補強	○						
2	躯体以外の開口							
1	開口の為の墨出し（各関連工事）	○	○	○	○			
2	現場製作間仕切壁の開口、補強、枠付け、穴埋め（防火、防煙区画及び遮音壁の穴埋めを含む各関連工事）	○	○	○	○			
3	床、壁の直付各種器具の開口、補強、枠付け、穴埋め（補強は建築、各関連工事）	○	○	○	○			
4	天井吹出口、吸込口、埋込照明器具、スピーカー等取付けのための天井切り込み、枠組み（各関連工事/開口補強を要するものは建築工事	○	○	○	○			
5	同上補強（仕上材共、但し、スイッチボックス、コンセント等軽微なものは各設備工事）	○			○			
6	既製パーティション壁類の開口、補強	○						
3	基礎、ピット、マンホールその他工事							
1	屋上のコンクリート製機械基礎	○						
2	屋外のコンクリート製機械基礎（外灯の基礎を除く）	○						
3	屋内の床上機械基礎（建築図にあるものは仕上げとも建築）	○						
4	床下（ピット内）の機械基礎	○						
5	機械基礎のアンカーボルト等の埋込（屋内屋外共、各関連工事）	○	○	○				
6	二重スラブ内の連通管、通気管、人通孔	○						
7	各種地下水槽、ピット等のコンクリート躯体及び内部防水、断熱	○						
8	マンホール、タラップ等の設置（躯体に取付くもの）	○						
9	設備機器搬出入用天井等のフック及び補強	○						
10	屋内の排水溝、配管配線ピット及び各種ふたの製作取付け	○						
4	仕上げ関係工事							
1	外壁に取付くガラリの製作取付け	○						
2	屋内に取付くガラリの製作取付け（図示による、ドアガラリは建築）	○	○					
3	現場製作間仕切及び既製パーティション等への各種機械取付のための下地補強	○						
4	ＡＤ、ＰＳ、ＥＰＳ等の点検口又は扉の製作取付け	○						
5	フリーアクセスフロアーの開口	○						
6	換気扇取付用枠及びガラリの製作取付け（換気扇取付は空調）	○						
7	防火戸及び防煙たれ壁用煙感知機連動装置及び制御盤並びに二次側電気工事（一次側は電気）	○						
8	シャッター用二次側電気工事（一次側は電気）	○						
9	ルーフドレーン及び雨水配水管（建物外一次桝接続迄）	○						
10	同上 一次桝以降				○			
11	煙突（内部ライニング及び点検口を含む）							
12	同上に接続する煙道製作取付け（各関連工事）							
13	システム天井用設備ブレート（各関連工事）							
14	設備機器類の取付く仕上げ材（石、金属等）の加工	○						
15	機械室、電気室のかさ上げコンクリート及び床仕上げ	○						
16	ユニットバス、ユニットトイレ等の出入口額縁及び敷摺	○						
17	セルラーダクトの加工、取付け（耐火被覆を含む）							
18	同上 用ヘッダーダクトの加工、取付け							
19	コンクリートダクト及びその内部仕上げ							
5	設備関係工事							
1	機械室、電気室等のかさ上げコンクリート及び床仕上げ	○						
2	流し台、調理台、ガス台、吊戸棚、洗面化粧台、及び造り付け各種台の製作取付け（トラップ類金物を含む、図示による、フードは設備工事）	○			○			
3	同上 給排水管、ガス管接続及び電源接続				○			
4	厨房器具の製作取付け			○	○			
5	厨房器具への配管接続、フード取付け、ダクト接続（各関連工事）			○	○			
6	屋内に設置するグリーストラップ、ガソリントラップ用の躯体（防水共）				○			
7	同上の本体及び内部装置（図示による）				○			
8	ユニットバス、シャワーユニット ユニットトイレ、洗濯パン、温水洗浄便座、小便器個別感知洗浄、洗面手洗器、自動水栓等製作据付け	○			○			
9	同上機器への配管接続、ダクト接続及び電源接続（各関連工事）		○	○	○			
10	便所及び化粧室の鏡、棚等				○			
11	ペーパーホルダー、ペーパータオルホルダー、水石けん入れ等				○			
12	ファンコイルユニット収納用ベリカウンターの製作取付け							
13	同上 吹出口及びファンコイル用架台							
14	同上 操作盤、配管配線及びスィッチ							
15	ウェザーカバー（建築図にないもの、ベントキャップを含む）		○	○				
16	排煙口及び煙感連動ダンパーの二次側電気工事（制御盤、非常電源共）	○	○	○				
17	同上 制御盤迄の一次側電気工事				○			
18	動力制御盤及び二次側電気工事				○			
19	動力遠方操作用電気工事及び遠方操作盤（各関連工事）	○			○			
20	消火ポンプ起動回路及び表示灯回路	○			○			
21	各種天井吊設備機器の吊補強（各関連工事）		○	○	○			
22	各種設備機器、配管の耐震、防振、消音、安全対策等（各関連工事）		○	○	○			
23	各種盤類取付けの為の下地補強							
24	各種設備機器搬入口の仮設及び復旧	○						
25	設備機器架台、屋外屋内設備機器点検用架台（各関連工事）		○	○				
26	機械警備設備（配線を含む）						○	
27	同上の配管							
28	看板、サイン類の一次側電気工事				○			
29	消火器						○	
30	同上の収納ボックス（図示による）	○						

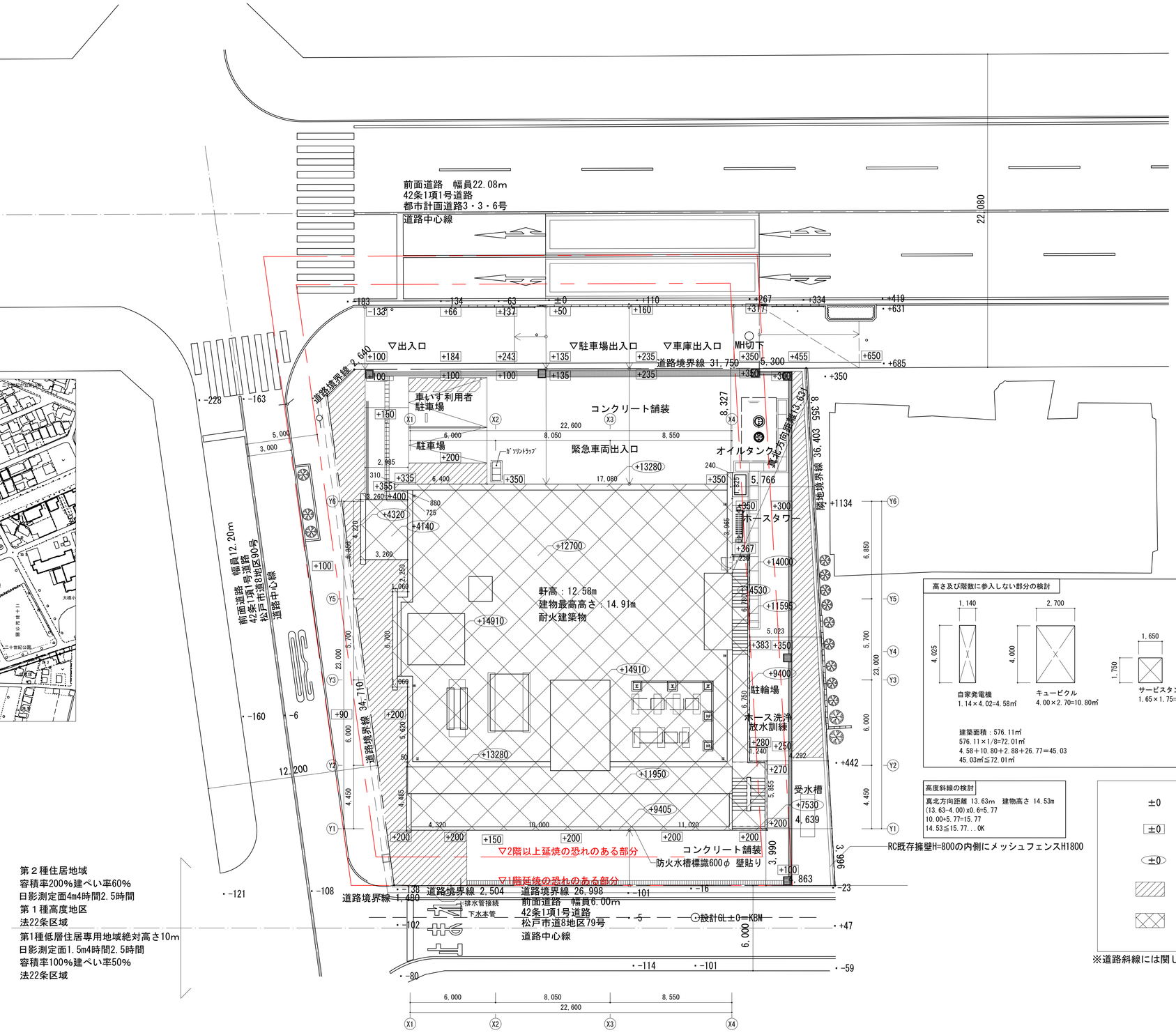
工事区分

	工事内容	建築	空調	衛生	電気	昇降	別途	
6	昇降機設備関連工事							
1	エレベーター出入口扉、三方枠、幕板、敷居の製作取付け					○		
2	同上 扉、インジケーター、押ボタン等の開口（モルタル詰は昇降）					○		
3	同上 ピット内防水及び排水（排水は衛生）					○		
4	同上 シャフト内点検用タラップ	○						
5	同上 シャフト内耐火処理	○						
6	同上 通過階のあるときの非常口扉	○						
7	同上 機械室ビーム	○						
8	同上 機械室床開口、かさ上げコンクリート、配線用ピット、ふた及び床仕上	○						
9	同上 シャフト内中間ビーム、ブラケット、レール等					○		
10	同上 シャフト内ブラケット支持用ベースプレート取付け（柔構造の場合）							
11	同上 三方枠、扉のシャフト側補強用下地金物取付け。敷居持出し用下地金物取付け。中間ビーム取付け（柔構造の場合）							
12	同上 機械搬入口の仮設、復旧及び天井吊フック、補強	○				○		
13	同上 機械室照明、コンセント及びシャフト内コンセント				○	○		
14	同上 機械室電源盤の一次側電気工事（二次側は昇降）				○			
15	同上 シャフト外の遠方操作又は警報監視用電気工事				○	○		
7	その他工事							
1	コンクリート造の各種水槽、マンホール躯体及び桝（ハンドホールを含む）	○		○				
2	同上の仕上げ	○		○				
3	コンクリート造のオイルタンクの躯体及び地盤改良、配管ピット	○						
4	同上のオイルタンク、配管、マンホール類				○			
5	機械駐車設備本体、基礎及び杭							
6	同上 制御盤及び二次側電気工事							
7	同上 の一次側電気工事							
8	自動車（車路）管制装置							
9	清掃用ゴンドラの本体及び走行レール							
10	同上 の基礎及び架台							
11	広告塔の本体							
12	同上の基礎（アンカーボルト埋め込みは別途）							
13	同上の一次側電気工事							
14	屋上ヘリポート（図示による）							
15	航空障害灯の取付け架台							
16	融雪装置							
17	舞台装置	○						
8	使用料金等の負担							
電力	1 工事用電力引込工事	○						
	2 工事用電力料金（引込負担金、基本料金とも各関連工事）	○	○	○	○			
	3 本設電力引込工事（引込負担金 ・別途 ・本工事）							
	4 本設受電後引渡しまでの基本料金（各関連工事）							
	5 本設受電後引渡しまでの使用料金（各関連工事）							
上下水道	6 工事用上下水道引込接続工事	○						
	7 工事用上下水道料金（引込負担金、基本料金とも各関連工事）	○	○	○	○			
	8 本設上下水道引込接続工事（引込接続負担給水加入金 ・別途 ・本工事）			○				
	9 本設後引渡しまでの基本料金、使用料金（各関連工事）	○	○	○				
都市ガス	10 本設都市ガス引込工事（引込負担金 ・別途 ・本工事）							
	11 空調用試運転の基本料金、使用料金							
	12 厨房器具、給湯用試運転の基本料金、 使用料金							
	13 コージェネ用試運転の基本料金、使用料金（各関連工事）							
	14 本設後引渡しまでの基本料金、使用料金（各関連工事）							

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	工事区分表		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	---	図面番号	A-010
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



案内図 1:2500

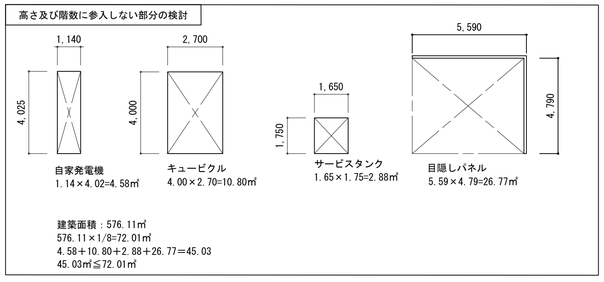


配置図 1:150

第２種住居地域
容積率200%建ぺい率60%
日影測定面4m4時間2.5時間
第１種高度地区
法22条区域

第1種低層住居専用地域絶対高さ10m
日影測定面1.5m4時間2.5時間
容積率100%建ぺい率50%
法22条区域

高さ及び階数に参入しない部分の検討



建築面積：576.11㎡
576.11×1/8=72.01㎡
4.58+10.80+2.88+26.77=45.03
45.03㎡≦72.01㎡

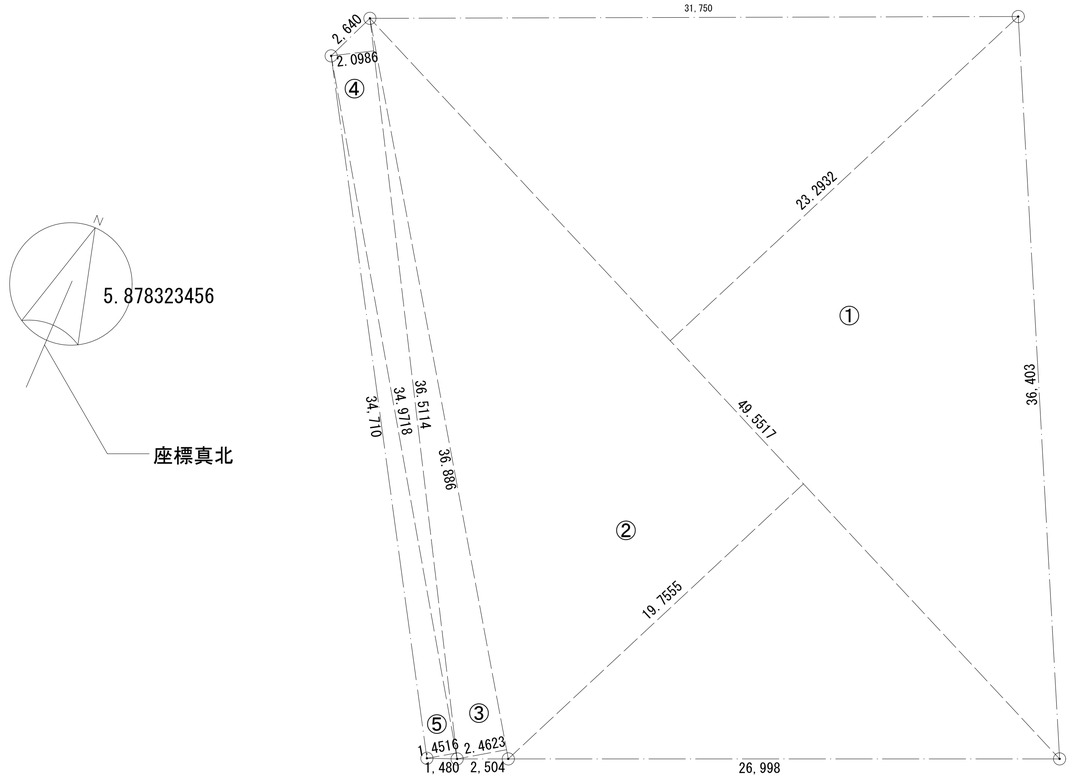
高度斜線の検討

真北方向距離 13.63m　建物高さ 14.53m
(13.63-4.00)x0.6=5.77
10.00+5.77=15.77
14.53≦15.77...OK

±0 :現況地盤面高さを示す
±0 :計画地盤面高さを示す
±0 :平均地盤面からの高さを示す
:植栽部分を示す
:申請建物を示す

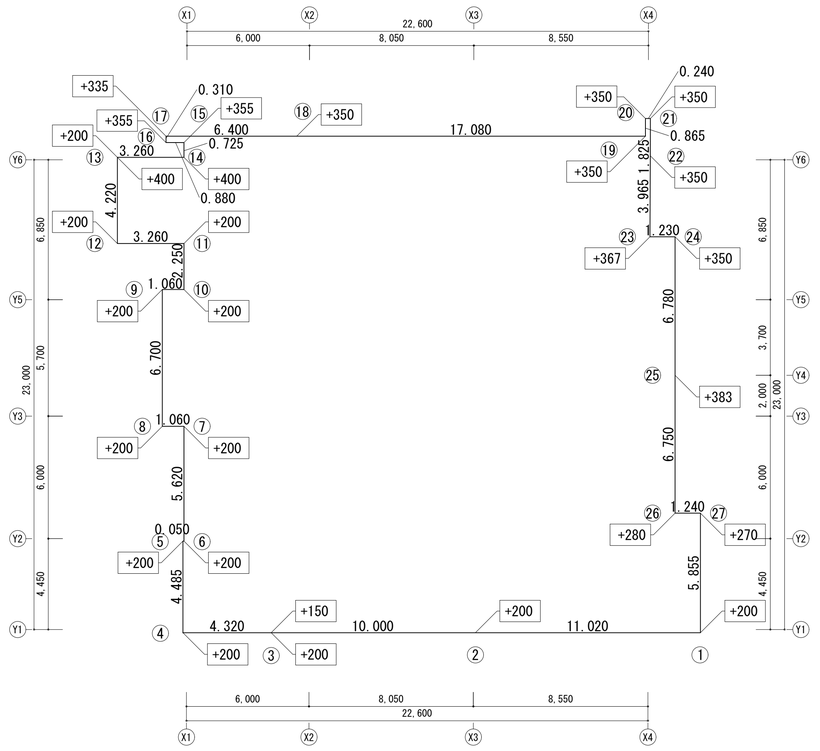
※道路斜線には関して当たらないことが明らかなため記載を省略する

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	案内図、配置図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:150(A1) 1:300(A3)	図面番号	A-011
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



敷地面積求積図　1/150

	底辺	高さ	倍面積	面積
①	49.5517	23.2932	1,154.217658	577.108829
②	49.5517	19.7555	978.918609	489.4593045
③	36.886	2.4623	90.824397	45.4121985
④	36.5114	2.0986	76.622824	38.311412
⑤	34.9718	1.4516	50.765064	25.382532
合計			2,351.348552	1175.674276
敷地面積				1175.67㎡



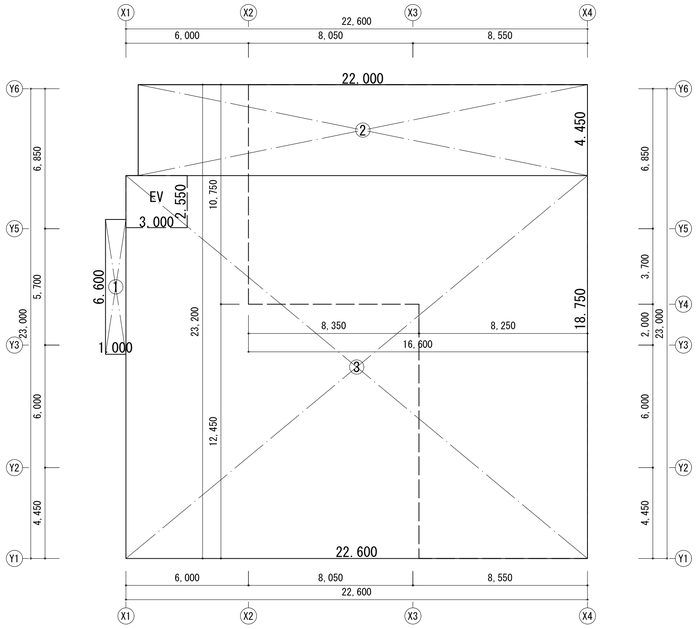
平均地盤算定図　1/150

番号		番号	周長	高さ1	高さ2	倍面積	面積（倍面積/2）
1	―	2	11.020	0.20	0.20	4.4080	2.2040
2	―	3	10.000	0.20	0.15	3.5000	1.7500
3	―	4	4.320	0.20	0.20	1.7280	0.8640
4	―	5	4.485	0.20	0.20	1.7940	0.8970
5	―	6	0.050	0.20	0.20	0.0200	0.0100
6	―	7	5.620	0.20	0.20	2.2480	1.1240
7	―	8	1.060	0.20	0.20	0.4240	0.2120
8	―	9	6.700	0.20	0.20	2.6800	1.3400
9	―	10	1.060	0.20	0.20	0.4240	0.2120
10	―	11	2.250	0.20	0.20	0.9000	0.4500
11	―	12	3.260	0.20	0.20	1.3040	0.6520
12	―	13	4.220	0.20	0.20	1.6880	0.8440
13	―	14	3.260	0.40	0.40	2.6080	1.3040
14	―	15	0.725	0.40	0.35	0.5438	0.2719
15	―	16	0.880	0.35	0.35	0.6160	0.3080
16	―	17	0.310	0.35	0.33	0.2108	0.1054
17	―	18	6.400	0.33	0.35	4.3520	2.1760
18	―	19	17.080	0.35	0.35	11.9560	5.9780
19	―	20	0.865	0.35	0.35	0.6055	0.3028
20	―	21	0.240	0.35	0.35	0.1680	0.0840
21	―	22	1.825	0.35	0.35	1.2775	0.6388
22	―	23	3.965	0.35	0.36	2.8152	1.4076
23	―	24	1.230	0.36	0.35	0.8733	0.4367
24	―	25	6.780	0.35	0.38	4.9494	2.4747
25	―	26	6.750	0.38	0.28	4.4550	2.2275
26	―	27	1.240	0.28	0.27	0.6820	0.3410
27	―	1	5.855	0.27	0.20	2.7519	1.3759
合計			**111.450**	―①			**29.991**	―④

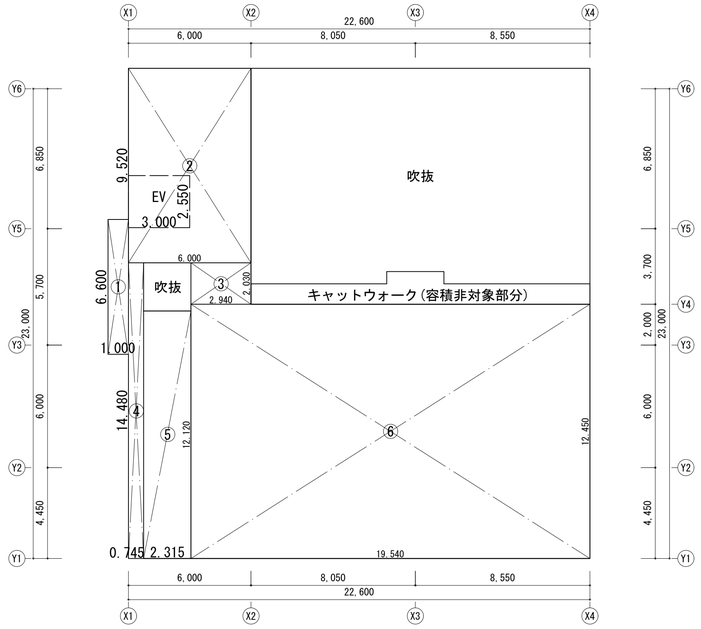
29.991	÷	111.450	=	0.269099372	**⇒0.27**
(④面積合計)		(①周長合計)			

∴ 平均地盤＝設計GL+0.27m

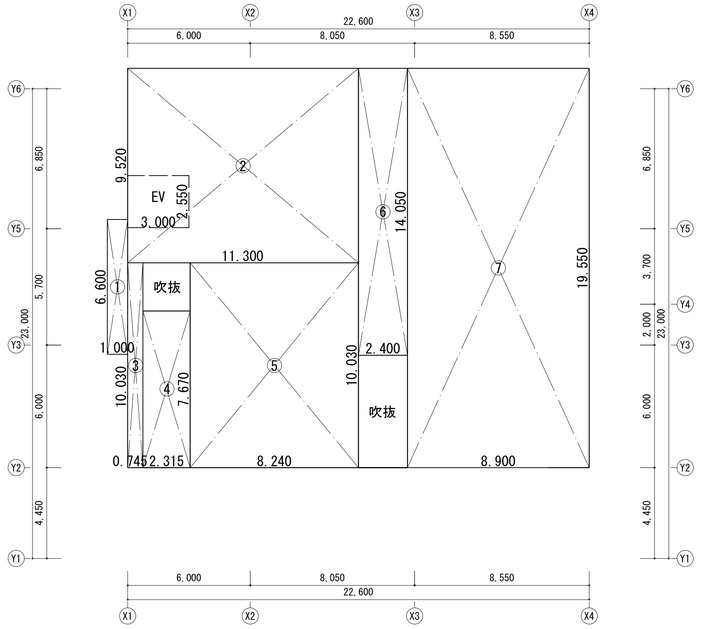
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	敷地求積図、平均地盤算定図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:150(A1) 1:300(A3)	図面番号	A-012
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



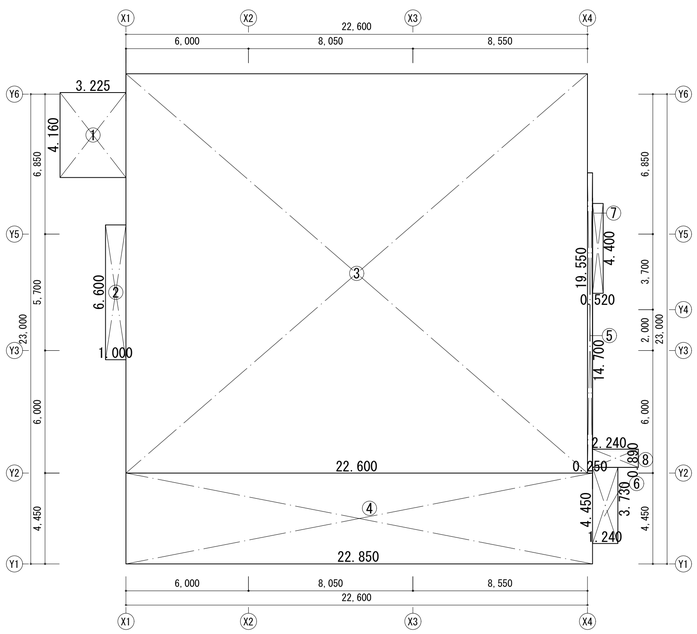
1階　床面積図　S=1:150



2階　床面積図　S=1:150



3階　床面積図　S=1:150



建築面積算定図　S=1:150

面積表				
番号	根拠式(m)			面積(㎡)
1	1.000	×	6.600	6.60000
2	22.000	×	4.450	97.90000
3	22.600	×	18.750	423.75000
			計	528.25000
			1階床面積	528.25
1	1.000	×	6.600	6.60000
2	6.000	×	9.520	57.12000
3	2.940	×	2.030	5.96820
4	0.745	×	14.480	10.78760
5	2.315	×	12.120	28.05780
6	19.540	×	12.450	243.27300
			計	351.80660
			2階床面積	351.80
1	1.000	×	6.600	6.60000
2	11.300	×	9.520	107.57600
3	0.745	×	10.030	7.47235
4	2.315	×	7.670	17.75605
5	8.240	×	10.030	82.64720
6	2.400	×	14.050	33.72000
7	8.900	×	19.550	173.99500
			計	429.77000
			3階床面積	429.77
延床面積				1,309.82
			1階床面積	528.25
			2階床面積	351.80
			3階床面積	429.77
番号			根拠式(m)	面積(㎡)
1	3.225	×	4.160	13.41600
2	1.000	×	6.600	6.60000
3	22.600	×	19.550	441.83000
4	22.850	×	4.450	101.68250
5	0.250	×	14.700	3.67500
6	1.240	×	3.730	4.62520
7	0.520	×	4.400	2.28800
8	2.240	×	0.890	1.99360
			計	576.11030
			建築面積	576.11

番号	根拠式(m)			面積(㎡)
EV	3.000	×	2.550	7.65000
			計	7.65
			EV面積	7.65
車庫	16.600	×	10.750	178.45000
	8.250	×	12.450	102.71250
			計	281.16250
			車庫面積	281.16
容積緩和部分面積				284.91
EV	7.650	×	3.000	22.95000
車庫	1,309.820	÷	5.000	261.96400
	281.160	＞	261.964	261.96
	261.964	+	22.950	284.91
容積対象床面積				1,024.91
	1,309.820	−	284.910	1,024.91
容積率				87.18%
	1,024.910	÷	1,175.670	0.871767
建ぺい率				49.00%
	576.110	÷	1,175.670	0.490027

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	建築面積算定図、床面積算定図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:150(A1) 1:300(A3)	図面番号	A-013
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

外部仕上表

屋上	防水：　コンクリート金ゴテ、アスファルト防水 外断熱工法（AI-2）　保護コンクリート金ゴテ　t 80 溶接金網：6φ　@100、伸縮目地：成型品 W25　@3000　　断熱材：押出法ポリスチレンフォーム t 60 ドレン：アスファルト防水用鋳鉄製横引き80φ　　防水アゴ天端：ウレタン塗膜防水（X-2）　　水勾配1/100 ドレン管：ステンレスバンドレス丸竪樋80φ HL（既製品）　　ヘリサイン：蛍光塗料 立上り：コンクリート打放補修、アスファルト防水　　防水保護板：成型セメント板　t 15 設備基礎：コンクリート立上り、防水立上り、天端ウレタン塗膜防水（X-2）　　鳩小屋開口：アルミパネル t 3 断熱材裏打　t 35 室外機防音目隠：コンクリート立上り、防水立上り、天端ウレタン塗膜防水（X-2）、アルミ防音ルーバー	3階庇	外部側：コンクリート金ゴテ下地、ウレタン塗膜防水（X-2）　　見上げ天井面：外装薄塗材E	屋外階段	床：モルタル金鏝　ウレタン系塗床（ノンスリップ）、ノンスリップ：ノンスリップタイル 手摺、支柱、手摺子：アルミ製（シルバー）68型2段笠木手摺　直格子（15x20@120）　壁面：コンクリート打放し浸透性吸水防止材
		1階入口屋上 1階玄関入口　梁型、天井	コンクリート金ゴテ下地、ウレタン塗膜防水（X-2）　　小口：外装薄塗材E 外装仕上塗材E　　廻り縁：塩ビ製	竪樋	ステンレスバンドレスパイプ80φ（既製品） 飾ります：ステンレス80φ用（既製品）
2階屋上	防水：　コンクリート金ゴテ、アスファルト防水 外断熱工法（AI-2）　保護コンクリート押え　t 80 溶接金網：6φ　@100、伸縮目地：成型品 W25　@3000　　断熱材：押出法ポリスチレンフォーム t 60 水勾配1/100 ドレン：アスファルト防水用鋳鉄製横引き80φ　　防水アゴ天端、コンクリート手摺天端：ウレタン塗膜防水（X-2） ドレン管：ステンレスバンドレス丸竪樋80φ HL（既製品） 立上り：コンクリート打放補修、アスファルト防水　　防水保護板：成型セメント板　t 15	外壁	北面：2階、3階　コンクリート打放補修（増打t20）、天然石調仕上塗材 1階　コンクリート打放補修（増打 t 20）、外装薄塗材E 南面：1階、2階：コンクリート打放補修（増打t20）、外装薄塗材E 3階　コンクリート打放補修（増打t20）、外装薄塗材E 西面：コンクリート打放補修（増打t20）、天然石調仕上塗材　及びコンクリート打放補修（増打t20）、外装薄塗材E 東側：コンクリート打放補修（増打t20）、浸透性吸水防止材 北側一部（1階～3階）　コンクリート打放補修（増打t20）外装薄塗材E	1階斜路（アプローチ）	床：磁器タイル貼り600ｘ600、手摺：ステンレス2段 デジタルサイネージ（電気工事）、フラッグポール 注意喚起床材（上部）：ステンレス鋲
				1階軒天（女子仮眠室　上裏）	断熱材 t 50打込み+　LGS　t 25　+ケイカル板 t 6　外装薄塗材E 廻り縁：塩ビ製
屋上ハイサイドライト	屋根：　ウレタン塗膜防水（X-2）　窓：アルミサッシ 排煙窓 外壁：　コンクリート打放補修（増打t20）　、浸透性吸水防止材	建具	車庫折戸：W（7875+7565）x H4000（W1815　4枚、1837　4枚）　St　DP塗装　手動 自動ドアー：ステンレス製HL 見込み180 パニックオープン 一般サッシ：アルミサッシ　BB-2、見込み70、複層ガラス　　南側車庫：St　DP塗装 電動シャッター	目地	打継目地、ひび割れ誘発目地：シーリングPU-2　　タイル伸縮目地：シーリングMS-2

内部仕上表

階	室名	VOC測定	下地・仕上	床	FLよりスラブ高 仕上高	巾木	壁	塗装	天井	塗装	天井高	廻り縁	内装制限 告示対応（排煙免除根拠）	備考
1階	風除室		下地	コンクリート、モルタル下地	-30	タイル貼り　H60	外壁側：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法）　　内壁（PS）：LGS W90@450 GB－R　t 12.5+t 12.5		LGS、　FK　t 6 下地　　目透し張り		3,000	塩ビ製	準不燃 H12建告1436号 第4号へ（二）	案内カウンター
			仕上	タイル貼り　　600ｘ600	±0			外装薄塗材E	外装薄塗材 E					
	エントランスホール		下地	コンクリート、モルタル下地	-30	タイル貼り　H60	外壁側：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法）　　車庫側：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法） 内壁（PS）：LGS W90@450 GB－R　t 12.5+ t 12.5　　EV側：コンクリート打放し（増打t10）		LGS下地　　GB-R　t 12.5		3,000	塩ビ製	準不燃 H12建告1436号 第4号へ（二）	
			仕上	タイル貼り　　600ｘ600	±0			外装薄塗材E	外装薄塗材 E					
	階段室		下地	コンクリート、モルタル下地 段：モルタル金ゴテ t47.5	-30 段-50	タイル貼り　H60	外壁側：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法）　　車庫側：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法） 内壁：コンクリート打放し（増打t10）		LGS下地　GB-R　t 9.5　　段側：コンクリート打放し補修		一部 3,000	塩ビ製	準不燃 令126条の二 三号	手摺：スチール溶融亜鉛メッキ 50φ　支柱：スチール溶融亜鉛メッキ FB W50ｘt 12 足元、手摺取り合い部：SUS FB W40ｘt 12　　SUS製ノンスリップ
			仕上	タイル貼り 600ｘ600　段：防滑性ビニル床シート t 2.5	±0	段：ビニル階段巾木		EP-G	DR t 9.0　　段側：EP-G					
	車庫		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t30）	-30	コンクリート打放補修	コンクリート打放補修（増打t10）			北側 EP-G	北側 6,900～6,950	塩ビ製	準不燃 H12建告1436号 第4号へ（一）	ホース保管棚　スチール溶融亜鉛メッキ
			仕上	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材	±0				北側：FK　t 6　目透し張り　　断熱材 t 45吹付 南側：不燃断熱材　t 30（フェノバボードフネンSK）	南側 EP-G	南側 直天			
	防火衣室	○	下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	外壁及び車庫側：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法）　　内壁（自立壁）：LGS W90 @450 GB-R　t 12.5+ t 12.5 内壁：GB-R　t 12.5（GL工法）		LGS下地（天井ふところH1500以上）		2,500	塩ビ製	準不燃 H12建告1436号 第4号へ（二）	防火衣ロッカー　18個（備品工事）
			仕上	防滑性ビニル床シート t 2.5	±0			EP-G	GB-D t 9.5					
	消毒室		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	車庫側：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法）　　内壁：LGS W90@450 GB-R　t 12.5+ t 12.5 ライニング壁：下地耐水合板t12二重張		LGS下地（天井ふところH1500以上）		2,500	塩ビ製	準不燃 H12建告1436号 第4号へ（二）	消毒薬品棚（備品工事）
			仕上	防滑性ビニル床シート t 2.5	±0		ライニング壁：FK-D　t 6.0	EP-G	GB-D t 9.5					
	脱衣室 （シャワー室）		下地	根太45ｘ60、耐水合板 t 12+12	-30	ビニル巾木 H60	車庫側：断熱材 t 35吹付　　内壁：LGS W90@450 GB-S　t 12.5+ t 12.5 ライニング壁：下地耐水合板t12二重張		LGS下地（天井ふところH1500以上）		2,500	塩ビ製	準不燃 H12建告1436号 第4号へ（二）	ユニットシャワー0812タイプ
			仕上	防滑性ビニル床シート t 2.5	+200		ライニング壁：FK-D　t 6.0	EP-G	FK t 6.0　　目透し張り	EP-G				
	救急油庫		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t30）	-30	コンクリート打放し補修 H100	車庫側：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法）　　内壁：LGS W90@450 GB-R t 12.5+ t 12.5		不燃断熱材打込み　t 30		直天		不燃 H12建告1436号 第4号へ（二）	
			仕上	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材	±0			EP-G		EP-G				
	資機材庫		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t30）	-180	ビニル巾木 H60	外壁及び車庫側：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法）　　内壁：LGS W90@450 GB-R t 12.5+ t 12.5 内壁：GB-R　t 12.5（GL工法）		LGS下地（天井ふところH1500以上）		2,500	塩ビ製	H12建告1436号 第4号へ（二）	
			仕上	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材	-150			EP-G	GB-D t 9.5					
	油庫		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t30）	-180	コンクリート打放し補修 H100	外壁側：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法）　　車庫側：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法） 内壁：LGS W90@450 GB-R　t 12.5+ t 12.5		LGS下地（天井ふところH1500以上）		2,500	塩ビ製	不燃 H12建告1436号 第4号へ（二）	
			仕上	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材	-150			EP-G	FK t 6　　目透し張り	EP-G				
	救急資機材		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t30）	-30	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法）　　内壁：LGS W90@450 GB-R t 12.5+ t 12.5 内壁：GB-R　t 12.5（GL工法）		LGS下地（天井ふところH1500以上）		2,500	塩ビ製	H12建告1436号 第4号へ（二）	
			仕上	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材	±0			EP-G	GB-D t 9.5					
	トイレⅢ		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材 t 35吹付 GB-S　t 12.5（GL工法）　　内壁：LGS W90@450 GB-S　t 12.5+ t 12.5 トイレ内部 LGS W65 内壁：GB-S　t 12.5（GL工法）　ライニング壁：下地耐水合板t12二重張		LGS下地（天井ふところH1500以上）		2,500	塩ビ製	H12建告1436号 第4号へ（二）	小便器床：汚垂れタイル t 6.0（TOTOハイドロセラ・フロアPU薄型同等品） SUSフック（スガツネ US玉つき回転フックTK-30同等品）(SK各5個)
			仕上	防汚性ビニル床シート t 2.5 汚垂れタイル t 6.0	±0		ライニング壁：FK-D　t 6.0	EP-G	GB-D t 9.5					
	トイレⅣ		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材 t 35吹付 GB-S　t 12.5（GL工法）　　内壁：LGS W90@450 GB-S　t 12.5+ t 12.5 トイレ内部 LGS W65 内壁：GB-S　t 12.5（GL工法）　ライニング壁：下地耐水合板t12二重張		LGS下地（天井ふところH1500以上）		2,500	塩ビ製	H12建告1436号 第4号へ（二）	SUSフック（スガツネ US玉つき回転フックTK-30同等品）(SK各5個)
			仕上	防汚性ビニル床シート t 2.5	±0		ライニング壁：FK-D　t 6.0	EP-G	GB-D t 9.5					
	PS、EPS		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t30）	-30		車庫側：断熱材 t 35吹付　　下地現し		コンクリート打放し補修		直天		令126条の二 三号	
			仕上		±0									
共通	EV昇降路		下地	コンクリート打放し補修			コンクリート打放し補修		コンクリート打放し補修		直天			吊フック/20KN　　火災感知器の点検扉
			仕上	ケイ酸質系塗布防水（C-SUI）			ケイ酸質系塗布防水（C-SUI）（ピット部分）						令126条の二 三号	
2階	EVホール		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	EV側：コンクリート打放補修（増打t10）　　内壁：LGS W65@450 GB-R　t 12.5+ t 12.5（GW 24K　t 50） 内壁：GB-R　t 12.5（GL工法）　PS壁：LGS W65@450 GB-R　t 12.5+ t 12.5		LGS下地 GB-R　t 9.5		2,500	塩ビ製	準不燃 令126条の二 三号	
			仕上	防滑性ビニル床シート t 2.5	±0			EP-G	DR t 9.0					
	階段室		下地	モルタル金ゴテ t47.5	-50	ビニル階段巾木	外壁側：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法）　　内壁：コンクリート打放し（増打t10）		LGS下地　GB-R　t 9.5　　段裏コンクリート打放し（B種）	段裏 EP-G	2,500	塩ビ製	準不燃 令126条の二 三号	手摺：スチール溶融亜鉛メッキ 50φ　支柱：スチール溶融亜鉛メッキ FB W50ｘt 12 足元、手摺取り合い部：SUS FB W40ｘt 12　　SUS製ノンスリップ
			仕上	防滑性ビニル床シート t 2.5	±0			EP-G	DR t 9.0					
	トレーニングコート 上部吹き抜け		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	北側梁型：断熱材 t 35吹付 GB-R　t 12.5（GL工法）　　内壁：LGS W65@450 GB-R　t 12.5+ t 12.5 柱型：GB-R　t 12.5（GL工法）		LGS下地		2,500	塩ビ製	不燃 H12建告1436号 第4号へ（五）	
			仕上	防滑性ビニル床シート　t 2.5	±0		上部PS側：LGS W90@450 GB-F　t 21.0+ t 21.0、上部外部側：GB-R　t 12.5+ t 12.5 防煙垂れ壁：PS側 LGS W90@450 GB-F t 21.0+ t 21.0 、廊下側 LGS W90@450 GB-F t 12.5+ t 12.5	EP-G	GB-NC t 9.5　　アルミルーバー25ｘ25（吹抜上部）			
	仮眠室1～18 （男性）	○	下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t23.5）	-30	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材 t 35吹付　GB-R　t 12.5（GL工法）　　内壁：LGS W65@450 GB-R　t 12.5+ t 12.5（GW 24K　t 50） 内壁：GB-R　t 12.5（GL工法）		LGS下地　GB-R t 12.5（GW 24K　t 50）		2,500	塩ビ製	不燃 H12建告1436号 第4号へ（五）	下部収納付ベッド18台（備品工事）、ロッカー（備品工事）、カーテンレール
			仕上	タイルカーペット　t 6.5 踏込：防滑性ビニル床シート t 2.5	±0		ビニルクロス		ビニルクロス					

凡例、特記事項

塗料凡例	記号	塗料名
	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント
	SOP	合成樹脂調合ペイント
	DP	耐候性塗装

内装材認定	材料	認定番号	材料	認定番号
	不燃積層石膏ボード t 9.5	不燃NM-1864	岩綿吸音板 t 9.0	不燃NM-8599
	強化石膏ボード t 12.5, t 21.0	不燃NM-8615	シージング石膏ボード t 9.5 t 12.5	準不燃QM-0898 不燃NM-9639
	ケイ酸カルシウム板 t 6 化粧ケイカル板 t 6	不燃NM-8578 不燃NM-4227	化粧石膏ボード t 9.5	準不燃QM-0524
	石膏ボード t 9.5, t 12.5	準不燃QM-9828、不燃NM-8619	化粧石膏吸音ボード t 9.5	準不燃QM-9822

特記事項
・内装仕上材、家具、建具は全てF☆☆☆☆とする　　・ビニルクロスは全て不燃認定品とする。
・塗装材（塗料）は、全てF☆☆☆☆とする
・建築材料は、全てアスベスト含有材でない材料を使用とする
・特記なき限り造作材の材種は、米栂とする
・防火区画壁以外の壁下地LGS W65は天井留め、LGS W90・天井高が変わる部分は、LGSのみスラブまで立ち上げとする。

省略記号	不燃認定番号
せっこうボード：GB-R　　シージングせっこうボード：GB-S　　強化せっこうボード：GB-F　　化粧せっこうボード：GB-D　　せっこうラスボード：GB-L　　不燃積層せっこうボード：GB-NC　　グラスウール：GW 岩綿吸音板：DR　　ケイ酸カルシウム板：FK　　化粧ケイ酸カルシウム板：FK-D	ビニルクロス　サンゲツ　FE-76138　同等品　NM3991 塗装　EP-G　日本ペイント　合成樹脂エマルションペイント（エコフラット100）同等品　NM8585 アクリルシリコン樹脂　NM-8572、外装薄塗材E　NM-8571、HQパネル NM-4042、化粧鋼板複合パネル NM-2018 メラミン不燃化粧板　NM-2183

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	仕上表(1)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	---	図面番号	A-014
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

内部仕上表

階	室名	VOC測定	下地・仕上	床	FLよりｽﾗﾌﾞ高 仕上高	巾木	壁	塗装	天井	塗装	天井高	廻り縁	内装制限 告示対応 (排煙免除根拠)	備考
2階	廊下		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	外壁及び車庫側：断熱材ｔ35吹付 GB-R ｔ12.5（GL工法）　内壁：LGS W65@450 GB-R ｔ12.5+ｔ12.5（GW 24K ｔ50）　内壁：GB-R ｔ12.5（GL工法）　柱型：LGS W65@450 GB-R ｔ12.5+ｔ12.5		LGS下地		2,500	塩ビ製	準不燃 H12建告1436号 第4号ヘ（二）	消火器ボックス
			仕上	防滑性ビニル床シートｔ2.5	±0			EP-G	GB-D ｔ9.5					
	洗面室 洗濯室		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	内壁：LGS W65@450 GB-S ｔ12.5（GW 24K ｔ50）　柱型：GB-S ｔ12.5（GL工法）　ライニング壁：下地耐水合板ｔ12二重張		LGS下地 FK ｔ6.0 目透し張り（GW 24K ｔ50）		2,500	塩ビ製		
			仕上	防滑性ビニル床シートｔ2.5	±0		FK-D ｔ6			EP-G			H12建告1436号 第4号ヘ（二）	SUSフック（スガツネ US玉つき回転フックTK-30同等品）(SK各5個)
	乾燥室		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t30）	-30	床材塗上げ H60	内壁：LGS W65@450 GB-S ｔ12.5+ｔ12.5（GW 24K ｔ50）　内壁：GB-S ｔ12.5（GL工法）		LGS下地 （GW 24k ｔ50）		2,500	塩ビ製		
			仕上	エポキシ樹脂系塗床	±0		FK-D ｔ6.0		塩ビバスリブ				H12建告1436号 第4号ヘ（二）	物干しパイプ
	脱衣室 （シャワー室1～4）		下地	根太45ｘ60、耐水合板ｔ12+12	-30	ビニル巾木 H60	内壁：LGS W65@450 GB-S ｔ12.5+ｔ12.5（GW 24k ｔ50）　シャワー室側：LGS W65@450 GB-R ｔ12.5+ｔ12.5（片面貼）		LGS下地 FK ｔ6.0 目透し張り（GW 24K ｔ50）		2,500	塩ビ製		
			仕上	防滑性ビニル床シートｔ2.5	+200			EP-G		EP-G			H12建告1436号 第4号ヘ（二）	ユニットシャワー0812タイプ 、カウンター
	トイレ1～3		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	内壁：LGS W65@450 GB-S ｔ12.5+ｔ12.5（GW 24K ｔ50）　ライニング壁：LGS W65@450 GB-S ｔ12.5（GW 24K ｔ50）		LGS下地 GB-R ｔ12.5 （GW 24k ｔ50）		2,500	塩ビ製		
			仕上	防汚性ビニル床シートｔ2.5	±0		ビニルクロス		ビニルクロス				H12建告1436号 第4号ヘ（二）	
	廊下（女性エリア）		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	内壁：LGS W65@450 GB-R ｔ12.5+ｔ12.5（GW 24K ｔ50）		LGS下地 GB-R ｔ12.5		2,500	塩ビ製	準不燃	
			仕上	防滑性ビニル床シートｔ2.5	±0		ビニルクロス		ビニルクロス				H12建告1436号 第4号ヘ（二）	
	仮眠室（女性エリア） 1～2	○	下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t23.5）	-30	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材ｔ35吹付 GB-R ｔ12.5（GL工法）　内壁：LGS W65@450 GB-R ｔ12.5+ｔ12.5（GW 24K ｔ50）		LGS下地 GB-R ｔ12.5（GW 24K ｔ50）		2,500	塩ビ製	不燃	下部収納付ベッド18台（備品工事）、ロッカー（備品工事）、カーテンレール
			仕上	タイルカーペットｔ6.5 踏込：防滑性ビニル床シートｔ2.5	±0		ビニルクロス		ビニルクロス				H12建告1436号 第4号ヘ（五）	
	洗面室（女性エリア）		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	車庫側：断熱材ｔ35吹付 GB-R ｔ12.5（GL工法）　内壁：LGS W65@450 GB-R ｔ12.5+ｔ12.5（GW 24K ｔ50）		LGS下地 GB-S ｔ12.5（GW 24k ｔ50）		2,500	塩ビ製		物干し（上下可動式）
			仕上	防滑性ビニル床シートｔ2.5	±0		ビニルクロス		ビニルクロス				H12建告1436号 第4号ヘ（二）	
	脱衣室 （女性エリア）		下地	乾式二重床H200、耐水合板ｔ12+12	-30	ビニル巾木 H60	車庫側：断熱材ｔ35吹付 GB-S ｔ12.5（GL工法）　内壁：LGS W65@450 GB-S ｔ12.5+ｔ12.5（GW 24K ｔ50）		LGS下地 GB-S ｔ12.5（GW 24k ｔ50）		2,500	塩ビ製		
			仕上	防滑性ビニル床シートｔ2.5	+200		ビニルクロス		ビニルクロス				H12建告1436号 第4号ヘ（二）	
	シャワー室 （女性エリア）		下地	ユニットシャワー（規格品）	-30		HQパネル TOTO 同等品		化粧合板複合パネル TOTO 同等品					ユニットシャワー0812タイプ
			仕上				車庫側：断熱材ｔ35吹付 GB-S ｔ12.5（GL工法）　内壁：LGS W65@450 GB-S ｔ12.5+ｔ12.5（GW 24K ｔ50）		コンクリート打放し補修					
	トイレ （女性エリア）		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材ｔ35吹付 GB-S ｔ12.5（GL工法）　内壁：LGS W65@450 GB-S ｔ12.5+ｔ12.5（GW 24K ｔ50） ライニング壁：LGS W65@450 GB-S ｔ12.5（GW 24K ｔ50）		LGS下地 GB-R ｔ12.5（GW 24K ｔ50）		2,500	塩ビ製	不燃	
			仕上	防汚性ビニル床シートｔ2.5	±0		ビニルクロス		ビニルクロス				H12建告1436号 第4号ヘ（二）	
	キャットウォーク		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t30）	-30		内壁：コンクリート打放補修（増打t10）		北側：LGS下地 FK ｔ6 目透し張り　北側：断熱材ｔ45吹付		2,500	塩ビ製	準不燃	
			仕上	合成樹脂塗床（防滑仕様）	±0					北側 EP-G				スチール溶融亜鉛メッキ手摺
	PS、EPS		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t30）	-30		車庫側：断熱材ｔ35吹付 EV側：コンクリート打放補修　下地現し		コンクリート打放し補修		直天			
			仕上		±0								令126条の二 三号	
3階	EVホール		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t26）	-30	ビニル巾木 H60	EV側：コンクリート打放補修（増打t10）　PS壁：LGS W90@450 GB-R ｔ12.5+ｔ12.5 内壁：GB-R ｔ12.5（GL工法）		LGS下地 GB-R ｔ9.5		2,700	塩ビ製	準不燃	
			仕上	ビニル床タイルｔ4.0	±0			EP-G	DR ｔ9.0				令126条の二 三号	
	階段室 上部吹き抜け		下地	モルタル金ゴテ t46	-50	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材ｔ35吹付 GB-R ｔ12.5（GL工法）　内壁：コンクリート打放し（増打t10）		LGS下地 GB-R ｔ9.5 段裏コンクリート打放し（B種）		2,700	塩ビ製	準不燃	
			仕上	ビニル床タイルｔ4.0	±0			EP-G	DR ｔ9.0 アルミルーバー 25ｘ25	段裏 EP-G			令126条の二 三号	
	事務室	○	下地	OAフロアー H100	-100	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材ｔ35吹付 GB-R ｔ12.5（GL工法）　内壁：LGS W90@450下地 GB-R ｔ12.5+ｔ12.5 内壁柱型：GB-R ｔ12.5（GL工法）		LGS下地 GB-R ｔ9.5		2,700	塩ビ製	難燃	
			仕上	ビニル床タイル ｔ4.0	±0			EP-G	DR ｔ9.0				自然排煙	収納棚（備品工事）
	書庫		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t26）	-30	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材ｔ35吹付 GB-R ｔ12.5（GL工法）　内壁：LGS W90@450下地 GB-R ｔ12.5+ｔ12.5 内壁柱型：GB-R ｔ12.5（GL工法）		LGS下地 GB-R ｔ9.5		2,700	塩ビ製		
			仕上	ビニル床タイル ｔ4.0	±0			EP-G	DR ｔ9.0				H12建告1436号 第4号ヘ（二）	可動書棚
	小会議室	○	下地	OAフロアー H100	-100	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材ｔ35吹付 GB-R ｔ12.5（GL工法）　内壁：LGS W90@450下地 GB-R ｔ12.5+ｔ12.5 外壁柱型：断熱材ｔ35吹付 GB-R ｔ12.5（GL工法）		LGS下地 GB-R ｔ9.5		2,700	塩ビ製	難燃	
			仕上	ビニル床タイル ｔ4.0	±0			EP-G	DR ｔ9.0				自然排煙	収納棚（備品工事）
	食堂		下地	乾式二重床 H100 耐水合板ｔ12+12下地	-100	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材ｔ35吹付 GB-R ｔ12.5（GL工法）　コンロ周り：メラミン不燃化粧板 ｔ3		LGS下地 GB-R ｔ9.5		2,700	塩ビ製	準不燃	
			仕上	ビニル床タイル ｔ4.0	±0			EP-G	DR ｔ9.0				自然排煙	収納棚（備品工事）、厨房機器
	会議室		下地	乾式二重床 H100 耐水合板ｔ12+12下地	-100	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材ｔ35吹付 GB-R ｔ12.5（GL工法）　内壁：GB-R ｔ12.5（GL工法） PS壁：LGS W90@450下地 GB-R ｔ12.5+ｔ12.5		LGS下地 GB-R ｔ9.5		2,700	塩ビ製	難燃	移動間仕切り
			仕上	ビニル床タイル ｔ4.0	±0			EP-G	DR ｔ9.0				自然排煙	
	廊下		下地	OAフロアー H100 一部コンクリート金ゴテ直押え（増打t26）	-100 -30	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材ｔ35吹付 GB-R ｔ12.5（GL工法）　内壁：LGS W90@450下地 GB-R ｔ12.5+ｔ12.5 内壁柱型：GB-R ｔ12.5（GL工法）		LGS下地 GB-R ｔ9.5		2,700	塩ビ製	準不燃	
			仕上	ビニル床タイル ｔ4.0	±0			EP-G	DR ｔ9.0				自然排煙	
	トイレⅧ		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	外壁側：断熱材ｔ35吹付 GB-S ｔ12.5（GL工法） 内壁：LGS W90@450下地 GB-S ｔ12.5　トイレ内部間仕切り LGS W65　ライニング壁：下地耐水合板ｔ12二重張		LGS下地		2,500	塩ビ製		トイレブース、SK、鏡（設備工事）、 SUSフック（スガツネ US玉つき回転フックTK-30同等品）(SK各5個) 小便器床：汚垂れタイルｔ6.0（TOTOハイドロセラ・フロアPU薄型同等品）
			仕上	防汚性ビニル床シートｔ2.5 小便器前：汚垂れタイルｔ6.0	±0		FK-D ｔ6.0		GB-D ｔ9.5				H12建告1436号 第4号ヘ（二）	
	トイレⅦ		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	内壁：LGS W90@450下地 GB-S ｔ12.5 トイレ内部間仕切り LGS W65　ライニング壁：下地耐水合板ｔ12二重張		LGS下地		2,500	塩ビ製		トイレブース、SK、鏡（設備工事）、 SUSフック（スガツネ US玉つき回転フックTK-30同等品）(SK各5個)
			仕上	防汚性ビニル床シート ｔ2.5	±0		FK-D ｔ6.0		GB-D ｔ9.5				H12建告1436号 第4号ヘ（二）	
	みんなのトイレ		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t27.5）	-30	ビニル巾木 H60	内壁：LGS W90@450下地 GB-S ｔ12.5 トイレ内部間仕切り LGS W65　ライニング壁：下地耐水合板ｔ12二重張		LGS下地		2,500	塩ビ製		
			仕上	防汚性ビニル床シート ｔ2.5	±0		FK-D ｔ6.0		GB-D ｔ9.5				H12建告1436号 第4号ヘ（二）	
	PS、EPS		下地	コンクリート金ゴテ直押え（増打t30）	-30		EV側：コンクリート打放補修　下地現し		コンクリート打放し補修		直天			
			仕上		±0								令126条の二 三号	

凡例、特記事項

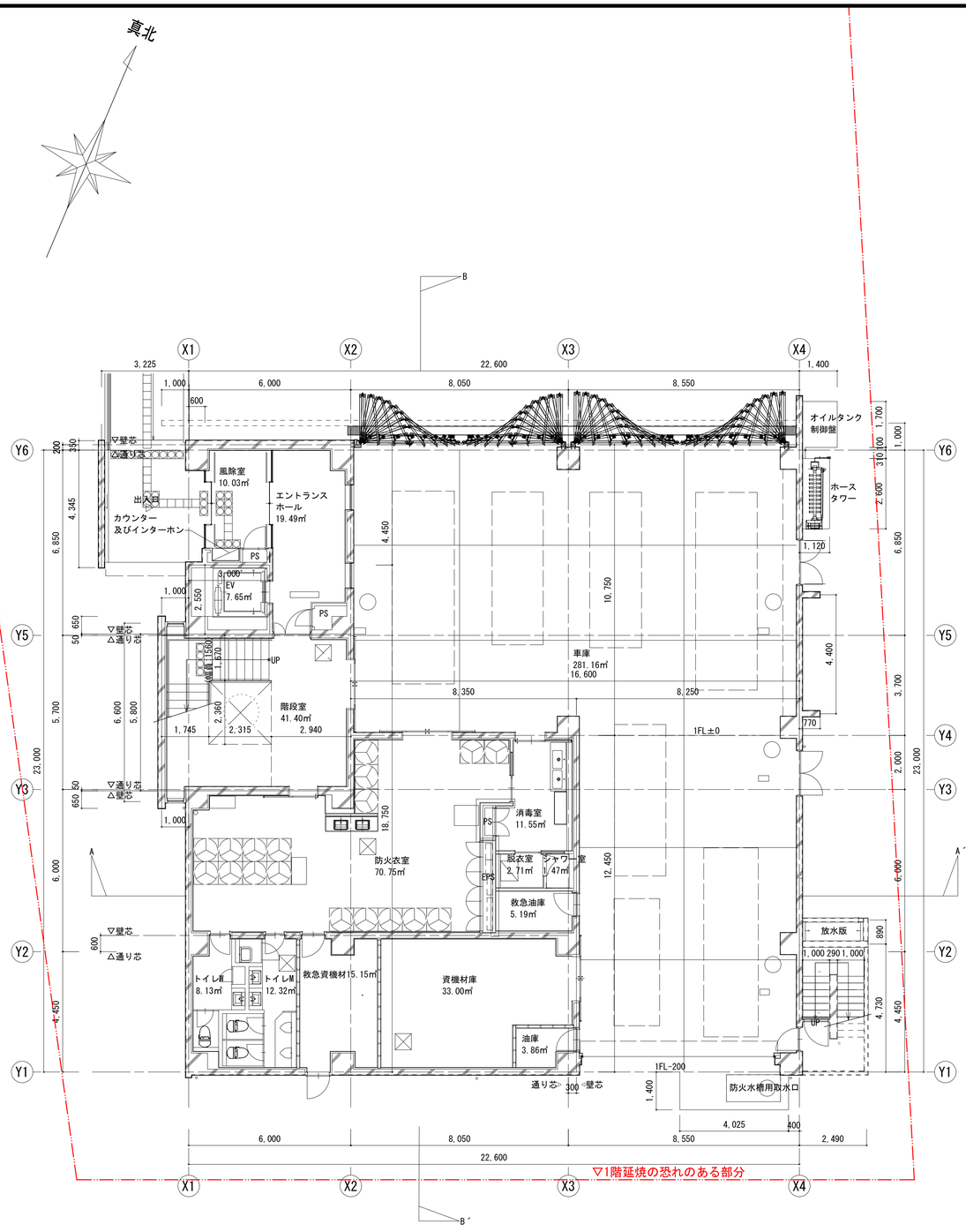
塗料凡例	記号	塗料名
	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント
	SOP	合成樹脂調合ペイント

内装材認定	材料	認定番号	材料	認定番号
	不燃積層石膏ボードｔ9.5	不燃NM-1864	岩綿吸音板ｔ9.0	不燃NM-8599
	強化石膏ボードｔ12.5, ｔ21.0	不燃NM-8615	シージング石膏ボードｔ9.5 ｔ12.5	準不燃QM-0898 不燃NM-9639
	ケイ酸カルシウム板ｔ6 化粧ケイカル板ｔ6	不燃NM-8578 不燃NM-4227	化粧石膏ボードｔ9.5	準不燃QM-0524
	石膏ボードｔ9.5, ｔ12.5	準不燃QM-9828、不燃NM-8619	化粧石膏吸音ボードｔ9.5	準不燃QM-9822

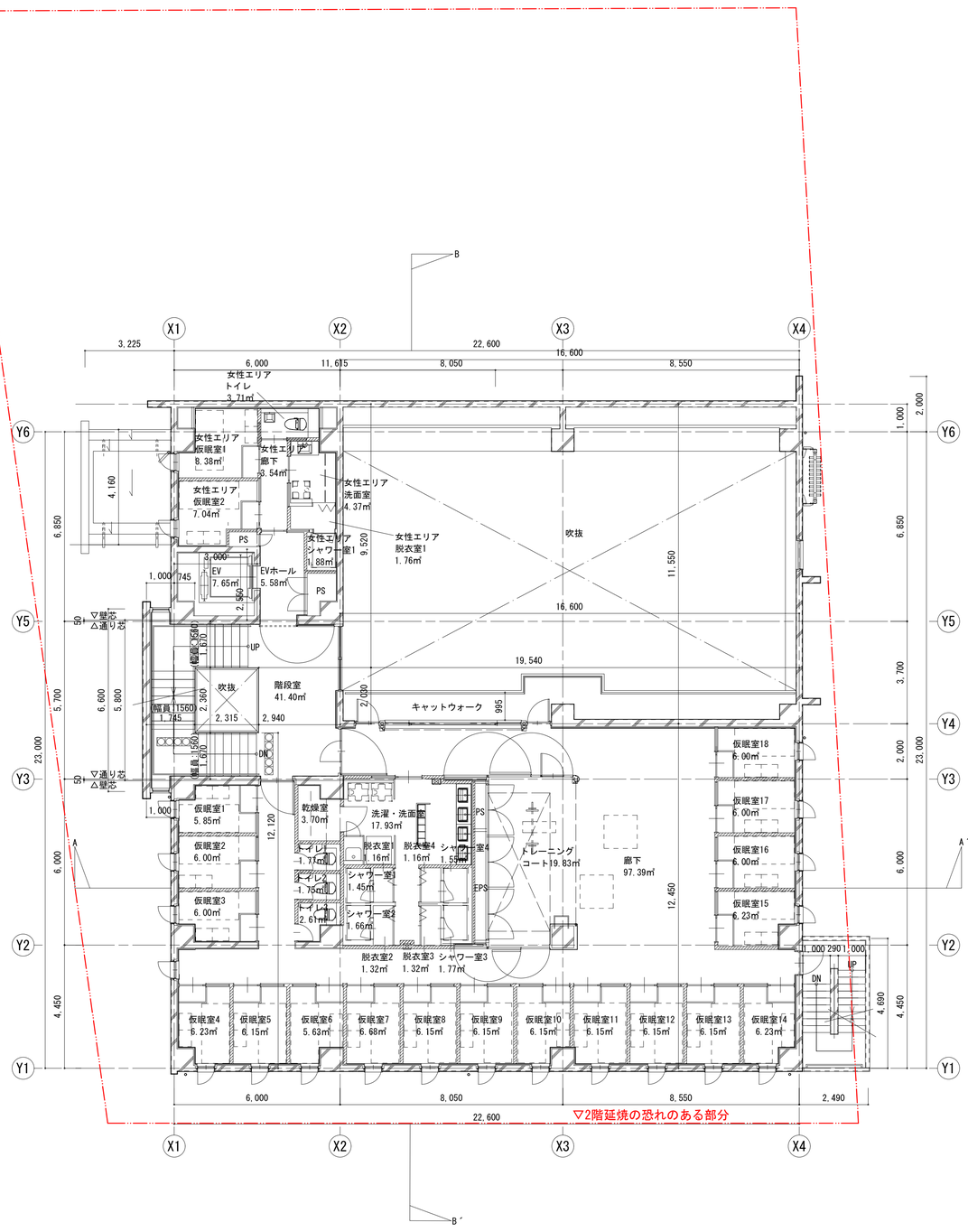
特記事項
・内装仕上材、家具、建具は全てF☆☆☆☆とする　・ビニルクロスは全て不燃認定品とする。
・塗装材（塗料）は、全てF☆☆☆☆とする
・建築材料は、全てアスベスト含有材でない材料を使用とする
・特記なき限り造作材の材種は、米栂とする
・LGS～の記載があるものはLGSのみスラブまで立ち上げとし、GB-Fの場合のみGB-Fもスラブまで立ち上げとする。

省略記号	不燃認定番号
せっこうボード：GB-R　シージングせっこうボード：GB-S　強化せっこうボード：GB-F　化粧せっこうボード：GB-D　せっこうラスボード：GB-L　不燃積層せっこうボード：GB-NC　グラスウール：GW 岩綿吸音板：DR　ケイ酸カルシウム板：FK　化粧ケイ酸カルシウム板：FK-D	ビニルクロス　サンゲツ　FE-76138　同等品　NM3991 塗装　EP-G　日本ペイント　合成樹脂エマルションペイント（エコフラット100）同等品　NM8585 アクリルシリコン樹脂　NM-8572、外装薄塗材E　NM-8571、HQパネル NM-4042、化粧鋼板複合パネル NM-2018 メラミン不燃化粧板　NM-2183

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	仕上表(2)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	---	図面番号	A-015
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

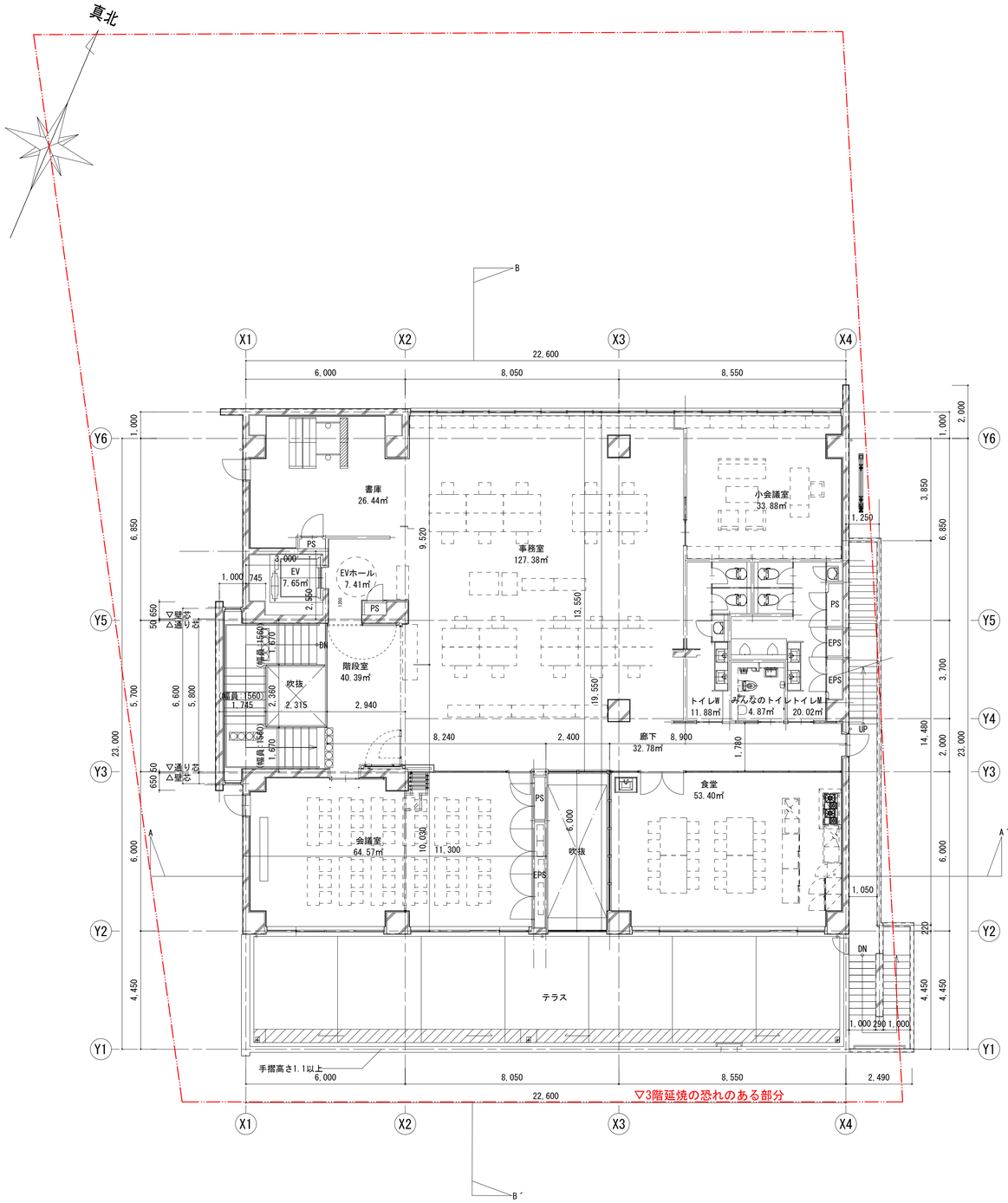


1階平面図　S=1:100

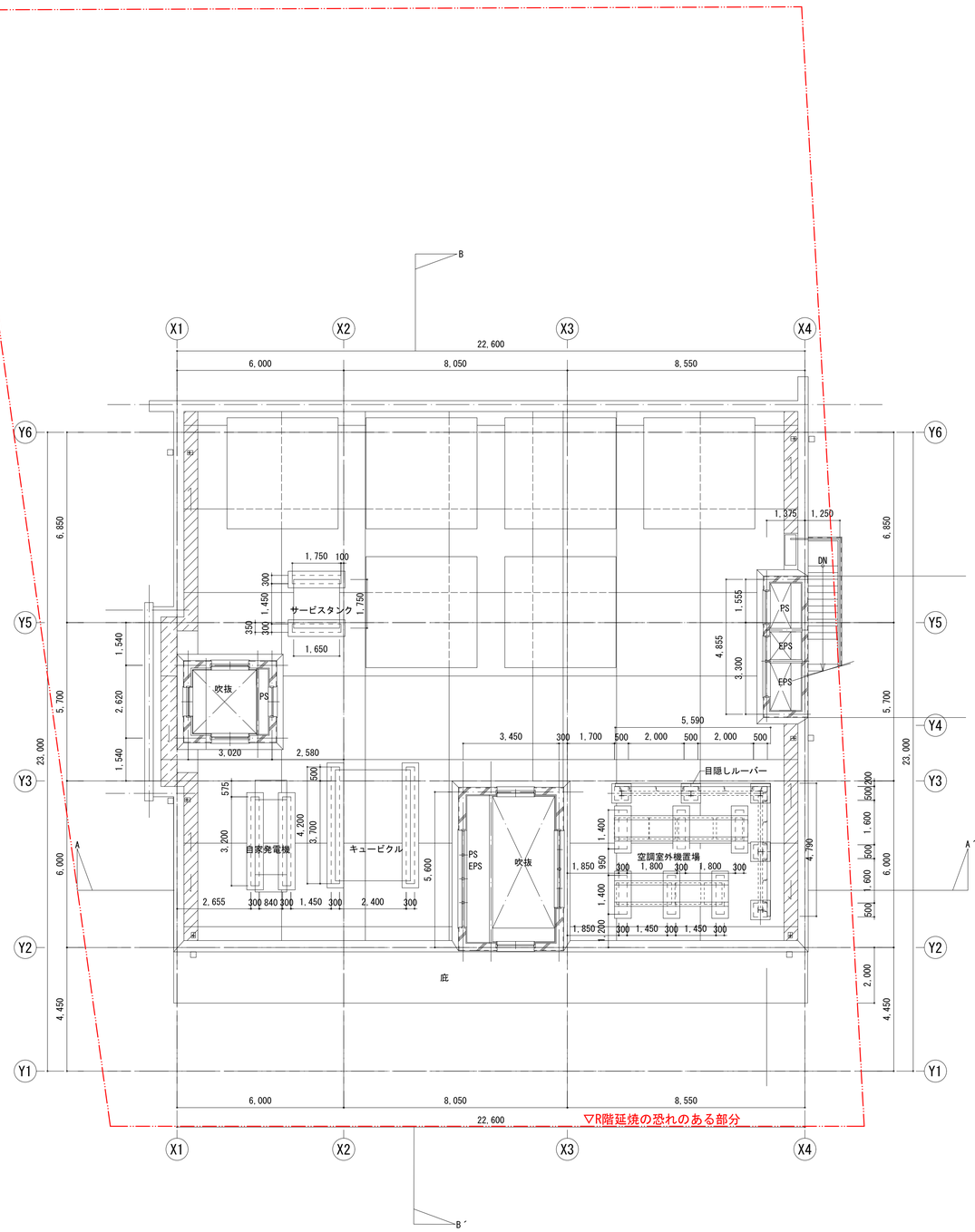


2階平面図　S=1:100

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	1、2階平面図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	A-016
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



3階平面図　S=1:100

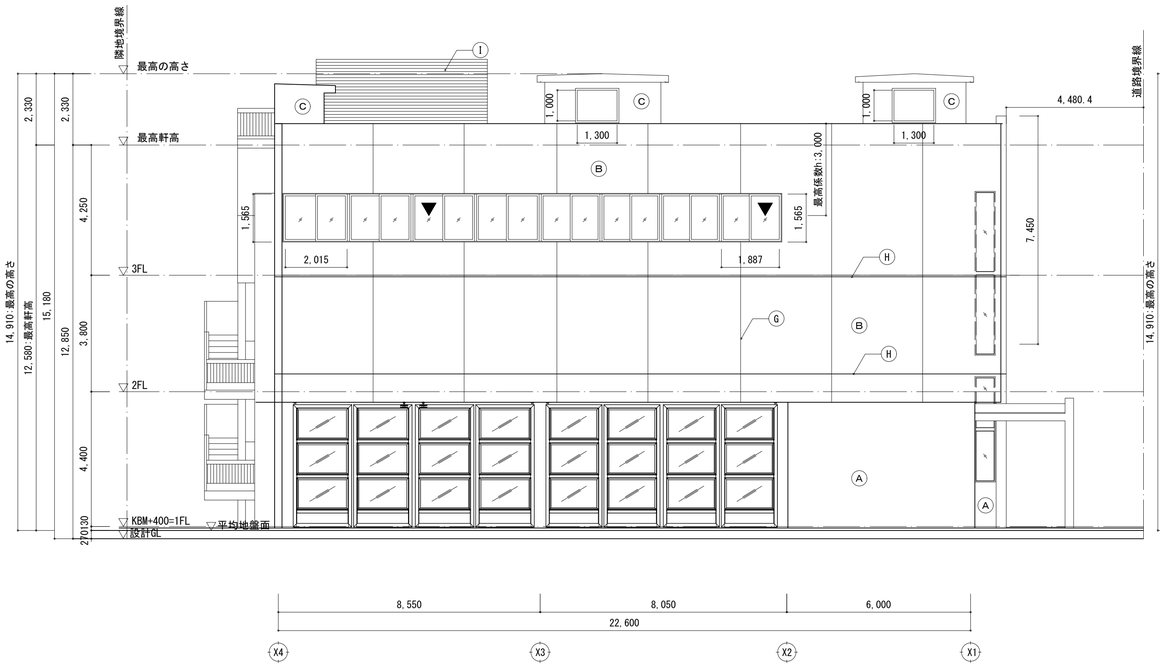


R階平面図　S=1:100

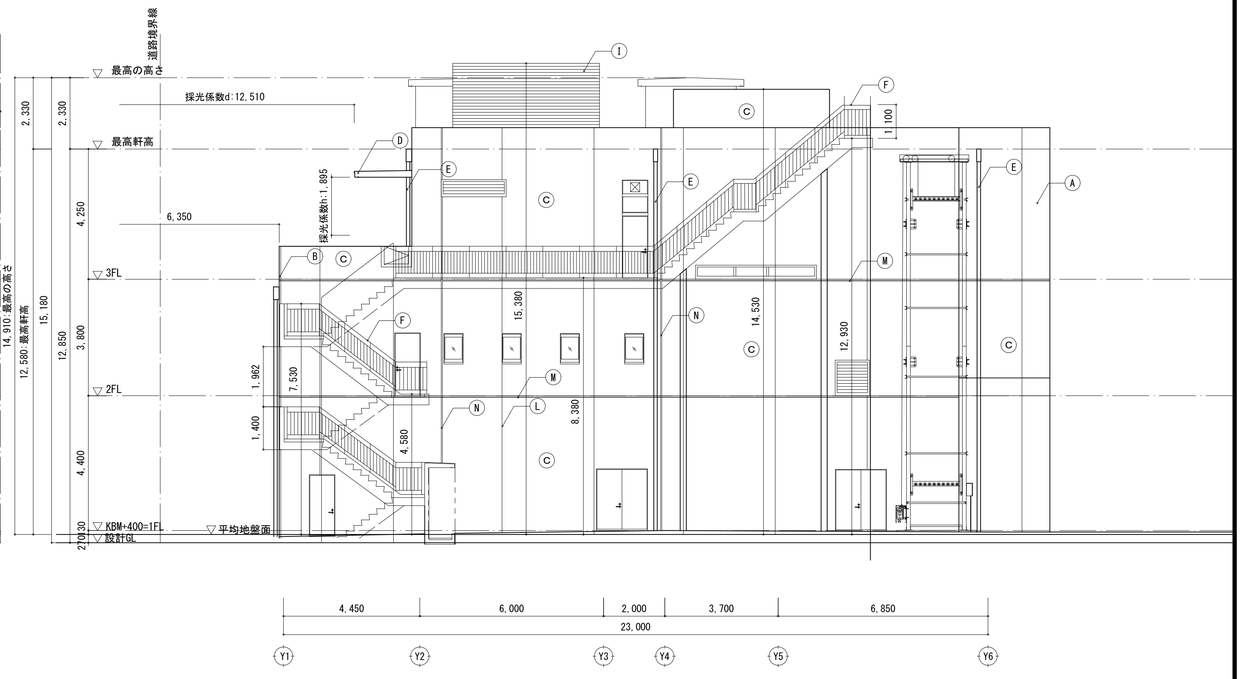
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	3、R階平面図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	A-017
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

＜凡例＞

Ⓐ	コンクリート打放補修(増打t20)の上、外装薄塗材E
Ⓑ	コンクリート打放補修(増打t20)の上、天然石調仕上塗材
Ⓒ	コンクリート打放補修(増打t20)の上、浸透性吸水防止材塗り
Ⓓ	庇：ウレタン塗膜防水
Ⓔ	竪樋：SUS管80Φバンドレス
Ⓕ	手摺：アルミ製
Ⓖ	ひび割れ誘発目地:シーリング材PU-2 20x10
Ⓗ	打継目地:シーリング材PU-2 20x10
Ⓘ	目隠しアルミルーバー
Ⓙ	垂直スリット:シーリング材PU-2 40x10
Ⓚ	
Ⓛ	ひび割れ誘発目地:シーリング材PU-2 20x10 外装材仕上げ上塗り
Ⓜ	打継目地:シーリング材PU-2 20x10 外装材仕上げ上塗り
Ⓝ	垂直スリット:シーリング材PU-2 40x10 外装材仕上げ上塗り
Ⓞ	
Ⓟ	
▽	非常用進入口
▼	代替進入口（750 x 1200以上）



北側立面図　1/100

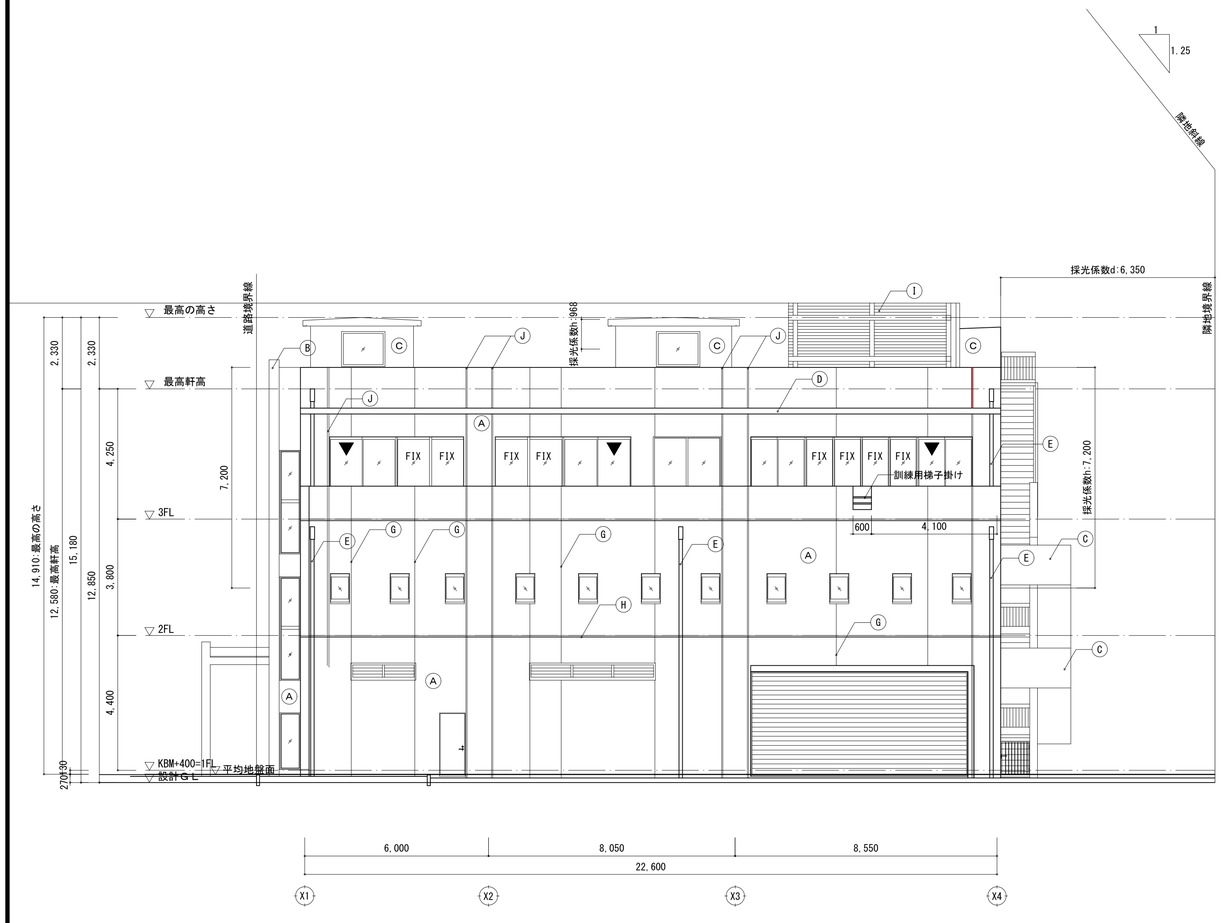


東側立面図　1/100

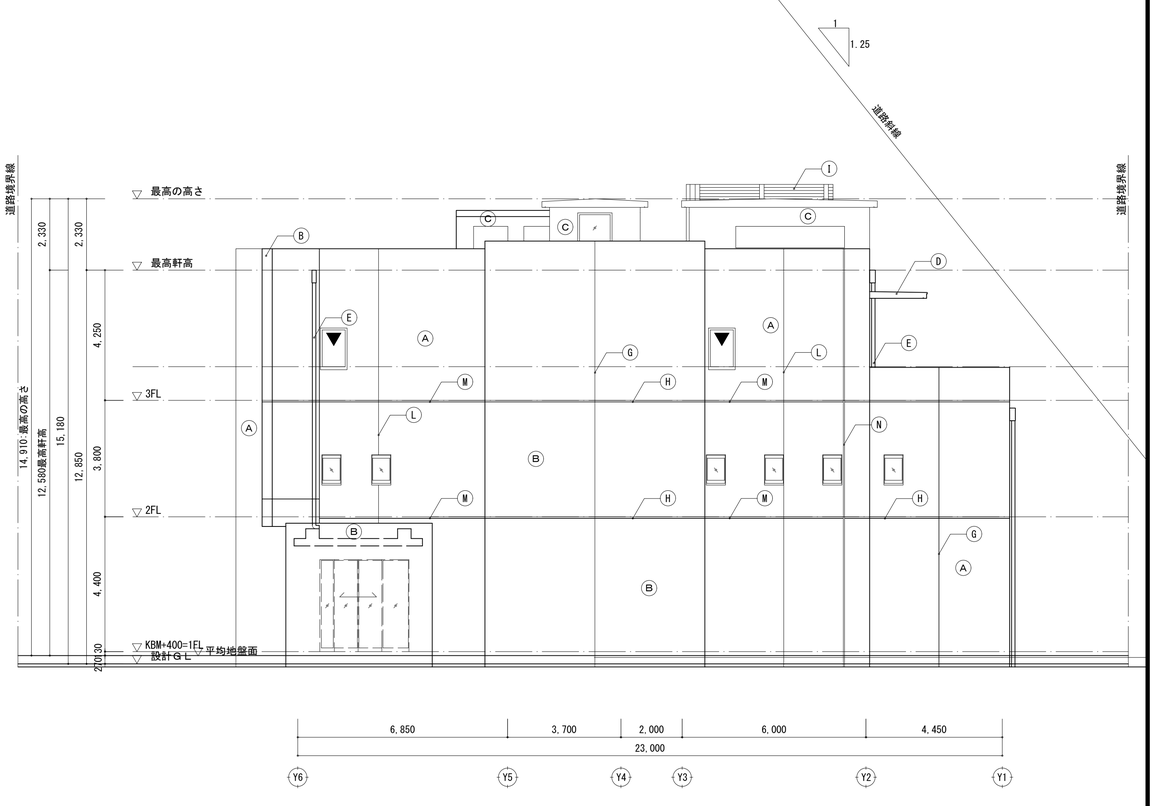
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	立面図(1)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	A-018
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

＜凡例＞

Ⓐ	コンクリート打放補修(増打t20)の上、外装薄塗材E	
Ⓑ	コンクリート打放補修(増打t20)の上、天然石調仕上塗材	
Ⓒ	コンクリート打放補修(増打t20)の上、浸透性吸水防止材塗り	
Ⓓ	庇：ウレタン塗膜防水	
Ⓔ	竪樋：SUS管80Φバンドレス	
Ⓕ	手摺：アルミ製	
Ⓖ	ひび割れ誘発目地:シーリング材PU-2 20x10	
Ⓗ	打継目地:シーリング材PU-2 20x10	
Ⓘ	目隠しアルミルーバー	
Ⓙ	垂直スリット:シーリング材PU-2 40x10	
Ⓚ		
Ⓛ		ひび割れ誘発目地:シーリング材PU-2 20x10 外装材仕上げ上塗り
Ⓜ		打継目地:シーリング材PU-2 20x10 外装材仕上げ上塗り
Ⓝ		垂直スリット:シーリング材PU-2 40x10 外装材仕上げ上塗り
Ⓞ		
Ⓟ		
▽	非常用進入口	
▼	代替進入口（750 x 1200以上）	

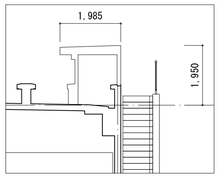


南側立面図　1/100

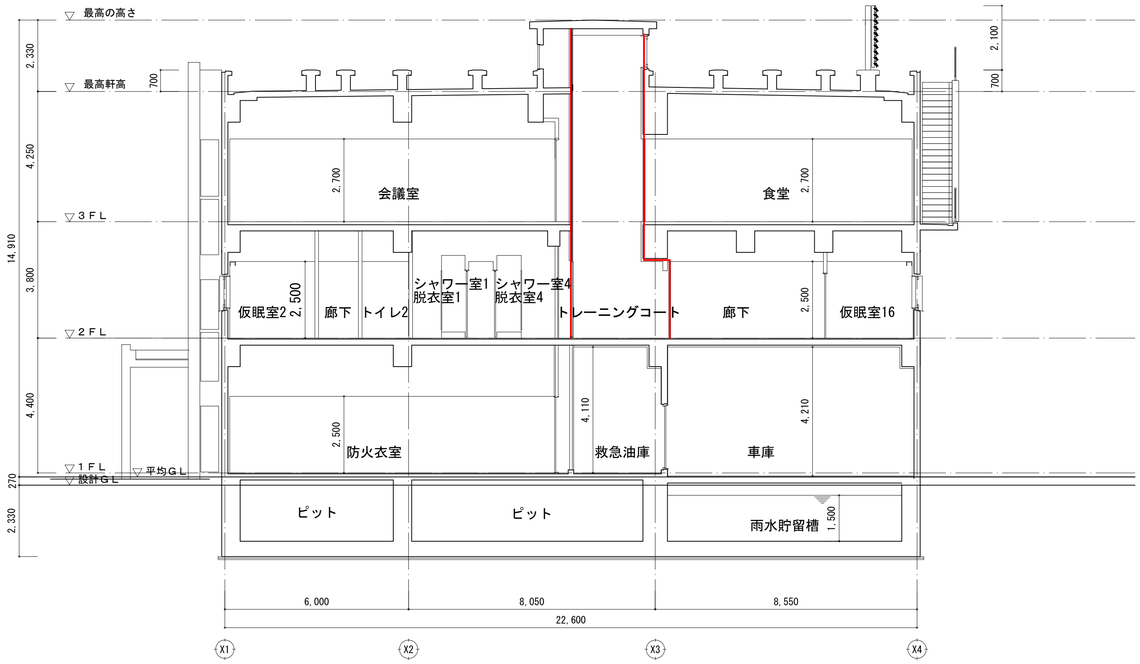


西側立面図　1/100

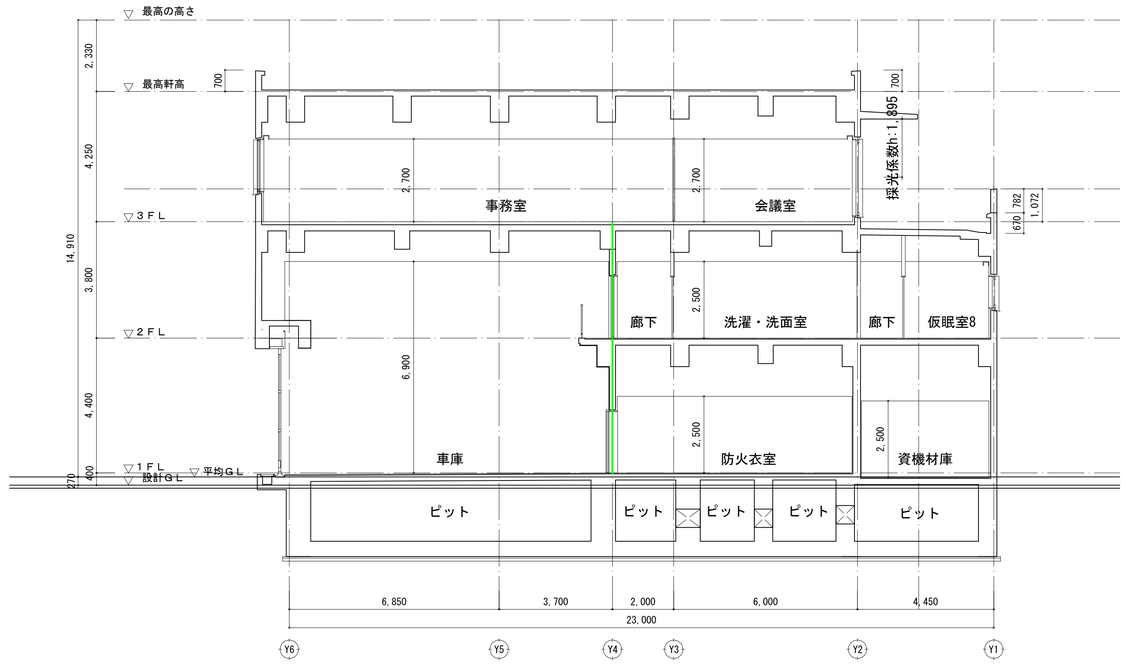
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	立面図(2)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	A-019
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



ハト小屋部分断面図　1/100



A-A´断面図　1/100

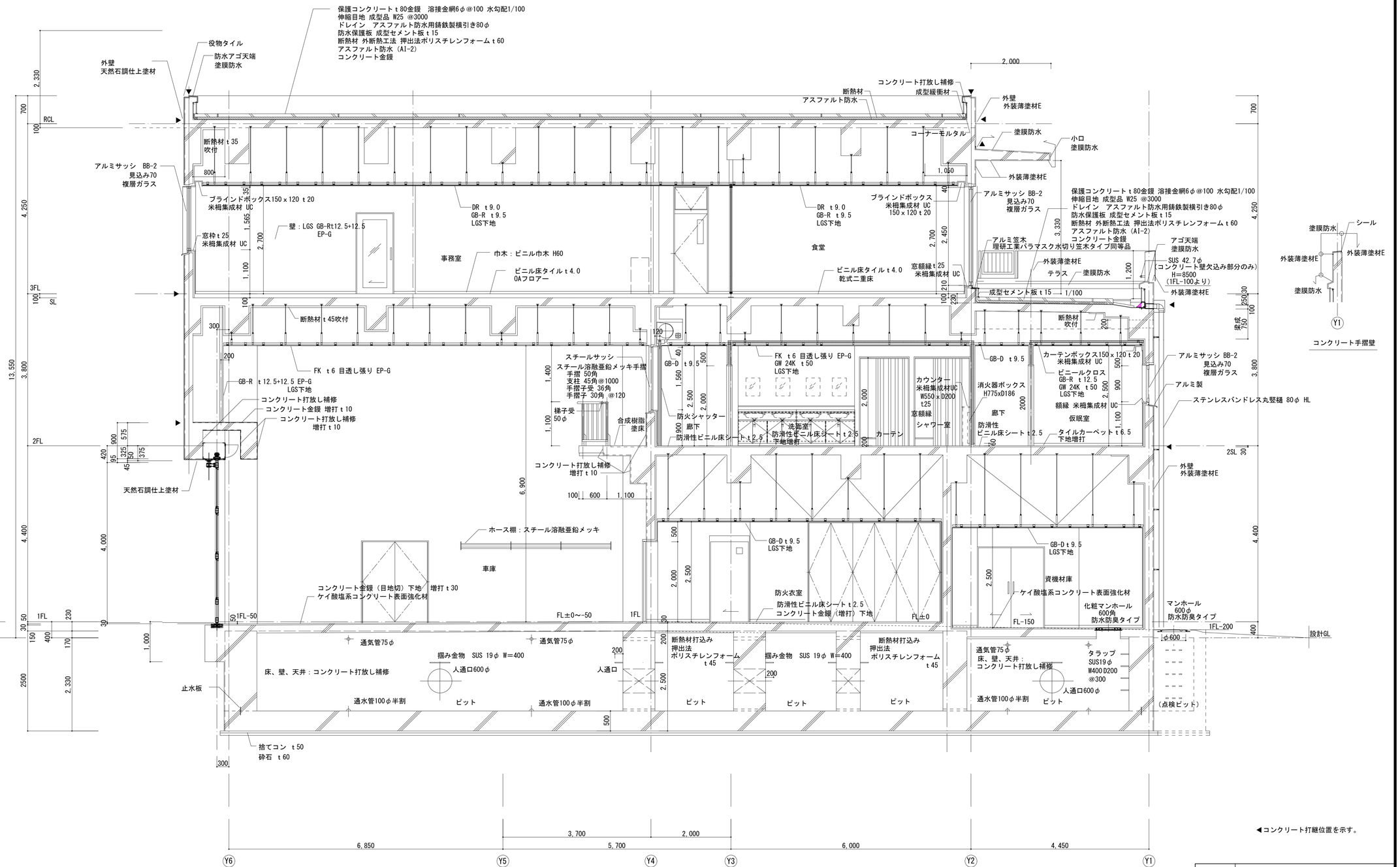


B-B´断面図　1/100

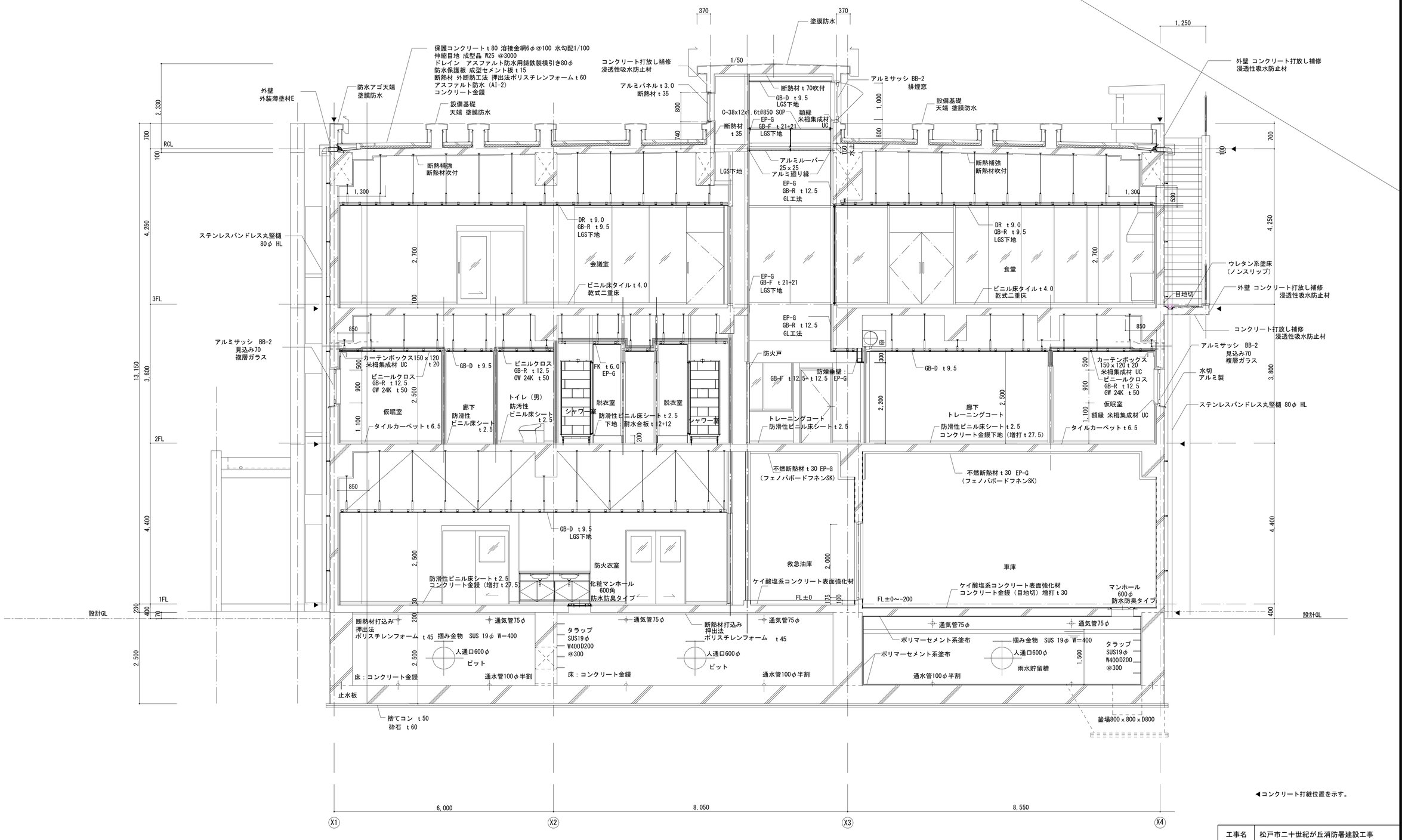
防火区画(竪穴区画)

異種用途区画

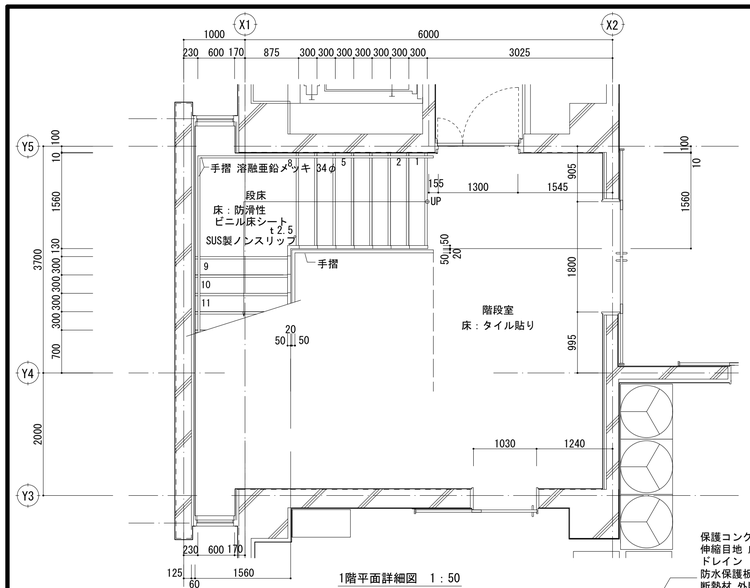
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	断面図(1)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	A-020
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



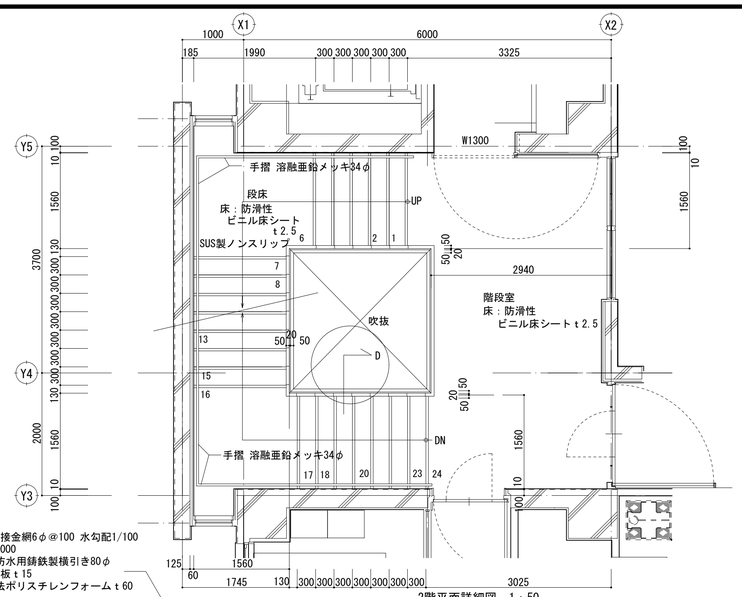
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	矩計図(1)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-021
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



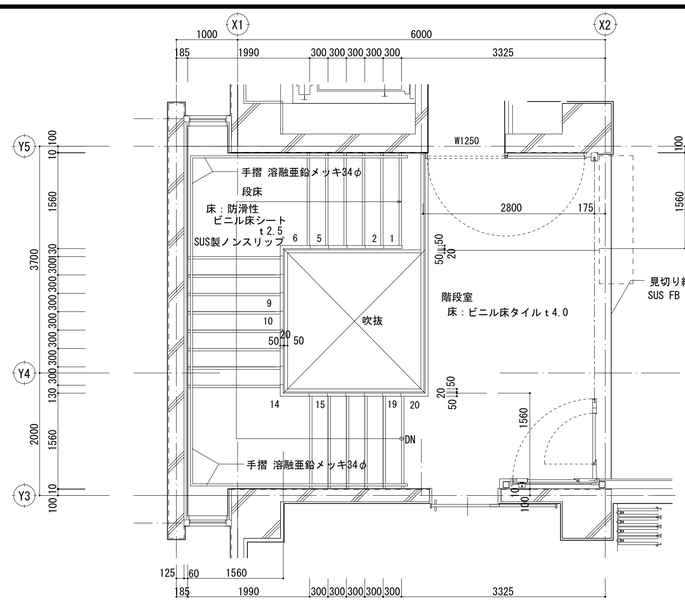
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	矩計図(2)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-022
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



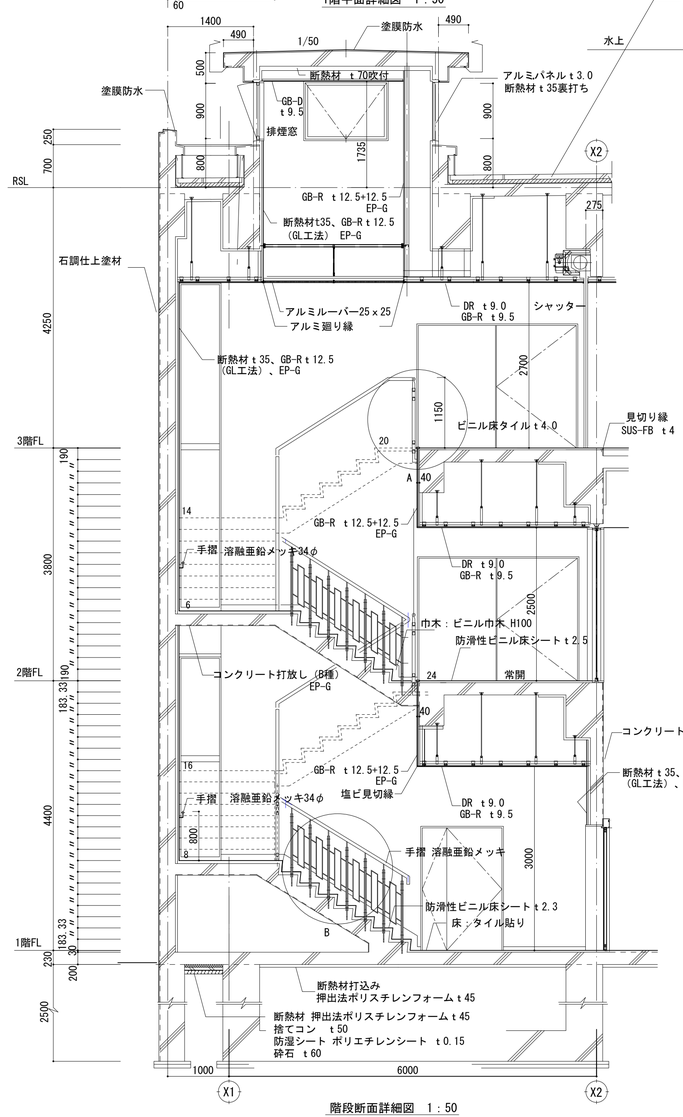
1階平面詳細図　1：50



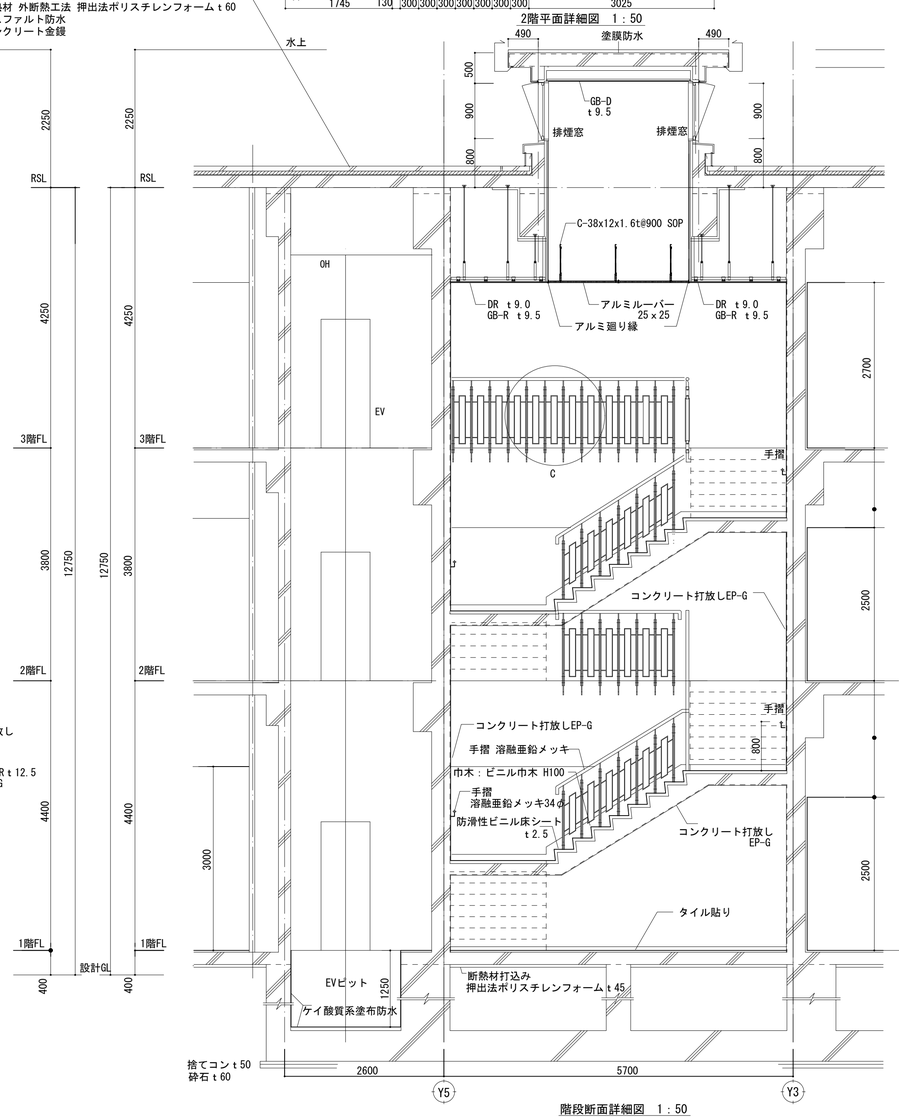
2階平面詳細図　1：50



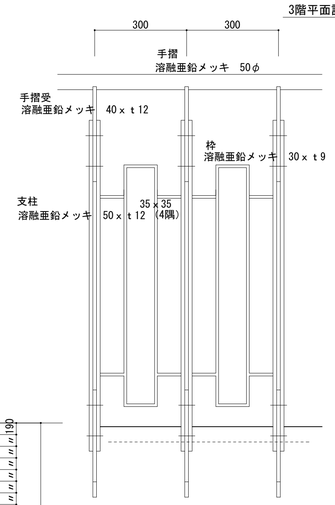
3階平面詳細図　1：50



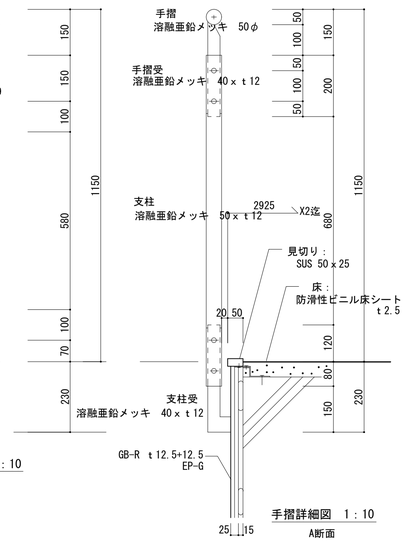
階段断面詳細図　1：50



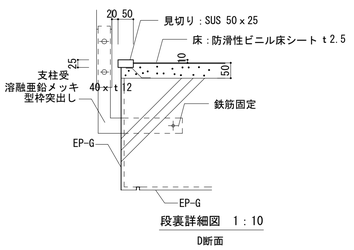
階段断面詳細図　1：50



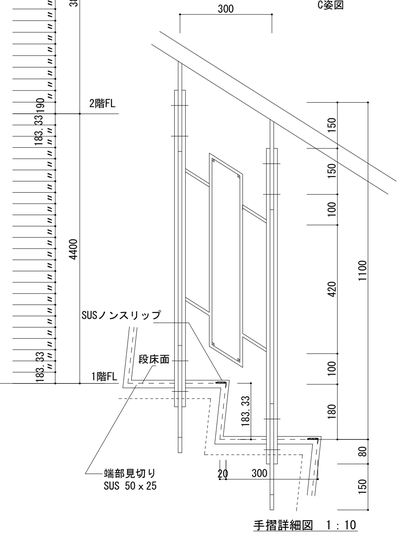
手摺詳細図　1：10
C姿図



手摺詳細図　1：10
A断面

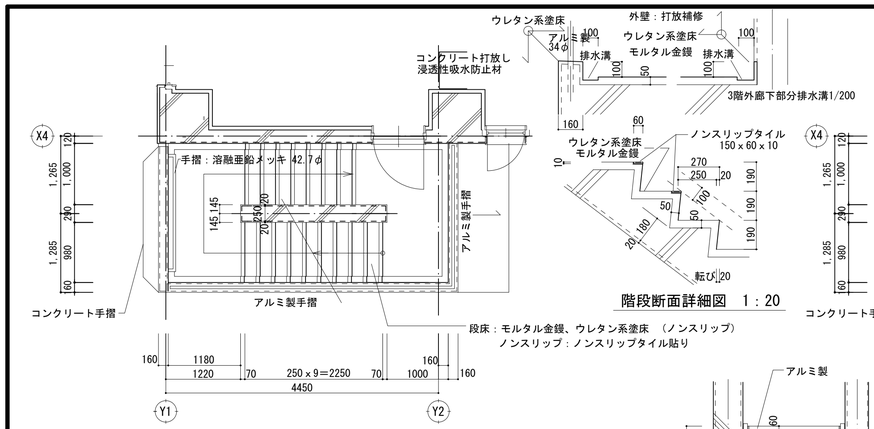


段裏詳細図　1：10
D断面



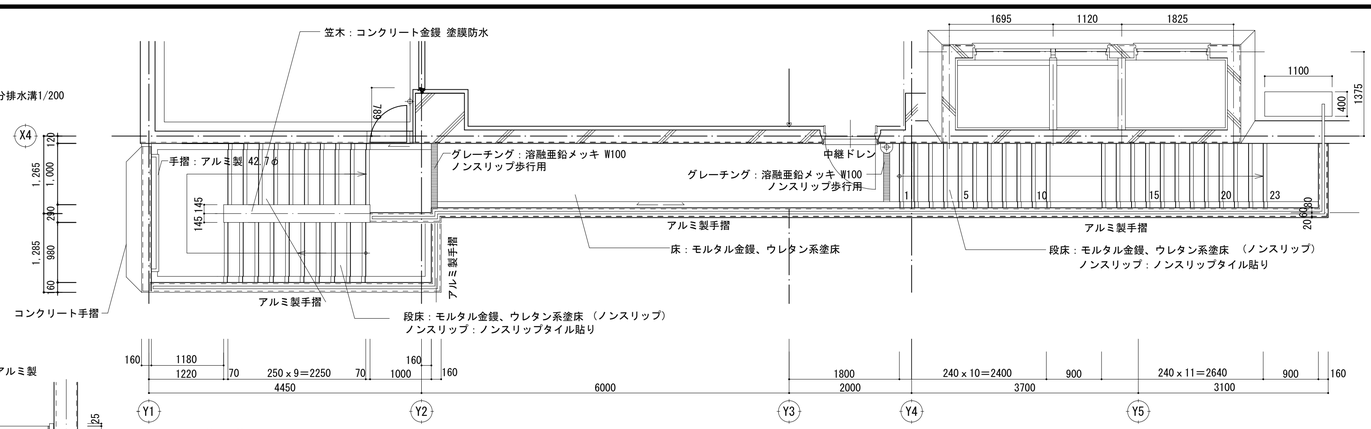
手摺詳細図　1：10
B断面

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署新築工事		
図面名	屋内階段詳細図、手摺詳細図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-023
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



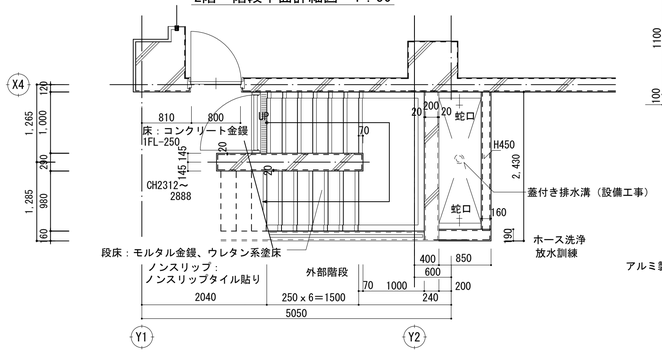
2階　階段平面詳細図　1：50

階段断面詳細図　1：20

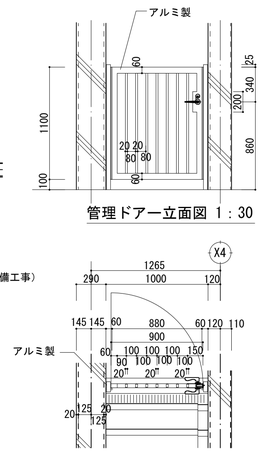


3階　階段平面詳細図　1：50

屋上　階段平面詳細図　1：50

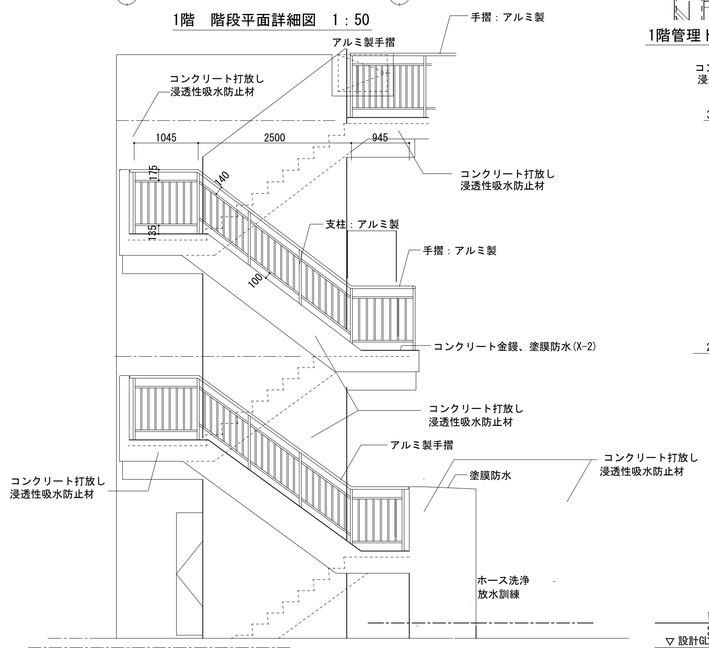


1階　階段平面詳細図　1：50

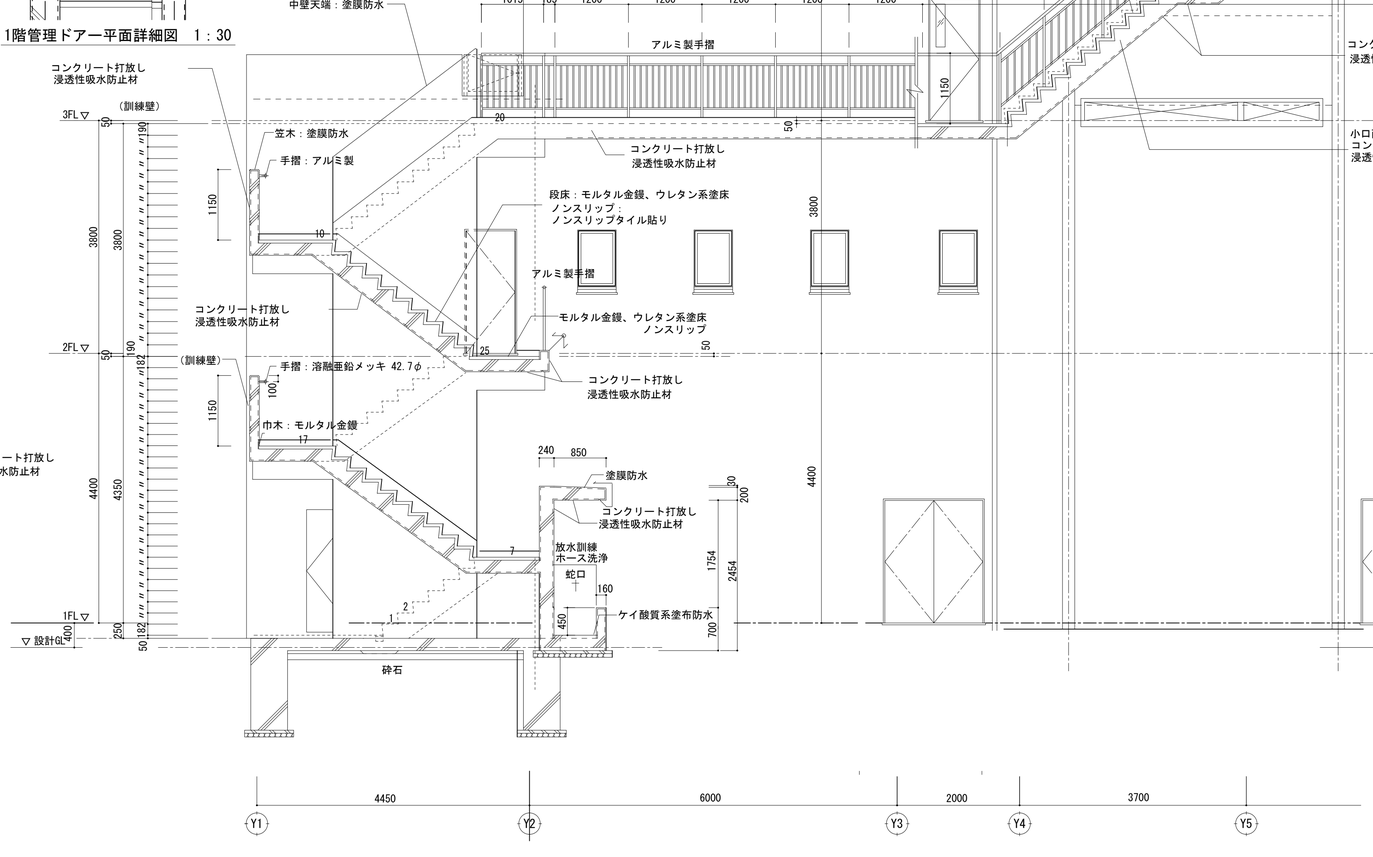


管理ドアー立面図 1：30

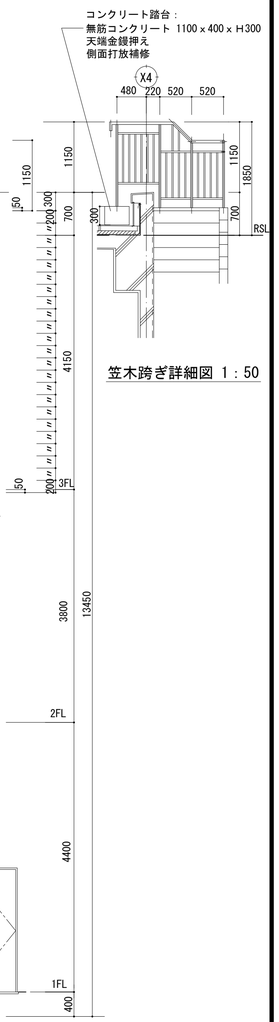
1階管理ドアー平面詳細図　1：30



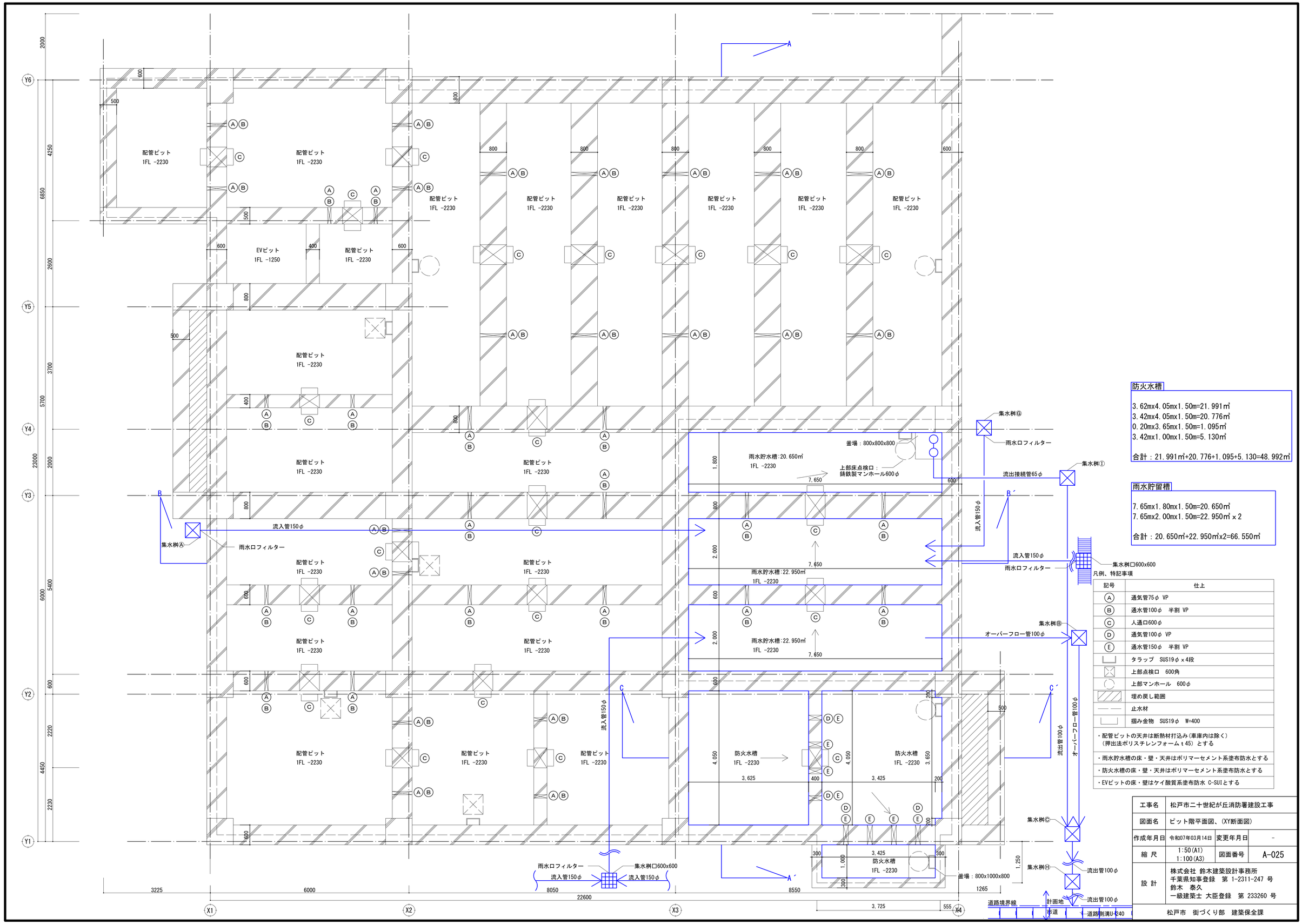
階段立面詳細図　1：50



階段断面詳細図　1：50



工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	屋外階段詳細図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-024
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



防火水槽

3.62mx4.05mx1.50m=21.991㎥
3.42mx4.05mx1.50m=20.776㎥
0.20mx3.65mx1.50m=1.095㎥
3.42mx1.00mx1.50m=5.130㎥

合計：21.991㎥+20.776+1.095+5.130=48.992㎥

雨水貯留槽

7.65mx1.80mx1.50m=20.650㎥
7.65mx2.00mx1.50m=22.950㎥ x 2

合計：20.650㎥+22.950㎥x2=66.550㎥

凡例、特記事項

記号	仕上
A	通気管75φ VP
B	通水管100φ 半割 VP
C	人通口600φ
D	通気管100φ VP
E	通水管150φ 半割 VP
	タラップ SUS19φ x4段
	上部点検口 600角
	上部マンホール 600φ
	埋め戻し範囲
	止水材
	掴み金物 SUS19φ W=400

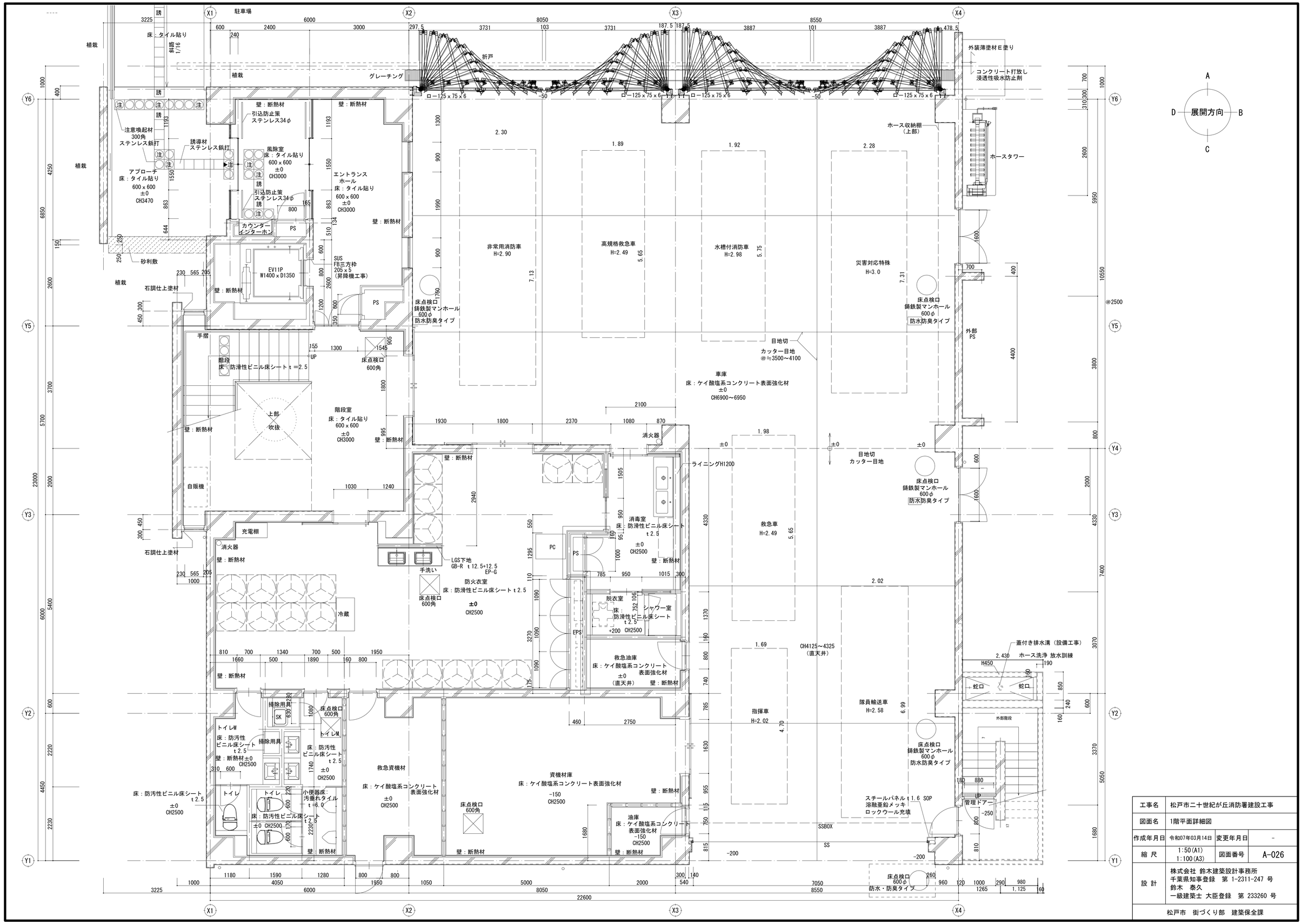
・配管ピットの天井は断熱材打込み（車庫内は除く）
（押出法ポリスチレンフォームｔ45）とする

・雨水貯水槽の床・壁・天井はポリマーセメント系塗布防水とする

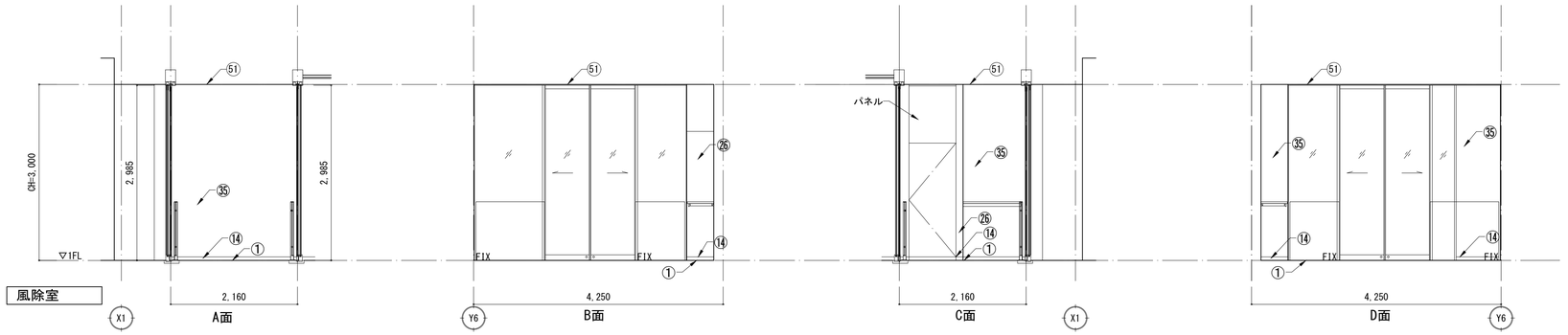
・防火水槽の床・壁・天井はポリマーセメント系塗布防水とする

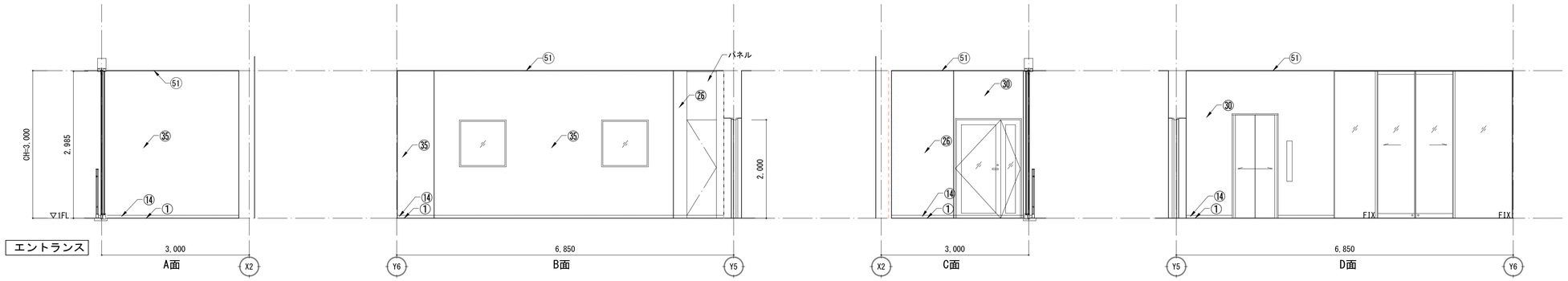
・EVピットの床・壁はケイ酸質系塗布防水 C-SUIとする

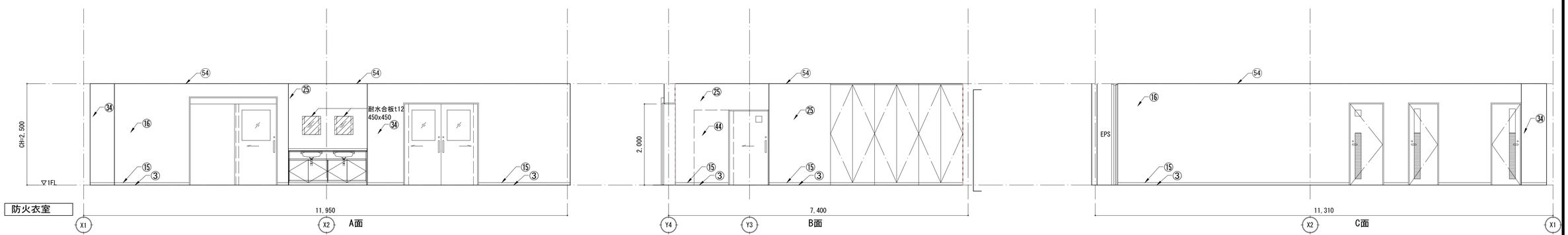
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	ピット階平面図、(XY断面図)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-025
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

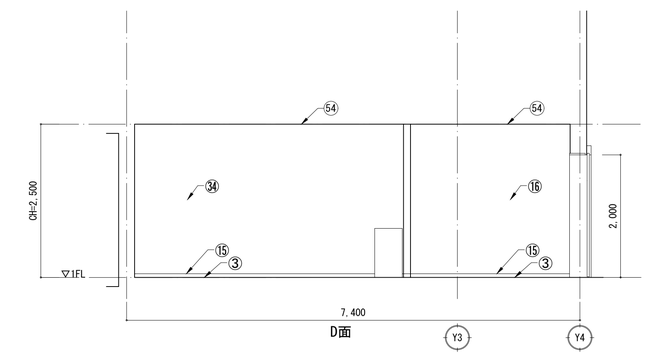


工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	1階平面詳細図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-026
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			





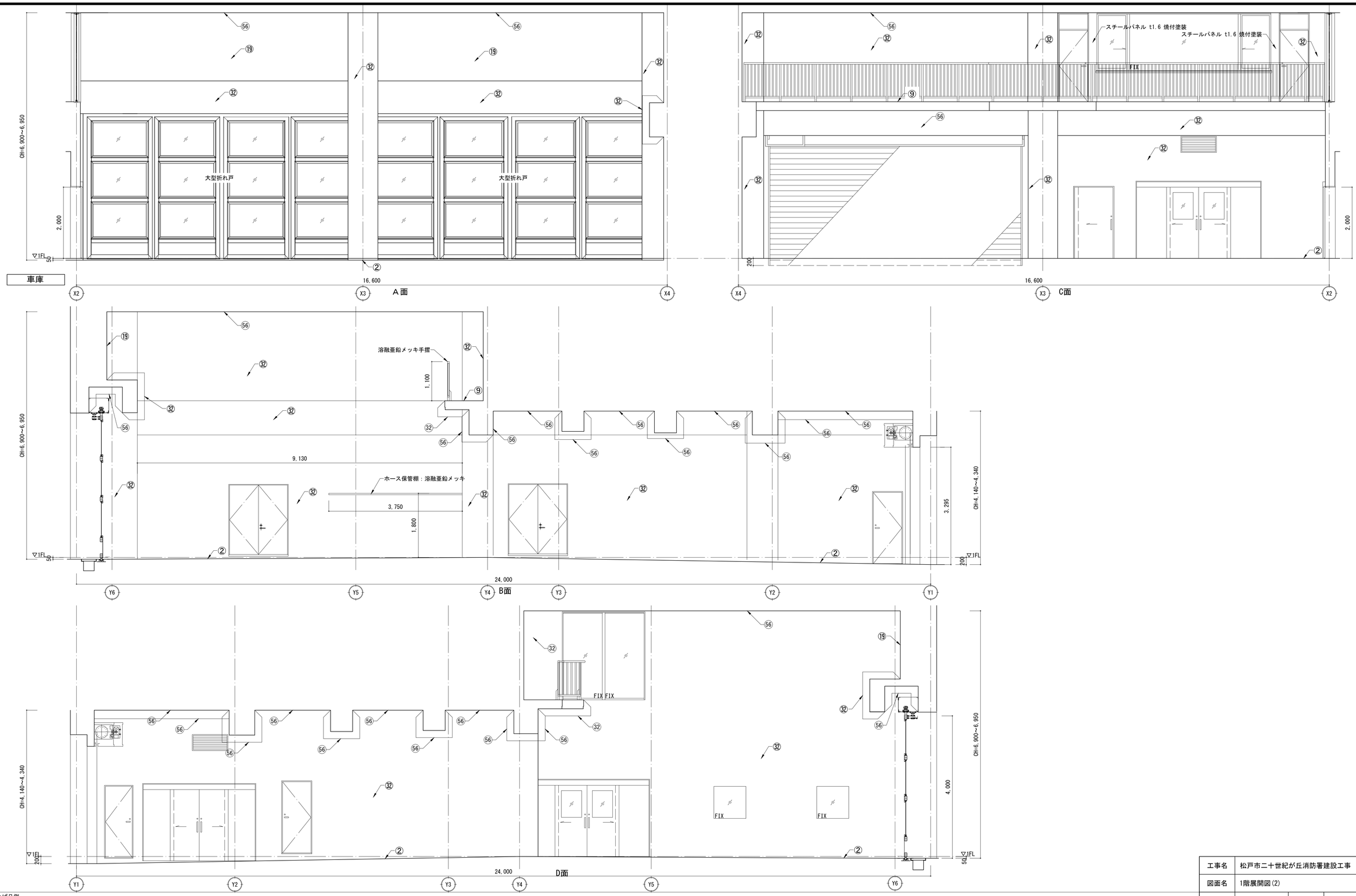




仕上げ凡例

床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修（増打t10）、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修（増打t10）		㊷	GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊷	
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊸	DR t9.0（LGS下地）
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5（LGS下地）
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺	
	⑥	ビニル床タイル t4.0	壁	⑯	GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0		㊻	EP-G
	⑦	タイルカーペット t6.5		⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビバスリブ（LGS下地）
	⑧	エポキシ樹脂系塗床		⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス
	⑨	ウレタン系樹脂塗床（防滑仕様）		⑲	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G（片面張り）		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、不燃メラミン化粧板t3			
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉚	コンクリート打放補修（増打t10）、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付					㊾	樹脂製振動吸収性目地

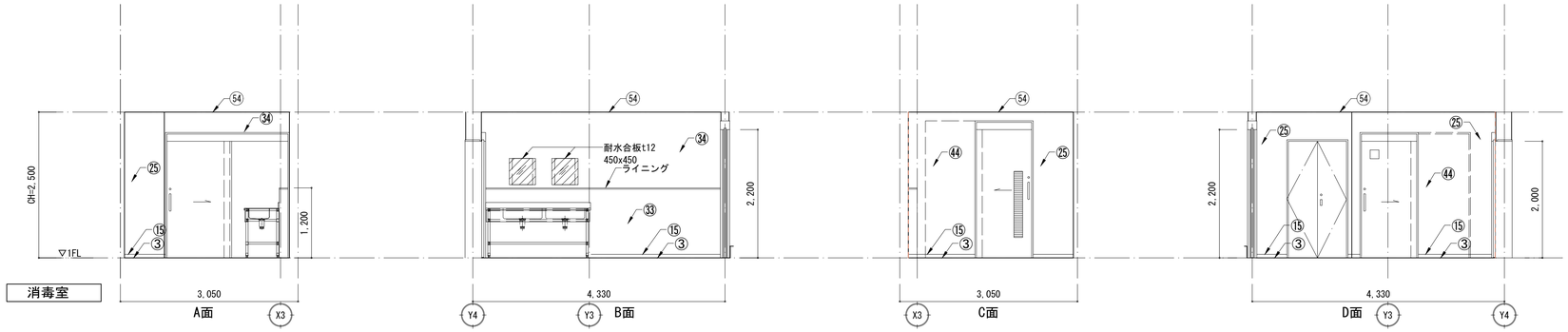
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	1階展開図(1)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-027
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

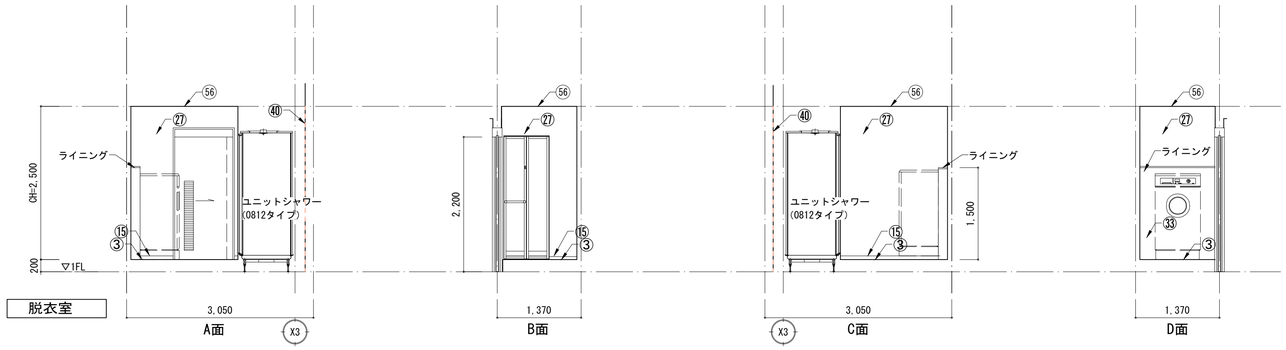


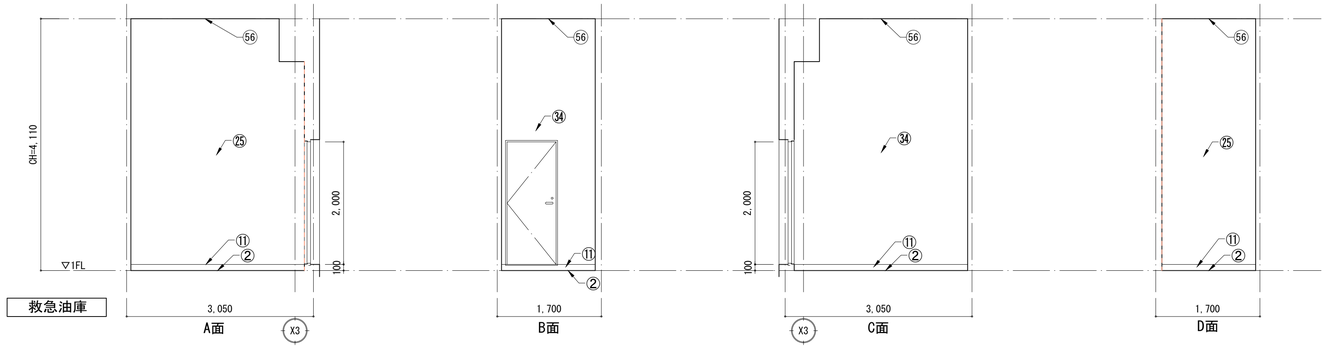
仕上げ凡例

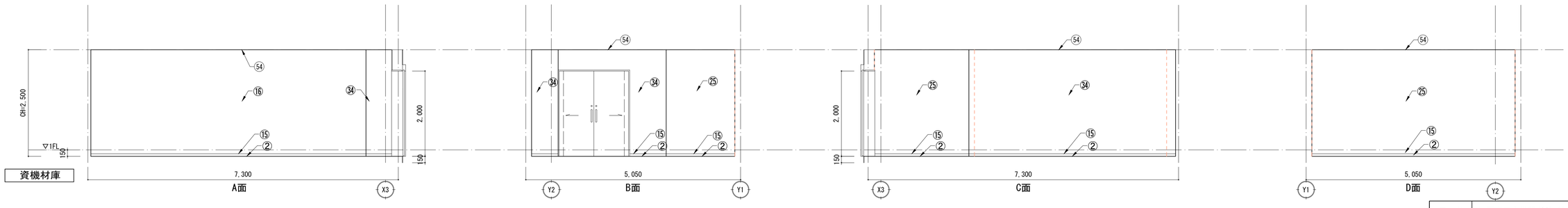
床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修（増打t10）、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修（増打t10）		㊷	GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊷	
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊸	DR t9.0（LGS下地）
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5（LGS下地）
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺	
	⑥	ビニル床タイル t4.0	壁	⑯	GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0		㊻	EP-G
	⑦	タイルカーペット t6.5		⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビパスリブ（LGS下地）
	⑧	エポキシ樹脂系塗床		⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス
	⑨	ウレタン系樹脂塗床（防滑仕様）		⑲	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G（片面張り）		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、不燃メラミン化粧板t3			
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉚	コンクリート打放補修（増打t10）、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付						樹脂製振動吸収性目地

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	1階展開図(2)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-028
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			





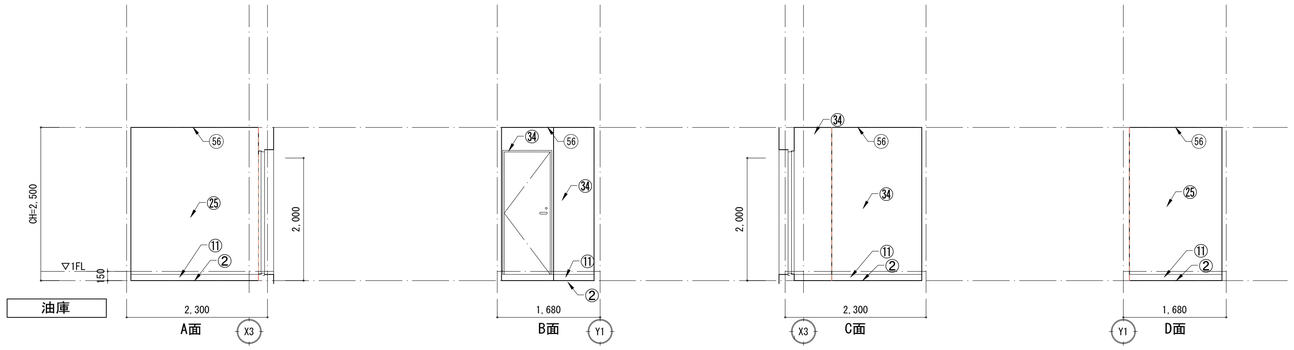


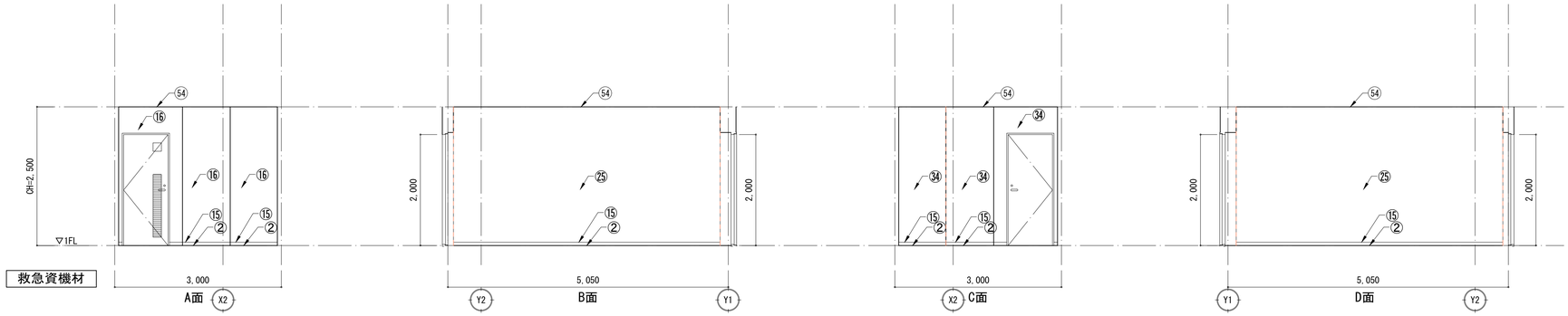


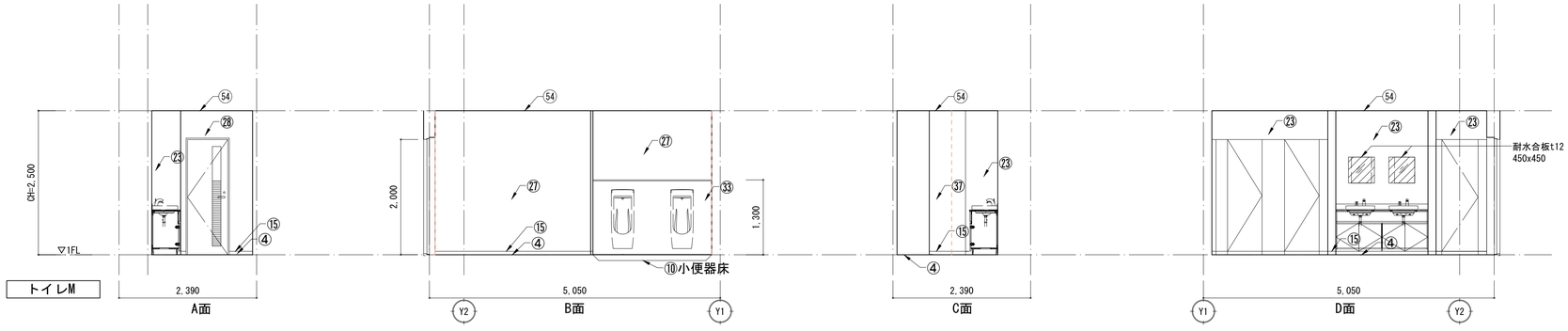
仕上げ凡例

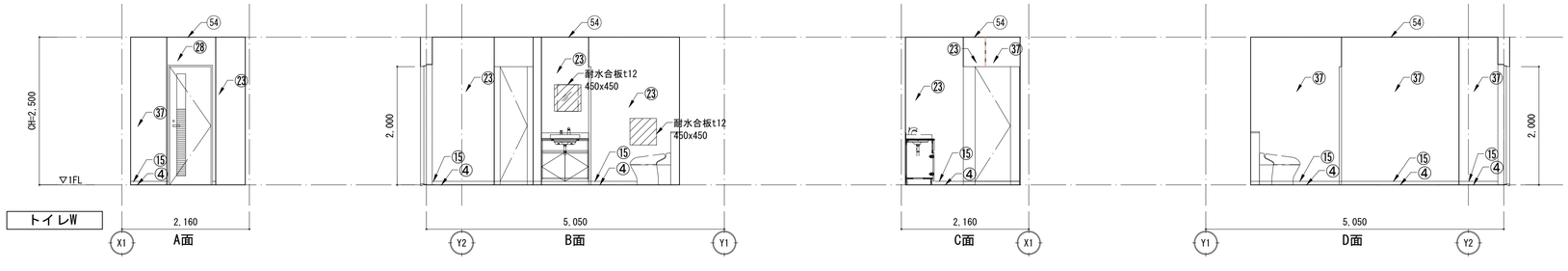
床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修（増打t10）、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修（増打t10）		㊷	GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊷	
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊸	DR t9.0（LGS下地）
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5（LGS下地）
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺	
	⑥	ビニル床タイル t4.0		⑯	GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0		㊻	EP-G
	⑦	タイルカーペット t6.5	壁	⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビバスリブ（LGS下地）
	⑧	エポキシ樹脂系塗床		⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス
	⑨	ウレタン系樹脂塗床（防滑仕様）		⑲	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G（片面張り）		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、不燃メラミン化粧板t3			
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉚	コンクリート打放補修（増打t10）、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付						樹脂製振動吸収性目地

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	1階展開図(3)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-029
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			





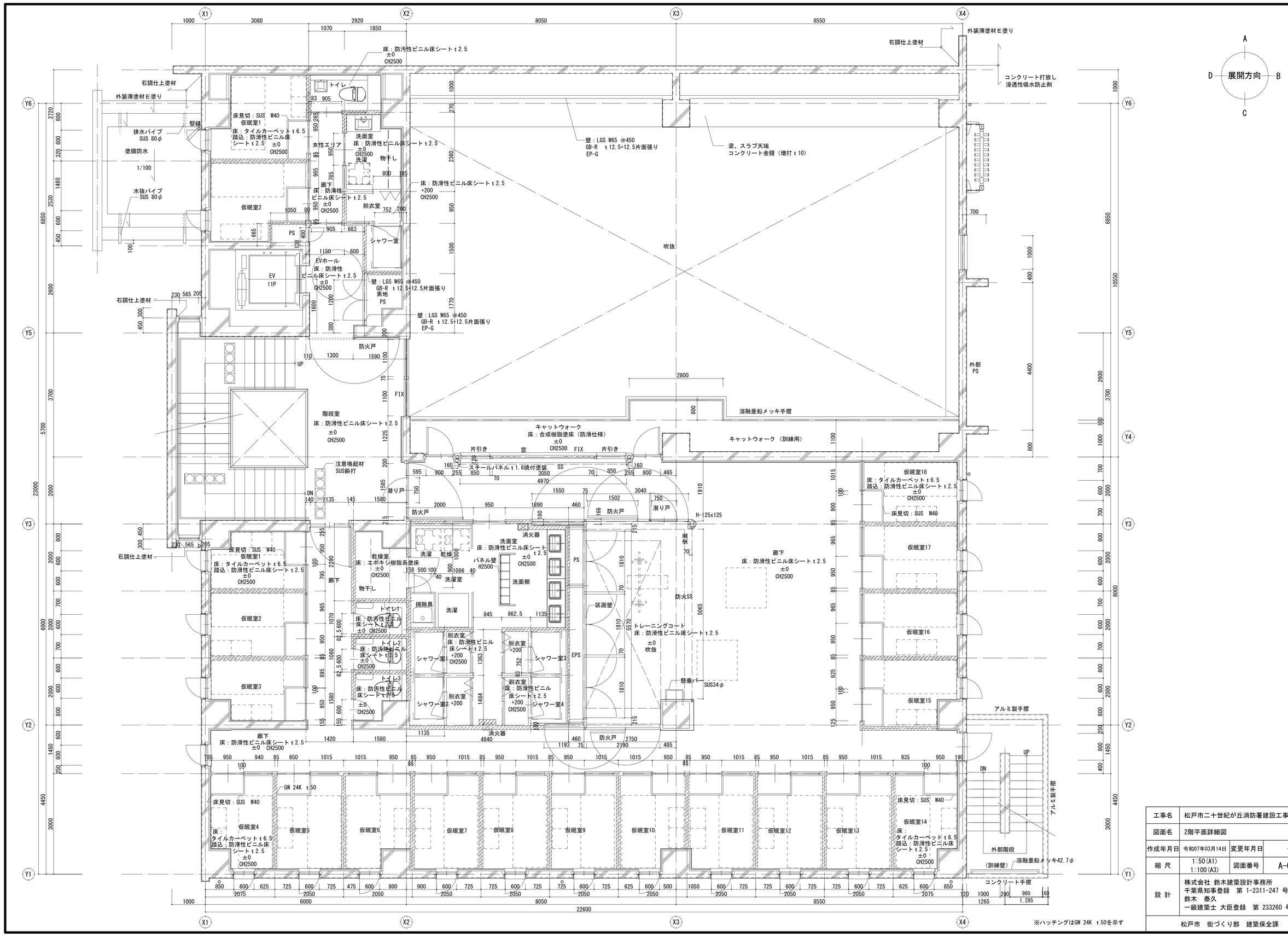




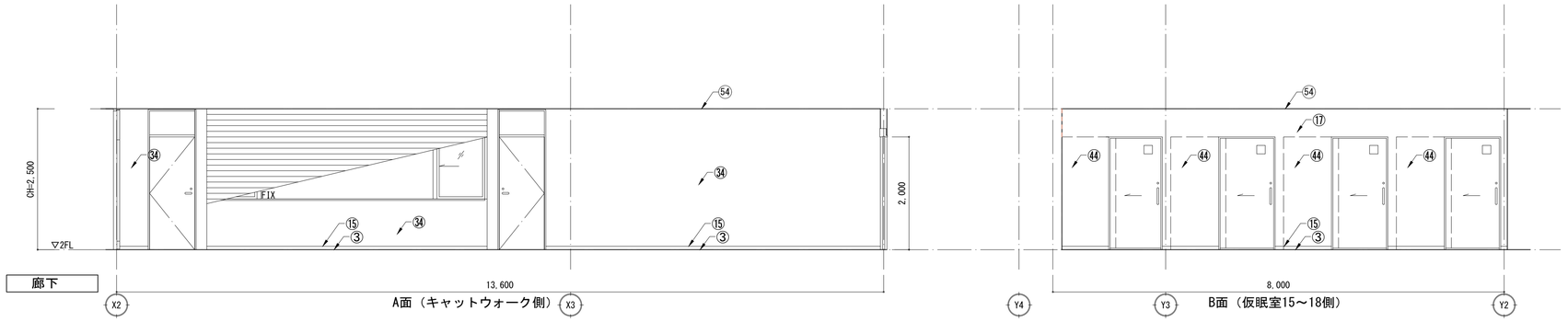
仕上げ凡例

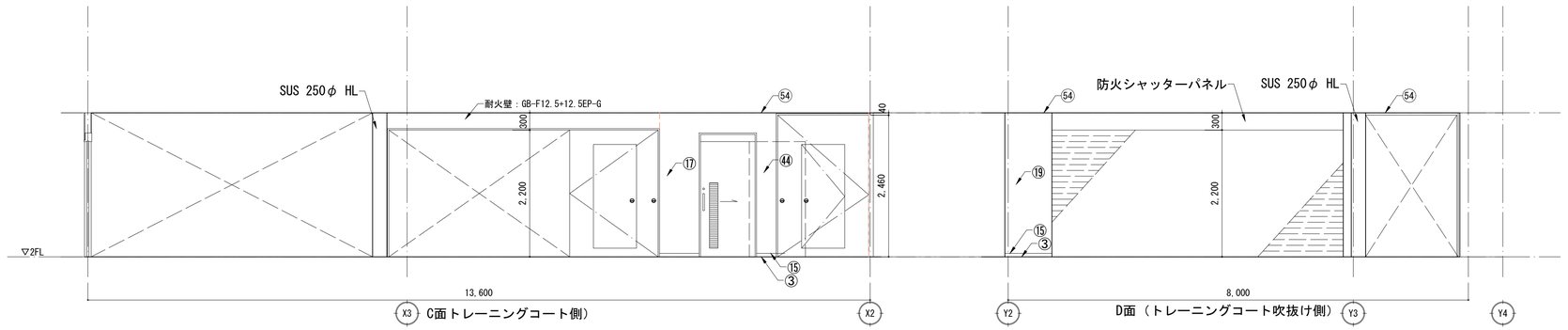
床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5 (GW 24K t50)、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修 (増打t10)、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5 (GW 24K t50)、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修 (増打t10)		㊷	GB-S t12.5 (GL工法)、FK-D t6.0		㊷	
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5 (GL工法)、ビニルクロス		㊸	DR t9.0 (LGS下地)
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5 (GL工法)、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5 (LGS下地)
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5 (GL工法)、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺	
	⑥	ビニル床タイル t4.0		⑯	GB-R t12.5 (GL工法)、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5 (GL工法)、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5 (GW 24K t50)、FK-D t6.0		㊻	EP-G
	⑦	タイルカーペット t6.5	壁	⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5 (GW 24K t50)、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5 (GL工法)、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビパスリブ (LGS下地)
	⑧	エポキシ樹脂系塗床		⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5 (GW 24K t50)、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5 (GL工法)、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5 (GL工法)、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5 (GW 24K t50)、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス
	⑨	ウレタン系樹脂塗床 (防滑仕様)		⑲	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G (片面張り)		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5 (GL工法)、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5 (GL工法)、不燃メラミン化粧板t3			
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5 (GW 24K t50)、EP-G		㉚	コンクリート打放補修 (増打t10)、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付				———		樹脂製振動吸収性目地

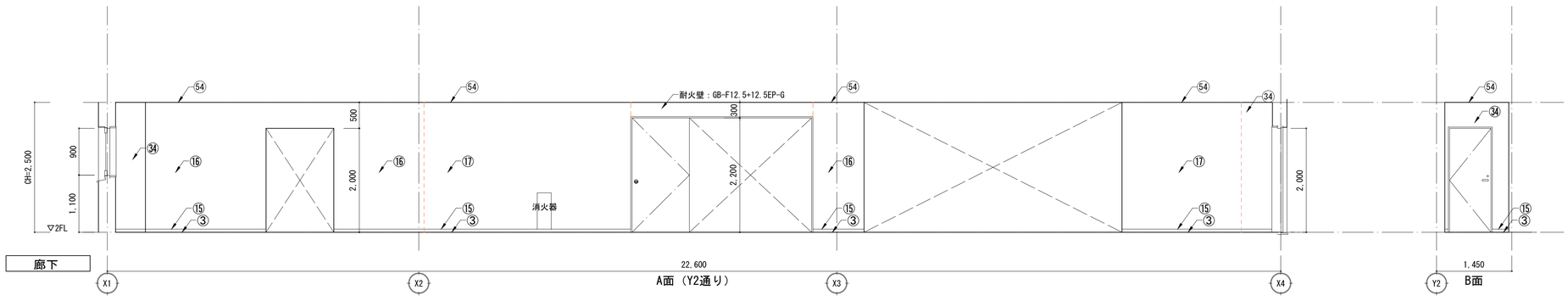
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	1階展開図(4)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-030
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

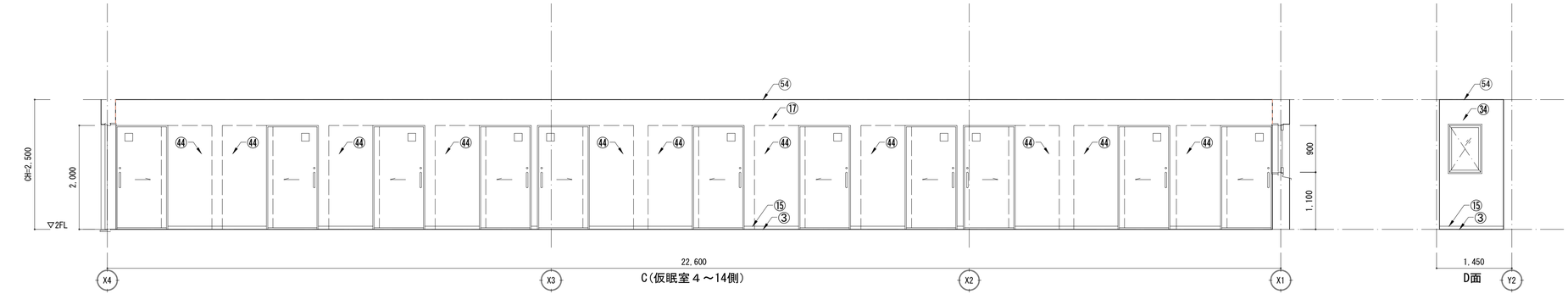


工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	2階平面詳細図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-031
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			





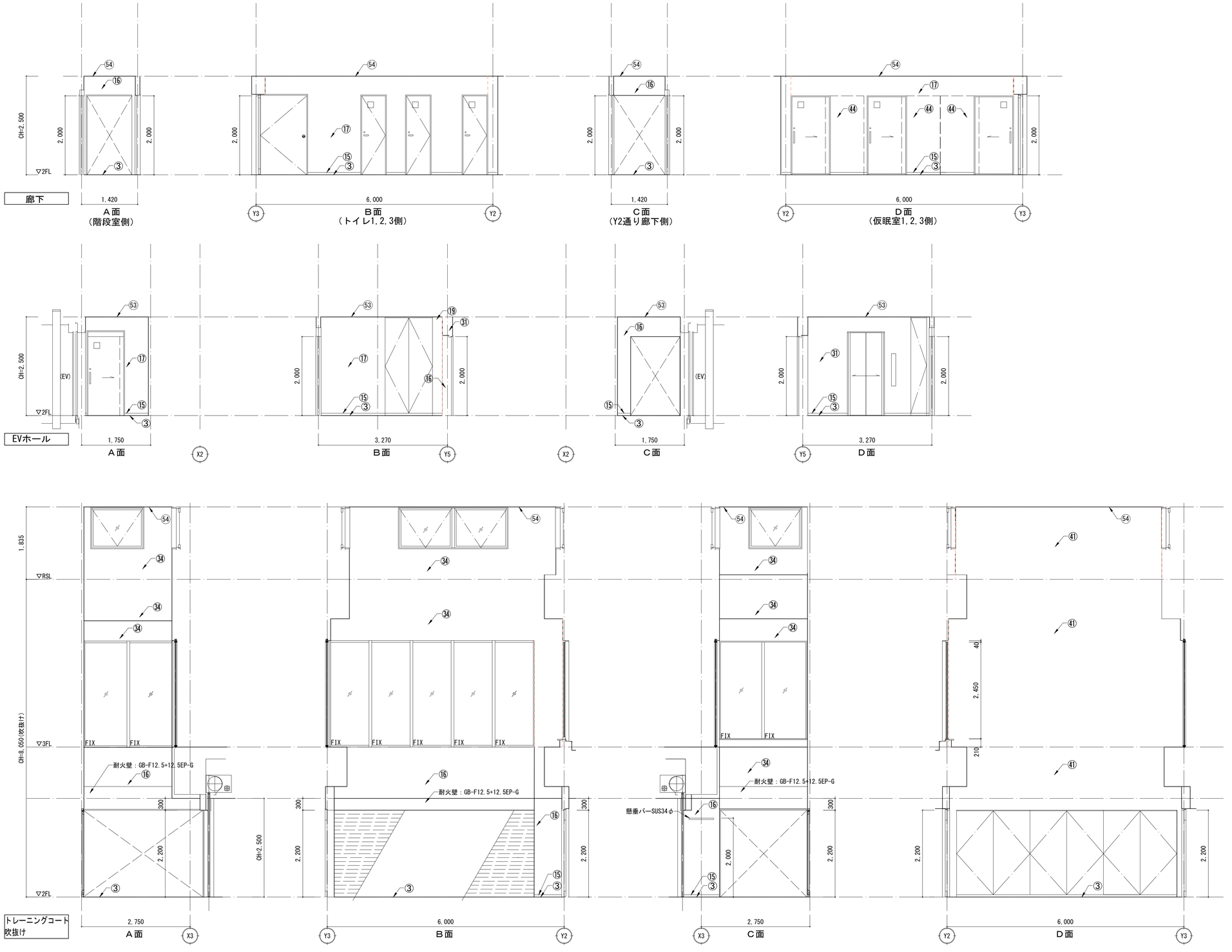




仕上げ凡例

床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修（増打t10）、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修（増打t10）		㊷	GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊷	
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊸	DR t9.0（LGS下地）
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5（LGS下地）
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺	
	⑥	ビニル床タイル t4.0		⑯	GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0		㊻	EP-G
	⑦	タイルカーペット t6.5	壁	⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビパスリブ（LGS下地）
	⑧	エポキシ樹脂系塗床		⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス
	⑨	ウレタン系樹脂塗床（防滑仕様）		⑲	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G（片面張り）		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、不燃メラミン化粧板t3			
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉚	コンクリート打放補修（増打t10）、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付					㊾	樹脂製振動吸収性目地

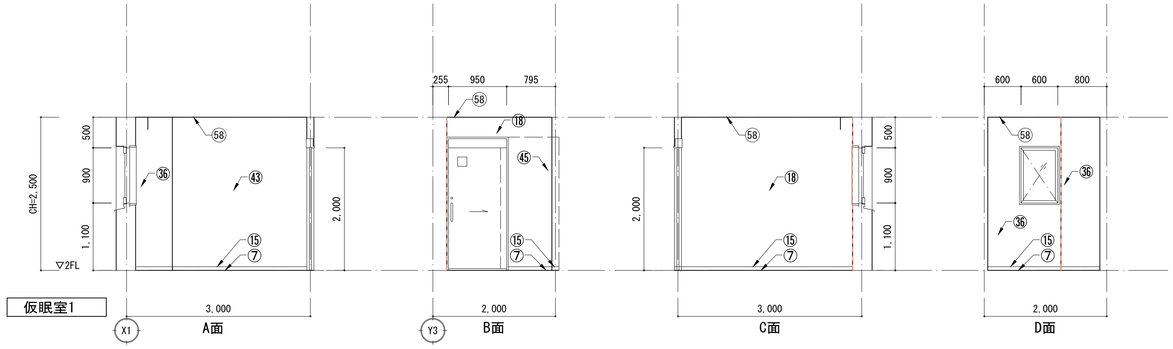
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	2階展開図(6)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-032
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

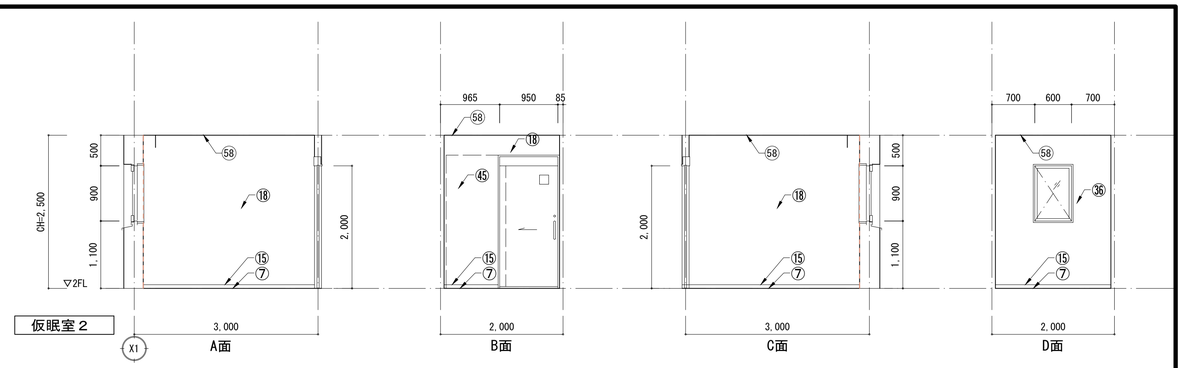


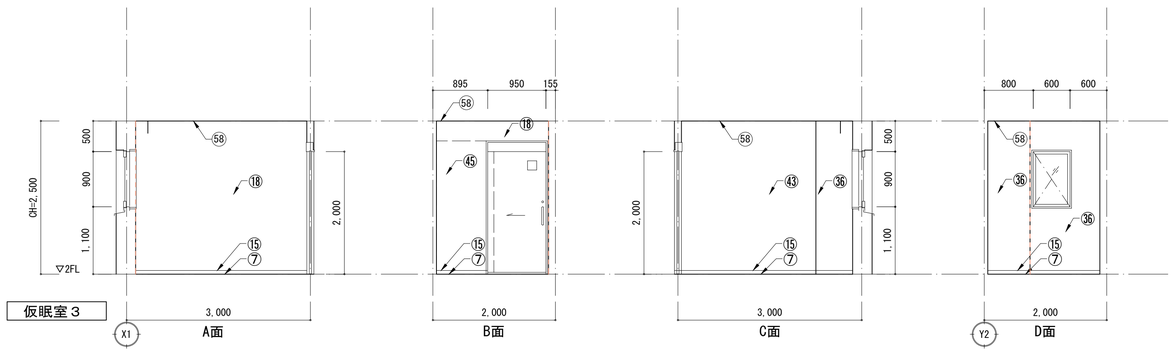
仕上げ凡例

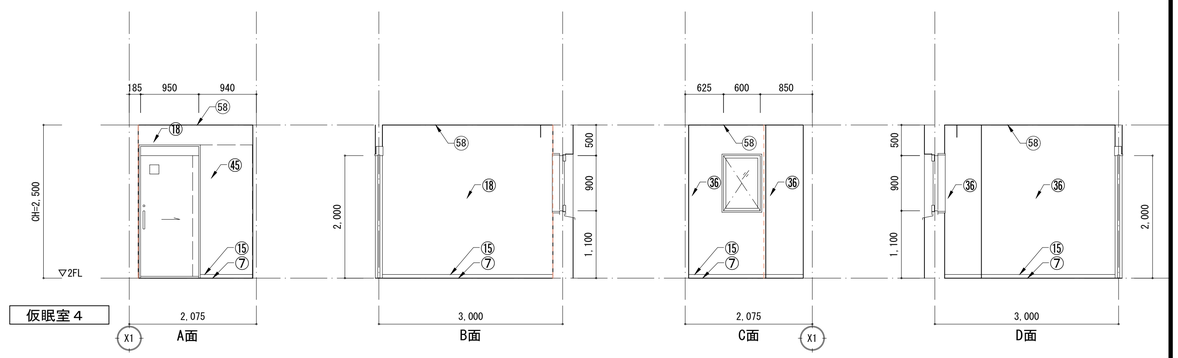
床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修（増打t10）、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修（増打t10）		㊷	GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊷	
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊸	DR t9.0（LGS下地）
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5（LGS下地）
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺	
	⑥	ビニル床タイル t4.0		⑯	GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0		㊻	EP-G
	⑦	タイルカーペット t6.5	壁	⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビバスリブ（LGS下地）
	⑧	エポキシ樹脂系塗床		⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス
	⑨	ウレタン系樹脂塗床（防滑仕様）		⑲	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G（片面張り）		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、不燃メラミン化粧板t3			
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉚	コンクリート打放補修（増打t10）、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付				▭▭▭		樹脂製振動吸収性目地

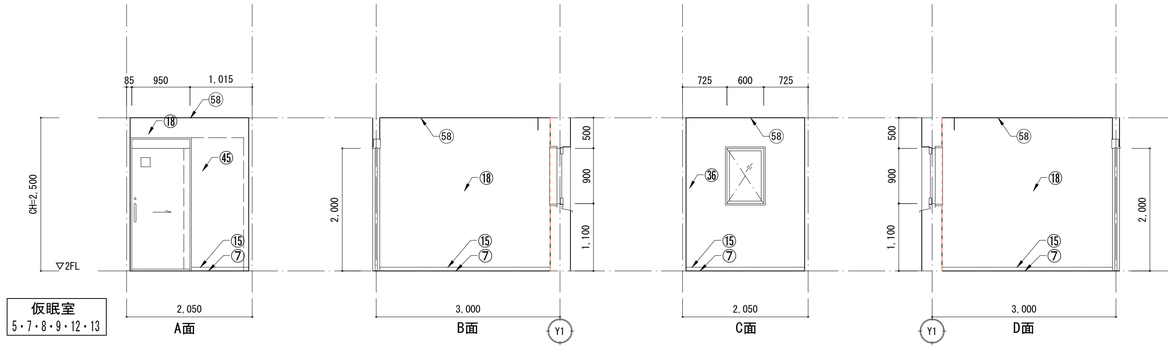
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	2階展開図(7)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-033
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

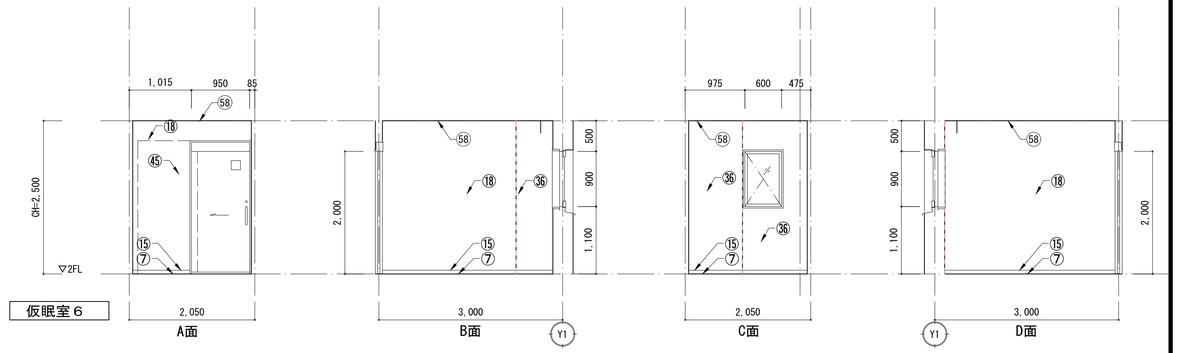


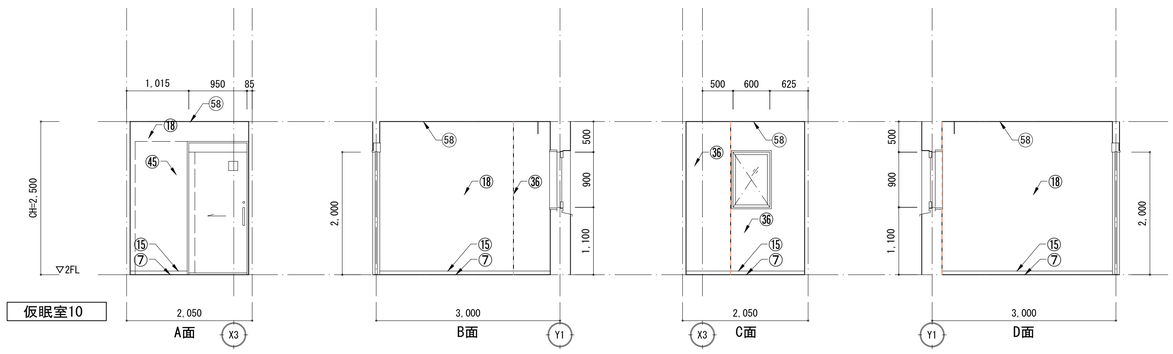


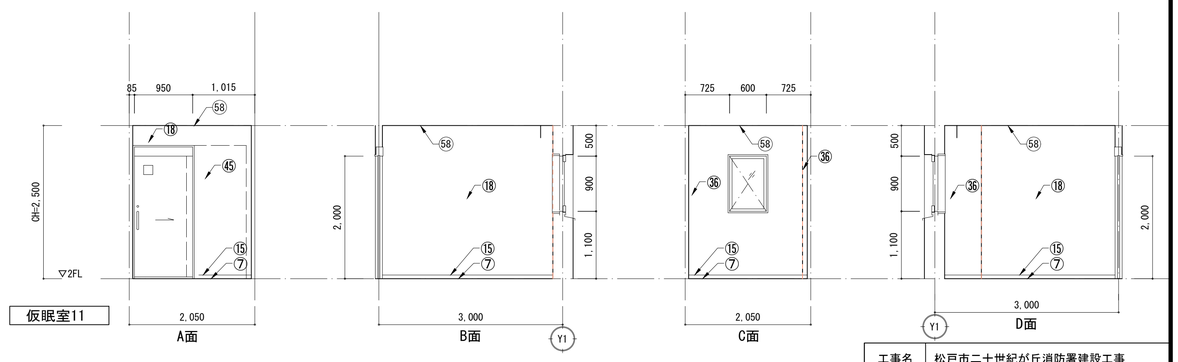








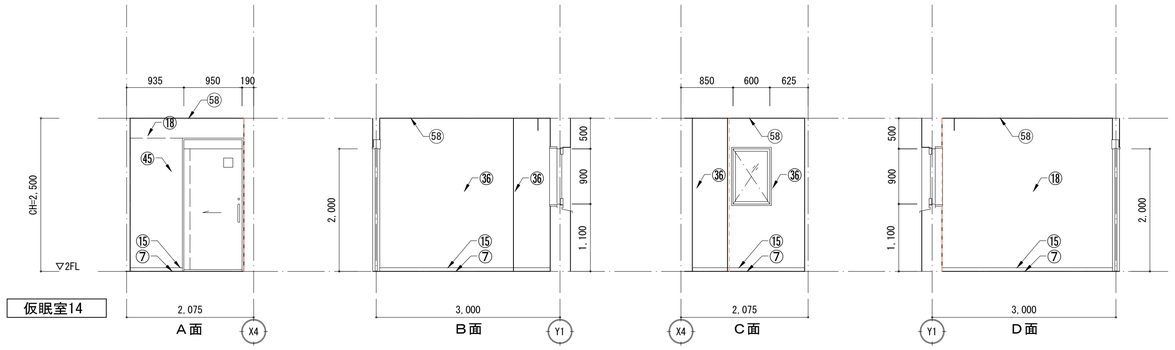




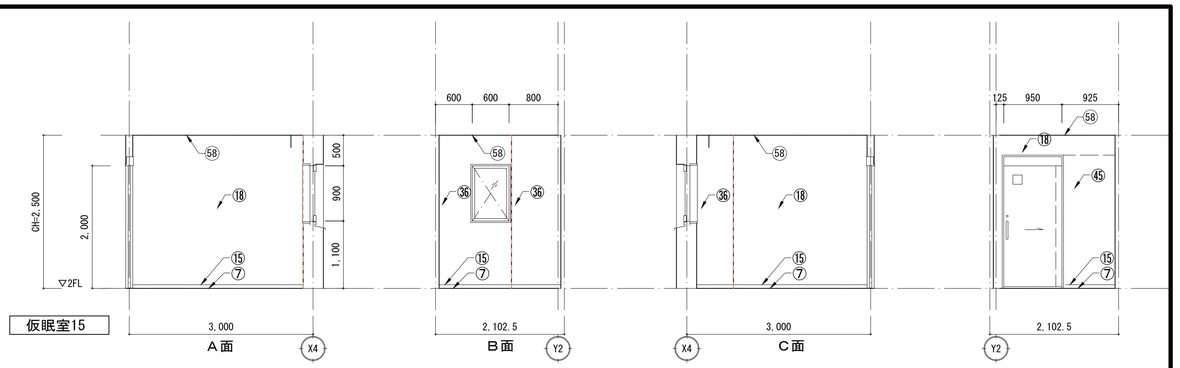
仕上げ凡例

床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修（増打t10）、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修（増打t10）		㊷	GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊷	
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊸	DR t9.0（LGS下地）
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5（LGS下地）
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺	
	⑥	ビニル床タイル t4.0		⑯	GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0		㊻	EP-G
	⑦	タイルカーペット t6.5		⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビバスリブ（LGS下地）
	⑧	エポキシ樹脂系塗床	壁	⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス
	⑨	ウレタン系樹脂塗床（防滑仕様）		⑲	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G（片面張り）		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、不燃メラミン化粧板t3			
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉚	コンクリート打放補修（増打t10）、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付					----	樹脂製振動吸収性目地

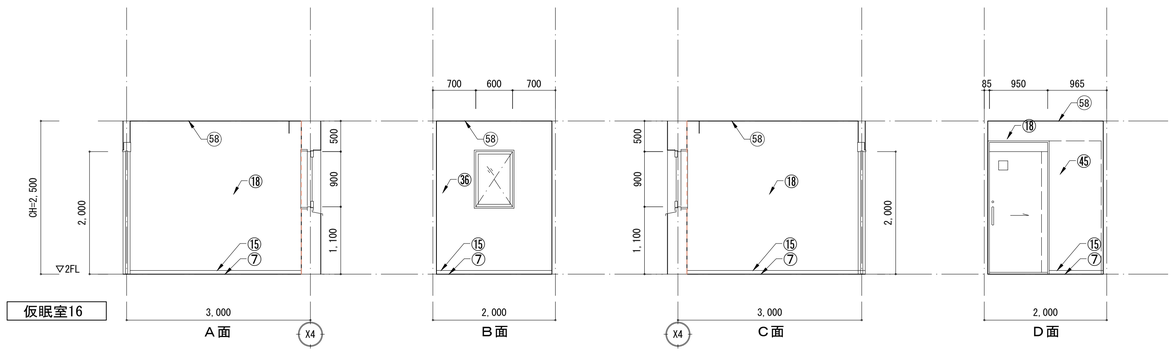
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	2階展開図(8)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-034
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



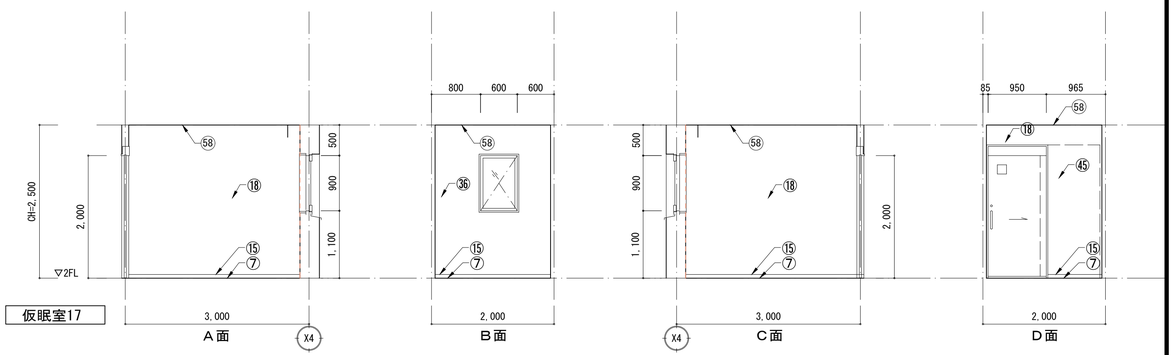
仮眠室14



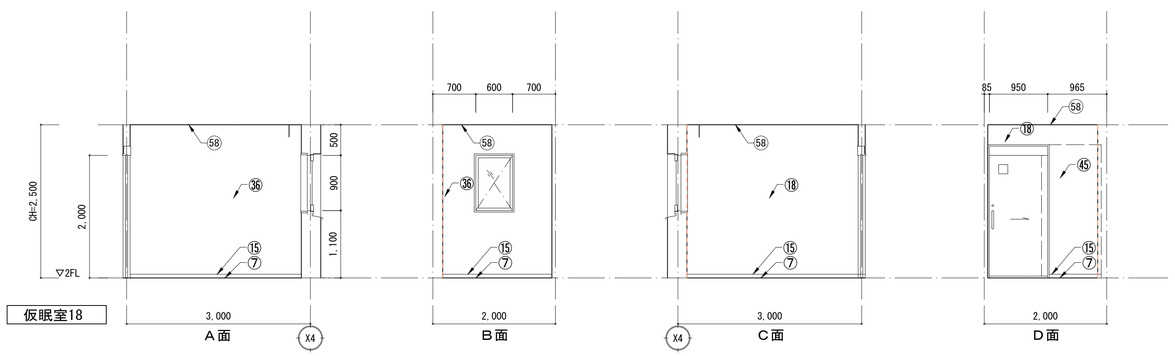
仮眠室15



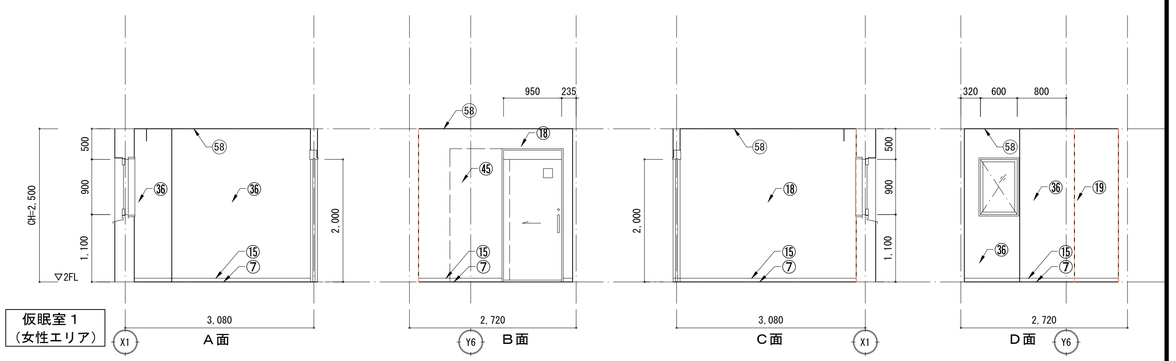
仮眠室16



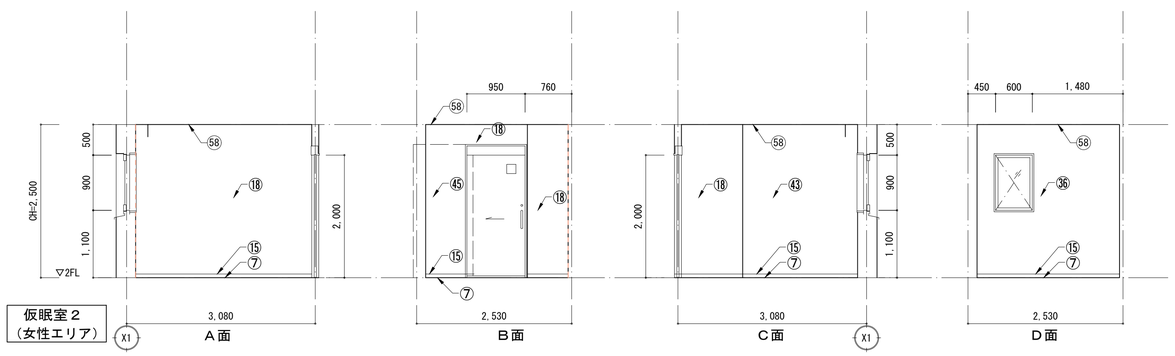
仮眠室17



仮眠室18



仮眠室１
（女性エリア）

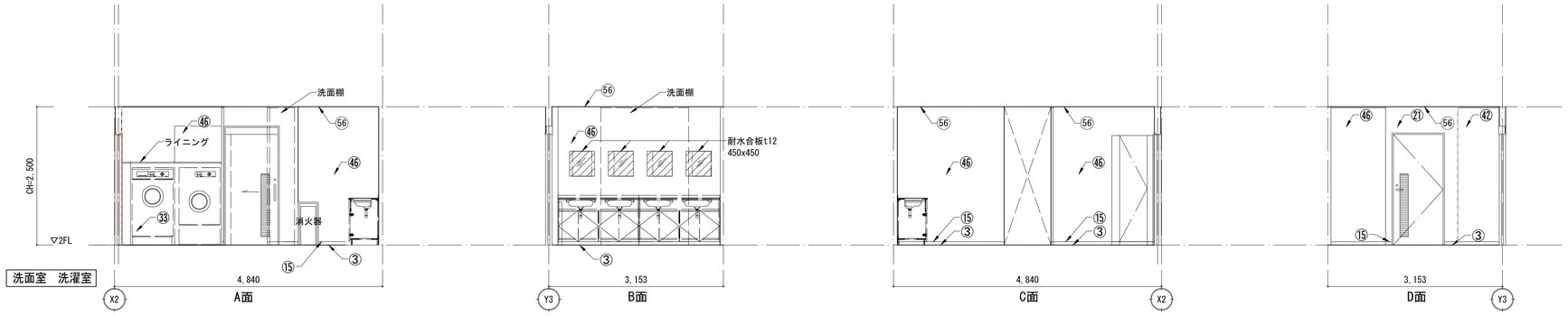


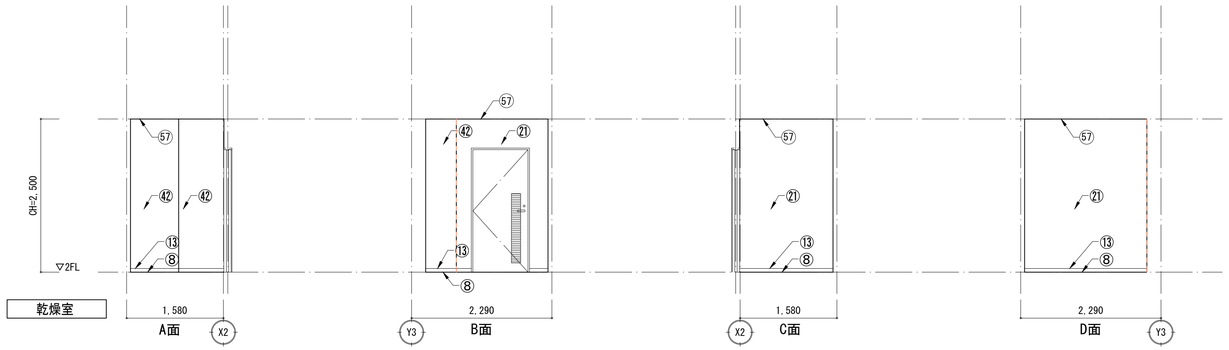
仮眠室２
（女性エリア）

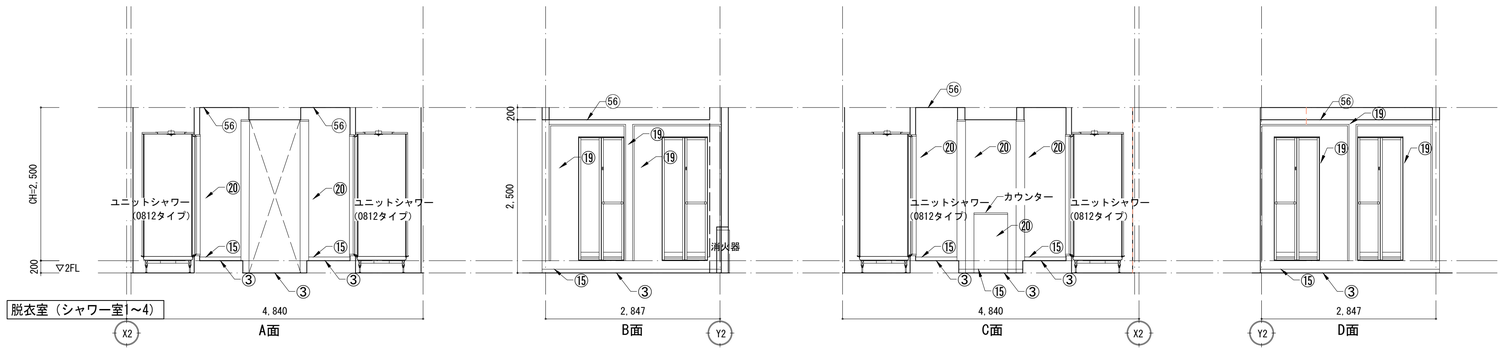
仕上げ凡例

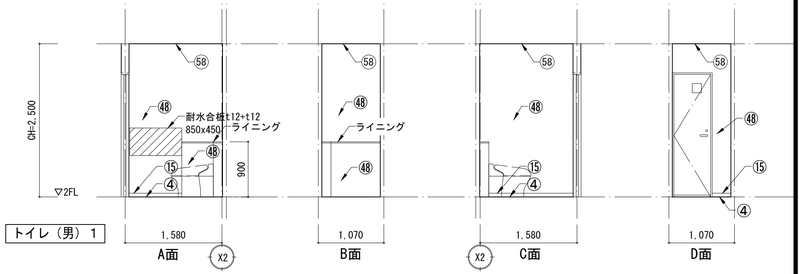
床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修（増打t10）、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修（増打t10）		㊷	GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊷	
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊸	DR t9.0（LGS下地）
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5（LGS下地）
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺	
	⑥	ビニル床タイル t4.0	壁	⑯	GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0		㊻	EP-G
	⑦	タイルカーペット t6.5		⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビパスリブ（LGS下地）
	⑧	エポキシ樹脂系塗床		⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス
	⑨	ウレタン系樹脂塗床（防滑仕様）		⑲	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G（片面張り）		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、不燃メラミン化粧板t3			
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉚	コンクリート打放補修（増打t10）、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付					㊾	樹脂製振動吸収性目地

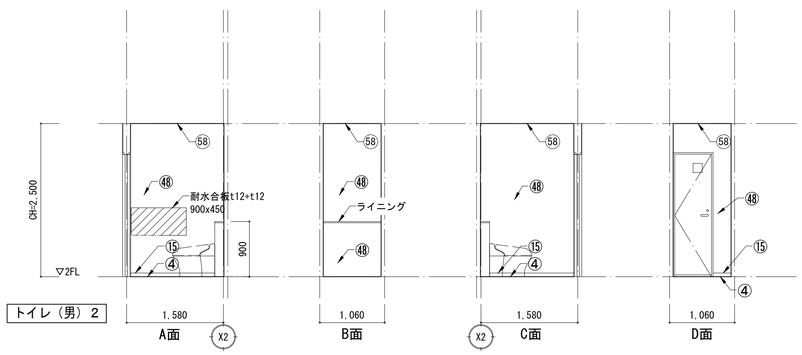
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	2階展開図(9)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-035
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

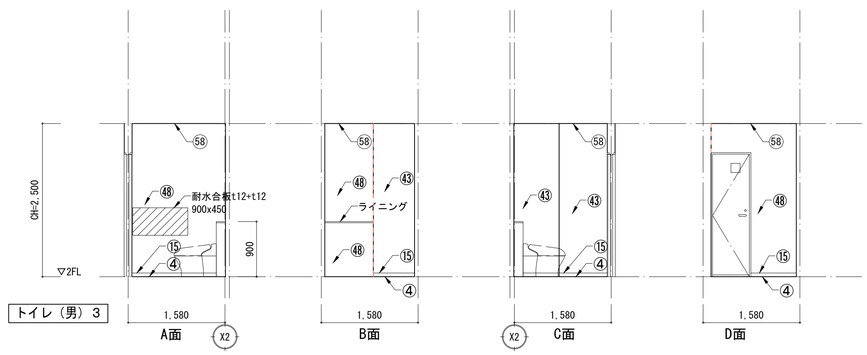








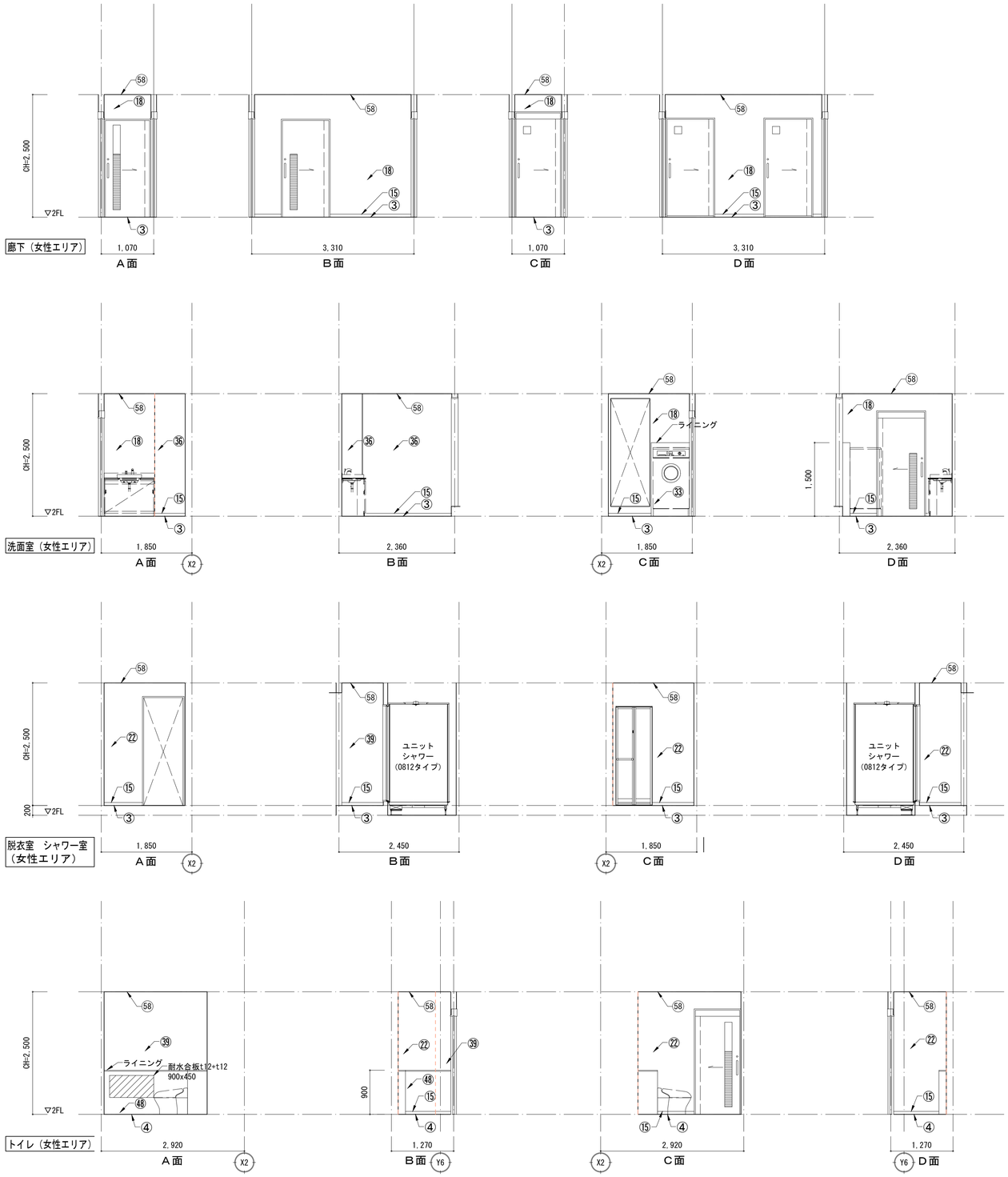




仕上げ凡例

床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修（増打t10）、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修（増打t10）		㊷	GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊷	
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊸	DR t9.0（LGS下地）
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5（LGS下地）
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺	
	⑥	ビニル床タイル t4.0		⑯	GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0		㊻	EP-G
	⑦	タイルカーペット t6.5		⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビパスリブ（LGS下地）
	⑧	エポキシ樹脂系塗床		⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス
	⑨	ウレタン系樹脂塗床（防滑仕様）		⑲	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G（片面張り）		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、不燃メラミン化粧板t3			
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉚	コンクリート打放補修（増打t10）、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付						樹脂製振動吸収性目地

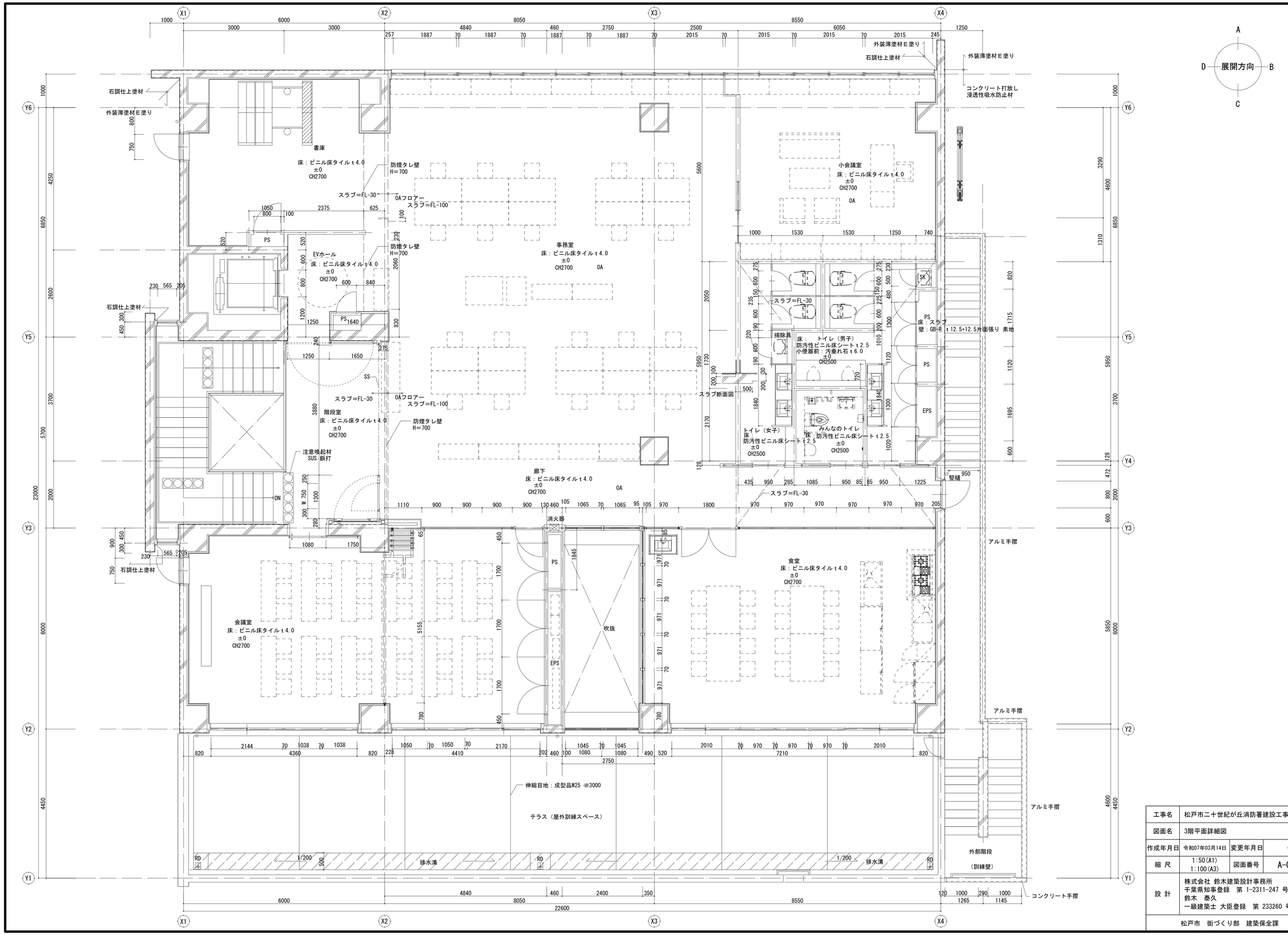
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	2階展開図(10)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-036
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



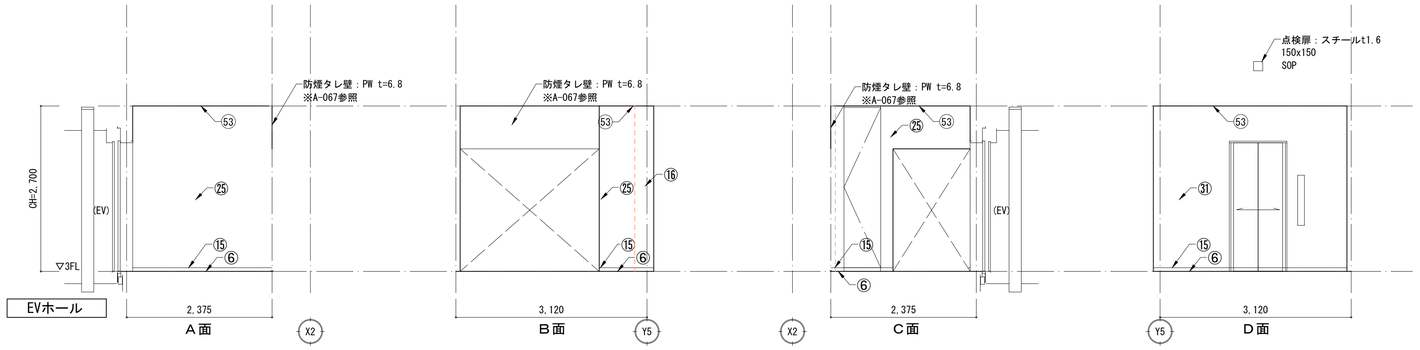
仕上げ凡例

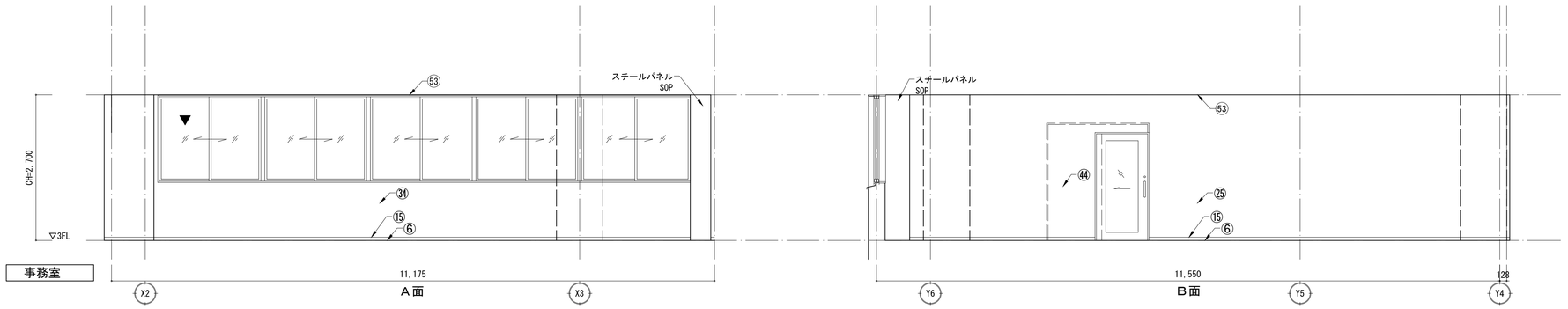
床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修（増打t10）、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修（増打t10）		㊷	GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊷	
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊸	DR t9.0（LGS下地）
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5（LGS下地）
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺	
	⑥	ビニル床タイル t4.0		⑯	GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0		㊻	EP-G
	⑦	タイルカーペット t6.5		⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビパスリブ（LGS下地）
	⑧	エポキシ樹脂系塗床	壁	⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス
	⑨	ウレタン系樹脂塗床（防滑仕様）		⑲	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G（片面張り）		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、不燃メラミン化粧板t3			
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉚	コンクリート打放補修（増打t10）、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付					⑤⑤	樹脂製振動吸収性目地

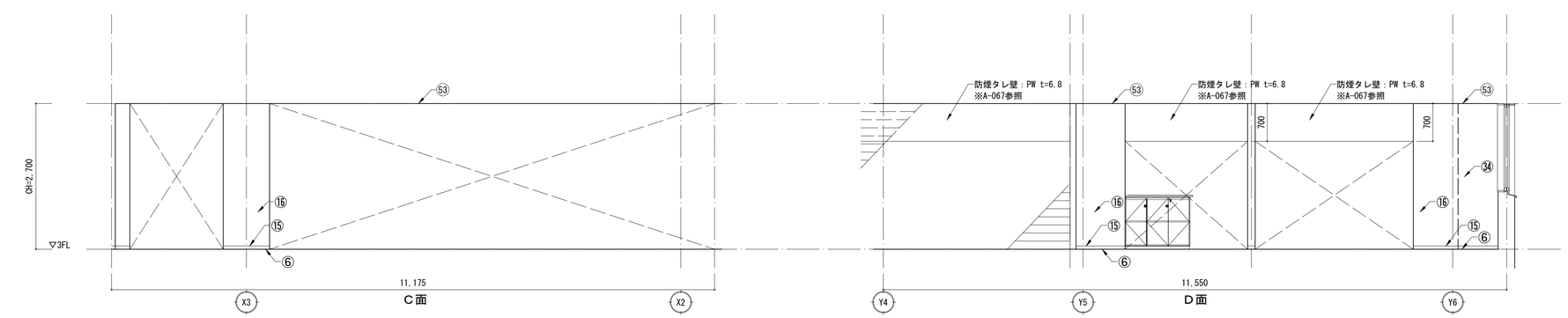
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	2階展開図(11)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-037
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

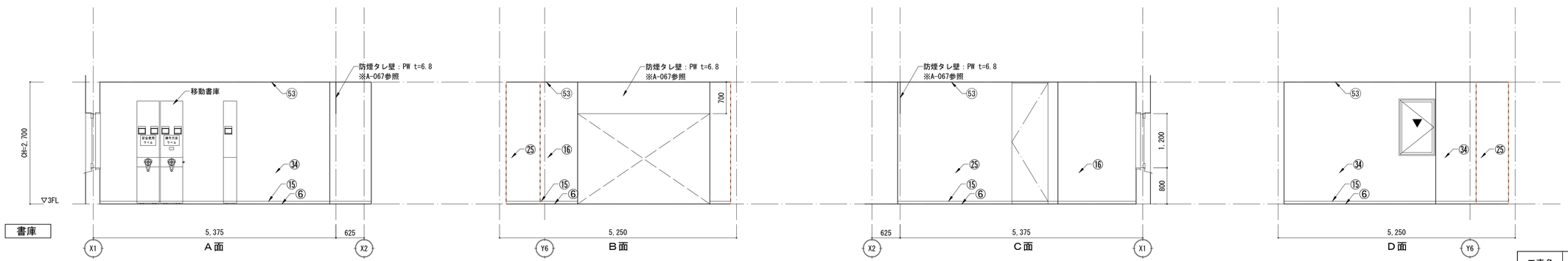


工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	3階平面詳細図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-038
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			







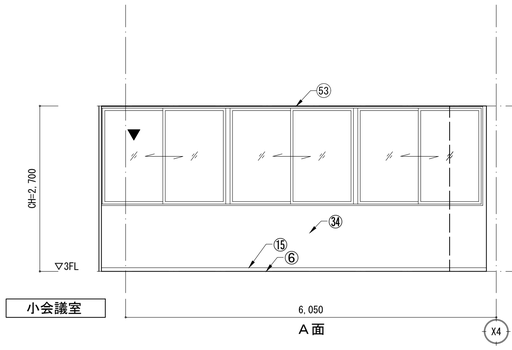


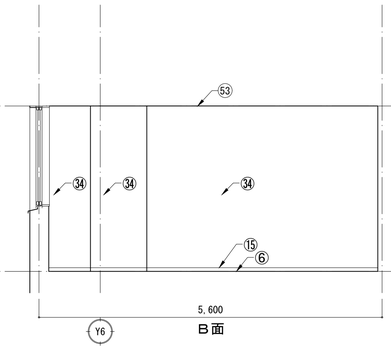
仕上げ凡例

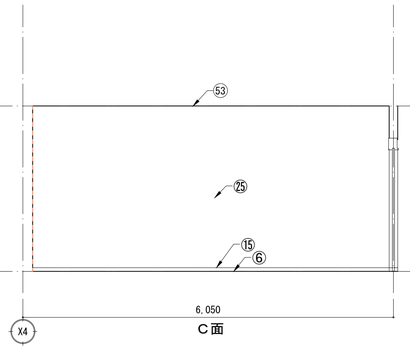
床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修（増打t10）、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E		
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修（増打t10）		㊷	GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊷			
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊸	DR t9.0（LGS下地）		
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5（LGS下地）		
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺			
	⑥	ビニル床タイル t4.0	壁	⑯	GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0		㊻	EP-G		
	⑦	タイルカーペット t6.5		⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビバスリブ（LGS下地）		
	⑧	エポキシ樹脂系塗床		⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス		
	⑨	ウレタン系樹脂塗床（防滑仕様）		⑲	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G（片面張り）		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、不燃メラミン化粧板t3					
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉚	コンクリート打放補修（増打t10）、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付						樹脂製振動吸収性目地		

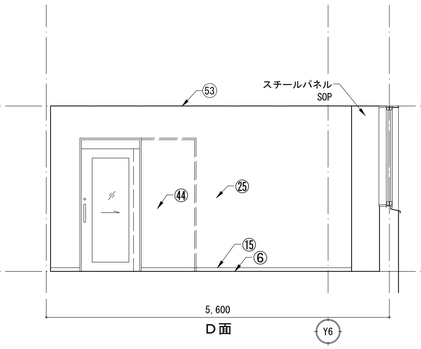
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	3階展開図(12)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-039
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

小会議室

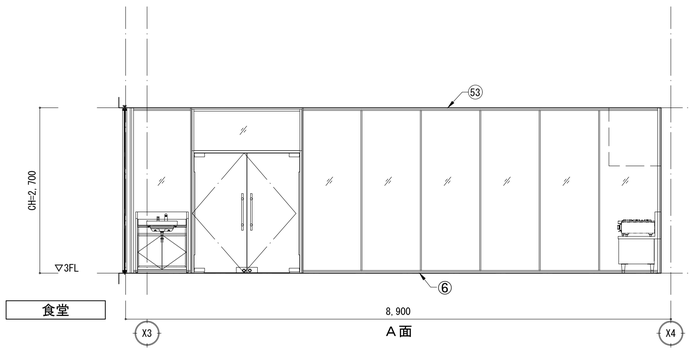


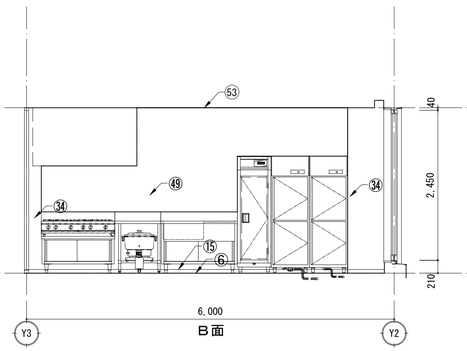


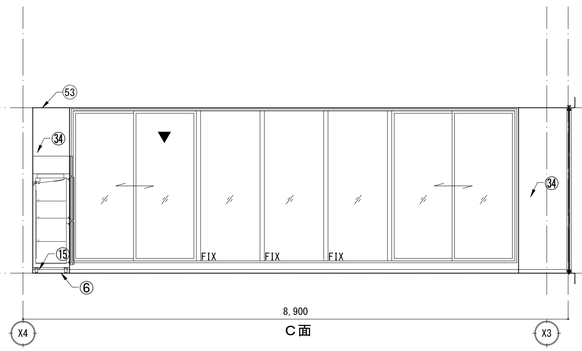


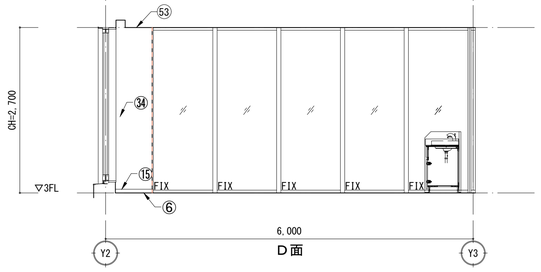


食堂

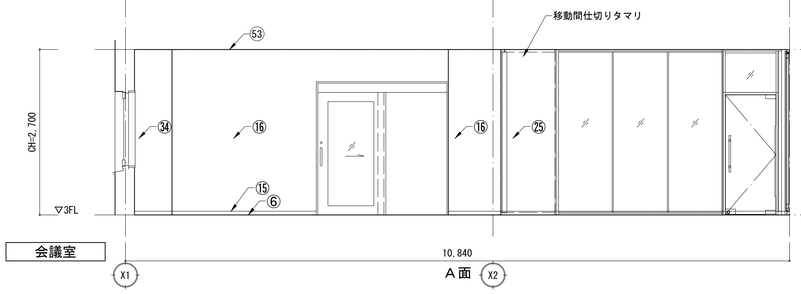


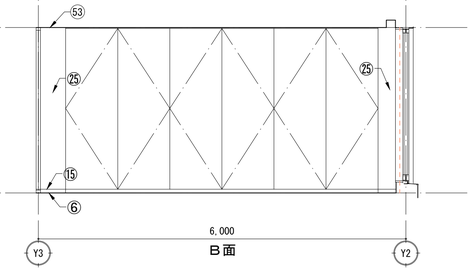


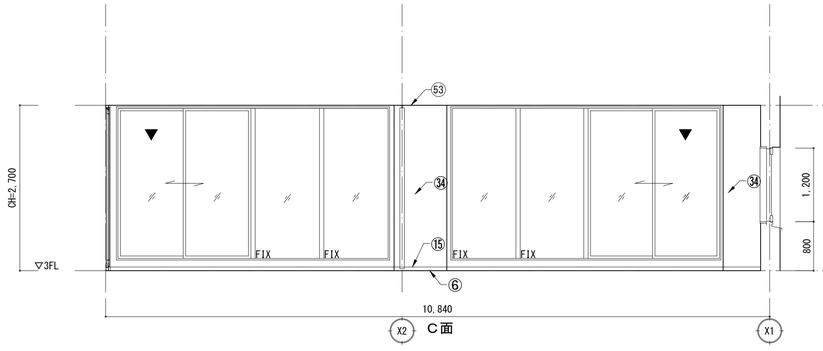


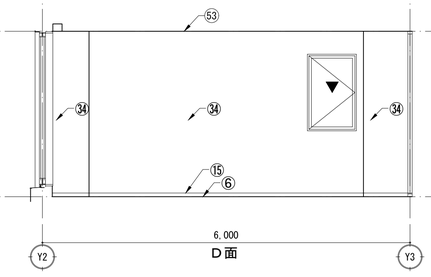


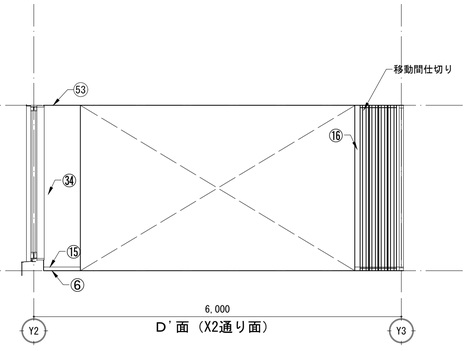
会議室







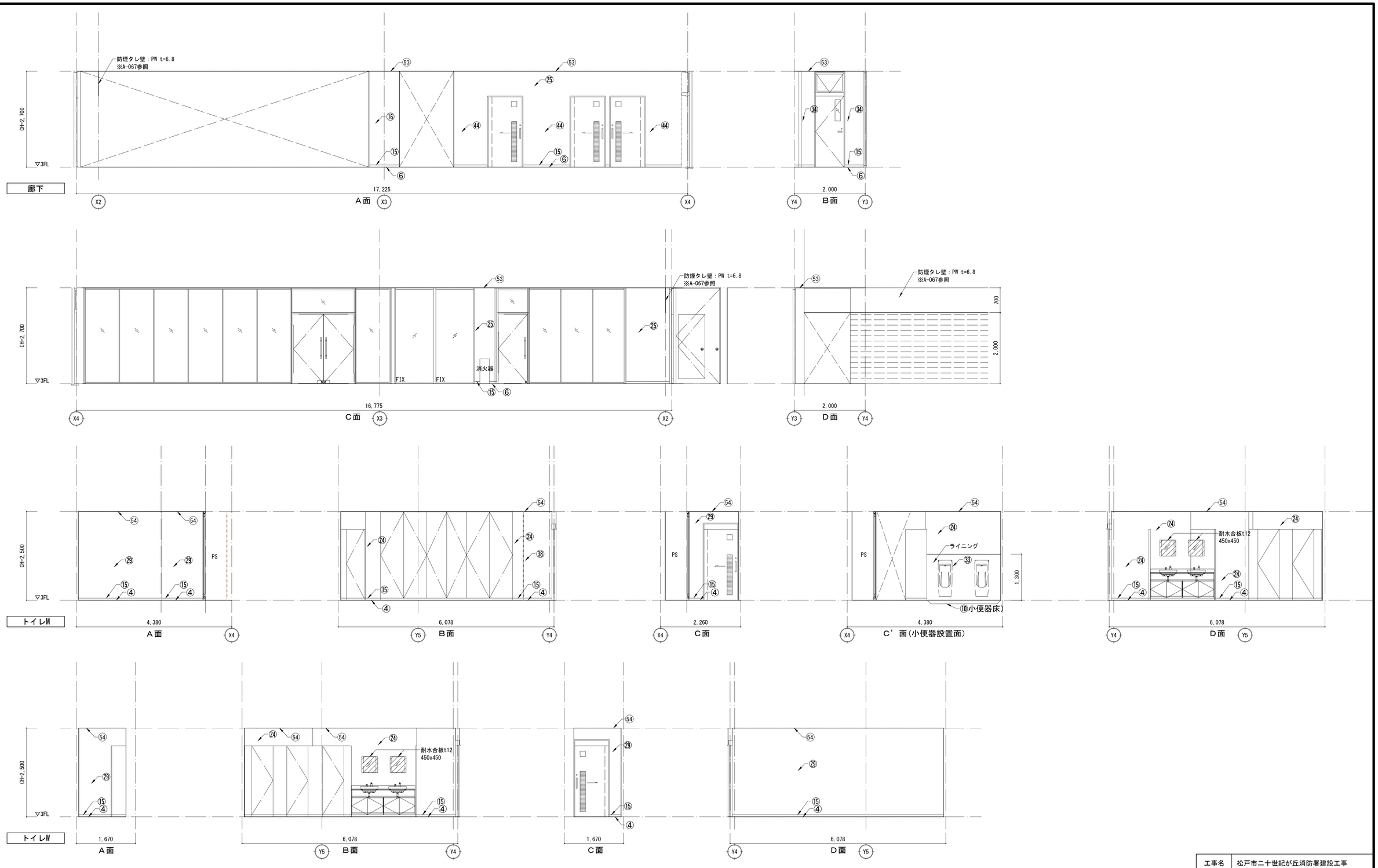




仕上げ凡例

床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修（増打t10）、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修（増打t10）		㊷	GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊷	
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊸	DR t9.0（LGS下地）
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5（LGS下地）
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺	
	⑥	ビニル床タイル t4.0	壁	⑯	GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0		㊻	EP-G
	⑦	タイルカーペット t6.5		⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビバスリブ（LGS下地）
	⑧	エポキシ樹脂系塗床		⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス
	⑨	ウレタン系樹脂塗床（防滑仕様）		⑲	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G（片面張り）		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、不燃メラミン化粧板t3			
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉚	コンクリート打放補修（増打t10）、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付					㊾	樹脂製振動吸収性目地

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	3階展開図(13)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-040
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

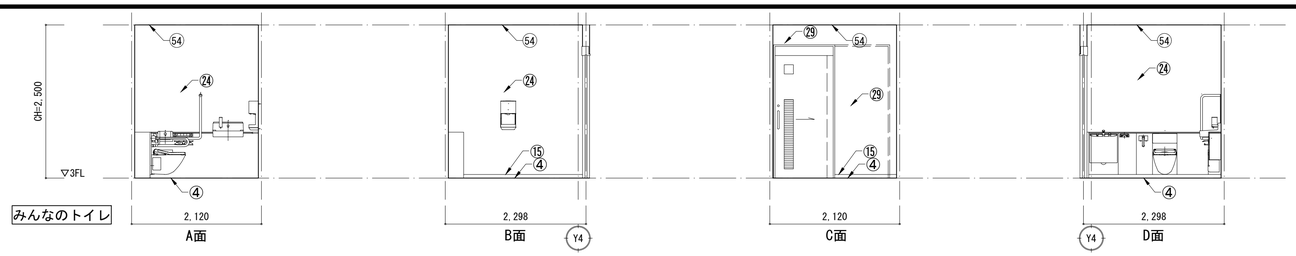


仕上げ凡例

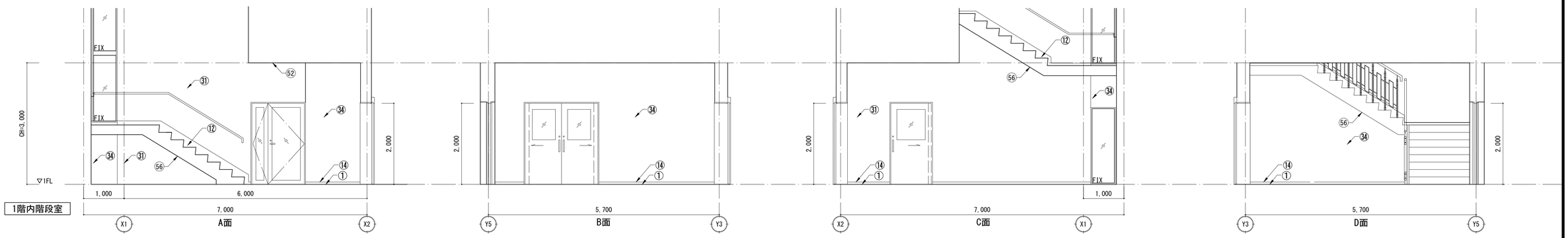
床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修（増打t10）、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修（増打t10）		㊷	GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊷	
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊸	DR t9.0（LGS下地）
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5（LGS下地）
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺	
	⑥	ビニル床タイル t4.0		⑯	GB-R t12.5（GL工法）、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、FK-D t6.0		㊻	EP-G
	⑦	タイルカーペット t6.5	壁	⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビパスリブ（LGS下地）
	⑧	エポキシ樹脂系塗床		⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5（GL工法）、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5（GW 24K t50）、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス
	⑨	ウレタン系樹脂塗床（防滑仕様）		⑲	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G（片面張り）		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5（GL工法）、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、不燃メラミン化粧板t3			
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5（GW 24K t50）、EP-G		㉚	コンクリート打放補修（増打t10）、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付					―――	樹脂製振動吸収性目地

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	3階展開図(14)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-041
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

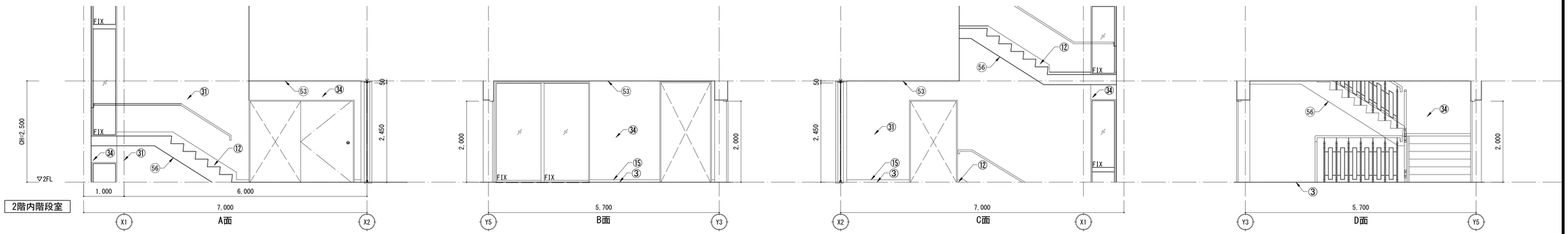
みんなのトイレ



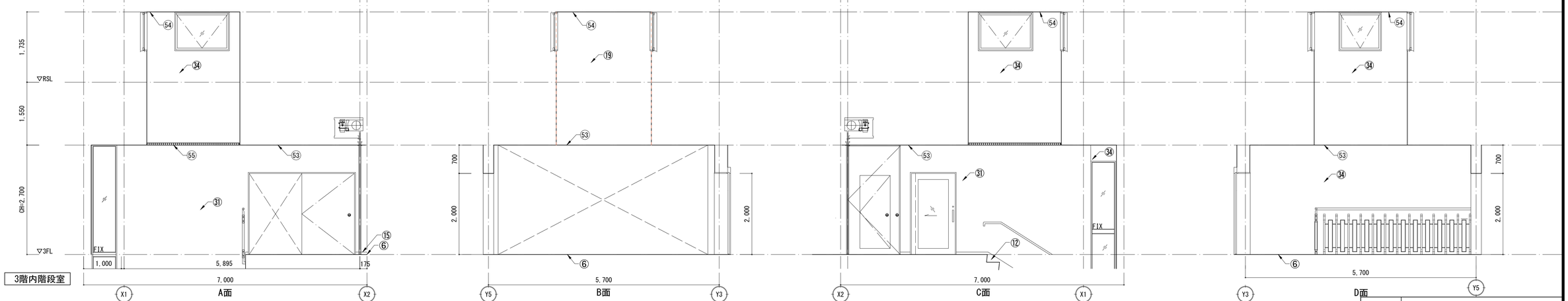
1階内階段室



2階内階段室



3階内階段室



仕上げ凡例

床	①	タイル貼り	巾木	⑪	コンクリート打放補修	壁	㉑	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5 (GW 24K t50) 、FK-D t6.0	壁	㉛	コンクリート打放補修 (増打t10) 、EP-G	壁	㊶	LGS W90@450 GB-F t21+t21、EP-G	天井	㊶	外装塗材E
	②	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材		⑫	ビニル階段巾木		㉒	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5 (GW 24K t50) 、ビニルクロス		㉜	コンクリート打放補修 (増打t10)		㊷	GB-S t12.5 (GL工法) 、FK-D t6.0		㊷	
	③	防滑性ビニル床シート t2.5		⑬	床材塗上げ H60		㉓	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㉝	下地耐水合板t12二重張、FK-D t6.0		㊸	GB-R t12.5 (GL工法) 、ビニルクロス		㊸	DR t9.0 (LGS下地)
	④	防汚性ビニル床シート t2.5		⑭	タイル貼り H60		㉔	LGS W65@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㉞	断熱材t35吹付 GB-R t12.5 (GL工法) 、EP-G		㊹	GB-R t12.5、EP-G		㊹	GB-D t9.5 (LGS下地)
	⑤	ビニル床シート t2.5		⑮	ビニル巾木 H60		㉕	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G		㉟	断熱材t35吹付 GB-R t12.5 (GL工法) 、外装薄塗材E		㊺	GB-R t12.5、ビニルクロス		㊺	
	⑥	ビニル床タイル t4.0	壁	⑯	GB-R t12.5 (GL工法) 、EP-G		㉖	LGS W90@450 GB-R t12.5+t12.5、外装薄塗材E		㊱	断熱材t35吹付 GB-R t12.5 (GL工法) 、ビニルクロス		㊻	LGS W65@450 GB-S t12.5 (GW 24K t50) 、FK-D t6.0		㊻	EP-G
	⑦	タイルカーペット t6.5		⑰	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5 (GW 24K t50) 、EP-G		㉗	LGS W90@450 GB-S t12.5+t12.5、EP-G		㊲	断熱材t35吹付 GB-S t12.5 (GL工法) 、EP-G		㊼	LGS W65@450 GB-S t12.5、EP-G		㊼	塩ビパスリブ (LGS下地)
	⑧	エポキシ樹脂系塗床		⑱	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5 (GW 24K t50) 、ビニルクロス		㉘	GB-S t12.5 (GL工法) 、EP-G		㊳	断熱材t35吹付 GB-S t12.5 (GL工法) 、FK-D t6.0		㊽	LGS W65@450 GB-S t12.5 (GW 24K t50) 、ビニルクロス		㊽	ビニルクロス
	⑨	ウレタン系樹脂塗床 (防滑仕様)		⑲	LGS W65@450 GB-R t12.5+t12.5、EP-G (片面張り)		㉙	LGS W90@450 GB-S t12.5、FK-D t6.0		㊴	断熱材t35吹付 GB-S t12.5 (GL工法) 、ビニルクロス		㊾	断熱材t35吹付 GB-R t12.5 (GL工法) 、不燃メラミン化粧板t3			
	⑩	汚垂れタイル t6.0		⑳	LGS W65@450 GB-S t12.5+t12.5 (GW 24K t50) 、EP-G		㉚	コンクリート打放補修 (増打t10) 、外装薄塗材E		㊵	断熱材t35吹付						樹脂製振動吸収性目地

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	3階展開図(15)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-042
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

二十世紀消防

屋上
床：アスファルト防水 保護コンクリート押え t 80

ウレタン塗膜防水の上、蛍光塗料文字

笠木：塗膜防水
一部タイル張り

笠木：塗膜防水

笠木：塗膜防水
一部タイル張り

サービスタンク

アルミパネル t 3 断熱材裏打ち t 35

排煙窓

排水溝

伸縮目地：成型品W25 @3000

1/100
1/60
躯体150上り

鳩小屋 B

鳩小屋 A

鳩小屋 C

自家発電機

キュービクル

塗膜防水

笠木：塗膜防水

飾りマス

庇：塗膜防水

アルミパネル t 3
断熱材裏打ち t 35

屋外機目隠し アルミルーバー
H=2000

H-150x150x7x10 (SS400) 溶融亜鉛メッキ
L=4800 x2

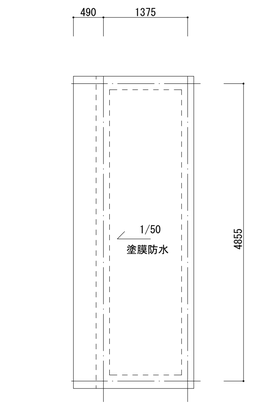
H-150x150x7x10 (SS400) 溶融亜鉛メッキ
L=4100 x2

空調設備機器置場

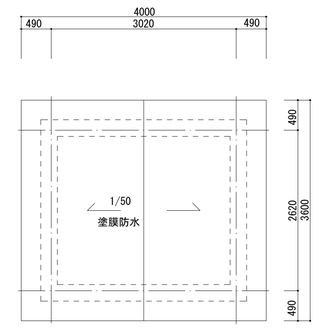
コンクリート踏台

アルミ製手摺

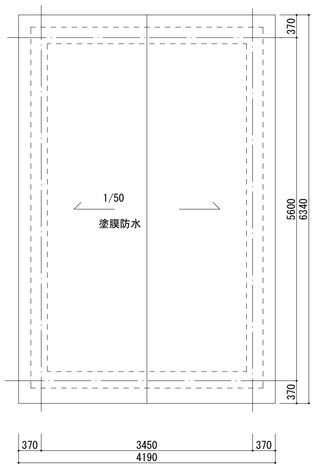
鳩小屋 C 屋根伏図



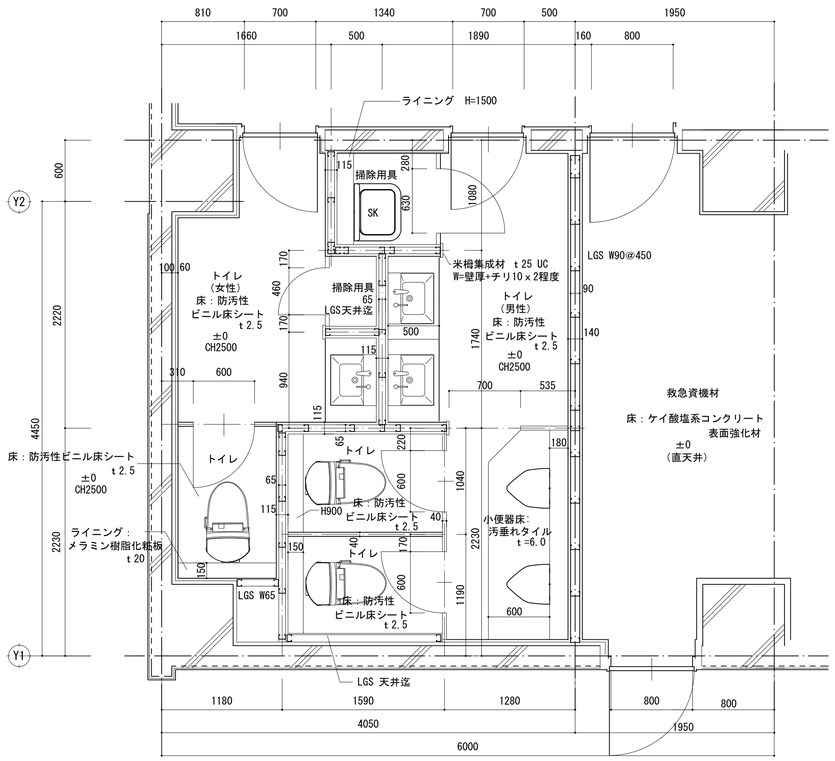
鳩小屋 B 屋根伏図



鳩小屋 A 屋根伏図

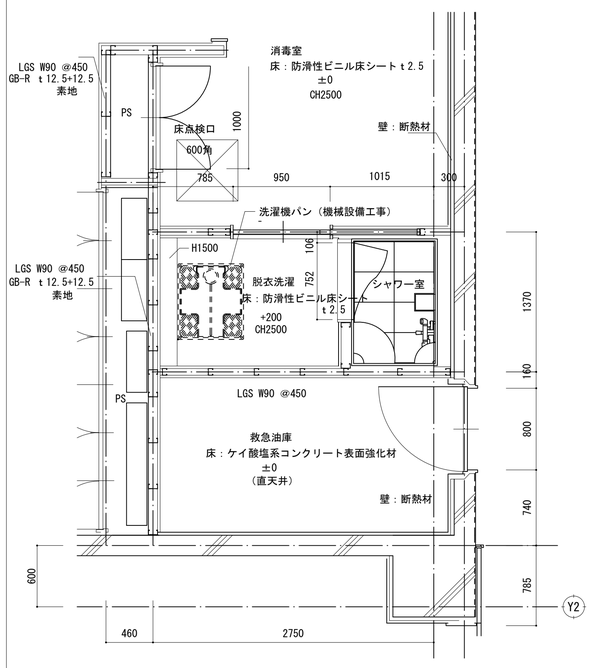


工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	R階平面詳細図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-043
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



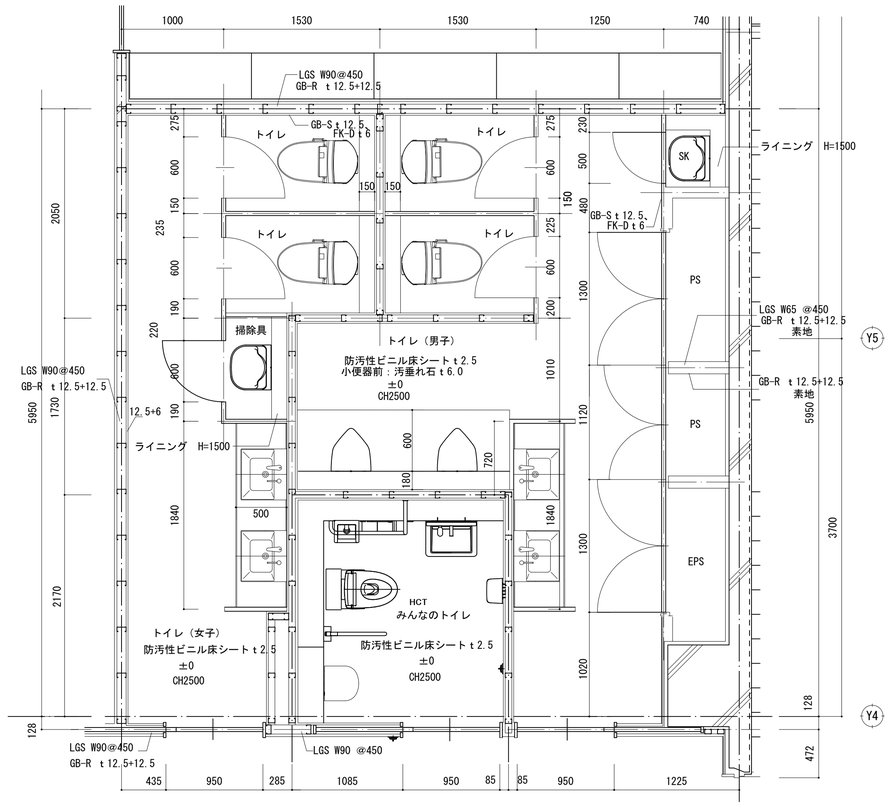
1階トイレ平面詳細図　1：30

※特記なきLGSはW65 @450とする



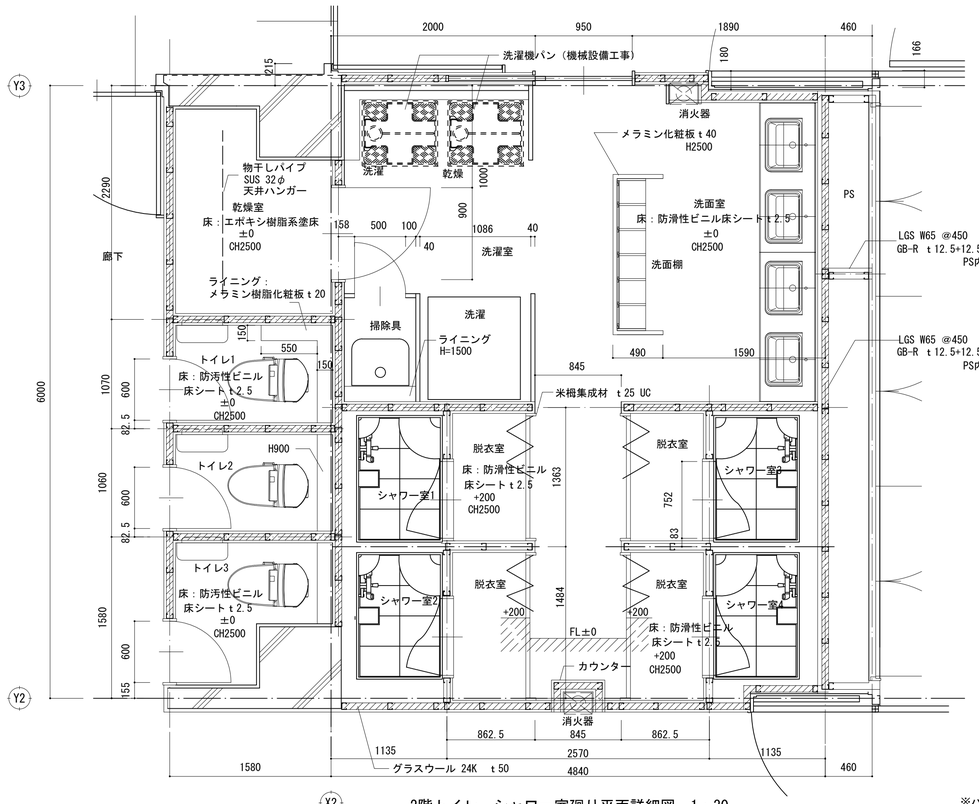
1階シャワー室廻り平面詳細図　1：30

※特記なきLGSはW65 @450とする



3階トイレ、みんなのトイレ平面詳細図　1：30

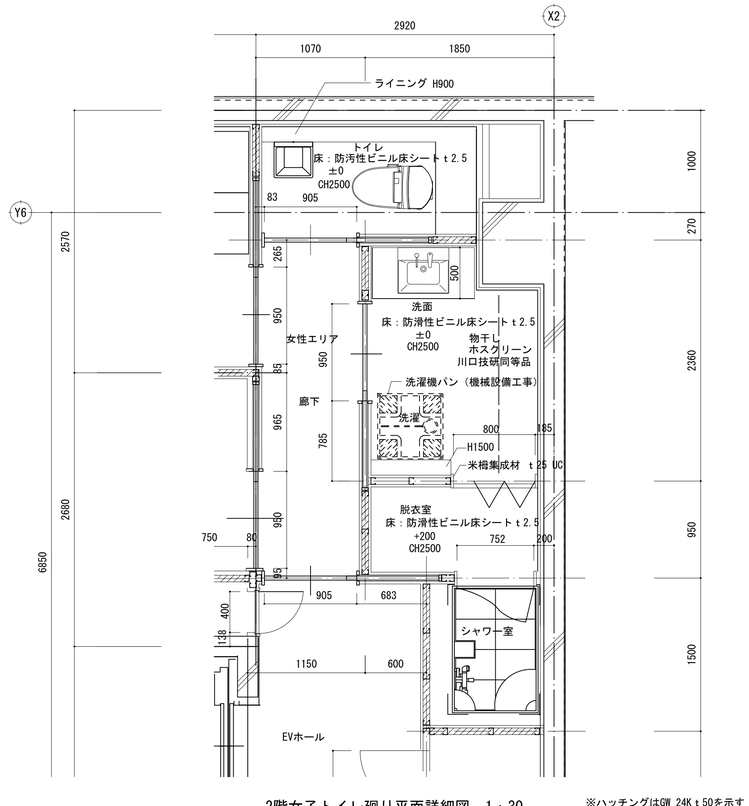
※特記なきLGSはW65 @450とする



2階トイレ、シャワー室廻り平面詳細図　1：30

※ハッチングはGW 24K t 50を示す

※特記なきLGSはW65 @450とする

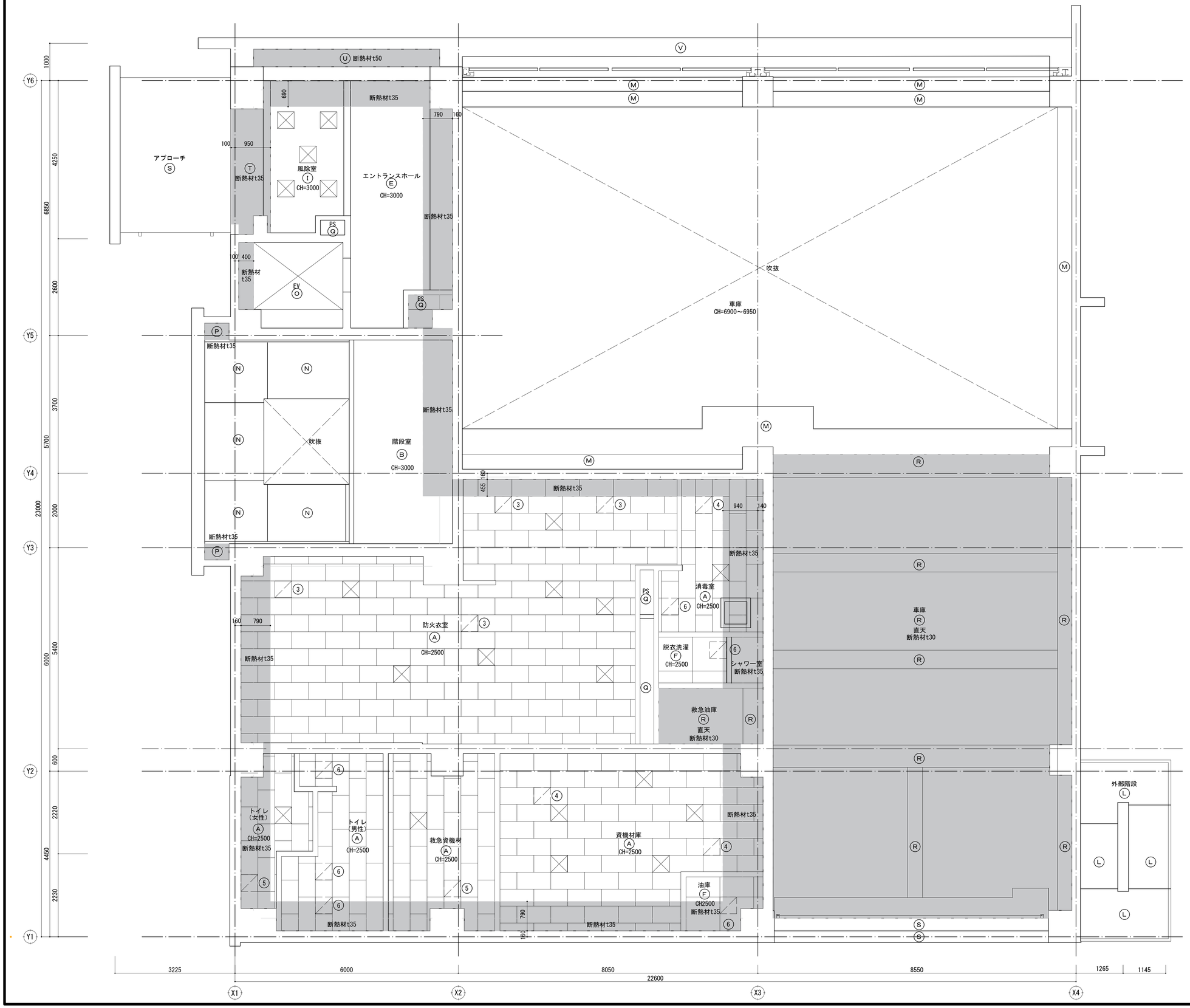


2階女子トイレ廻り平面詳細図　1：30

※ハッチングはGW 24K t 50を示す

※特記なきLGSはW65 @450とする

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	トイレ廻り詳細図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:30(A1) 1:60(A3)	図面番号	A-044
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

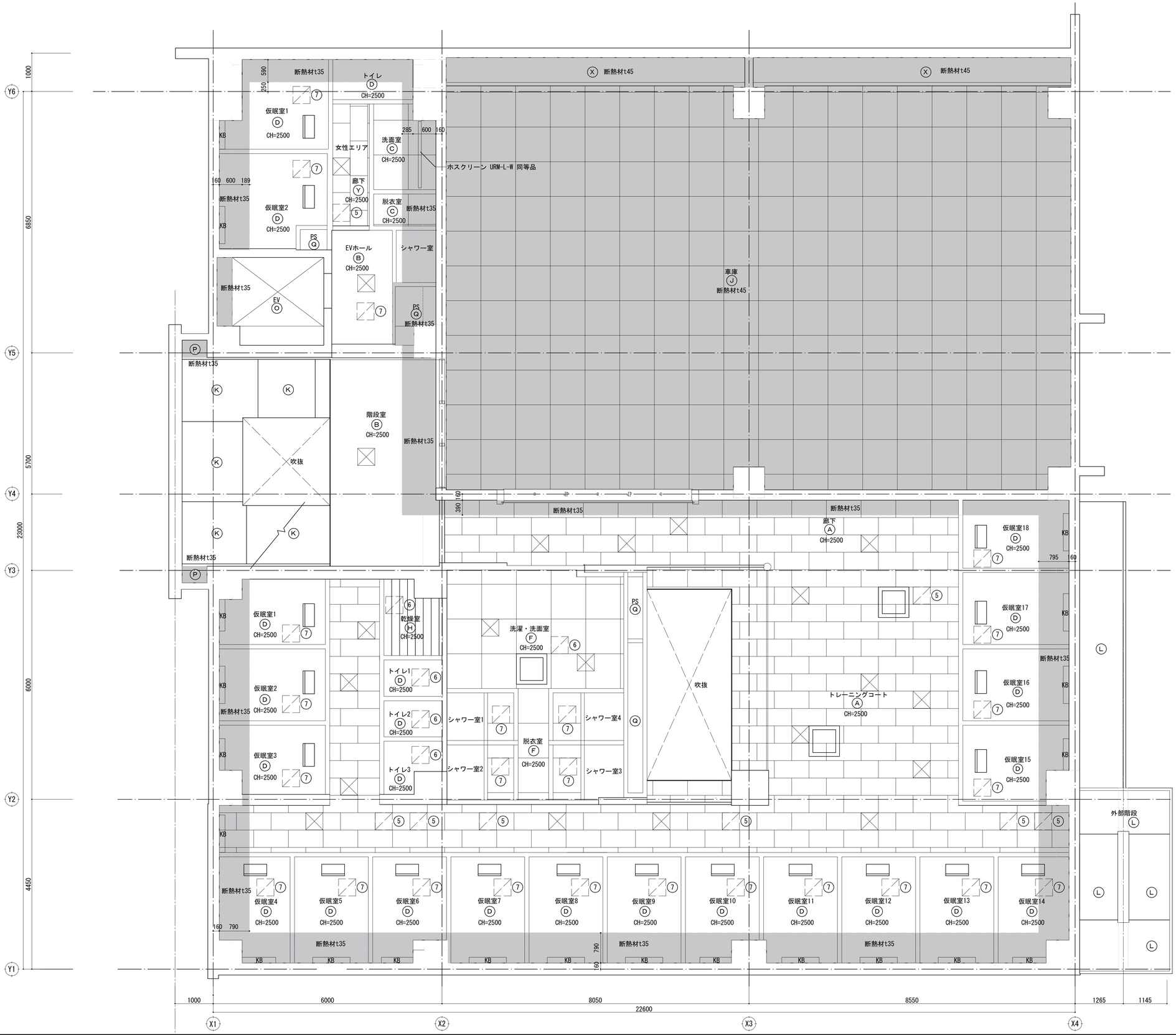


	天井開口補強を示す
記号	開口寸法
①	500 x 500
②	400 x 400
③	300 x 300
④	250 x 250
⑤	200 x 200
⑥	150 x 150（設備工事）
⑦	100 x 100（設備工事）

凡例

記号	仕上
A	LGS下地、GB-D t9.5
B	LGS下地 GB-R t9.5、DR t9.0
C	LGS下地、GB-S t12.5（GW 24k t50）、ビニルクロス
D	LGS下地、GB-R t12.5（GW 24k t50）、ビニルクロス
E	LGS下地 GB-R t12.5 外装薄塗材E
F	LGS下地、FK t6 目透し張り、EP-G（GW 24k t50）
G	アルミルーバー 25 x 25
H	LGS下地、塩ビバスリブ
I	LGS下地、Fk t6 目透し張り、外装薄塗材E
J	LGS下地、FK t6 目透し張り、EP-G 断熱材 t45吹付 （梁型共）
K	コンクリート打放し補修、EP-G
L	コンクリート打放し補修、浸透性吸水防止材
M	コンクリート打放し補修
N	コンクリート打放し補修、EP-G
O	コンクリート打放し補修、断熱材打込み t60
P	断熱材 t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G
Q	コンクリート打放し補修
R	不燃断熱材 t30、EP-G
S	外装薄塗材E
T	LGS下地、Fk t6 目透し張り、外装薄塗材E 断熱材t35吹付
U	断熱材 t50打込み+ LGS t25 +ケイカル板 t6 外装薄塗材E塗り
V	石調仕上塗材
W	断熱材 t=70
X	断熱材 t45吹付
Y	LGS下地、GB-R t12.5、ビニルクロス
	天井点検口（450角）
KB	カーテンボックス 米ツガ UC 150x120 t24 天井直付、アルミカーテンレール（シングル）
BB	ブラインドボックス 米ツガ UC 150x120 t24 天井埋入
a	照明開口補強 1235 x 150
	空調開口補強 800 x 800
	空調開口補強 600 x 300
	スラブ・梁 断熱材範囲

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	1階天井伏図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-045
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

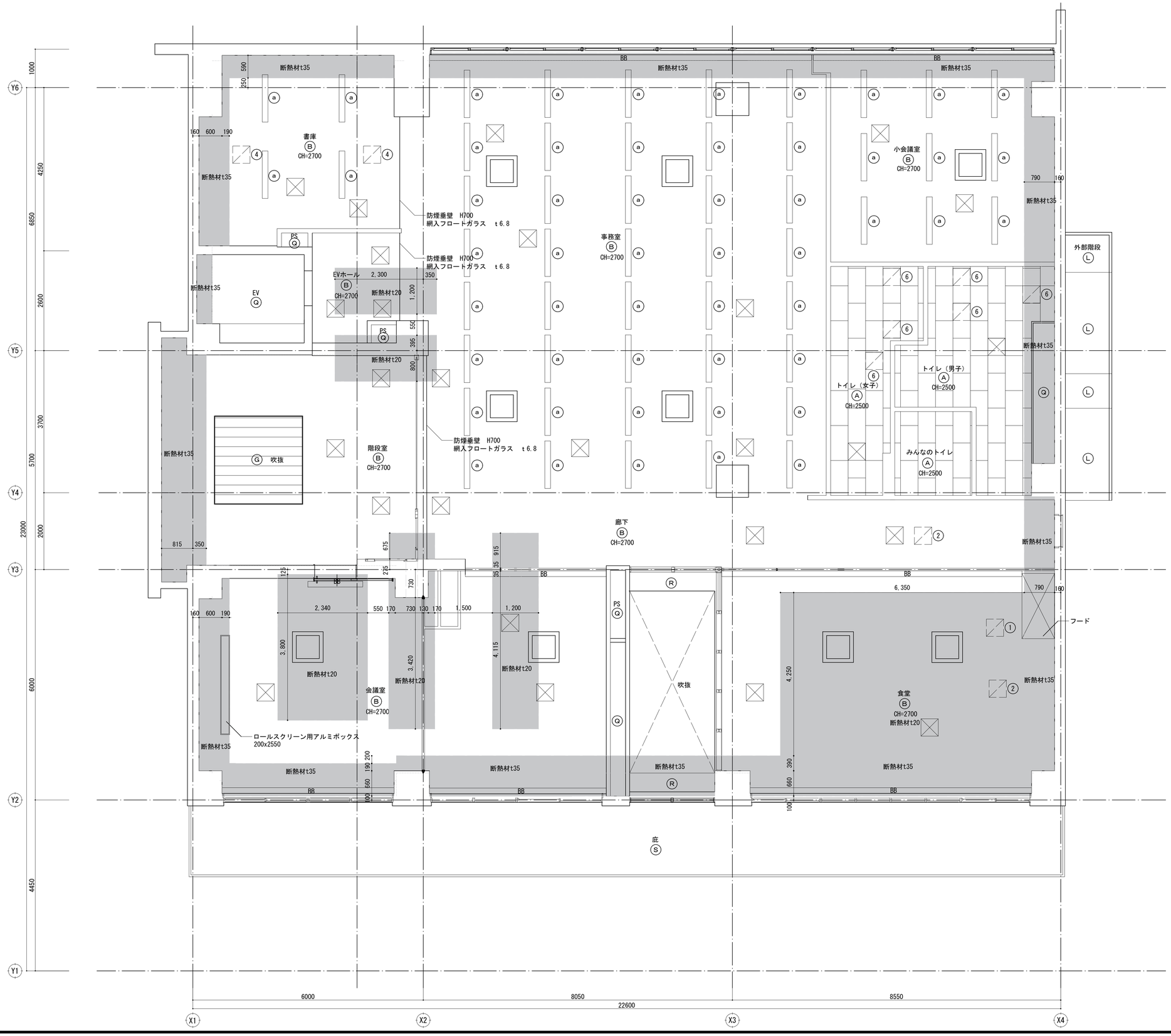


	天井開口補強を示す
記号	開口寸法
①	500 x 500
②	400 x 400
③	300 x 300
④	250 x 250
⑤	200 x 200
⑥	150 x 150（設備工事）
⑦	100 x 100（設備工事）

凡例

記号	仕上
A	LGS下地、GB-D t9.5
B	LGS下地 GB-R t9.5、DR t9.0
C	LGS下地、GB-S t12.5（GW 24k t50）、ビニルクロス
D	LGS下地、GB-R t12.5（GW 24k t50）、ビニルクロス
E	LGS下地 GB-R t12.5 外装薄塗材E
F	LGS下地、FK t6 目透し張り、EP-G（GW 24k t50）
G	アルミルーバー 25 x 25
H	LGS下地、塩ビバスリブ
I	LGS下地、Fk t6 目透し張り、外装薄塗材E
J	LGS下地、FK t6 目透し張り、EP-G 断熱材t45吹付 （梁型共）
K	コンクリート打放し補修、EP-G
L	コンクリート打放し補修、浸透性吸水防止材
M	コンクリート打放し補修
N	コンクリート打放し補修、EP-G
O	コンクリート打放し補修、断熱材打込み t60
P	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G
Q	コンクリート打放し補修
R	不燃断熱材 t30、EP-G
S	外装薄塗材E
T	LGS下地、Fk t6 目透し張り、外装薄塗材E 断熱材t35吹付
U	断熱材t50打込み+ LGS t25 +ケイカル板t6 外装薄塗材E塗り
V	石調仕上塗材
W	断熱材 t=70
X	断熱材t45吹付
Y	LGS下地、GB-R t12.5、ビニルクロス
	天井点検口（450角）
KB	カーテンボックス 米ツガ UC 150x120 t24 天井直付、アルミカーテンレール（シングル）
BB	ブラインドボックス 米ツガ UC 150x120 t24 天井埋入
a	照明開口補強 1235 x 150
	空調開口補強 800 x 800
	空調開口補強 600 x 300
	スラブ・梁 断熱材範囲

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	2階天井伏図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-046
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

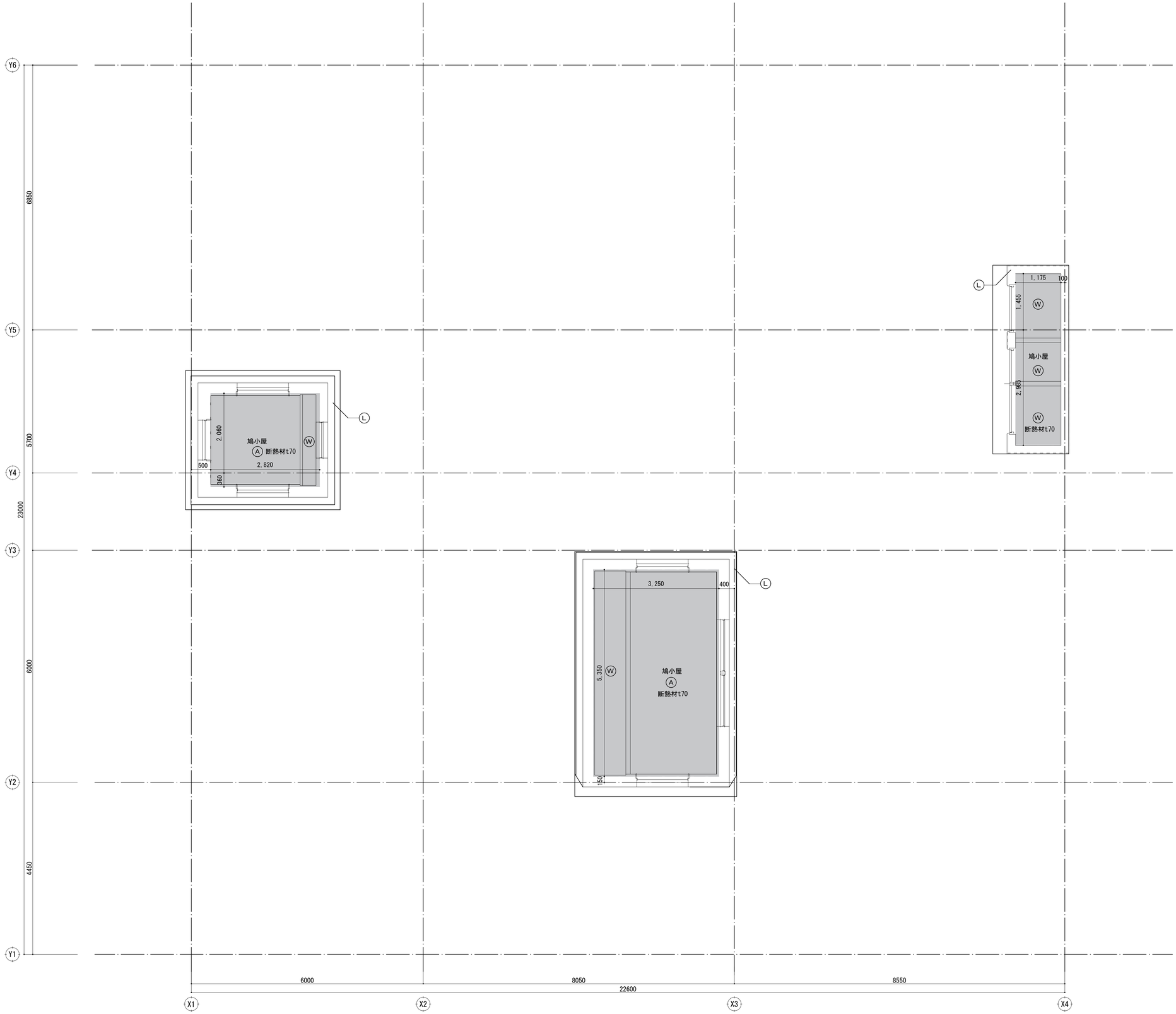


	天井開口補強を示す
記号	開口寸法
①	500 x 500
②	400 x 400
③	300 x 300
④	250 x 250
⑤	200 x 200
⑥	150 x 150（設備工事）
⑦	100 x 100（設備工事）

凡例

記号	仕上
Ⓐ	LGS下地、GB-D t9.5
Ⓑ	LGS下地 GB-R t9.5、DR t9.0
Ⓒ	LGS下地、GB-S t12.5（GW 24k t50）、ビニルクロス
Ⓓ	LGS下地、GB-R t12.5（GW 24k t50）、ビニルクロス
Ⓔ	LGS下地 GB-R t12.5 外装薄塗材E
Ⓕ	LGS下地、FK t6 目透し張り、EP-G（GW 24k t50）
Ⓖ	アルミルーバー 25 x 25
Ⓗ	LGS下地、塩ビバスリブ
Ⓘ	LGS下地、Fk t6 目透し張り、外装薄塗材E
Ⓙ	LGS下地、FK t6 目透し張り、EP-G 断熱材t45吹付 （梁型共）
Ⓚ	コンクリート打放し補修、EP-G
Ⓛ	コンクリート打放し補修、浸透性吸水防止材
Ⓜ	コンクリート打放し補修
Ⓝ	コンクリート打放し補修、EP-G
Ⓞ	コンクリート打放し補修、断熱材打込み t60
Ⓟ	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G
Ⓠ	コンクリート打放し補修
Ⓡ	不燃断熱材 t30、EP-G
Ⓢ	外装薄塗材E
Ⓣ	LGS下地、Fk t6 目透し張り、外装薄塗材E 断熱材t35吹付
Ⓤ	断熱材t50打込み+ LGS t25 +ケイカル板t6 外装薄塗材E塗り
Ⓥ	石調仕上塗材
Ⓦ	断熱材 t=70
Ⓧ	断熱材t45吹付
Ⓨ	LGS下地、GB-R t12.5、ビニルクロス
⊠	天井点検口（450角）
KB	カーテンボックス 米ツガ UC 150x120 t24 天井直付、アルミカーテンレール（シングル）
BB	ブラインドボックス 米ツガ UC 150x120 t24 天井埋入
ⓐ	照明開口補強 1235 x 150
	空調開口補強 800 x 800
	空調開口補強 600 x 300
	スラブ・梁 断熱材範囲

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	3階天井伏図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-047
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

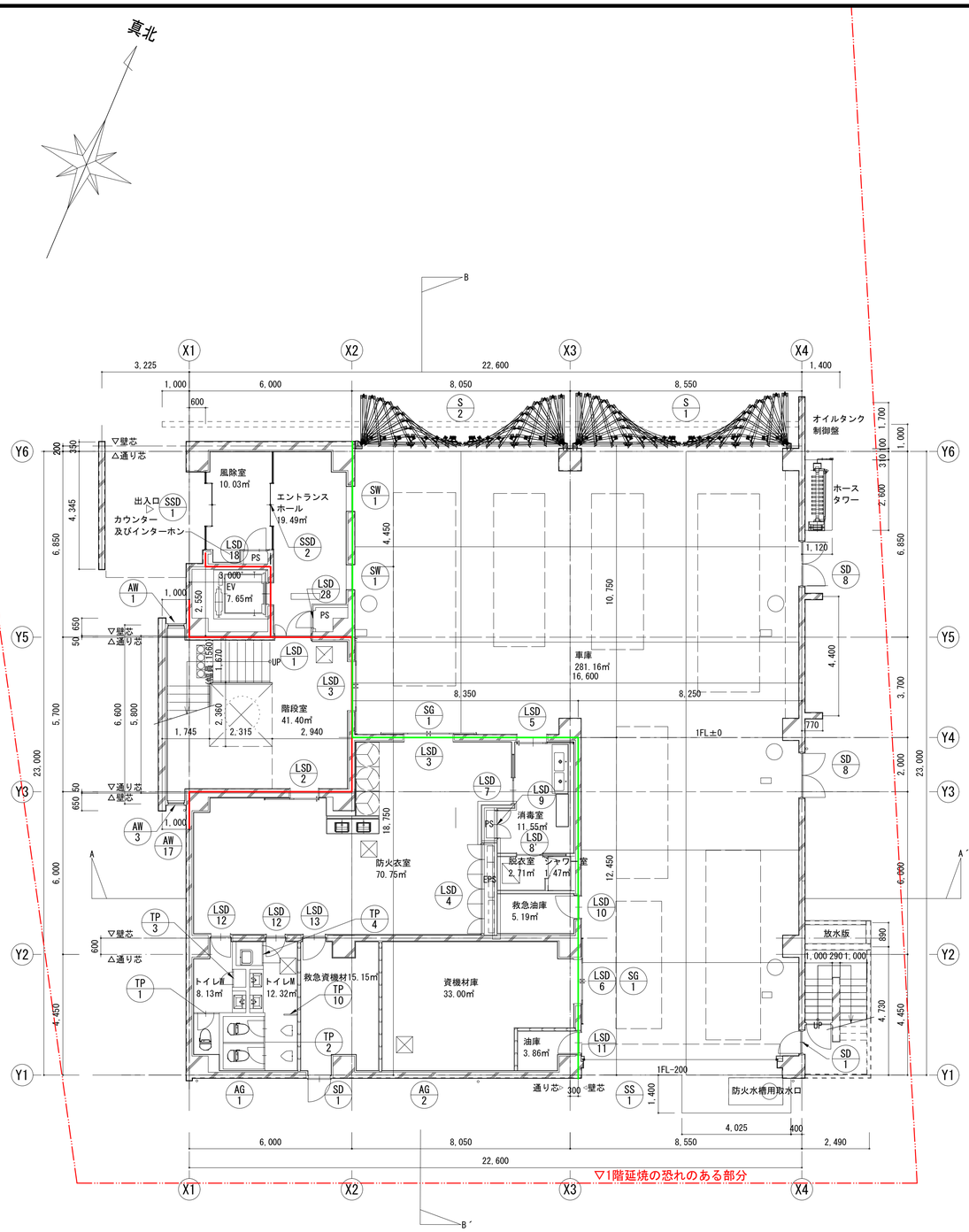


	天井開口補強を示す
記号	開口寸法
①	500 x 500
②	400 x 400
③	300 x 300
④	250 x 250
⑤	200 x 200
⑥	150 x 150（設備工事）
⑦	100 x 100（設備工事）

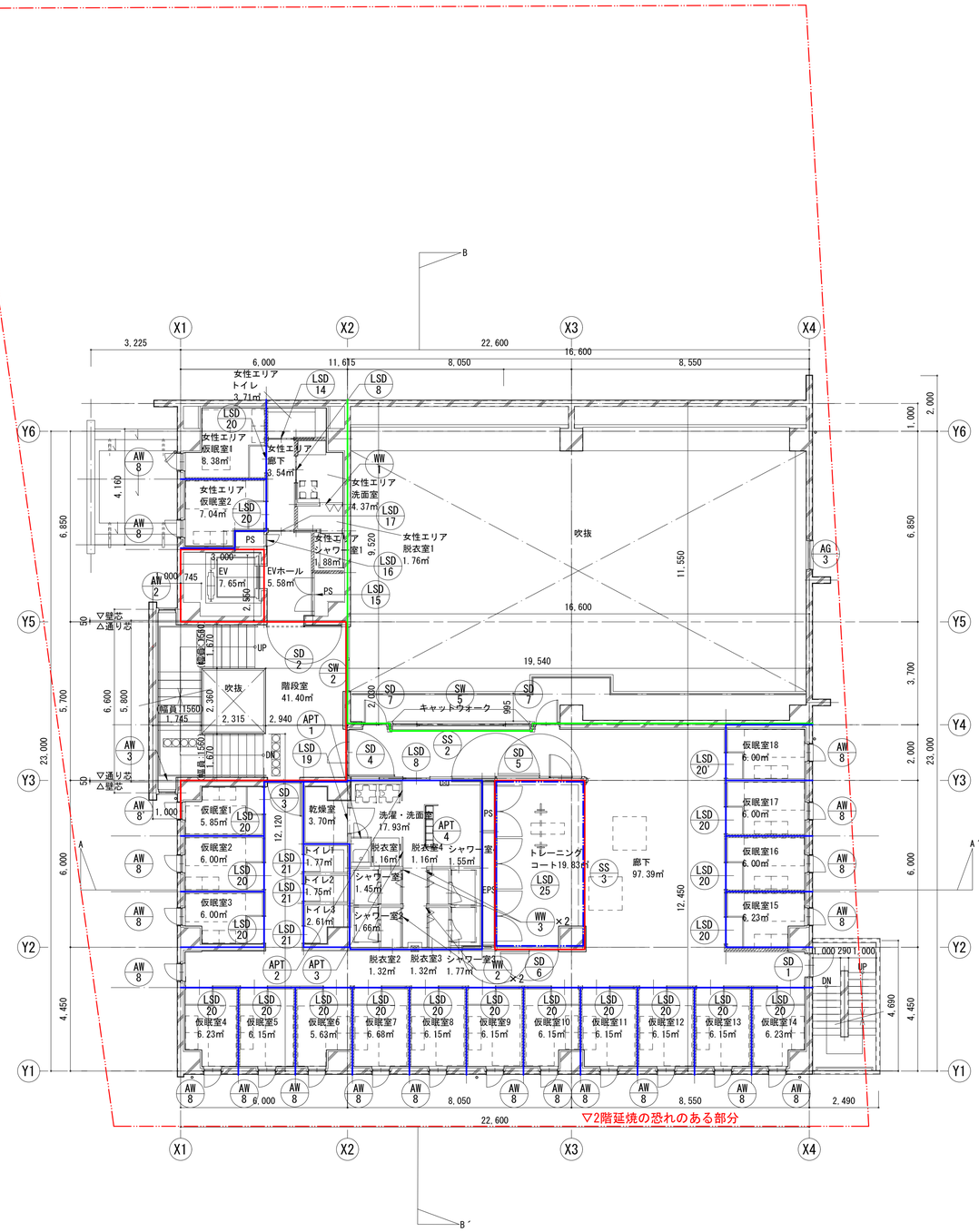
凡例

記号	仕上
Ⓐ	LGS下地、GB-D t9.5
Ⓑ	LGS下地 GB-R t9.5、DR t9.0
Ⓒ	LGS下地、GB-S t12.5（GW 24k t50）、ビニルクロス
Ⓓ	LGS下地、GB-R t12.5（GW 24k t50）、ビニルクロス
Ⓔ	LGS下地 GB-R t12.5 外装薄塗材E
Ⓕ	LGS下地、FK t6 目透し張り、EP-G（GW 24k t50）
Ⓖ	アルミルーバー 25x25
Ⓗ	LGS下地、塩ビバスリブ
Ⓘ	LGS下地、Fk t6 目透し張り、外装薄塗材E
Ⓙ	LGS下地、FK t6 目透し張り、EP-G 断熱材t45吹付 （梁型共）
Ⓚ	コンクリート打放し補修、EP-G
Ⓛ	コンクリート打放し補修、浸透性吸水防止材
Ⓜ	コンクリート打放し補修
Ⓝ	コンクリート打放し補修、EP-G
Ⓞ	コンクリート打放し補修、断熱材打込み t60
Ⓟ	断熱材t35吹付 GB-R t12.5（GL工法）、EP-G
Ⓠ	コンクリート打放し補修
Ⓡ	不燃断熱材 t30、EP-G
Ⓢ	外装薄塗材E
Ⓣ	LGS下地、Fk t6 目透し張り、外装薄塗材E 断熱材t35吹付
Ⓤ	断熱材t50打込み+ LGS t25 +ケイカル板t6 外装薄塗材E塗り
Ⓥ	石調仕上塗材
Ⓦ	断熱材 t=70
Ⓧ	断熱材t45吹付
Ⓨ	LGS下地、GB-R t12.5、ビニルクロス
⊠	天井点検口（450角）
KB	カーテンボックス 米ツガ UC 150x120 t24 天井直付、アルミカーテンレール（シングル）
BB	ブラインドボックス 米ツガ UC 150x120 t24 天井埋入
ⓐ	照明開口補強 1235x150
	空調開口補強 800x800
	空調開口補強 600x300
	スラブ・梁 断熱材範囲

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	R階天井伏図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-048
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



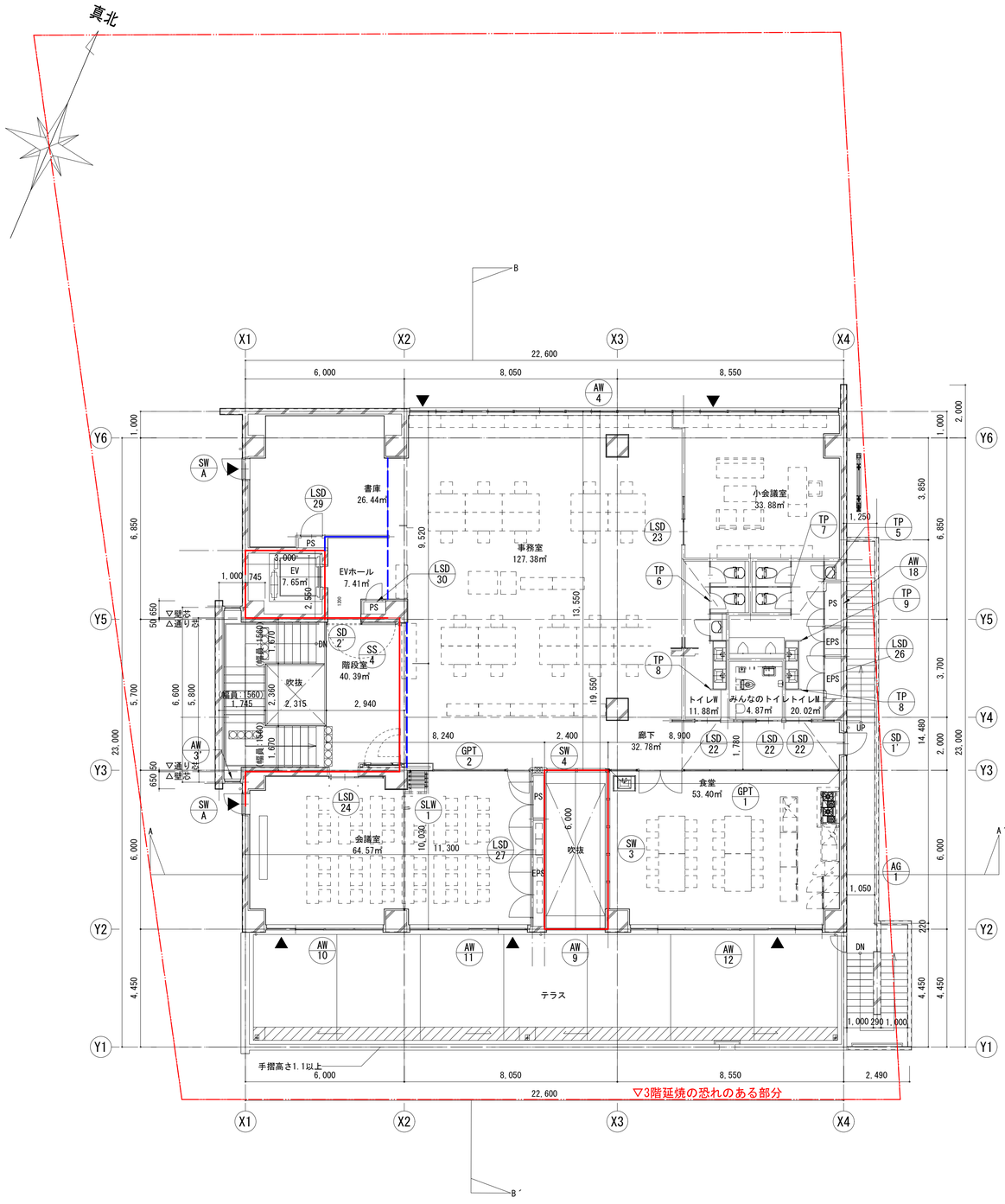
1階平面図　S=1:100



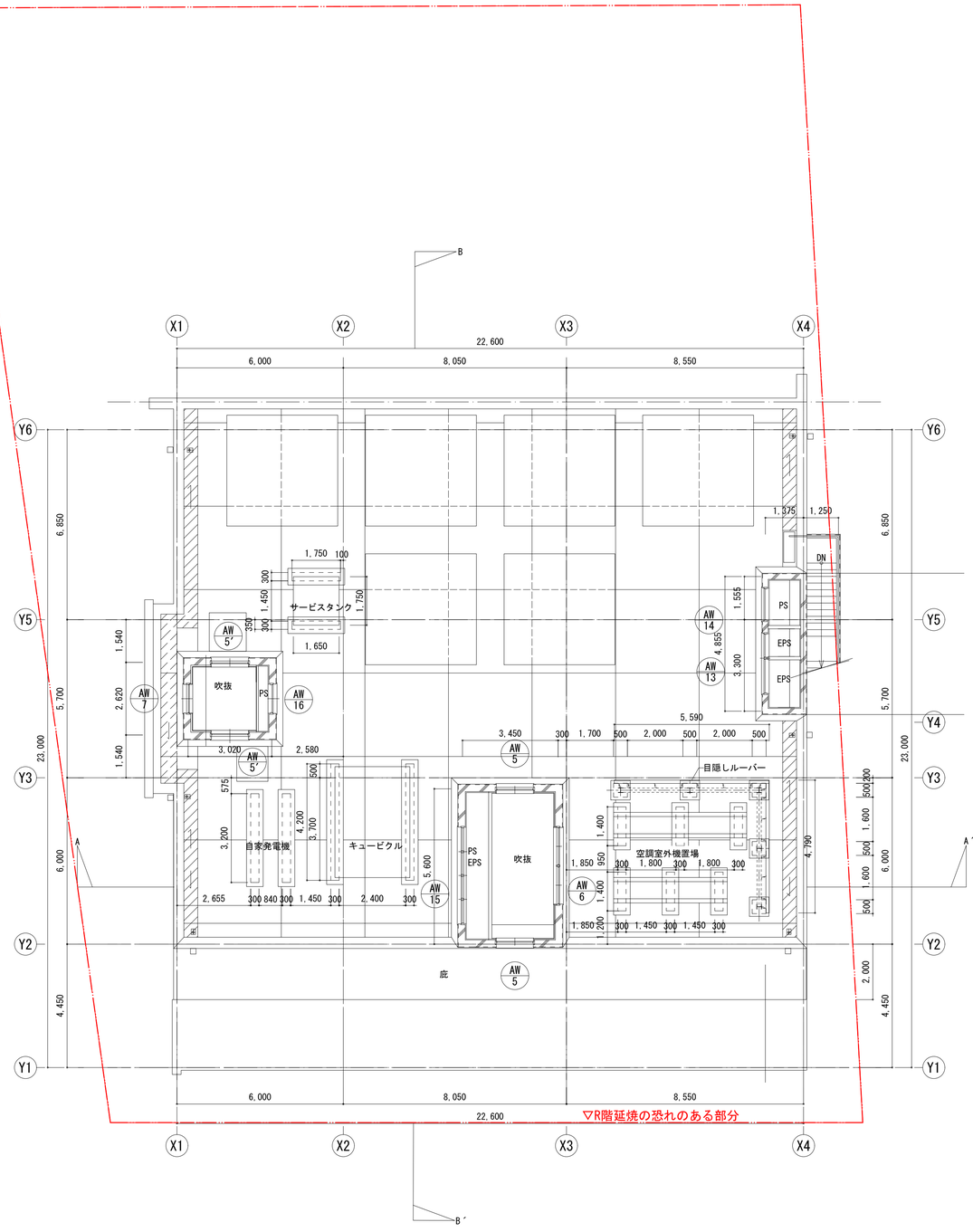
2階平面図　S=1:100

- 防火区画(竪穴区画)
- 防煙区画(間仕切壁)(不燃)
- 防煙垂れ壁H700(網入りガラスt6.8)
- 防煙垂れ壁H300(強化石膏ボード)(不燃)
- 異種用途区画
- 延焼の恐れのある部分
- ▽ 非常用進入口
- ▼ 非常用代替進入口(750×1200以上)

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	1階建具配置図、2階建具配置図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	A-049
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



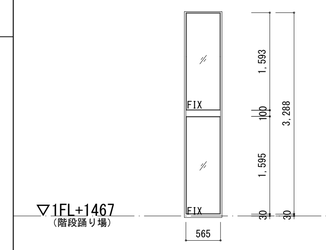
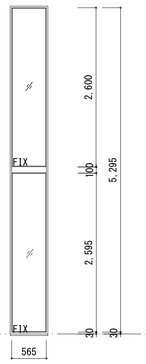
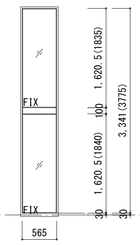
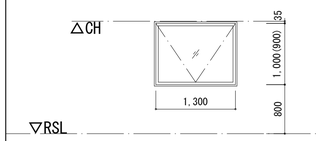
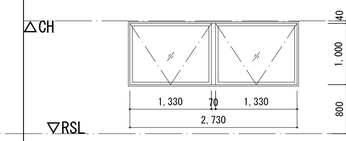
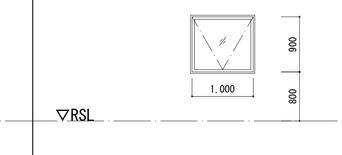
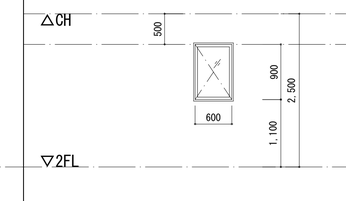
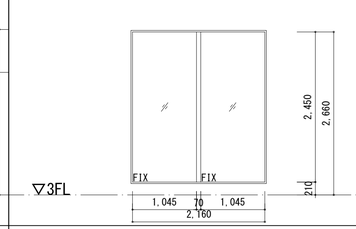
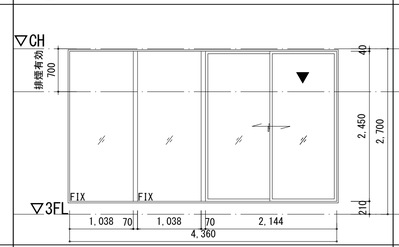
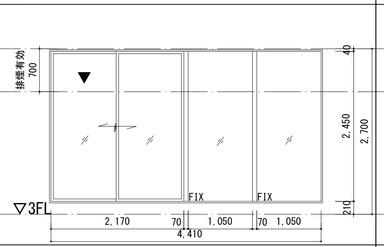
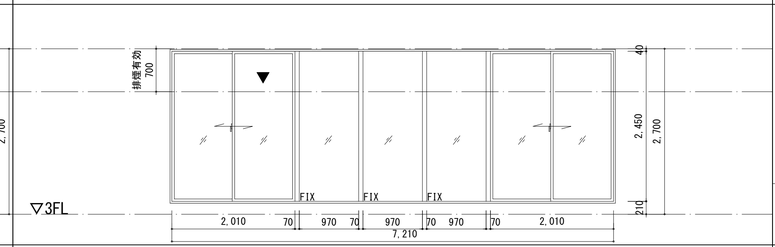
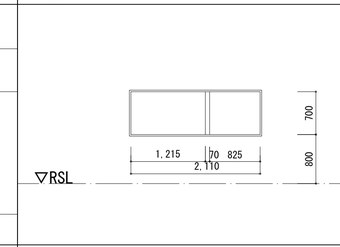
3階平面図　S=1:100



R階平面図　S=1:100

防火区画(竪穴区画)	
防煙区画(間仕切壁)(不燃)	
防煙垂れ壁H700(網入りガラスt6.8)	
防煙垂れ壁H300(強化石膏ボード)(不燃)	
異種用途区画	
延焼の恐れのある部分	
非常用進入口	
非常用代替進入口(750×1200以上)	

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	3階建具配置図、屋上建具配置図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	A-050
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

符号・数量	AW 1　屋内階段　数量　1	AW 2　屋内階段　数量　1	AW 3 AW 3′　屋内階段　数量　各1	AW 5 AW 5′　屋上鳩小屋　AW-5　×2　AW-5′　×2	AW 6　屋上鳩小屋　数量　1
姿　図				 ※()内寸法はAW-5′の寸法を示す	
形　式	FIX窓	FIX窓	FIX窓	外倒し窓	2連外倒し窓
材質・仕上・見込	アルミ製　BB-2　枠：見込70	アルミ製　BB-2　枠：見込70	アルミ製　BB-2　枠：見込70	アルミ製　BB-2　枠：見込70	アルミ製　BB-2　枠：見込70
硝　子	Low-eFLt5＋A6＋FLt5	Low-eFLt5＋A6＋FLt5	Low-eFLt5＋A6＋FLt5	Low-eFLt5＋A6＋FLt5	Low-eFLt5＋A6＋FLt5
付属金物	アルミ水切 付属金物一式	アルミ水切 付属金物一式	アルミ水切 付属金物一式	換気用オペレーター（隠べい式）（3階階段室FL+1500、2ト階レーニングコートFL+1500） アルミ水切　付属金物一式	排煙用オペレーター（隠べい式）（2階トレーニングコートFL+1500） アルミ水切　付属金物一式
備　考	額縁：米桐集成材　UC塗装　25×100(下枠のみ)	額縁：米桐集成材　UC塗装　25×100(下枠のみ)	額縁：米桐集成材　UC塗装　25×100(下枠のみ)	額縁：米桐集成材　UC塗装　25×100、開放角度：45°	額縁：米桐集成材　UC塗装　25×100、開放角度：45°
符号・数量				AW 7　屋上鳩小屋　数量　1	AW 8 AW 8′　2階仮眠室1～18　女性エリア仮眠室1・2　廊下　AW-8　×20　AW-8′　×1
姿　図					
形　式				外倒し窓	縦にり出し窓
材質・仕上・見込				アルミ製　BB-2　枠：見込70	アルミ製　BB-2　枠：見込70
硝　子				Low-eFLt5＋A6＋FLt5	Low-eFLt5＋A6＋FLt5(AW-8′:Low-eFLt5＋A6＋PW6.8)
付属金物				換気用オペレーター（隠べい式）（3F階段室FL+1500） アルミ水切　付属金物一式	アルミ水切 付属金物一式
備　考				額縁：米桐集成材　UC塗装　25×100	額縁：米桐集成材　UC塗装　25×100 (AW-8′:防火設備(大臣認定:EB-2426-2)同等)
符号・数量	AW 4　3階事務室　小会議室　数量　1			AW 9　3階吹抜　数量　1	
姿　図					
形　式	引違い8連窓			FIX窓	
材質・仕上・見込	アルミ製　BB-2　枠：見込70			アルミ製　BB-2　枠：見込100	
硝　子	Low-eFLt5＋A6＋FLt5			Low-eFLt5＋A6＋PW6.8	
付属金物	アルミ水切 付属金物一式(クレセント高さFL+1500)			付属金物一式	
備　考	額縁：米桐集成材　UC塗装　25×100			額縁：米桐集成材　UC塗装　25×100　防火設備:大臣認定(EB-2546-3)同等	
符号・数量	AW 10　3階会議室　数量　1	AW 11　3階会議室　数量　1	AW 12　3階食堂　数量　1	AW 13　屋上鳩小屋　数量　1	
姿　図					
形　式	FIX窓＋引違い窓	FIX窓＋引違い窓	FIX窓＋引違い窓	FIXアルミパネル	
材質・仕上・見込	アルミ製　BB-2　枠：見込70	アルミ製　BB-2　枠：見込70	アルミ製　BB-2　枠：見込70	アルミ製　BB-2　枠：見込70	
硝　子	Low-eFLt5＋A6＋FLt5	Low-eFLt5＋A6＋FLt5	Low-eFLt5＋A6＋FLt5	アルミパネルt=3＋硬質ウレタンフォームt=35吹付	
付属金物	アルミ水切 付属金物一式(クレセント高さFL+1500)	アルミ水切 付属金物一式(クレセント高さFL+1500)	アルミ水切 付属金物一式(クレセント高さFL+1500)	アルミ水切 付属金物一式　設備穴あけ加工	
備　考	額縁：米桐集成材　UC塗装　25×100	額縁：米桐集成材　UC塗装　25×100	額縁：米桐集成材　UC塗装　25×100		

特記事項

＊＊　新設建具を示す

建具符号凡例

AW	アルミマド	SSW	ステンレスマド
AD	アルミドア	WW	木製枠
SW	スチールマド	WD	木製ドア
SD	スチールドア	AP	アルミパネル
LSD	軽量スチールドア	TP	トイレパーテーション
S	スチール折れ戸	GPT	ガラスパーテーション
SS	スチールシャッター	APT	アルミパーテーション
SSD	ステンレスドア（自動ドア）		

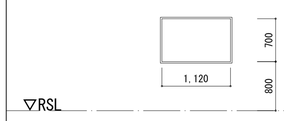
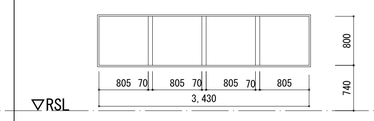
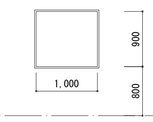
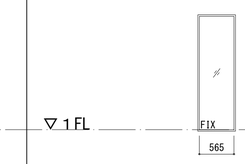
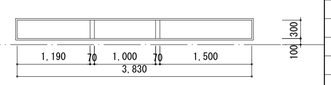
符号凡例

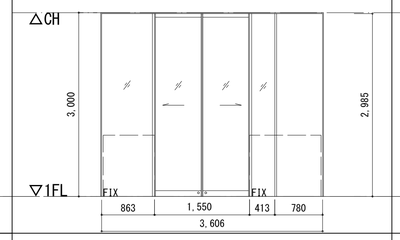
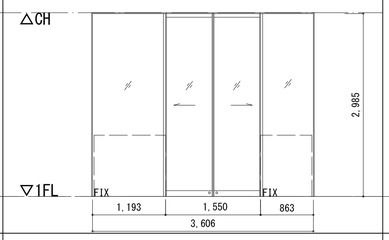
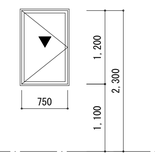
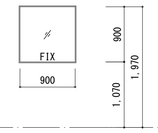
FL	フロート板ガラス
F	型板ガラス
HP	熱線吸収フロートガラス
RP	熱線反射ガラス
T	強化ガラス
FFL	透明防火ガラス
Low－e	Low-eガラス
PW	網入り磨きガラス
FW	網入り型ガラス

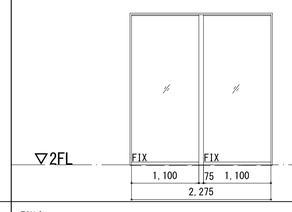
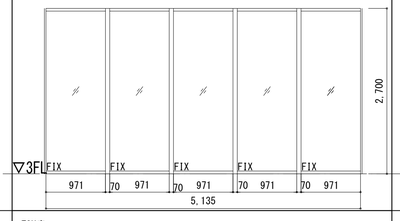
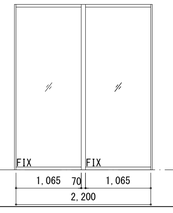
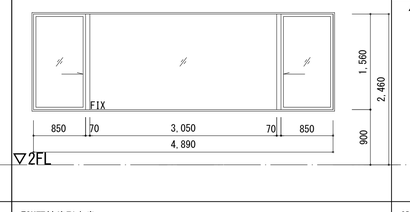
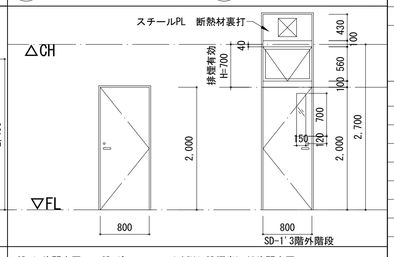
塗装・仕上凡例

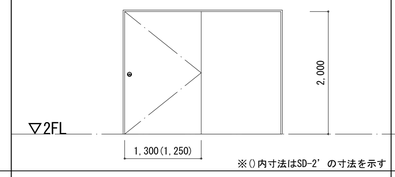
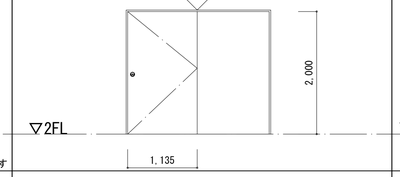
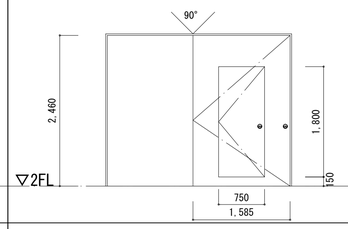
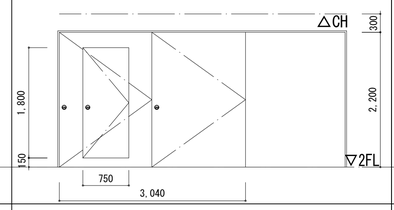
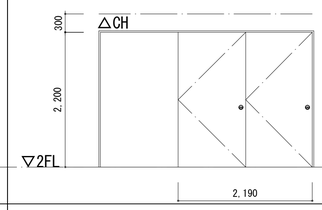
SOP	合成樹脂調合ペイント	BB-2	着色膜極酸化塗装合皮調
OP	油性調合ペイント		
FE	フタル酸樹脂ペイント		
DP	耐候性塗装塗り		
OS	オイルステイン		
CL	クリアラッカー		
UC	ウレタン樹脂ワイニス塗		

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	建具表(1)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-051
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
	松戸市　街づくり部　建築保全課		

符号・数量	AW 14 屋上鳩小屋 数量 1	AW 15 屋上鳩小屋 数量 1	AW 16 屋上鳩小屋 数量 1	AW 17 屋内階段 数量 1	AW 18 3階トイレ（男子） 数量 1
姿 図					
形 式	FIXアルミパネル	FIXアルミパネル	FIXアルミパネル	FIX窓	FIXアルミパネル
材質・仕上・見込	アルミ製 BB-2 枠：見込70	アルミ製 BB-2 枠：見込70	アルミ製 BB-2 枠：見込70	アルミ製 BB-2 枠：見込70	アルミ製 BB-2 枠：見込70
硝 子	アルミパネルt=3＋硬質ウレタンフォームt=35吹付	アルミパネルt=3＋硬質ウレタンフォームt=35吹付	アルミパネルt=3＋硬質ウレタンフォームt=35吹付	Low-eFLt5＋A6＋FLt5	アルミパネルt=3＋硬質ウレタンフォームt=35吹付 BB-2 見込70
付属金物	アルミ水切 付属金物一式 設備穴あけ加工	アルミ水切 付属金物一式 設備穴あけ加工	アルミ水切 付属金物一式 設備穴あけ加工	アルミ水切 付属金物一式	アルミ水切 付属金物一式 設備穴あけ加工
備 考				額縁：米栂集成材 UC塗装 25×100(下枠のみ)	

符号・数量		SSD 1 風除室 数量 1	SSD 2 風除室 数量 1	SW A 3階書庫 会議室 数量 2	SW 1 エントランスホール 数量 2
姿 図					
形 式		引き分けオートドア	引き分けオートドア	片開き戸	FIX窓
材質・仕上・見込		SUS HL 見込み180	SUS HL 見込み180	スチール製 DP 枠：見込120	スチール製 SOP 枠：見込80
硝 子		T t=12	T t=12		耐熱強化ガラス t=8
付属金物		ｵｰﾄﾄﾞｱｴﾝｼﾞﾝ 衝突防止ﾌｨﾙﾑ(カッティングシート 丸ドット H=20 @450) 防護柵 パニックオープン 付属金物一式	ｵｰﾄﾄﾞｱｴﾝｼﾞﾝ 衝突防止ﾌｨﾙﾑ(カッティングシート 丸ドット H=20 @450) 防護柵 パニックオープン 付属金物一式	SUS水切 サムターン（外側） 付属金物一式	水切 付属金物一式
備 考		近赤外線反射方式	近赤外線反射方式	額縁：米栂集成材 UC塗装 25×100 SAT 防火設備（H12建告示第1360号）	特定防火設備（認定番号 EA-0492 S45建告示2564号）

符号・数量	SW 2 2階階段室 数量 1	SW 3 3階吹抜 数量 1	SW 4 3階吹抜 数量 1	SW 5 2階廊下（キャットウオーク） 数量 1	SD 1 1階救急資機材 車庫 1・2階外階段 SD 1' 3階外階段 数量 SD-1×3 SD-1'×1
姿 図					
形 式	FIX窓	FIX窓	FIX窓	FIX両袖片引き窓	SD-1：片開き戸 SD-1'：ランマ（外倒し排煙窓）付片開き戸
材質・仕上・見込	スチール製 SOP 枠：見込140	スチール製 SOP 枠：見込70	スチール製 SOP 枠：見込70	スチール製 SOP 枠：見込70	スチール製 DP 枠：見込100 扉：見込40
硝 子	耐熱強化ガラス t=8	PWt=6.8	PWt=6.8	Tt=5	SD-1'：F t=6
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	SUS水切り 付属金物一式	SUS吊戸 電気錠（テンキー） 丁番 DC 戸当り 排煙オペレーター（３階FL；1500） 付属金物一式 SAT
備 考	特定防火設備（認定番号EA-0492 S45建告示2564号）	防火設備（H12建告示第1360号 S48建告示第2564号）	防火設備（H12建告示第1360号 S48建告示第2564号）	額縁：米栂集成材 UC塗装 25×100(下枠のみ)	SD-1'：開放角度45°

符号・数量	SD 2 2階階段室 SD 2' 3階階段室 SD-2×1 SD-2'×1	SD 3 2階廊下 数量 1	SD 4 2階廊下 数量 1	SD 5 2階廊下 数量 1	SD 6 2階廊下 数量 1
姿 図					
形 式	片開き戸(随時閉鎖式防火戸)	片開き戸(随時閉鎖式防火戸)	片開き戸(くぐり戸付)（随時閉鎖式防火戸）	折れ戸(くぐり戸付)（随時閉鎖式防火戸）	折れ戸(くぐり戸付)（随時閉鎖式防火戸）
材質・仕上・見込	スチール製 SOP 枠：見込100 扉見込40	スチール製 SOP 枠：見込110 扉：見込40	スチール製 SOP 枠：見込140 扉：見込50	スチール製 SOP 枠：見込200 扉：見込55	スチール製 SOP 枠：見込200 扉：見込55
硝 子					
付属金物	ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ 戸袋枠 SUS容摺 煙感知器連動装置 付属金物一式	ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ 戸袋枠 SUS容摺 煙感知器連動装置 付属金物一式	ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ 戸袋枠 SUS容摺 煙感知器連動装置 付属金物一式	ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ 折り戸用ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ 戸袋枠 SUS容摺 煙感知器連動装置 付属金物一式	ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ 折り戸用ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ 戸袋枠 SUS容摺 煙感知器連動装置 付属金物一式
備 考	防火設備（ H12建告示第1360号 CAS-0257同等）180°開き	防火設備（H12建告示第1360号 CAS-0257同等 ）90°開き	防火設備（H12建告示第1360号 CAS-0257同等）90°開き	防火設備（H12建告示第1360号 CAS-0336同等）180°開き	防火設備（H12建告示第1360号 CAS-0336 同等）180°開き

特記事項

＊＊ 新設建具を示す

建具符号凡例

AW	アルミマド	SSW	ステンレスマド
AD	アルミドア	WW	木製マド
SW	スチールマド	WD	木製ドア
SD	スチールドア	AP	アルミパネル
LSD	軽量スチールドア	TP	トイレパーテーション
S	スチール折れ戸	GPT	ガラスパーテーション
SS	スチールシャッター	APT	アルミーテーション
SSD	ステンレスドア（自動ドア）		

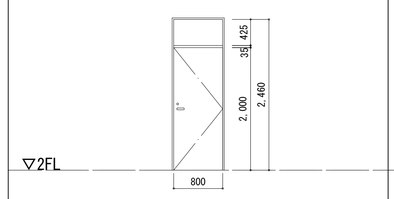
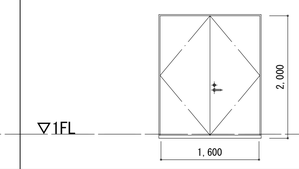
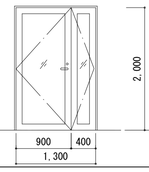
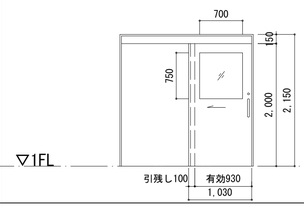
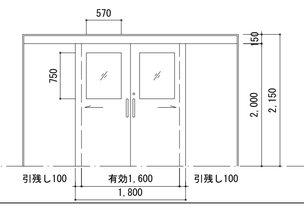
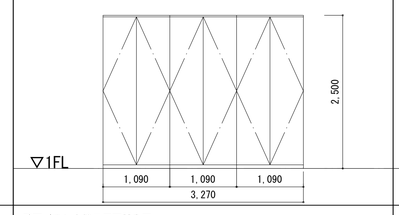
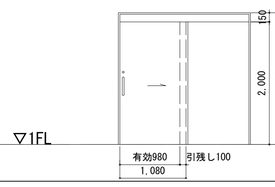
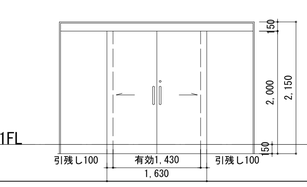
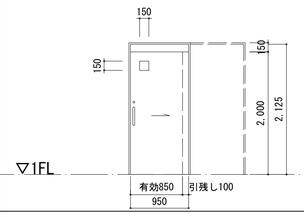
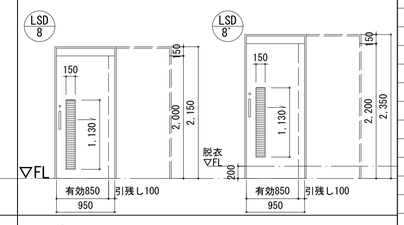
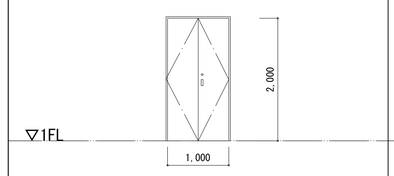
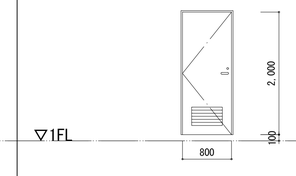
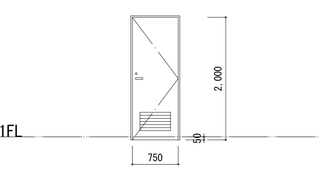
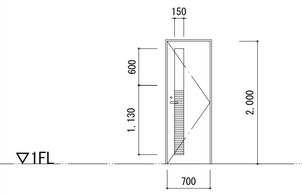
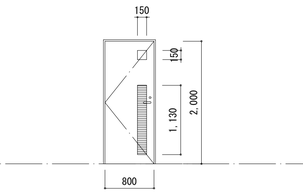
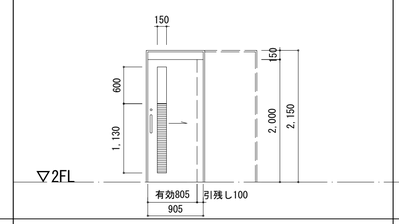
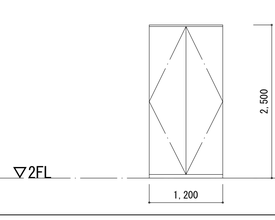
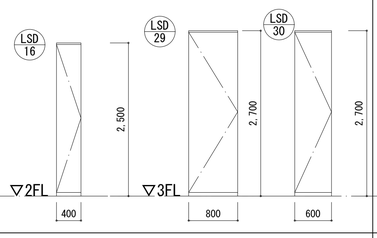
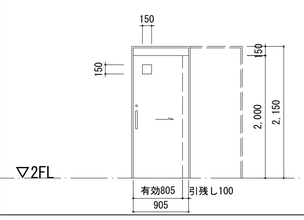
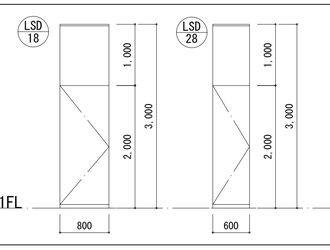
符号凡例

FL	フロート板ガラス
F	型板ガラス
HP	熱線吸収フロートガラス
RP	熱線反射ガラス
T	強化ガラス
FFL	透明防火ガラス
Low－e	Low-eガラス
PW	網入り磨きガラス
FW	網入り型ガラス

塗装・仕上凡例

SOP	合成樹脂調合ペイント	BB-2	着色陽極酸化塗装合皮張
OP	油性調合ペイント		
FE	フタル酸樹脂ペイント		
DP	耐候性塗装塗り		
OS	オイルステイン		
CL	クリアラッカー		
UC	ウレタン樹脂ワイニス塗		

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	建具表(2)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-052
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

符号・数量	SD 7 2階廊下（キャットウォーク） 数量 2	SD 8 1階車庫 数量 2	LSD 1 1階エントランス 数量 1	LSD 2 1階防火衣室 数量 1	LSD 3 1階防火衣室 数量 2
姿 図					
形 式	ランマ付片開き戸	両開き戸	親子開き框戸	上吊り片引戸	上吊両引分け戸
材質・仕上・見込	スチール製 SOP 枠：見込100 扉：見込40	スチール製 SOP 枠：見込100 扉：見込40	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込110 扉：見込40	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込440 扉：見込36	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込360 扉：見込 36
硝 子	ランマ：スチールパネル t=1.6		PW t=6.8	FW t=6.8	耐熱強化ガラス t=5
付属金物	SUS容掛 レバーハンドル錠 丁番 DC（ストッパーなし） 戸当り 付属金物一式	SUS容掛 電気錠（テンキー） 丁番 DC 戸当り フランス落し 付属金物一式 SAT	SUS容掛 レバーハンドル錠 丁番 DC（ストッパーなし） 戸当り 付属金物一式	自閉式上吊り引戸装置 引き戸錠 SUS引き棒 SUS容掛 ソフトクローズ 付属金物一式	自閉式上吊り引戸装置 引き戸錠 SUS引き棒 SUS容掛 ソフトクローズ 付属金物一式
備 考	特定防火設備（H12建告示第1369号 CAS-0257同等 ）		防火設備（ H12建告示第1360号 S48建告示第2564号 ）	防火設備（ H12建告示第1360号 CAS-1109同等）	特定防火設備（EA-0368同等 CAS-1109同等 ）
符号・数量	LSD 4 1階防火衣室 数量 1	LSD 5 1階消毒室 数量 1	LSD 6 1階資機材庫 数量 1	LSD 7 1階消毒室 数量 1	LSD 8 2階洗濯室 女性エリア洗面洗濯 LSD 8' 1階脱衣洗濯 数量 LSD-8×2 LSD-8'×1
姿 図					
形 式	壁面パネル点検口用両開き戸	上吊り片引戸	上吊り両引分け戸	上吊り片引込戸	上吊り片引込戸
材質・仕上・見込	軽量スチール 焼付塗装 扉：見込40	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込400 扉：見込36	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込360 扉：見込 36	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込135 扉：見込36	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込135 扉：見込36
硝 子				F t=4	
付属金物	点検口錠(キャップ付ロックハンドル) 丁番 付属金物一式	自閉式上吊り引戸装置 引き戸錠 SUS引き棒 SUS容掛 ソフトクローズ 付属金物一式	自閉式上吊り引戸装置 引き戸錠 SUS引き棒 SUS容掛 ソフトクローズ 付属金物一式	自閉式上吊り引戸装置 引き戸錠 SUS引き棒 SUS容掛 ソフトクローズ 付属金物一式	自閉式上吊り引戸装置 引き戸錠 SUS引き棒 SUS容掛 ソフトクローズ アルミガラリ 付属金物一式
備 考		特定防火設備（EA-0368同等 CAS-1109同等 ）	特定防火設備（ H12建告示第1369号 CAS-1109同等）		
符号・数量	LSD 9 1階消毒室PS 数量 1	LSD 10 1階救急油庫 数量 1	LSD 11 1階油庫 数量 1	LSD 12 1階トイレ（女性・男性） 数量 2	LSD 13 1階救急資機材庫 数量 1
姿 図					
形 式	両開き戸	片開き戸	片開き戸	片開き戸	片開き戸
材質・仕上・見込	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込142 扉：見込40	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込110 扉：見込40	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込110 扉：見込40	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込110 扉：見込 40	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込110 扉：見込 40
硝 子				F t=4	F t=4
付属金物	SUS容掛 点検口錠 DC（ストッパーなし） 順位調節器 付属金物一式	SUS容掛 レバーハンドル錠 丁番 DC(ストッパーなし) 戸当り 付属金物一式 温度ヒューズ防火ダンパー付スチールガラリ	SUS容掛 レバーハンドル錠 丁番 DC(ストッパーなし) 戸当り 付属金物一式 温度ヒューズ防火ダンパー付スチールガラリ	SUS容掛 レバーハンドル錠 丁番 DC 戸当り アルミガラリ 付属金物一式	SUS容掛 レバーハンドル錠 丁番 DC 戸当り アルミガラリ 付属金物一式
備 考		特定防火設備（ EA-0549同等 S48建告示第2564号 ）	特定防火設備（ EA-0549同等 S48建告示第2564号 ）		
符号・数量	LSD 14 2階女性エリアトイレ 数量 1	LSD 15 2階EVホールPS 数量 1	LSD 16 2階EVホールPS LSD 29 3階書庫PS LSD 30 3階EVホールPS 数量 LSD-16×1 LSD-29×1 LSD-30×1	LSD 17 2階EVホール 数量 1	LSD 18 1階風除室PS LSD 28 1階エントランスPS 数量 LSD-18×1 LSD-28×1
姿 図					
形 式	上吊り片引込戸	壁面パネル点検口用両開き戸	壁面パネル点検口用片開き戸	上吊り片引込戸	壁面パネル点検口用パネルランマ付き片開き戸
材質・仕上・見込	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込135 扉：見込 36	軽量スチール 焼付塗装 扉：見込40	軽量スチール 焼付塗装 扉：見込40	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込135 扉：見込36	軽量スチール 焼付塗装 扉：見込40
硝 子	F t=4			F t=4	扉・ランマパネル：軽量スチール 焼付塗装
付属金物	自閉式上吊り引戸装置 引き戸錠 SUS引き棒 SUS容掛 ソフトクローズ アルミガラリ 付属金物一式	点検口錠(キャップ付ロックハンドル) 丁番 付属金物一式	点検口錠(キャップ付ロックハンドル) 丁番 付属金物一式	自閉式上吊り引戸装置 引き戸錠 SUS引き棒 SUS容掛 ソフトクローズ 付属金物一式	点検口錠(キャップ付ロックハンドル) 丁番 付属金物一式
備 考					

特記事項

＊＊ 新設建具を示す

建具符号凡例

AW	アルミマド	SSW	ステンレスマド
AD	アルミドア	WW	木製マド
SW	スチールマド	WD	木製ドア
SD	スチールドア	AP	アルミパネル
LSD	軽量スチールドア	TP	トイレパーテーション
S	スチール折れ戸	GPT	ガラスパーテーション
SS	スチールシャッター	APT	アルミーテーション
SSD	ステンレスドア（自動ドア）		

符号凡例

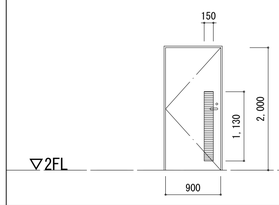
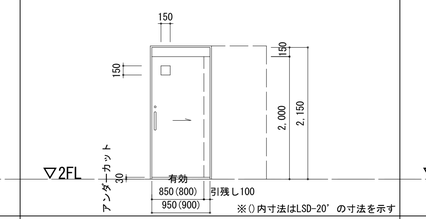
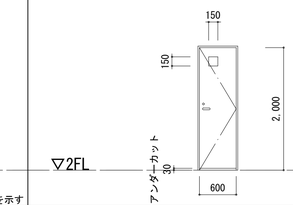
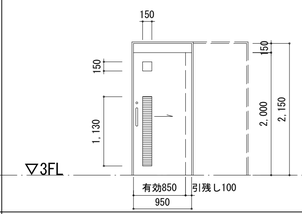
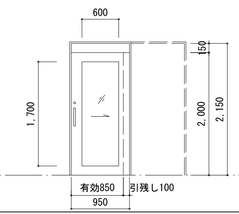
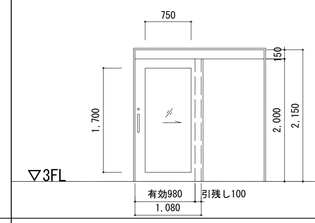
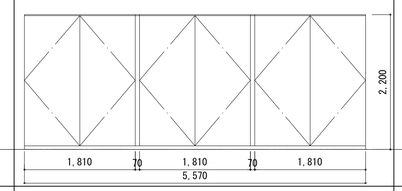
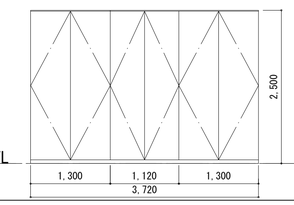
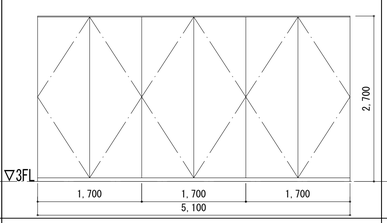
FL	フロート板ガラス
F	型板ガラス
HP	熱線吸収フロートガラス
RP	熱線反射ガラス
T	強化ガラス
FFL	透明防火ガラス
Low－e	Low-eガラス
PW	網入り磨きガラス
FW	網入り型ガラス

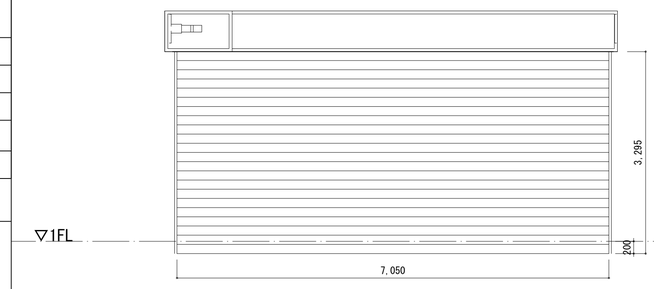
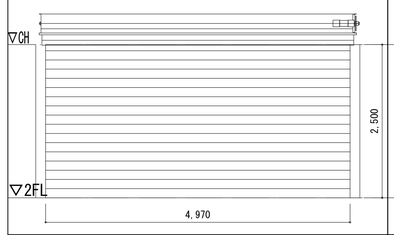
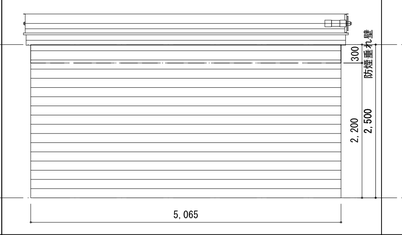
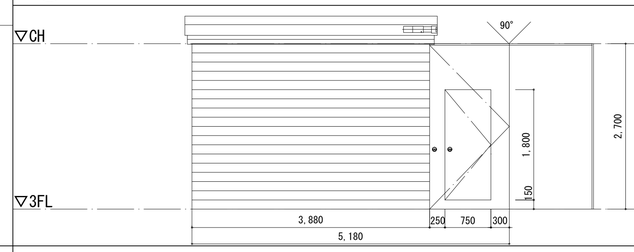
塗装・仕上凡例

SOP	合成樹脂調合ペイント	BB-2	着色隔極酸化塗装合皮調
OP	油性調合ペイント		
FE	フタル酸樹脂ペイント		
DP	耐候性塗装塗り		
OS	オイルステイン		
CL	クリアラッカー		
UC	ウレタン樹脂ワイニス塗		

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	建具表(3)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-053
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		

松戸市 街づくり部 建築保全課

符号・数量	LSD 19 2階乾燥室 数量 1	LSD 20 2階仮眠室（仮眠室18を除く） LSD 20 仮眠室18 LSD-20×19 LSD-20'×1	LSD 21 2階トイレ 数量 3	LSD 22 3階みんなのトイレ 男子・女子トイレ 数量 3	LSD 23 3階小会議室 数量 1
姿 図					
形 式	片開き戸		片開き戸	上吊り片引込戸	上吊り片引込戸
材質・仕上・見込	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込 135 扉：見込 40	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込 135 扉：見込 36	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込 135 扉：見込 40	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込 135 扉：見込 36	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込 135 扉：見込 36
硝 子		F t=4	F t=4	F t=4	T t=4
付属金物	SUS容掛 レバーハンドル錠 丁番 DC 戸当り アルミガラリ 付属金物一式	自閉式上吊り引戸装置 引き戸錠 SUS引き棒 SUS容掛 ソフトクローズ 付属金物一式	SUS容掛 レバーハンドル表示錠 丁番 DC 戸当り 付属金物一式	自閉式上吊り引戸装置 引き戸錠 SUS引き棒 SUS容掛 アルミガラリ 付属金物一式	自閉式上吊り引戸装置 引き戸錠 SUS引き棒 SUS容掛 付属金物一式
備 考		アンダーカット H=30	アンダーカット H=30		
符号・数量	LSD 24 3階会議室 数量 1	LSD 25 2階トレーニングコート 数量 1	LSD 26 3階男子トイレ 数量 1	LSD 27 3階会議室 数量 1	
姿 図					
形 式	上吊り片引戸	壁面パネル点検口用両開き戸	壁面パネル点検口用両開き戸	壁面パネル点検口用両開き戸	
材質・仕上・見込	軽量スチール 焼付塗装 枠：見込440 枠：見込36	軽量スチール 焼付塗装 扉：見込40	軽量スチール 焼付塗装 扉：見込40	軽量スチール 焼付塗装 扉：見込40	
硝 子	PW t=6.8				
付属金物	自閉式上吊り引戸装置 引き戸錠 SUS引き棒 SUS容掛 ソフトクローズ 付属金物一式	点検口錠(キャップ付ロックハンドル) DC(ストッパーなし) 丁番 順位調整器 付属金物一式	点検口錠(キャップ付ロックハンドル) 丁番 付属金物一式	点検口錠(キャップ付ロックハンドル) 丁番 付属金物一式	
備 考	防火設備（ H12建告示第1360号 CAS-1109同等）	防火設備（ H12建告示第1360号 S48建告示第2564号）			

符号・数量	SS 1 1階車庫 数量 1	SS 2 2階廊下（キャットウォーク） 数量 1	SS 3 2階トレーニングコート 数量 1
姿 図			
形 式		電動防火防煙シャッター	電動防火防煙シャッター
材質・仕上・見込		スチール t=1.6 SOP	スチール t=1.6 SOP
硝 子			
付属金物		ガイドレール 障害物感知装置 煙感知連動装置 付属金物一式	ガイドレール 障害物感知装置 煙感知連動装置 付属金物一式
備 考		特定防火設備（H12建告示第1369号 CAS-0670同等 ）	防火設備（H12建告示第1360号 CAS-0670同等）
符号・数量		SS 4 3階段室 数量 1	
姿 図			
形 式	電動シャッター	袖扉連動型電動防火防煙シャッター（ボールレス）	
材質・仕上・見込	スチール t=1.6 DP	スチール t=1.6 SOP	
硝 子			
付属金物	ガイドレール 障害物感知装置 水圧開放装置 シャッターボックス：露出ボックス DP塗装 付属金物一式	ガイドレール ケースハンドル 障害物感知装置 煙感知連動装置 付属金物一式	
備 考		防火設備（ H12建告示第1360号 CAS-0432同等）	

特記事項

＊＊ 新設建具を示す

建具符号凡例

AW	アルミマド	SSW	ステンレスマド
AD	アルミドア	WW	木製マド
SW	スチールマド	WD	木製ドア
SD	スチールドア	AP	アルミパネル
LSD	軽量スチールドア	TP	トイレパーテーション
S	スチール折れ戸	GPT	ガラスパーテーション
SS	スチールシャッター	APT	アルミーテーション
SSD	ステンレスドア（自動ドア）		

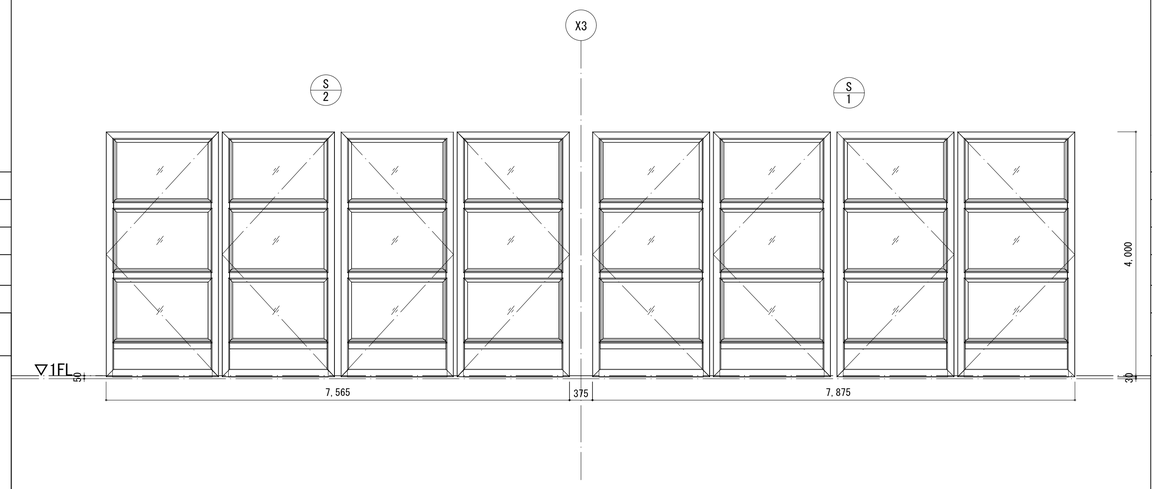
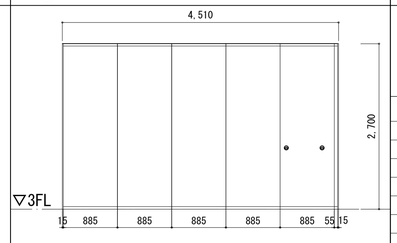
符号凡例

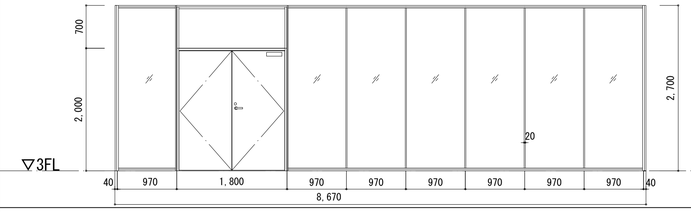
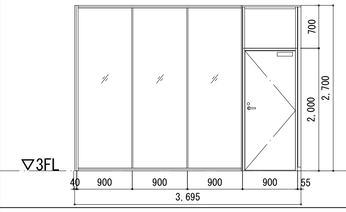
FL	フロート板ガラス
F	型板ガラス
HP	熱線吸収フロートガラス
RP	熱線反射ガラス
T	強化ガラス
FFL	透明防火ガラス
Low－e	Low-eガラス
PW	網入り磨きガラス
FW	網入り型ガラス

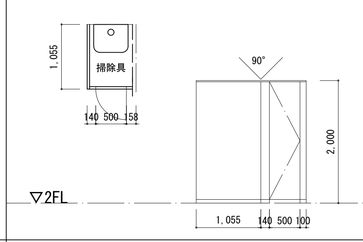
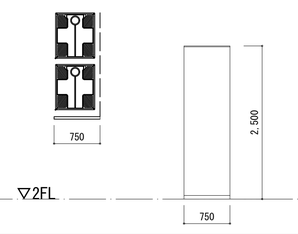
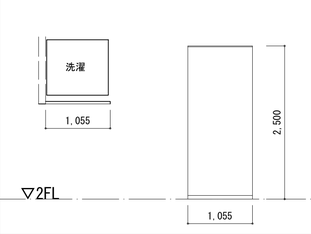
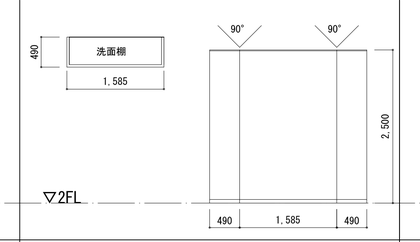
塗装・仕上凡例

SOP	合成樹脂調合ペイント	BB-2	着色陽極酸化塗装合皮膜
OP	油性調合ペイント		
FE	フタル酸樹脂ペイント		
DP	耐候性塗装塗り		
OS	オイルステイン		
CL	クリアラッカー		
UC	ウレタン樹脂ワイニス塗		

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	建具表(4)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-054
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

符号・数量	S-1 1階車庫 数量 S-1× 1 S-2× 1		SLW-1 3階会議室 数量 1
姿 図			
形 式			可動間仕切り（遮音タイプ）
材質・仕上・見込			スチール 焼付塗装 ロックウール 80kg/m 充填 見込 73
硝 子			
付属金物			アルミ框 アルミハンガーレール 付属金物一式
備 考			
符号・数量			
姿 図			
形 式	大型折れ戸（手動）		
材質・仕上・見込	スチール DP		
硝 子	T t=8		
付属金物	付属金物一式		
備 考	詳細図による		

符号・数量	GPT-1 3階食堂 数量 1	GPT-2 3階会議室 数量 1
姿 図		
形 式	ガラスパーティション＋両開き戸	ガラスパーティション＋片開き戸
材質・仕上・見込	ガラスフレーム：アルミ ドア枠：スチール 枠見込 70	ガラスフレーム：アルミ ドア枠：スチール 枠見込 70
硝 子	T t=10（透明飛散防止フィルム貼） ドアパネル：スチールt=0.6 焼付塗装	T t=10（透明飛散防止フィルム） ドアパネル：スチールt=0.6 焼付塗装
付属金物	樹脂クリアー目地 押棒 衝突防止表示（φ30 ステンレス製 @450） 付属金物一式	衝突防止表示（φ30 ステンレス製 @450） 樹脂クリアー目地 押棒 付属金物一式
備 考		

符号・数量	APT-1 2階洗濯・洗面室 数量 1	APT-2 2階洗濯・洗面室 数量 1	APT-3 2階洗濯・洗面室 数量 1	APT-4 2階洗濯・洗面室 数量 1
姿 図				
形 式	アルミパーティション	アルミパーティション	アルミパーティション	アルミパーティション
材質・仕上・見込	アルミ枠 40 メラミン樹脂板 （ペーパーコア）	アルミ枠 40 メラミン樹脂板 （ペーパーコア）	アルミ枠 40 メラミン樹脂板 （ペーパーコア）	アルミ枠 40 メラミン樹脂板 （ペーパーコア）
硝 子				
付属金物	付属金物一式 巾木タイプ	付属金物一式 巾木タイプ	付属金物一式 巾木タイプ	付属金物一式 巾木タイプ
備 考				

特記事項

＊＊ 新設建具を示す

建具符号凡例

AW	アルミマド	SSW	ステンレスマド
AD	アルミドア	WW	木製マド
SW	スチールマド	WD	木製ドア
SD	スチールドア	AP	アルミパネル
LSD	軽量スチールドア	TP	トイレパーテーション
S	スチール折れ戸	GPT	ガラスパーテーション
SS	スチールシャッター	APT	アルミーテーション
SSD	ステンレスドア（自動ドア）		

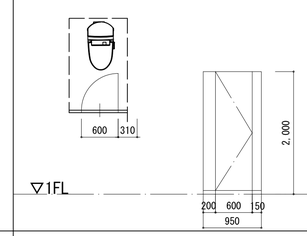
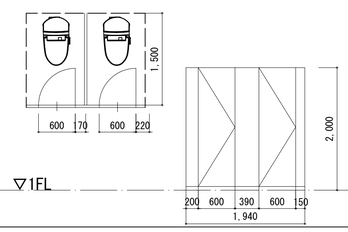
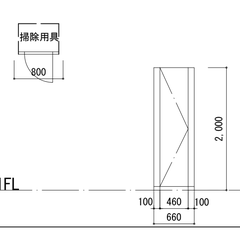
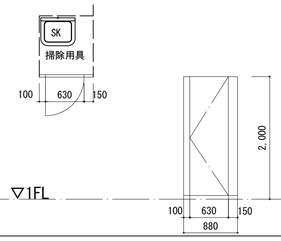
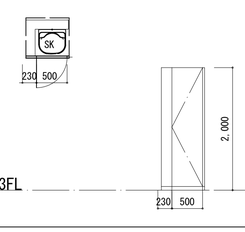
符号凡例

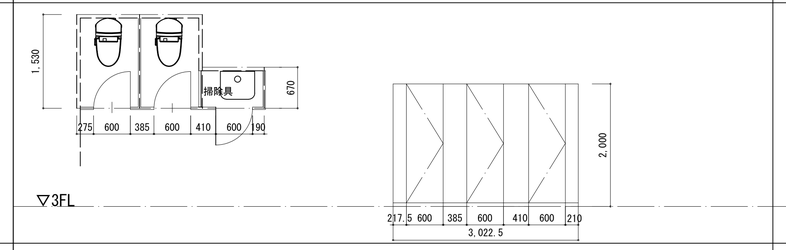
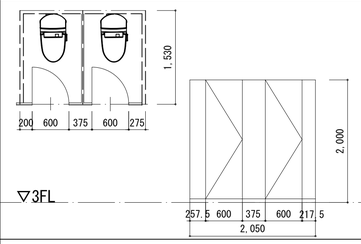
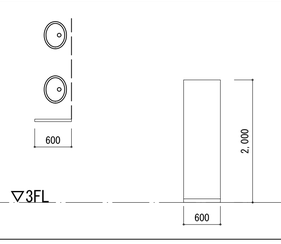
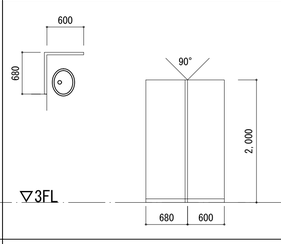
FL	フロート板ガラス
F	型板ガラス
HP	熱線吸収フロートガラス
RP	熱線反射ガラス
T	強化ガラス
FFL	透明防火ガラス
Low－e	Low-eガラス
PW	網入り磨きガラス
FW	網入り型ガラス

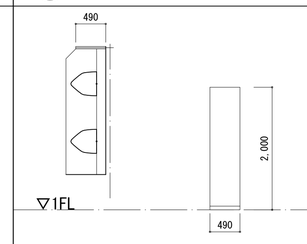
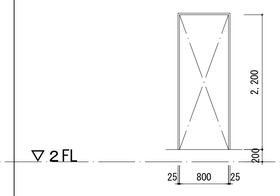
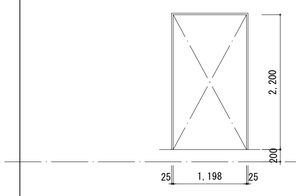
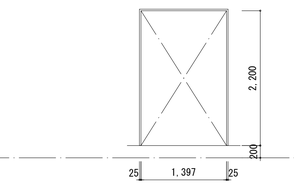
塗装・仕上凡例

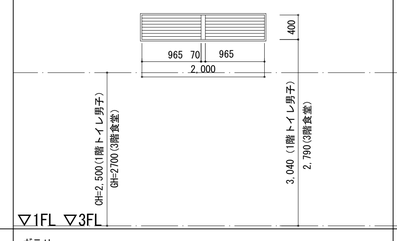
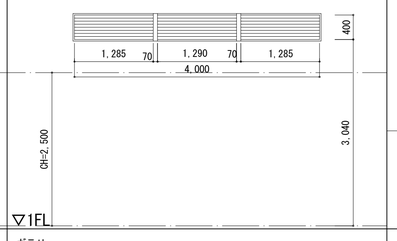
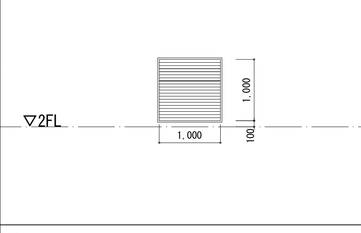
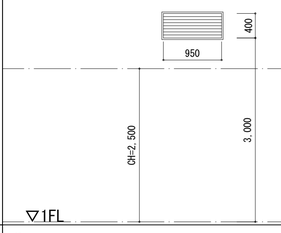
SOP	合成樹脂調合ペイント	BB-2	着色陽極酸化塗装合皮膜
OP	油性調合ペイント		
FE	フタル酸樹脂ペイント		
DP	耐候性塗装塗り		
OS	オイルステイン		
CL	クリアラッカー		
UC	ウレタン樹脂ワイニス塗		

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	建具表(5)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-055
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

符号・数量	TP 1 1階トイレ（女子） 数量 1	TP 2 1階トイレ（男子） 数量 1	TP 3 1階トイレ（女子） 数量 1	TP 4 1階トイレ（男子） 数量 1	TP 5 3 階トイレ（男子） 数量 1
姿 図					
形 式	トイレパーテーション	トイレパーテーション	トイレパーテーション	トイレパーテーション	トイレパーテーション
材質・仕上・見込	メラミン樹脂板（ペーパーコア） 見込40	メラミン樹脂板（ペーパーコア） 見込40	メラミン樹脂板（ペーパーコア） 見込40	メラミン樹脂板（ペーパーコア） 見込40	メラミン樹脂板（ペーパーコア） 見込40
硝 子					
付属金物	アルミエッジ 巾木タイプ 表示錠 **付属金物一式**	アルミエッジ 巾木タイプ 表示錠 **付属金物一式**	アルミエッジ 巾木タイプ **付属金物一式**	アルミエッジ 巾木タイプ **付属金物一式**	アルミエッジ 巾木タイプ **付属金物一式**
備 考					

符号・数量	TP 6 3 階トイレ（女子） 数量 1	TP 7 3 階トイレ（男子） 数量 1	TP 8 3 階トイレ（男子・女子） 数量 2	TP 9 3 階トイレ（男子） 数量 1
姿 図				
形 式	トイレパーテーション	トイレパーテーション	トイレパーテーション	トイレパーテーション
材質・仕上・見込	メラミン樹脂板（ペーパーコア） 見込40	メラミン樹脂板（ペーパーコア） 見込40	メラミン樹脂板（ペーパーコア） 見込40	メラミン樹脂板（ペーパーコア） 見込40
硝 子				
付属金物	アルミエッジ 巾木タイプ 表示錠 **付属金物一式**	アルミエッジ 巾木タイプ 表示錠 **付属金物一式**	アルミエッジ 巾木タイプ **付属金物一式**	アルミエッジ 巾木タイプ **付属金物一式**
備 考				

符号・数量	TP 10 1階トイレ（男子） 数量 1	WW 1 2階女性エリア脱衣室 数量 1	WW 2 2階シャワー室 数量 2	WW 3 2階シャワー室 数量 2
姿 図				
形 式	トイレパーテーション	木製三方枠	木製三方枠	木製三方枠
材質・仕上・見込	メラミン樹脂板（ペーパーコア） 見込40	米桐集成材 UC塗装 見込140	米桐集成材 UC塗装 見込140	米桐集成材 UC塗装 見込140
硝 子				
付属金物	アルミエッジ 巾木タイプ **付属金物一式**			
備 考				

符号・数量	AG 1 1階トイレ（男子） 3階食堂 数量 2	AG 2 1階資機材庫 油庫 数量 1	AG 3 車庫 数量 1	SG 1 1階防火衣室、資機材庫 数量 2
姿 図				
形 式	ガラリ	ガラリ	ガラリ	ガラリ
材質・仕上・見込	アルミ製 BB-2 枠：見込70	アルミ製 BB-2 枠：見込70	アルミ製 BB-2 枠：見込70	スチール製 SOP 枠：見込70
硝 子				
付属金物	アルミ水切 付属金物一式	アルミ水切 付属金物一式	アルミ水切 付属金物一式 SUS防虫網	温度ヒューズ付防火ダンパー 付属金物一式
備 考				特定防火設備（H12建告示第1369号 S48建告示第2564号）

特記事項

＊＊ 新設建具を示す

建具符号凡例

AW	アルミマド	SSW	ステンレスマド
AD	アルミドア	WW	木製マド
SW	スチールマド	WD	木製ドア
SD	スチールドア	AP	アルミパネル
LSD	軽量スチールドア	TP	トイレパーテーション
S	スチール折れ戸	GPT	ガラスパーテーション
SS	スチールシャッター	APT	アルミーテーション
SSD	ステンレスドア（自動ドア）		

符号凡例

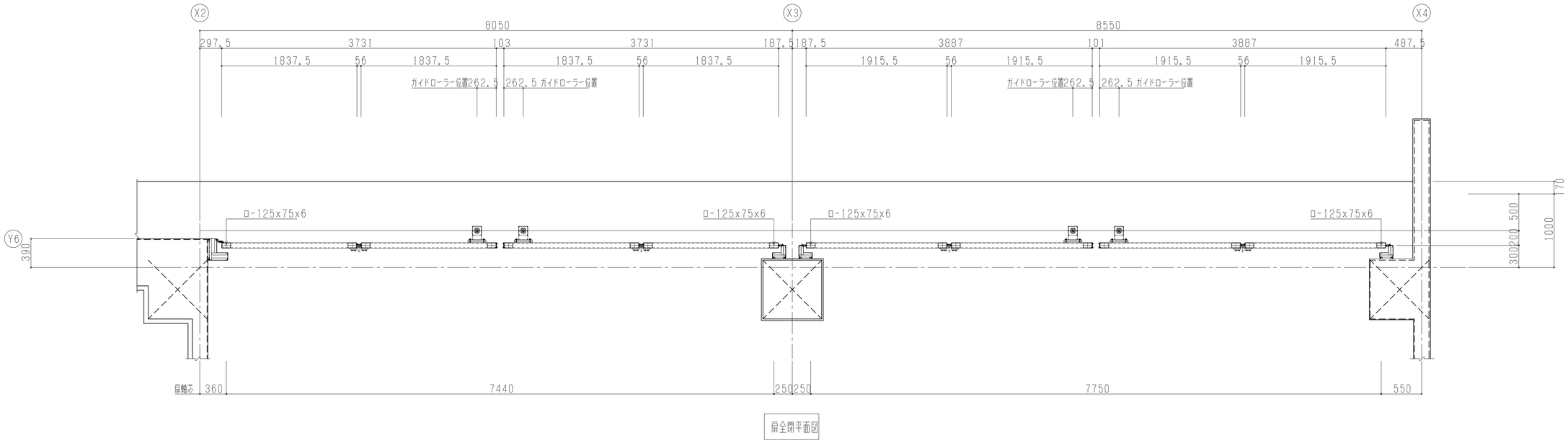
FL	フロート板ガラス
F	型板ガラス
HP	熱線吸収フロートガラス
RP	熱線反射ガラス
T	強化ガラス
FFL	透明防火ガラス
Low－e	Low-eガラス
PW	網入り磨きガラス
FW	網入り型ガラス

塗装・仕上凡例

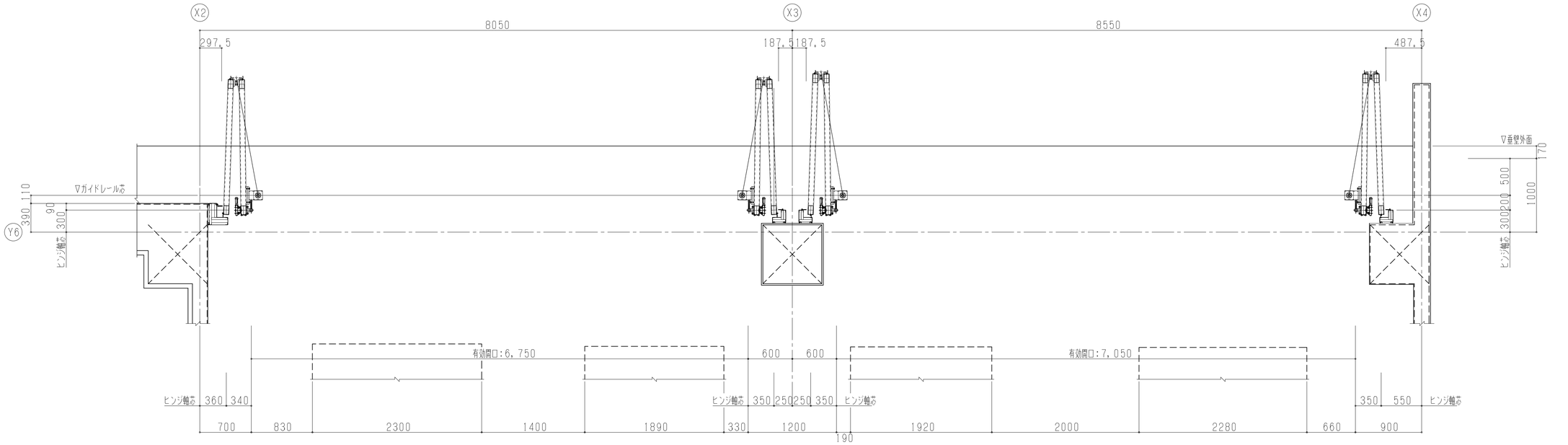
SOP	合成樹脂調合ペイント	BB-2	着色陽極酸化塗装合皮膜
OP	油性調合ペイント		
FE	フタル酸樹脂ペイント		
DP	耐候性塗装塗り		
OS	オイルステイン		
CL	クリアラッカー		
UC	ウレタン樹脂ワイニス塗		

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	建具表(6)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:50(A1) 1:100(A3)	図面番号	A-056
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		

松戸市 街づくり部 建築保全課

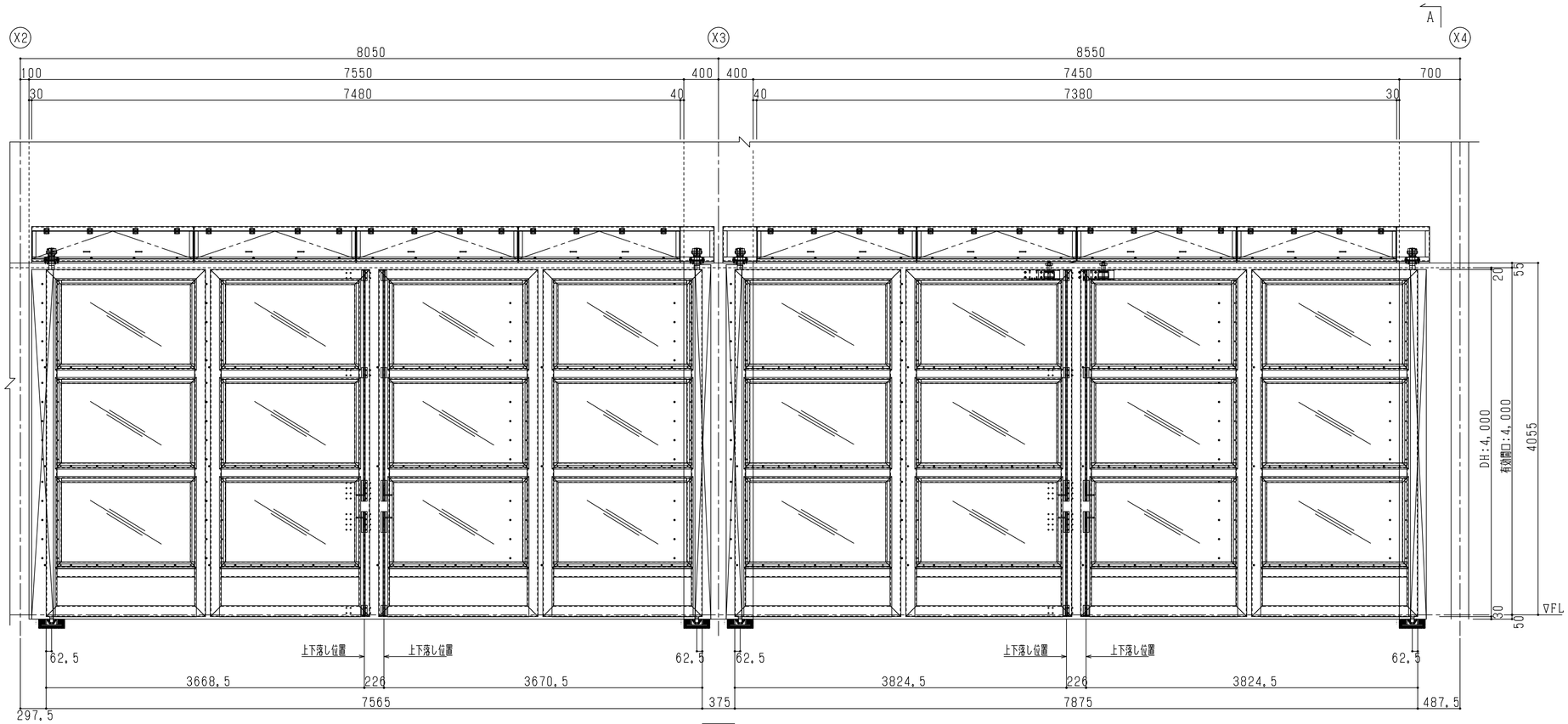


扉全開平面図

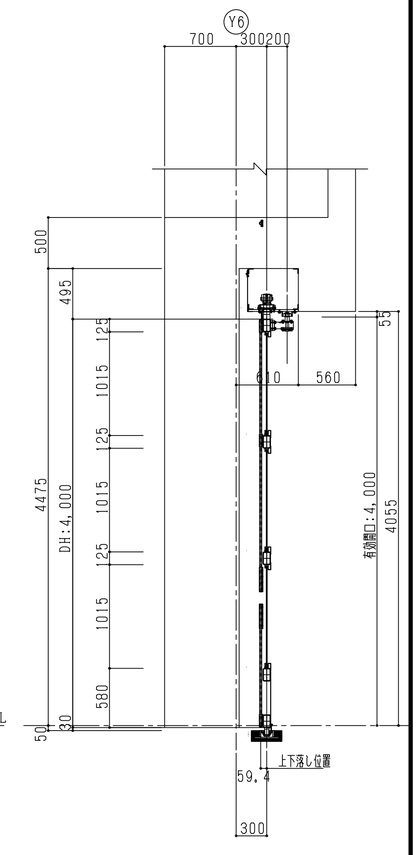


扉全開平面図

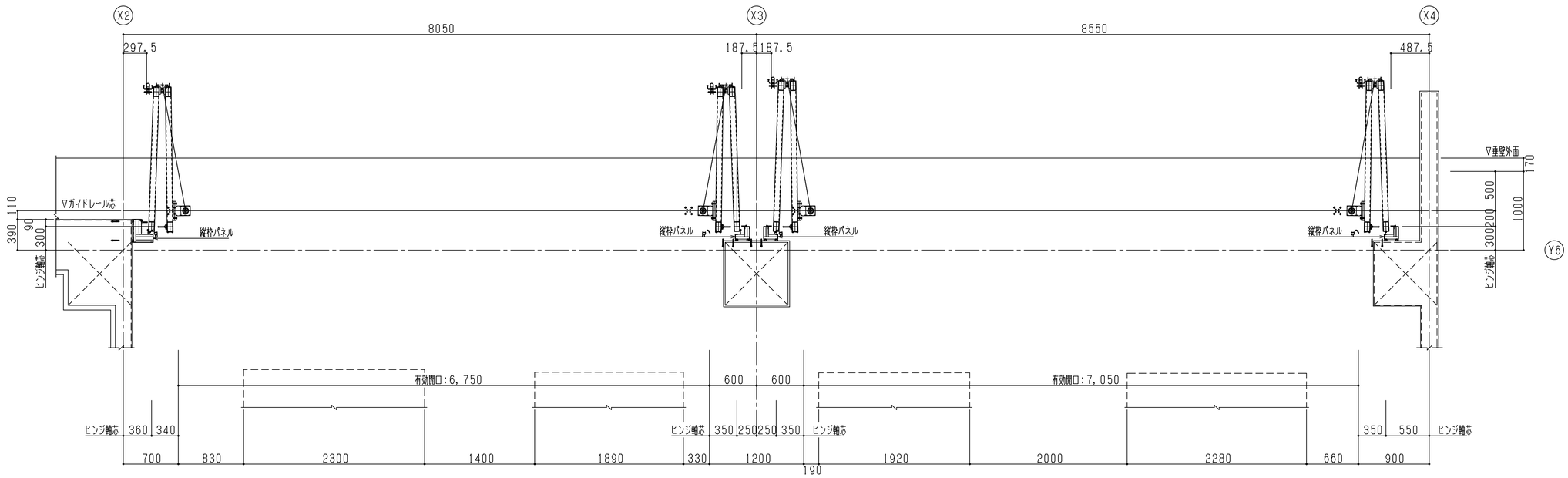
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	建具詳細図(1)(大型折戸)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:30(A1) 1:60(A3)	図面番号	A-057
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



内観図

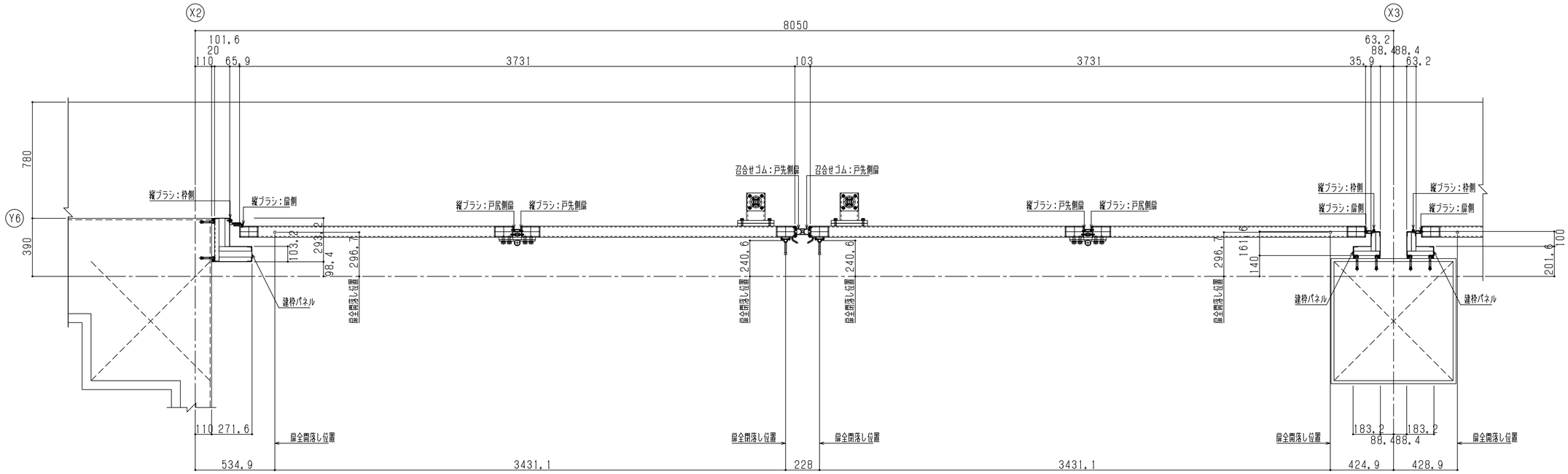


A断面図

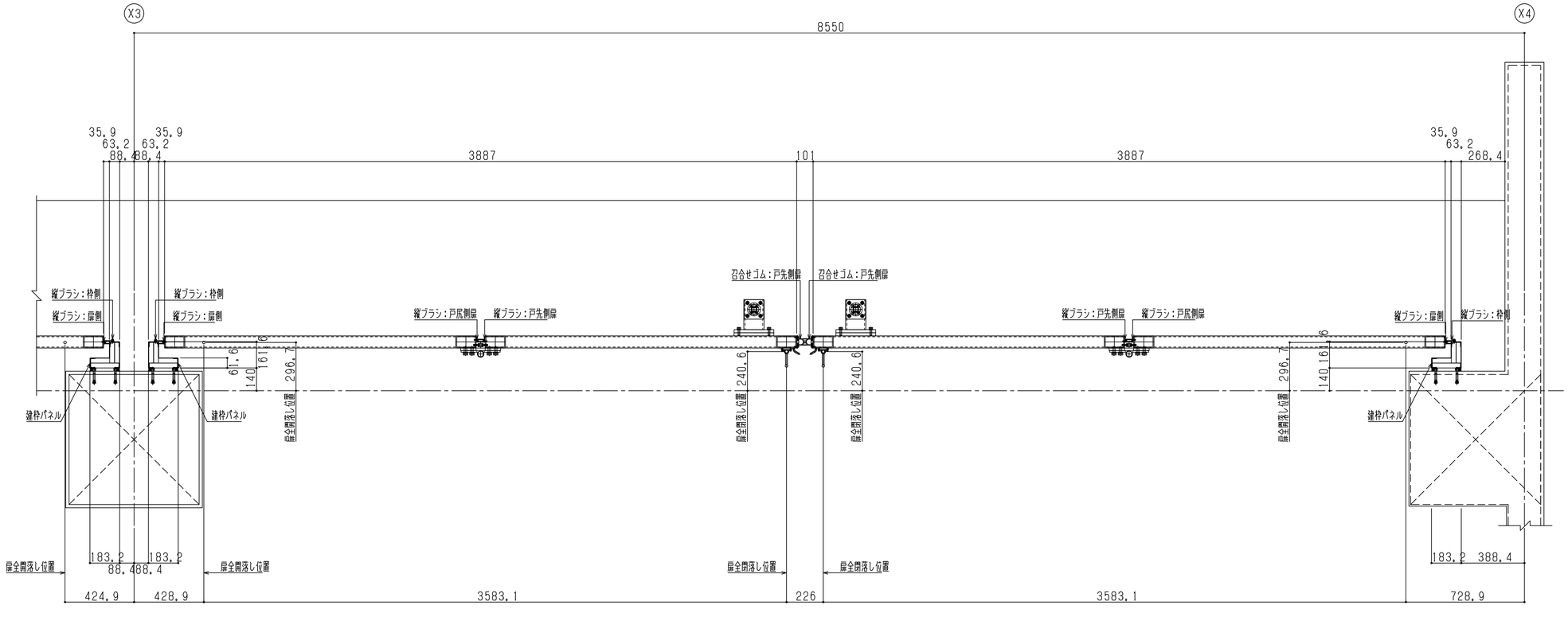


扉全開平面図

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	建具詳細図(2)(大型折戸)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:30(A1) 1:60(A3)	図面番号	A-058
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

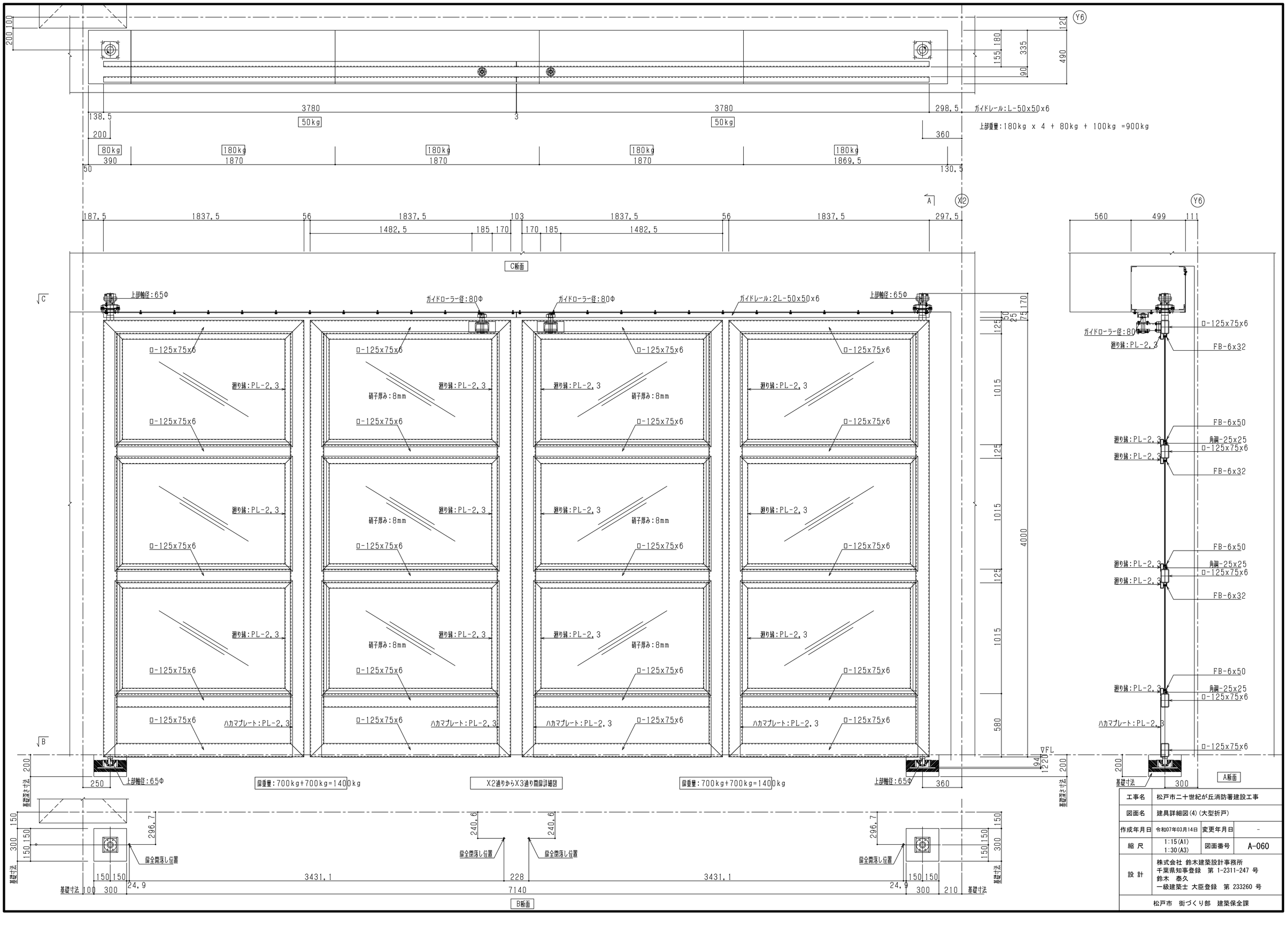


X2通りからX3通り間扉納まり図



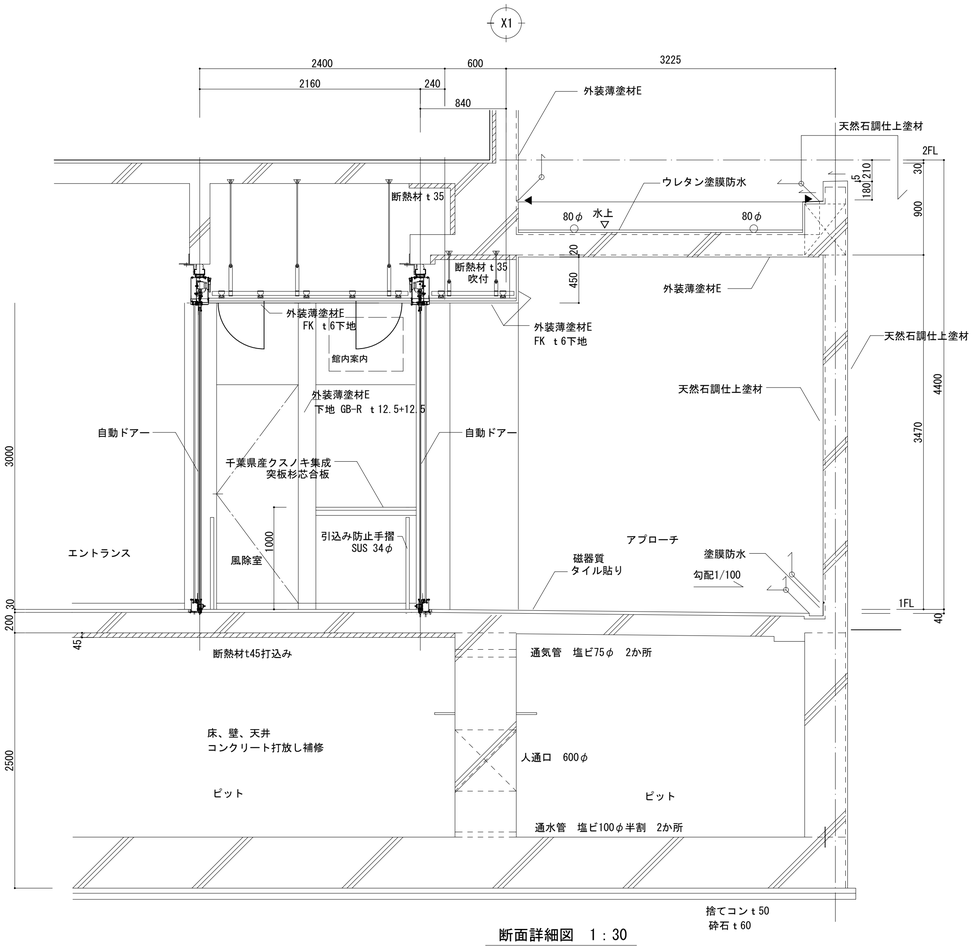
X3通りからX4通り間扉納まり図

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	建具詳細図(3)(大型折戸)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:15(A1) 1:30(A3)	図面番号	A-059
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



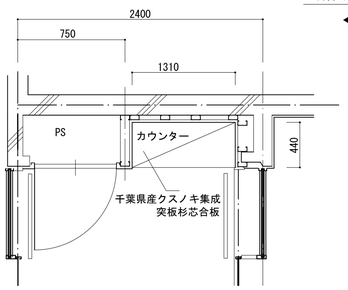
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	建具詳細図(4)(大型折戸)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:15(A1) 1:30(A3)	図面番号	A-060
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

1階アプローチ、玄関廻り詳細図　S=1：30, S=1：10

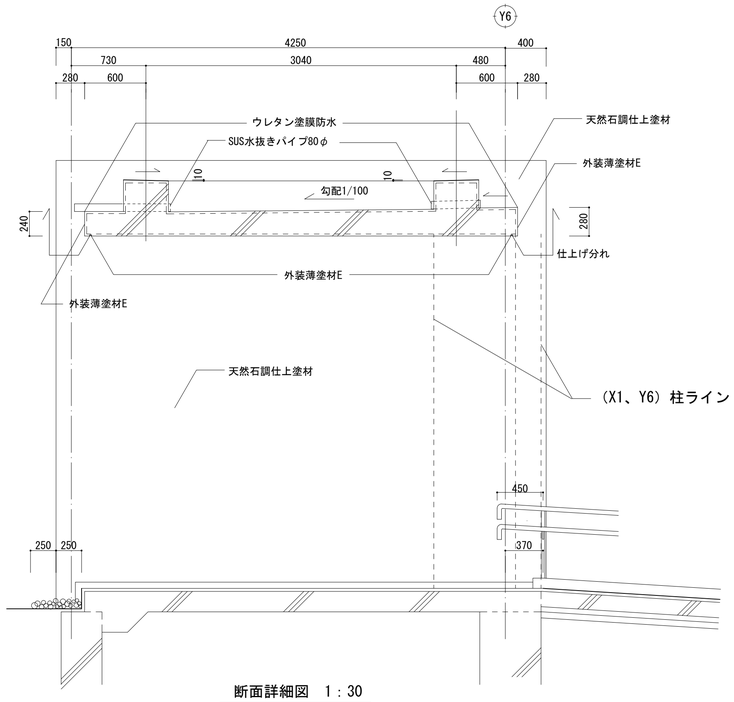


断面詳細図　1：30

◀ シーリングPU-2

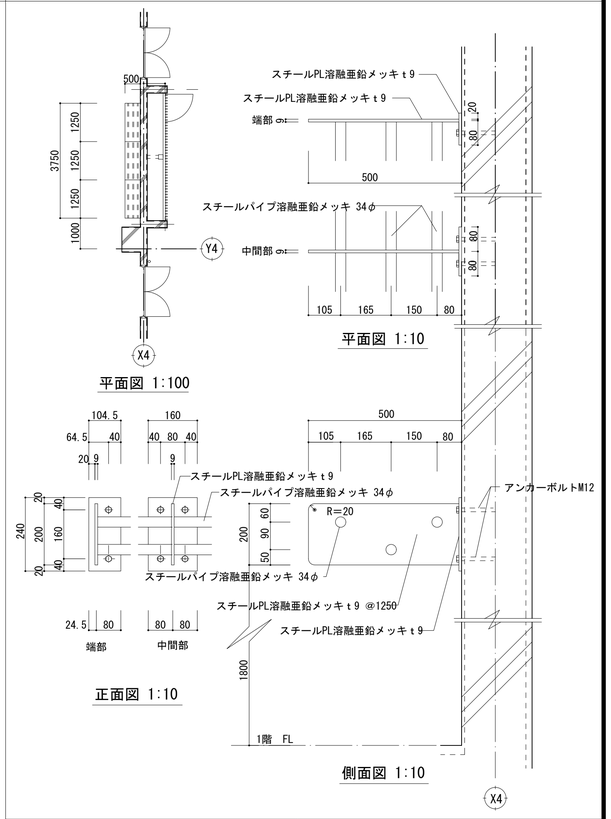


平面詳細図　1：30

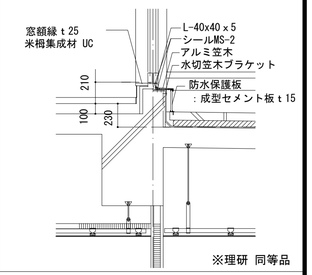


断面詳細図　1：30

1階車庫 ホース棚詳細図　S=1：10　S=1：100

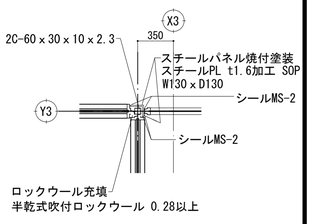


3階食堂、会議室防水押え　S=1：30



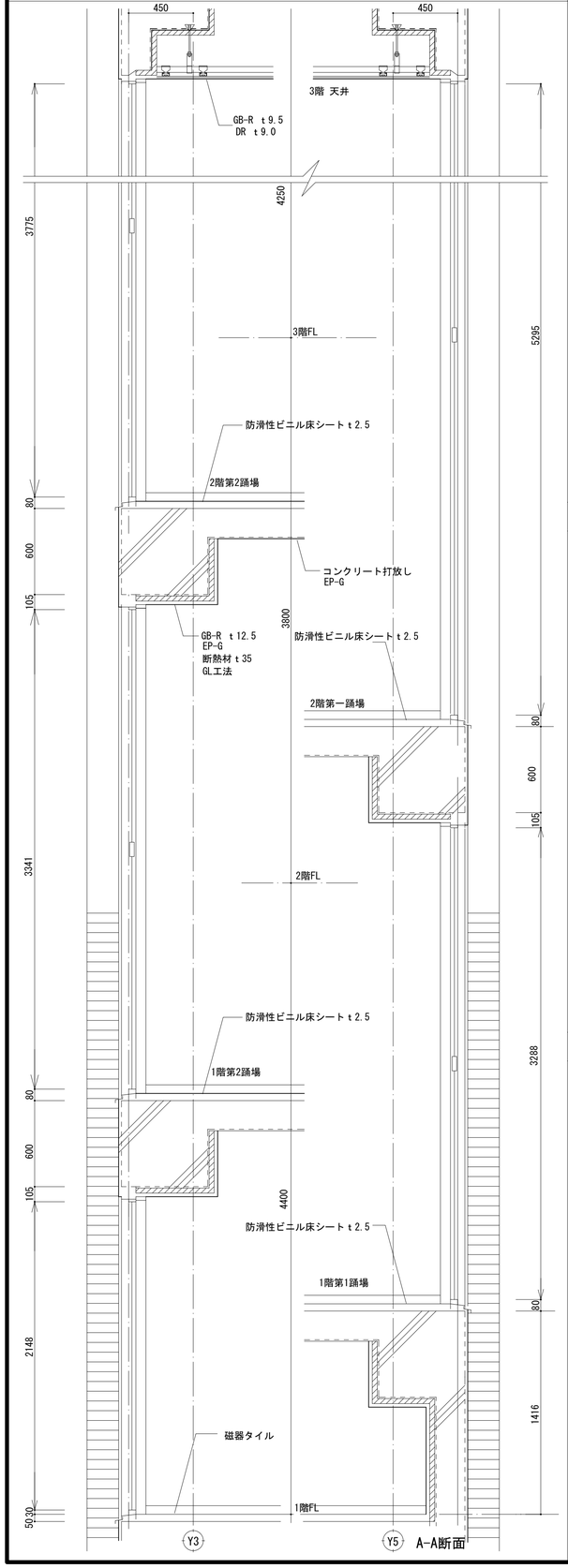
※理研 同等品

3階吹抜けコーナー建具取合い　S=1：30

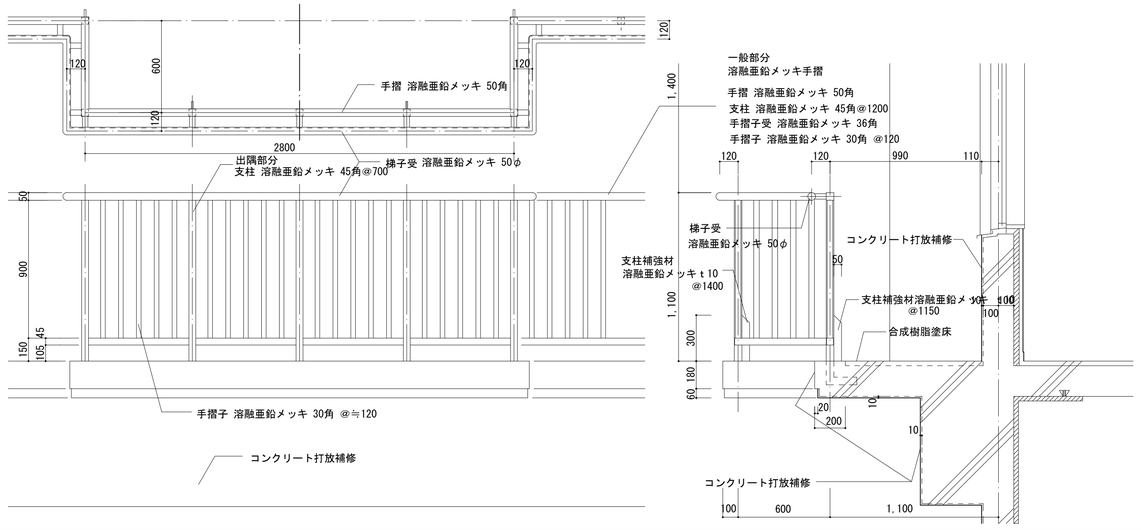


工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	部分詳細図(1)(エントランスホール)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	図示	図面番号	A-061
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

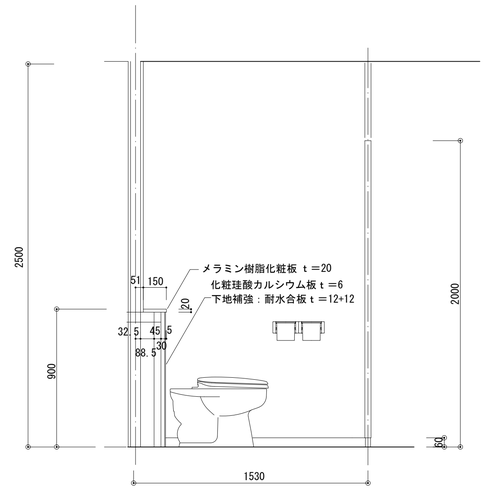
1～3階段窓断面詳細図　S=1：20



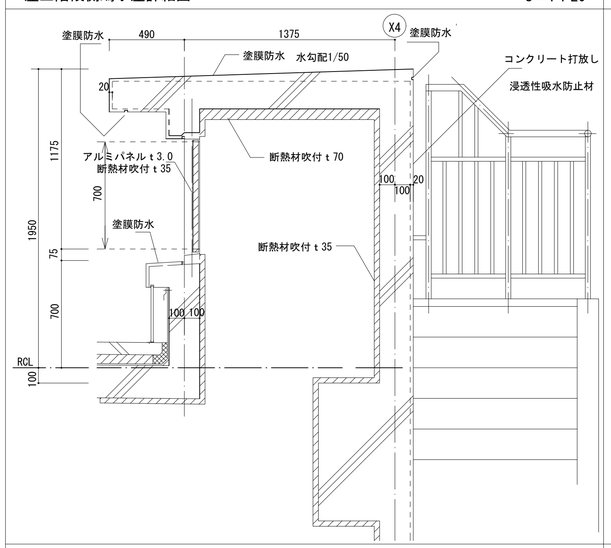
2階キャットウォーク詳細図　S=1：20



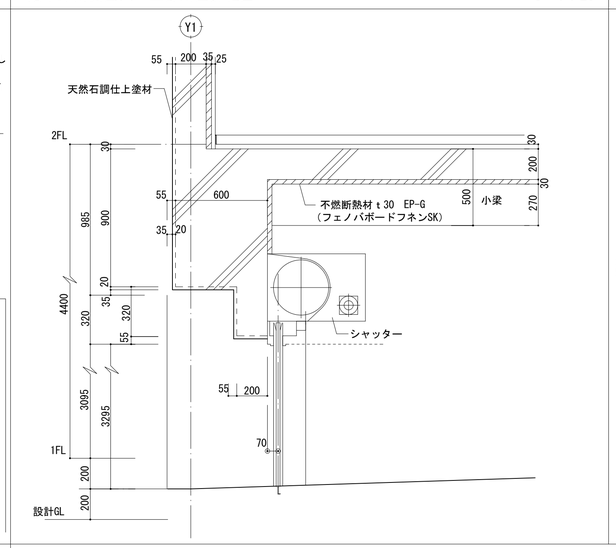
1～3階トイレ便房詳細図　S=1：20



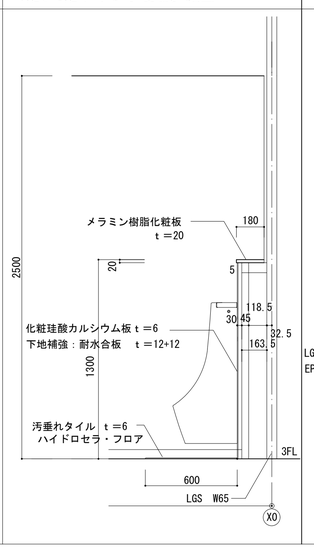
屋上階段側鳩小屋詳細図　S=1：20



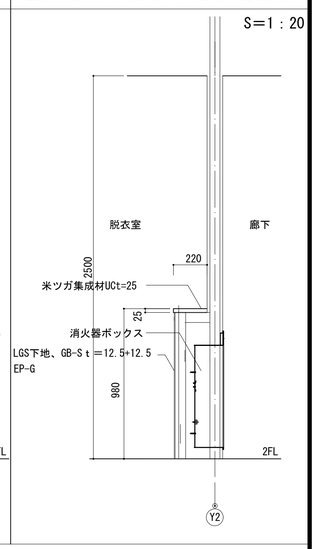
1階車庫南側出入口上部断面詳細図　S=1：20



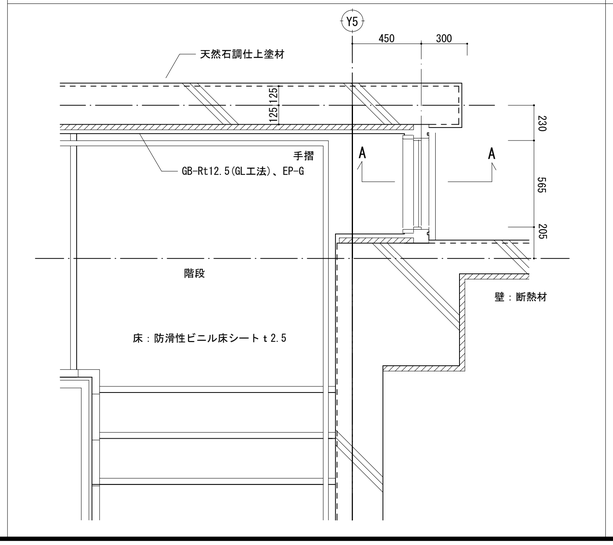
1階、3階トイレ小便器詳細図　S=1：20



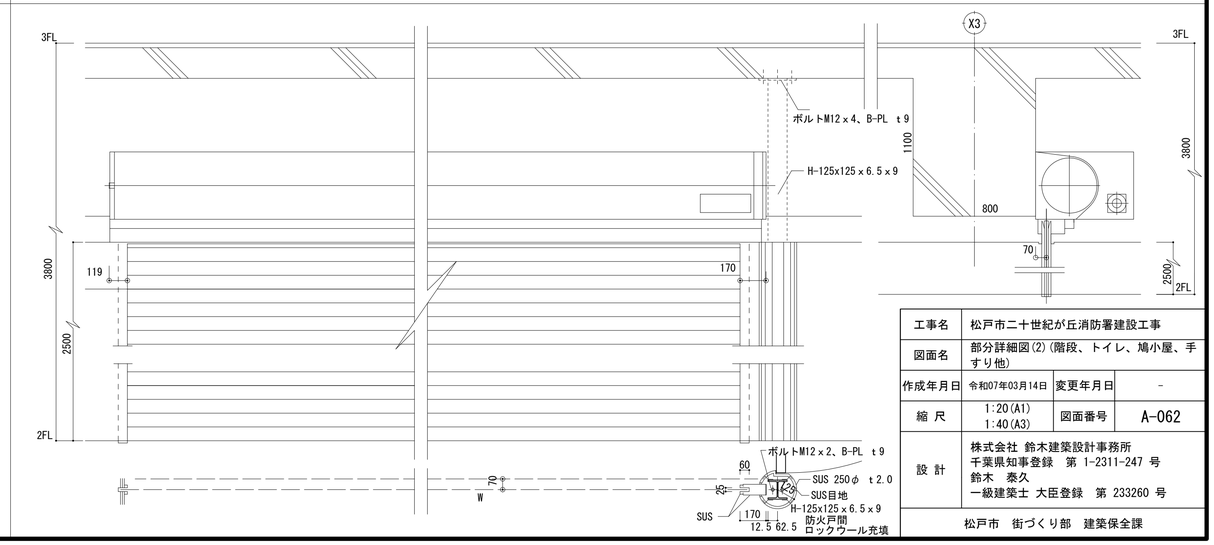
2階消火器ボックス、カウンター詳細図　S=1：20



1～3階階段踊場平面詳細図　S=1：20

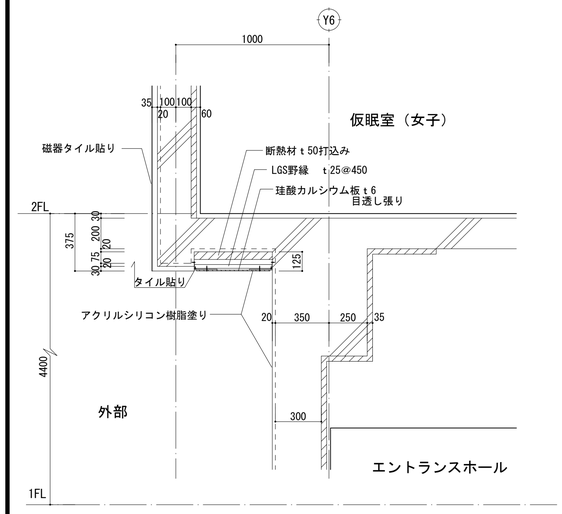


2階トレーニングコート防火区画シャッター、丸柱詳細図　S=1：20

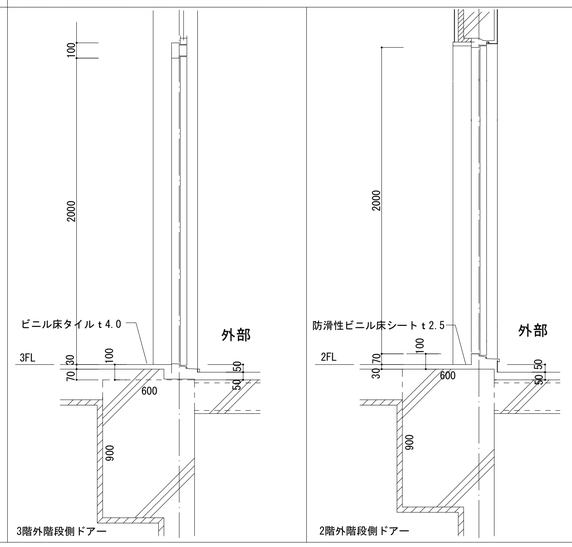


工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	部分詳細図(2)(階段、トイレ、鳩小屋、手すり他)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:20(A1) 1:40(A3)	図面番号	A-062
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

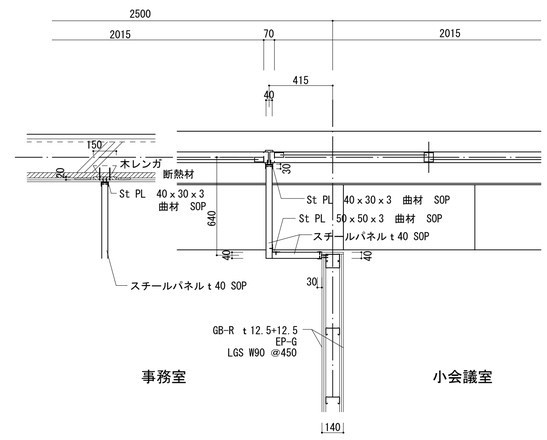
2階仮眠室（女子）床下部詳細図　S=1：20



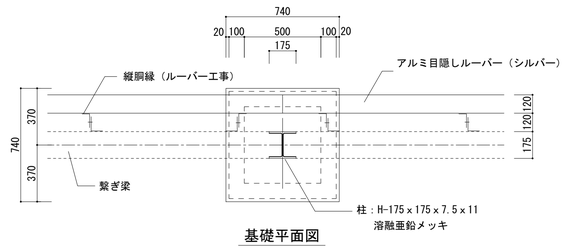
3階、2階外部出口ドアー断面詳細図　S=1：20



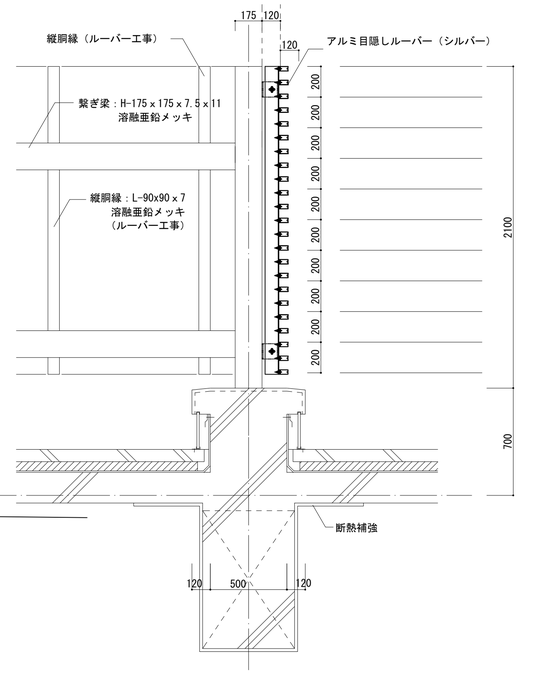
3階小会議室間仕切　S=1：20



屋上機械置場目隠しルーバー　S=1：20

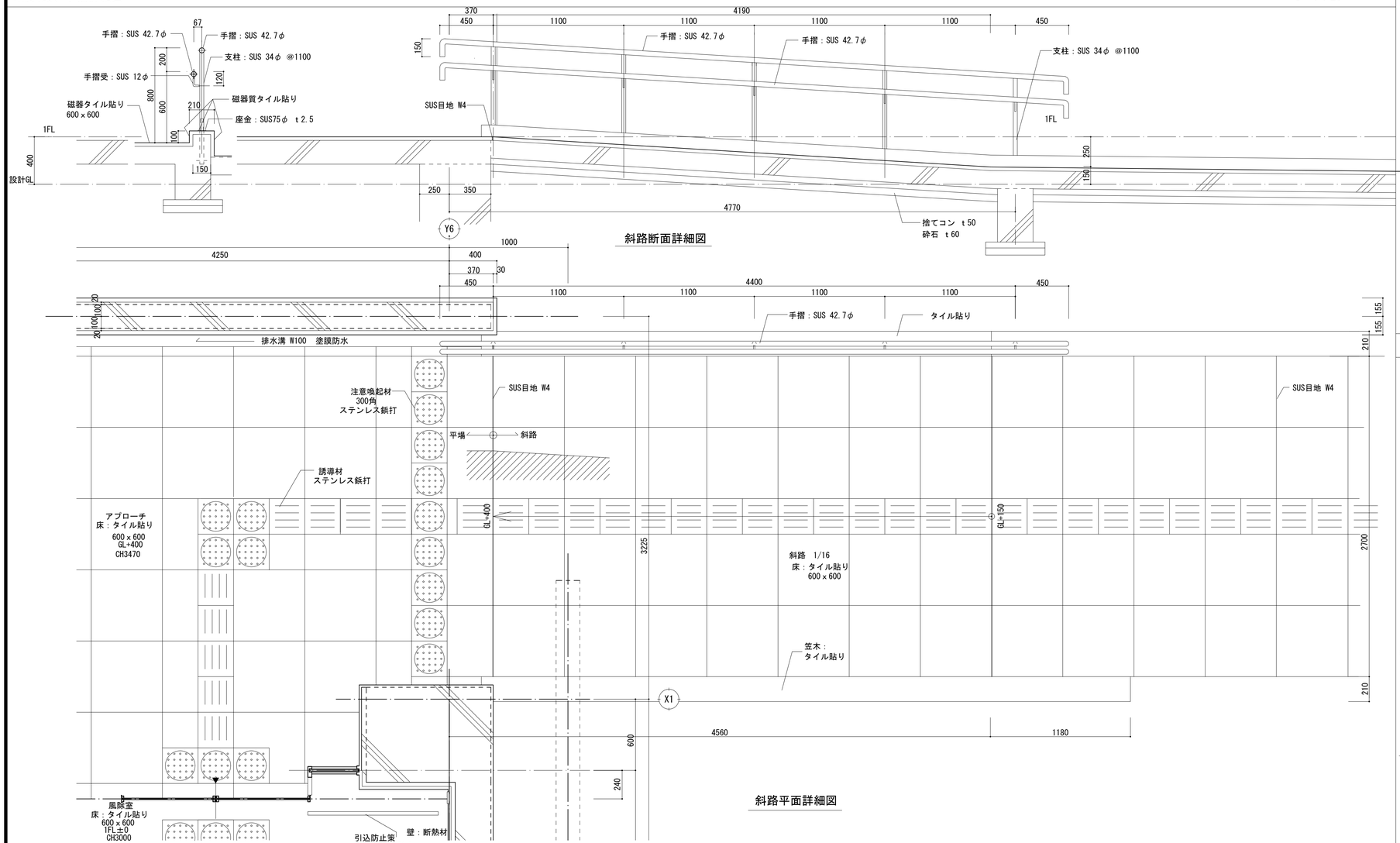


基礎平面図

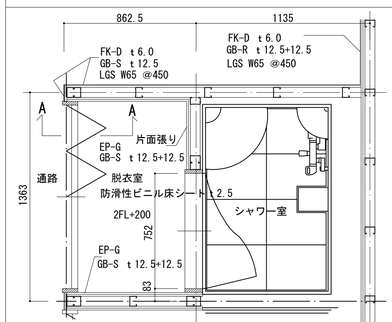


基礎、ルーバー断面図

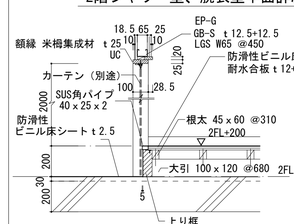
1階斜路、手摺詳細図　S=1：20



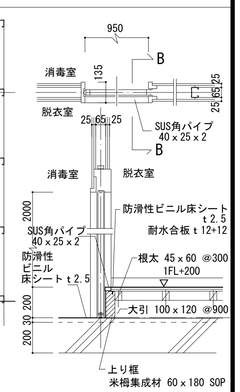
2階、1階脱衣室廻り上り框他詳細図　S=1：20



2階シャワー室、脱衣室平面詳細図

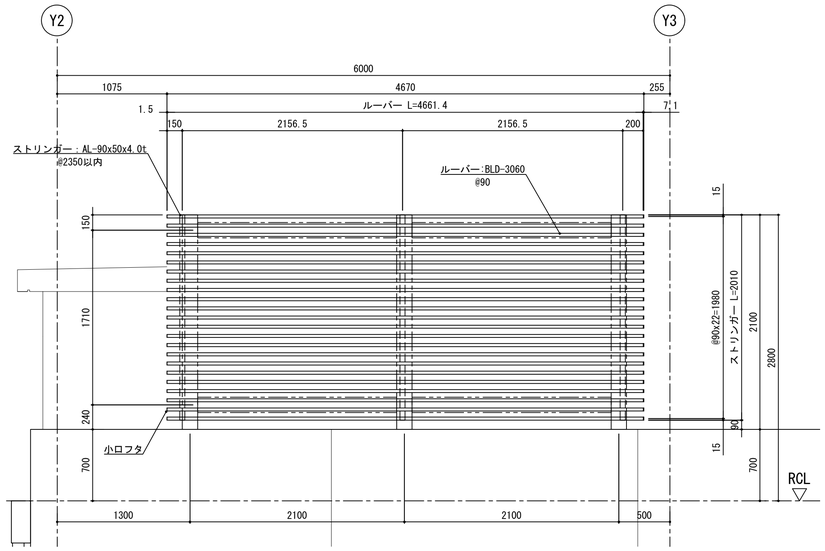


A-A 断面図（2階）

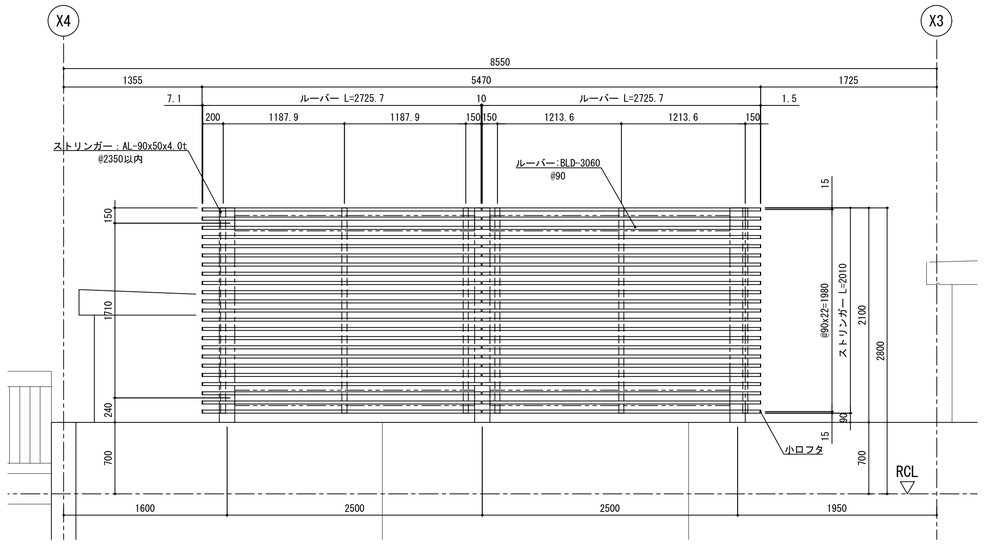


B-B 断面図（1階）

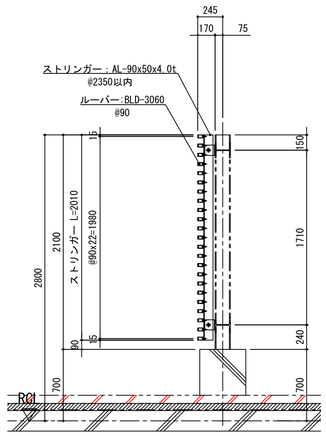
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	部分詳細図(3)（スロープ、目隠しルーバー、建具他）		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:20(A1) 1:40(A3)	図面番号	A-063
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



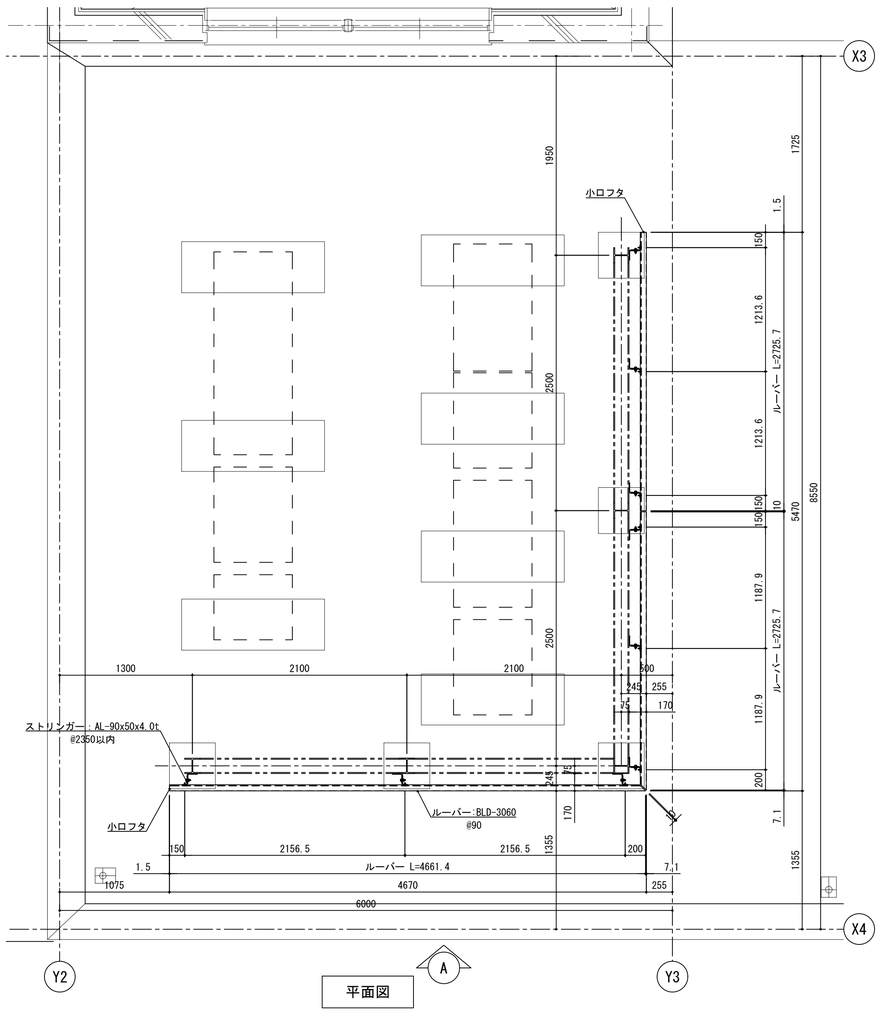
A-立面図



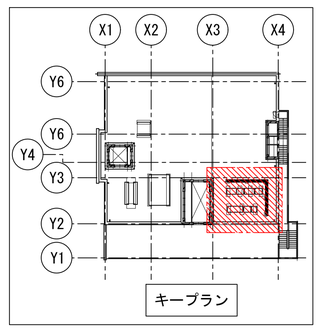
B-立面図



断面図



平面図



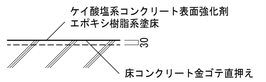
キープラン

特記仕様

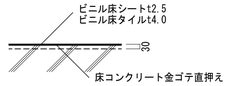
1. 本体・下地材共に国土交通省告示第1458号に基づく設計風圧力、もしくはご指定値で強度検討した製品とする。
2. 脱落防止対策として、本体固定はDIN振動試験残存軸力確認済製品とし、設計もしくは監督員に提出可能な資料を有すること。
3. 国内生産品る。
4. 実験により音響透過損失値と通気性を確認した製品とする。

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	部分詳細図(5)(屋上ルーバー)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:30(A1) 1:60(A3)	図面番号	A-065
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

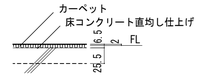
床コンクリート金ゴテ直押え，床コンクリート金ゴテ直押えの上塗り床等　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)



ビニル床シート，ビニル床タイル　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

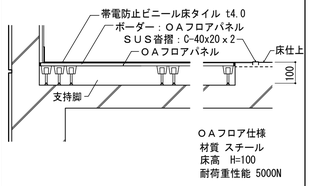


タイルカーペット敷き　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)



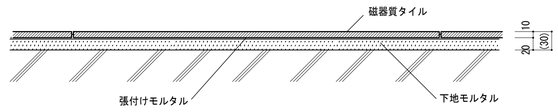
全面接着工法

フリーアクセスフロア　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

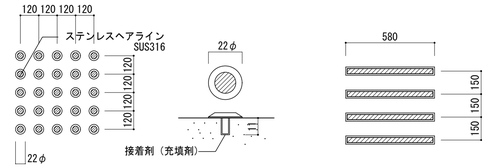


構法：パネル構法
適用地震時水平力1.0G

タイル（タイル厚50以下の場合）　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)



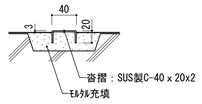
視覚障害者誘導ブロック



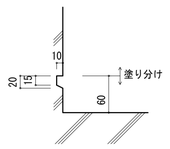
ステンレスヘアライン詳細図
S=1/2(A1)、S=1/4(A3)

視覚障害者誘導ブロック
S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

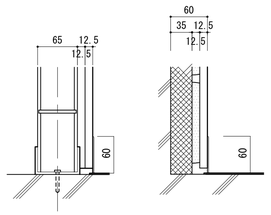
沓摺　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)



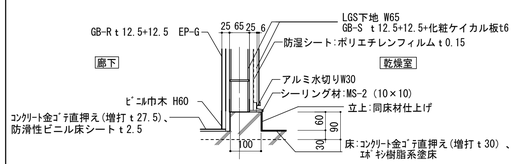
塗り床部　塗り上げ幅木　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)

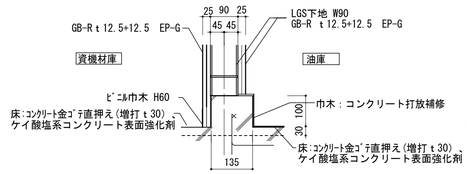


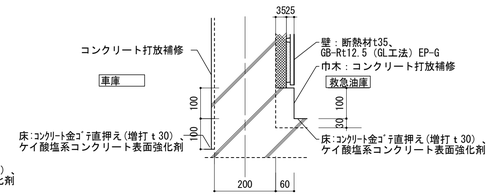
ビニル幅木　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)



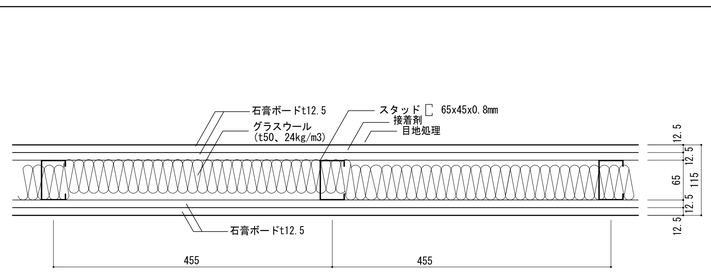
コンクリート立上部 S=1/10(A1)、S=1/20(A3)



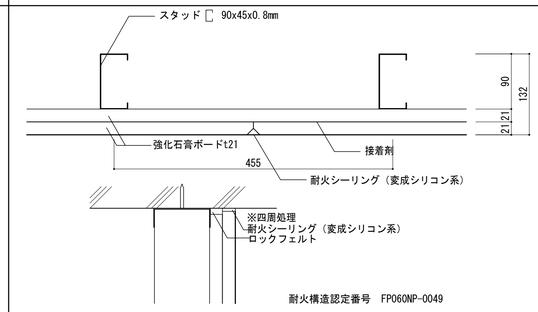




遮音構造間仕切り　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)



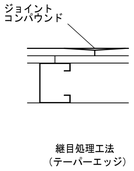
1時間耐火間仕切り　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)



耐火構造認定番号　FP060NP-0049

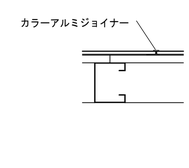
内部コンクリート打放し，コンクリート打放しの上仕上塗材　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)

LGS下地　石膏ボード t=12.5+12.5 塗装仕上げ　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)

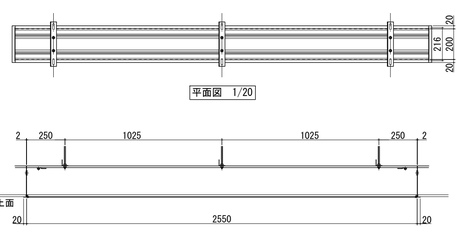


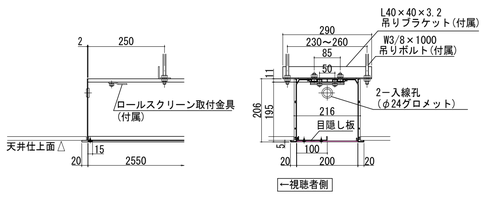
継目処理工法
（テーパーエッジ）

LGS下地　シージング石膏ボード t=12.5 +化粧ケイカル板　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)



ロールスクリーンボックス詳細図　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

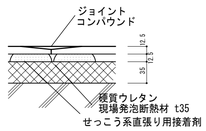




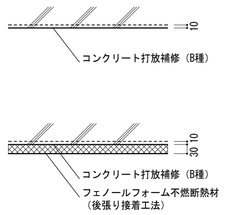
※杉田エース　ロールスクリーン用アルミボックスと同等とする

RC下地　石膏ボード t=12.5 塗装仕上げ　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)

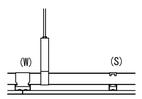
継目処理工法
（テーパーエッジ）

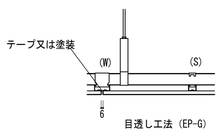


天井コンクリート打放し　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)



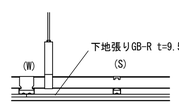
天井ボード(下地張りのない場合)　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)



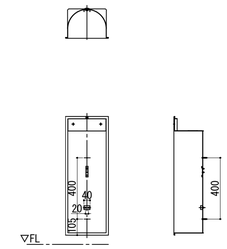


仕様
1）Wはダブル野縁を，Sはシングル野縁を示す。

天井ボード類(下地張りのある場)　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)

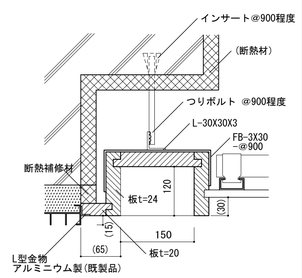


埋め込み型消火器ボックス(スチール製)　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

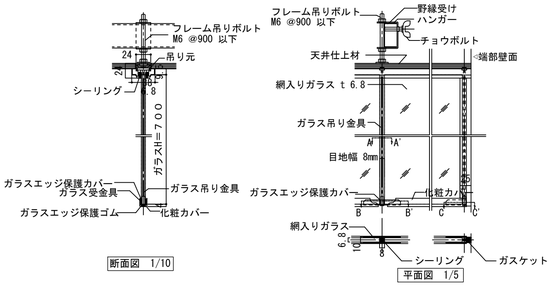


※ユニオン UFB-1F-164H-PWH 同等品とする

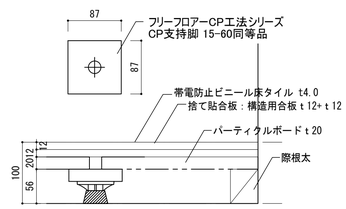
木製カーテンボックス・木製ブラインドボックス　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)



防煙垂れ壁　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)



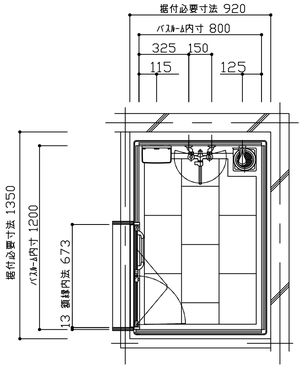
乾式二重床詳細図　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)



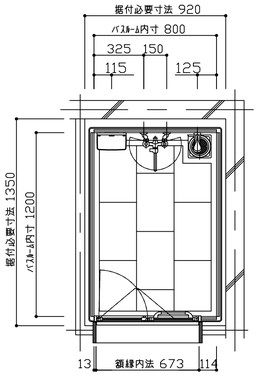
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	雑詳細図(1)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	図示	図面番号	A-067
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		

松戸市　街づくり部　建築保全課

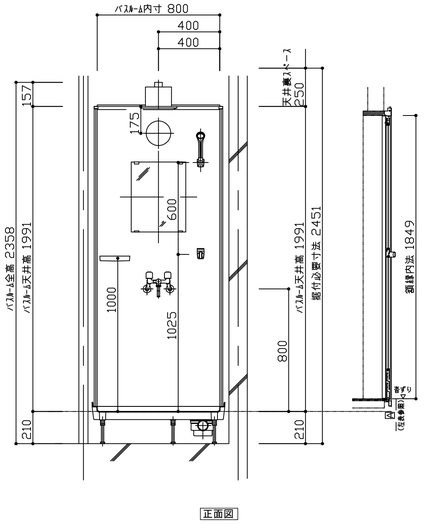
シャワーユニット詳細図 S=1/20(A1)、S=1/40(A3)



平面図(短辺入口)



平面図(長辺入口)

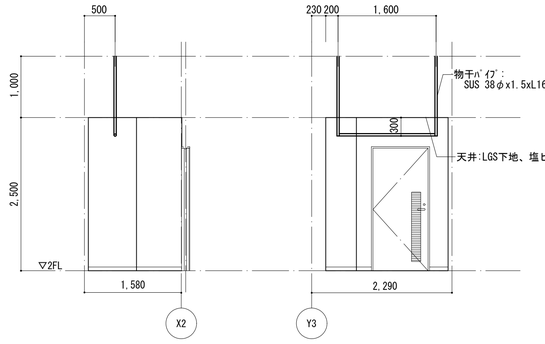


正面図

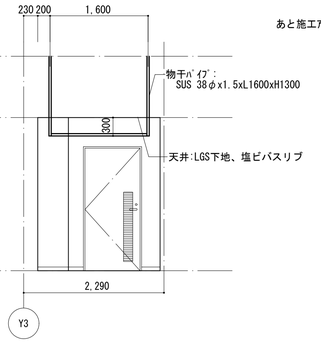
組合せ部材一覧表

No	品名	品番	数	仕様
1	床	RSU19WGS	1	ホワイトグレー
2	床小物セット	RSU19ZSTM	1	
3	アジャスターボルト	RS9GVAY041	1	M16×150
4	トラップセット	RSU9GVB3170E	1	
5	マニュアルセット	RSU9GVN1444	1	
6	壁パネル	RS53D89E9PE	1	グレイスホワイト
7	壁パネル	RS5346100PE	1	グレイスホワイト
8	壁パネル	RS5346100PE	1	グレイスホワイト
9	壁パネル	RS5346100PE	1	グレイスホワイト
10	壁パネル	RS5346100PE	1	グレイスホワイト
11	壁パネル	RS5341000PE	1	グレイスホワイト
12	壁目地セット	RSU28MZ2P1FSB	1	オフホワイト
13	ブロックセット	RSU9GVP5192	1	壁用
14	ジョイント長物セット	RSU29J3AA3	1	
15	ドア	RSU40C13WF	1	2枚折戸
16	天井	RSTUP41L177	1	□177開口
17	天井点検口フタ	RS9GVF2112G	1	
18	換気扇	~~RSU9GVL3807~~	~~1~~	~~天井付~~
19	樋	RSGN6311T	1	角型ミラーB W356×H457
20	ライトシェルフ	RS9GVJ2041AW	1	鏡面製 ホワイト 1個入
21	照明	RS9GVL2277	1	丸調型 LED電球(電球色)
22	混合水栓	RS9SK11L170	1	壁付2ハンドル
23	水栓固定金具	RS9GVM1536X2	1	エルボ(パス Rc1/2)
24	シリコン	RS9GVR5500	1	ホワイト
25	天井廻し縁	RSUGVP5146	1	
26	天吊り防止金具	RS9GVM1538A	1	
27	部材セット	RSU9GVR8198	1	ドア横小壁用

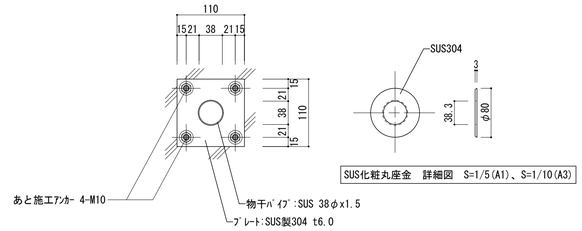
乾燥室 物干し S=1/50(A1)、S=1/100(A3)



乾燥室 A面
S=1/50(A1)、S=1/100(A3)

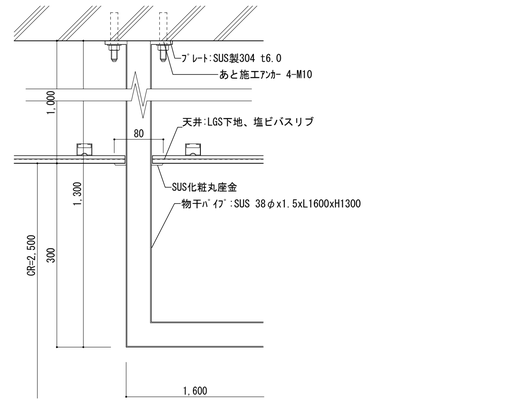


乾燥室 B面
S=1/50(A1)、S=1/100(A3)

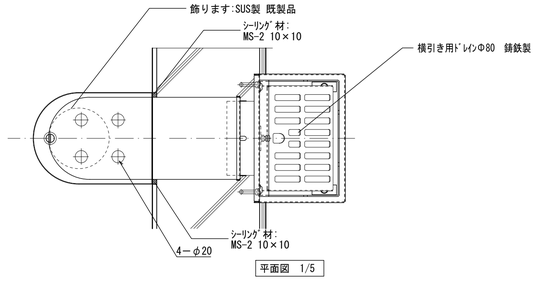


SUS化粧丸座金 詳細図 S=1/5(A1)、S=1/10(A3)

物干しﾊﾟｲﾌﾟ 天井基礎取付部 詳細図 S=1/5(A1)、S=1/10(A3)

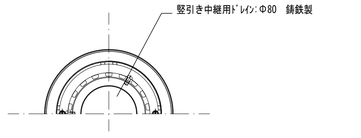


ルーフドレイン S=1/5(A1)、S=1/10(A3)

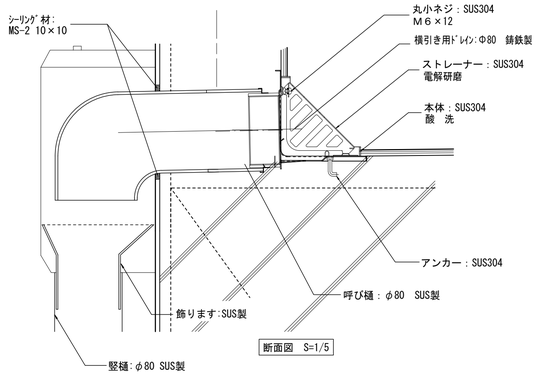


平面図 1/5

ルーフドレイン	数量
横引き	9
飾ります	9
竪引き中継	1

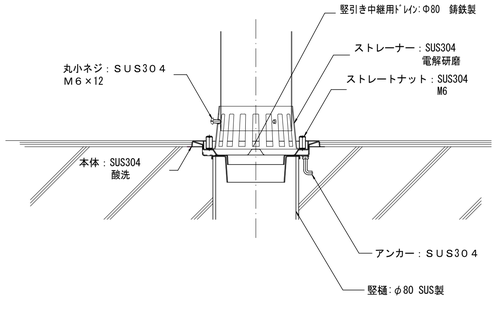


平面図 1/5



断面図 S=1/5

横引き

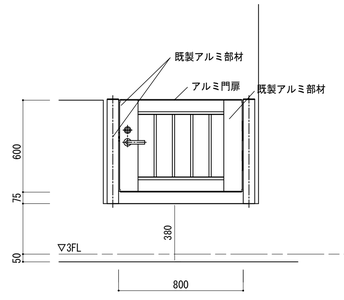


断面図 S=1/5

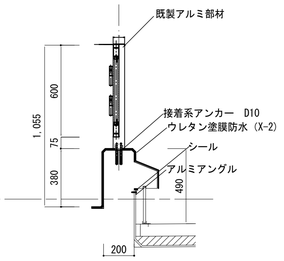
竪引き中継

※㈱カネソウの既製品と同等とする

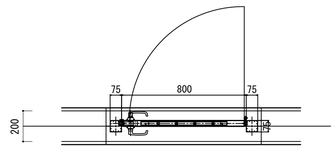
テラス門扉・基礎 S=1/20(A1)、S=1/40(A3)



立 面 S=1/20



断面 S=1/20

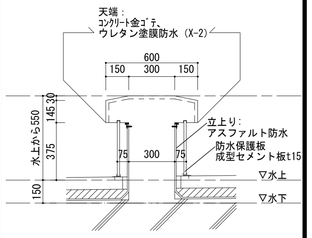


平 面 S=1/20

設備基礎 S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

設備基礎 寸法表

階	設置場所	数量	単位：mm L
R	自家発電	2	3,200
	サービスタンク	2	1,750
	空調設備機器置場	6	1,400
	屋外型キュービクル	2	4,200

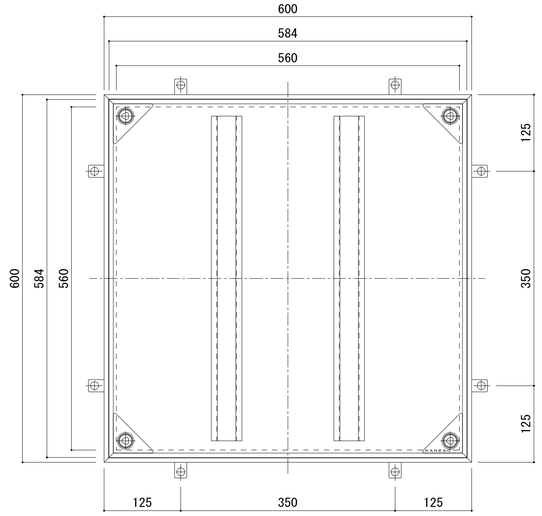


空調設備機器置場 設備基礎 断面図 S=1/20

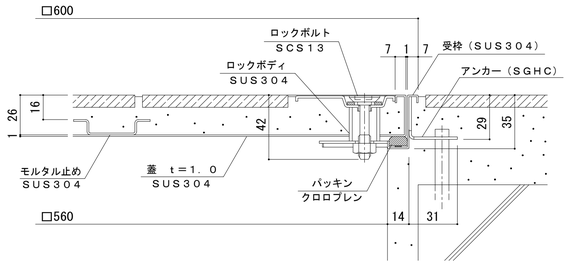
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	雑詳細図(2)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	図示	図面番号	A-068
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

廊下等　SUS製床下点検口　一般型　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)

数量
5



平面図　S=1/5

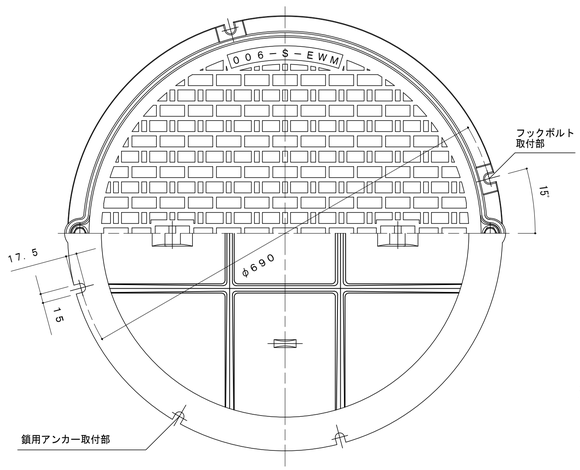


断面図　S=1/2

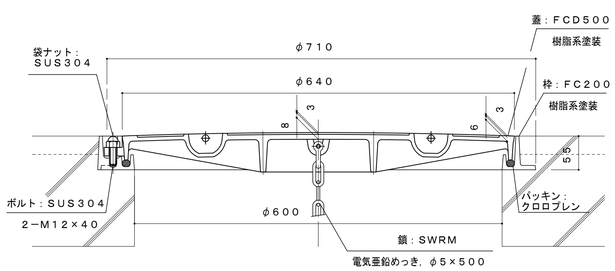
㈱カネソウ 一般型　フロアーハッチ　ＭＳＸＬ－Ｍ－６００　と同等品とする

通路兼車庫２　ボルトロック式鉄蓋　密閉型（防水・防臭型）（T-20）　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)

数量
5



平面図　S=1/5

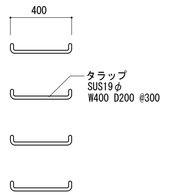


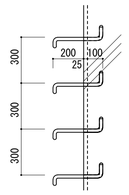
断面図　S=1/5

㈱カネソウ マンホール鉄蓋　ＭＷＥ－Ｓ－６００（丸）－ｂ と同等品とする

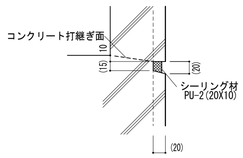
タラップ　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

	数量
点検口	36
人通口	42

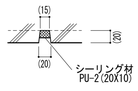




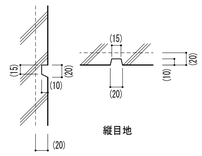
コンクリート打ち放し、コンクリート打ち放しの上仕上塗材、塗装等　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)



打継ぎ目地

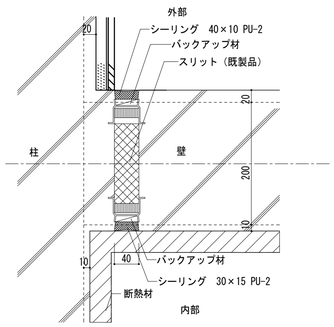


ひび割れ誘発目地

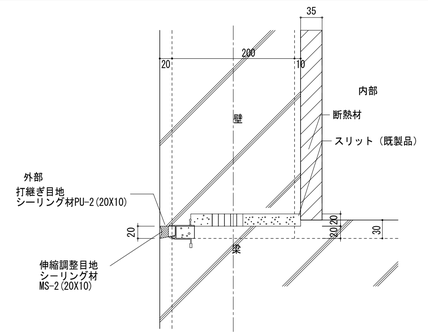


化粧目地

耐震スリット　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)



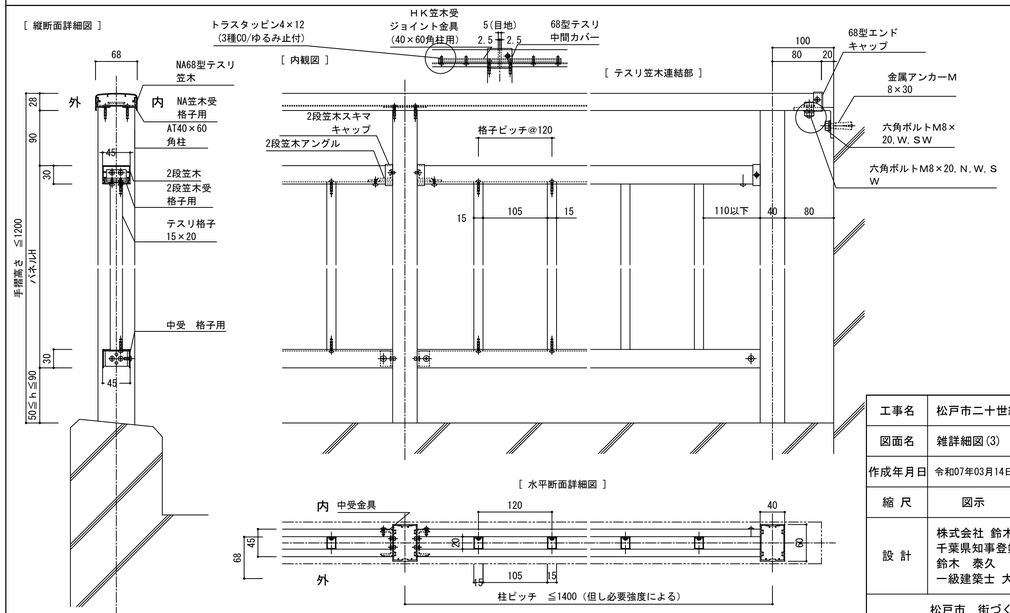
垂直スリット（完全型）



水平スリット（完全型）

※　スリット材は既製品の耐火型とする。

屋外階段手摺詳細図　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)



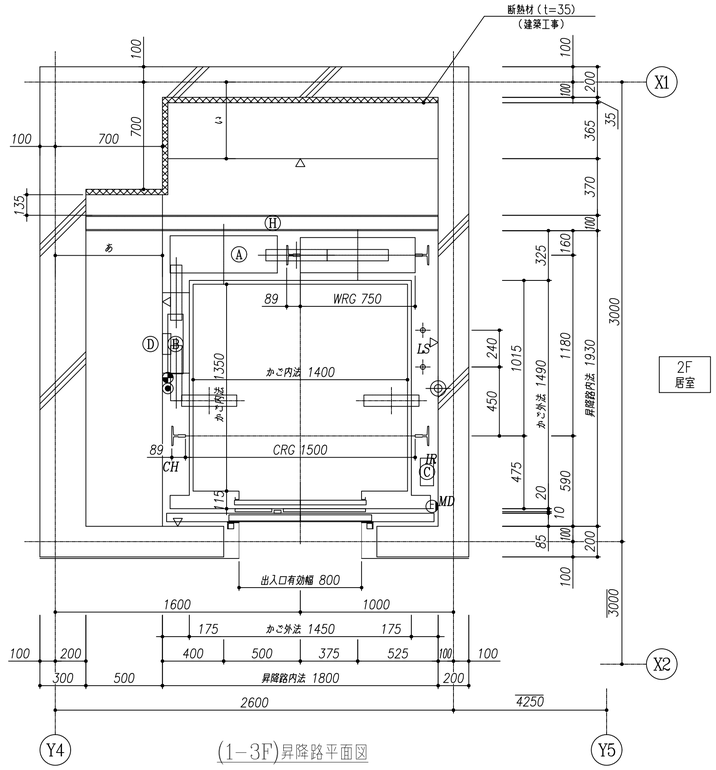
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	雑詳細図(3)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	図示	図面番号	A-069
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

高調波（高周波ノイズ）への注意事項
電源側遮断器に漏電遮断器等を設置する場合は、下記対策を実施願います。
1．漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、
感度電流値は昇降機1台あたり50mA（感度設定値100mA相当）の
漏洩電流として設定下さい。
2．昇降機と同一電源トランスを使用している機器の漏電遮断器、漏電警報器にも
「インバータ対応型」を使用して下さい。
また高周波漏洩電流と高周波ノイズの影響を低減するため、下記対策を推奨します。
1．昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないで下さい。
やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。
2．昇降機の電源トランスと弱電機器の電源トランスを分離して下さい。
3．昇降機のアース線と弱電機器のアース線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。
4．昇降機の昇降路や動力線の近くにラジオや通信機器のアンテナを設置しないで下さい。

電源設備（1台当たり） 【電気工事】						
記号	種別	線種等			引込み高さ	引出し最長さ
⊕	動力用電源	3Φ 3W AC 200V 50Hz			EVFL-100	3500mm
		幹線サイズ（mm²）	3.5	5.5 8		
		幹線こう長（m）	31	49 70		
		電気室ブレーカ（A）	30			
		接地線（mm²）	2			
		電源設備容量（kVA）	5			
		全負荷定速時電流（A）	30			
		全負荷加速時電流（A）	34			
		制御盤内蔵圧トランス容量（kVA）	0.15			
	自家発動力用電源	－				
	照明用電源	1Φ 2W AC 100V 50Hz				
		照明用電源容量（kVA）	1.0			
		非常用電源設備容量（kVA）	－			
	クーラー用電源	－				
⊕	ピットコンセント	AC100V 10A 1個			EVFL-200	
◉	電話回線用配線	別途打合せによる			EVFL+100	3000mm
◔	弱電用配線				EVFL+100	8500mm

A	巻上機	（EV工事）
B	制御盤	（EV工事）
C	受電箱・ピットタラップ	（EV工事）
D	地震感知器	（EV工事）
H	L－100×50×5	（EV工事）

P	インジケータ
Q	一般用押釦芯
R	車いす用押釦芯

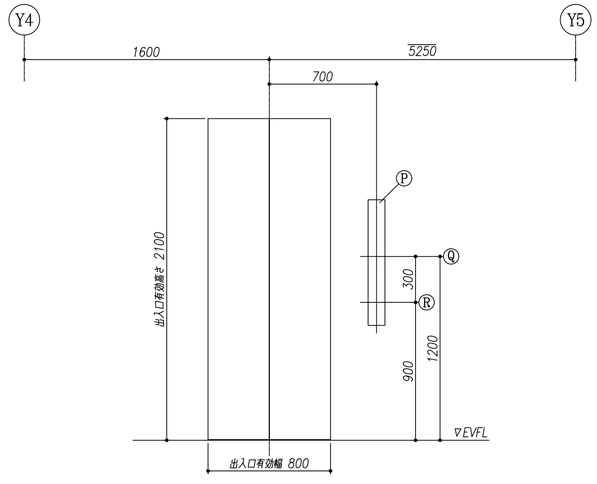


(1－3F)昇降路平面図

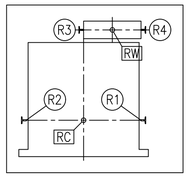
注：ピット内は、塗膜防水仕上塗います。
△：防水仕上面を示す。

階	あ×梁成	梁天端レベル
地中梁	700× －	FL±0
2－3F	500× 900	FL±0
RF	500× 900	FL±0

階	い×梁成	梁天端レベル
地中梁	500× －	FL±0
2－3F	500× 900	FL±0
RF	500× 900	FL±0



(1－3F)出入口正面図



ピット部反力（kN）：長期荷重

R1	R2	R3	R4
20	20	36	15

ピット床衝撃力（kN）：短期荷重

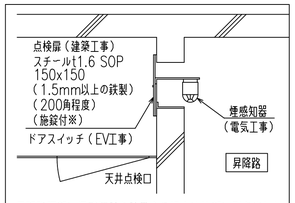
RC	RW
69	60

レールに作用する荷重値（kN）

	Px	Py
かご	5.1	3.3
おもり	7.3	3.7

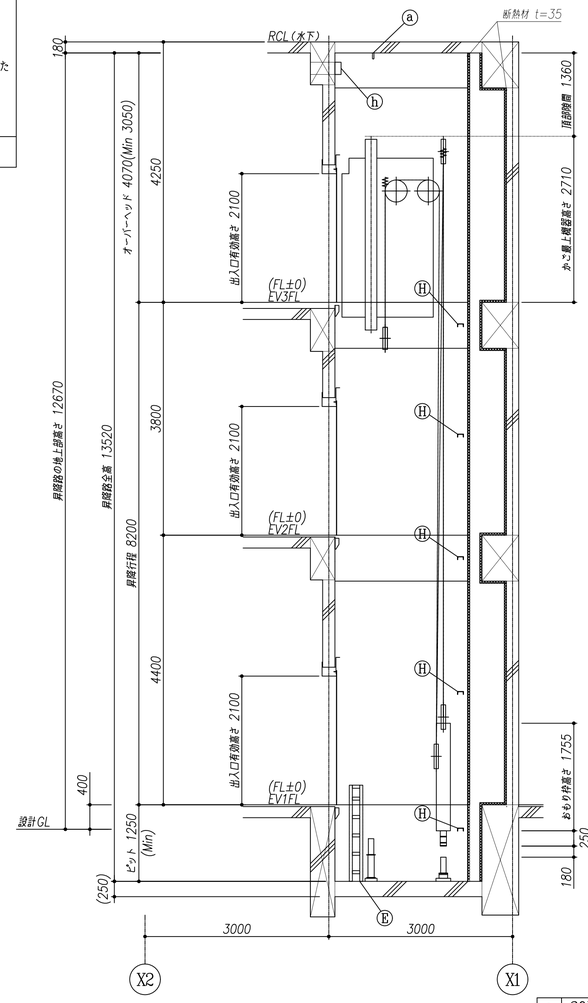
短期荷重による建築部材のたわみは
5mm以下としてください

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	昇降機詳細図(1)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	－
縮尺	1:20(A1) 1:40(A3)	図面番号	A-070
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は外部に引き出した状態で点検可能なよう施工願います。（建築工事）
点検口の位置は、塔内機器と干渉する恐れがあるため、事前にご相談下さい。
※施錠は、緩めるのに工具が必要なネジで代用可。

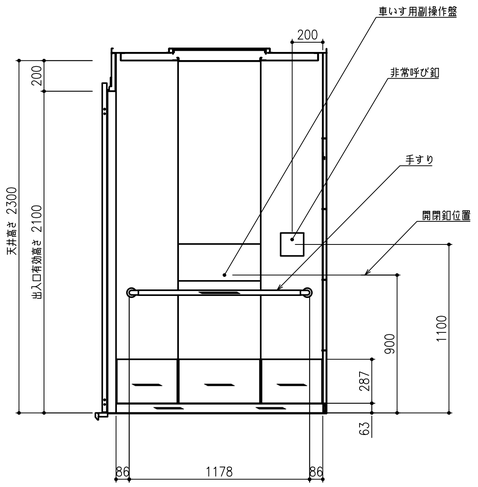
煙感知器の施工例（屋内用）



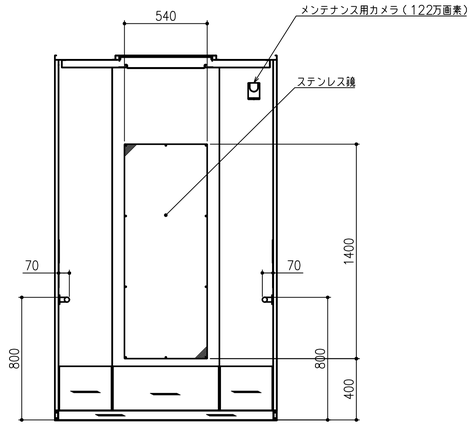
昇降路断面図

a	20kN 吊りフック	(建築工事)
h	煙感知器	(電気工事)
E	タラップ	(EV工事)
H	中間ビーム □ 100×50×5	(EV工事)

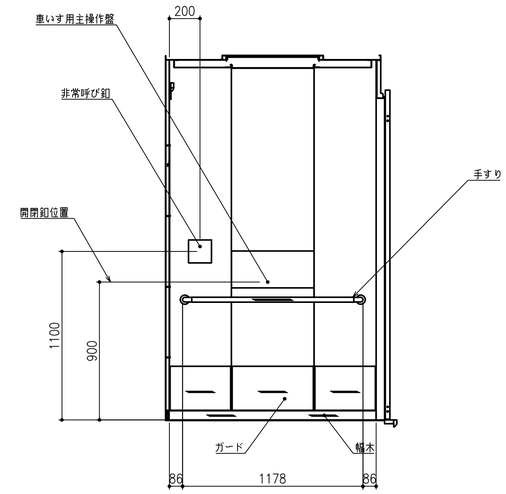
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	昇降機詳細図(2)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:20(A1) 1:40(A3)	図面番号	A-071
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



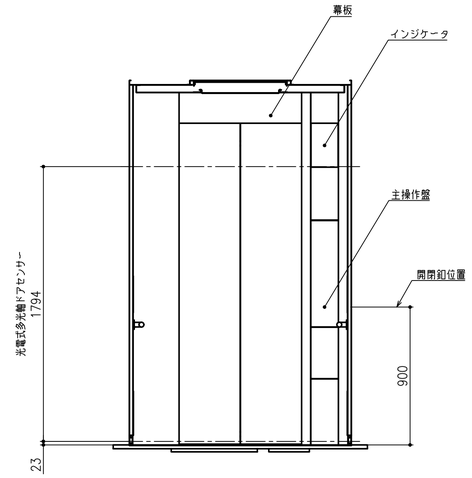
矢視 A



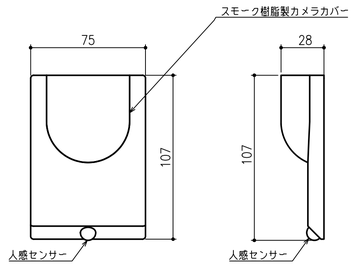
矢視 B



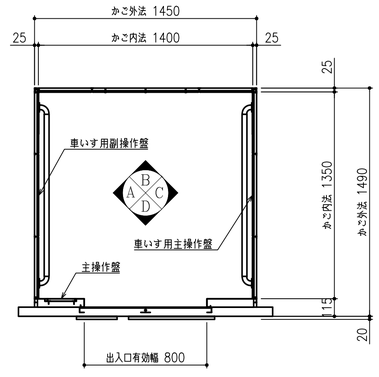
矢視 C



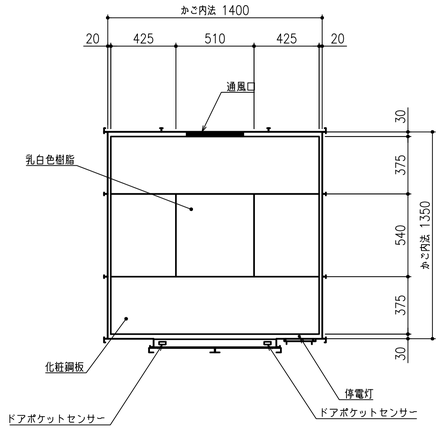
矢視 D



カメラ詳細図



かご平面図



天井見上図

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	昇降機詳細図(3)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:20(A1) 1:40(A3)	図面番号	A-072
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

仕　様　一　覧

号　機		― ― ―
用　途		乗用（車いす仕様）
機　種		XIOR（エクシオール／機械室レス）XI02
制御方式		インバータ制御方式（電力回生無し）
運転操作方式		乗合全自動方式
積　載		750 kg 11 名
速　度		45 m／min
動力用電源		三相3線 200 V 50 Hz
照明用電源		単相 100 V 50 Hz
巻上電動機		3.5 kW
停止階及び数		（正面） 1−3 階 3 個所 （背面） 階 個所
かご内法		（間口） 1400 mm（奥行） 1350 mm（高さ） 2300 mm
出入口寸法		（間口） 800 mm（高さ） 2100 mm
戸の方式		2枚 両引き（電動式）
おもり		50 %バランス
荷重条件	※1	250 kg以下

管制運転	地震時管制運転	●：（P・S波）リスタート運転機能付
	火災時管制運転	●
	停電時自動着床	●
	冠水時管制運転	●
	自家発時管制運転	―
	緊急地震速報連動	―
	長周期地震時管制運転	―
セーフティ機能	カードアポケットセンサー	●
	光電式ドアニック	―
	光電式多光軸ドアセンサー	●
	ドアエッジセンサー	―
	ドアウインカー	―
ユニバーサルデザイン 福祉対応	車いす仕様	●
	音声案内装置	●：四ヶ国語対応（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	視覚障がい者仕様（点字）	●
	聴覚障がい者仕様（必答打ボタンオン・ボタン）	―
	発音機能付ラクタイルボタン	●
	走行お知らせ音	●
	敷居隙間 10mm	●

特記仕様		AirTop 非接触ボタン（一般用主操作盤,車いす用操作盤,インジケータ昇ボタン）
		抗菌仕様ボタン（乗場/かご）
		非常呼信号 1A
		行先階キャンセル機能
		かご内非常呼ボタン
		放送用スピーカー
		かご上非常呼（ブザー）
	監視盤	―

高調波対策	EMIフィルタ 零相リアクトル（標準）	● （回路分類NO.31 換算係数Ki＝3.4）
	標準＋ACリアクトル	― （回路分類NO.32 換算係数Ki＝1.8）
	標準＋DCリアクトル	― （回路分類NO.33 換算係数Ki＝1.8）
	標準＋AC・DCリアクトル	― （回路分類NO.34 換算係数Ki＝1.4）

乗場	三方枠	全階	6t フラットバー枠 ステンレスヘアライン仕上
	幕　板		
	扉	全階	化粧鋼板
	遮煙乗場ドア		●：1−3階
	防犯窓		―
	敷　居	全階	硬質アルミ製
乗場意匠機器	表示機器	全階	デジタル表示／押ボタン組込
	押ボタン	全階	35φ抗菌樹脂ボタン／非接触呼登録（一体型）
	フェースプレート	全階	ステンレスヘアライン仕上

かご	天　井	スタンダードタイプ
	袖　壁	ステンレスバイブレーション仕上（入口柱一体）
	入口柱	―
	側　壁	化粧鋼板
	幕　板	化粧鋼板
	扉	化粧鋼板
	幅　木	ステンレスヘアライン仕上
	床	t=2.0 ビニールタイル
	敷　居	硬質アルミ製
	換気装置	クロスフローファン
主操作盤	表示機器	液晶表示／操作盤組込
	押ボタン	35φ抗菌樹脂ボタン／非接触呼登録（一体型）
	フェースプレート	ステンレスバイブレーション仕上
	手すり	32φ ステンレスヘアライン仕上（補部亜鉛ダイカスト製）
	鏡	標準ステンレス鏡（周囲ビス止め）
	ガード	ステンレスヘアライン仕上（H＝350）
	保護幕	●：標準品（取付：磁石式）
	床マット	●
	ＩＴＶカメラ	●：メンテナンス用のみ

特記仕様	

※昇降路内温度の制約

下記いずれかの場合は、「換気上有効な開口部、換気設備又は空気調和設備」を設ける必要があります。

- 昇降路内温度が40℃を超える場合
  （エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等による）
- エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇が7℃を超える場合

エレベータ機器発熱量 ~~（かご用クーラー含む）~~	437 W
エレベータ機器発熱量による 昇降路内温度上昇	7℃以下

※エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等により、
昇降路内温度が40℃を超えないかご確認ください。

基本仕様

- 最寄階救出運転
- 戸開き不能時救出運転
- 乗り過ぎ検出（警報ブザー及び音声案内）
- 各階強制停止運転（各停運転）
- 昇降機耐震設計・施工指針（2016年版）対応
- 戸開走行保護装置
- イオンフル（プラズマクラスター技術搭載／シャープ（株）商標）
- 耐震クラス（ A14 ）

エコロジー機能

- かご天井 ＬＥＤ照明（液晶インジケータのバックライトもＬＥＤ化）
- シックハウス対策（法令（建基）に基づいたシックハウス対策に対応）
- かご照明の自動休止

NEWゴールドメンテナンス契約により有効となる機能

- 地震管制後の自動診断・仮復旧運転
- メンテナンス用カメラによる、遠隔映像監視・遠隔閉込救出対応
- ２４時間リモート点検
- 聴覚障がい者仕様：応答液晶表示（仕様が付加された場合、契約に関わらず有効）

※１４輪手押し台車等で荷物を積み込む場合は、台車の重量を含んで、
荷重条件以下に分けて積み込みください。

―

車いす仕様

乗　場	車いす専用乗場ボタン
かご内室	車いす専用かご主副操作盤（主側のみインジケータ付）
	鏡
	手すり
セーフティ機能	戸開放時間の延長
	戸閉速度の低減
	自動着床修正装置
	光電式多光軸ドアセンサー

遮煙エレベータ乗場ドア

認定番号　CAS−0599（国住指第4108号）

1~3　階　乗場ドアは、上記認定品とする。

認定条件通り　停電時自動着床装置と火災管制運転（自動）を合わせて設置しております。

遮煙エレベータ乗場ドア設置上の注意事項

- 遮煙エレベータ乗場ドア設置条件として、建物の火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給いただく必要があります。
- 建物側で自動火災報知設備の設置義務が無い場合においても、遮煙エレベータ乗場ドア設置階のエレベータホールに煙感知器などの火災感知器を設置の上火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給願います。

AirTap

タッチレスでエレベータを操作する装置
納入仕様　■含む □含まず

エレベータ除外工事

建築工事関係除外工事

1．昇降路の築造工事。
（コンクリート打ち誘発により必要となるはつりまたは肉付け工事）
・昇降路のコンクリート強度は 21N/mm²（FC21）以上。
・昇降路のコンクリート壁厚は 150mm 以上。
・昇降路の壁（囲い）は、5cm² の任意の面に直角方向の外力（300N）が作用しても15mmを超える変形及び塑性変形を生じない構造とする。
2．各階出入口（インジケータ、押釦用孔含む）の孔あけ工事。
3．各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め もしくはロックウール詰め工事。
4．乗場据付後の出入口廻りの壁・床及び建築物補修仕上工事。
5．屋上・開放廊下等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備工事。
（排水口・水勾配・庇など）
6．ピット内防水仕上工事、およびピットが深い場合の埋め戻し工事。
（エレベータ工事の着工前に完了のこと）
・防水厚は 25mm 以下。
7．昇降路頂部の荷吊り用フック（ 20kN）設置工事。

設備工事関係除外工事

1．エレベータ受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み、並びにつなぎ込み工事。
2．昇降路外のインターホン・非常ベル、その他エレベータに必要な配管配線工事。
3．ピット点検用コンセント設置工事。
4．昇降路頂部の煙感知器設置工事。（昇降路頂部より点検が可能な場）
5．エレベータ遠隔監視用電話線（電話中継盤から監視ユニット設置場所まで）の配管配線工事。

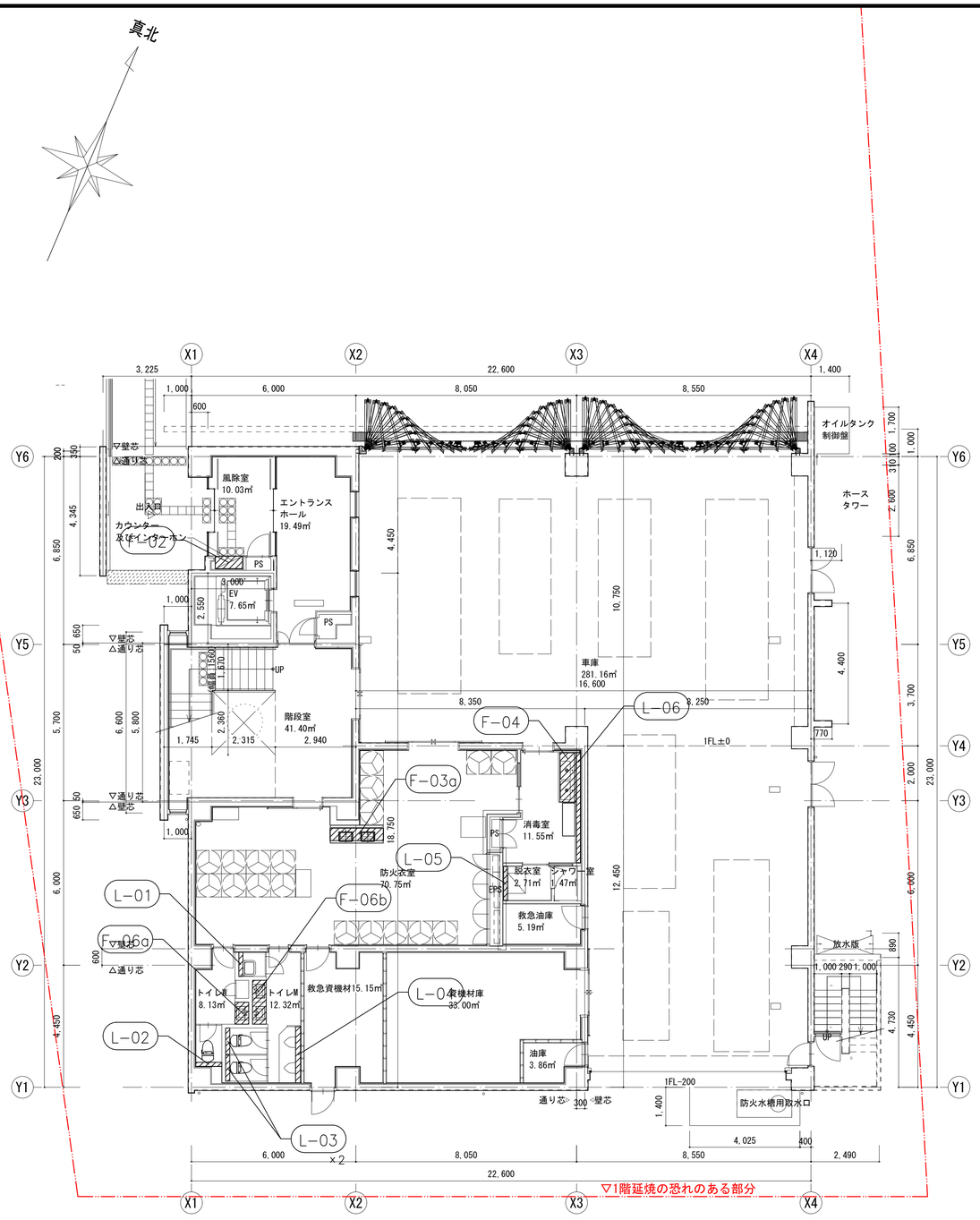
注意事項

1．昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。昇降機に必要な配管設備にあっては、昇降機の機能に支障無きよう願います。また、昇降路壁には、エレベータ以外の電気・水道等の配管・器具類を埋め込まないで下さい。
2．エレベータ受電端における電源電圧の変動は±5％以内、照明用は±2％以内、電圧不平衡率は5％以内に保つよう電源を設置下さい。
3．昇降路内温度は40℃、湿度は月平均90％・日平均95％を超えないようにして下さい。
4．昇降路には有毒ガスや甚だしい塵あい等が入らないようにして下さい。
5．昇降路および出入口は直雨に直接さらされたり、塩分の影響を受けないようにして下さい。
6．エレベータ機器の搬入に支障のない経路を確保願います。
（必要に応じてコンクリート孔あけ、および埋戻し工事）
7．据付工事用仮設電源、試運転用電力、砂、セメント、水等は無償供給願います。
8．工事現場におけるエレベータ部品、据付材料の保管場所を無償貸与願います。

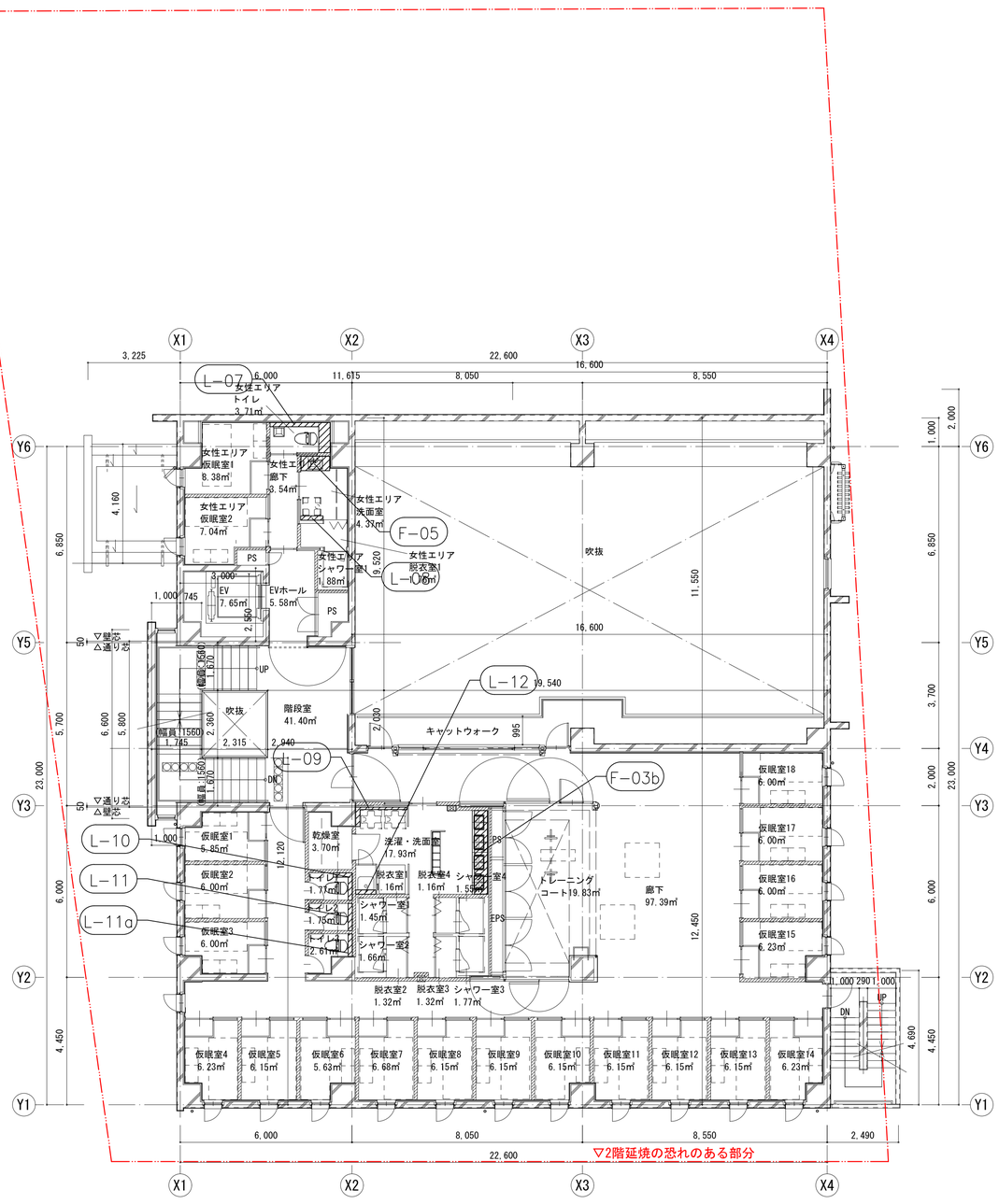
下記作業については、別途見積りとなります

- 夜間作業
- 部分営業中現場への搬入に際し、警備員・誘導員及び道路使用許可を必要とする場合
- 2階以上の階もしくは地階からの搬入作業
- 荷下ろし場所から設置・仮置き場所までの距離が30ｍを超える場合
- 据付工事短縮を必要とする場合
- エレベータを工事用として使用する場合の検査・清掃・復旧・補修・保守費用
- エレベータ据付工事以外で立会いが発生する場合
- 展望用エレベータ等で昇降路を養生する必要がある場合
- 床・壁等に養生を必要とする場合
- エレベータ着工前までの出入口開口部の養生材及び養生材設置工事
- その他特殊な事情がある場合

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	昇降機詳細図(4)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	1:20(A1) 1:40(A3)	図面番号	A-073
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

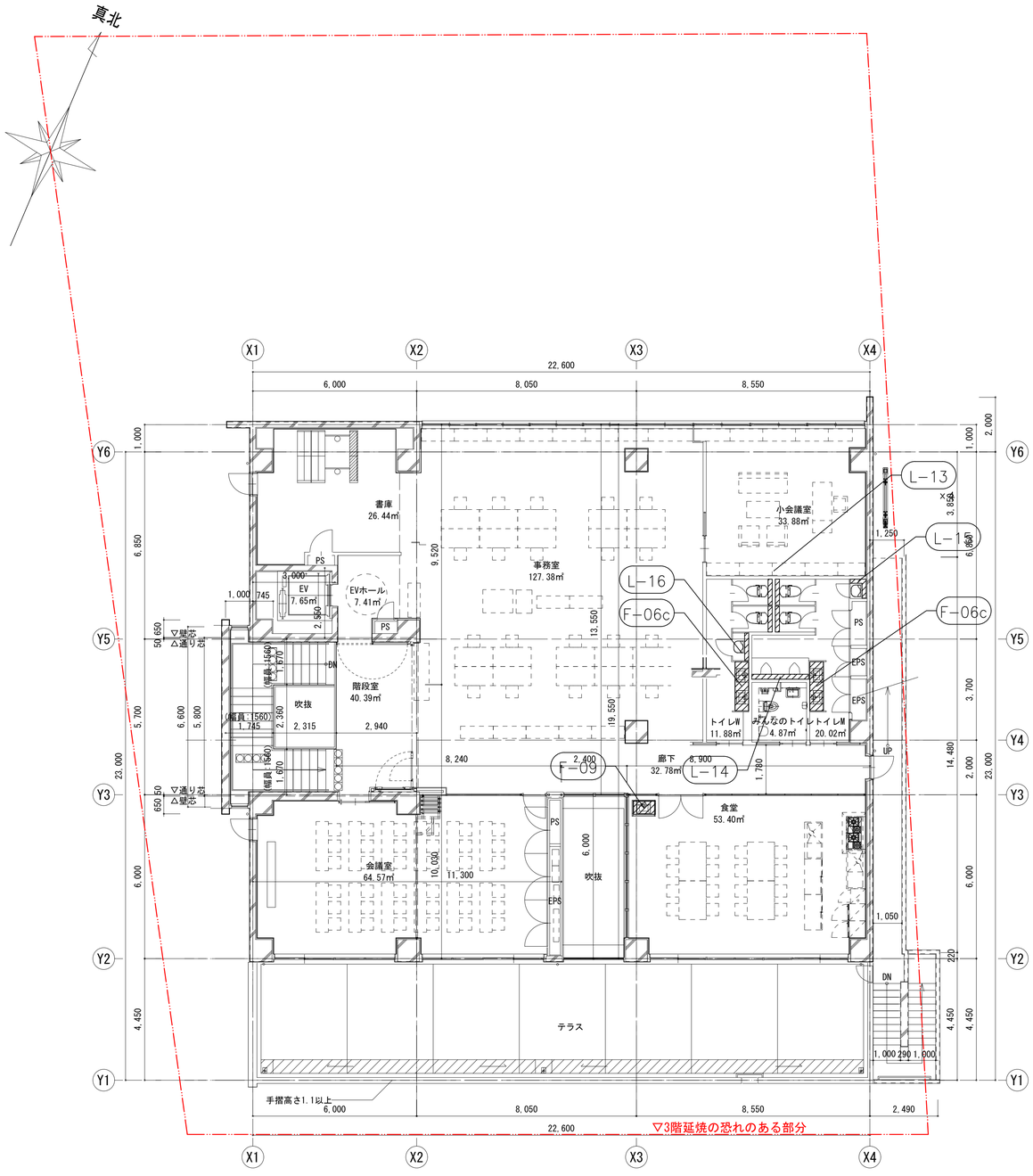


1階平面図　S=1:100

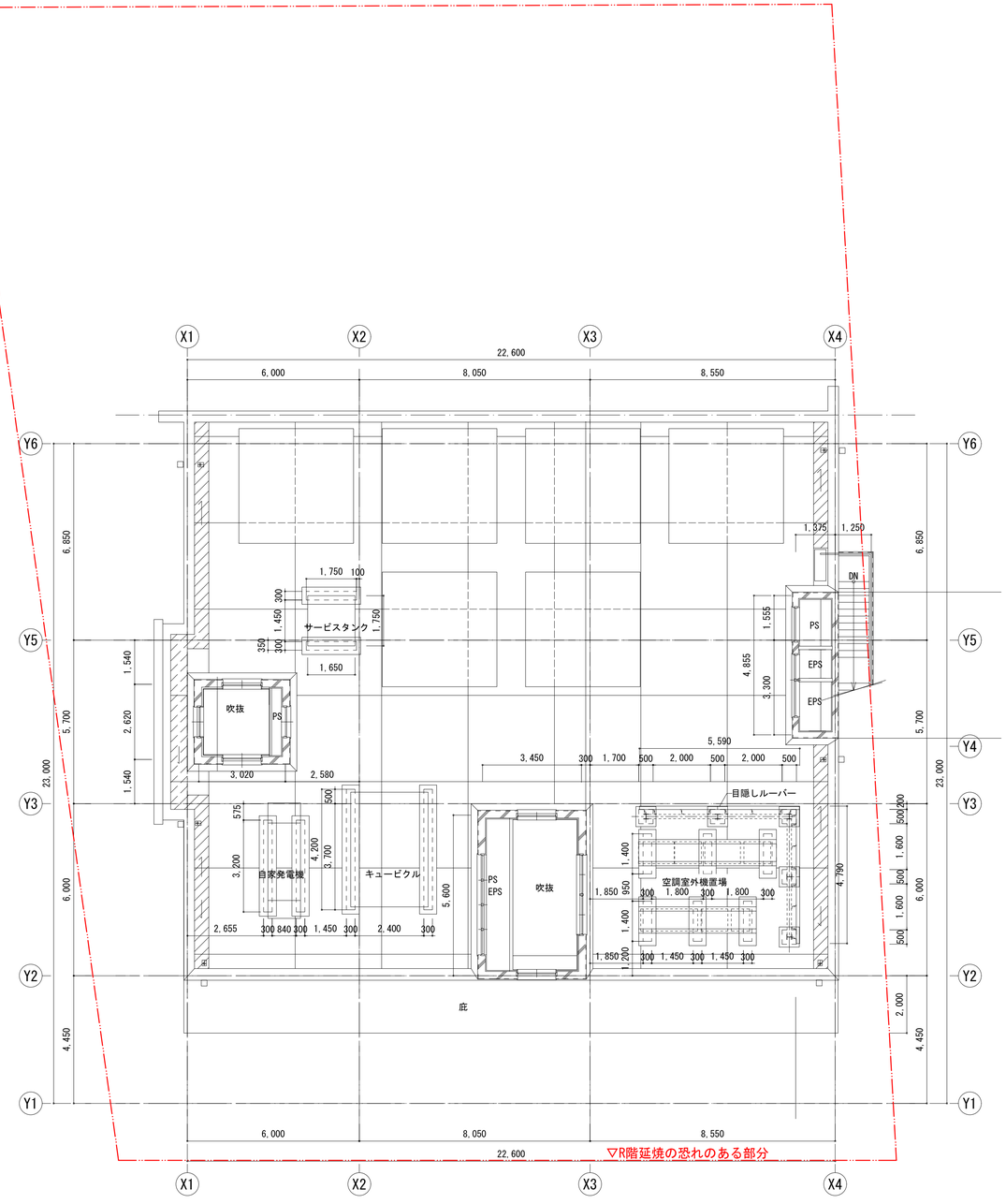


2階平面図　S=1:100

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	1,2階家具キープラン		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	A-074
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



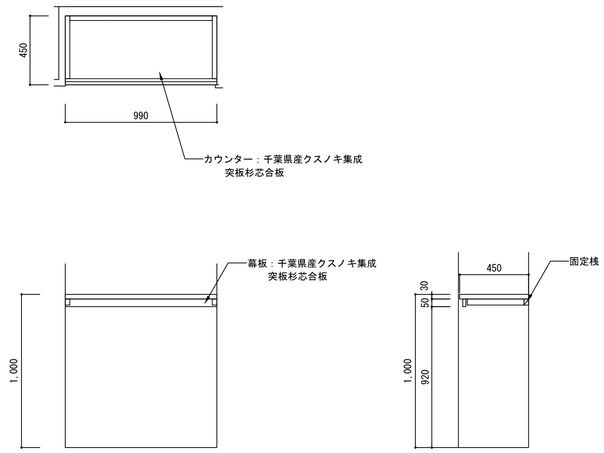
3階平面図　S=1:100



R階平面図　S=1:100

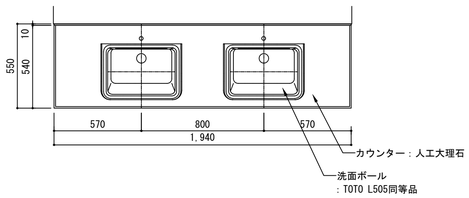
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	3、R階家具キープラン		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	A-075
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

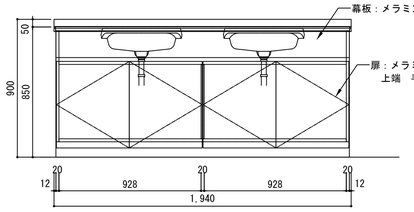
F-02	カウンター	1階　風除室	1ケ所



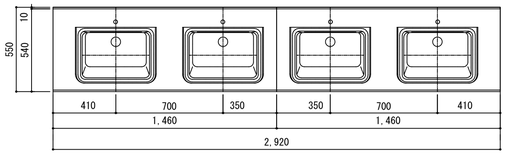
F-03	洗面カウンター	各階　各室	2ケ所

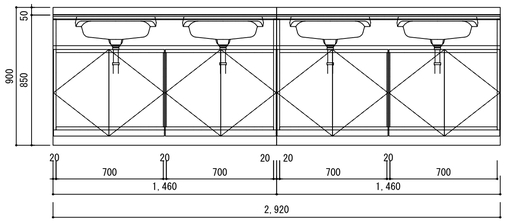
F-03a





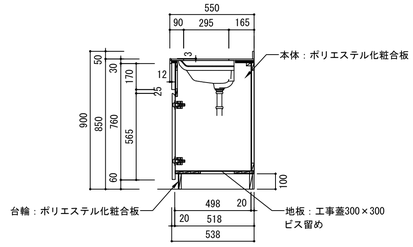
F-03b



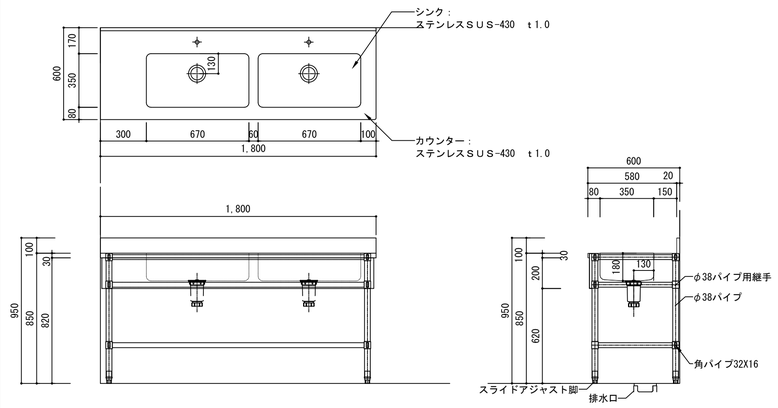


室名	室名	数量
F-03a	1階　防火衣室	1
F-03b	2階　洗面室	1
合計		2

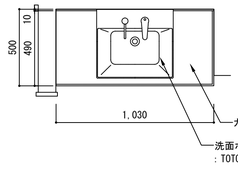
水栓金具・洗面ボール
・排水トラップ・シール及び
接続配管等は 家具工事外

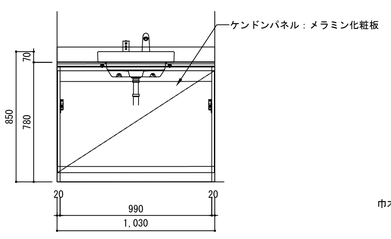


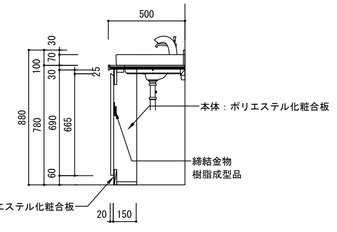
F-04	流し台	1階　消毒室	1ケ所



F-05	洗面カウンター	2階　女性洗面室	1ケ所



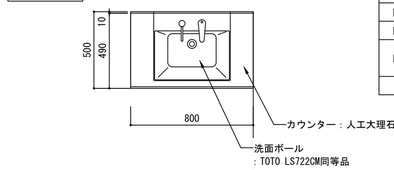


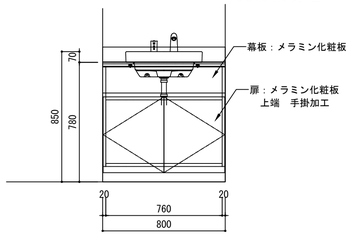


水栓金具・洗面ボール
・排水トラップ・シール及び接続
配管等は 家具工事外

F-06	洗面カウンター	各階　各室	4ケ所

F-06a

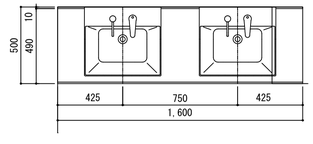


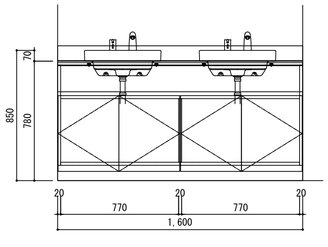


室名	室名	数量	小計
F-06a	1階　トイレ（女性）	1	1
F-06b	1階　トイレ（男性）	1	1
F-06c	3階　トイレ（女性）	1	2
	3階　トイレ（男性）	1	
合計			4

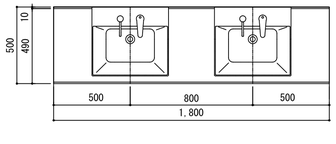
水栓金具・洗面ボール
・排水トラップ・シール及び接続
配管等は 家具工事外

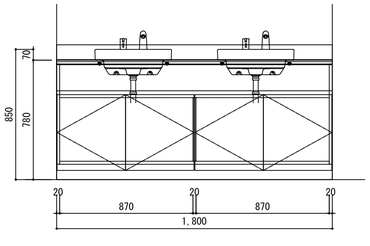
F-06b

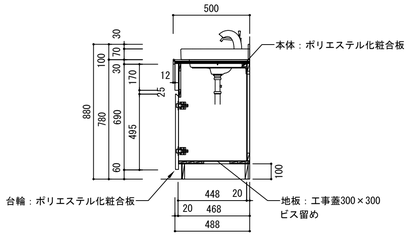




F-06c

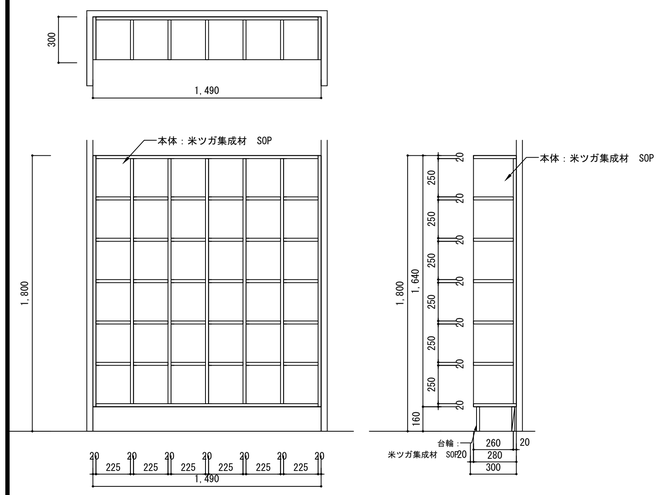




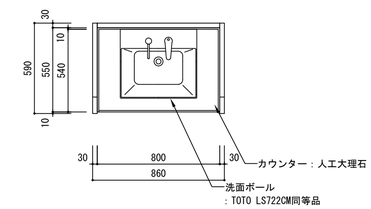


工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	家具詳細図(2)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:20(A1) 1:40(A3)	図面番号	A-077
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

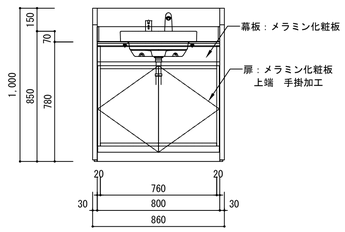
F-07　洗面棚（木工事）

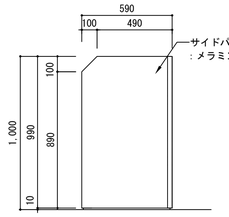


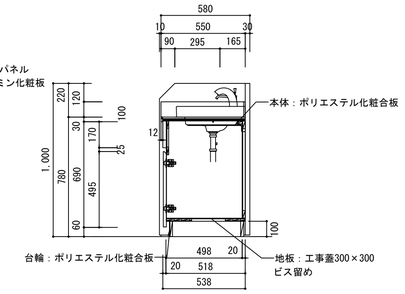
F-09　流し台　3階　食堂　1ケ所

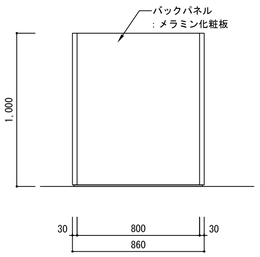


水栓金具・洗面ボール
・排水トラップ・シール及び接続
配管等は 家具工事外

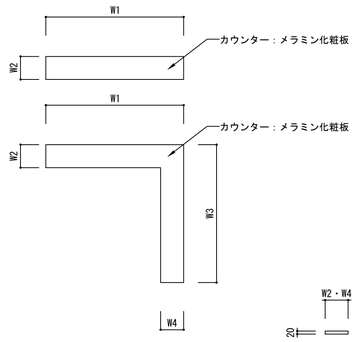






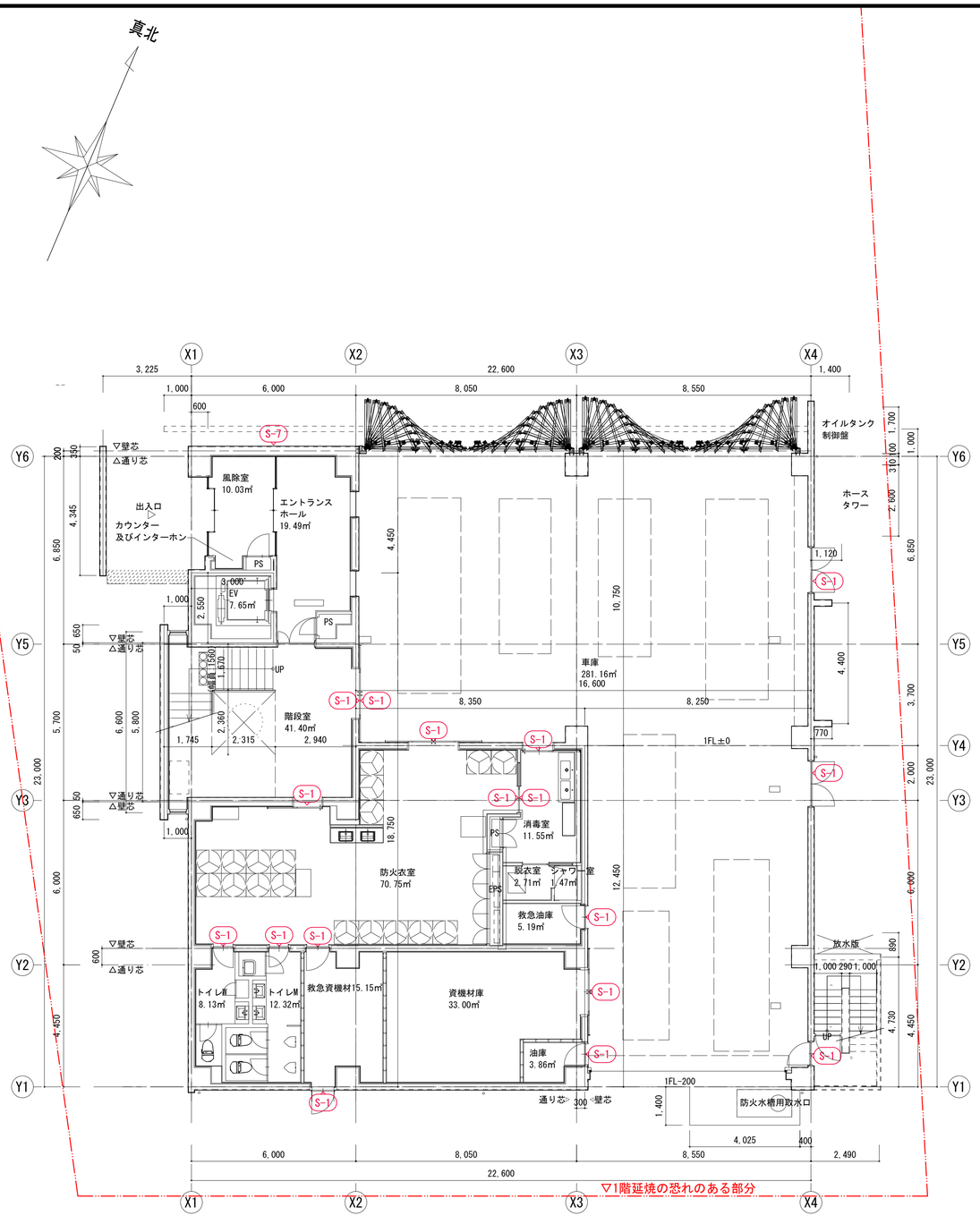


L-00　ライニングカウンター　各階　各室　19ケ所

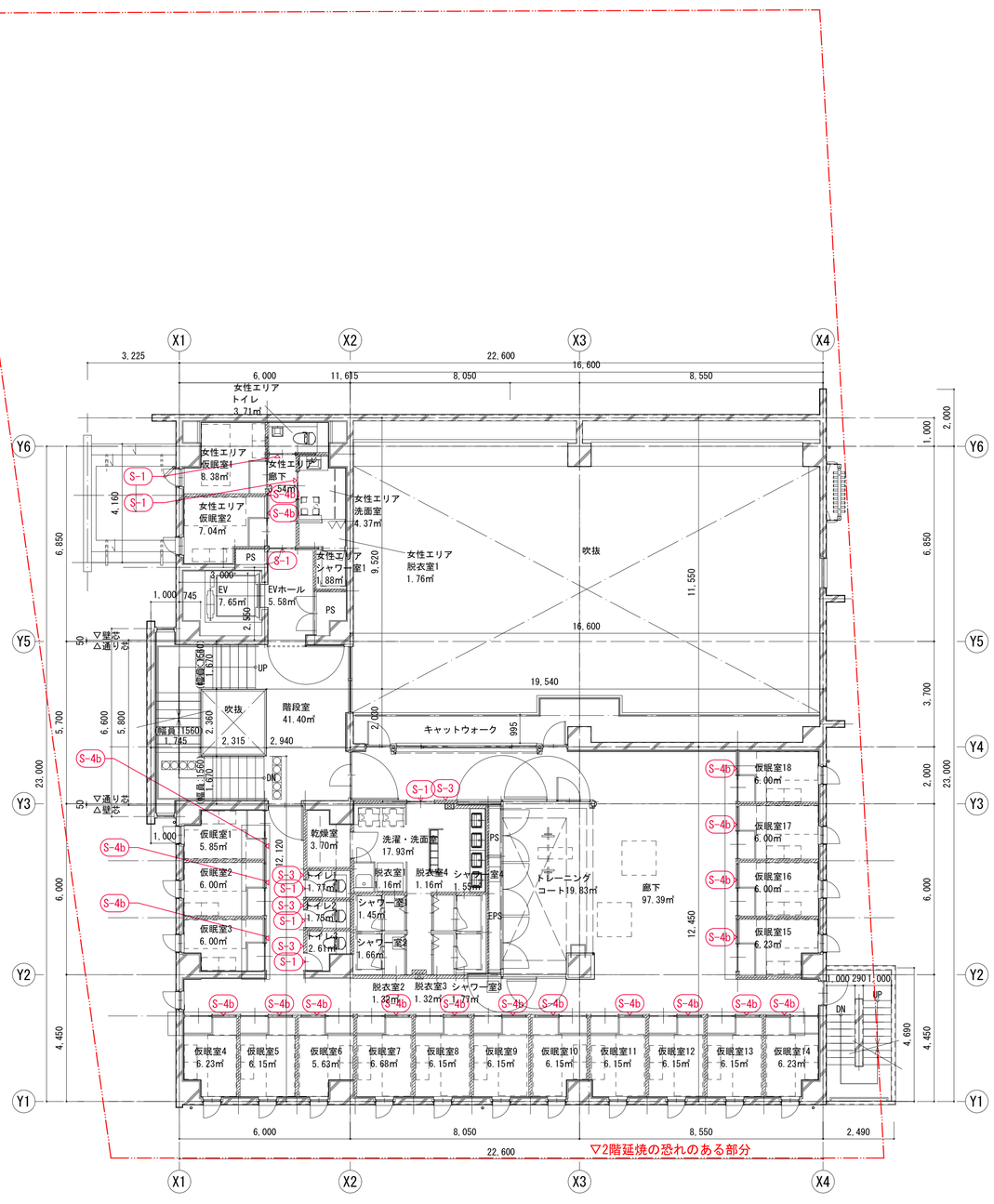


室名	室名	W1	W2	W3	W4	数量
L-01	1階　掃除用具入れ	900	150			1
L-02	1階　トイレ（女性）	950	150			1
L-03	1階　トイレ（男性）	950	150			2
L-04	1階　トイレ（男性）	2050	180			1
L-05	1階　脱衣洗濯室	1250	150			1
L-06	1階　消毒室	4000	150			1
L-07	2階　女性エリアトイレ	2100	150	1058	400	1
L-08	2階　女性洗面室	780	150			1
L-09	2階　男性洗面室	1770	90	680	150	1
L-10	2階　男性エリアトイレ	665	150	955	150	1
L-11	2階　男性エリアトイレ	945	150			1
L-11a	2階　男性エリアトイレ	790	150			1
L-12	2階　男性洗面室掃除用具入れ	700	150			1
L-13	3階　トイレ（男性・女性）	950	150			4
L-14	3階　トイレ（男性）	2080	180			1
L-15	3階　トイレ（男性）	585	150	690	150	1
L-16	3階　トイレ（女性）	1010	150			1
合計						21

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	家具詳細図(3)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:20(A1) 1:40(A3)	図面番号	A-078
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

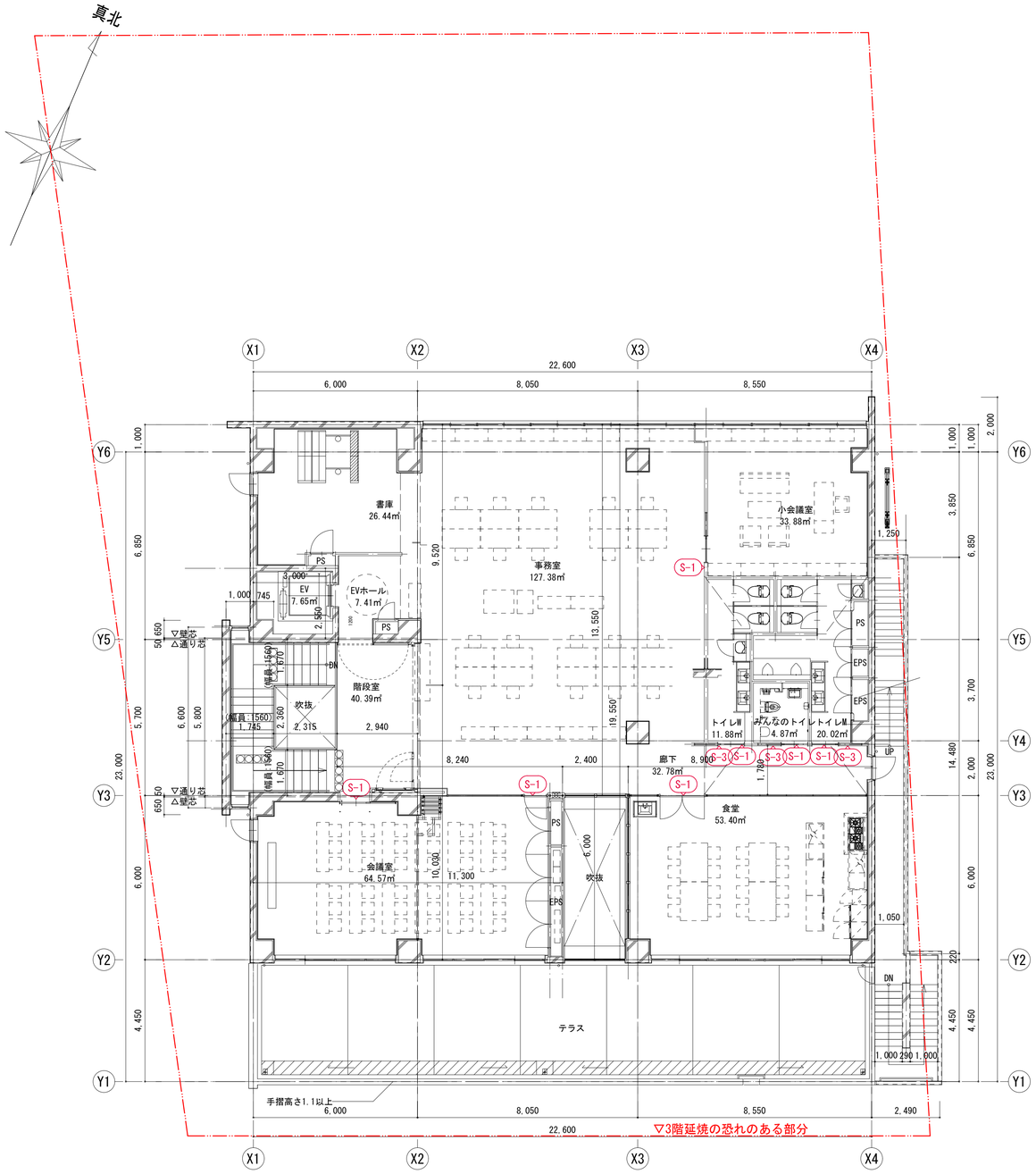


1階平面図　S=1:100

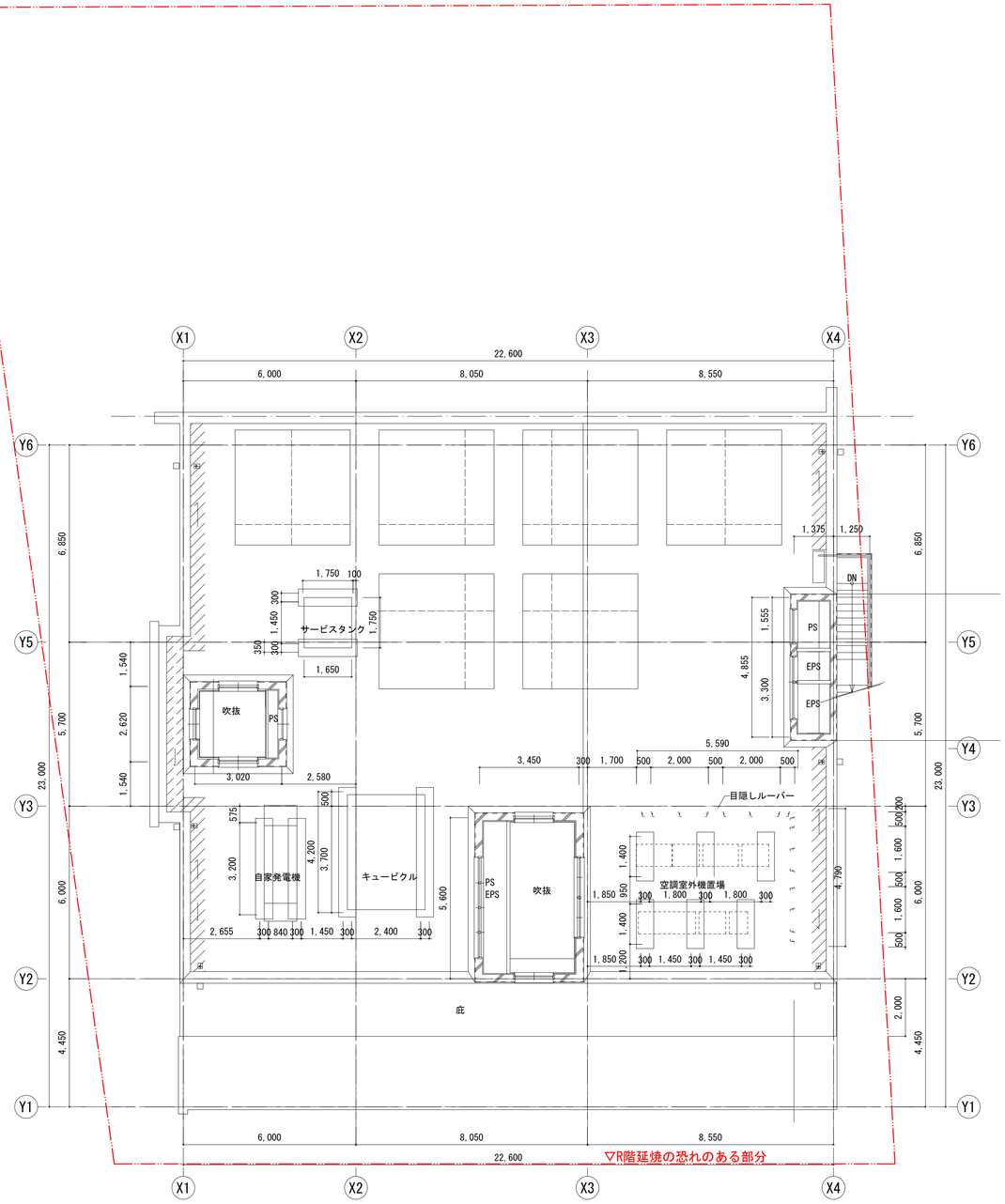


2階平面図　S=1:100

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	1、2階サインキープラン		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	A-079
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



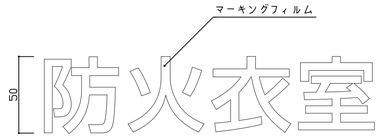
3階平面図　S=1:100



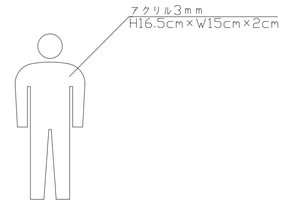
R階平面図　S=1:100

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	3、R階サインキープラン		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	A-080
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

S-1　室名サイン　縮尺 1:2　数量 31

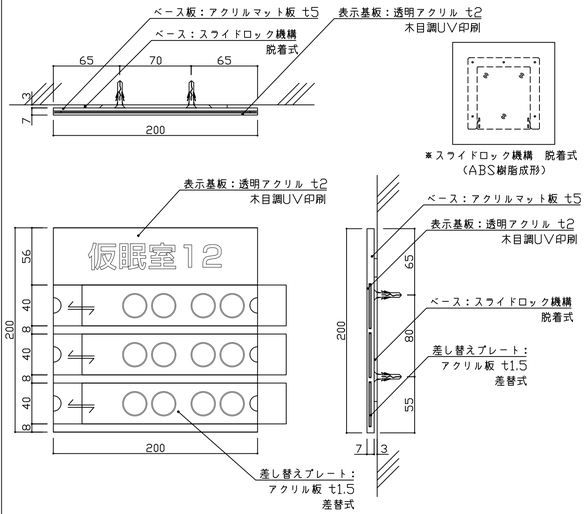


S-3　突出型サイン　縮尺 1:2,1:3　数量 7

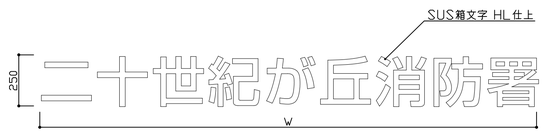


ツケレルン（1way ピクトサイン）軽量 アクリル 突き出し 西崎ベース同等品

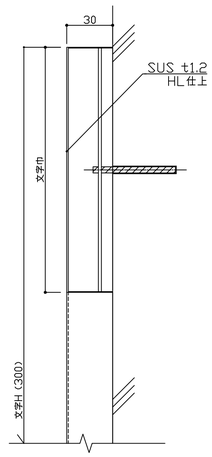
S-4b　平付型仮眠室サイン　縮尺 1:2,1:3　数量 20



S-7　館名板　縮尺 1:2,1:15　数量 1



※W寸法は現場にて打合せ



■サイン特記仕様

[1]使用材料
- a．木材　　：VOC商品（ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応）
- b．アルミ　　：JIS-H4100　A-6063　S-T5（アルミ押出型材）
- c．アクリル　：JIS-K-6718-1（キャスト板），JIS-K-6718-2（押出板）
- d．ステンレス　：JIS-G4305　SUS304、HL仕上

[2]フォント
- a．書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。
  - ※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。

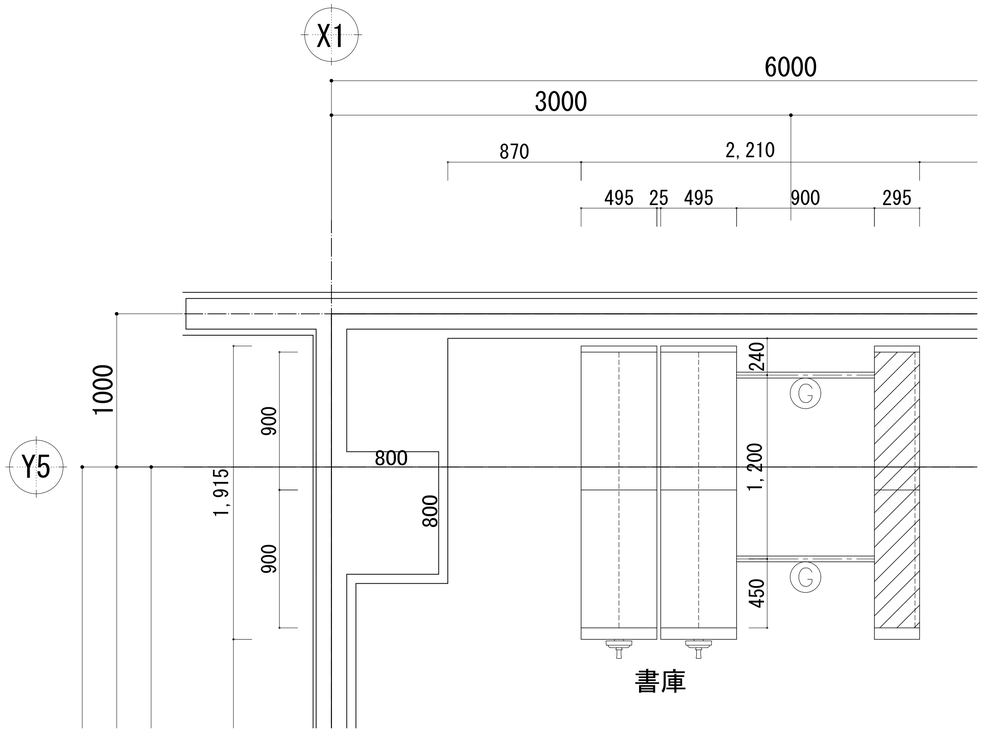
[3]ピクトグラム
- a．図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。

[4]ユニバーサルデザイン
- a．ピクトグラム表示や点字サインの導入を推奨する。
- b．多様な色覚に対応した配色や明度差を理解しているCUD賛助会員による製作を推奨する。

[5]取付位置・方法
- a．取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。
- b．取付方法については、取付位置の下地などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
- c．障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。

[6]その他
- a．室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。
  又、室名札脱着の際には　スライドロック機構、専用吸盤などを利用し
  商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様を推奨する。
- b．サイン計画については、当施設の他工事と充分に調整協議をすること。

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	サイン詳細図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	図示	図面番号	A-081
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



平面図　S=1/20

※通路巾の公差は ±5 mm

数量表 （基本連W900）

型　　式	台数	延段数 W900	ファイルメーター (0.86fm/段)
2連複式　可動棚　6段	2	48	
2連単式　固定棚　6段	1	12	
合　　計	3	60	51.60

≧ 40.00fm

< 特 記 事 項 >

- 積載物‥‥‥‥‥‥資料
- 積載質量‥‥‥‥‥35　kg/枚
- 棚板最大積載質量‥60　kg/枚
- 連最大質量‥‥‥‥600kg/複式連
- レール方式‥‥‥‥モルタル埋め込み方式　深さ35mm

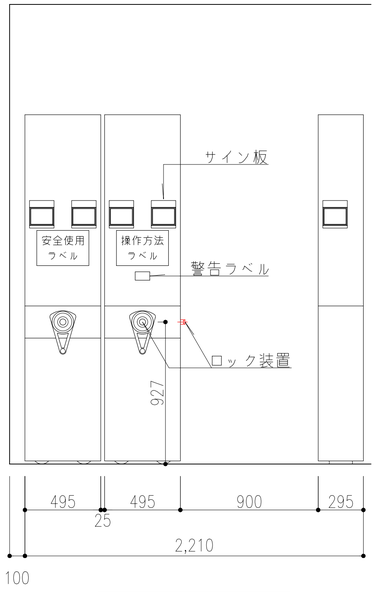
- 単式固定棚は裏板付
- 背面側板付

凡　例

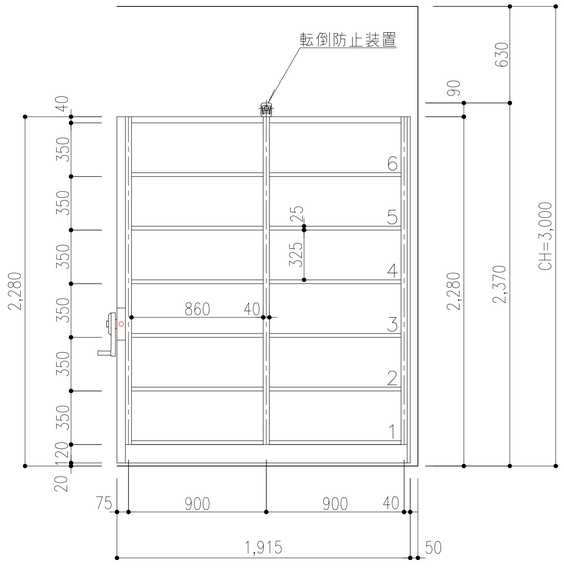
固　定　棚

可　動　棚

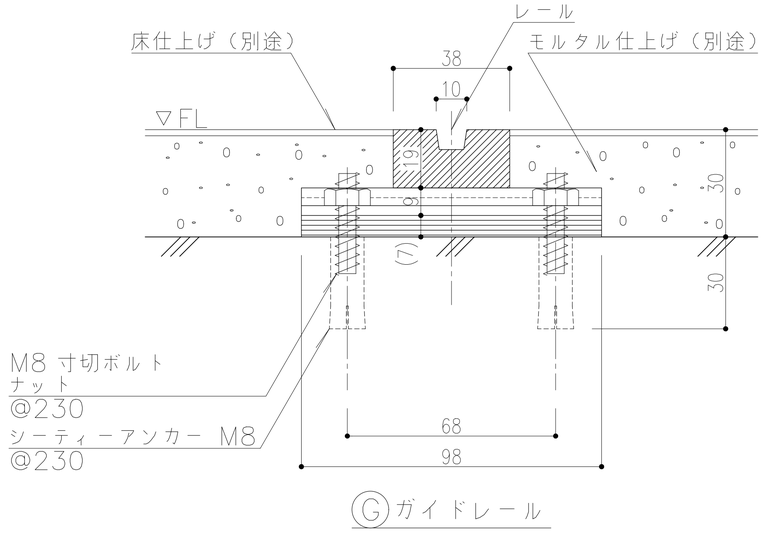
ガイドレール



正面図　S=1/20



側面図　S=1/20

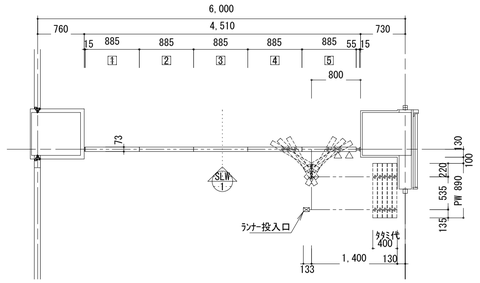


レール断面図　S=1/1

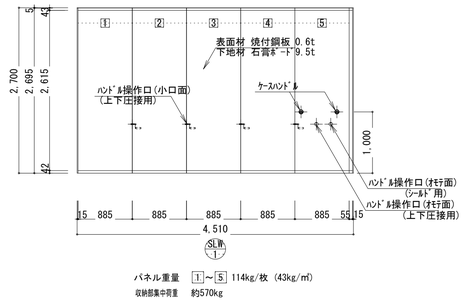
※場合により、ボルトが変更になる場合があります

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	移動式書庫詳細図(参考)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	図示	図面番号	A-082
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

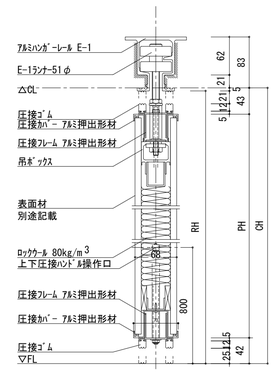
パネル割付図 S=1/50

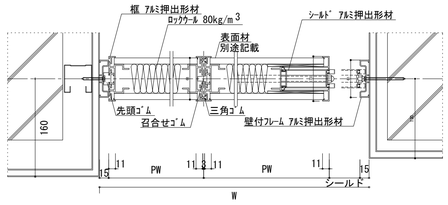


△：ハンドル操作口(面付)を示す

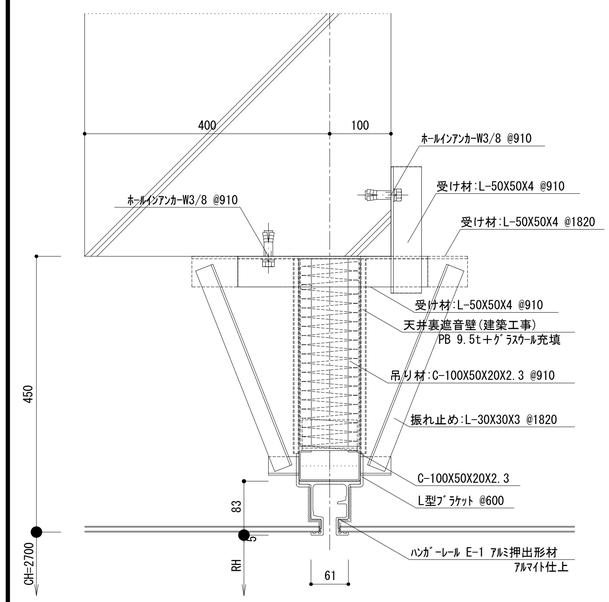


パネル重量　1～5　114kg/枚 (43kg/m²)
収納部集中荷重　約570kg

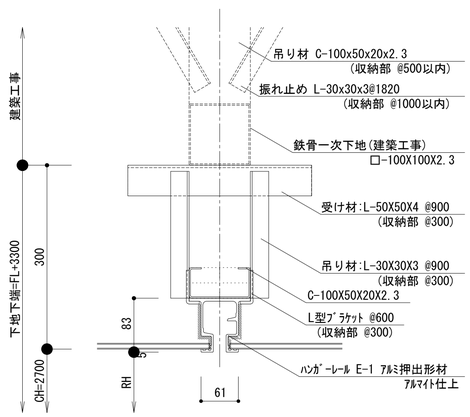




パネル断面詳細図 S=1/5

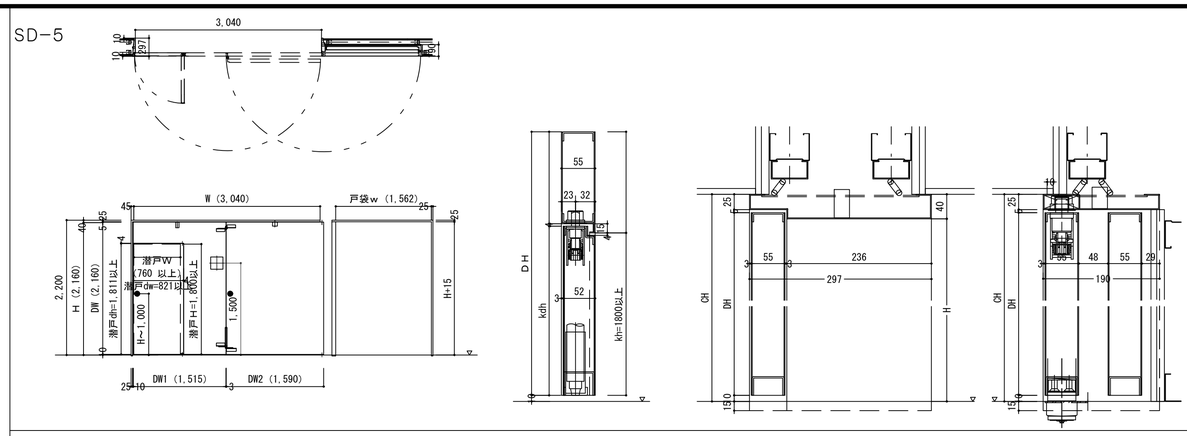


間仕切部

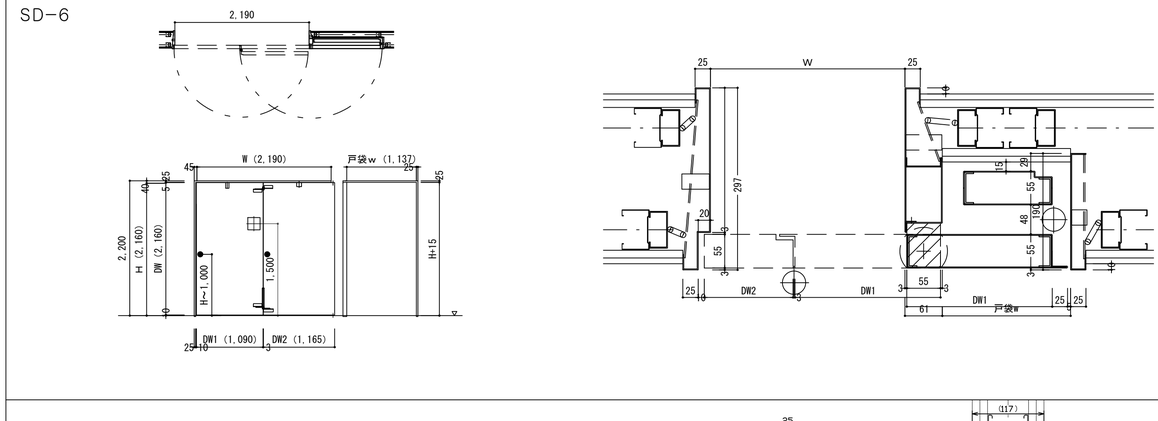


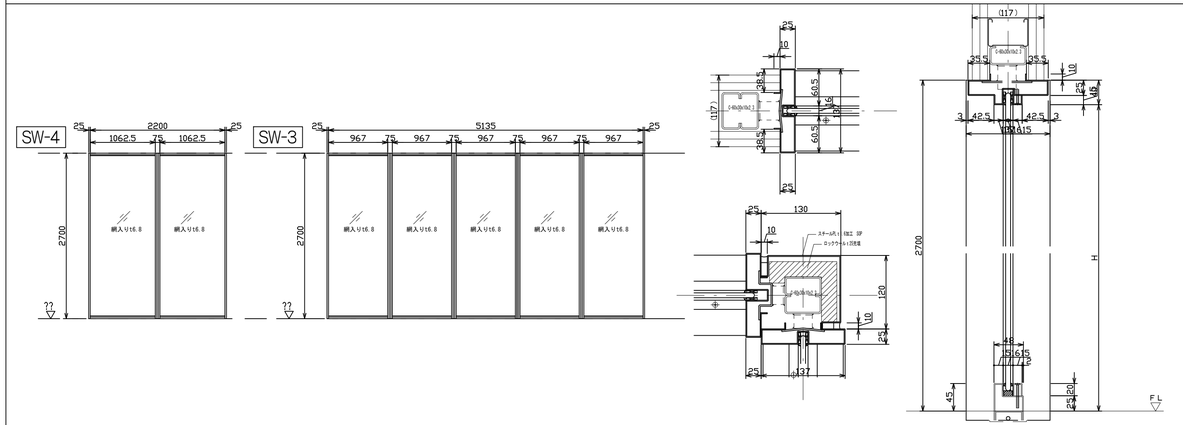
誘導・収納部

SD-5



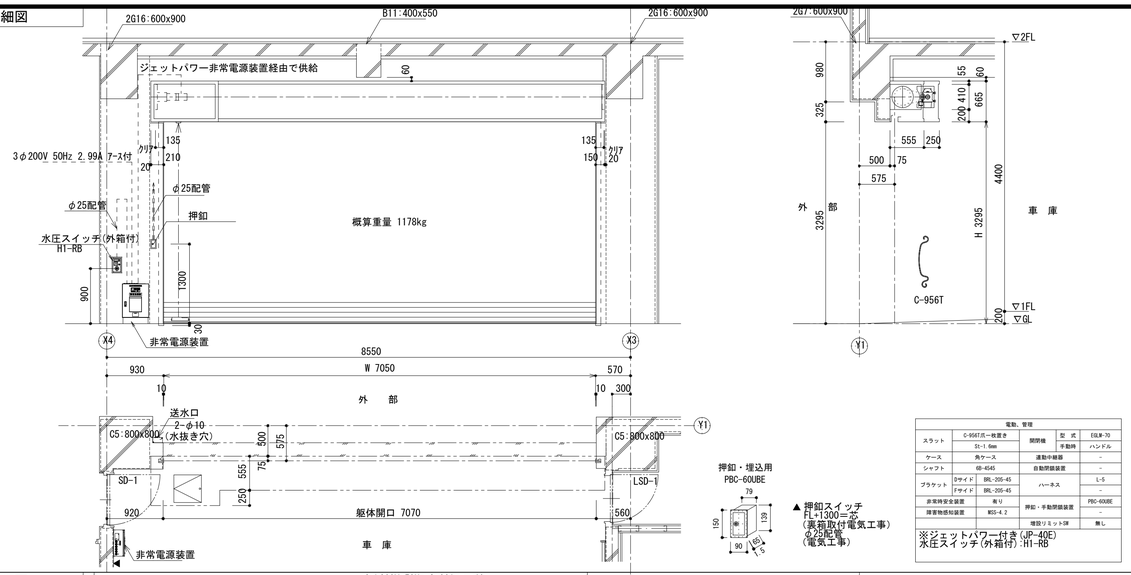
SD-6





工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	移動間仕切、防火戸詳細図（参考）		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	図示	図面番号	A-084
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

SS-1 詳細図



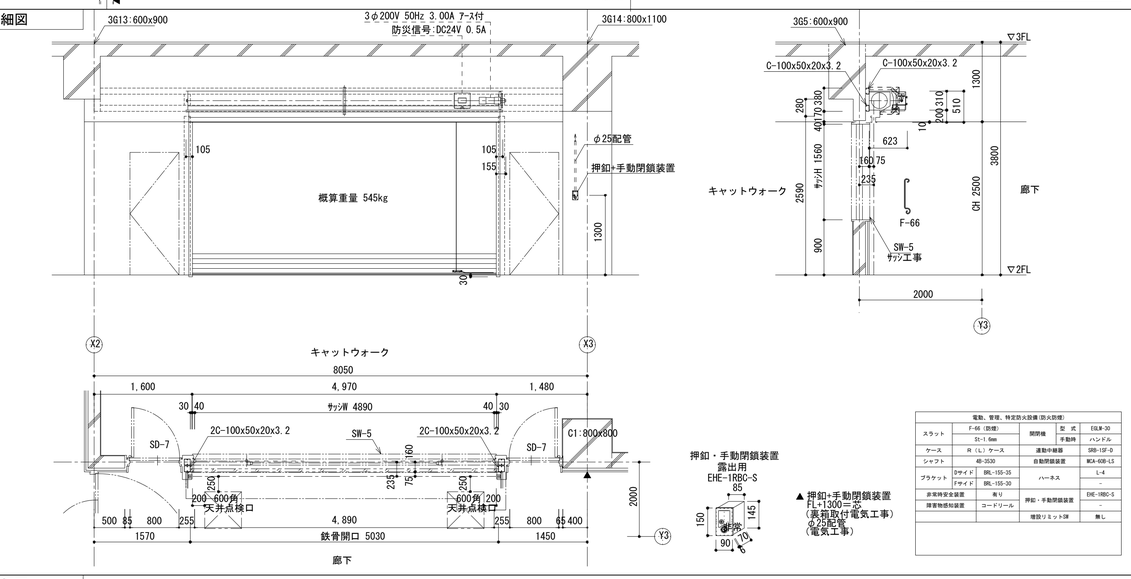
電動、管理、				
スラット	C-956T爪一枚置き	開閉機	型 式	EGLM-30
	St-1.6mm		手動時	ハンドル
ケース	角ケース	連動中継器		-
シャフト	60-4545	自動閉鎖装置		-
ブラケット	Dサイド	BRL-205-45	ハーネス	L-5
	Fサイド	BRL-205-45		-
非常時安全装置	有り	押釦・手動閉鎖装置		PBC-60UBE
障害物感知装置	WSS-4.2			-
		増設リミットSW		無し

※ジェットパワー付き(JP-40E)
水圧スイッチ(外箱付):H1-RB

押釦・埋込用
PBC-60UBE

▲押釦スイッチ
FL+1300=芯
(裏箱取付電気工事)
φ25配管
(電気工事)

SS-2 詳細図

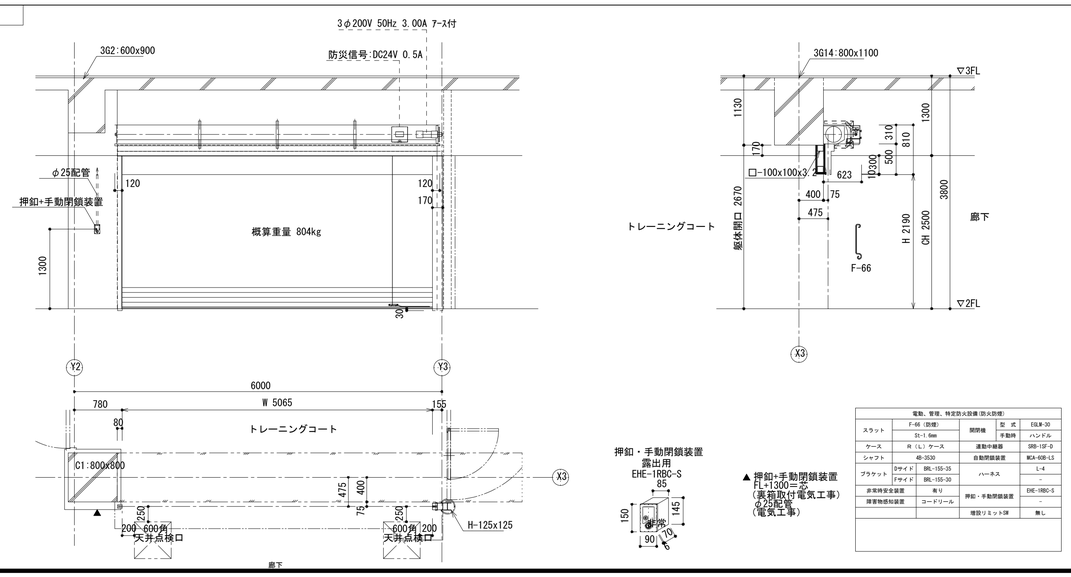


電動、管理、特定防火設備(防火防煙)				
スラット	F-66 (防煙)	開閉機	型 式	EGLM-30
	St-1.6mm		手動時	ハンドル
ケース	R (L) ケース	連動中継器		SRB-13F-D
シャフト	4B-3530	自動閉鎖装置		MCA-60B-LS
ブラケット	Dサイド	BRL-135-35	ハーネス	L-4
	Fサイド	BRL-135-30		-
非常時安全装置	有り	押釦・手動閉鎖装置		EHE-1RBC-S
障害物感知装置	コードリール			-
		増設リミットSW		無し

押釦・手動閉鎖装置
露出用
EHE-1RBC-S

▲押釦+手動閉鎖装置
FL+1300=芯
(裏箱取付電気工事)
φ25配管
(電気工事)

SS-3 詳細図

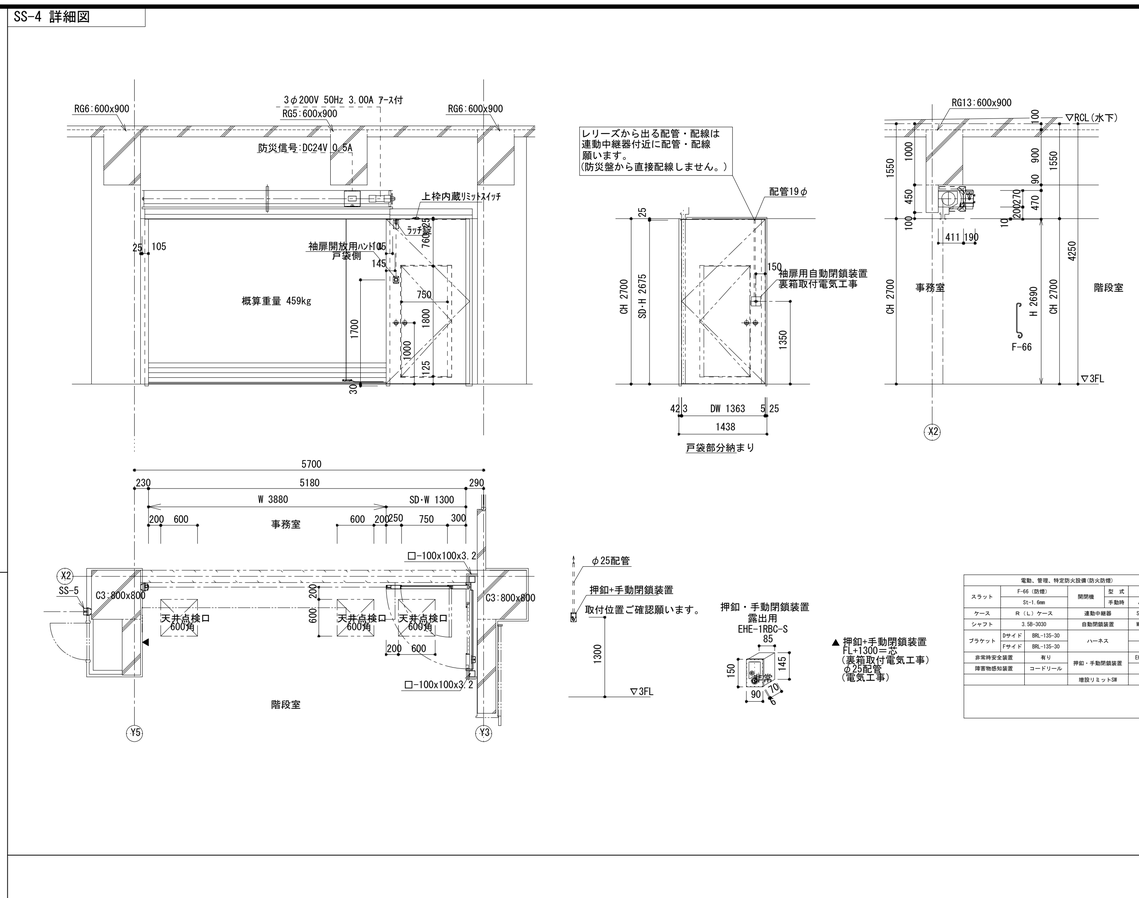


電動、管理、特定防火設備(防火防煙)				
スラット	F-66 (防煙)	開閉機	型 式	EGLM-30
	St-1.6mm		手動時	ハンドル
ケース	R (L) ケース	連動中継器		SRB-13F-D
シャフト	4B-3530	自動閉鎖装置		MCA-60B-LS
ブラケット	Dサイド	BRL-135-35	ハーネス	L-4
	Fサイド	BRL-135-30		-
非常時安全装置	有り	押釦・手動閉鎖装置		EHE-1RBC-S
障害物感知装置	コードリール			-
		増設リミットSW		無し

押釦・手動閉鎖装置
露出用
EHE-1RBC-S

▲押釦+手動閉鎖装置
FL+1300=芯
(裏箱取付電気工事)
φ25配管
(電気工事)

SS-4 詳細図



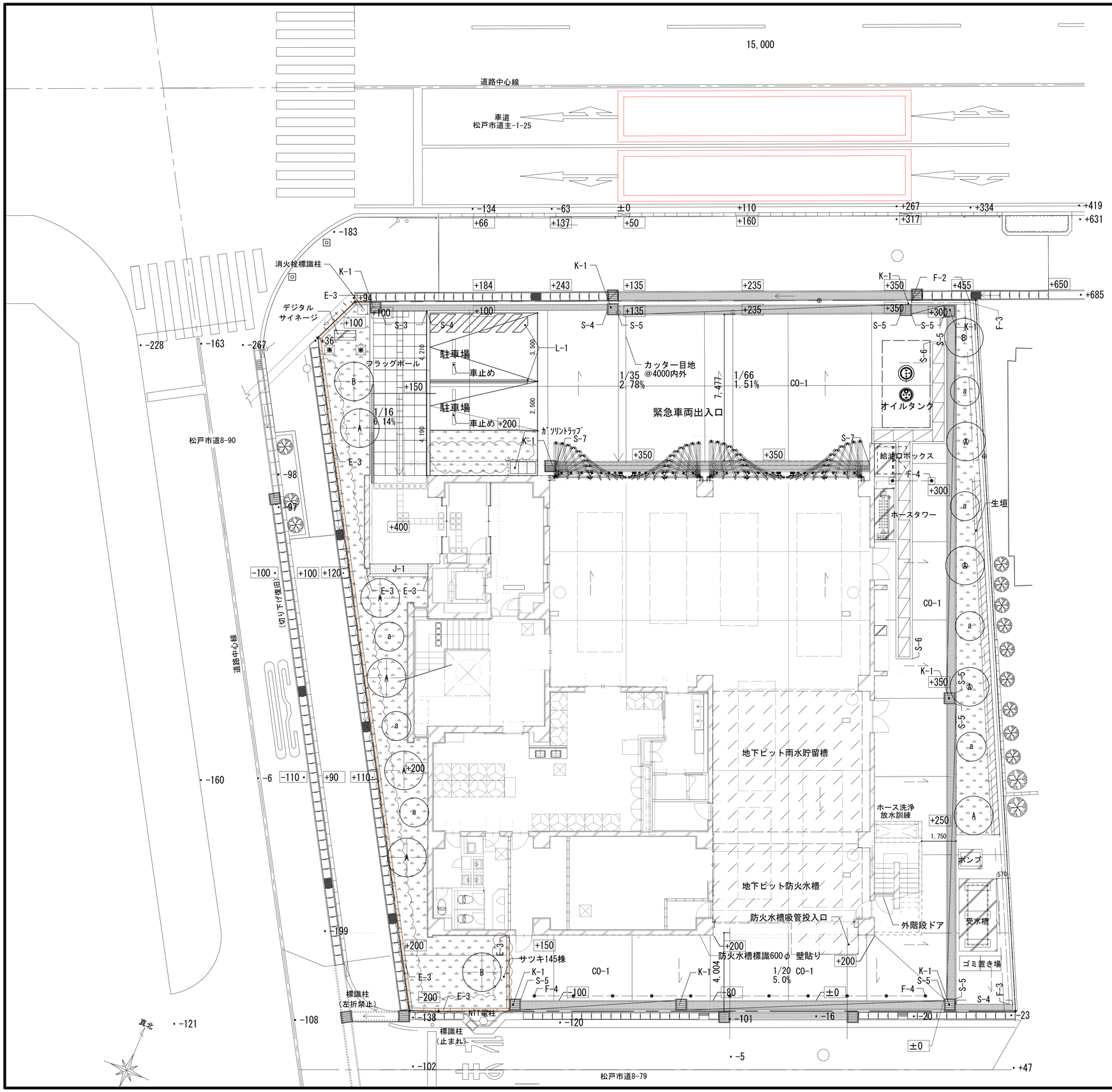
電動、管理、特定防火設備(防火防煙)				
スラット	F-66 (防煙)	開閉機	型 式	EGLM-30
	St-1.6mm		手動時	ハンドル
ケース	R (L) ケース	連動中継器		SRB-13F-D
シャフト	4B-3530	自動閉鎖装置		MCA-60B-LS
ブラケット	Dサイド	BRL-135-35	ハーネス	L-4
	Fサイド	BRL-135-30		-
非常時安全装置	有り	押釦・手動閉鎖装置		EHE-1RBC-S
障害物感知装置	コードリール			-
		増設リミットSW		無し

φ25配管
押釦+手動閉鎖装置
取付位置ご確認願います。
1300
▽3FL

押釦・手動閉鎖装置
露出用
EHE-1RBC-S
85
150
145
非常
90
70
6

▲押釦+手動閉鎖装置
FL+1300=芯
(裏箱取付電気工事)
φ25配管
(電気工事)

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	シャッター詳細図 (参考)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1 : 1	図面番号	A-085
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



凡例　外構リスト

種別	種別	記号	仕様	規格・寸法	数量
	地被類		高麗芝		141.50㎡
	低木		サツキ	H0.4　W0.5	145本
	中木	a	ソヨゴ	H2.5　株立ち 支柱共（二脚鳥居形）	7本
	高木	A	シマトネリコ	H3.0　C0.12　W0.8 支柱共（二脚鳥居形）	9本
	高木	B	ヤマボウシ	H3.0　C0.15　W1.5 支柱共（二脚鳥居形）	3本
	生け垣		レッドロビン	H1.5　W0.4　3本/m 支柱共（生垣支柱）	18.11m
E-3	地先境界ブロック		地先境界ブロックC	W150-H150-L600	49.49m
F-2	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ			H1.2m　コンクリート基礎	3.23 m
F-3	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ			H1.8m　独立基礎	35.92m
F-4	バリカー			140φ　H710	22.00m
S-3	現場打ち U字溝		溶融亜鉛メッキ蓋	細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞW300　T-2 落ち蓋式	2.34 m
S-4	現場打ち U字溝		溶融亜鉛メッキ蓋	細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞW300　T-14 落ち蓋式	12.14m
S-5	現場打ち U字溝		溶融亜鉛メッキ蓋	細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞW300　T-25 落ち蓋式　ボルト留め	71.51m
S-6	U型カルバート		コンクリート蓋	W600　T-14	19.00m
S-7	U字溝		U300 溶融亜鉛メッキ蓋	細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞW300　T-25 落ち蓋式　ボルト留め	16.05m
K-1	集水桝		溶融亜鉛メッキ蓋	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋　T-25	8箇所
K-2	集水桝		溶融亜鉛メッキ蓋	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋　T-25	3箇所
K-3	集水桝		溶融亜鉛メッキ蓋	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋　T-25	2箇所
CO-1	コンクリート舗装		C-15-15		356.10㎡
L-1	白線引			W150mm	52.0m
L-2	赤線引		駐停車禁止エリア	W150mm	68.0m
J-1	砂利敷き			クラッシャランt=150	1.5㎡
	車止め		PCブロック	600×200×120　既製品	4箇所
	オイルタンク		コンクリート躯体	詳細図参照 （タンク本体電気設備）	1箇所
	受水槽基礎		コンクリート基礎	詳細図参照 （受水槽本体機械設備）	1箇所
	ポンプ基礎		コンクリート基礎	詳細図参照 （ポンプ本体機械設備）	1箇所
	ホースタワー		コンクリート基礎	詳細図参照	1箇所
	給油口ボックス基礎		コンクリート基礎	詳細図参照 （給油口ボックス電気設備）	1箇所
	フラッグポール		コンクリート基礎	詳細図参照	2箇所
	デジタルサイネージ		コンクリート基礎	詳細図参照	1箇所
	消火栓標識柱		コンクリート基礎	詳細図参照	1箇所

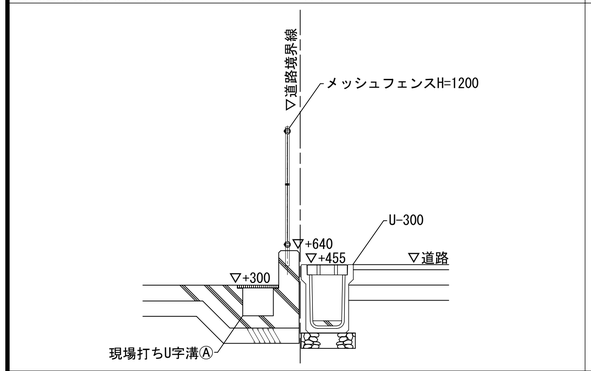
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	外構図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	A-086
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

凡例　外構リスト

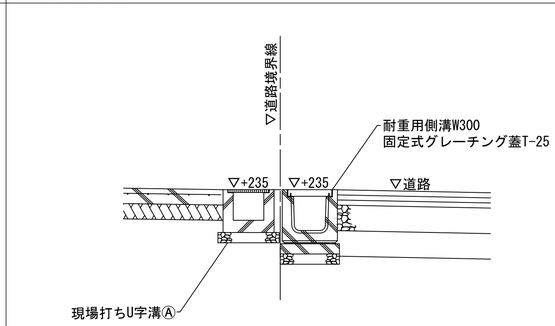
種別	種別	記号	仕様	規格・寸法	数量
E-1	片面歩車道境界ブロック		歩車道境界ブロックB	W180/205-H250-L600	10.64ｍ
E-2	片面歩車道境界ブロック（乗入れ部）		千葉県型　歩車道B用切下げ	W180/205-H100-L600	13.80ｍ
			千葉県型　歩車道B用一段すり付け	W180/205-H250/100-L600	1.80 ｍ
F-1	横断防止柵			H0.8m	9.18 ｍ
S-3	現場打ちU字溝		溶融亜鉛メッキ蓋	細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞW300　T-2　落ち蓋式	2.34 ｍ
S-4	現場打ちU字溝		溶融亜鉛メッキ蓋	細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞW300　T-14　落ち蓋式	12.14ｍ
S-5	現場打ちU字溝		溶融亜鉛メッキ蓋	細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞW300　T-25　落ち蓋式　ボルト留め	71.51ｍ
S-8	U字溝		U240コンクリート蓋	落ち蓋式　W240	24.47ｍ
S-9	千葉県型ﾛﾝｸﾞU字溝		CH25-30コンクリート蓋	落ち蓋式　W300	58.00ｍ
S-10	耐重用側溝		T-25 250A溶融亜鉛メッキ蓋	細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞW240　T-25　落ち蓋式　ボルト留め	6.00 ｍ
K-2	集水桝		溶融亜鉛メッキ蓋	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋　T-25	3箇所
K-3	集水桝		溶融亜鉛メッキ蓋	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋　T-25	2箇所
AS-1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		A-5-5-5-25-25	松戸市主-1（N5）	57.43㎡
AS-2	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		A-5-10-15	松戸市一般	27.78㎡
AS-2a	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		A-5（表層のみ）	松戸市一般	107.54㎡
AS-3	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		A-4-10-5（砂まで）	松戸市普通歩道（一般部）	115.88㎡
AS-4	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		A-4（表層のみ）	松戸市普通歩道（一般部）	52.26㎡
L-1	白線引			W150mm	87.4m
L-2	赤線引		駐停車禁止エリア	W150mm	68.0m

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	外構図（道路工事）		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1：1	図面番号	A-087
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

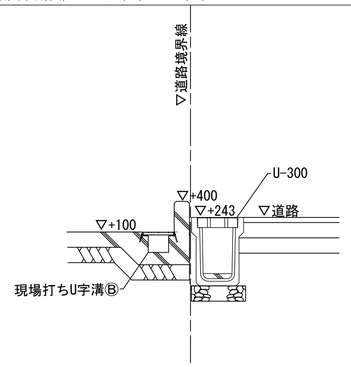
北側道路境界詳細図(A断面) S=1:30(A1) 1:60(A3)



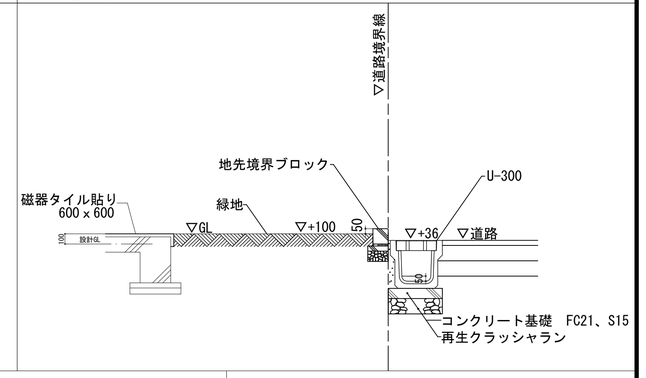
北側道路境界詳細図(B断面) S=1:30(A1) 1:60(A3)



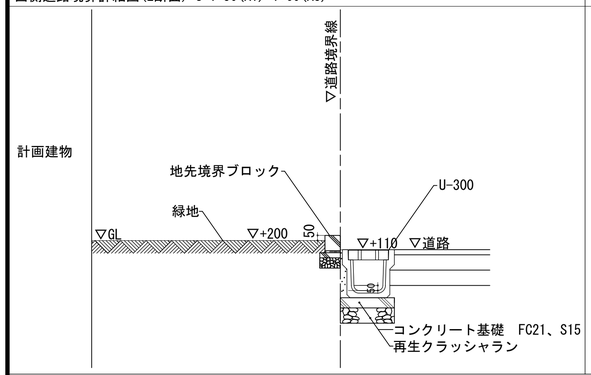
北側道路境界詳細図(C断面) S=1:30(A1) 1:60(A3)



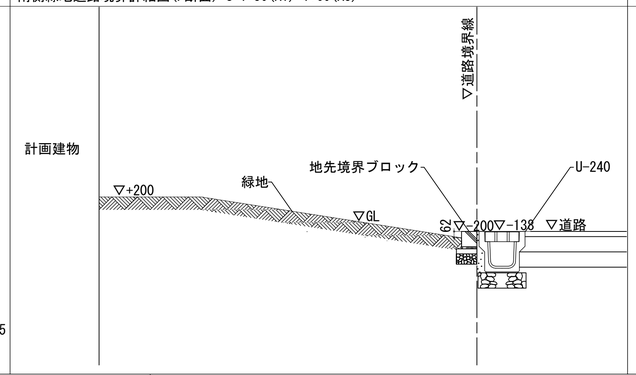
北西側道路境界詳細図(D断面) S=1:30(A1) 1:60(A3)



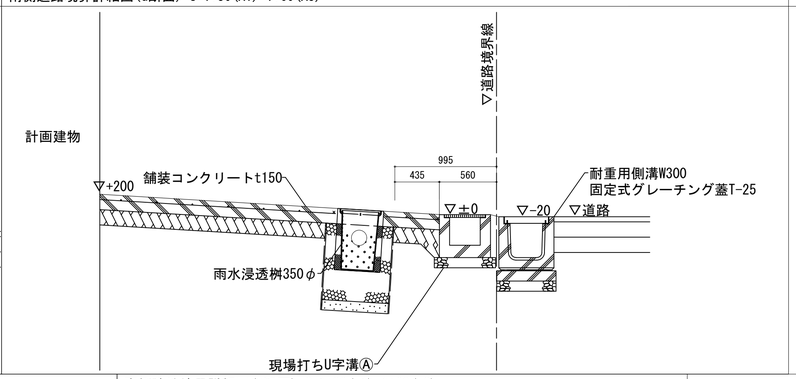
西側道路境界詳細図(E断面) S=1:30(A1) 1:60(A3)



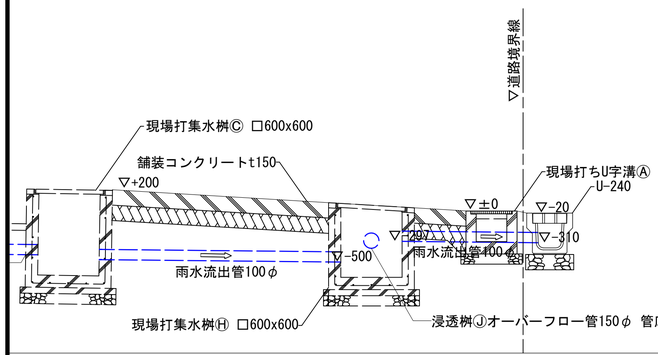
南側緑地道路境界詳細図(F断面) S=1:30(A1) 1:60(A3)



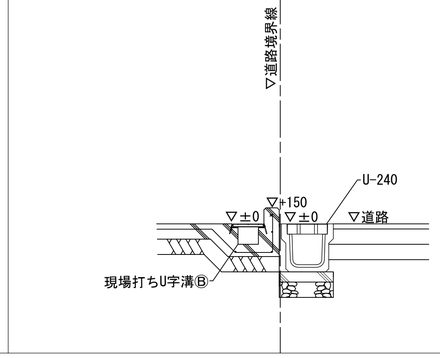
南側道路境界詳細図(G断面) S=1:30(A1) 1:60(A3)



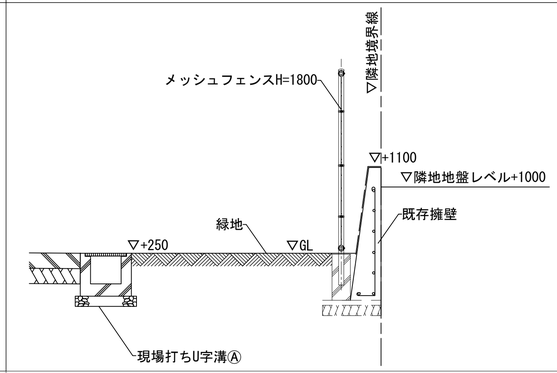
雨水流出接続部詳細図(H断面) S=1:30(A1) 1:60(A3)



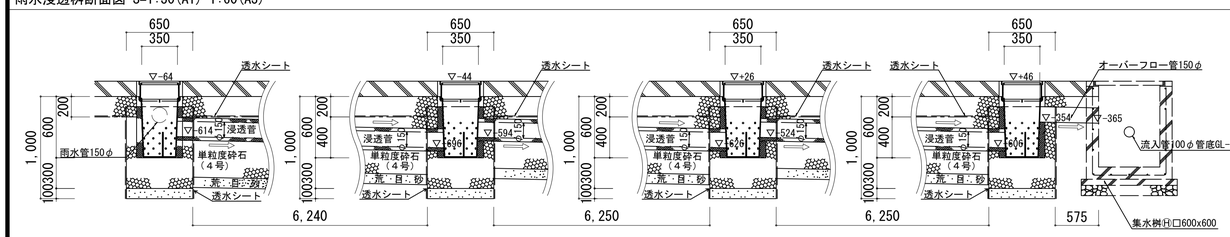
南側道路境界詳細図(I断面) S=1:30(A1) 1:60(A3)



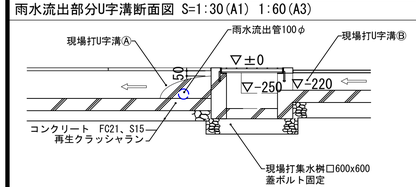
東側隣地境界詳細図(J断面) S=1:30(A1) 1:60(A3)



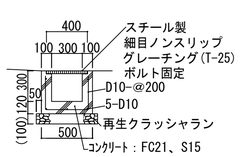
雨水浸透桝断面図 S=1:30(A1) 1:60(A3)



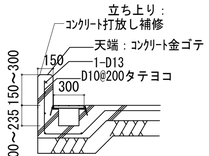
雨水流出部分U字溝断面図 S=1:30(A1) 1:60(A3)



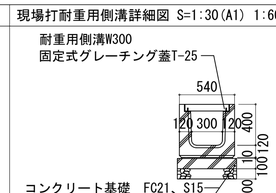
現場打U字溝Ⓐ詳細図 S=1:30(A1) 1:60(A3)



現場打U字Ⓑ詳細図 S=1:30(A1) 1:60(A3)

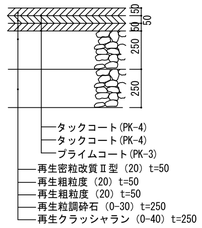


現場打耐重用側溝詳細図 S=1:30(A1) 1:60(A3)

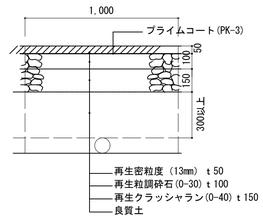


工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	外構詳細図(雨水関係)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	図示	図面番号	A-088
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

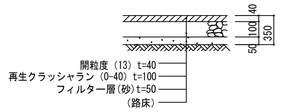
AS-1　道路復旧詳細図（歩道乗入部）　S=1:20(A1) 1:40(A3)



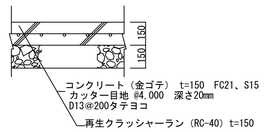
AS-2　道路復旧詳細図（車道）　S=1:20(A1) 1:40(A3)



AS-3　道路復旧詳細図（歩道）　S=1:20(A1) 1:40(A3)



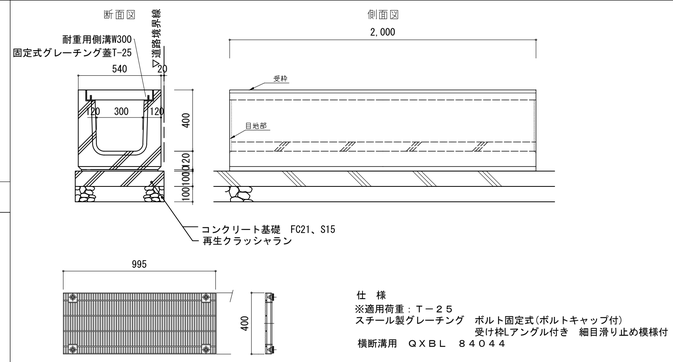
CO-1　コンクリート舗装詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



J-1　砕石敷き詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)

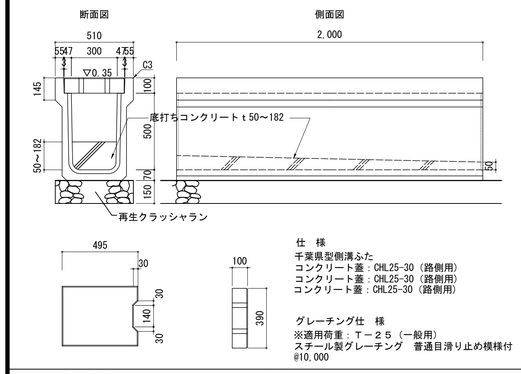


S-1　耐重用側溝詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



仕　様
※適用荷重：Ｔ－２５
スチール製グレーチング　ボルト固定式(ボルトキャップ付)
受け枠Lアングル付き　細目滑り止め模様付
横断溝用　ＱＸＢＬ　８４０４４

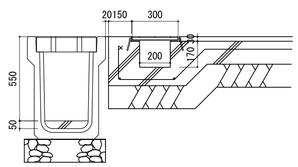
S-2　千葉県型ロングU字側溝詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



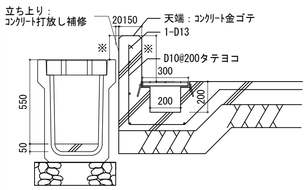
仕　様
千葉県型側溝ふた
コンクリート蓋：CHL25-30（路側用）
コンクリート蓋：CHL25-30（路側用）
コンクリート蓋：CHL25-30（路側用）

グレーチング仕　様
※適用荷重：Ｔ－２５（一般用）
スチール製グレーチング　普通目滑り止め模様付
#10,000

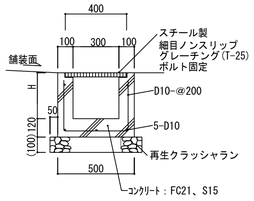
S-3　現場打ちU字側溝詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



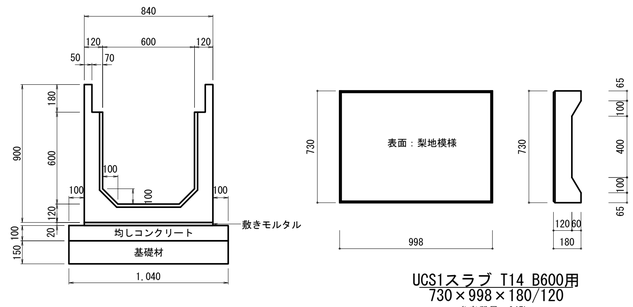
S-4　現場打ちU字側溝詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



S-5　現場打ちU字溝詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)

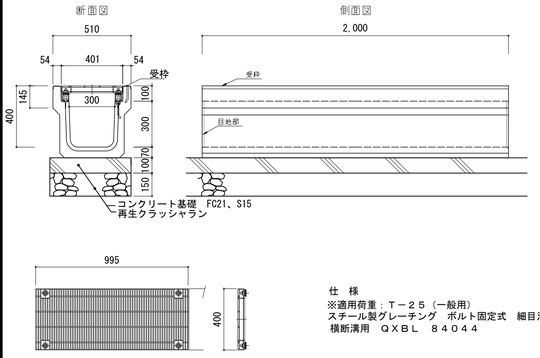


S-6　U型カルバート詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



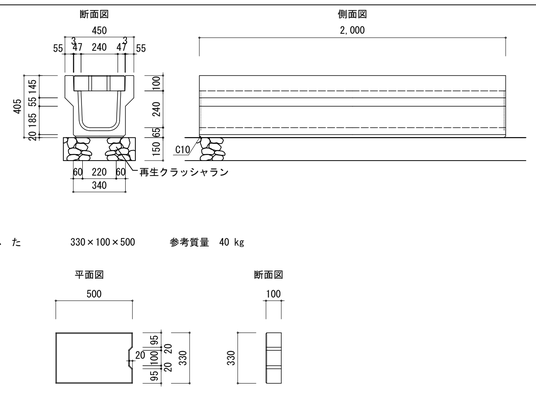
UCS1スラブ　T14　B600用
730×998×180/120
参考質量　245kg

S-7　U字側溝詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



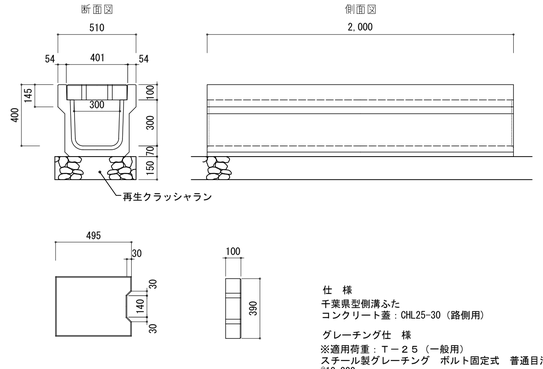
仕　様
※適用荷重：Ｔ－２５（一般用）
スチール製グレーチング　ボルト固定式　細目滑り止め模様付
横断溝用　ＱＸＢＬ　８４０４４

S-8　U字側溝詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



ふ　た　　330×100×500　　参考質量　40 kg

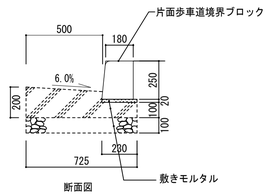
S-9　千葉県型ロングU字側溝詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



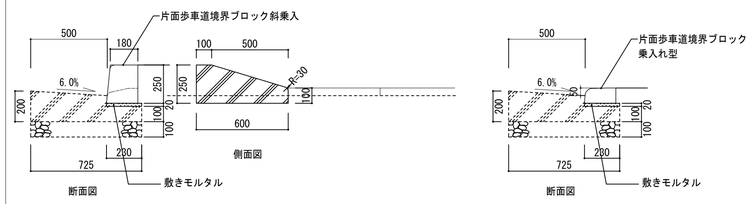
仕　様
千葉県型側溝ふた
コンクリート蓋：CHL25-30（路側用）

グレーチング仕　様
※適用荷重：Ｔ－２５（一般用）
スチール製グレーチング　ボルト固定式　普通目滑り止め模様付
#10,000

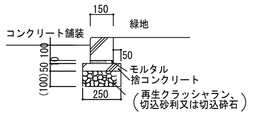
E-1　歩車道境界ブロック詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



E-2　歩車道境界ブロック詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)

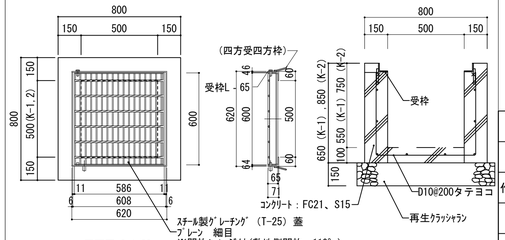


E-3　地先境界ブロック詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



K-1,2　集水ます詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)

集水ます　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

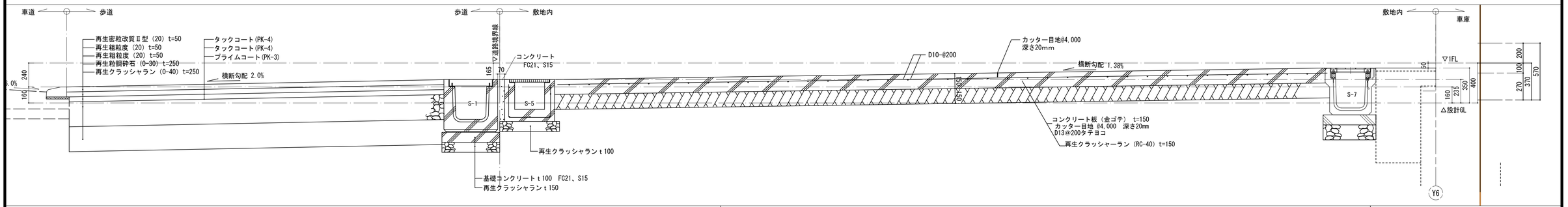


平面図 S=1/20　　側面図 S=1/20

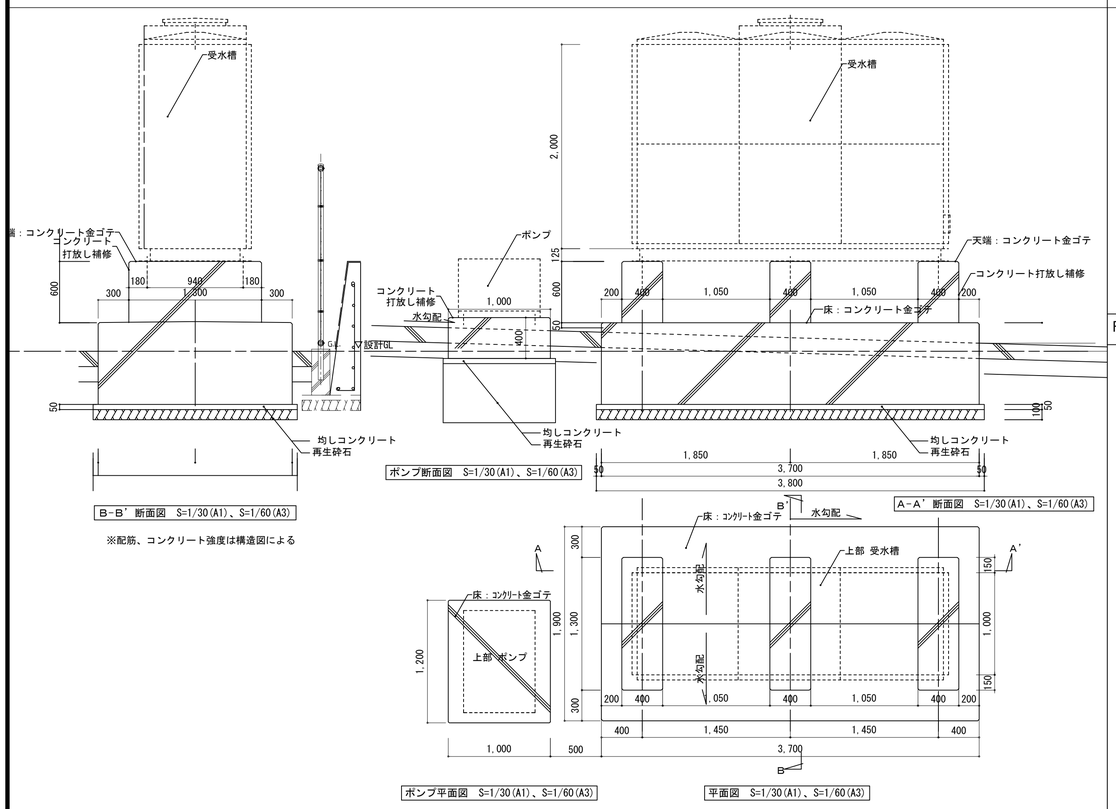
材質：ＳＳ４００
処理：溶融亜鉛めっき
スチール製受枠　Ｌ－６５（四方受四方枠）
材質：ＳＳ４００
処理：樹脂系塗料塗装

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	外構詳細図(1)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	図示	図面番号	A-089
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

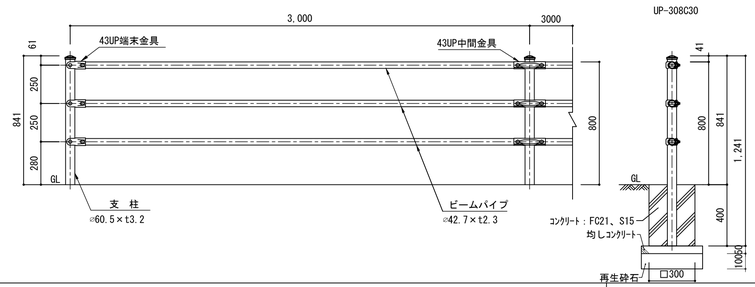
車庫横断図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



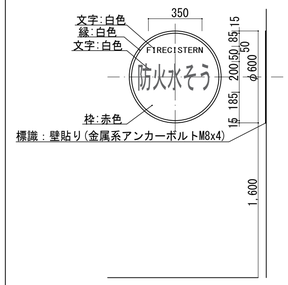
受水槽基礎詳細図　S=1:30(A1) 1:60(A3)



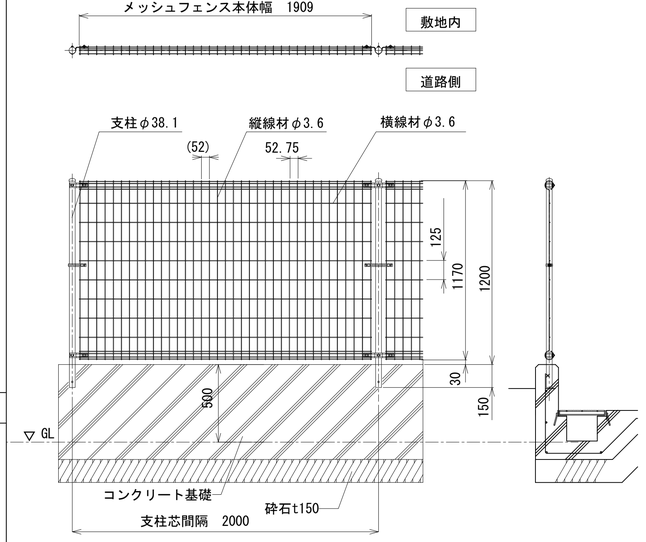
F-1　横断防止柵詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



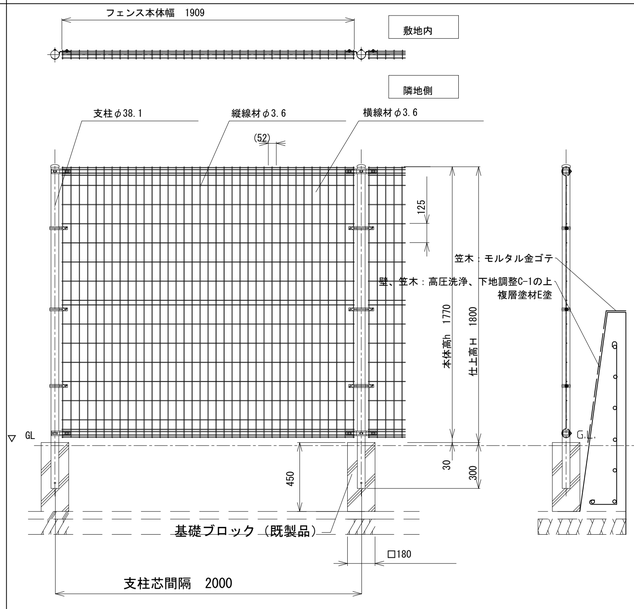
防火水そう標識　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)



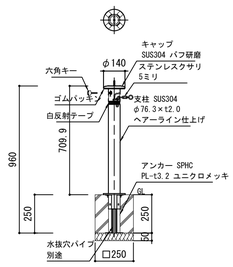
F-2　メッシュフェンス詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



F-3　メッシュフェンス詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)

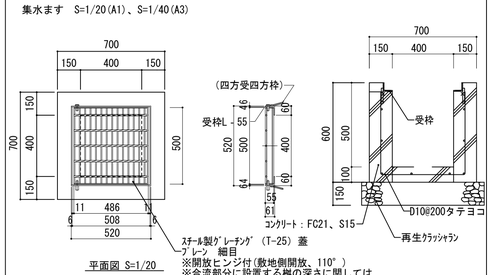


F-4　バリカー詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



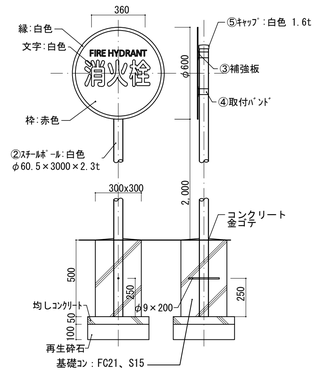
K-3　集水ます詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)

集水ます　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

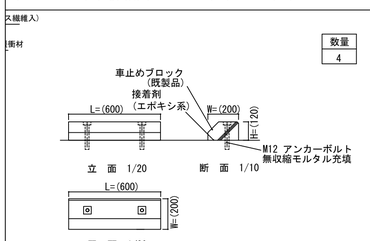


材質：ＳＳ４００
処理：溶融亜鉛めっき
スチール製受枠　Ｌ－５５（四方受四方枠）
材質：ＳＳ４００
処理：樹脂系塗料塗装

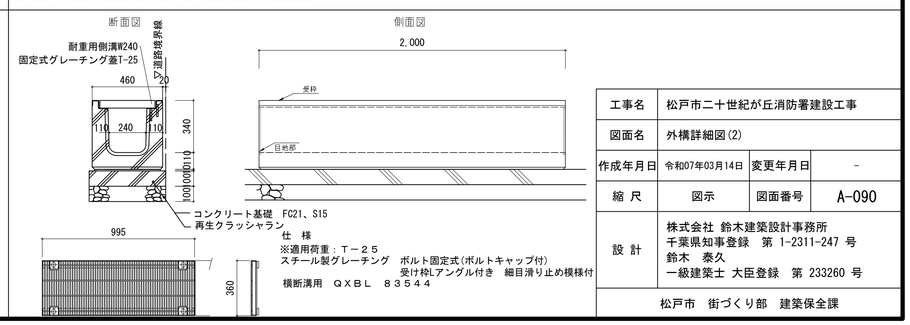
消火栓標識柱詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



車止めブロック詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)

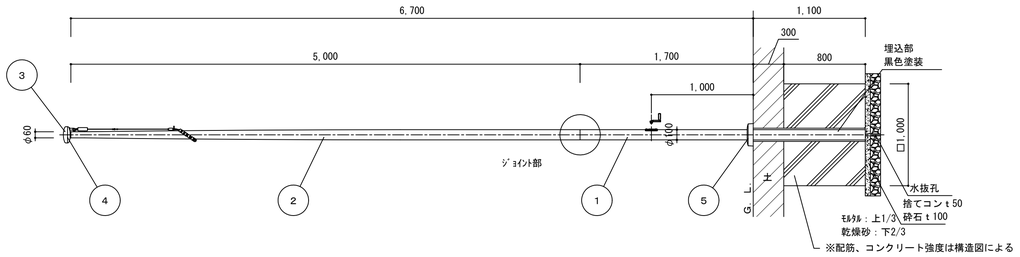


S-10　耐重用側溝詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)

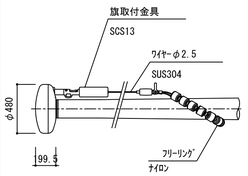


工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	外構詳細図(2)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	図示	図面番号	A-090
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

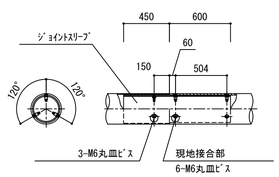
フラッグポール詳細図　S=1:30(A1) 1:60(A3)



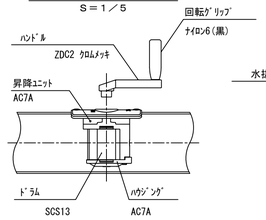
冠頭部詳細図　S＝1／10



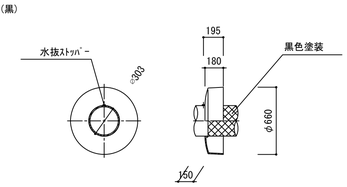
ジョイント部詳細図　S＝1／10



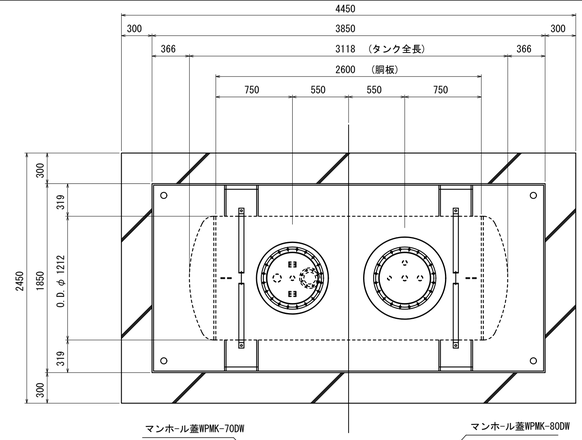
ハンドル部詳細図　S＝1／5

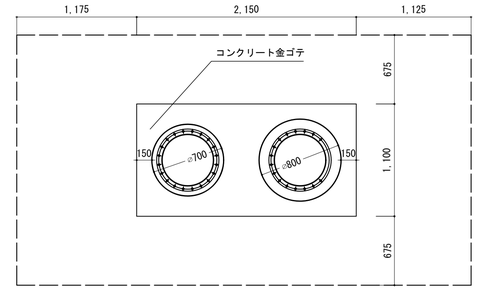


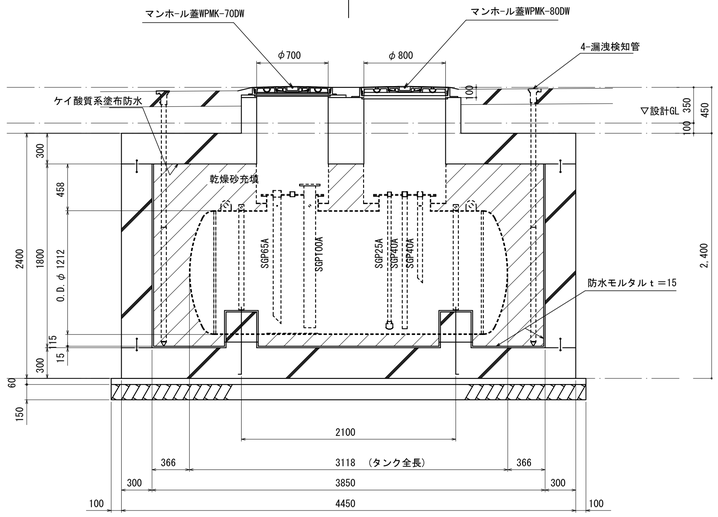
グランドセット詳細図　S＝1／10

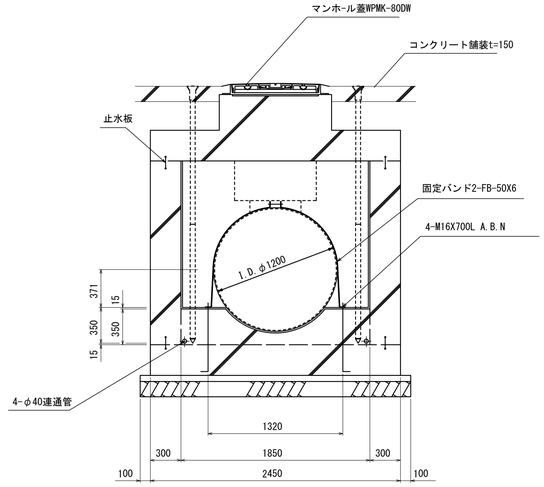


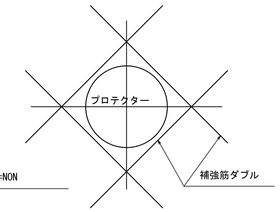
オイルタンク詳細図　S=1:30(A1) 1:60(A3)



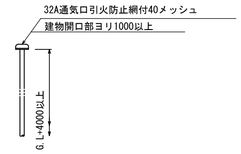








※躯体工事、乾燥砂充填、堀削、埋め戻しは建築工事。
※配筋、コンクリート強度は構造図による



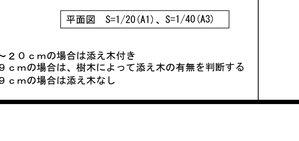
設備基礎詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)

※配筋、コンクリート強度は構造図による

設備基礎　寸法表

階	設置場所	仕上	数量	単位：mm W	D	H
1	給油口ボックス	天端：ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 立上：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修	1	1,700	1,100	300
	ホースタワー		1	2,600	1,020	300
	デジタルサイネージ		1	1,400	800	300
	ポンプ基礎		1	1,200	1,000	300
	外ルーバー支柱基礎		1	650	500	300

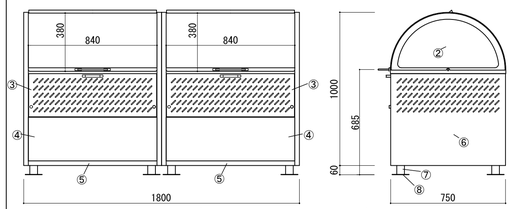
ごみ置き場詳細図　S=1:20(A1) 1:40(A3)



平面図　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

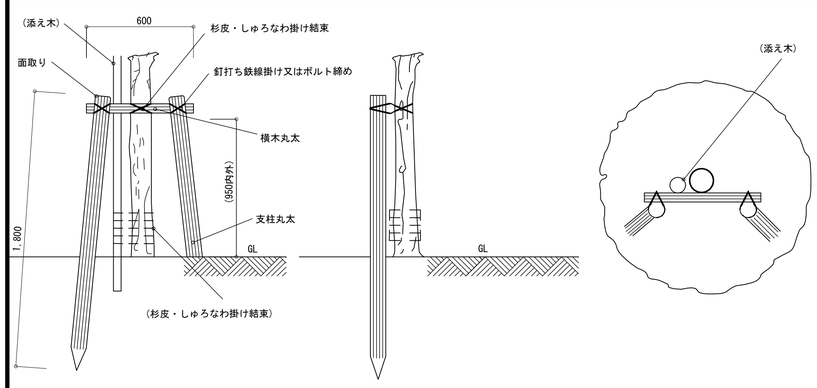
番号	品　名	材　質	備　考
①	回転扉	SUS304	BA仕上げ
②	ドームサイド	SUS304	BA仕上げ
③	扉	SUS304	BA仕上げ
④	表　板	SUS304	BA仕上げ
⑤	底　板	SUS304	BA仕上げ
⑥	側　板	SUS304	BA仕上げ
⑦	脚	SUS304	BA仕上げ
⑧	ベースプレート	SUS304	BA仕上げ

※㈱ダイケン　CKM-1800R型　と同等品とする



立面図　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

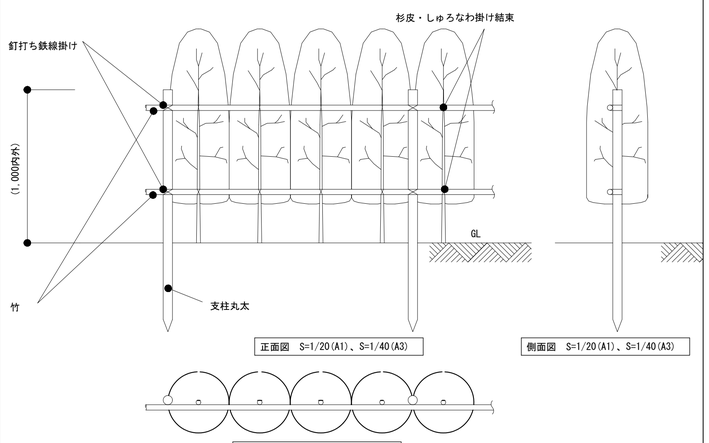
高木　支柱　二脚鳥居形　S=1:20(A1) 1:40(A3)



正面図　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)　側面図　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)　平面図　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

※　幹周が１０ｃｍ～２０ｃｍの場合は添え木付き
幹周が２０ｃｍ～２９ｃｍの場合は、樹木によって添え木の有無を判断する
幹周が２９ｃｍ～３９ｃｍの場合は添え木なし

生垣　支柱　S=1:20(A1) 1:40(A3)

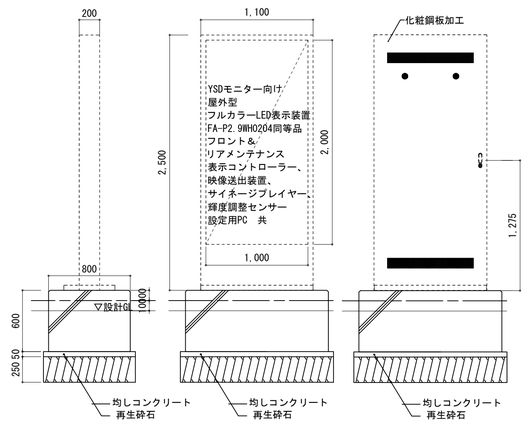


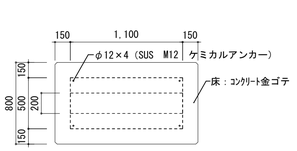
正面図　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

側面図　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

平面図　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

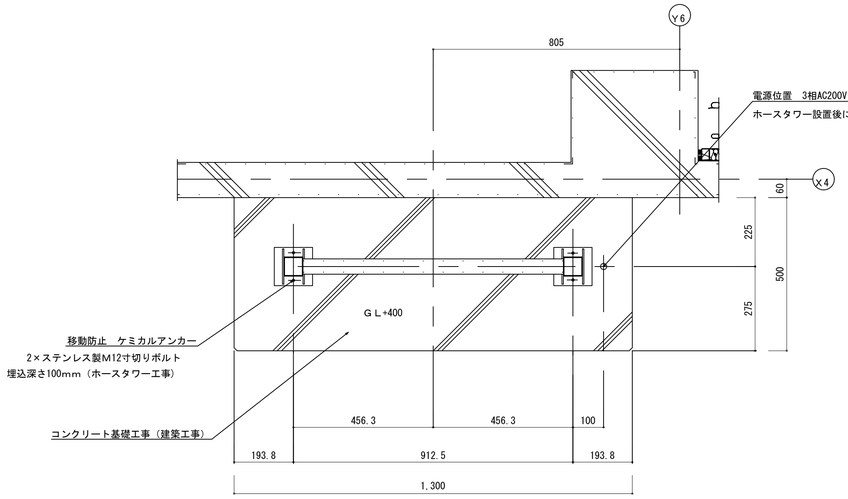
デジタルサイネージ　S=1:30(A1) 1:60(A3)



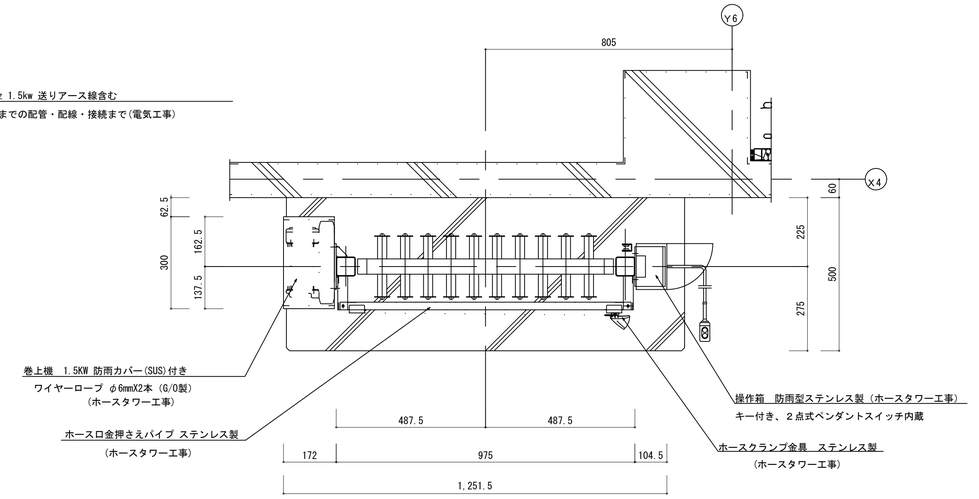


工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	外構詳細図(3)		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	図示	図面番号	A-091
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		

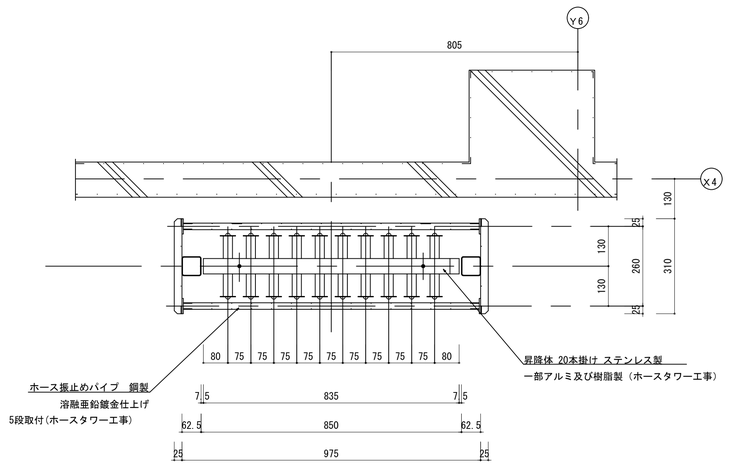
松戸市　街づくり部　建築保全課



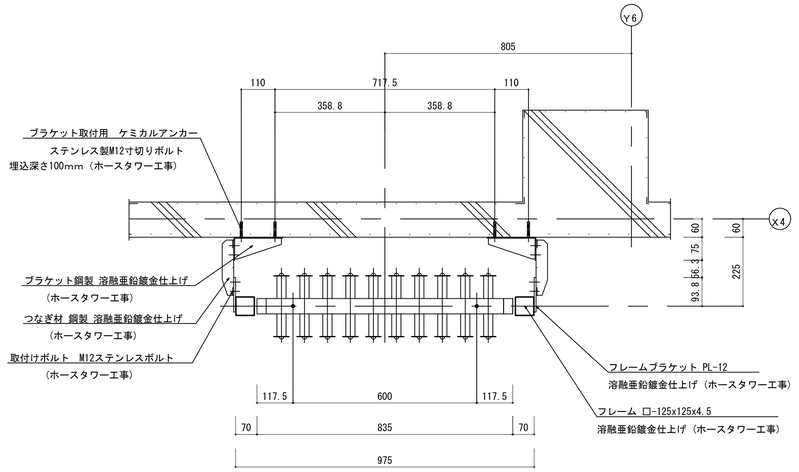
HTFL+200 昇降路平面図



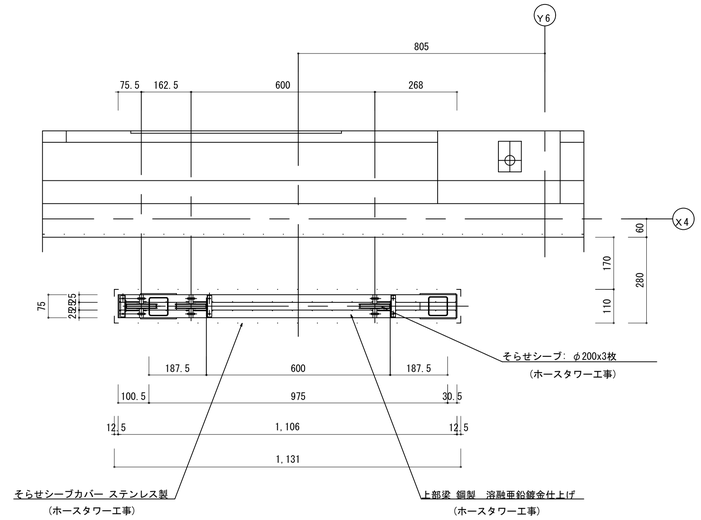
HTFL+1500 昇降路平面図



HTFL+2512 昇降路平面図

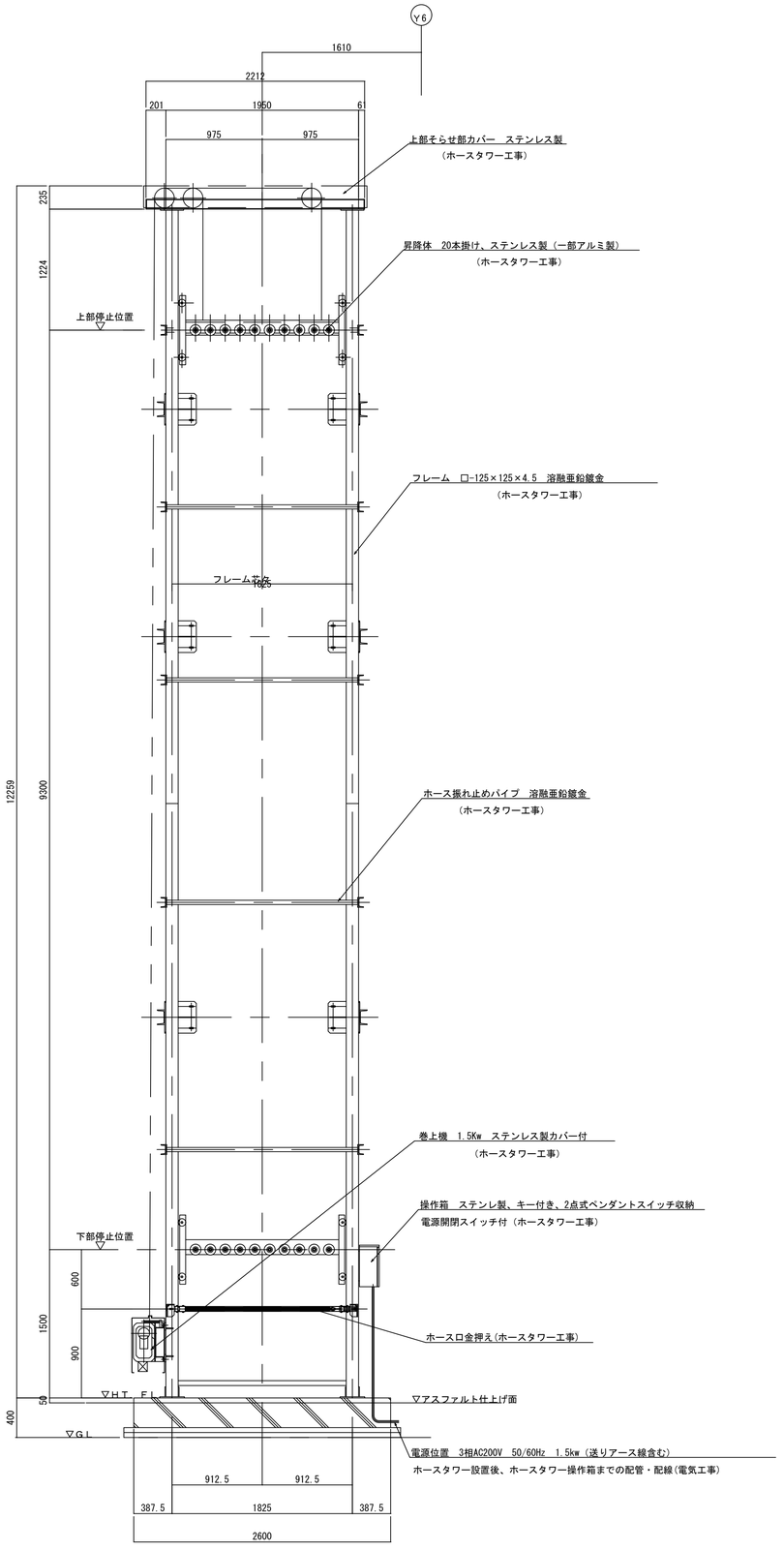


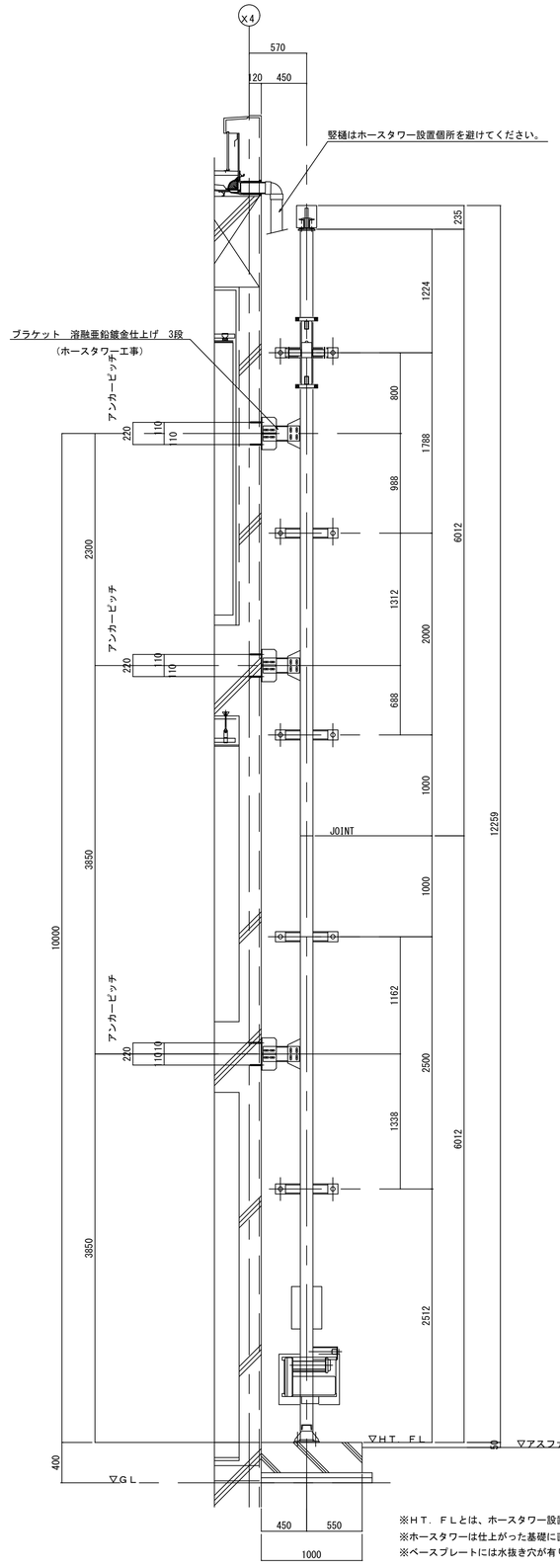
HTFL+3850 昇降路平面図



HTFL+12124 昇降路平面図

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	ホースタワー平面詳細図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:10(A1) 1:20(A3)	図面番号	A-092
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



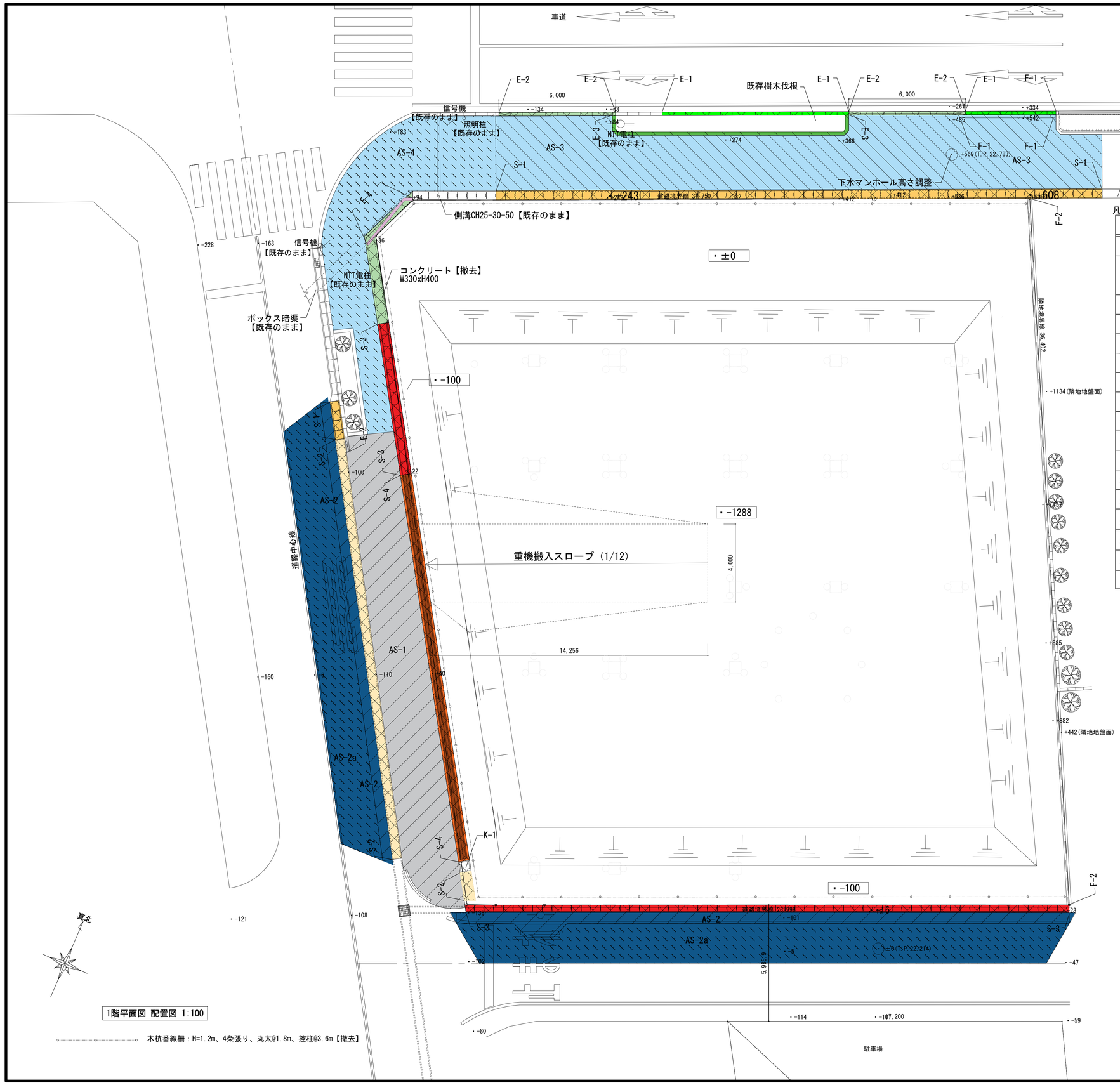


※ＨＴ．ＦＬとは、ホースタワー設置基礎仕上げ天端を示します。
※ホースタワーは仕上がった基礎に直に置いて固定します。
※ベースプレートには水抜き穴が有りますので、根巻などなさらないようにお願いします。

仕様

型式	HM-20 型
ホース掛数	20 本（400kg）
本体重量	ホースタワー本体　約1020kg 合計：1020+400＝約1420kg
昇降速度	50Ｈｚ　9.4m/min
	60Ｈｚ　11.3m/min
昇降行程	9300 mm
全高	12259 mm
巻取方式	電動 式
操作方式	2点押釦式(インチング操作)
電源	3相200V 50Hz 1.5kw
操作電圧	DC 24V
安全装置	1.上下リミットスイッチ
	2.上限ファイナルリミット
	3.電磁ブレーキ

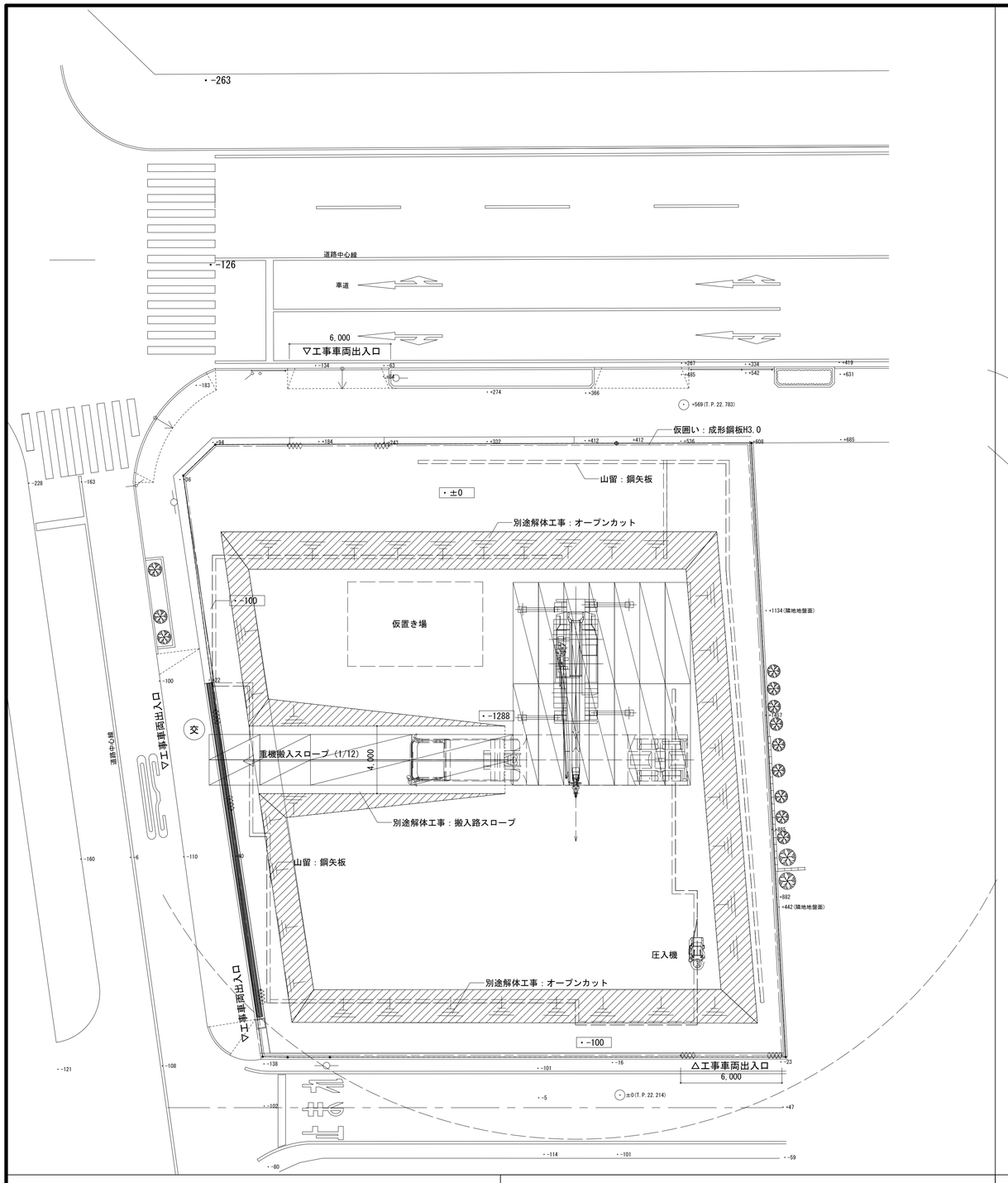
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	ホースタワー立、断面詳細図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:30(A1) 1:60(A3)	図面番号	A-093
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

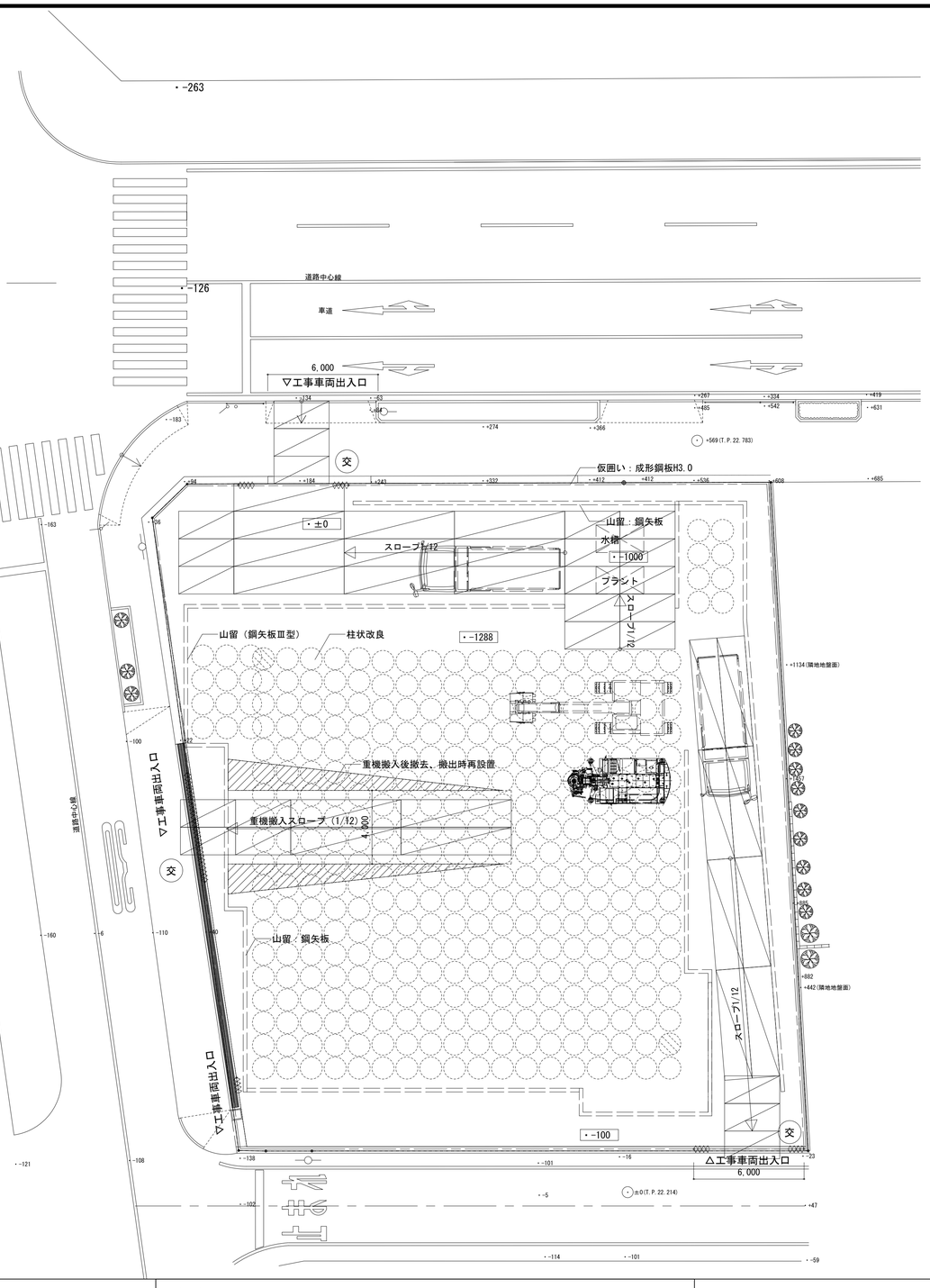


凡例　道路撤去リスト

種別	種別	記号	仕様	規格・寸法	数量
E-1	片面歩車道境界ブロック		歩車道境界ブロックB	W180/205-H250-L600	14.26ｍ
E-2	片面歩車道境界ブロック（乗入れ部）		千葉県型　歩車道B用切下げ	W180/205-H100-L600	9.60 ｍ
			千葉県型　歩車道B用一段すり付け	W180/205-H250/100-L600	2.40 ｍ
E-3	植栽帯ブロック		地先境界ブロックC	W150-H150-L600	14.22ｍ
E-4	地先境界ブロック		地先境界ブロックA	W120-H120-L600	3.48 ｍ
F-1	横断防止柵			H0.8m	4.80 ｍ
F-2	ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ		ひし形金網 支柱：L-50x50x6	H0.9m　擁壁残し	36.40ｍ
S-1	千葉県型ﾛﾝｸﾞU字溝		CH25-30-50 コンクリート蓋	落ち蓋式　W300	33.16ｍ
S-2	ボックス暗渠			W300	23.30ｍ
S-3	U字溝		U240 コンクリート蓋	落ち蓋式　W240	38.90ｍ
S-4	U字溝		U300B 溶融亜鉛メッキ蓋	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞW300　T-20 落ち蓋式　ボルト留め	20.00ｍ
K-1	集水桝		鉄蓋		1箇所
AS-1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		A-5-5-10-15	車両出入り口部	65.68㎡
AS-2	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		A-5-10-15	松戸市一般	31.59㎡
AS-2a	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		A-5（表層のみ撤去）	松戸市一般	106.33㎡
AS-3	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		A-5-10-15	松戸市普通歩道（一般部）	104.62㎡
AS-4	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		A-5（表層のみ撤去）	松戸市普通歩道（一般部）	51.34 ㎡
側溝、	縁石撤去範囲				

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	外構撤去図		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	A-094
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			





<①. 山留仮設計画>

施工手順
1. 仮囲いを設置
2. 鋼矢板圧入工法重機搬入用スロープ設置
3. 鋼矢板設置

凡　例　表（0.5カ月）

		═══	山留（鋼矢板Ⅲ型）H8.0m　L=152m
パネルゲート	パネルゲート：W6000×H1800　×3か所 パネルゲート：W3000×H1800　×1か所	交	（常駐）交通誘導員(10日x1人=10人)
成型鋼板	成型鋼板　H= 3.0 m ,L=114m		
	鉄板敷　t=22x1500x6000　x 18枚		鉄板敷　t=22x1500x3000　×4枚

駐車場は近隣の月極駐車場を別途想定（10台分）
現場事務所、作業員休憩場所については、近隣の賃貸マンション2室（35㎡程度）を別途想定
ラフタークレーン25ｔ×8日

<②. 地盤改良仮設計画>

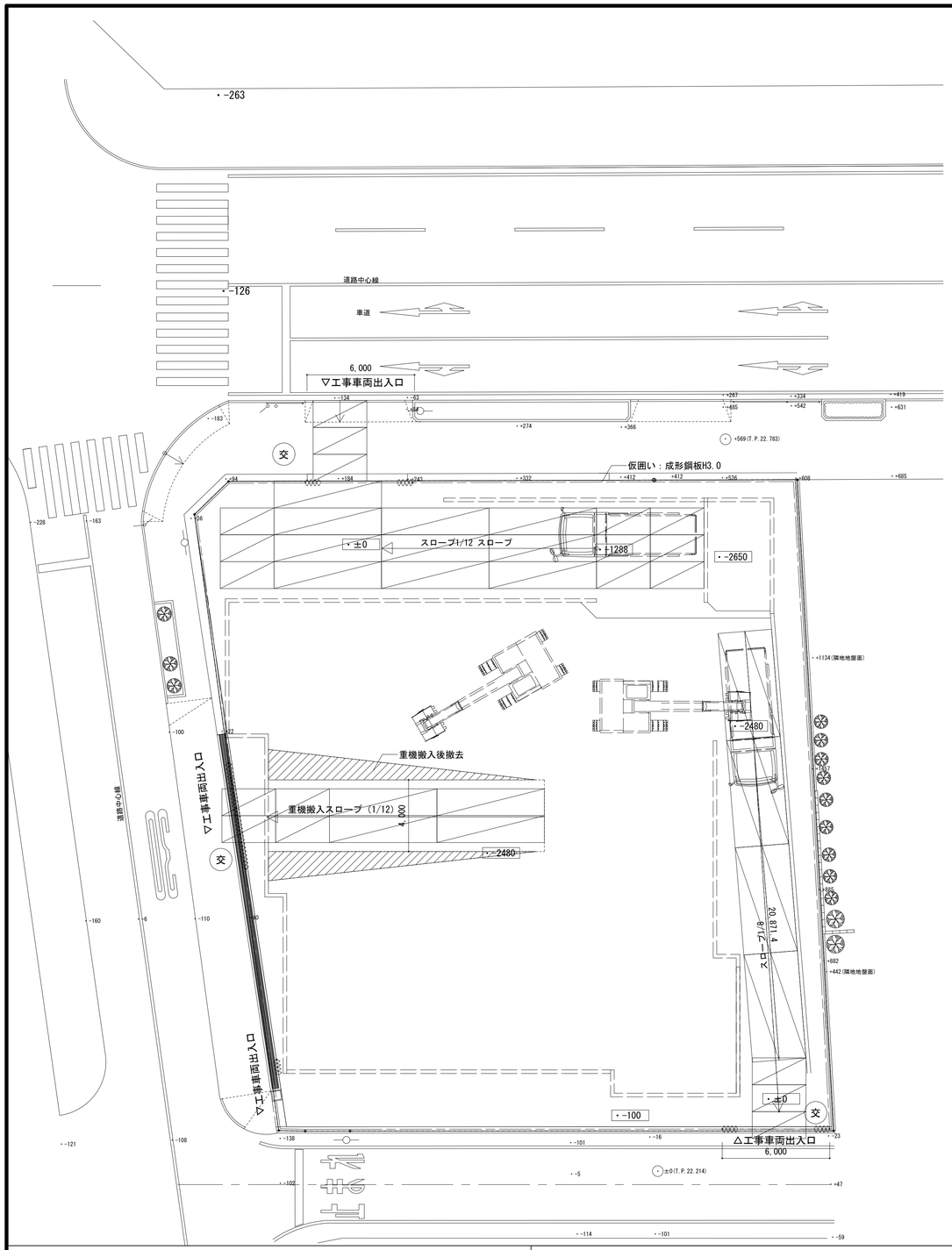
1. 地盤改良用重機搬入用スロープ設置
2. 地盤改良工事

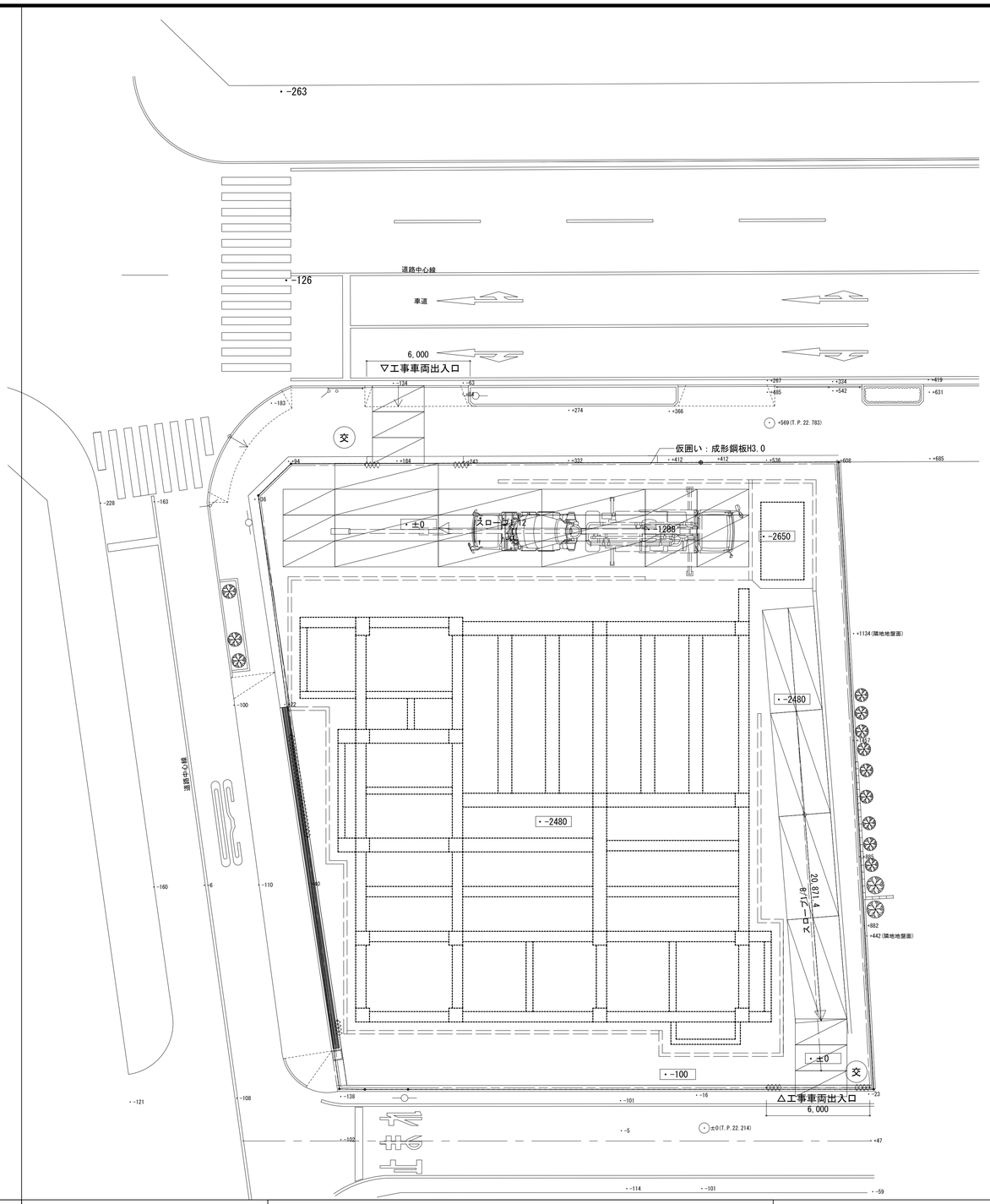
凡　例　表（1.5カ月）

		═══	山留（鋼矢板Ⅲ型）H8.0m　L=152m
パネルゲート	パネルゲート：W6000×H1800　×3か所 パネルゲート：W3000×H1800　×1か所	交	（常駐）交通誘導員(30日x2人=60人) （臨時）交通誘導員(4日x1人=4人)
成型鋼板	成型鋼板　H= 3.0 m ,L=114m		
	鉄板敷　t=22x1500x6000　x 22枚		鉄板敷　t=22x1500x3000　×23枚

駐車場は近隣の月極駐車場を別途想定（10台分）
現場事務所、作業員休憩場所については、近隣の賃貸マンション2室（35㎡程度）を別途想定

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	仮設計画図(1)（参考図）		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	1:150(A1) 1:300(A3)	図面番号	A-095
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			





<③.根切工事仮設計画>

1.GL-2480まで根切

凡　例　表（0.5カ月）

		＝＝	山留（鋼矢板Ⅲ型）H8.0m　L=152m
パネルゲート	パネルゲート：W6000×H1800　×3か所 パネルゲート：W3000×H1800　×1か所	㊥	（常駐）交通誘導員（10日x2人=20人） （臨時）交通誘導員（4日x1人=4人）
成型鋼板	成型鋼板　H= 3.0 m ,L=114m		
	鉄板敷　t=22x1500x6000　×22枚		鉄板敷　t=22x1500x3000　×23枚

駐車場は近隣の月極駐車場を別途想定（10台分）
現場事務所、作業員休憩場所については、近隣の賃貸マンション2室（35㎡程度）を別途想定

<④.基礎工事仮設計画>

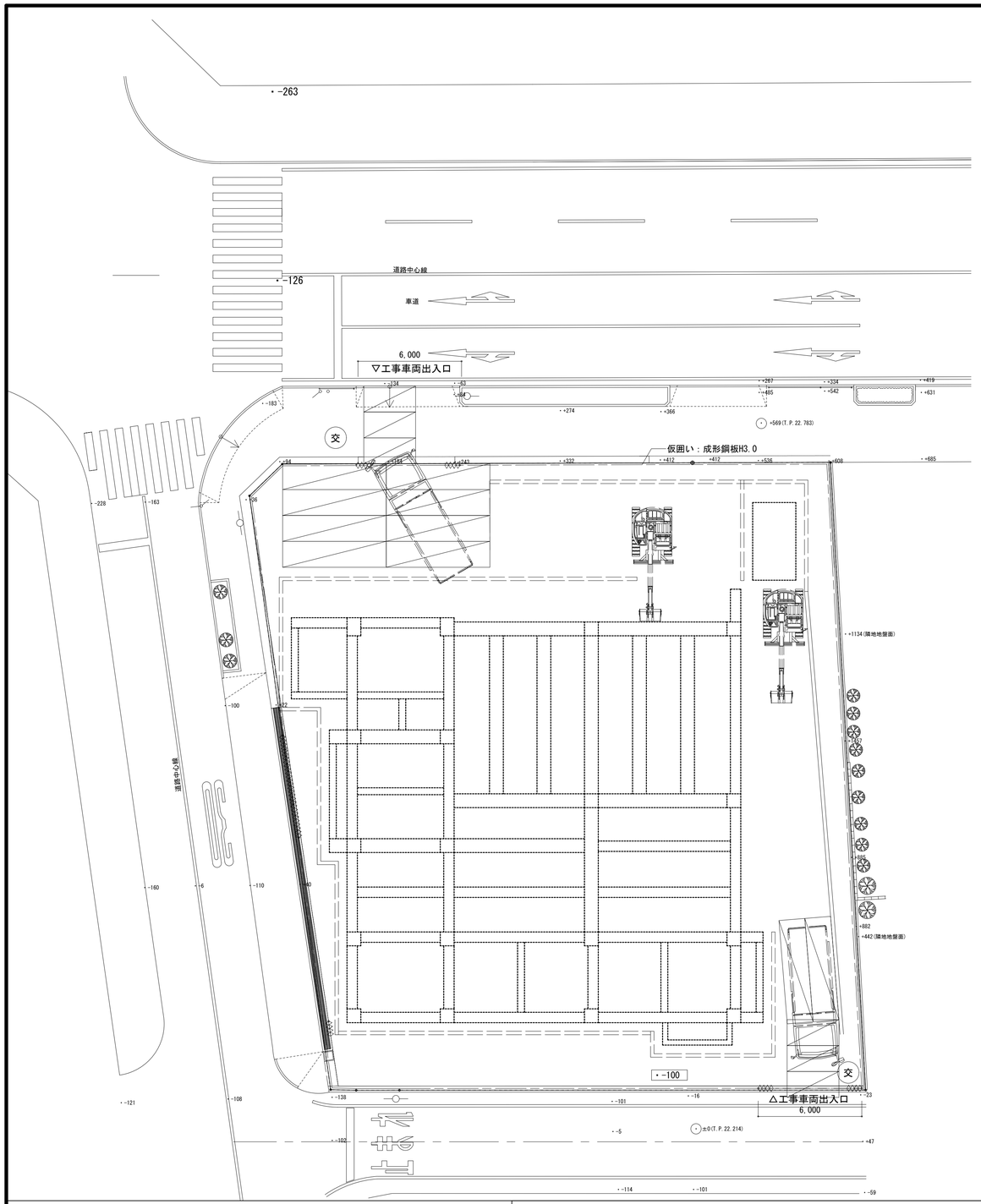
1.基礎工事
（転圧、砕石、捨てコン、鉄筋型枠、コンクリート打設）

凡　例　表（1.5か月）

		＝＝	山留（鋼矢板Ⅲ型）H8.0m　L=152m
パネルゲート	パネルゲート：W6000×H1800　×3か所 パネルゲート：W3000×H1800　×1か所	㊥	（常駐）交通誘導員（30日x2人=60人）
成型鋼板	成型鋼板　H= 3.0 m ,L=114m		
	鉄板敷　t=22x1500x6000　×18枚		鉄板敷　t=22x1500x3000　×15枚

駐車場は近隣の月極駐車場を別途想定（10台分）
現場事務所、作業員休憩場所については、近隣の賃貸マンション2室（35㎡程度）を別途想定

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	仮設計画図（2）（参考図）		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	1:150(A1) 1:300(A3)	図面番号	A-096
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



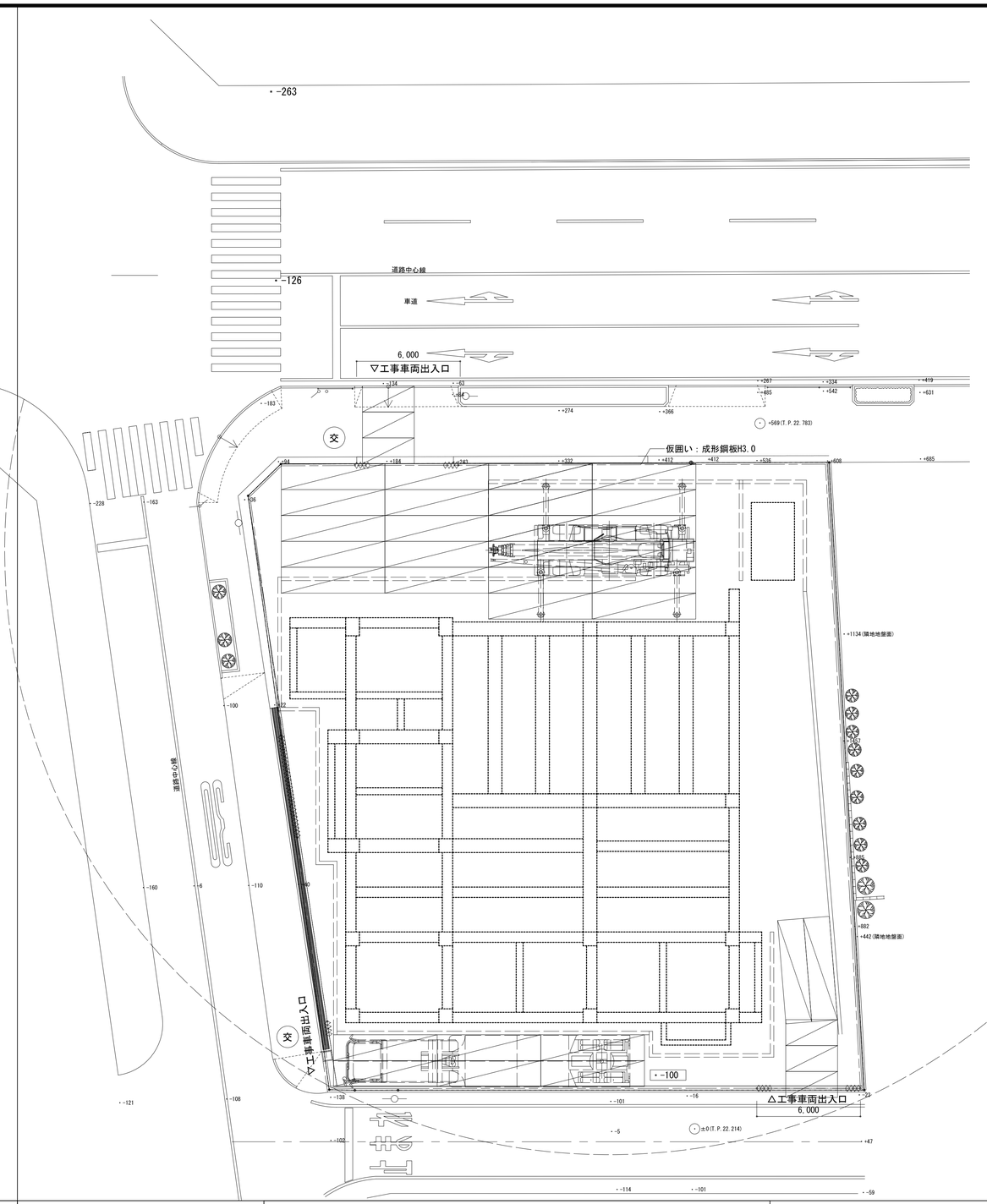
<⑤.埋戻し工事仮設計画>

1.埋戻し

凡　例　表（0.5カ月）

			山留（鋼矢板Ⅲ型）H8.0m　L=152m
パネルゲート	パネルゲート：W6000×H1800　×3か所 パネルゲート：W3000×H1800　×1か所	交	（常駐）交通誘導員(10日x2人=20人)
成型鋼板	成型鋼板　H= 3.0 m ,L=114m		
	鉄板敷　t=22x1500x6000　×10枚		鉄板敷　t=22x1500x3000　×6枚

駐車場は近隣の月極駐車場を別途想定（10台分）
現場事務所、作業員休憩場所については、近隣の賃貸マンション2室（35㎡程度）を別途想定



<⑥.山留引抜工事仮設計画>

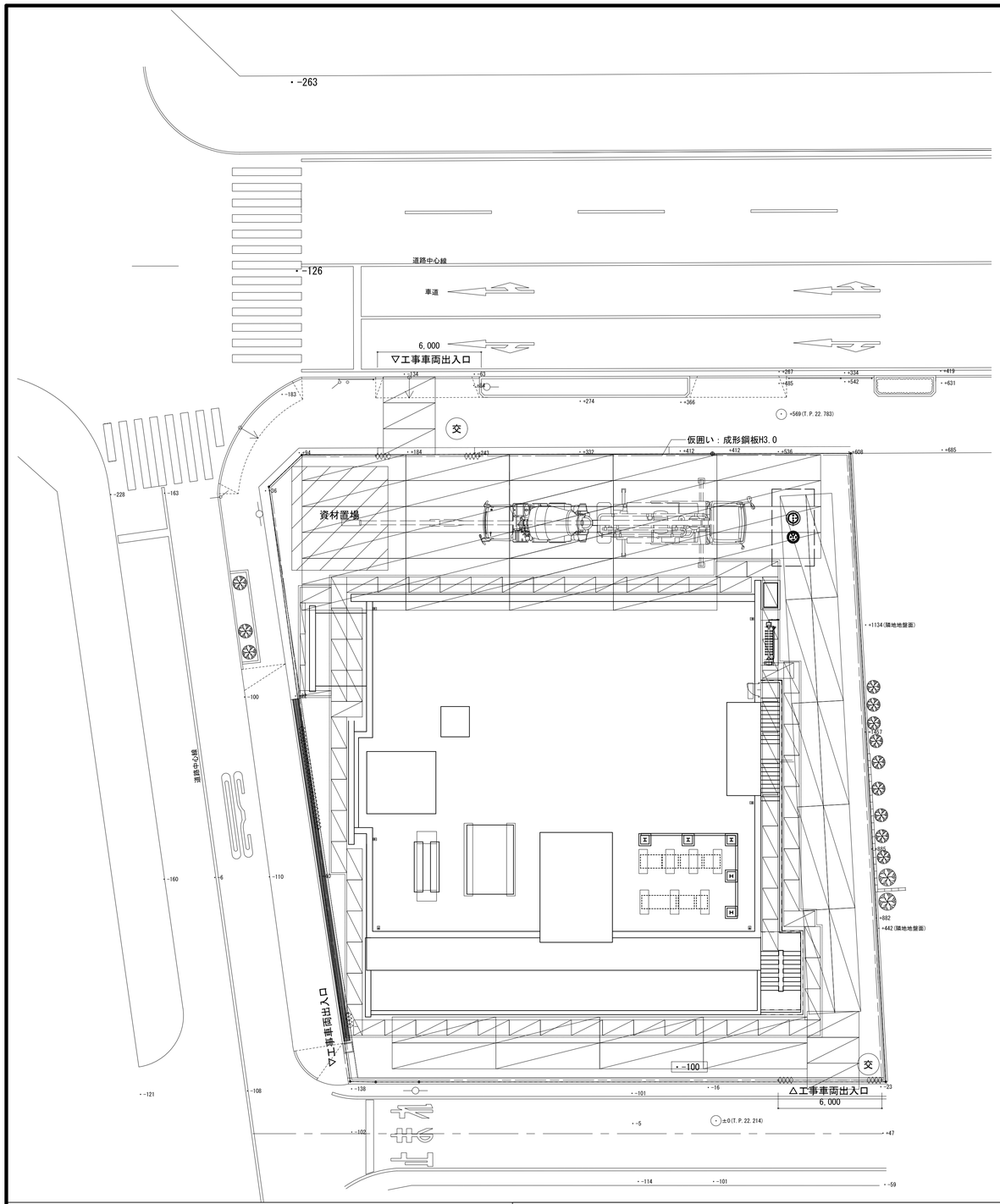
1.山留引抜

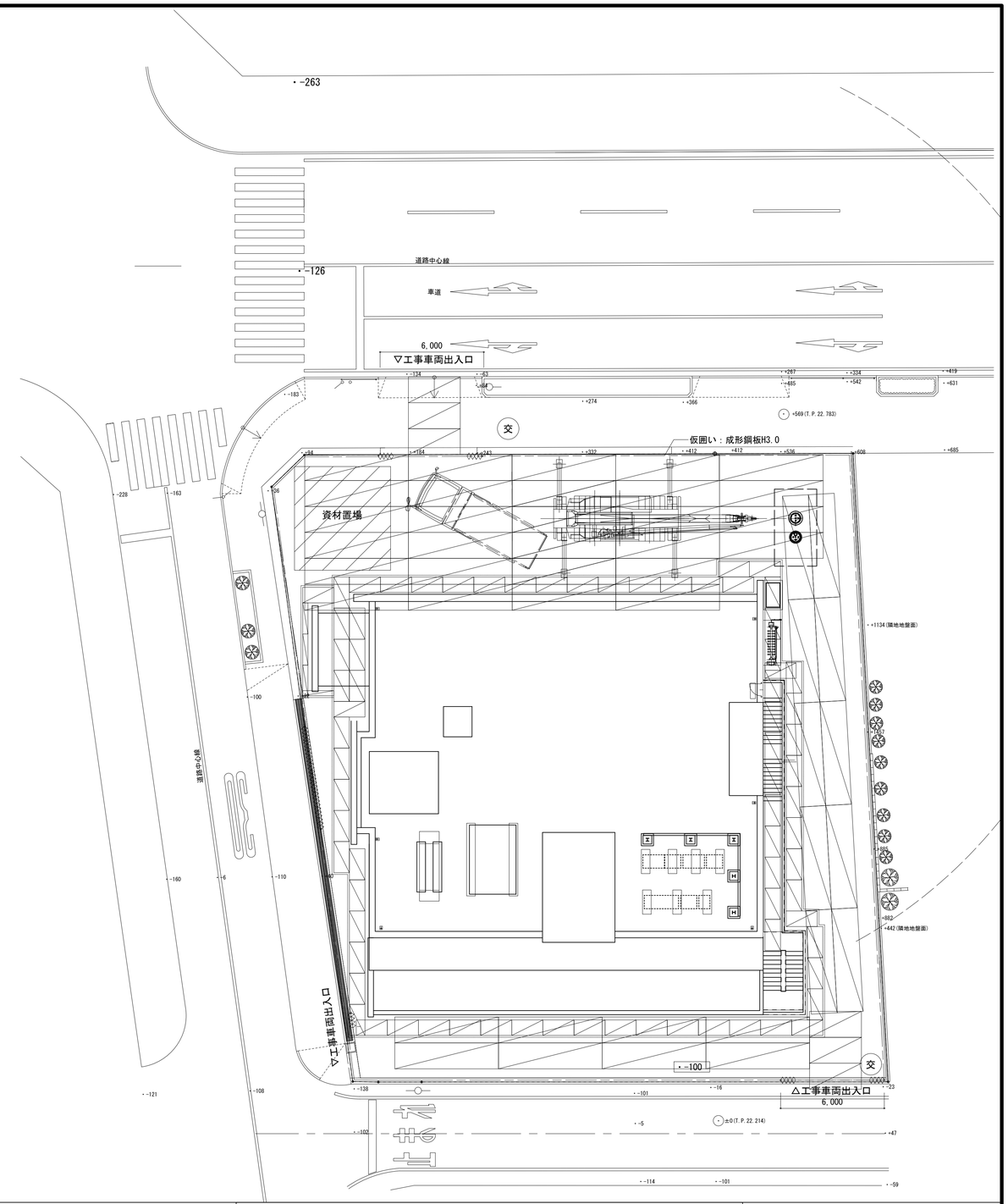
凡　例　表（0.5カ月）

			山留（鋼矢板Ⅲ型）H8.0m　L=152m
パネルゲート	パネルゲート：W6000×H1800　×3か所 パネルゲート：W3000×H1800　×1か所	交	（常駐）交通誘導員(10日x2人=20人)
成型鋼板	成型鋼板　H= 3.0 m ,L=114m		
	鉄板敷　t=22x1500x6000　×30枚		鉄板敷　t=22x1500x3000　×6枚

駐車場は近隣の月極駐車場を別途想定（10台分）
現場事務所、作業員休憩場所については、近隣の賃貸マンション2室（35㎡程度）を別途想定
ラフタークレーン50ｔ×8日

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	仮設計画図（3）（参考図）		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	1:150(A1) 1:300(A3)	図面番号	A-097
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			





＜⑦. 躯体仮設計画＞

1. 地上部躯体打設

凡　例　表（4カ月）

パネルゲート	パネルゲート：W6000×H1800　×3か所 パネルゲート：W3000×H1800　×1か所	交	（常駐）交通誘導員(80日x2人=160人)
成型鋼板	成型鋼板　H= 3.0 m ,L=114m		手摺先行枠組本足場（幅900）(4カ月) 養生：ネット状養生シート
	鉄板敷　t=22x1500x6000　×46枚		鉄板敷　t=22x1500x3000　×6枚

駐車場は近隣の月極駐車場を別途想定（10台分）
現場事務所、作業員休憩場所については、近隣の賃貸マンション2室（35㎡程度）を別途想定
ラフタークレーン25ｔは屋上設備設置、資材荷揚げ時を想定（16日程度）。

＜⑧. 内外装、構内外構仮設計画＞

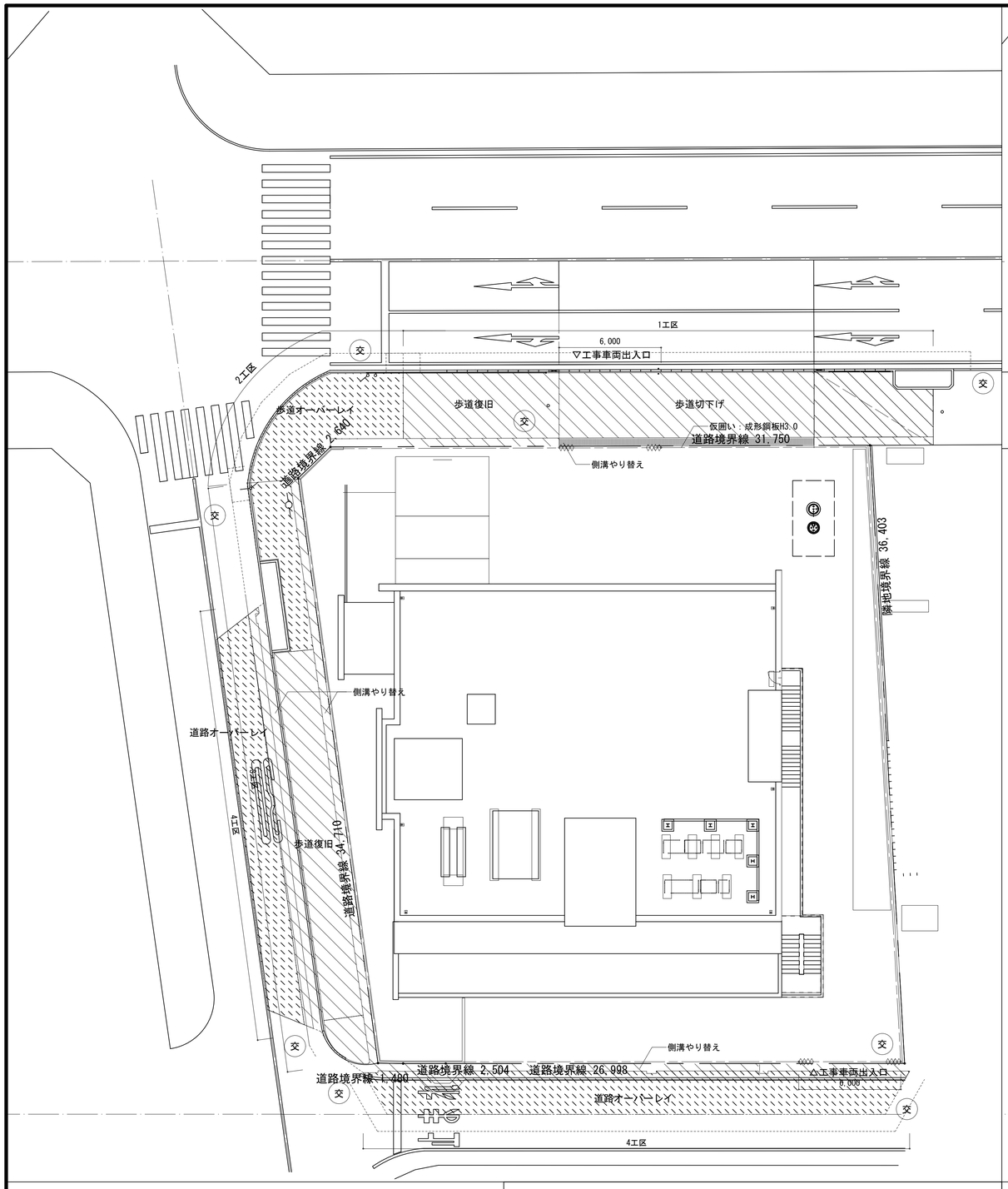
1. 内外装
2. 外装工事後、外部足場撤去
3. 構内外構工事

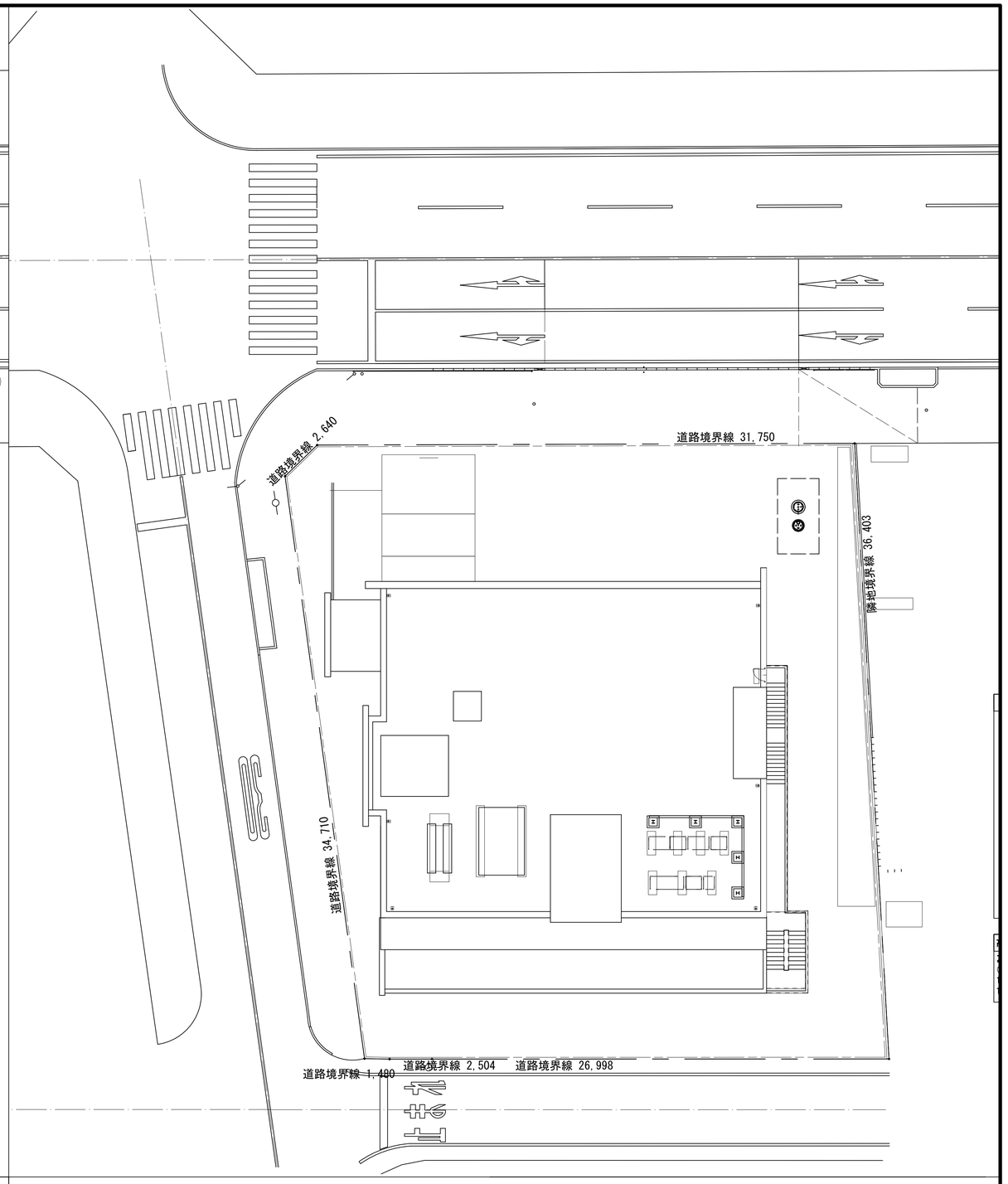
凡　例　表（4カ月）

パネルゲート	パネルゲート：W6000×H1800　×3か所 パネルゲート：W3000×H1800　×1か所	交	（常駐）交通誘導員(120日x2人=160人)
成型鋼板	成型鋼板　H= 3.0 m ,L=114m		手摺先行枠組本足場（幅900）(2カ月) 養生：ネット状養生シート
	鉄板敷　t=22x1500x6000　×46枚		鉄板敷　t=22x1500x3000　×6枚

駐車場は近隣の月極駐車場を別途想定（10台分）
現場事務所、作業員休憩場所については、近隣の賃貸マンション2室（35㎡程度）を別途想定
ラフタークレーン25ｔは屋上設備設置、資材荷揚げ時を想定（10日程度）。

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	仮設計画図（4）（参考図）		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	1:150(A1) 1:300(A3)	図面番号	A-098
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			





＜⑨.敷地外道路仮設計画＞

1.1工区：北側歩道切下げ、既存切下げ復旧、側溝やり替え
2.2工区：北側歩道、舗装オーバーレイ
3.3工区：既存歩道切下げ復旧、側溝やり替え、
4.4工区：側溝やり替えに伴う道路オーバーレイ
5.5工区：側溝やり替えに伴う道路オーバーレイ

各工事は交通誘導員を配置し、カラーコーン等で歩行者用仮設歩道を設け、安全対策を行うこと。

凡　例　表（1カ月）

パネルゲート	パネルゲート：W6000×H1800　×3か所 パネルゲート：W3000×H1800　×1か所	交	（常駐）交通誘導員(20日x2人=40人)
成型鋼板	成型鋼板　H= 3.0 m ,L=114m		

駐車場は近隣の月極駐車場を別途想定（10台分）
現場事務所、作業員休憩場所については、近隣の賃貸マンション2室（35㎡程度）を別途想定

＜⑩.仮囲い撤去、検査＞

共通事項
1.近隣への安全対策として仮囲いH=2.0を敷地境界4方向に設置する。
2.足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3.工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
4.工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし　低速走行にて振動を抑えるものとする
5.工事に使用する重機（クレーン車等）は、安全上十分なものを使用すること

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	仮設計画図（5）（参考図）		
作成年月日	令和07年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:150(A1) 1:300(A3)	図面番号	A-099
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

建築工事共通（構造関係）

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和 4 年版）（以下、「標準仕様書」という。）による。
(2) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は、※印のついたものを適用する。⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の（　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章	項目	特記事項

4 地業工事

⊙ 支持地盤等

・杭基礎 (4.2.1)(4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6)
支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端の位置含む）
・図示による（　　）　・

⊙直接基礎 (4.2.1)
支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む）
⊙図示による（　　）　・
試験掘り（根切り底の状態の確認等） (3.2.1)
・行わない
⊙行う
位置等
⊙図示による（　　）

⊙地盤の載荷試験 (4.2.4)
載荷試験の方法
⊙地盤工学会基準　JGS 1521による　・
試験の位置、載荷荷重
⊙図示による（ 現場打合せによる ）　⊙ 必要長期許容地耐力 150 KN／㎡

・ 既製コンクリート杭地業

種類 (4.3.3)
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）
・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）
SC杭の鋼管材料　・SKK400　・SKK490
・

寸法、継手、性能等　（種別：種類、性能及び曲げ強度区分） (4.2.2)(4.3.3)

		種類	コンクリート強度(N/mm²)	鋼管厚(mm)	杭径(mm)	杭長(m)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭	上杭									
	中杭									
	下杭									
本　杭	上杭									
	中杭									
	下杭									

杭先端部形状 (4.3.3)
・開放形　・半開放形　・閉そく形　・

・セメントミルク工法 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.4)
試験杭
試験杭の位置
・図示による（　　）　・
掘削深さ
・図示による（　　）　・
杭の支持層への根入れ深さ
・図示による（　　）　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下　・
杭の傾斜
・1/100以内　・

・特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.5)
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で α=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち
α、β、γが以下の値を採用できる工法
α=（　　）、β=（　　）、γ=（　　）
工法
・プレボーリング拡大根固め工法
・中堀り拡大根固め工法
・
杭周固定液
・使用する　・使用しない
試験杭
試験杭の位置
・図示による（　　）　・
杭の支持層への根入れ深さ
・図示による（　　）　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ
※評定等の評価内容による
杭の傾斜
※評定等の評価内容による

杭の継手の工法 (4.3.3)(4.3.6)(7.2.5)
・アーク溶接継手
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・
・機械式継手
工法
※評定等を受けた工法
検査
※評定等により定められた項目
施工
※評定等をされた施工管理基準による

・ 鋼杭地業

杭頭の処理等 (4.3.8)
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による（　　）　・

杭頭の中詰め材料 (4.3.8)
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・

材料、寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)

		種類	厚さ(mm)	杭径(mm)	杭長(m)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本　杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

・特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.5)(4.4.4)
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で α=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち
α、β、γが以下の値を採用できる工法
α=（　　）、β=（　　）、γ=（　　）
工法
・中堀り拡大根固め工法
・
試験杭
試験杭の位置
・図示による（　　）　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ
※評定等の評価内容による
杭の傾斜
※評定等の評価内容による

杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)
・溶接継手
形状
・JIS A 5525による　・
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・
・機械式継手
工法
※評定等を受けた工法
検査
※評定等により定められた項目
施工
※評定等をされた施工管理基準による

杭頭の処理等 (4.3.8)(4.4.6)
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による（　　）　・

杭頭の中詰め材料 (4.3.8)
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・

・ 場所打ちコンクリート杭地業

工法 (4.5.1)(4.5.5)
・アースドリル工法　（安定液　・使用する　・使用しない）
・リバース工法
・オールケーシング工法　（孔内の水張り　・行う　・行わない）

併用する工法 (4.5.1)(4.5.6)
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
鋼管の種類　・SKK400　・SKK490　・
・拡底杭工法（安定液　・使用する　・使用しない）
・

寸法等 (4.2.2)

	鋼管厚(mm)	鋼管径(mm)	軸径(mm)	拡底径(mm)	杭長(m)	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭								
本　杭								

試験杭 (4.5.5)
試験杭の位置
・図示による（　　）　・

孔壁の保持状況（孔壁測定） (4.5.5)
測定箇所
・試験杭（　）箇所及び本杭（　）箇所　・

杭の支持層への根入れ深さ
・図示による（　　）　・

杭の精度
水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下　・評定等の内容による　・
杭の傾斜
・1/100以内　・評定等の内容による　・

⊙ 砂利地業

材料 (4.6.2)
⊙再生クラッシャラン G
・切込砂利又は切込砕石

砂利厚さ (4.6.3)
※60mm　⊙100mm（図示による）

施工範囲 (4.6.3)
⊙基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
・図示による（　　）

⊙ 捨コンクリート地業

厚さ (4.6.4)
※50mm　・

施工範囲 (4.6.4)(6.14.1)
⊙基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下
・図示による（　　）

設計基準強度 (4.6.4)(6.14.1)
※18N/mm²　・

スランプ (4.6.4)(6.14.1)
※15cm又は18cm　⊙ 15cm

⊙ 床下防湿層

(4.6.2)
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・

施工範囲 (4.6.5)
⊙建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）

⊙ 地盤改良工法

材料
種類及び施工方法等
⊙図示による（ 必要長期許容地耐力　150 KN/㎡ ）　・

六価クロム溶出試験
・現場説明書による　⊙図示による

5 鉄筋工事

⊙ 鉄筋

鉄筋の種類 (4.5.4)

種類の記号	呼び径（mm）	備　考
・ SD295		
・ SD345		

帯筋 (4.5.4)
・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）6.2帯筋(2)(ウ)⑥(ロ)）

鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.4)
・100mm　・

鉄筋かごの補強 (4.5.4)
・図示による（　　）
・杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50～75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋の接触部を溶接する

組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4.5.4)(5.3.4)
※重ね継手　　重ね継手の長さ　・図示による（　　）

主筋の基礎底盤への定着長さ (4.5.4)(5.3.4)
・図示による（　　）　・

セメントの種類 (4.5.4)
※高炉セメントB種 G　・

コンクリートの設計基準強度 (4.5.4)
・図示による（　　）　・

コンクリートの種別 (4.5.4)
・A種　・B種
・評定等の評定内容による

スランプ (4.5.4)
・18cm　・21cm

構造体強度補正値 (4.5.4)
※3N/mm²
・評定等の評定内容による

材料 (4.6.2)
⊙再生クラッシャラン G
・切込砂利又は切込砕石

砂利厚さ (4.6.3)
※60mm　⊙100mm（図示による）

施工範囲 (4.6.3)
⊙基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
・図示による（　　）

厚さ (4.6.4)
※50mm　・

施工範囲 (4.6.4)(6.14.1)
⊙基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下
・図示による（　　）

設計基準強度 (4.6.4)(6.14.1)
※18N/mm²　・

スランプ (4.6.4)(6.14.1)
※15cm又は18cm　⊙ 15cm

(4.6.2)
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・

施工範囲 (4.6.5)
⊙建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）

材料
種類及び施工方法等
⊙図示による（ 必要長期許容地耐力　150 KN/㎡ ）　・

六価クロム溶出試験
・現場説明書による　⊙図示による

⊙ 鉄筋

鉄筋の種類等 (5.2.1)

種類の記号	呼び径（mm）	備　考
⊙ SD295	※ D16以下	図示による
⊙ SD345	※ D19以上	図示による
・		
・		

⊙ 溶接金網

鉄線の形状等 (5.2.2)

種　類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
⊙ 溶接金網	JIS G3551	6Φ-100×100	防水保護コンクリート
・ 鉄筋格子			

⊙ 鉄筋の継手

鉄筋の継手の方法等 (5.3.4)(5.5.3)(5.6.3)

部　位	継手の方法	呼び径（mm）
柱及び梁主筋	⊙ ガス圧接　・ 機械式継手 ・ 溶接継手	※ D19以上
耐力壁の鉄筋	⊙ 重ね継手　・	・
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	⊙ 重ね継手　・ ガス圧接	・
上記以外（　　）	・ 重ね継手　・	・

継手位置 (5.3.4)
⊙図示による（構造関係共通図（配筋標準図）5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）
基礎梁主筋の継手位置
・図5.2　・図5.3　⊙図5.4
・図示による（　　）

柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5.3.4)
⊙図示による（ 構造関係共通図による ）

耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4)
・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3(1)(イ)表3.1）
⊙図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3(1)(ウ)）
・図示による（　　）

⊙ 鉄筋の定着 (5.3.4)
鉄筋の定着長さ
⊙図示による（ 構造関係共通図による ）　・

・機械式定着工法
適用場所
・図示による（　　）　・
種類
・摩擦圧接接合　・螺合グラウト固定
・嵌合グラウト固定　・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

⊙ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む）

最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う） (5.3.5)
⊙図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4(1)表4.1）
・

柱及び梁の主筋にD29以上の使用
・あり　使用箇所（　　）
主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する

耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm
・

⊙ 各部配筋

各部配筋 (5.3.7)
※図示による

⊙ 圧接完了後の試験

外観試験 (5.4.10)(5.4.11)
※行う（全ての圧接部）

抜取試験 (5.4.10)(5.4.11)
※超音波探傷試験
試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。
試験の箇所数：１ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。

・引張試験
試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200か所を超えるときは200か所ごとをとする。
試験の箇所数：１ロットに対して（・３本　・５本）とする。

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	特記仕様書（構造関係その１）		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	－
縮　尺	----	図面番号	S-001

設計　株式会社 鈴木建築設計事務所
千葉県知事登録　第 1-2311-247 号
鈴木　泰久
一級建築士 大臣登録　第 233260 号

構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史

松戸市　街づくり部　建築保全課

・機械式継手　(5.5.3)(5.5.5)
適用箇所
・図示による（　　）　・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級　・
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式　・有機グラウト方式　・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目
※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

・溶接継手　(5.6.3)(5.6.5)
適用箇所
・図示による（　　）　・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級　・
溶接継手の工法
・図示による（　　）　・
鉄筋相互のあき
・標準仕様書5.3.5(4)による
・評定等の評価内容による
・図示による（　　）
施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波探傷試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目
※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置

6 コンクリート工事

⊙コンクリートの種類等
コンクリートの種別　(6.2.1)
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

※普通コンクリート　(6.2.1～6.2.4)

設計基準強度 (N/mm²)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m³)	適用箇所
・24	・15又は18　・18	2.3程度	
⊙30	⊙18	2.3程度	構造躯体
・	・		
・	・		
・	・		

構造体強度補正値
※標準仕様書表6.3.2による
⊙　千葉北部地区・・　令和４年１２月現在　(表6.4.1)

材齢28日間の平均気温	普通ポルトランドセメント			早強ポルトランドセメント		
	暑中におけるコンクリート	8以上	0以上 8未満	暑中におけるコンクリート	5以上	0以上 5未満
補正値（S）	6 (N/mm2)	3 (N/mm2)	6 (N/mm2)	6 (N/mm2)	3 (N/mm2)	6 (N/mm2)
7/15～ 8/28		2/24 ～ 7/14	11/20～ 2/23	7/15～ 8/28	2/3 ～ 7/14	12/9～ 2/2
		8/29 ～11/19			8/29 ～12/8	

⊙セメント
種　類　(6.3.1)
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
適用箇所（※下記以外全て　・　）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする
・高炉セメントB種 G
適用箇所（・1FL より下部（立上り部含む）　・　）
・フライアッシュセメントB種 G
適用箇所（　　）
・

⊙骨　材
アルカリシリカ反応性による区分　(6.3.1)
※A　・B（コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m³ 以下）

⊙混和材料
⊙混和剤　(6.3.1)
混和剤の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による　・
・混和材　(6.3.1)
混和材の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による　・

⊙打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地
打継ぎの位置　(6.6.4)
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による（　　）　・
柱及び壁
※スラブ、壁梁又は基礎の上端
・図示による（　　）　・

目地の寸法　(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
⊙標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による
※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する
・図示による（　　）　・

ひび割れ誘発目地の位置　(6.8.1)
⊙図示による（ 意匠図による ）

⊙コンクリートの仕上り
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　(6.2.5)(6.8.2)

種　別	適用箇所
⊙ A種	※図示による（ 外装タイル後張り面 ）
⊙ B種	※図示による（ その他打放し仕上げ面 ）
・ C種	※図示による（　　）

コンクリートの仕上りの平たんさ　(6.2.5)(6.8.2)

種　別	適用箇所
⊙ a種	※図示による（ 外装タイル後張り面 ）
⊙ b種	※図示による（ その他打放し仕上げ面 ）
・ c種	※図示による（　　）

⊙打増し厚さ
（打放し仕上げ部）
打増し厚さ
⊙打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)　(6.8.1)
⊙20mm　・

⊙打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
⊙10mm　・20mm　・

⊙外装タイル後張り面の打増し処理
⊙20mm　・

打増し範囲
⊙図示による（ 意匠図による ）　・

⊙型枠
せき板の材料及び厚さ　(6.8.2)
⊙合板(※12mm　・　) G　・
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所
・図示による（　　）　・
・ＭＣＲ工法用シート　(6.8.2)
適用箇所
・図示による（　　）　・
打増し厚さ
・20mm　・
打増し範囲
・図示による（　　）　・
スリーブの材料・規格等　(6.8.2)
・図示による（　　）　・

⊙無筋コンクリート
コンクリートの種類　(6.2.1)(6.14.1)
※普通コンクリート

セメントの種類　(6.3.1)
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G

設計基準強度　(6.14.1)
※18 (N/mm²)　・

スランプ　(6.14.1)
※15cm又は18cm　⊙ 15cm

適用箇所　(6.14.1)
⊙標準仕様書 6.14.1(4)(ｱ)～(ｶ)による
・図示による（　　）　・

⊙コンクリートの単位水量測定
実施要領
(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

7 鉄骨工事

⊙鉄骨製作工場
鉄骨製作工場の加工能力　(7.1.3)
建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
評価の区分
※（　R　）グレード　・グレードの指定はしない

⊙鉄骨製作工場における施工管理技術者
※配置する　(7.1.3)(7.1.4)

⊙鋼　材
種類等　(7.2.1)

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規　格
SS400	目隠しルーバー，設備架台，一般PL　等	⊙JIS規格による　・
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・

溶融亜鉛めっき工法の適用箇所
⊙目隠しルーバー，設備架台
・

⊙高力ボルト
高力ボルトの種類　(7.2.2)
⊙トルシア形高力ボルト（建物内部）
・JIS形高力ボルト
⊙溶融亜鉛めっき高力ボルト
・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　(7.3.2)
※図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

摩擦面の処理方法等
溶融亜鉛めっき面以外　(7.4.2)
※標準仕様書7.4.2(1)による
・
溶融亜鉛めっき面　(7.12.5)
⊙ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
・ブラスト処理以外の特別な処理方法
・図示による（　　）　・

・すべり試験　(7.4.2)
※すべり係数試験　・すべり耐力試験
試験の方法等
・図示による（　　）　・

・普通ボルト
ボルト及びナットの材料　(7.2.3)
・標準仕様書 表7.2.3（JIS附属書品）又は次による
ボルトの規格は、JIS B 1180とする。
（ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法はボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。
ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。

座金　(7.2.3)
※JIS B 1256による　・

戻り止め　(7.5.2)
※二重ナット　・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　(7.3.2)
※図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

⊙アンカーボルト
⊙構造用アンカーボルト　(7.2.4)(7.10.3)
種類
・ABR400　・ABR490　⊙ SNR400B

・建方（及び付属鉄骨）用アンカーボルト
種類
・SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による
・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　(7.3.2)
※図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔）

⊙溶接材料
溶接材料　(7.2.5)
※標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所　・図示による（　　）　・

⊙柱底均しモルタル
無収縮モルタルとする場合の材料、調合等　(7.2.9)
※標準仕様書 7.2.9(2)(ｱ)から(ｳ)による　・

⊙製作精度
鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準］に加えて、次による　(7.3.3)
通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
※平12建告第1464号第二号イ(2)による
・

⊙建方精度
※JASS6 付則6［鉄骨精度基準］付表5［工事現場］による　(7.10.2)

⊙アンカーボルトの設置等
構造用アンカーボルトの形状及び寸法　(7.10.3)
⊙図示による（　　）　・

柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別　(7.10.3)
厚さ　⊙ 30
種別　※A種　・B種

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	特記仕様書（構造関係その２）		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	－
縮　尺	---	図面番号	S-002

構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史

設 計
株式会社 鈴木建築設計事務所
千葉県知事登録　第 1-2311-247 号
鈴木　泰久
一級建築士 大臣登録　第 233260 号

松戸市　街づくり部　建築保全課

構造関係共通事項

1 総則

1.1 適用範囲

(1) 構造関係共通事項は、総則、構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図、耐震改修標準図、木造標準図）から構成される。
(2) 構造関係共通図(配筋標準図)は、鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。
(3) 構造関係共通図(鉄骨標準図)は、鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。

1.2 優先順位

(1) 設計図書の図面のうち配筋方法等に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
1. 構造図
2. 構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図、耐震改修標準図、木造標準図）

1.3 用語の定義

(1) 構造図とは、建築構造図のうち構造関係共通事項以外の図面をいう。
(2) 異形鉄筋の径(本文、図、表において「d」で示す)は、呼び名に用いた数値とする。
(3) 長さ、厚さ等の単位は、特記なき限りmmとする。

1.4 記号等

図面で使用する記号等は、表1.1～表1.8、図1.1を標準とする。

表1.1 異形鉄筋の断面表示記号

区分＼径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築	●	×	∅	●	○	⊙	⊗	◎

表1.2 各階伏図における記号

記号	説明	記号	説明
S※	スラブの配筋種別		杭の位置
	スラブ厚さ		試験杭の位置
	階段の配筋種別		打増しの範囲
D0	土間コンクリート		スラブ開口
	コンクリートブロック壁（CB壁）		ボーリング位置
	梁・スラブの上がり下がりの範囲	（±　）	FLからの上がり下がり
EW○○ EKW○○ ERW○○	耐力壁の種別 片持スラブ形階段を受け、かつ耐力壁の種別 土圧を受け、かつ耐力壁の種別	WO○○ KWO○○	一般壁の種別 片持スラブ形階段を受け、かつ一般壁の種別

表1.3 梁貫通孔記号

区分＼径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
建　築	⊖	⊗	⊣	⊬	⊖	⊱	⊣	⊬	⊖	⊱	⊣	⊬	⊖	⊱	⊣

表1.4 スリーブ材質の凡例

管　名	鋼　管	溶融亜鉛めっき鋼版	硬質塩化ビニル管（薄肉管）	つば付き鋼管（黒管）
記号（建築用）	SP（白管）	GA	VU	RS

※建築用以外のスリーブ材質は各工事による。

表1.5 高力ボルト径の記号

区分＼径	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト（F10T、S10T）	●	●	●	●	●
溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）	／	｜	┼	⊁	✳

表1.6 普通ボルト径の記号

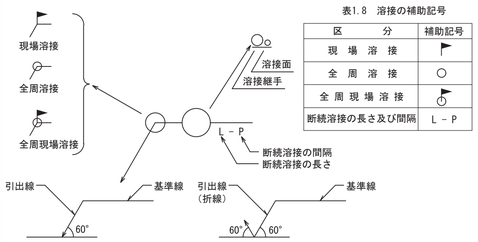
区分＼径	M12	M16	M20	M22	M24
普通ボルト	○	⊕	⊕	⊛	✳

表1.7 溶接継手及び溶接面の分類別記号

分類			記号
溶接継手	完全溶込み溶接	突合わせ継手	B
		T型継手	T
		かど継手	L
	隅肉溶接		F
	部分溶込み溶接		P
	重ねアーク溶接（フレア溶接）		FL
溶接面	片面溶接		1
	両面溶接		2

表1.8 溶接の補助記号

区　分	補助記号
現　場　溶　接	⚑
全　周　溶　接	○
全 周 現 場 溶 接	⚲
断続溶接の長さ及び間隔	L － P



※特記無き限り、完全溶込溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。

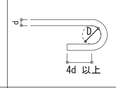
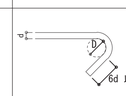
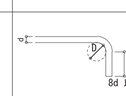
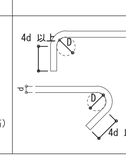
図1.1 溶接記号の記載例

構造関係共通図(配筋標準図)

1 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径は、表1.1を標準とする。

表1.1 鉄筋の折曲げ内法直径

折曲げ角度	折曲げ図（余長）	折曲げ内法直径(D) 鉄筋の種類	SD295A SD295B、SD345	SD390
		呼び名	D16 以下	D19 ～ D38	D19 ～ D38
180°			3d 以上	4d 以上	5d 以上
135°					
90°					
135°及び90°（幅止め筋）					

1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は 4d 以上とする。
2. 90°未満の折曲げの内法直径は構造図による。

2 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。
(1) 柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部

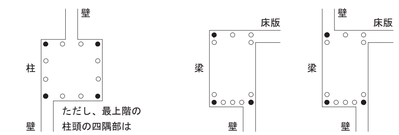


図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋（ ● 印）

(2) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
(3) 杭基礎のベース筋
(4) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3 継手及び定着

(1) 鉄筋の重ね継手
(ｱ) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
(ｲ) 柱及び梁主筋並びに耐力壁を除く鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。

表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	L_1（フックなし）	L_{1h}（フックあり）
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24，27	35d	25d
	30，33，36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24，27	40d	30d
	30，33，36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24，27	45d	35d
	30，33，36	40d	30d

（注）1. L_1，L_{1h}：重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合のL_{1h}は、図3.1に示すようにフック部分 ℓ を含まない。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。

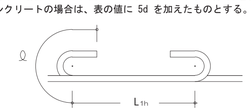
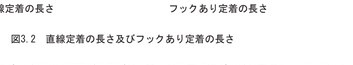


図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

(ｳ) 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず40d（軽量コンクリートの場合は50d）又は表3.1の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。

(ｴ) 隣り合う継手の位置は、表3.2による。
ただし、スラブ筋で D16以下の場合及び壁筋の場合は除く。

表3.2 隣り合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合	 a = 0.5 L_{1h}　a ≧ 0.5 L_{1h}
	フックなしの場合	 a = 0.5 L_1　a ≧ 0.5 L_1
ガス圧接継手 溶接継手	—	 a ≧ 400mm
機械式継手	—	 a ≧400mm、かつ、a ≧(b+40)mm

(2) 鉄筋の定着
(ｱ) 鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。

表3.3 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	直線定着の長さ L_1	直線定着の長さ L_2	直線定着の長さ L_3 小梁	直線定着の長さ L_3 スラブ	フックあり定着の長さ L_{1h}	フックあり定着の長さ L_{2h}	フックあり定着の長さ L_{3h} 小梁	フックあり定着の長さ L_{3h} スラブ
SD295	18	45d	40d	20d（片持小梁の場合25d）	10dかつ150mm以上（片持スラブの場合25d）	35d	30d	10d	—
	21	40d	35d			30d	25d		
	24，27	35d	30d			25d	20d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD345	18	50d	40d			35d	30d		
	21	45d	35d			30d	25d		
	24，27	40d	35d			30d	25d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21	50d	40d			35d	30d		
	24，27	45d	40d			35d	30d		
	30，33，36	40d	35d			30d	25d		

（注）1. L_1，L_{1h}：2. から4. まで以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
2. L_2，L_{2h}：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
3. L_3　：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
4. L_{3h}　：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
5. フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分 ℓ を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。

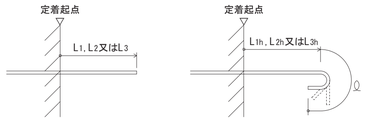


図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

(ｲ) 梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(a)、(b)及び(c)をすべて満足するものとする。
(a) 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上
(b) 余長は 8d 以上
(c) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さLa及びLbは、表3.4に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として柱せいの3/4倍以上とする。

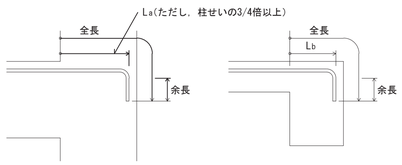


図3.3 折曲げ定着の方法

表3.4 鉄筋の投影定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	La	Lb
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24，27	15d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24，27	20d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24，27	20d	20d
	30，33，36	20d	15d

（注）1. La：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む。）
2. Lb：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持小梁及び片持スラブを除く。）
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。

(ｳ) 溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。
なお、L_1は表3.1に、L_2及びL_3は表3.3による。

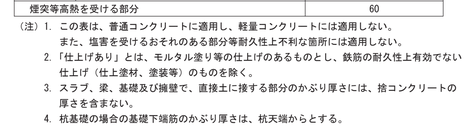


図3.4 溶接金網の継手及び定着

(ｴ) スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による



図3.5 スパイラル筋の継手及び定着

4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

(1) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。
柱及び梁の主筋に D29 以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

構造部分の種別				最小かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり		20
		仕上げなし		30
	柱，梁，耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
	擁壁，耐圧スラブ			40
土に接する部分	柱，梁，スラブ，壁			40
	基礎，擁壁，耐圧スラブ			60
煙突等高熱を受ける部分				60

（注）1. この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。
また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。
2.「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭天端からとする。

(2) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

(3) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

(4) 鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。
(ｱ) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
(ｲ) 25mm
(ｳ) 隣り合う鉄筋の径（呼び名の数値）の平均の1.5倍

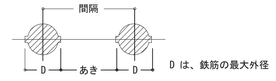


図4.1 鉄筋相互のあき及び間隔

(5) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(4)による。

(6) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

5.1 基礎梁

(1) 一般事項
(ｱ) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。
外端部や隅部では、折り曲げて定着する。
(ｲ) 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(2)(ｴ)による。

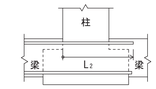
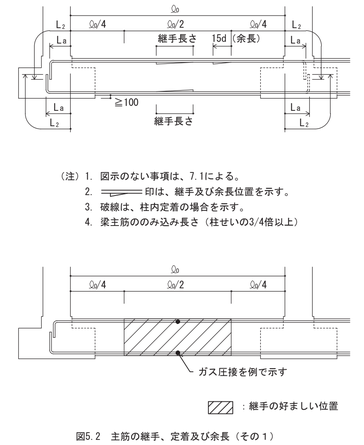


図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

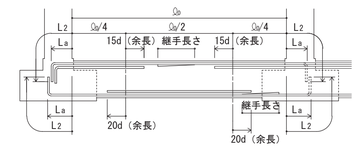
(2) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。



（注）1. 図示のない事項は、7.1による。
2. ——— 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

図5.2 主筋の継手、定着及び余長（その１）

(3) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。
ただし、耐圧スラブが付く場合は、（4）による。



（注）1. 図示のない事項は、7.1による。
2. ——— 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

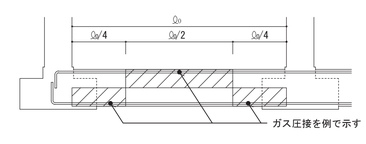


図5.3 主筋の継手、定着及び余長（その２）

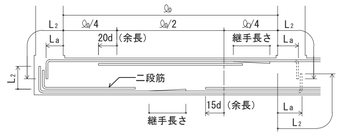
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	構造関係共通図（配筋標準図その１）		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	－
縮　尺	---	図面番号	S-003

設計　株式会社 鈴木建築設計事務所
千葉県知事登録　第 1-2311-247 号
鈴木　泰久
一級建築士 大臣登録　第 233260 号

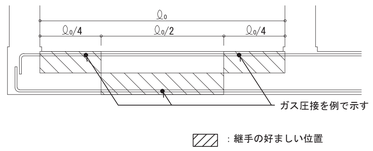
構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史

松戸市　街づくり部　建築保全課

(4) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。
（耐圧スラブがつく場合を含む）



（注）1. 図示のない事項は、7.1による。
2. ═══ 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

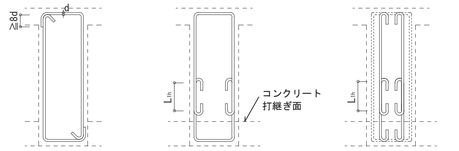


：継手の好ましい位置

図5.4 主筋の継手、定着及び余長（その３）

5.2 基礎梁のあばら筋等

(1) 一般事項
(ｱ) あばら筋の径および間隔は、構造図による。
(ｲ) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(2)による。
また、副あばら筋組立の形及びフックの位置は7.2(3)による。
ただし、梁の上下にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。



一般の場合　　重ね継手とする場合　　副あばら筋が取り付く場合

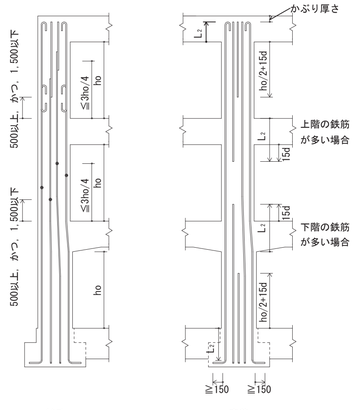
図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置

(2) 腹筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は構造図による。

(3) あばら筋の割付けは、7.2(4)による。

6.1 柱

(1) 一般事項
(ｱ) 継手中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、3ho/4（hoは柱の内法高さ）以下とする。
(ｲ) 継手、定着及び余長は、図6.1による。
ただし、柱頭定着長さL_1が確保できない場合は、構造図による。



継手　　定着

（注）1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
2. 隣り合う継手の位置は、表3.2［隣り合う継手の位置］による。
3. 継手及び定着は、すべての階に適用できる。

図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

(2) 柱打増し部
(ｱ) 打増し部分に、壁、梁及びスラブ等がとりつく場合は、壁、梁及びスラブ筋等の定着長さには、打増し部分を含まない。
(ｲ) 土に接する柱周囲の打増しは図6.2による。

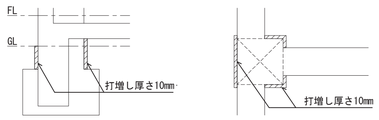


図6.2 柱打増し部

6.2 帯筋

(1) 帯筋の種類及び間隔は、構造図による。

(2) 帯筋組立の形は図6.3により、適用は構造図による。
(ｱ) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W－I 形とする。
(ｲ) 溶接する場合の溶接長さ L は、両面重ねアーク溶接の場合は 5d 以上、片面重ねアーク溶接の場合は 10d 以上とする。
(ｳ) SP形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻き行う。

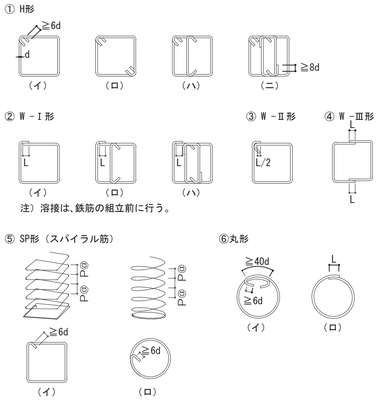
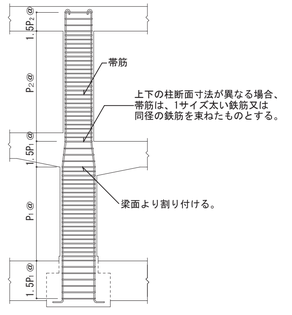


図6.3 帯筋組立の形

(3) フック及び継手の位置は交互とする。

(4) 帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は構造図による。



（注）1. 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を$1.5P_1$@または$1.5P_2$@とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。
2. 図中のP_1@、P_2@は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.4 帯筋の割付け

7.1 大梁

(1) 一般事項
(ｱ) 梁の上がり下がりは FLを基準とした寸法値とする。
(ｲ) 地中梁下の砂利地業厚及び捨てコンクリート地業厚は特記による。
(ｳ) 打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合は、スラブ、壁、梁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。

(2) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
(ｱ) 継手中心位置は、次による。
上端筋：中央 ℓo/2以内
下端筋：柱面より梁せい（D）以上離し、ℓo/4を加えた範囲以内
(ｲ) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。
(ｳ) 梁筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。

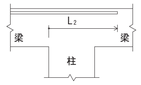


図7.1 梁主筋の梁内定着

(ｴ) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
なお、定着の方法は3(2)(ｲ)による。
上端筋：曲げ降ろす
下端筋（一般）：原則、曲げ上げる。
下端筋（ハンチ付き）：原則、曲げ上げる。
(ｵ) 梁にハンチをつける場合、その傾斜は構造図による。
(ｶ) 段違い梁は、図7.2による。

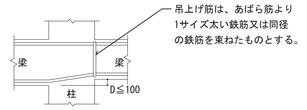
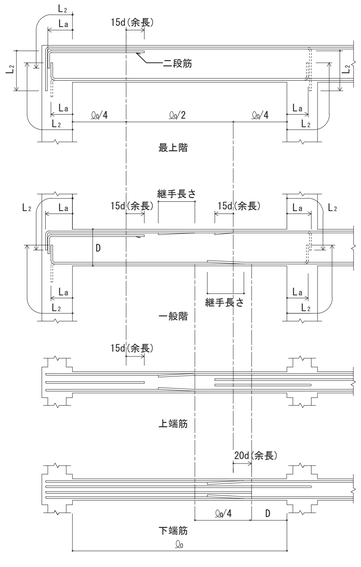


図7.2 段違い梁

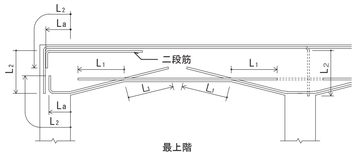
(3) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。

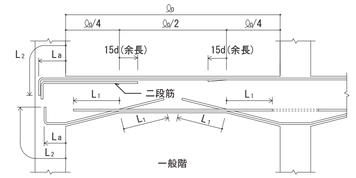


（注）1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。
2. ═══ 印は、継手及び余長を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

図7.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

(4) ハンチのある場合の定着及び余長は、図7.4による。





（注）1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。
2. ═══ 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、═══ のように引き通すことができる。
4. 破線は、柱内定着を示す。
5. 梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

図7.4 ハンチのある大梁の定着及び余長

7.2 あばら筋等

(1) あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項
(ｱ) あばら筋の種類、径及び間隔は、構造図による。
(ｲ) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、定着長さは図7.6による。
ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ、定着長さは構造図による。
(ｳ) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10 -1,000@程度とする。

(2) あばら筋組立の形及びフックの位置
(ｱ) 形は、図7.5.1 ①とする。
ただし、L形梁の場合は②または③、T形梁の場合は②～④とすることができる。
(ｲ) フックの位置
(a) ①の場合は交互とする。
(b) ②の場合は L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。
(c) ③の場合は床版の付く側を 90° 折曲げとする。

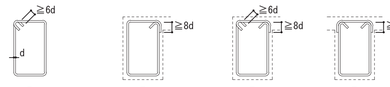


図7.5.1 あばら筋組立の形

(3) 副あばら筋組立の形及びフックの位置
形は、図7.5.2 ⑤または⑥とする。
ただし、L形梁またはT形梁の場合は⑦とすることができる。

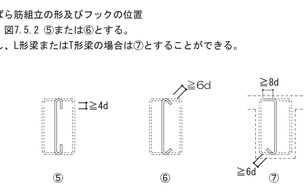
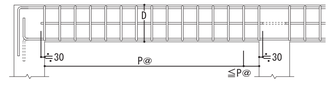


図7.5.2 副あばら筋組立の形

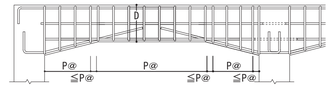
(4) あばら筋の割付け
(ｱ) 間隔が一様でハンチのない場合は、図7.6による。



（注）1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。

図7.6 あばら筋の割付け（その１）

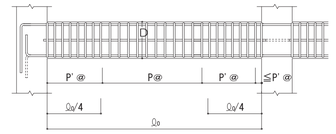
(ｲ) 間隔が一様でハンチのある場合は、図7.7による。



（注）1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。

図7.7 あばら筋の割付け（その２）

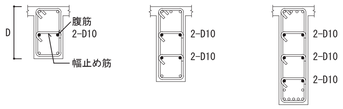
(ｳ) 梁の端部で間隔の異なる場合は、図7.8による。



（注）1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP@、P' @は、構造図のあばら筋の間隔を示す。

図7.8 あばら筋の割付け（その３）

(5) 腹筋及び幅止め筋
一般の梁は、図7.9による。



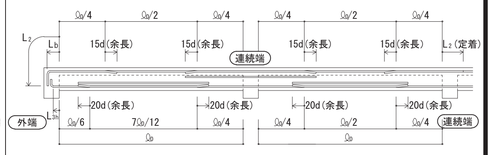
600≦ D ＜900　　900≦ D ＜1,200　　1,200≦ D ＜1,500

1. 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
2. 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000@程度とする。

図7.9 腹筋および幅止め筋

7.3 小梁

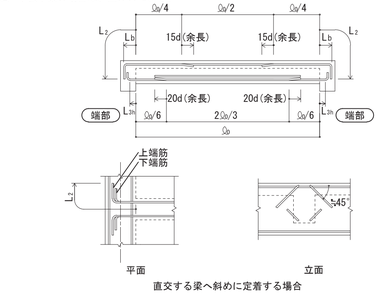
(1) 小梁主筋の継手、定着及び余長
連続小梁の場合は、図7.10による。



（注）1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。
2. ═══ 印は、余長位置を示す。

図7.10 小梁主筋の継手、定着及び余長（その１）

(2) 単独小梁の場合は、図7.11による。



直交する梁へ斜めに定着する場合

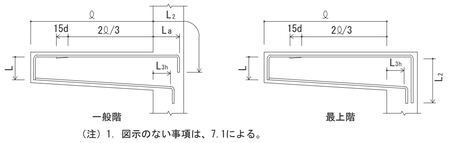
（注）1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。
2. ═══ 印は、余長位置を示す。

図7.11 小梁主筋の継手、定着及び余長（その２）

(3) あばら筋は、7.2による。

7.4 片持梁

(1) 片持梁主筋の定着及び余長
(ｱ) 先端に小梁のない場合は、図7.12による。



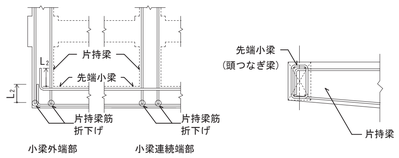
（注）1. 図示のない事項は、7.1による。
2. ═══ 印は、余長位置を示す。
3. 先端の折曲げの長さL1は、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。

図7.12 片持梁主筋の定着及び余長

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	構造関係共通図（配筋標準図その２）		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	－
縮 尺	----	図面番号	S-004
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計事務所：株式会社 鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号
須田 諭史

(ｲ) 先端に小梁がある場合は、図7.13による。



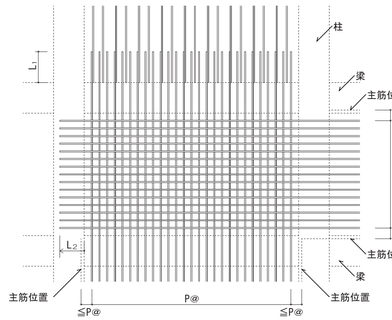
(注) 1. 図示のない場合は、(ｱ)による。
2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図7.13 片持梁主筋の定着

(2) あばら筋は、7.2による。

8.1 壁

(1) 一般事項
(ｱ) 一般壁筋の重ね継手の長さはL_1とし、耐力壁筋の重ね継手の長さは特記による。また、定着の長さは、L_2とし、鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。
(ｲ) 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
(ｳ) 打増し部分に、壁及びスラブ等が取り付く場合は、壁及びスラブ筋等の定着長さには打増し部分は含まない。



(注) 図中のP@は、構造図の壁筋の間隔を示す。

図8.1 壁の配筋

(2) 壁の配筋は表8.1により、種別は構造図による。

表8.1 壁の配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

(3) 片持スラブ形階段を受ける壁の配筋は表8.2により、種別は構造図による。

表8.2 片持スラブ形階段を受ける壁の配筋

種別	縦筋及び横筋		断面図 (mm)	階段の配筋種別(表10.1)
KW1	縦筋	D13-200@ダブル	180	KA1 KA3
	横筋	D10-200@ダブル		
KW2	縦筋	D13-150@ダブル	200	KA2 KA4
	横筋	D10-200@ダブル		

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

(4) 土圧を受ける壁の配筋は、構造図による。

(5) 壁の交差部及び端部の配筋は、図8.2による。

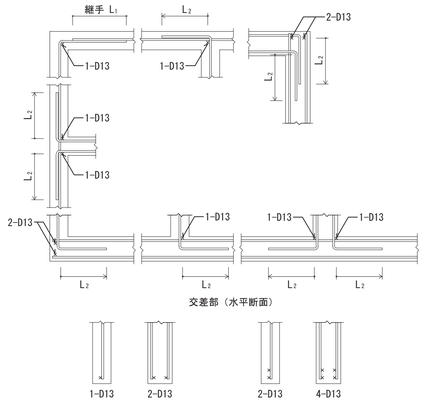


図8.2 壁の交差部及び端部の配筋

8.2 壁の補強

(1) 壁開口部の補強
(ｱ) 耐力壁を除く壁開口部の補強筋は、A形は表8.3、B形は表8.4とし、適用は構造図による。
なお、耐力壁の補強筋は、構造図による。

表8.3 壁開口部補強筋 (A形)

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12, W15	1-D13	1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13

表8.4 壁開口部補強筋 (B形)

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12, W15	2-D13	1-D13
W18, W20	4-D13	2-D13

(ｲ) 壁開口部補強の定着長さは、図8.3による。

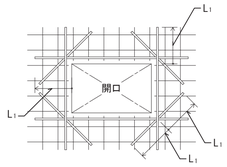


図8.3 壁開口部補強筋の定着長さ

(2) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、構造図による。

9.1 スラブ

(1) スラブ及び土間コンクリートの上がり下がりは、FLを基準とした寸法値とする。
(2) 土間スラブ下の砂利地業厚及び捨てコンクリート厚は特記による。
(3) 土間コンクリート補強筋(DO)の配筋及びコンクリート厚さは構造図による。
(4) スラブの配筋 (S形配筋) は表9.1及び図9.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表9.1 S形配筋

配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域
S 1	D13-100@	D13-100@
S 2	同 上	D13-150@
S 3	同 上	D10, D13-150@
S 4	D13-150@	D13-150@
S 5	同 上	D10, D13-150@
S 6	同 上	D10-150@
S 7	D10, D13-150@	D10, D13-150@

配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域
S 8	D10, D13-150@	D10-150@
S 9	同 上	D10-200@
S10	D10, D13-200@	D10, D13-200@
S11	同 上	D10-200@
S12	同 上	D10-250@
S13	D10-200@	D10-200@
S14	同 上	D10-250@

(注) 上端筋, 下端筋とも同一配筋とする。

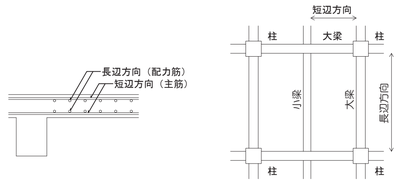


図9.1 スラブの配筋

(5) 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
(6) 原則として引き通し、鉄筋の重ね継手長さは L1とする。
(7) 定着長さ及び受け筋は、図9.2による。
ただし、引き通すことができない場合は、図9.3により梁内に定着する。

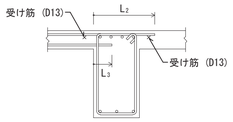
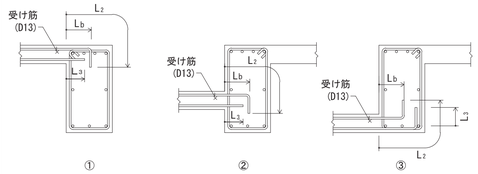
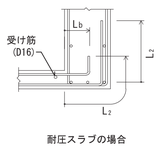


図9.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その１)



一般スラブの場合



耐圧スラブの場合

図9.3 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その２)

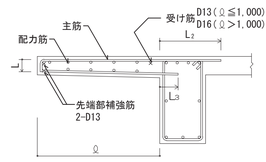
9.2 片持スラブ

片持スラブは、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。
プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は、構造図による。
片持スラブの配筋は、次による。
(1) 片持スラブの配筋 (CS形配筋) は、表9.2並びに図9.4及び図9.5により、配筋種別、配力筋及びスラブ厚さは、構造図による。

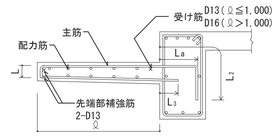
表9.2 CS形配筋

配筋種別		主筋
CS1	上	D13-100@
	下	D13-200@
CS2	上	D13-150@
	下	D13-300@
CS3	上	D10, D13-150@
	下	D10, D13-300@
CS4	上	D10, D13-200@
	下	D10-200@

配筋種別		主筋
CS5	上	D10-200@
	下	D10-400@
CS6	上	D10, D13-200@
	下	——
CS7	上	D10-200@
	下	——



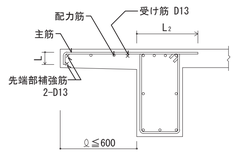
(段差なし)



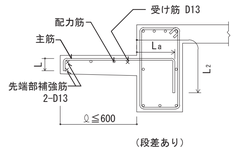
(段差あり)

(注) 先端の折り曲げ長さL1は、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.4 片持スラブの配筋 (CS1からCS5)



(段差なし)



(段差あり)

(注) 先端の折り曲げ長さL1は、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.5 片持スラブの配筋 (CS6及びCS7)

(2) 先端に壁が付く場合の配筋は、図9.6による。

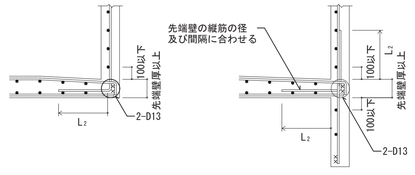


図9.6 先端に壁が付く場合の配筋

(3) 出隅部
(ｱ) 出隅部の補強筋は構造図により、配筋方法は、図9.7による。
(ｲ) 出隅受け部分 (図9.7の斜線部分) の補強筋は構造図による。

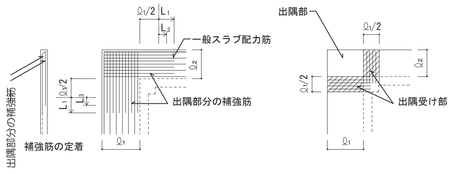


図9.7 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

9.3 スラブ等の補強

(1) スラブ開口部の補強
スラブ開口部の補強方法は、構造図による。構造図になければ、(ｱ)(ｲ)による。
(ｱ) スラブ開口の最大径が700mm以下の場合は、図9.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (=2L) シングルを上下筋の内側に配筋する。

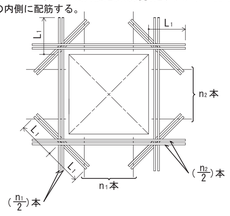


図9.8 スラブ開口部の補強配筋

(ｲ) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
(2) 屋根スラブの補強
屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図9.9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

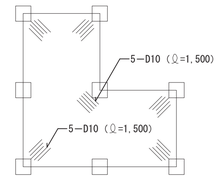


図9.9 出隅及び入隅部の補強配筋

(2) 土間スラブの打継ぎ補強
基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は図9.10による。
ただし、土間スラブとは、土に接するスラブで S形の配筋によるものをいう。

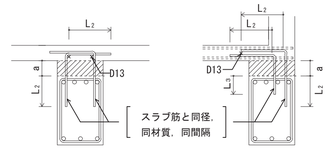


図9.10 打継ぎ補強配筋

(4) 土間コンクリートの補強
土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図9.11による。

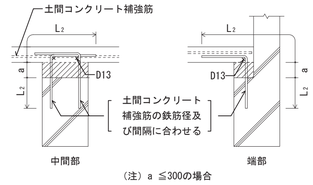


図9.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

10.1 片持スラブ形階段

片持スラブ形階段の配筋は、表10.1及び図10.1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表10.1 片持スラブ形階段の配筋

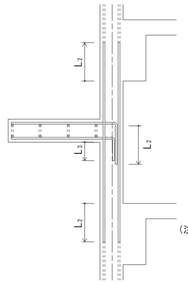
t : スラブ厚さ

配筋種別	KA1	KA2
配筋図	D13 D13 D10-300@ D10-300@ t	2-D13 D13 D10-300@ D10-300@ t
配筋種別	KA3	KA4
配筋図	D10-300@ t t D13 D13	D10-300@ t t D13 2-D13

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	構造関係共通図 (配筋標準図その３)		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	－
縮 尺	---	図面番号	S-005
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		

構造設計事務所：株式会社 鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号
須田 諭史

松戸市 街づくり部 建築保全課



（注）1. 壁配筋は、8.1(3)による。
2. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
3. スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、表3.3［鉄筋の定着の長さ］のL₂とする。

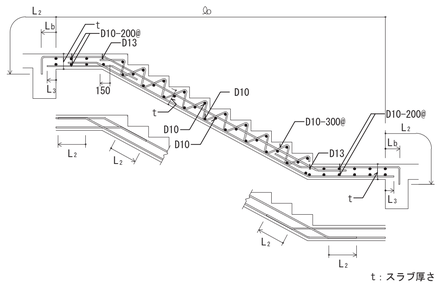
図10.1　片持スラブ形階段配筋の定着

10.2　ニ辺固定スラブ形階段

ニ辺固定スラブ形階段は、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。
プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は構造図による。
ニ辺固定スラブ形階段の配筋は表10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

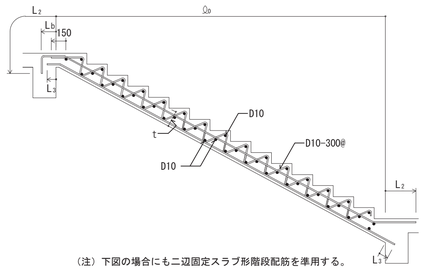
表10.2　ニ辺固定スラブ形配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
KB1	D13-200@
KB2	D13-150@
KB3	D13-100@
KB4	D13,D16-150@
KB5	D16-150@
KB6	D16-125@
KB7	D16-100@

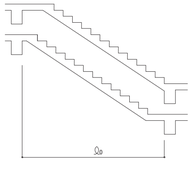


t：スラブ厚さ

図10.2　ニ辺固定スラブ形階段配筋（その１）



（注）下図の場合にもニ辺固定スラブ形階段配筋を準用する。



t：スラブ厚さ

図10.3　ニ辺固定スラブ形階段配筋（その２）

11.1　梁貫通孔

(1) 梁貫通孔は、次による。
(ｱ) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.1による。
(ｲ) 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
(ｳ) 孔の上下方向の位置は、梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3（ Dは梁せい）の範囲には孔を設けてはならない。
(ｴ) 孔は、柱面から原則として、1.5D 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
(ｵ) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の 3倍以上とする。
(ｶ) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
(ｷ) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.2による。
(ｸ) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋でき、補強を省略することができる。
(ｹ) 溶接金網の余長は、1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
(ｺ) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。
なお、リング筋は、溶接金網に 4箇所以上溶接する。
(ｻ) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。
(ｼ) 他の開孔を設けない範囲は、図11.3による。

本工事における貫通孔補強は既製品（リング型）を使用すること。

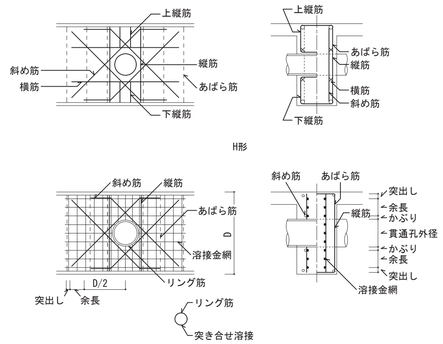


図11.1　梁貫通孔補強筋の名称等

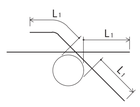


図11.2　補強筋の定着長さ

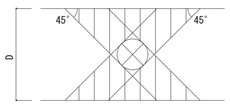


図11.3 他の開孔を設けない範囲

(2) 梁貫通孔の補強形式は表11.1～表11.2により、配筋種別は構造図による。

表11.1　H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

（注） ――― は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.2　MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100@	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100@	
MH7	4-2-D19			

（注） ――― は、一般部分のあばら筋を示す。

11.2　コンクリートブロック帳壁との取合い

(1) 控壁は、次による。
(ｱ) 控壁の配置は、構造図による。
(ｲ) 配筋は、図11.4による。

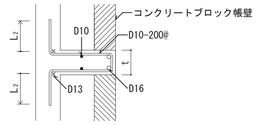


図11.4　控壁の配筋（水平、垂直とも）

(2) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.5による。

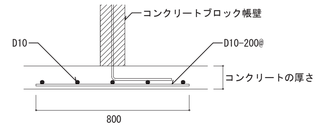


図11.5　壁付き土間コンクリートの補強配筋

11.3　パラペット

パラペットの先端補強筋は図11.6により、コンクリート厚さ及び配筋は構造図による。

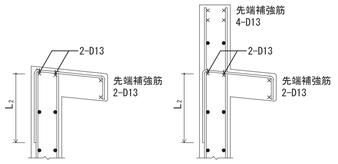
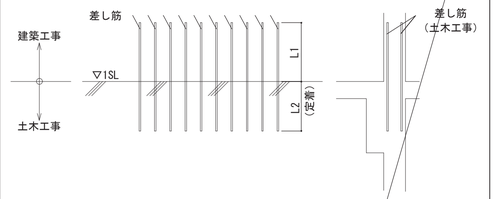


図11.6　パラペットの先端補強筋

12　土木部分と建築部分の取り扱い

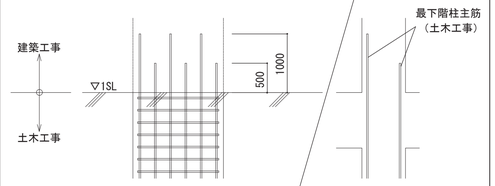
12. 1　壁縦筋の取り合い

（１）土木工事において、１階伏図及び建築１階壁配筋図を参考に、地中壁又は梁を下図により差し筋をする。
（２）差し筋の定着は土木工事の壁・梁筋の内側とする。



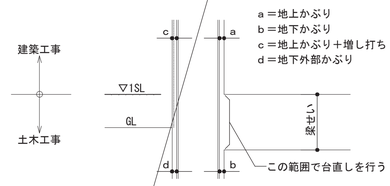
12. 2　柱主筋の取り合い

（１）土木最上部の柱主筋は１階建築部分の柱断面に応じ、下図の圧接位置まで伸ばすことを原則とする。
（２）帯筋は、梁及び壁に取り合う部分は150@その他の部分は100@とする。径は１階柱の帯筋と同径とする。



12. 3　柱主筋のかぶり厚の取扱い

（１）柱主筋のかぶり厚さの違いによる台直しは、梁せいの内で行うことを原則とする。
コンクリート打設後の鉄筋の位置修正が生じた場合は監督職員の承諾を得る。



工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事
図面名	構造関係共通図（配筋標準図その４）
作成年月日	令和7年03月14日
変更年月日	－
縮 尺	---
図面番号	S-006

設 計　株式会社 鈴木建築設計事務所
千葉県知事登録　第 1-2311-247 号
鈴木　泰久
一級建築士 大臣登録　第 233260 号

構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史

松戸市　街づくり部　建築保全課

構造関係共通図（鉄骨標準図）

1-1 縁端距離及びボルト間隔

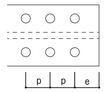
(1) 縁端距離及びボルト間隔

縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図になければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。

また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表1.1　縁端距離及びボルト間隔　（単位mm）

ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12 M16 M20 M22	40	60
M24	45	70

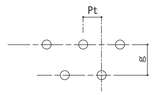


(2) 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔

千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

表1.2　千鳥のゲージ及びボルト間隔　（単位mm）

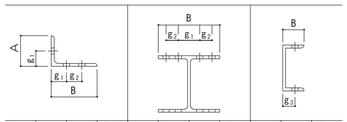
ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔 Pt ねじの呼び M12, M16, M20, M22	M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	–	40



(3) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

表1.3　形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径　（単位mm）



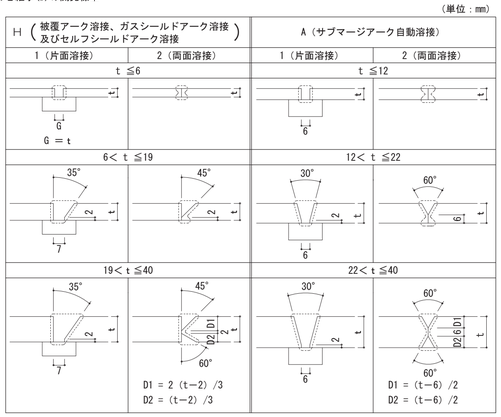
A又はB	g_1	g_2	最大軸径	B	g_1	g_2	最大軸径	B	g_3	最大軸径
45	25		12	100	56		16	50	30	12
50	28		16	125	75		16	65	35	20
60	35		16	150	90		22	70	40	20
65	35		20	175	105		22	75	40	22
70	40		20	200	120		24	80	45	22
75	40		22	250	150		24	90	50	24
80	45		22	300	150	40	24	100	55	24
90	50		24	350	140	70	24			
100	55		24	400	140	90	24			
125	50	35	24							
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

※1　千鳥打ちとした場合

1-2 溶接継手の種類別開先標準

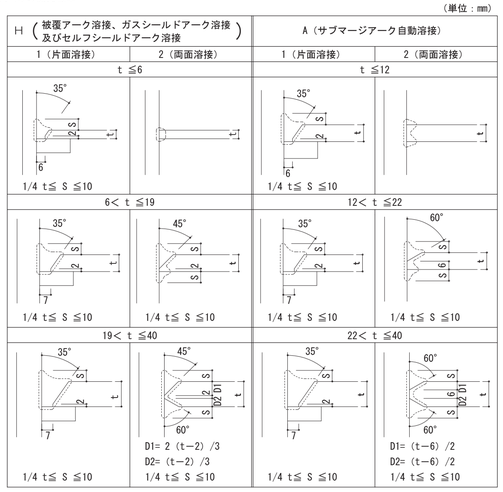
突合わせ継手(B)の開先標準

（単位：mm）



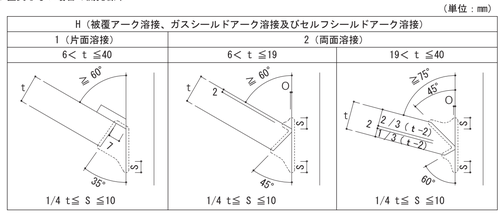
T型継手(T)の開先標準

（単位：mm）



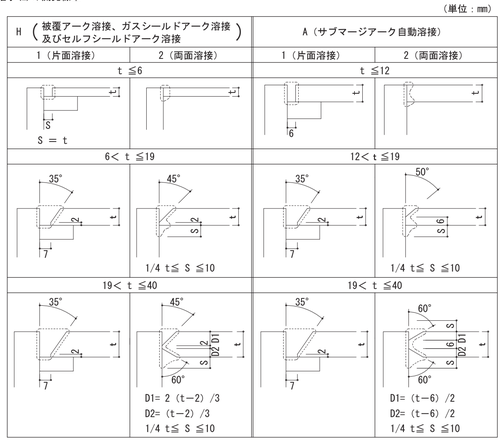
部材が直交しない場合の開先標準

（単位：mm）



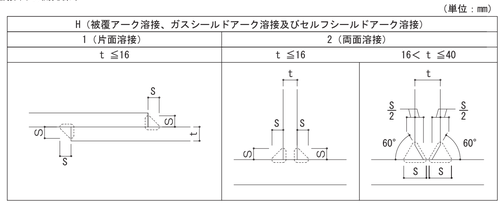
かど継手(L)の開先標準

（単位：mm）



隅肉溶接(F)の開先標準

（単位：mm）



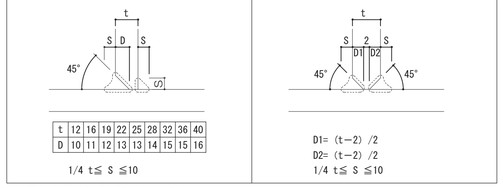
隅肉溶接のサイズ

（単位：mm）

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

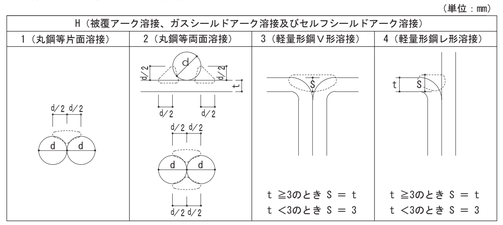
部分溶込み溶接(P)の開先標準

（単位：mm）



重ねアーク溶接（フレア溶接）(FL)の開先標準

（単位：mm）

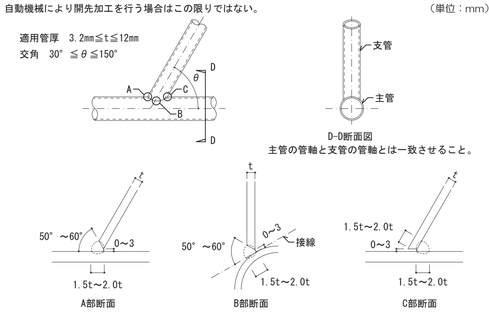


1-3 鋼管分岐継手詳細

自動機械により開先加工を行う場合はこの限りではない。　（単位：mm）

適用管厚　3.2mm≦t≦12mm

交角　30°≦θ≦150°

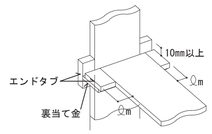


1-4 鉄骨溶接施工

(1) エンドタブ・裏当て金の鋼材の種別及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。

(2) エンドタブ

エンドタブの形状は母材と同厚・同開先のものとする。

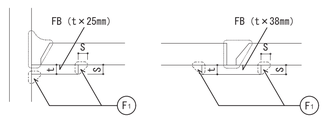


溶接方法	ℓm
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

(3) 裏当て金

(ｱ) 裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。

(ｲ) 完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。



裏当て金の厚さ　（単位：mm）

溶接方法	t
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

溶接のサイズ　（単位：mm）

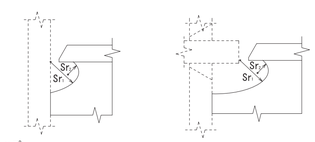
裏当て金の厚さ	S
t≦9	5
t>9	9

(4) スカラップ

改良型スカラップ

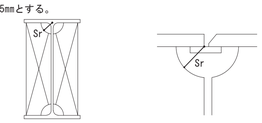
(ｱ) スカラップ半径Srは35mmとする。Srは10mmとする。

(ｲ) スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。



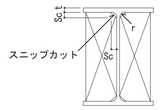
従来型スカラップ

スカラップ半径Srは35mmとする。



(5) スニップカット

(ｱ) スニップカット部は溶接により埋めるものとする。

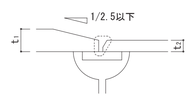


(ｲ) スニップカットの寸法は、下表による。ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Sc=r+2により求めるものとする。

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

(6) 溶接部分の段差

完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段違いが10mmを超える場合、又は低応力高サイクル疲労を受ける場合



1-5 重ねアーク溶接（フレア溶接）を行う場合の溶接長さ

鉄筋又は軽量形鋼に重ねアーク溶接（フレア溶接）を行う場合の溶接長さ（L）は、ビードの始点（La）及びクレーター（Lb）を除いた部分の長さとする。

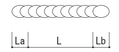
L：片面フレア溶接の場合　10d

　両面フレア溶接の場合　5d

La及びLbは 1d（軽量形鋼については 1S ）以上

d：異形鉄筋の呼び名に用いた数値

S：溶接のサイズ



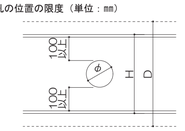
1-6 梁貫通孔補強

(1) 鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部材に貫通孔を設ける場合は、次による。

(ｱ) 貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。

(ｲ) 貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で 2倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で 3倍以上確保する。

梁貫通孔の位置の限度（単位：mm）



H ：鉄骨せい

D ：はりせい

φ：貫通孔内径寸法

（φ≦H/2かつφ≦D/3）

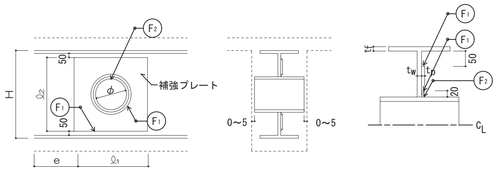
(2) 貫通孔の補強方法は、構造図による。

補強プレート法及び補強トラス法の溶接等は、以下による。

補強プレート法

(ｱ) 補強プレートが16mm以上となる場合は、必要な長さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。

(ｲ) 補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。

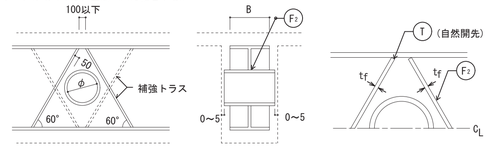


ℓ1は3φまたはℓ2のうち小さい方とする。　（ e ≧ H とする）

e：材端と補強プレートの間隔

補強トラス法

スリーブの取付けは、全周隅肉溶接とする。



1-7 その他

(1) 広幅平鋼の取り扱いについて

BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スプライスプレートは、PL表記であっても FB又はPLとする。

(2) フィラープレートの材質

フィラープレートを使用する場合、材質はSS400とする。

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	構造関係共通図（鉄骨標準図）		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	–
縮 尺	----	図面番号	S-007

設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号

構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所

構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号

構造設計一級建築士　第9472号

須田 諭史

松戸市　街づくり部　建築保全課

地 盤 改 良 地 業 特 記 仕 様 書

1. 工事概要

本地業は、テノコラム工法による地盤改良地業である。テノコラム工法は、スラリー状のセメント系固化材（以下、固化材液と称す）を地盤に注入しながら、共回り防止翼を装着した撹拌装置を用いて、原地盤土と機械的に撹拌混合し、固化材の固化反応により所要の強度を持つ改良柱体（以下、コラムと称す）を築造するものである。

2. 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（日本建築センター）（ベターリビング）および「建築工事標準仕様書・同解説　JASS４ 杭・地業および基礎工事」（日本建築学会）による。

3. 特記事項

(1) コラムの径、掘削深度（設計コラム長＋空掘長）、本数配置等は設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・位置及び固化材液の配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切だと判断される場合は、監督員の承認の下に変更することができる。

(2) コラムの設計基準強度はＦｃ＝ 1000 kN/m2（ 1.0 N/mm2)とする。

(3) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理および品質検査を実施する。

(4) 本工事工法は、技術審査証明取得工法とする。又、事前にその証明書を監理者に提出し、承認を得ることとする。

4. 施工計画

(1) 本工事施工業者は、本工法の施工技術に精通したもので、テノコラム協会に所属する会員とする。

(2) 施工計画書

工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書は、次の事項を明記する。

① 工事件名及び工事場所
② コラム仕様及び数量
〔コラム径・掘削深度（設計コラム長＋空掘長）・本数
・設計基準強度 〕
③ 工事期間及び工程
④ 工事の組織(建築請負業者の本工事責任者、コラム施工業者名及び責任者、各種作業の主たる従事者)
⑤ 施工手順
⑥ 施工機器
⑦ 固化材配合条件
⑧ 施工管理（立会い、管理項目、施工記録）
⑨ 品質検査
⑩ 安全衛生対策
⑪ 地盤概要（土質柱状図）
⑫ コラム伏図
⑬ 技術審査証明書（写）

5. 施工

(1) 作業地盤は、施工機械が傾斜・転倒しないよう養生する。

(2) 基本的な施工手順を以下に示す。施工の障害になる事項が出現した場合は、別途検討する。

ａ．撹拌混合装置をコラム心に合わせる。
ｂ．固化材液を吐出せずに、空掘り部を所定の深度まで掘進する。
ｃ．固化材液を吐出しながら掘進・撹拌混合する。
ｄ．注入掘進工程が終了したら、固化材液の吐出を停止し先端部の練り返しを行う。
ｅ．先端練り返し工程が終了したら、撹拌軸を逆回転し引上げ撹拌混合する。

(3) 設計図書に示された支持地盤に着底する長さを実施コラム長という。

(4) 本工事により排出される発生残土は場外処分とする。

6. 施工機械

(1) 共回り現象を防止する機構を有し、固化材と原位置土を確実に撹拌混合できる撹拌装置を用いること。

(2) 所定の施工管理項目を計測、記録できる管理装置を用いること。

(3) 改良機本体は本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したもので、自走式とする。

(4) ミキシングプラントは、所定吐出量を十分供給できるものとする。

7. 配合管理

(1) 固化材液に使用する材料は、セメント又はセメント系固化材とする。

(2) 配合強度

変動係数を25%と想定し、９項に規定する抜き取り箇所数Ｎ、合格確率 80%とした下表を用いて設定する。

N	1	2	3	4～6	7～8	9
α	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

Ｘf＝α×Ｆc　［α：割り増し係数、Ｘf：配合強度］

(3) 室内配合試験

固化材液の配合（Ｗ／Ｃ）と使用量（添加量）は、室内配合試験の結果に基づいて、現場室内強度比を考慮して、配合強度を満足するように決定する。あるいは正確に土質を把握し、かつその土質に対する既存データがある場合は、その結果を用いて添加量を決定する。

なお、六価クロム溶出試験を実施すること。

8． 施工管理

(1) 施工の安定性を確保するため下記に示す項目について施工管理する。

①	形状・寸法	：鉛直性	改良機本体のリーダー内に設置された傾斜計で管理する
		コラム心	事前にコラム心にマークを設ける
		掘削深度	深度計で計測し記録する （掘削深度は、監督員と協議して決定する）
		コラム径	撹拌装置の形状・寸法を記録する
②	固化材	：材料計量	水、固化材の重量
		固化材液の密度	マッドバランス等
		固化材液の添加量	スーパーシステムにて施工管理を行い、記録する
③	撹拌混合度	：撹拌混合回数	スーパーシステムにて施工管理を行い、記録する

(2) コラムの芯ズレ

コラムの芯ズレが許容値を超えた場合は、監督員（監理者）と協議し、設計検討により応力照査を行った上、安全であると判断した場合、設計図書で示された仕様を満足しているものとする。

(3) 施工の立会い

建築工事の請負者は、本地業責任者(請負業者の中から選定)及び施工責任者を定め、両者は本地業の施工中は立ち会うものとする。

9． 品質検査

(1) 検査対象群、検査対象層及び調査箇所数

① 検査対象群は概ねコラム300本を１単位とする。土層毎に検査対象層を決めるが、最小層厚を0.5mとする。
② 検査対象層は ローム 、凝灰質粘土 、 細砂 であり、設計対象層を ローム とする。
設計対象層の平均強度は他の検査対象層の平均強度を超えないこと。
超えている場合は、最も低い平均強度の層を設計対象層とする。
③ 調査箇所数
頭部コア：100コラムを１単位とし、１単位毎に１ヶ所
深度コア：100コラムを１単位とし、１単位毎に１ヶ所

(2) コア採取率による調査

コアボーリング調査の内、検査対象群に１ヶ所の割合でコア採取率を調査する。
コア採取率が、全長に対して粘性土で90%、砂質土で95%以上、深さ1m毎に粘性土で85%、砂質土で90%以上あることを確認する。

(3) 合否の判定

① 設計対象層についての抜取箇所数をＮとする。１ヶ所あたりは３個の供試体を採取し、その平均強度をその箇所の強度とする。
② 一軸圧縮試験は公的機関あるいは検査員立会いの下に行うものとする。
③ 検査手法は品質のバラツキを想定する場合の検査手法Ａによる。
④ 検査手法Ａによる品質検査
合否の判定は検査対象層におけるＮヶ所（抜取箇所数）の一軸圧縮試験結果が、下式を満足すれば合格とする。

$$\bar{X}_N \geqq X_L = Fc + k_a \cdot \sigma$$

$\bar{X}_N$ ：Ｎヶ所の一軸圧縮強度の平均値（ N/mm^2, kN/m^2 ）
X_L ：合格判定値（ N/mm^2, kN/m^2 ）
Fc ：設計基準強度（ N/mm^2, kN/m^2 ）
k_a ：合格判定係数
σ ：標準偏差（ N/mm^2, kN/m^2 ）　$= v \cdot \bar{q}_{ud}$
（ v：変動係数、品質確認書より想定する
$\bar{q}_{ud}$：想定した平均一軸圧縮強さ（ N/mm^2, kN/m^2 ） ）

抜き取りヶ所数　N	1	2	3	4～6	7～8	9
合格判定係数 k_a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

10． 報 告

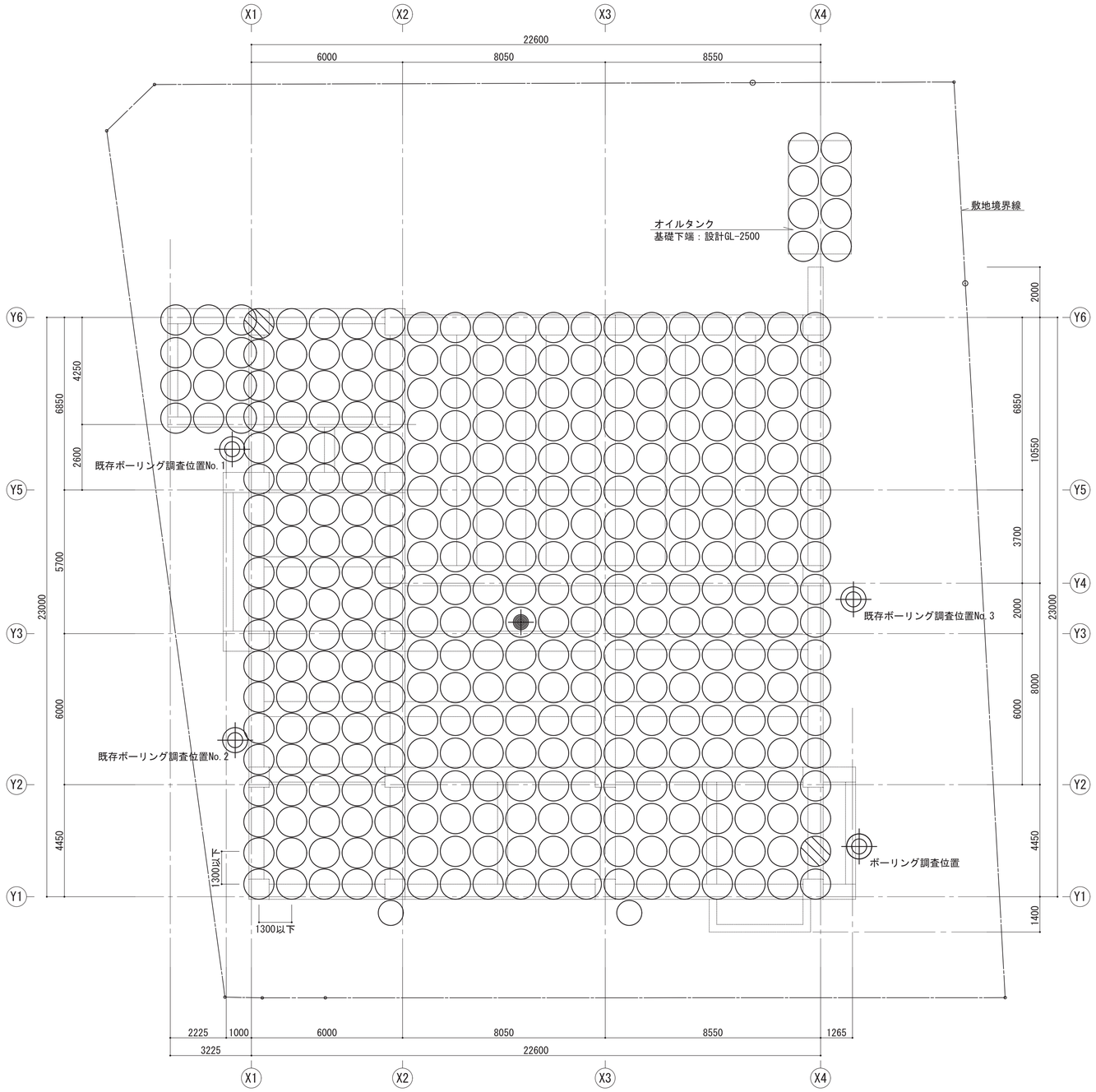
工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、３部監督員に提出する。

① コラムの伏図及び番号
② コラムの施工日
③ コラムの径及び実施コラム長
④ 掘削深度
⑤ 撹拌混合回数
⑥ 固化材液の配合と固化材の使用量
⑦ コア供試体の一軸圧縮強度試験結果及び
ボーリングコアを用いたコア採取率
⑧ 合格判定結果

11． その他

構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所	
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号	
構造設計一級建築士　第9472号	
須田 諭史	

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	地盤改良事業特記仕様書		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	---	図面番号	S-008
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



地盤改良仕様	
設計基準強度	Fc=1000kN/㎡
改良径	1200φ
掘削長	7.30m
空堀長	消防署：2.38m　オイルタンク：2.55m
改良長	消防署：4.92m　オイルタンク：4.75m
本数	消防署：341本　オイルタンク：8本

地盤改良図　S=1:100

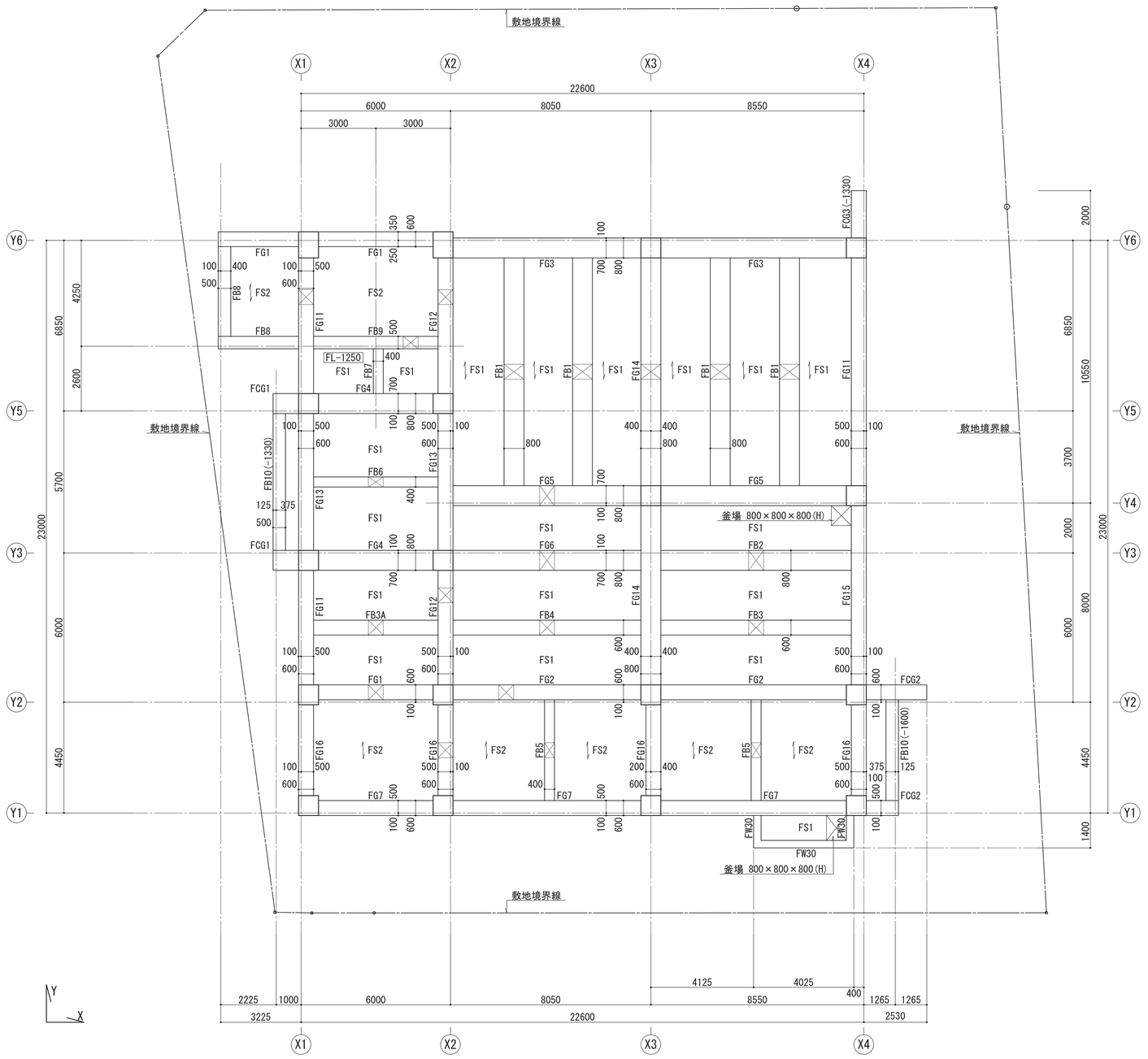
注１）必要長期許容地耐力は 150kN/㎡ とする。
注２）特記なき基礎下端は 設計GL-2330 とする。
注３）捨てコンクリートは t=50 とする。
注４）⊕ は地盤の載荷試験位置を示す。
注５）▨ は試験コラムを示す。

ボーリング柱状図

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m)	打撃回数	N値
								コンクリート20cm。			
1	-0.52	0.60	0.60	埋土	黒褐			有機質ローム主体。 グリ石混入。 0.50m付近粘土質ローム主体。		1/30	
2							非常に軟い	粘性は強い。 スコリア混入。		1/30	
3	-2.72	2.20	2.80	粘土質ローム	茶褐		非常に軟い	粘性はやや強い。 酸化物混入。 色調やや混色。		1/31	
4	-4.22	1.50	4.30	凝灰質粘土	乳茶灰	非常に緩い		粒径は均一。		1/30	
5								含水量少ない。		12/30	
6										15/30	
7						中位				19/30	
8	-7.92	3.70	8.00	細砂	黄褐			粒径は均一。		24/30	
9								含水量少ない。	9.00	17/30	
10								雲母片混入。		17/30	
11								9.00m付近より含水量中位。		18/30	
12										24/30	
13										16/30	
14										16/30	
15										23/30	
16										23/30	
17										21/30	
18										26/30	
19										16/30	
20										24/30	
21						中位				25/30	
22						密な				32/30	
23						中位				25/30	
24										37/30	
25						密な				45/30	
26	-25.62	17.70	25.70	細砂	黄灰	密な		砂粒径はやや均一。 含水量中位。 貝殻片混入。 シルト少量混入。		30/30	
27	-27.27	1.65	27.35	貝殻混り細砂	暗黄灰	非常に密な		27.00m付近粘性は粗く、暗灰色を呈す。		50/28	
28	-28.22	0.95	28.30	砂混り粘土	黄灰		硬い	粘性はやや強い。 所々砂層状に挟む。		11/30	
29	-28.62	0.40	28.70	有機質粘土	茶灰			28.00m付近暗灰色のシルト30cm位挟む。		50/13	
30								粘性は中位。 腐植物混入。 砂少量混入。		50/22	
31								粒径は均一。		50/9	
32								含水量中位。		50/9	
33										50/8	
34	-34.32	5.07	34.40	細砂	暗灰	非常に密な				50/25	
35											

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	地盤改良図		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	S-009
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史



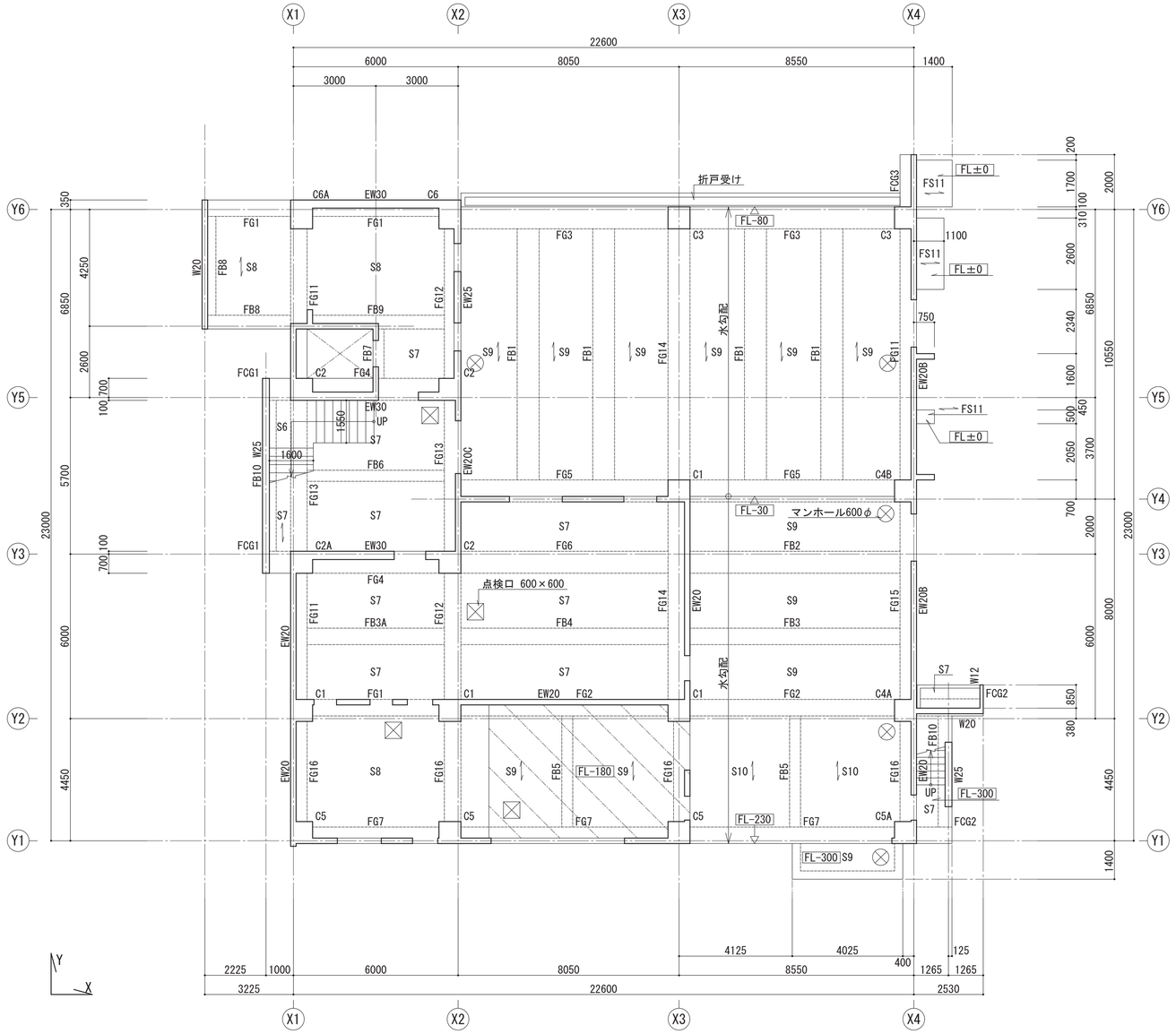
基礎伏図 S=1:100

注１）カッコ内はGLからの下端レベルを示し、特記なき下端は GL-2330 とする。

２）⌶ は人通口600φを示す。

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	基礎伏図		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	S-010
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計事務所：株式会社 鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号
須田 諭史

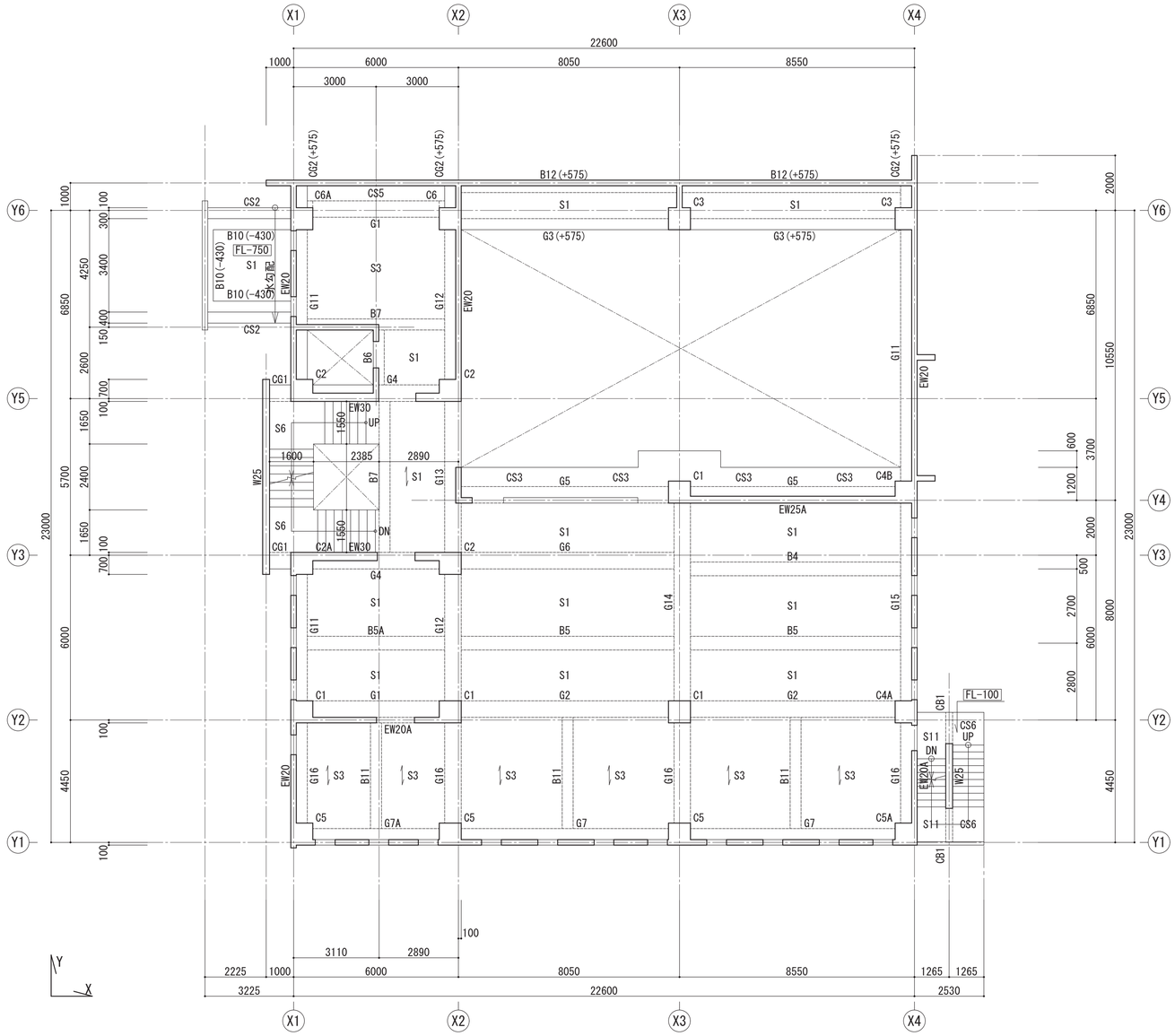


１階床伏図　S=1:100

注１）特記なき壁は W20 とする。
　２）特記なきスラブ天端は FL-30 とする。
　３）｜はスラブ主筋方向を示す。
　４）特記なき梁天端は GL+200 とする。

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	１階床伏図		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	S-011
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史

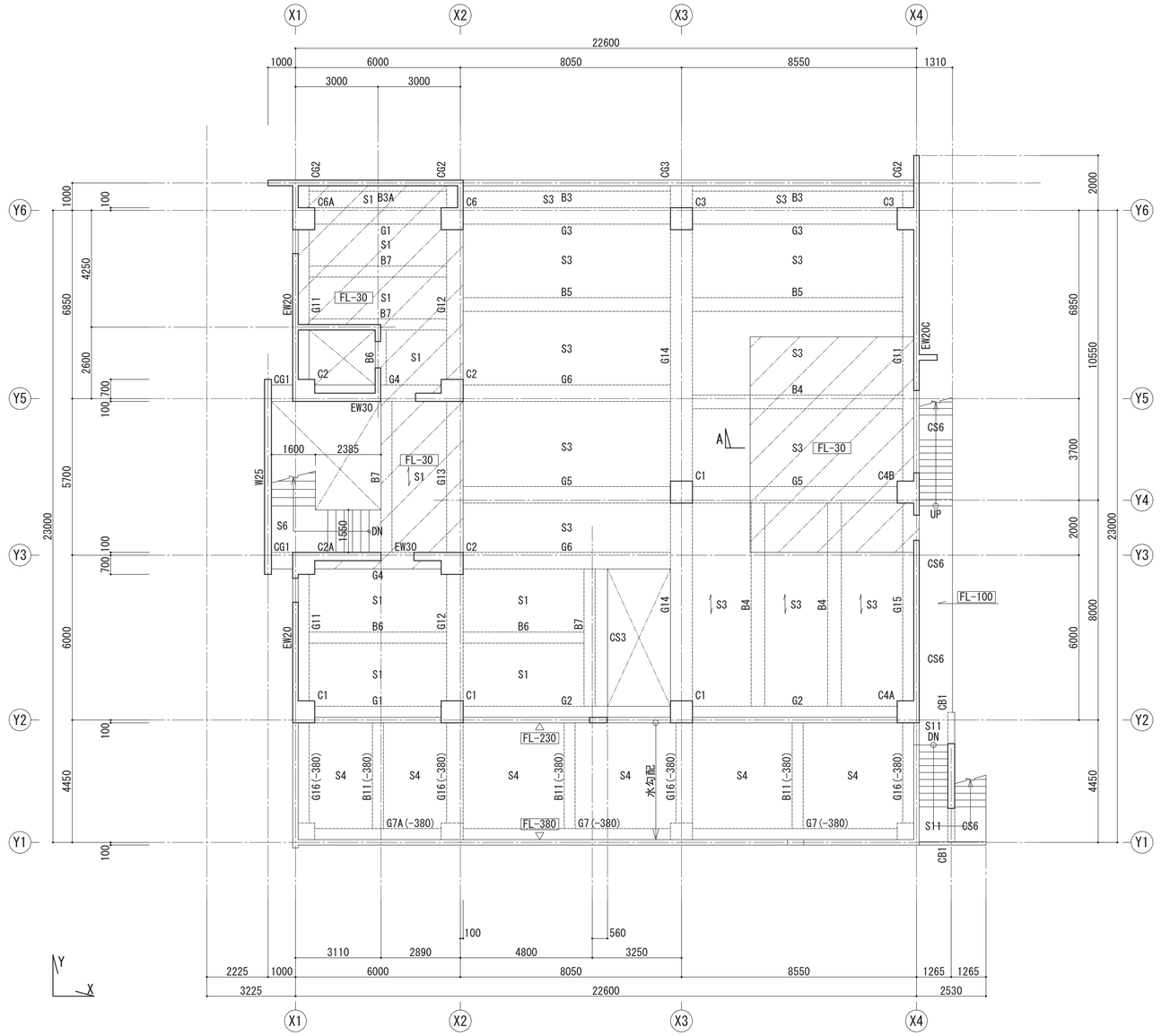


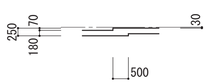
２階床伏図　S=1:100

注１）特記なき壁は W20 とする。
　２）特記なきスラブ天端は FL-30 とする。
　３）｜はスラブ主筋方向を示す。
　４）カッコ内は梁天端を示し、特記なき梁天端は FL-30 とする。

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	２階床伏図		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	S-012
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史





A断面

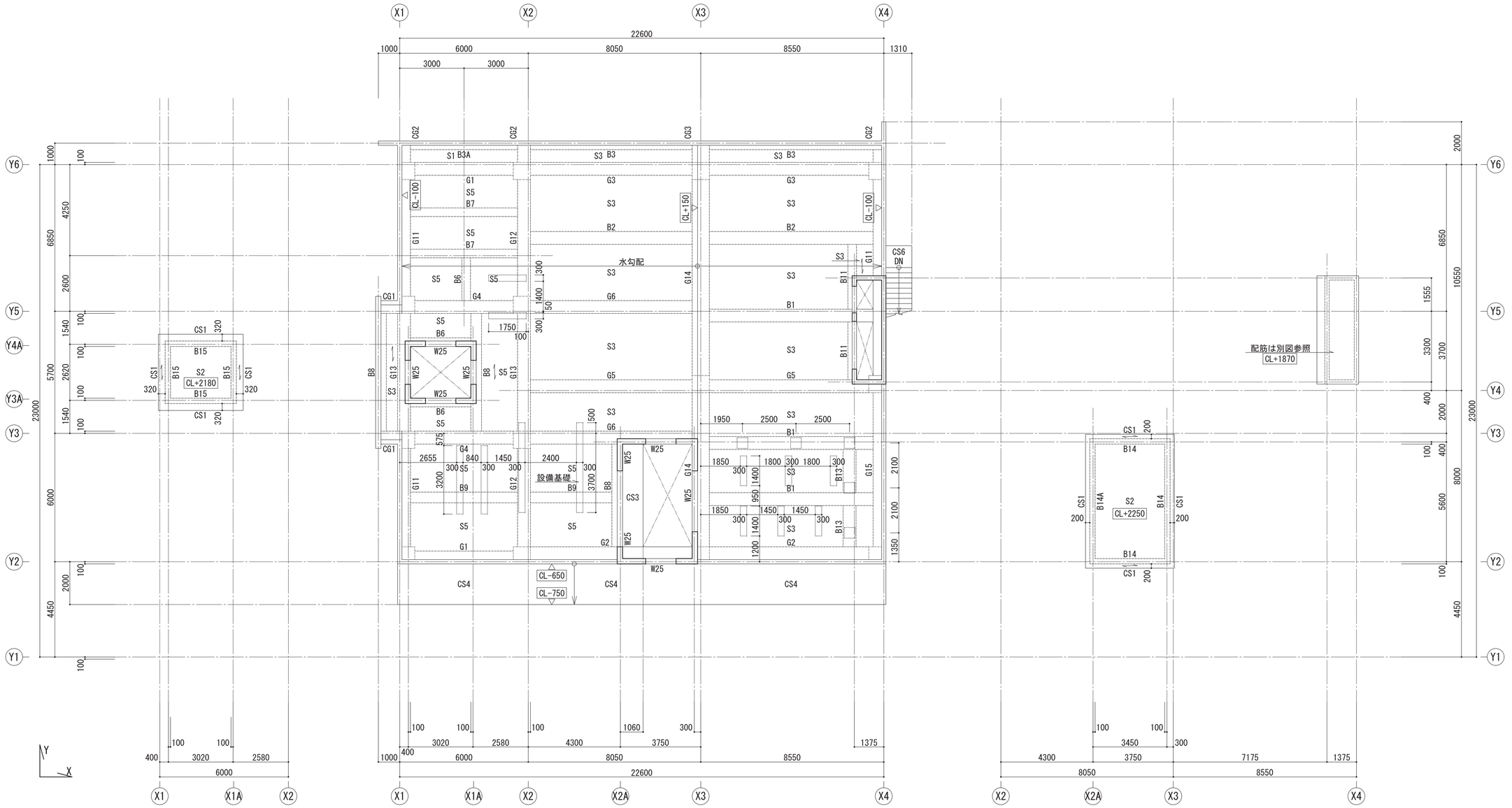
注）配筋要領は別図による。

３階床伏図　S=1:100

注１）特記なき壁は W20 とする。
２）特記なきスラブ天端は FL-100 とする。
３）｜はスラブ主筋方向を示す。
４）カッコ内は梁天端を示し、特記なき梁天端は FL-100 とする。

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	３階床伏図		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	S-013
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史



PR階床伏図 S=1:100

注１）⟋はスラブ主筋方向を示す。

R階床伏図 S=1:100

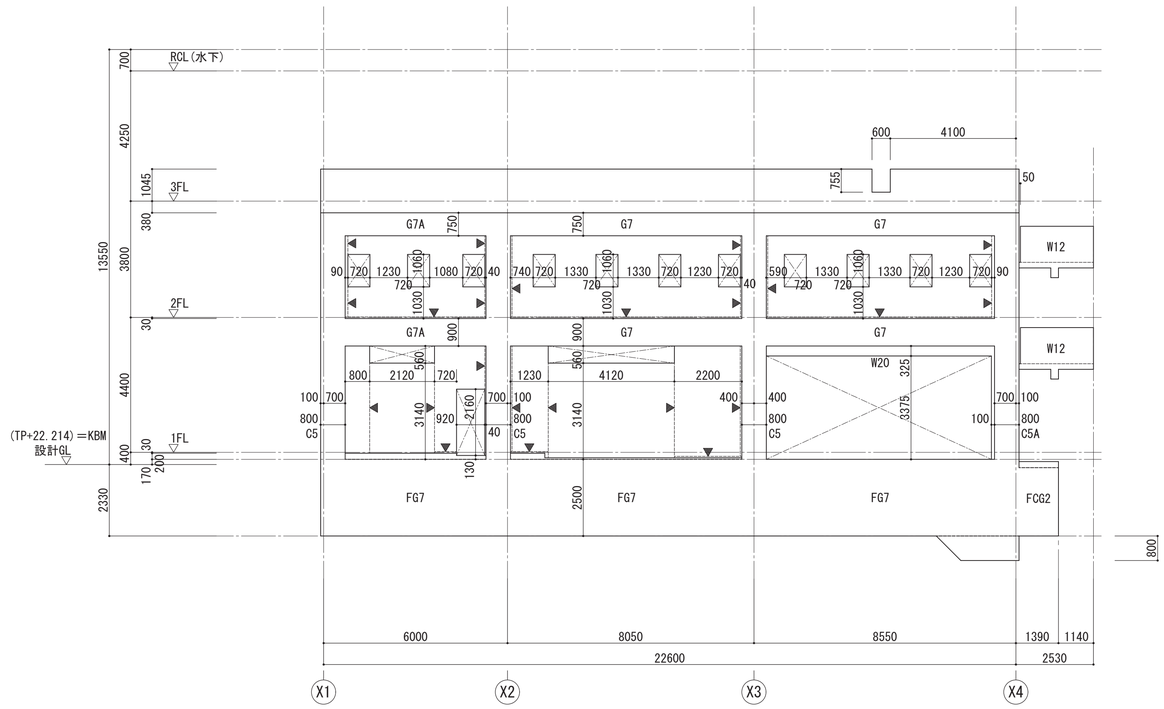
注１）特記なき壁は W20 とする。
２）⟋はスラブ主筋方向を示す。
３）□内はCLからの寸法を示す。
４）特記なき梁天端は RCL(水下)-100 とする。

PR階床伏図 S=1:100

注１）⟋はスラブ主筋方向を示す。

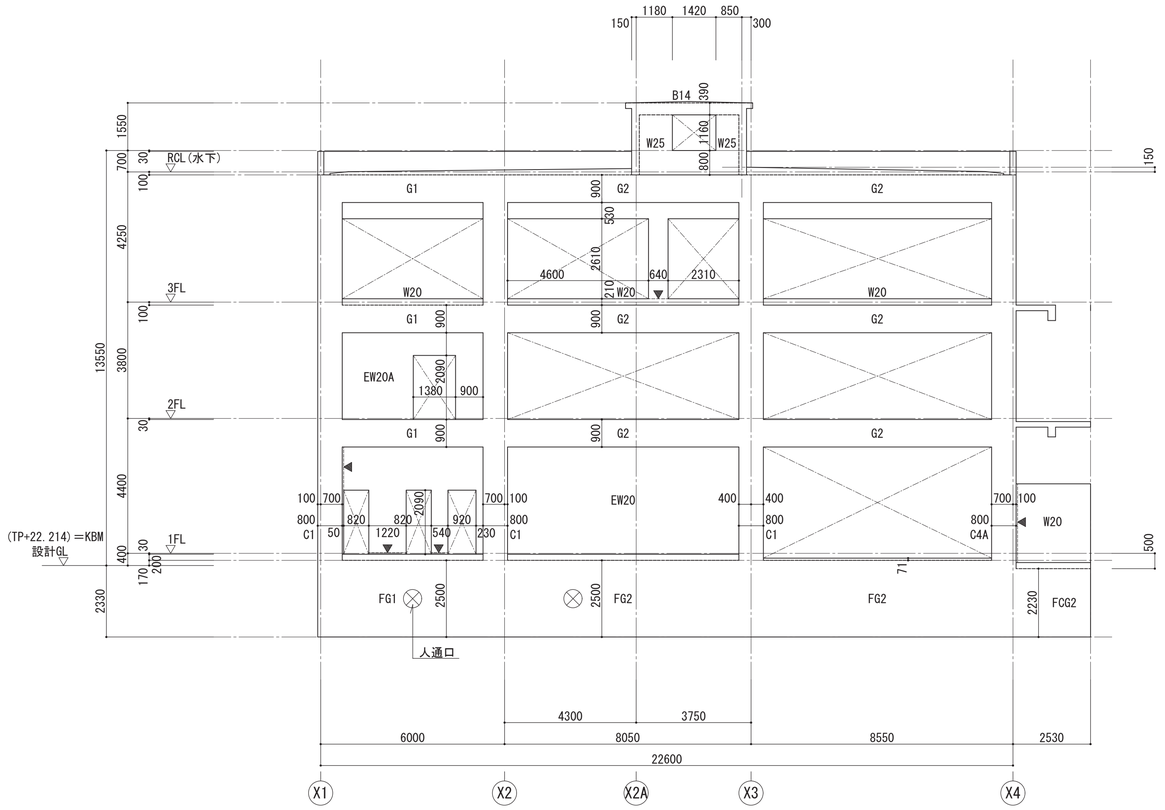
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	R階・PR階床伏図		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	S-014
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計事務所：株式会社 鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号
須田 諭史



Y1通り軸組図 S=1:100

注１）特記なき壁は W20 とする。
２）▼は構造スリットを示す。

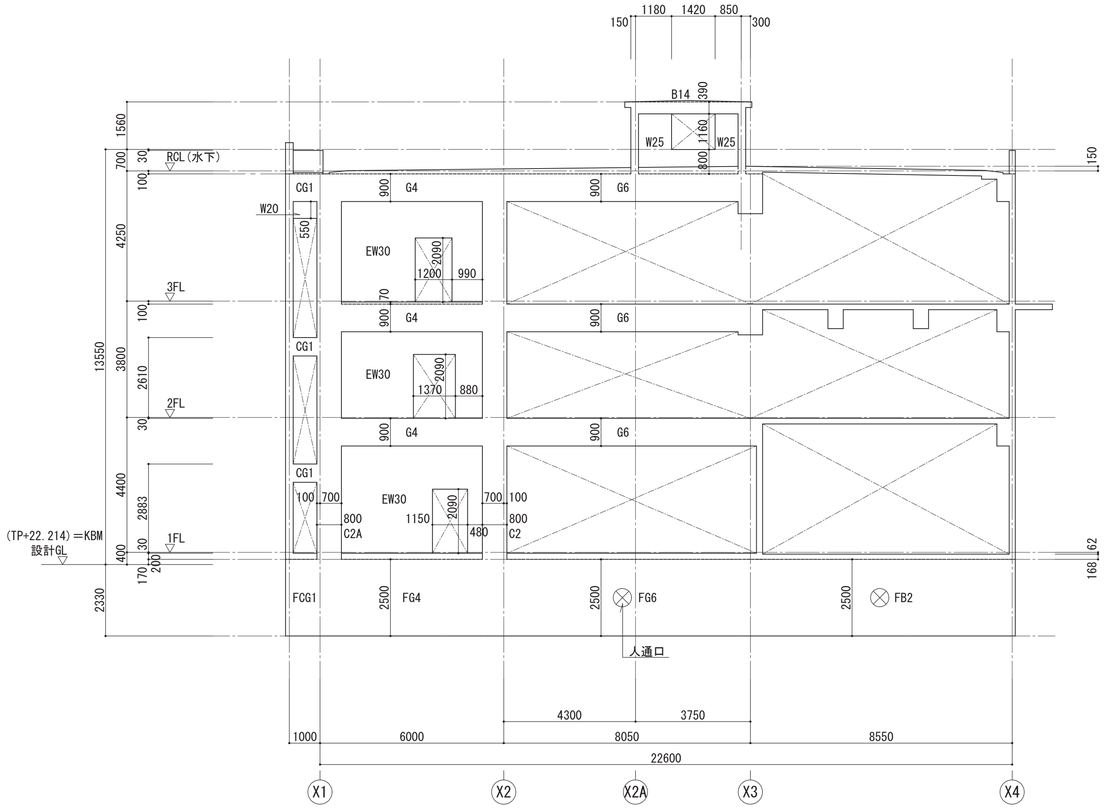


Y2通り軸組図 S=1:100

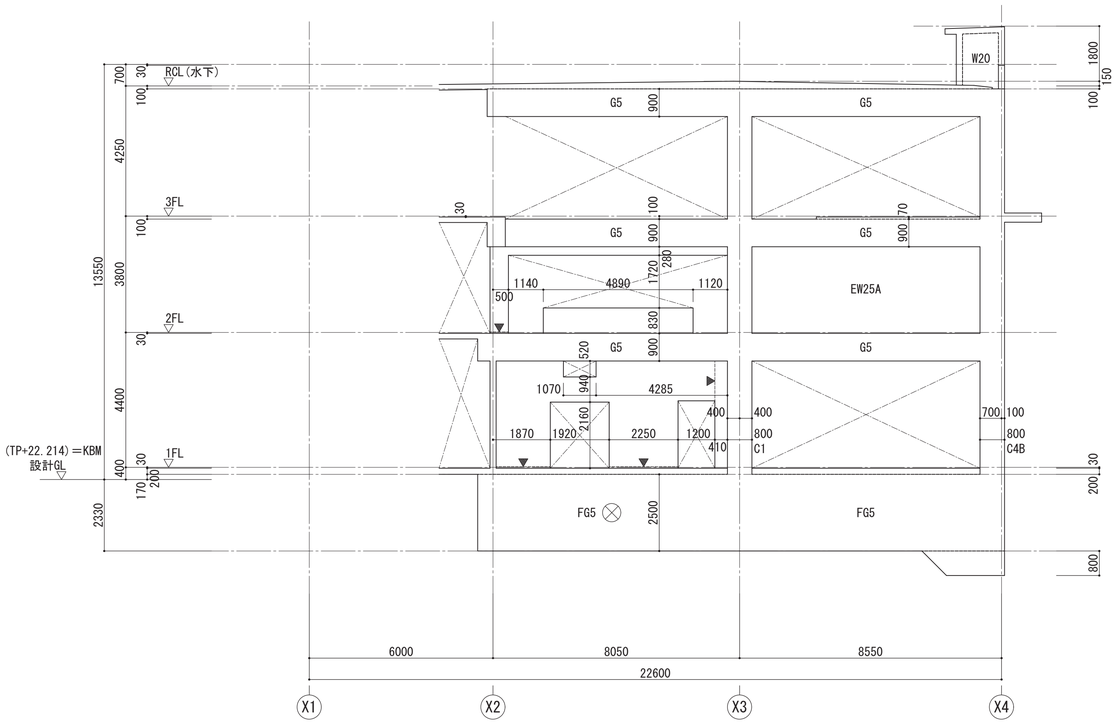
注１）特記なき壁は W20 とする。
２）▼は構造スリットを示す。

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事
図面名	軸組図（１）
作成年月日	令和7年03月14日
変更年月日	－
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)
図面番号	S-015
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号
	松戸市 街づくり部 建築保全課

構造設計事務所：株式会社 鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号
須田 諭史

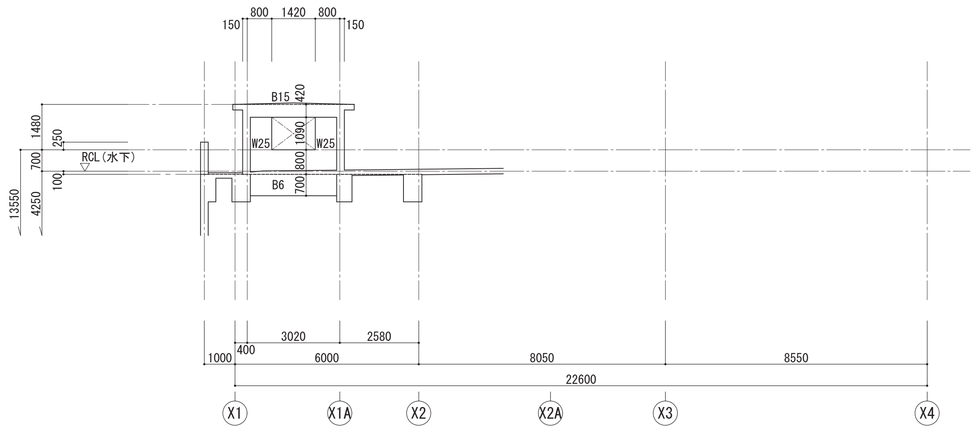


Y3通り軸組図 S=1:100



Y4通り軸組図 S=1:100

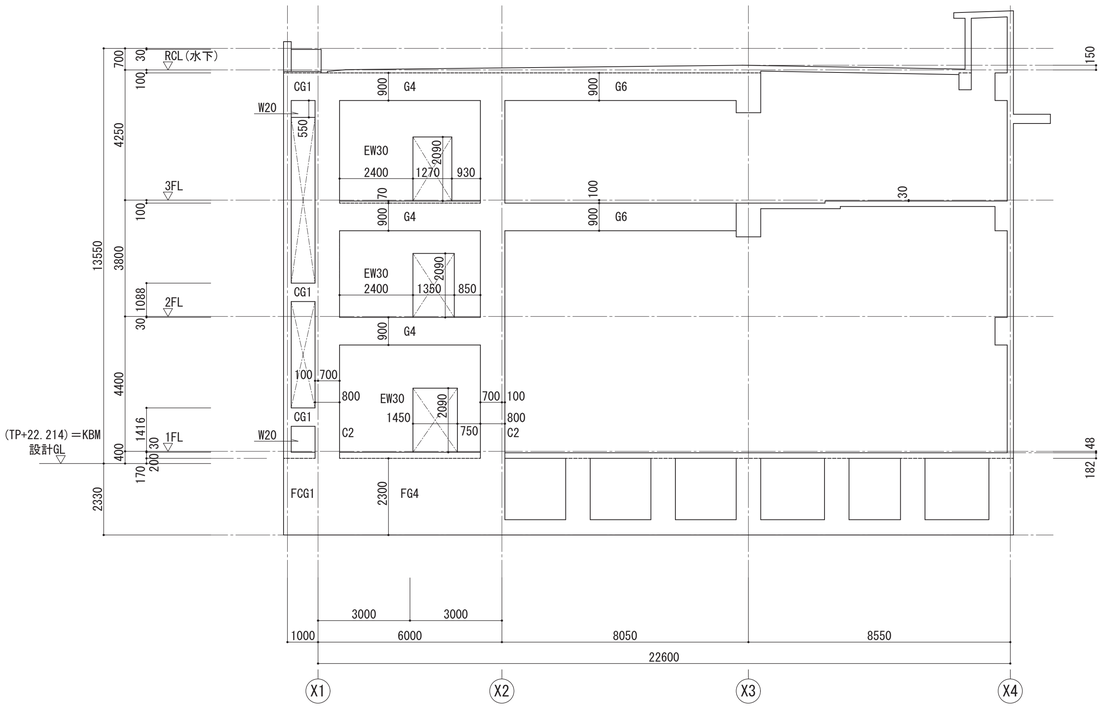
注１）特記なき壁は W20 とする。
２）▼は構造スリットを示す。



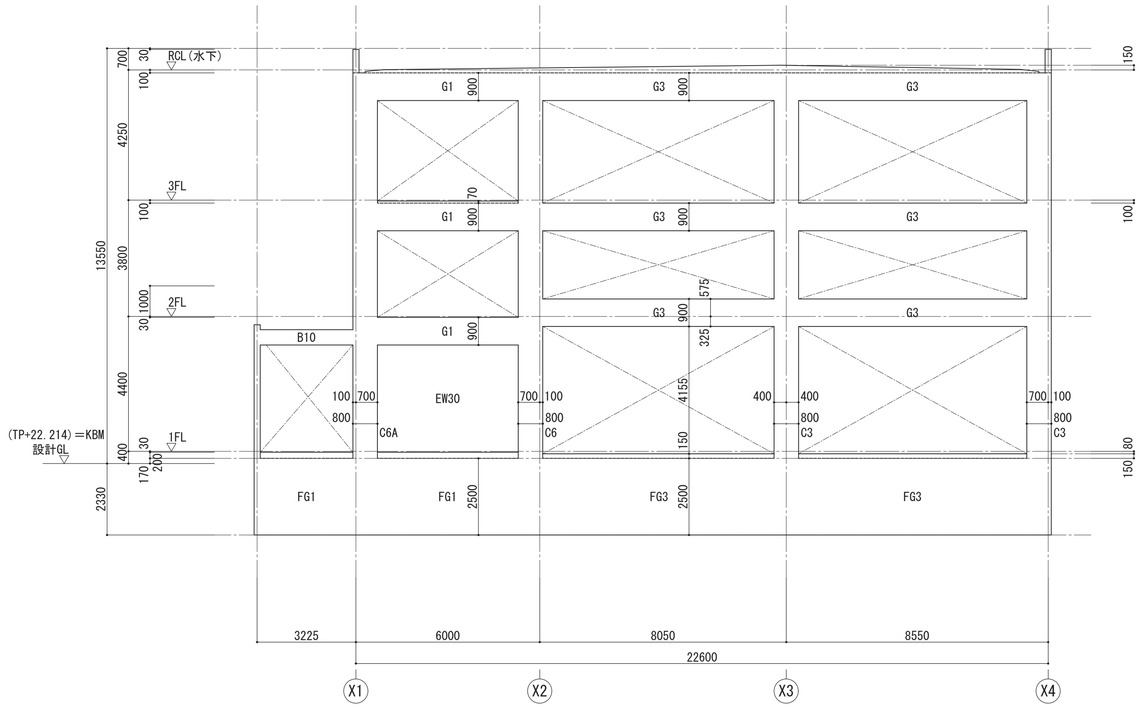
Y3A,Y4A通り軸組図 S=1:100

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	軸組図（２）		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	－
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	S-016
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計事務所：株式会社 鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号
須田 諭史



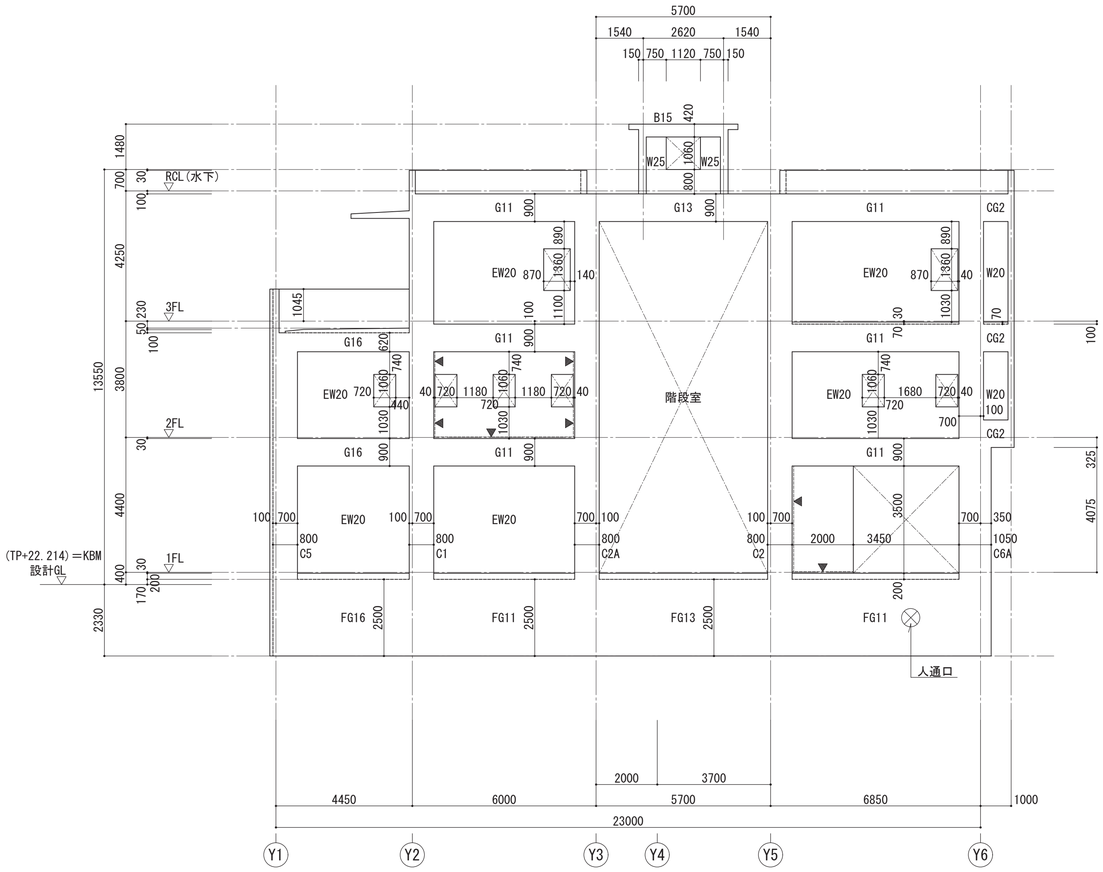
Y5通り軸組図　S=1:100



Y6通り軸組図　S=1:100

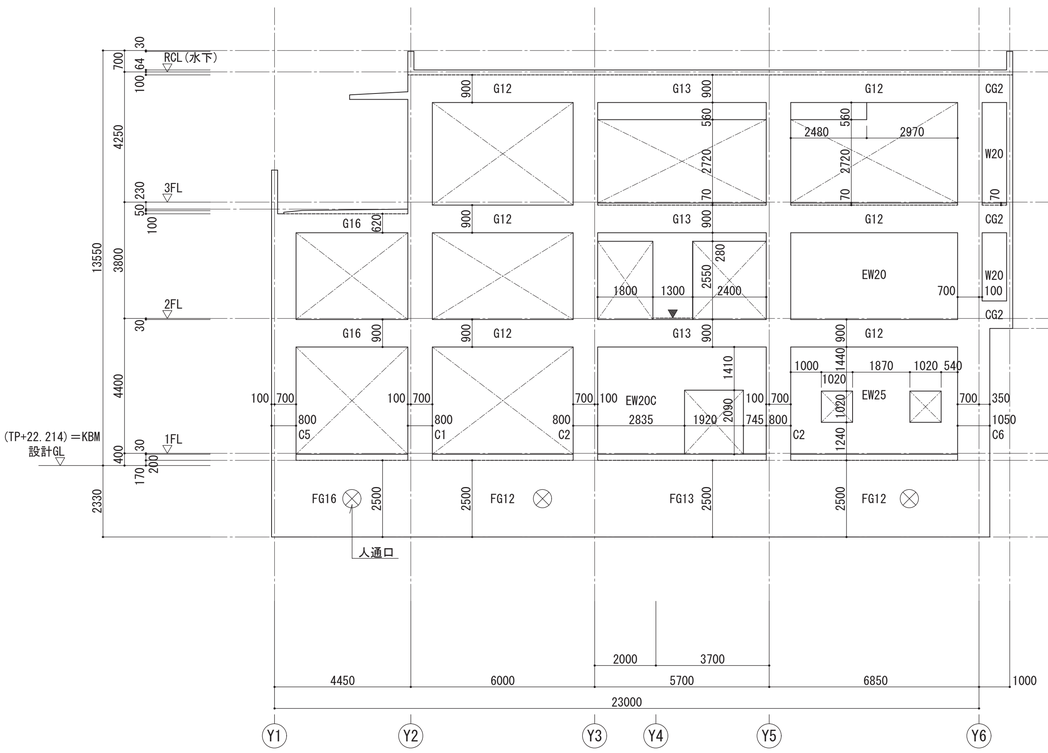
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	軸組図（３）		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	S-017
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史



X1通り軸組図　S=1:100

注１）特記なき壁は W20 とする。

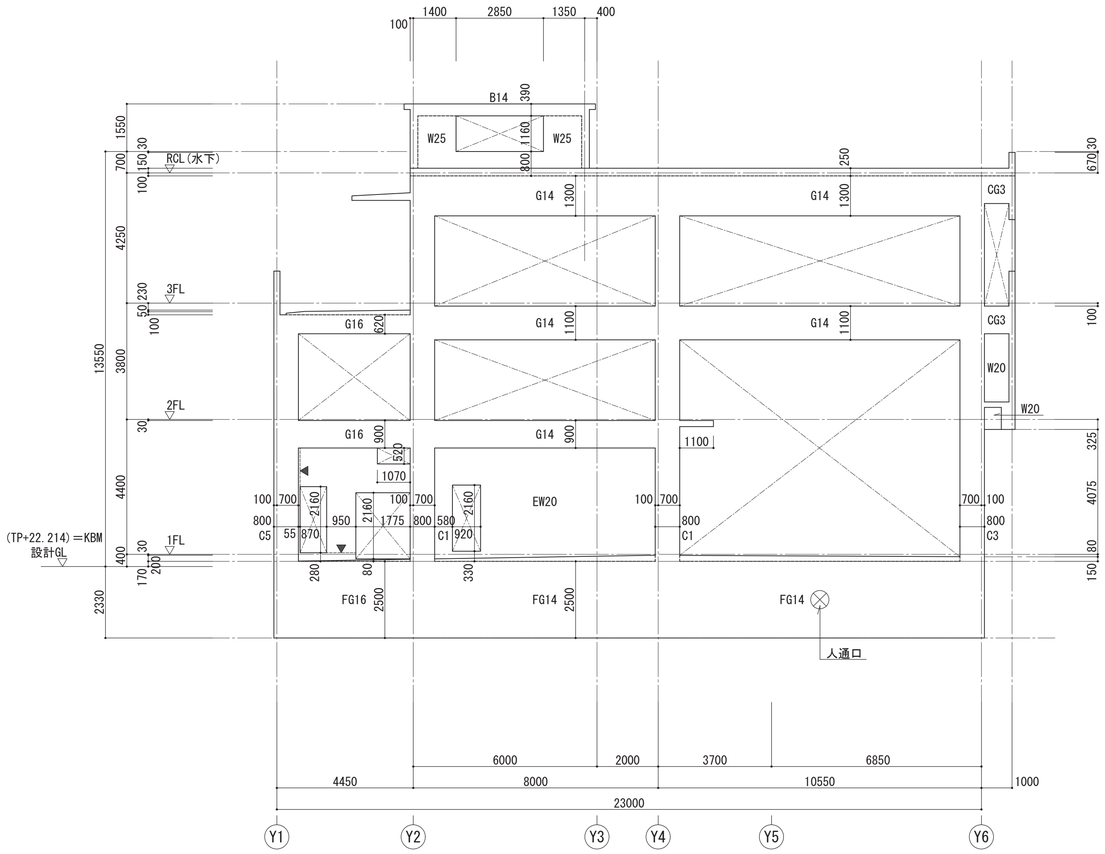


X2通り軸組図　S=1:100

注１）特記なき壁は W20 とする。

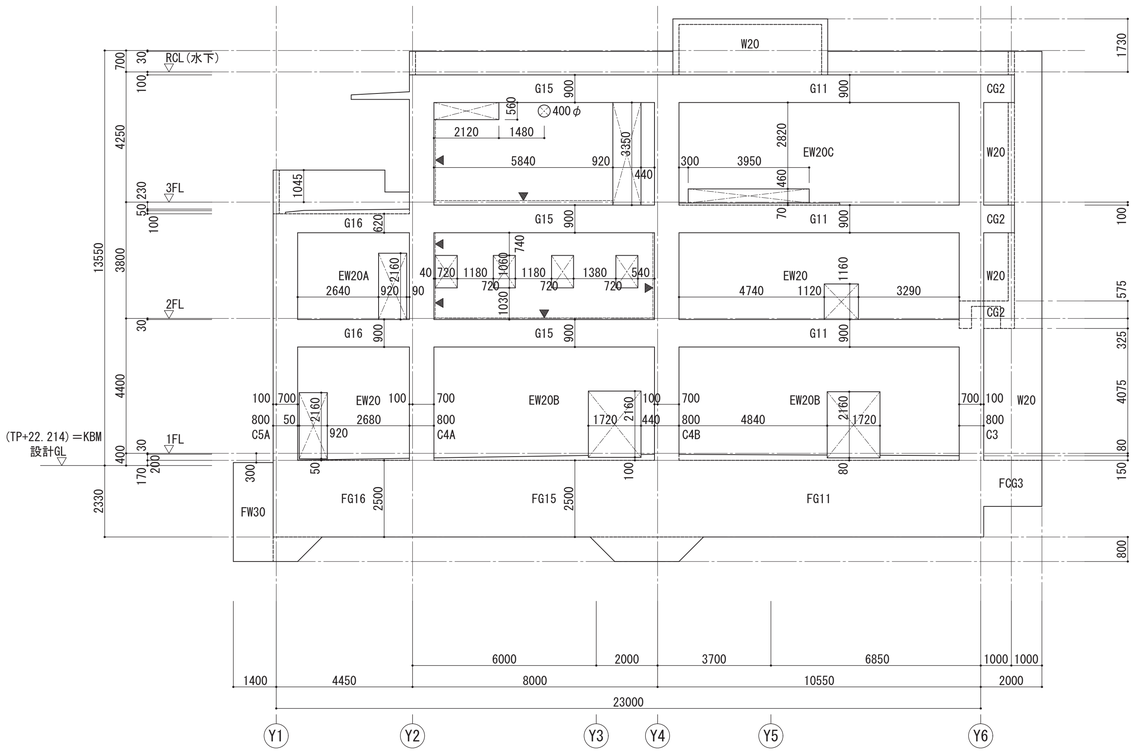
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	軸組図（４）		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	－
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	S-018
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史



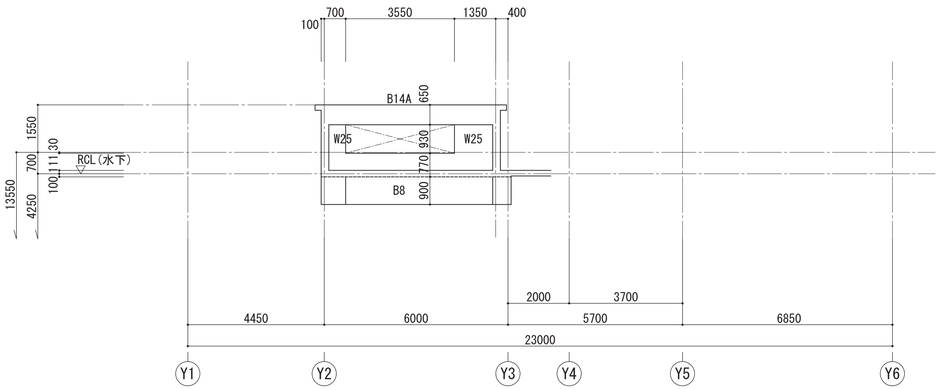
X3通り軸組図 S=1:100

注１）特記なき壁は W20 とする。



X4通り軸組図 S=1:100

注１）特記なき壁は W20 とする。

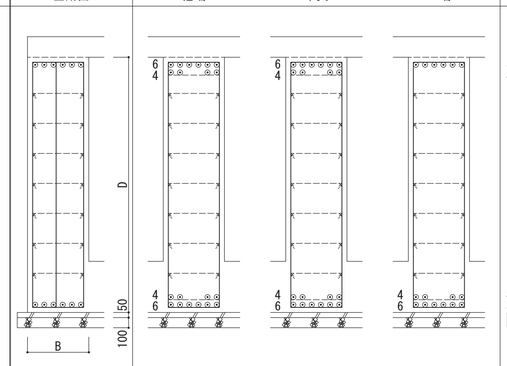


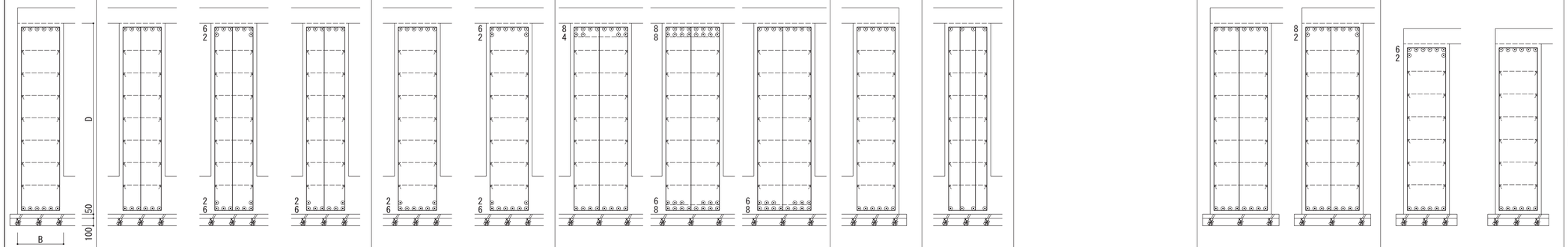
X2A通り軸組図 S=1:100

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	軸組図（５）		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:100(A1) 1:200(A3)	図面番号	S-019
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計事務所：株式会社 鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号
須田 諭史

基礎大梁断面リスト S=1:30

符号	FG1	FG2			FG3			FG4	FG5			FG6			FG7
位置	全断面	他端	中央	X3端	他端	中央	X3端	全断面	他端	中央	X3端	X2端	中央	X3端	全断面
断面															
B×D	600×2500	600×2500			800×2500			800×2500	800×2500			800×2500			600×2500
上端筋	6-D25	10-D25	10-D25	6-D25	12-D25	14-D25	10-D25	8-D25	12-D25	16-D25	8-D25	8-D25	10-D25	8-D25	6-D25
下端筋	6-D25	10-D25	10-D25	10-D25	12-D25	16-D25	16-D25	8-D25	8-D25	18-D25	18-D25	10-D25	10-D25	8-D25	6-D25
STRP	3-D13@200	2-D13@200			3-D13@200			3-D13@200	3-D13@200			3-D13@200			2-D13@200
腹筋	14-D13	14-D13			14-D13			14-D13	14-D13			14-D13			14-D13

符号	FG11	FG12			FG13		FG14			FG15	FG16		FCG1		FCG2		FCG3
位置	全断面	他端	中央	Y3,Y5端	両端	中央	他端	中央	Y4端	全断面	全断面		先端	固定端	固定端	先端	全断面
断面																	
B×D	600×2500	600×2500			600×2500		800×2500			600×2500	600×2500		800×2500		600×2230		600×1500
上端筋	6-D25	6-D25	8-D25	6-D25	6-D25	8-D25	12-D25	16-D25	8-D25	6-D25	4-D25		8-D25	10-D25	8-D25	6-D25	6-D25
下端筋	6-D25	6-D25	8-D25	8-D25	8-D25	8-D25	8-D25	14-D25	14-D25	6-D25	4-D25		8-D25	8-D25	6-D25	6-D25	6-D25
STRP	2-D13@200	3-D13@200			2-D13@200		3-D13@200			2-D13@200	4-D13@200		3-D13@100		2-D13@200		2-D13@200
腹筋	14-D13	14-D13			14-D13		14-D13			14-D13	14-D13		14-D13		12-D13		8-D13

基礎梁共通特記事項

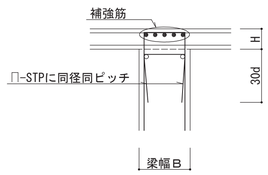
特記事項

注１）巾止め筋は D10@1000 以下とする。
　２）腹筋の定着長は 30d とする。
　３）梁の側面増打ちは上部の梁にならう。

増打ち部分配筋要領図

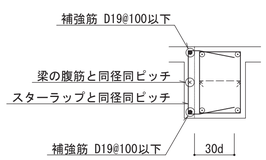
梁上端の増打ち

Hが50以上の場合に下記補強筋を設ける。



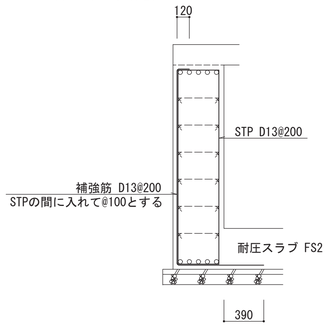
基礎梁幅B	H<100 補強筋	H≧100 補強筋
400	3-D13	3-D19
500	5-D13	5-D19
600	6-D13	6-D19
800	8-D13	8-D19

梁側面の増打ち

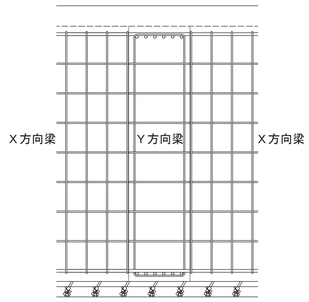


基礎梁外周部補強要領

外周部基礎梁で耐圧スラブFS2が取付く場合、
外側に下記補強筋を設ける。



基礎梁梁主筋納まり図 S=1:30



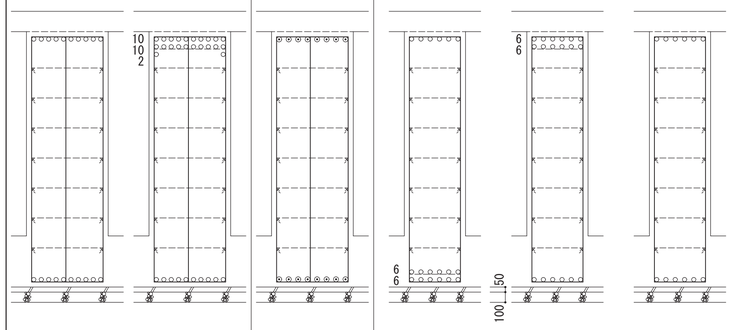
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事
図面名	基礎大梁断面リスト
作成年月日	令和7年03月14日
変更年月日	-
縮尺	1:30(A1) 1:60(A3)
図面番号	S-020

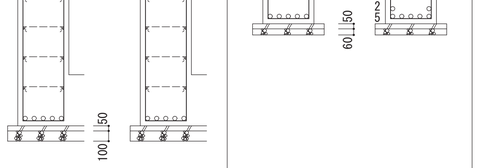
構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史

設計　株式会社 鈴木建築設計事務所
千葉県知事登録　第 1-2311-247 号
鈴木　泰久
一級建築士 大臣登録　第 233260 号

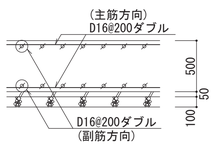
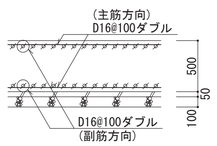
松戸市 街づくり部 建築保全課

基礎小梁断面リスト　S=1:30

符号	FB1		FB2	FB3			FB3A		FB4		FB5		FB6		FB7	FB8	
位置	両端	中央	全断面	X3端	中央	X4端	X1端, 中央	X2端	両端	中央	両端	中央	両端	中央	全断面	全断面	
断　面																	
B×D	800×2500		800×2500	600×2500			600×2500		600×2500		400×2500		400×2500		400×2500	500×2500	
上端筋	10-D22	22-D22	8-D25	6-D22	12-D22	6-D22	6-D22	6-D22	6-D22	12-D22	4-D22	6-D22	4-D22	8-D22	4-D22	5-D22	
下端筋	10-D22	10-D22	8-D25	12-D22	6-D22	6-D22	6-D22	12-D22	12-D22	6-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	5-D22	
STRP	3-D13@200		3-D13@200	2-D13@200			2-D13@200		2-D13@200		2-D13@200		2-D13@200		2-D13@200	2-D13@200	
腹筋	14-D13		14-D13	14-D13			14-D13		14-D13		14-D13		14-D13		14-D13	14-D13	

符号	FB9		FB10		
位置	両端	中央	両端	中央	
断　面					
B×D	500×2500		500×1500		
上端筋	5-D22	8-D22	5-D22	5-D22	
下端筋	5-D22	5-D22	5-D22	7-D22	
STRP	2-D13@200		2-D13@200		
腹筋	14-D13		8-D13		

耐圧スラブ断面リスト　S=1:30

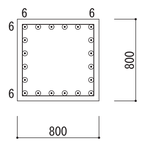
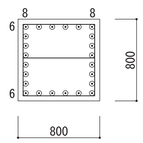
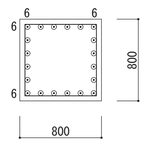
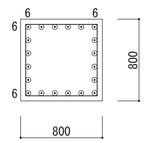
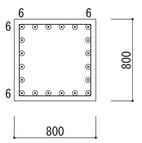
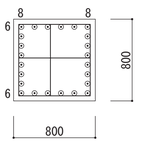
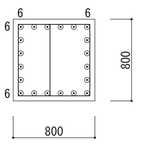
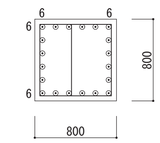
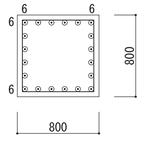
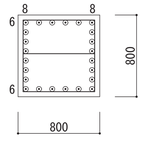
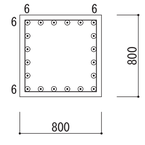
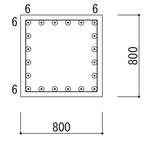
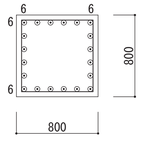
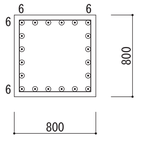
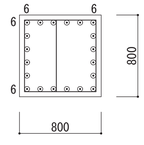
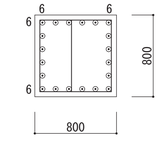
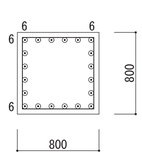
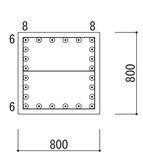
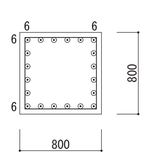
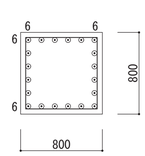
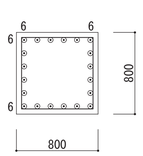
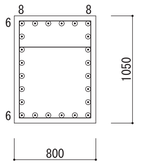
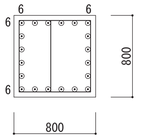
FS1	FS2		
			
FS11			
			

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	基礎小梁・耐圧スラブ断面リスト		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	1:30(A1) 1:60(A3)	図面番号	S-021
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

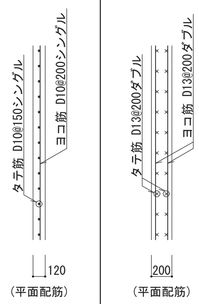
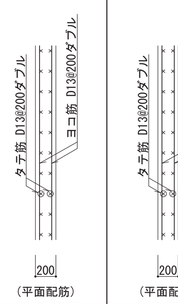
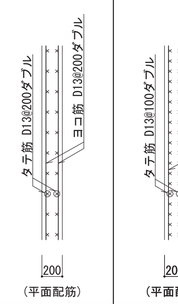
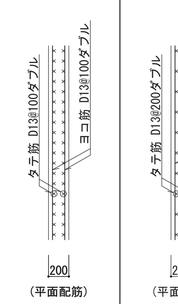
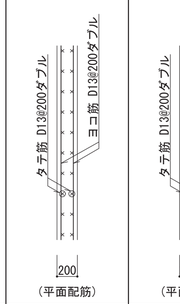
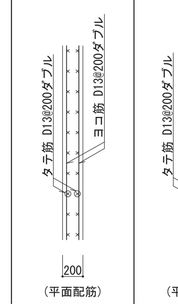
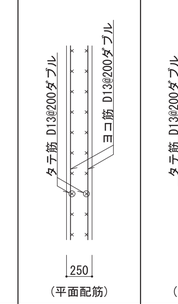
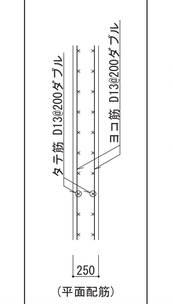
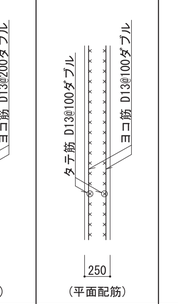
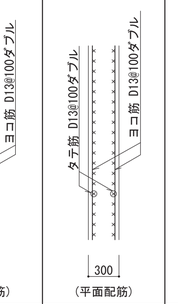
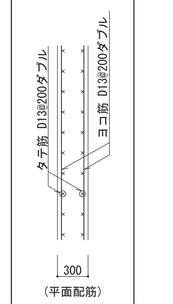
構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史

柱断面リスト S=1:30



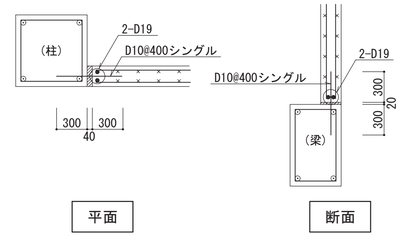
階	符号	C1	C2	C3	C4	C5	C6		C2A	C4A	C4B	C5A	C6A
3階	断面									C4に同じ			
	B×D	800×800	800×800	800×800	800×800		800×800		800×800		800×800		800×800
	主筋	20-D25	24-D25	20-D25	20-D25		20-D25		24-D25		20-D25		20-D25
	HOOP	□ー D13@100	⊟ー D13@100	□ー D13@100	□ー D13@100		□ー D13@100		⊞ー D13@100		◫ー D13@100		◫ー D13@100
2階	断面								C2に同じ		C4に同じ	C5に同じ	
	B×D	800×800	800×800	800×800	800×800	800×800	800×800			800×800			800×800
	主筋	20-D25	24-D25	20-D25	20-D25	20-D25	20-D25			20-D25			20-D25
	HOOP	□ー D13@100	⊟ー D13@100	□ー D13@100	□ー D13@100	□ー D13@100	□ー D13@100			◫ー D13@100			◫ー D13@100
1階	断面								C2に同じ	C4に同じ	C4に同じ		C6に同じ
	B×D	800×800	800×800	800×800	800×800	800×800	800×1050					800×800	
	主筋	20-D25	24-D25	20-D25	20-D25	20-D25	24-D25					20-D25	
	HOOP	□ー D13@100	⊟ー D13@100	□ー D13@100	□ー D13@100	□ー D13@100	⊟ー D13@100					◫ー D13@100	

壁断面リスト S=1:30

符号		W12	W20	EW20	EW20A	EW20B	EW20C	W25	EW25	EW25A	EW30		FW30	
断面														
		タテ筋 D10@150シングル ヨコ筋 D10@200シングル	タテ筋 D13@200ダブル ヨコ筋 D13@200ダブル	タテ筋 D13@200ダブル ヨコ筋 D13@200ダブル	タテ筋 D13@100ダブル ヨコ筋 D13@100ダブル	タテ筋 D13@200ダブル ヨコ筋 D13@200ダブル	タテ筋 D13@200ダブル ヨコ筋 D13@200ダブル	タテ筋 D13@200ダブル ヨコ筋 D13@200ダブル	タテ筋 D13@200ダブル ヨコ筋 D13@200ダブル	タテ筋 D13@100ダブル ヨコ筋 D13@100ダブル	タテ筋 D13@100ダブル ヨコ筋 D13@100ダブル		タテ筋 D13@200ダブル ヨコ筋 D13@200ダブル	
		120	200	200	200	200	200	250	250	250	300		300	
		(平面配筋)	(平面配筋)	(平面配筋)	(平面配筋)	(平面配筋)	(平面配筋)	(平面配筋)	(平面配筋)	(平面配筋)	(平面配筋)		(平面配筋)	
開口部補強	タテ筋	1-D13	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	6-D19		4-D19	
	ヨコ筋	1-D13	4-D19	4-D19	6-D19	6-D19	8-D19	4-D19	4-D19	4-D19	6-D19		4-D19	
	斜メ筋	1-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13		2-D13	

構造スリット要領図

注１）構造図スリットは完全スリットとする。
２）耐火スリットとし、既製品を用いる。
３）接合筋は防錆処理鉄筋とする。
４）構造スリット部分の開口補強筋は配筋詳細図参照。
縦筋・横筋：2-D19，斜め筋：2-D13

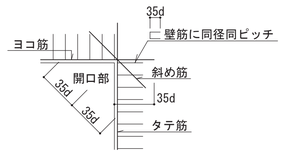


特記事項

１）ダブル配筋壁の巾止め筋は両方向共に D10@1000 以下とする。

２）開口補強要領は右図による。

３）壁筋は躯体面 50 より割り付ける。



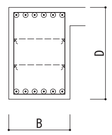
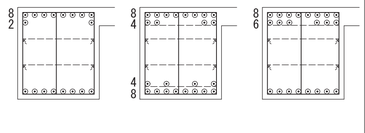
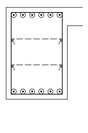
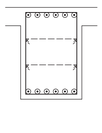
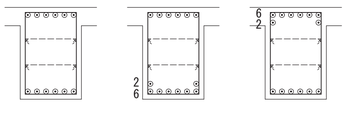
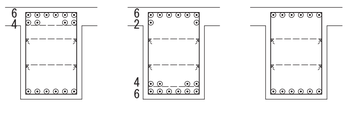
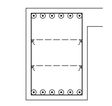
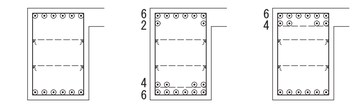
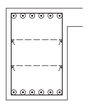
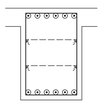
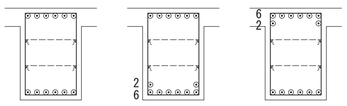
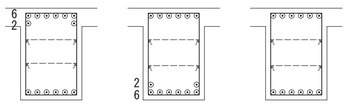
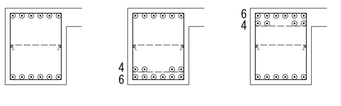
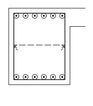
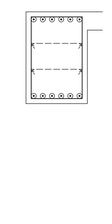
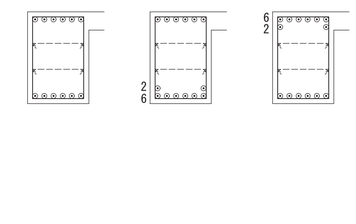
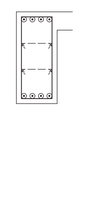
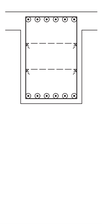
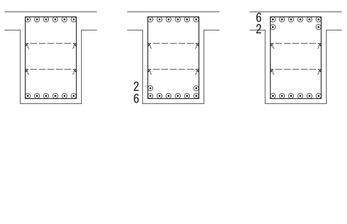
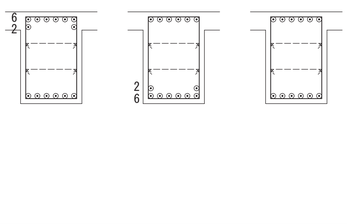
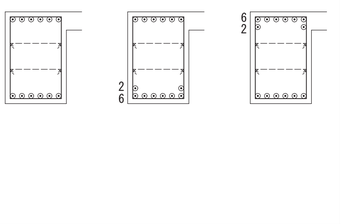
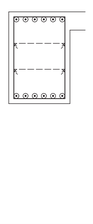
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事
図面名	柱・壁断面リスト
作成年月日	令和7年03月14日
変更年月日	-
縮尺	1:30(A1) 1:60(A3)
図面番号	S-022

構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史

設計：株式会社 鈴木建築設計事務所
千葉県知事登録　第 1-2311-247 号
鈴木　泰久
一級建築士 大臣登録　第 233260 号

松戸市 街づくり部 建築保全課

大梁断面リスト（１） S=1:30

階	符号	G1	G2			G3	G4	G5			G6			G7			G7A	
R階	位置	全断面	他端	中央	X3端	全断面	全断面	他端	中央	X3端	X2端	中央	X3端					
	断　面																	
	B×D	600×900	800×900			600×900	600×900	600×900			600×900							
	上端筋	6-D25	10-D25	12-D25	14-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	10-D25	8-D25	6-D25					
	下端筋	6-D25	8-D25	12-D25	8-D25	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	6-D25	6-D25	10-D25	6-D25					
	STRP	2-D13@200	3-D13@200			2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200			2-D13@100							
	腹筋	4-D13	4-D13			4-D13	4-D13	4-D13			4-D13							
3階	位置	全断面	他端	中央	X3端	全断面	全断面	他端	中央	X3端	左端	中央	右端	他端	中央	X3端	全断面	
	断　面																	
	B×D	600×900	600×900			600×900	600×900	600×900			600×900			600×750			600×750	
	上端筋	6-D25	6-D25	8-D25	10-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	8-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	10-D25	6-D25	
	下端筋	6-D25	6-D25	10-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	6-D25	6-D25	8-D25	6-D25	6-D25	10-D25	6-D25	6-D25	
	STRP	2-D13@200	2-D13@200			2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200			2-D13@200			2-D13@200			2-D13@200	
	腹筋	4-D13	4-D13			4-D13	4-D13	4-D13			4-D13			2-D13			2-D13	
2階	位置	全断面	他端	中央	X3端	全断面	全断面	他端	中央	X3端	左端	中央	右端	他端	中央	X3端	全断面	
	断　面																	
	B×D	600×900	600×900			400×900	600×900	600×900			600×900			600×900			600×900	
	上端筋	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	4-D25	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	8-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	6-D25	
	下端筋	6-D25	6-D25	8-D25	6-D25	4-D25	6-D25	6-D25	8-D25	6-D25	6-D25	8-D25	6-D25	6-D25	8-D25	6-D25	6-D25	
	STRP	2-D13@200	2-D13@200			2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200			2-D13@200			2-D13@200			2-D13@200	
	腹筋	4-D13	4-D13			4-D13	4-D13	4-D13			4-D13			4-D13			4-D13	

梁共通特記事項

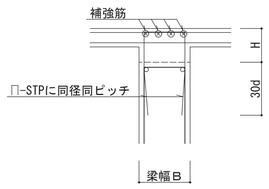
１）巾止め筋は D10@1000 とする。

２）腹筋の定着は 30d とする。

梁増打ち部分配筋要領図 S=1:30

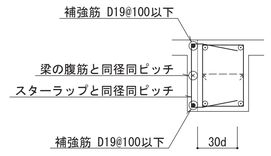
梁上端の増打ち

Hが50以上の場合に下記補強筋を設ける。



梁幅B	補強筋
250	2-D13
400,450	4-D13
500	5-D13
600	6-D13
800	8-D13

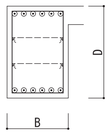
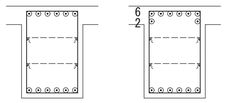
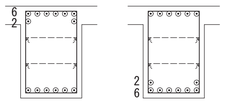
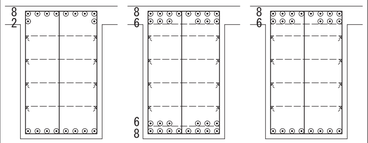
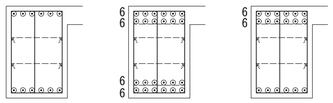
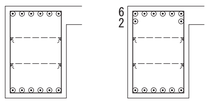
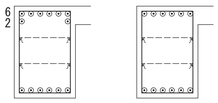
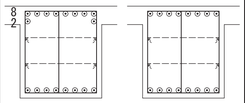
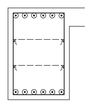
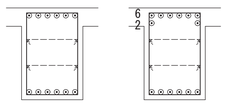
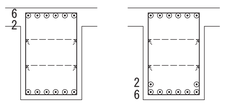
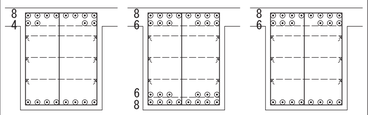
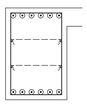
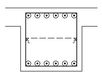
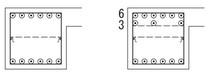
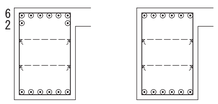
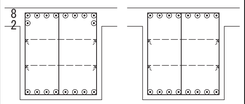
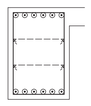
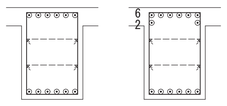
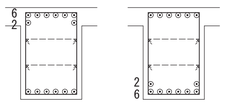
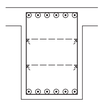
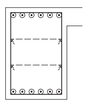
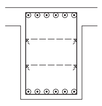
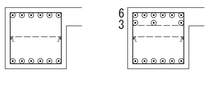
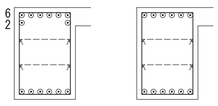
梁側面の増打ち



工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	大梁断面リスト（１）		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮　尺	1:30(A1) 1:60(A3)	図面番号	S-023
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

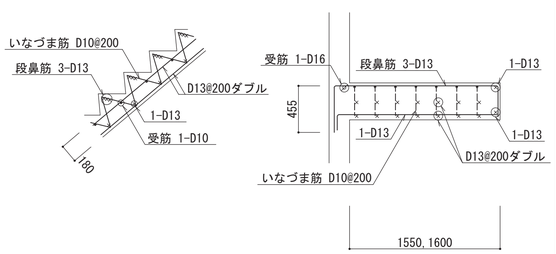
構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史

大梁断面リスト（２） S=1:30

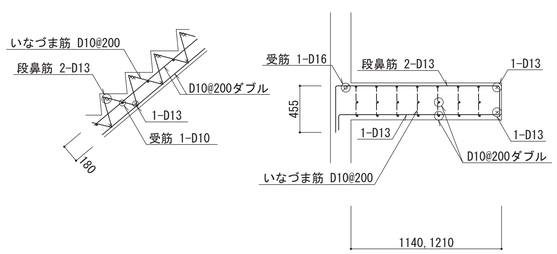
階	符号	G11	G12		G13		G14			G15			G16	CG1		CG2		CG3	
R階	位置	全断面	他端，中央	Y3,Y5端	両端	中央	他端	中央	Y4端	外端	中央	内端		先端	固定端	固定端	先端	固定端	先端
	断面																		
	B×D	600×900	600×900		600×900		800×1300			600×900				600×900		600×900		800×900	
	上端筋	6-D25	6-D25	8-D25	8-D25	6-D25	10-D25	14-D25	14-D25	6-D25	12-D25	12-D25		6-D25	8-D25	8-D25	6-D25	10-D25	8-D25
	下端筋	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	8-D25	14-D25	8-D25	6-D25	12-D25	6-D25		6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	8-D25
	STRP	2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200		3-D13@200			3-D13@200				2-D13@200		2-D13@200		3-D13@200	
	腹筋	4-D13	4-D13		4-D13		8-D13			4-D13				4-D13		4-D13		4-D13	
3階	位置	全断面	他端，中央	Y3,Y5端	両端	中央	他端	中央	Y4端	全断面			全断面	先端	固定端	固定端	先端	固定端	先端
	断面																		
	B×D	600×900	600×900		600×900		800×1100			600×900			600×620	600×600		600×900		800×900	
	上端筋	6-D25	6-D25	8-D25	8-D25	6-D25	12-D25	14-D25	14-D25	6-D25			6-D25	6-D25	9-D25	8-D25	6-D25	10-D25	8-D25
	下端筋	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	8-D25	14-D25	8-D25	6-D25			6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	8-D25
	STRP	2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200		3-D13@200			2-D13@200			2-D13@200	2-D13@100		2-D13@200		3-D13@200	
	腹筋	4-D13	4-D13		4-D13		6-D13			4-D13			2-D13	2-D13		4-D13		4-D13	
2階	位置	全断面	他端，中央	Y3,Y5端	両端	中央	全断面			全断面			全断面	先端	固定端	固定端	先端		
	断面																		
	B×D	600×900	600×900		600×900		600×900			600×900			600×900	600×600		600×900			
	上端筋	6-D25	6-D25	8-D25	8-D25	6-D25	6-D25			6-D25			6-D25	6-D25	9-D25	8-D25	6-D25		
	下端筋	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	6-D25			6-D25			6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25		
	STRP	2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200		2-D13@200			2-D13@200			2-D13@200	2-D13@100		2-D13@200			
	腹筋	4-D13	4-D13		4-D13		4-D13			4-D13			4-D13	2-D13		4-D13			

RC階段配筋詳細図 S=1:30

屋内階段配筋詳細図



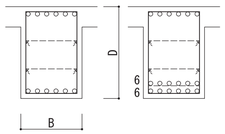
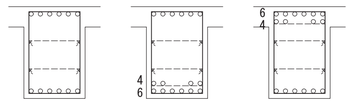
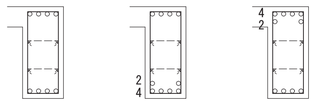
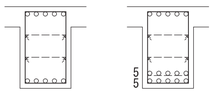
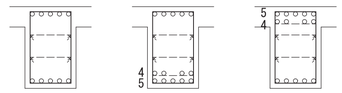
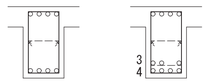
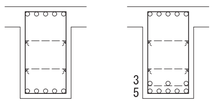
屋外階段配筋詳細図

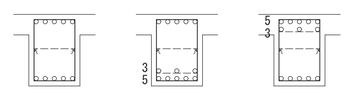
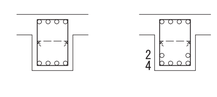
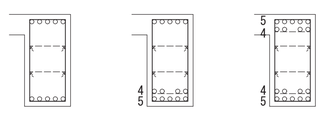


構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	大梁断面リスト（２），RC階段配筋詳細図		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮尺	1:30(A1) 1:60(A3)	図面番号	S-024
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

小梁断面リスト　S=1:30

符号	B1		B2			B3(3A)			B4		B5(5A)			B6	B7		B8	
位置	両端	中央	外端	中央	内端	他端	中央	X3端	両端	中央	他端	中央	X3端	全断面	両端	中央	両端	中央
断　面																		
B×D	600×900		600×900			400×900			500×800		500×800			400×700	400×700		500×900	
上端筋	6-D22	6-D22	6-D22	6-D22	10-D22	4-D22	4-D22	6-D22(4-D22)	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	9-D22	4-D22	4-D22	4-D22	5-D22	5-D22
下端筋	6-D22	12-D22	6-D22	10-D22	6-D22	4-D22	6-D22(4-D22)	4-D22	5-D22	10-D22	5-D22	9-D22(5-D22)	5-D22	4-D22	4-D22	7-D22	5-D22	8-D22
STRP	2-D13@200		2-D13@150			2-D13@200			2-D13@200		2-D13@200			2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200	
腹筋	4-D13		4-D13			4-D13			4-D13		4-D13			2-D13	2-D13		4-D13	

符号	B9			B10	B11		B12			B13	B14(14A)	B15	CB1			特記事項
位置	外端	中央	内端	全断面	両端	中央	外端	中央	内端	全断面	全断面	全断面	固定端	先端		
断　面																1）巾止め筋は D10@1000 とする。 2）腹筋の定着は 30d とする。
B×D	500×700			400×500	400×550		450×900			600×600	250×390(650)	250×420	250×500			
上端筋	5-D22	5-D22	8-D22	4-D22	4-D22	4-D22	5-D22	5-D22	9-D22	4-D22	4-D19	2-D19	4-D19	2-D19		
下端筋	5-D22	8-D22	5-D22	4-D22	4-D22	6-D22	5-D22	9-D22	9-D22	4-D22	4-D19	2-D19	2-D19	2-D19		
STRP	2-D13@200			2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200			2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D10@200			
腹筋	2-D13			----	2-D13		4-D13			2-D13	----	----	2-D13			

スラブ断面リスト　S=1:30

S1



S2



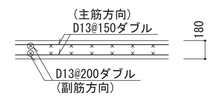
S3



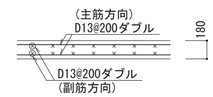
S4



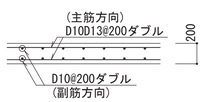
S5



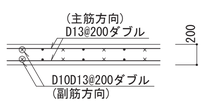
S6



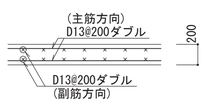
S7



S8



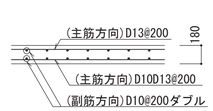
S9



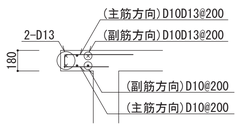
S10



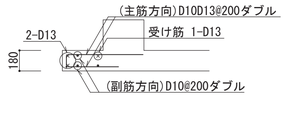
S11



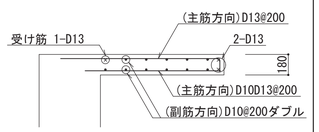
CS1



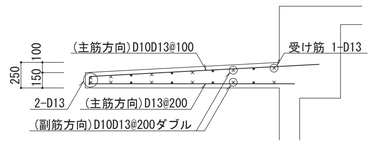
CS2



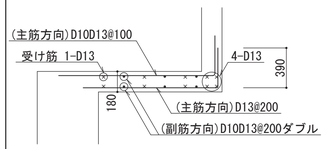
CS3



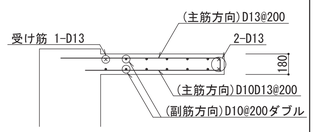
CS4



CS5

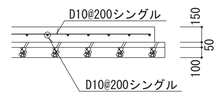


CS6



土間コンクリート

該当箇所：エントランススロープ



工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事
図面名	小梁・スラブ断面リスト
作成年月日	令和7年03月14日
変更年月日	-
縮尺	1:30(A1) 1:60(A3)
図面番号	S-025
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号
	松戸市 街づくり部 建築保全課

構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史

特記事項

注１）腹筋の定着長は 30d とする。

注２）柱梁の仕口内HOOPは一般部分HOOP：2-D13@100 → 仕口内HOOP：2-D13@150とする。
　　一般部分HOOP：3-D13@100 → 仕口内HOOP：2-D13@100とする。

注３）柱筋柱頭部はL2(30d)定着が確保できない場合はフック付きとする。（6.1参照）

注４）大梁主筋の定着部水平長さは柱丈Dの3／4以上とする。

注５）◀ は構造スリットを示す。

注６）人通口等スリーブ補強はリング型既製品による。（補強量は計算結果による）

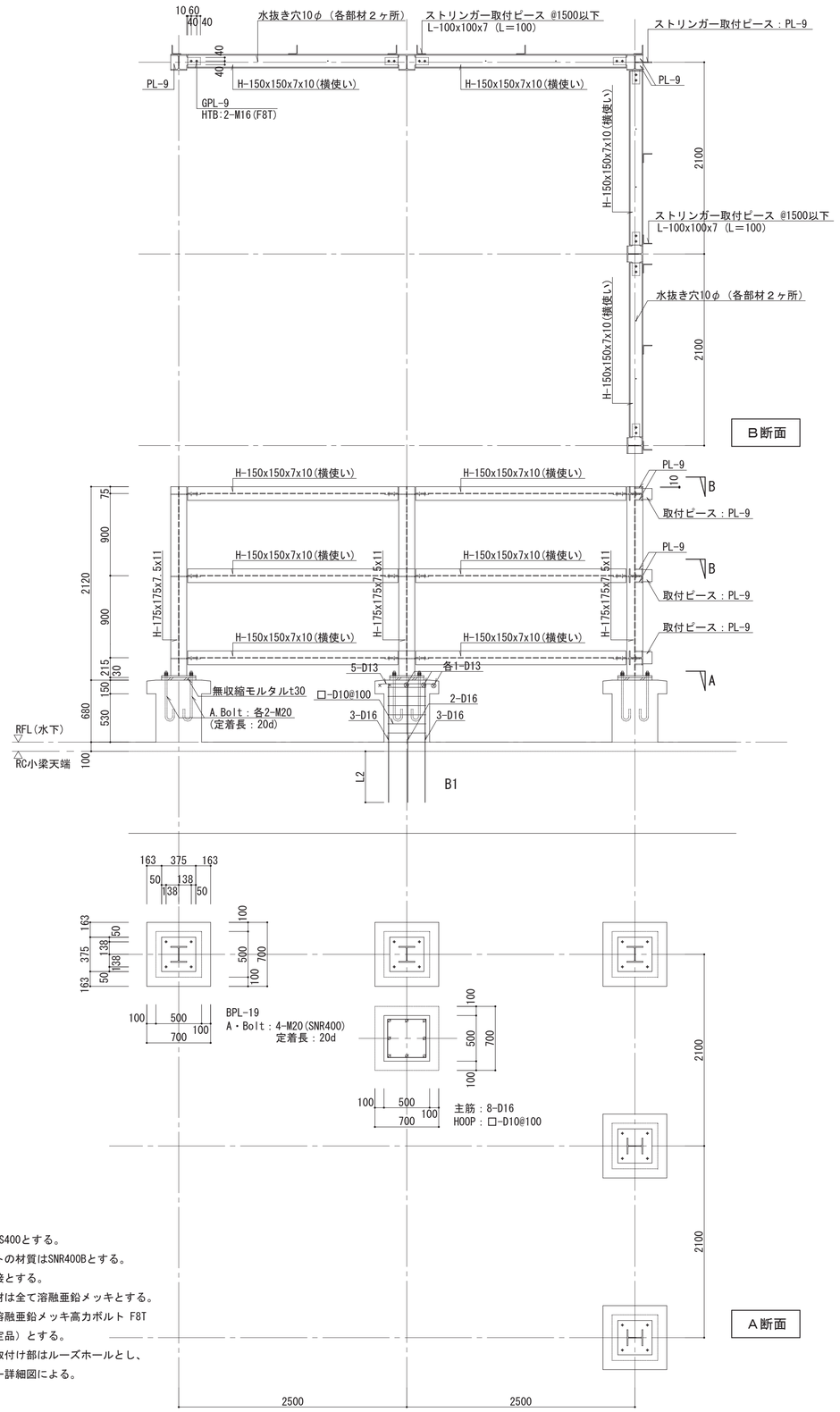
X1,X2通りY6軸配筋詳細図

X3通り配筋詳細図 S=1:40

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	配筋詳細図		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:40(A1) 1:80(A3)	図面番号	S-026
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計事務所：株式会社 鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号
須田 諭史

屋上目隠しルーバー鉄骨詳細図 S=1:30



特記事項

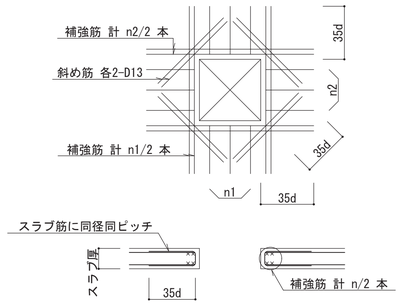
注１）鉄骨の材質はSS400とする。
２）アンカーボルトの材質はSNR400Bとする。
３）溶接は隅肉溶接とする。
４）本図に示す部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
５）使用ボルトは溶融亜鉛メッキ高力ボルト F8T
（１種大臣認定品）とする。
６）ストリンガー取付け部はルーズホールとし、
形状はルーバー詳細図による。

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事
図面名	屋上目隠し鉄骨詳細図
作成年月日	令和7年03月14日
変更年月日	-
縮 尺	1:30(A1) 1:60(A3)
図面番号	S-027
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号
	松戸市 街づくり部 建築保全課

構造設計事務所：株式会社 鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号
須田 諭史

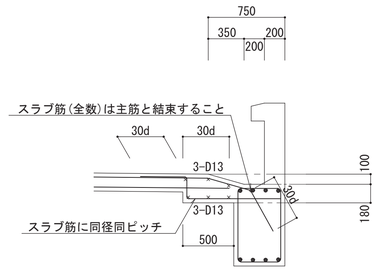
雑配筋詳細図　S=1:30

床開口補強要領図



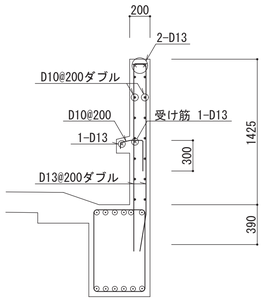
注）補強筋はスラブ筋に同径とする。

水下部分スラブ配筋詳細図

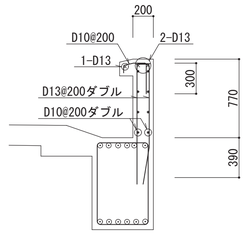


パラペット配筋詳細図

３階パラペット

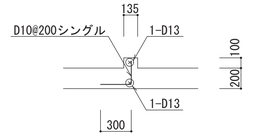


R階パラペット



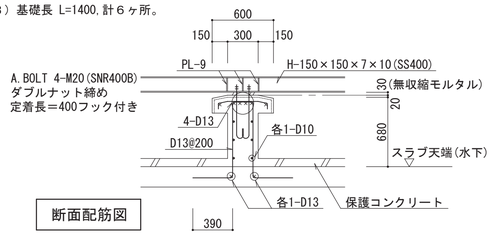
注）外部階段が取付く部分の縦筋はD13@100ダブルとする。

防液堤配筋図



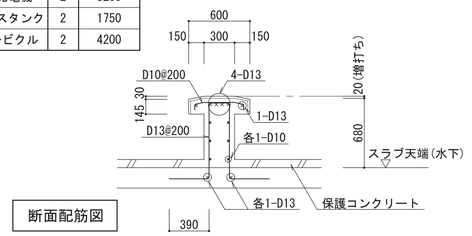
室外機基礎詳細図

注１）本図に示す鉄骨部材及びアンカーボルトは溶融亜鉛メッキとする。
注２）本図に記載なき部分は「屋上設備基礎配筋詳細図」を参照。
注３）基礎長 L=1400, 計６ヶ所。

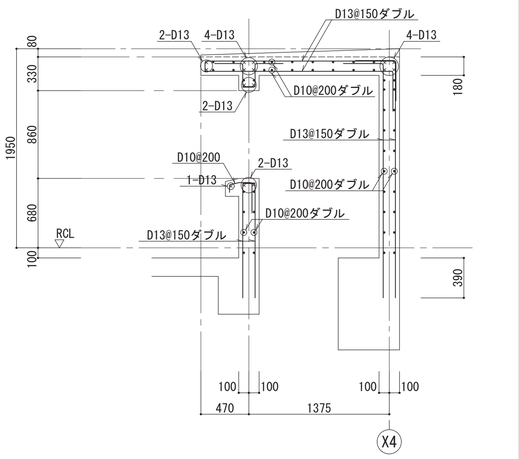


屋上設備基礎配筋詳細図

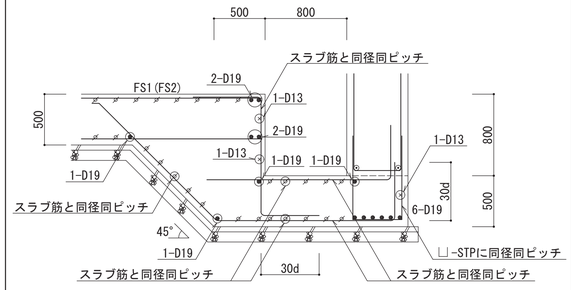
設備機器	数	L(mm)
自家発電機	2	3200
サービスタンク	2	1750
キュービクル	2	4200



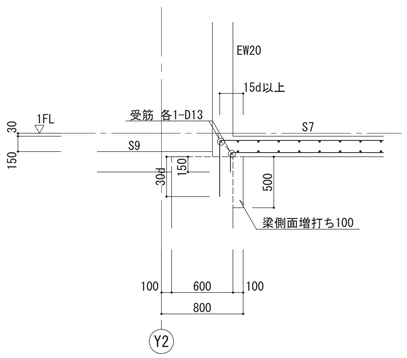
ハト小屋配筋詳細図



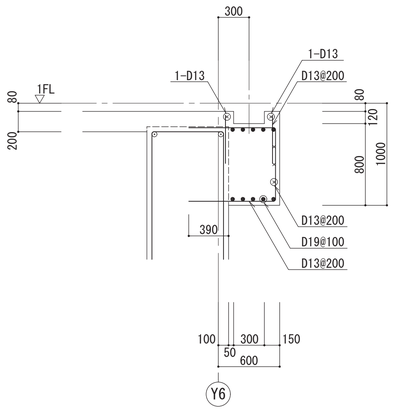
耐圧スラブ釜場配筋詳細図



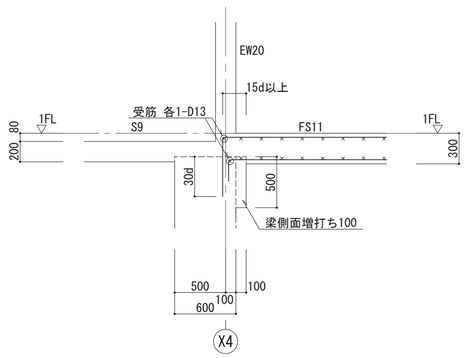
１階Y2通りスラブ筋納まり図



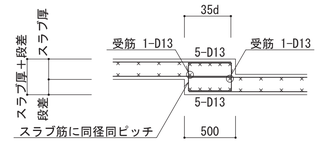
１階Y6通り折戸ガイド受け詳細図



１階X4通りFS11スラブ筋納まり図



スラブ段差部分配筋要領図



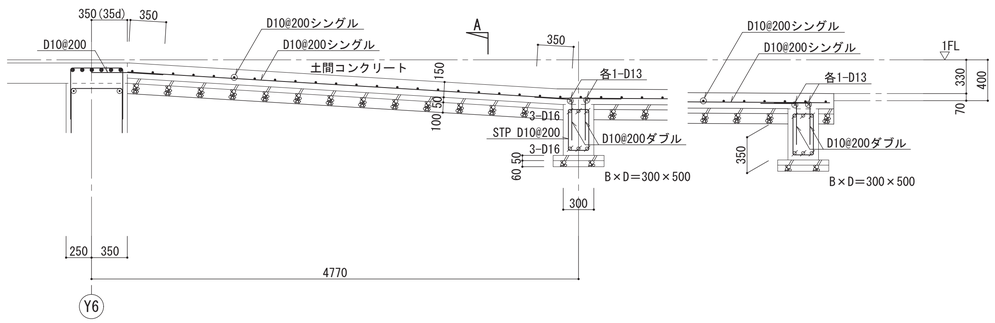
工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事
図面名	雑配筋詳細図（１）
作成年月日	令和7年03月14日
変更年月日	-
縮 尺	1:30(A1) 1:60(A3)
図面番号	S-028

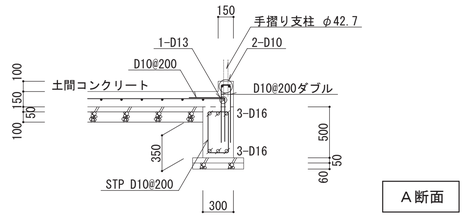
構造設計事務所：株式会社　鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士　大臣登録　第341604号
構造設計一級建築士　第9472号
須田 諭史

設 計：株式会社 鈴木建築設計事務所
千葉県知事登録　第 1-2311-247 号
鈴木　泰久
一級建築士 大臣登録　第 233260 号

松戸市 街づくり部 建築保全課

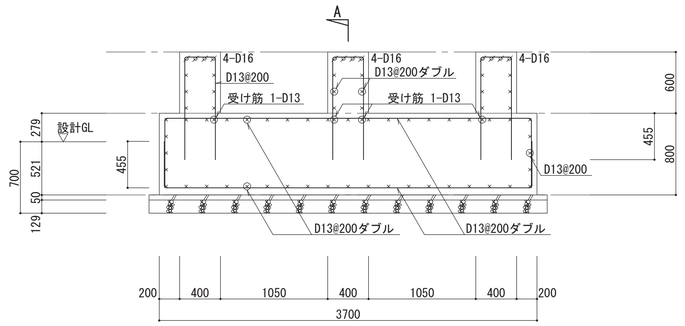
エントランススロープ部分配筋詳細図 S=1:30

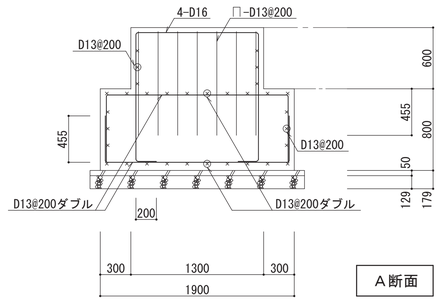




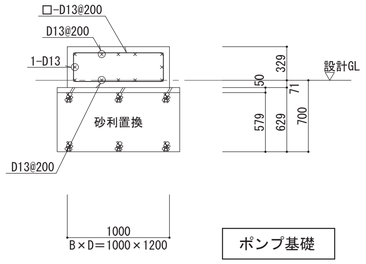
A断面

受水槽及びポンプ基礎配筋詳細図 S=1:30



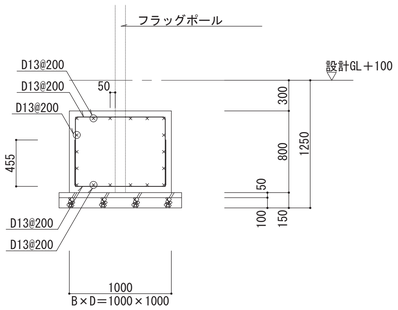


A断面

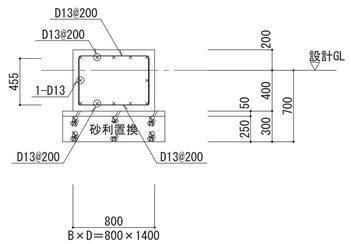


ポンプ基礎

フラッグポール基礎配筋詳細図 S=1:30



デジタルサイネージ基礎配筋詳細図 S=1:30



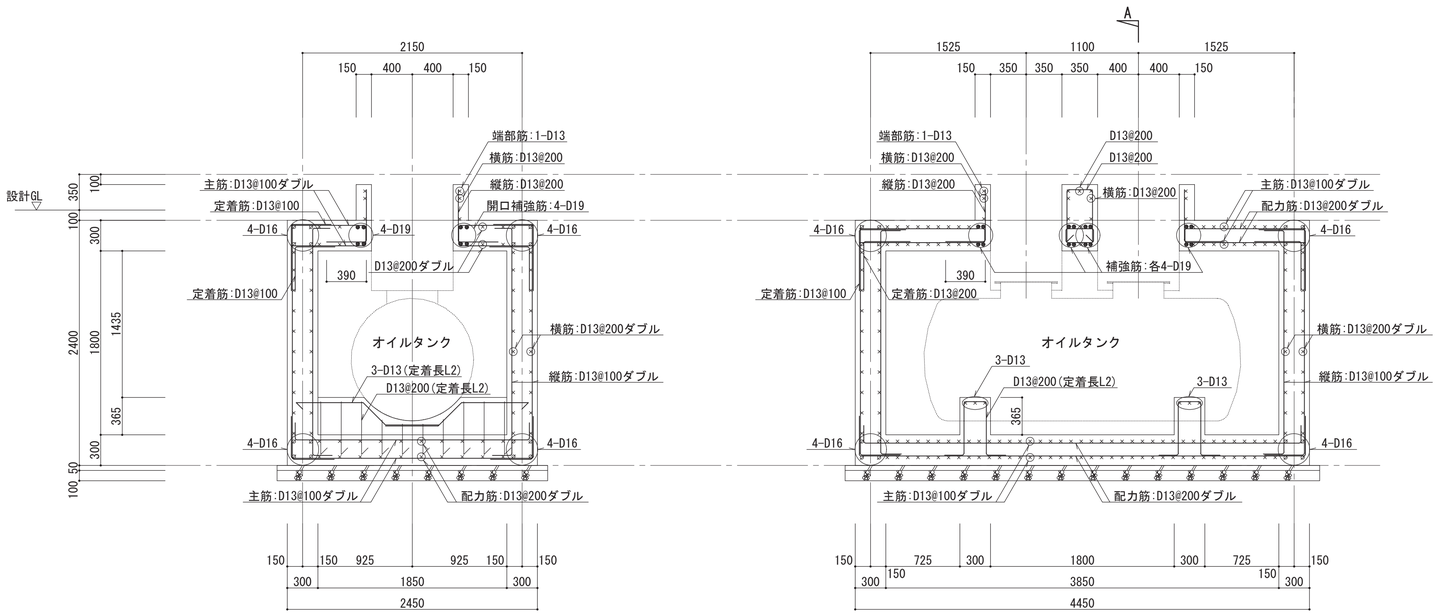
特記事項

1）本図に示す部分のコンクリート設計基準強度は Fc=24N/mm2とする。
2）本図に示す部分の鉄筋は D16以下SD295, D19以上SD345とする。
3）本図に示す設備関係基礎の必要長期許容地耐力は 100KN／㎡とする。

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	雑配筋詳細図（２）		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:30(A1) 1:60(A3)	図面番号	S-029
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計事務所：株式会社 鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号
須田 諭史

地下オイルタンク配筋詳細図 S=1:30



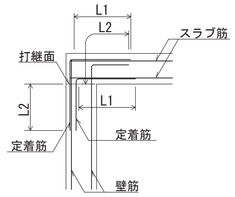
A断面

特記事項

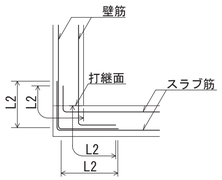
1）幅止め筋は両方向D10@1000とする。
2）マンホール枠は打ち込みとする。
3）止水版は意匠図を参照のこと。

鉄筋定着要領図 S=1:30

壁頂部鉄筋定着要領図

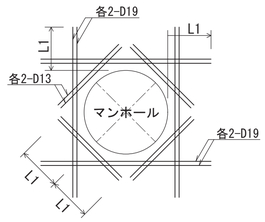


壁脚部鉄筋定着要領図

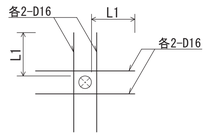


開口補強要領図 S=1:30

マンホール開口補強要領図



スリーブ補強要領図



特記事項

1）本図に示す部分のコンクリート設計基準強度は Fc=24N/mm2とする。
2）本図に示す部分の鉄筋は D16以下SD295, D19以上SD345とする。

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	地下オイルタンク配筋詳細図		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	-
縮 尺	1:30(A1) 1:60(A3)	図面番号	S-030
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計事務所：株式会社 鈴木建築設計事務所
構造設計者：一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号
須田 諭史

No.6

土質柱状図

No 1 調査担当者 金沢政弘

調査名 松戸消防署矢切分署新築敷地地盤調査

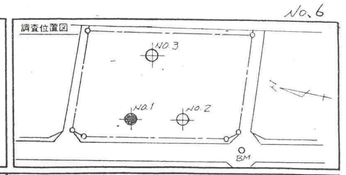
調査地名 松戸市大橋北大塚427-1ほか

ボーリング工法 ロータリー式コアーボーリング

調査年月日 昭和47年7月2日～7月3日

標高 B.M 10.58 M 孔内水位 G.L－4.80 M

調査位置図



標高 M	深度 (M)	層厚 (M)	断面記号	土質名	色	記事	コンシステンシー	相対密度	深度 (M)	打撃回数	N値	10cm毎打撃回数 10cm	20cm	30cm	打撃回数 N値 0 10 20 30 40 50 60 70	サンプリング
+0.10	0.50	0.60		表土	暗褐灰	草の根等混入			1.45	4	1	1	1	2		
-0.50				関東ローム	暗茶褐	腐植物混入	軟		2.45	4	1	1	1	2		
	1.90	1.40					軟		3.45	1.8	1/25	1/25	1/25	1/25		
-2.30				砂混り粘土質シルト	褐灰	腐植物混入 灰色の粘土質ﾛﾑ状に混入 若干の雲母混入	軟		4.45	3	1	1	1	1		
	3.30	1.00					軟	中位	5.45	16	5	5	5	6		
-3.30						5.50附近以下部暗褐灰色 腐植物若干混入 雲母混入	軟	中位	6.45	19	5	5	8	6		
	4.45	1.15		細砂	褐灰		軟	密	7.45	23	6	8	9			
						5.70附近以下部灰色の砂互ﾚ状に混入	軟	密	8.45	21	6	8	10			
						5.80附近以下部黒色の砂互ﾚ状に混入	軟	密	9.45	43	13	15	15			
						黒色の砂ヒモ状に混入	軟	密	10.45	37	11	13	13			
						13.50～14.00附近黒色の砂レンズ状に混入	軟	密	11.45	35	10	12	13			
-11.45	11.65	8.35					軟	密	12.45	35	10	11	14			
							軟	密	13.45	37	12	12	13			
							軟	中位	14.45	30	10	10	10			
							軟	中位	15.45	29	9	9	11			
							軟	密	16.45	33	10	11	12			
							軟	密	17.45	36	10	11	15			
							軟	中位	18.45	30	7	10	13			
						19.20附近以下若干粘土質有り 灰色と黒色の砂レンズ状に混入	軟	中位	19.45	23	7	8	8			
							軟	中位	20.45	30	8	10	12			
							軟	密	21.45	34	10	11	13			
							軟	密	22.45	33	8	12	13			
							軟	密	23.45	31	9	11	11			
							軟	中位	24.45	27	6	8	13			
							軟	中位	25.45	30	8	10	12			
-25.39	25.85	14.20					軟	密	26.45	40	9	14	17			
				シルト質砂	暗褐灰	腐植物混入 粘土レンズ状に混入 雲母混入	軟	密	27.45	42	10	14	18			
-27.70	27.90	2.05					軟	密	28.45	47	7	17	23			
				中砂	暗褐青灰	腐植物若干 雲母混入 一部の混灰色粘土合む 29.30～29.70間固結粘土状に	軟	密	29.45	45	12	15	15			
-30.34	30.40	2.50		細砂	暗青灰	若干粘レンズ状に混入 雲母混入	軟	緻密	30.45	51	16	24	10			

286-1

No.7

土質柱状図

No 2 調査担当者 金沢政弘

調査名 松戸消防署矢切分署新築敷地地盤調査

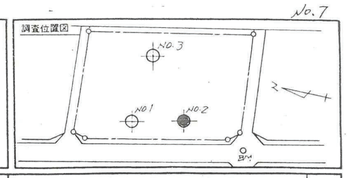
調査地名 松戸市大橋北大塚427-1ほか

ボーリング工法 ロータリー式コアーボーリング

調査年月日 昭和47年7月4日～7月5日

標高 B.M +0.10 M 孔内水位 G.L－4.70 M

調査位置図



標高 M	深度 (M)	層厚 (M)	断面記号	土質名	色	記事	コンシステンシー	相対密度	深度 (M)	打撃回数	N値	10cm毎打撃回数 10cm	20cm	30cm	打撃回数 N値 0 10 20 30 40 50 60 70	サンプリング
+0.10	0.50	0.50		表土	暗褐灰	草の根等混入			1.45	4	1	1	1	2		
-0.40				関東ローム	暗茶褐	腐植物混入 若干の砂混入	軟		2.45	3	1	1	1	1		
	2.35	1.85					軟		3.45	1.7	1/25	1/25	1/25	1/25		
-2.25				砂混り粘土質シルト	暗褐灰	灰色の粘土互ﾚ状に混入 腐植物雲母混入	軟		4.45	3	1	1	1	1		
	4.70	2.35					軟	中位	5.45	21	6	7	8			
						5.35附近以下部暗褐灰	軟	中位	6.45	19	6	6	7			
						6.70附近以下部灰色の砂互ﾚ状に混入	軟	密	7.45	31	8	11	13			
							軟	密	8.45	32	9	11	12			
				細砂	褐	腐植物若干混入 雲母混入	軟	中位	9.45	24	7	9	8			
							軟	中位	10.45	28	8	10	10			
						11.00附近以下部黒色の砂レンズ状に混入	軟	密	11.45	32	9	10	13			
						黒色の砂ヒモ状に混入	軟	密	12.45	34	10	10	14			
							軟	密	13.45	36	11	12	13			
-13.49	13.75	9.05					軟	密	14.45	35	10	11	14			
							軟	中位	15.45	23	5	7	8			
							軟	密	16.45	32	8	11	13			
							軟		17.45	32	11	10	11			
							軟		18.45	34	10	11	13			
							軟		19.45	37	11	12	14			
							軟		20.45	35	10	12	13			
							軟		21.45	40	12	13	15			
							軟		22.45	39	11	14	14			
							軟		23.45	37	11	13	13			
							軟		24.45	39	12	13	14			
							軟		25.45	42	14	14	14			
							軟		26.45	47	12	15	20			
							軟		27.45	50	13	16	21			
-28.00	28.25	14.50					軟	密	28.45	47	12	15	20			
							軟	緻密	29.45	1.5	3/4	1/4				
-29.60	29.85	1.60					軟	緻密	30.45	100	30/5	30				
				シルト質砂	暗褐灰	腐植物混入 固結粘土レンズ状に混入 雲母混入	軟									
-30.80	31.05	1.20		中砂	暗褐青灰	腐植物若干混入 雲母混入 シルト混り粘土状の灰色のレンズ状に混入	軟									
-32.00	32.25	1.20		細砂	暗青灰	若干の中砂レンズ状に混入 腐植物若干混入 雲母混入	軟									
-33.05	33.30	1.05					軟									

286-2

No.8

土質柱状図

No 3 調査担当者 金沢政弘

調査名 松戸消防署矢切分署新築敷地地盤調査

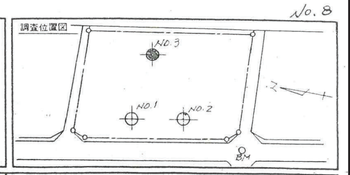
調査地名 松戸市大橋北大塚427-1ほか

ボーリング工法 ロータリー式コアーボーリング

調査年月日 昭和47年7月6日～7月7日

標高 B.M －0.01 M 孔内水位 G.L－4.35 M

調査位置図



標高 M	深度 (M)	層厚 (M)	断面記号	土質名	色	記事	コンシステンシー	相対密度	深度 (M)	打撃回数	N値	10cm毎打撃回数 10cm	20cm	30cm	打撃回数 N値 0 10 20 30 40 50 60 70	サンプリング
+0.20	0.60	0.60		表土	暗褐灰	草の根等混入			1.45	4	1	1	1	2		
-0.40				関東ローム	暗茶褐	腐植物混入 若干の砂混入	軟		2.45	3	1	1	1	1		
	2.60	2.00					軟		3.45	1.7	1/25	1/25	1/25	1/25		
-2.80				砂混り粘土質シルト	褐灰	灰色の粘土互ﾚ状に混入 雲母混入 腐植物混入	軟		4.45	7	1	1	1	5		
	4.35	1.75					極軟	池	5.45	22	7	7	8			
						腐植物若干混入 雲母混入 黒色の砂レンズ状に混入	極軟	中位	6.45	24	7	8	9			
							極軟	中位	7.45	30	8	11	11			
						8.00附近以下部灰色の砂互ﾚ状に混入	極軟	密	8.45	35	9	12	14			
							極軟	密	9.45	39	10	14	15			
							極軟	密	10.45	39	12	13	14			
							極軟	密	11.45	40	13	13	14			
							極軟	密	12.45	41	12	14	15			
							極軟	密	13.45	43	13	14	16			
				細砂	暗褐灰	14.20附近以下部黒色の砂レンズ状に混入	極軟	密	14.45	39	11	14	14			
							極軟	密	15.45	37	13	12	12			
							極軟	密	16.45	34	10	12	12			
							極軟	中位	17.45	30	10	10	10			
							極軟	中位	18.45	26	7	8	11			
							極軟	密	19.45	34	10	11	13			
							極軟	密	20.45	33	12	12	14			
							極軟	密	21.45	44	12	14	17			
							極軟	密	22.45	39	12	13	14			
							極軟	密	23.45	34	10	11	13			
							極軟	密	24.45	35	11	12	12			
							極軟	密	25.45	33	10	11	12			
-25.80	26.05	21.45					極軟	密	26.45	40	13	13	14			
				シルト質砂	暗褐灰	腐植物混入 25.70～27.00附近粘土状まじり 雲母混入	極軟	密	27.45	44	14	15	15			
-27.80	27.90	1.85					極軟	密	28.45	46	14	15	17			
				細砂	暗青灰	若干の中砂混入 腐植物若干混入 雲母混入 シルト含む	極軟	緻密	29.45	1.50	50					
-30.23	30.33	2.58					極軟	緻密	30.45	115	30/5	30				

286-3

工事名	松戸市二十世紀が丘消防署建設工事		
図面名	既存柱状図		
作成年月日	令和7年03月14日	変更年月日	－
縮尺	---	図面番号	S-031
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》（2025.7）

１．工事名称　　松戸市二十世紀が丘消防署建設工事

２．工事場所　　松戸市二十世紀が丘梨元町１番、２番

３．工　　期　　令和　　年　　月　　日　から　令和　9年　8月　2日　まで

４．CADデータの貸与　　■有　　□無

※1.基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」を指す。
※2.基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」を指す。
※3.基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」を指す。
※4.基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘　要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工事着工前に提出	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ） ※契約額が500万円以上（契約後10日以内に登録） 【契約後14日以内】	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事適正化指導要綱	
	■電気保安技術者通知書 （資格者証の写し） 【契約後14日以内】	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳･下請業者選定通知書･施工体系図 【下請契約後14日以内に提出（下請契約がない場合不要）】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事適正化指導要綱	代表者
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 １．組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図 ２．工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など 【初回打合せ後速やかに】	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘　要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工事中に提出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	■月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	■定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■地業（既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	■試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	■発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者ﾏﾆﾌｪｽﾄの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	■出来高検査 １出来高検査願 ２出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	□現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘　要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完成後に提出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4	代表者
	■１工事記録写真	写真帳	1	機1.2.4	
	■２完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳	1		
	■完成図 ＰＤＦ，ＣＡＤデータ	ＣＤもしくはＤＶＤ	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	■電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	ＣＤもしくはＤＶＤ	2 1	※松戸市建築事業に係る電子納品運用ガイドライン（案）	
	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	■引渡し関係 ■１予備品等引渡通知書（リスト共） ■２キーボックス		3		
	■防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 ■１建築物等の利用に関する説明書 ■２保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） ■３機器性能試験成績書 ■４官公署届出書類	原則、 ＣＤもしくはＤＶＤ	 2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□５総合試運転報告書 □６総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》建築工事編（2025.7）

1．工事名称　　松戸市二十世紀が丘消防署建設工事

2．工事場所　　松戸市二十世紀が丘梨元町１番、２番

3．工　　期　　令和　　年　　月　　日　から　令和　9年　8月　2日　まで

標　仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版
改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

No	検査・立会い項目	基準等	備　考
1	検査		
	■１　品質管理検査(必要に応じて)	標　仕　1. 3.6	
		改標仕　1 .3.6	
	■２　材料の検査(承諾済は除く)	標　仕　1. 4.4	
		改標仕　1. 4.4	
	■３　施工の検査等	標　仕　1. 5.5	
		改標仕　1. 7.5	
	■４　敷地の状況確認及び縄張り	標　仕　2. 2.1	
	■５　ベンチマーク	標　仕　2. 2.2	
	■６　遣方	標　仕　2. 2.3	
	■７　根切り	標　仕　3. 2.1	
		改標仕　8.28.3	
	□８　地業工事　掘削深さ及び支持層	標　仕　4. 5.5	
	（ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ工法、ﾘﾊﾞｰｽ工法、ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法）		
	■９　配筋検査	標　仕　5. 1.3	
		改標仕　8. 3.1	
	■10　コンクリート打ち込み後補修	標　仕　6. 9.6	
		改標仕　8. 8.6	
	□11　高力ボルト締付確認の記録	標　仕　7. 4.8	
		改標仕　8.14.8	
		改標仕　8.20.7	
	□12　鉄骨建方	標　仕　7.10.5	
	□13　鉄骨現場組立て	改標仕　8.19.3	
	□14　鋼板巻組立て	改標仕　8.23.6	
	■15　防水層の施工	標　仕　9. 1.3	
		改標仕　3. 1.3	
	□16　タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標　仕 11. 1.7	
		改標仕　4. 4.8	
		改標仕　6.16.2	
	□17　部分使用		
	■18　出来高		
2	立会い		
	■１　材料の検査に伴う試験	標　仕　1. 4.5	
		改標仕　1. 4.5	
	■２　監督職員の指示による立会い	標　仕　1. 5.8	
		改標仕　1. 7.8	
	□３　地業工事の試験による立会い	標　仕　4. 2.1	
	（杭又は支持地盤の位置及び土質の試験）	改標仕　8.28.4	